NTT DoCoMo

DCMX iD

取扱説明書

FOMA® D904i

'07.7

i mode

WORLD WING 3G

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA D904i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA D904iは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 3 本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。
FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう（☛P12）
2. 電池パックをセットし、充電しましょう（☛P39、P40）
3. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（☛P44、P45、P48）
4. 本体のキーなどの役割を確認しましょう（☛P24）
5. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（☛P28）
6. メニューの操作方法を確認しましょう（☛P31）
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう（☛P51、P66）

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- **「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード**
  （http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

さまざまな検索方法で、知りたい機能や操作方法を探せます。

「索引」から探す　P500

機能名やサービス名から探します。

▶ 次ページで詳しく説明

「かんたん検索」から探す　P4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

▶ 次ページで詳しく説明

「表紙インデックス」から探す　表紙

表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

▶ 次ページで詳しく説明

「目次」から探す　P6

目的別の章に分類された目次から探します。

「主な機能」から探す　P8

D904iの特徴的な機能や新機能から探します。

「メニュー一覧」から探す　P444

D904iのメニューから探します。

「クイックマニュアル」を利用する　P506

よく使う機能の操作方法を記載しています。また、「クイックマニュアル（海外利用編）」も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。本書から切り離してお使いください。

- この「FOMA D904i取扱説明書」の本文中においては、「FOMA D904i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。
  microSDメモリーカードについて☛P336
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応 i アプリ」を「おサイフケータイ対応 i アプリ」と記載しております。
- ディスプレイに表示される画面デザインなどは、FOMA 端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせて初期設定されています（トータルコーディネイト設定）。☛P147
  本書では、主にトータルコーディネイトの設定が「バー・コードさん」の場合で説明しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

「マイピクチャ」の記載ページを探すときを例に説明します。

「索引」から探すとき

あらかじめ機能名やサービス名がわかっているときは索引から探します。

マイピクチャ
1 カメラ
2 iモード
3 デコメピクチャ
4 デコメ絵文字
5 アイテム
6 プリインストール
7 データ交換

「かんたん検索」から探すとき

かんたん検索では、よく使う機能や知っていると便利な機能を簡単に探せます。

カメラを使いこなしたい

- 撮影する**サイズ**を変えたい……187 画像サイズ
- microSDメモリーカードに**保存**したい……187 保存先
- **コンパクトライト**を使って撮影したい……189 コンパクトライト
- 撮影した画像を**表示**したい……318 マイピクチャ

「表紙インデックス」から探すとき

表紙→章扉（章の最初のページ）→機能の記載ページという順で探します。

フルブラウザ
データ表示/編集/管理
音楽再生/FMラジオ
その他の便利な機能
文字入力
ネットワークサービス

データ表示／編集／管理

- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、キーの表記を省略しています。

実際のキー	本書での表記
わをん 0 ＋ 記号	0

・本体の色によってキーの文字の書体が異なります。
（例：たGHI 4、たGHI 4）

- 本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表　記	意　味
Menu 0 ▶ ● ▶ 端末暗証番号を入力	待受画面で Menu 0 を押した後、● を押す。続けて、端末暗証番号を入力し、● を押す。

Menu 51

画像を表示する

マイピクチャ

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 [1]▶フォルダを選択

カメラ：
カメラで撮影した静止画、動画／iモーションやPDFデータから切り出した静止画

iモード：
iモード、フルブラウザ、iモードメール、iアプリで取得した画像、ミュージックプレイヤーで保存した画像

デコメピクチャ：
お買い上げ時に内蔵されているデコメール用の画像（☛P455）、サイトやiモードメールなどから取り込んだ画像

デコメ絵文字：
お買い上げ時に内蔵されているデコメ絵文字（☛P456）、サイトやiモードメールなどから取り込んだデコメ絵文字

アイテム：
お買い上げ時に内蔵されているフレーム画像（☛P456）、サイトからダウンロードしたフレーム画像／スタンプ画像

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されている画像☛P454

データ交換：
バーコードリーダーで取り込んだ画像、microSDメモリーカードから移動／コピーした画像、データ通信で受信した画像

アルバム：
他のフォルダから移動した画像
・お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P349

・microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で[1]～[3]
・microSDメモリーカードの操作方法☛P343

データを並べ替える

ソート

一覧画面のデータの並び順を変更します。
・「ミュージック」の音楽データの並べ替えについては☛P373

お買い上げ時　対象：保存日時　順序：降順

例　マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 [1]▶フォルダを選択▶[Menu][7]

2 各項目を設定▶

対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

おしらせ

● 動画／iモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデーター覧、マチキャラ一覧、「その他」のドキュメント一覧では[Menu]を押し、「ソート」を選択します。
● 表示名に全角と半角の文字が混在していると、並び順が50音順と一致しないことがあります。

録音画面の見かた

Sound Recorder
READY
待機中
02:12:45

❶ 設定ガイド
で録音時の設定を変更できることを示します。☛P361

❷ 保存先☛P188
: FOMA端末
: microSDメモリーカード

❸ 種別
音声を録音することを示します。

❹ インジケータ
録音待機中の場合
保存先の保存領域の使用率を示します。
・microSDメモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても0にならないことがあります。
録音中／一時停止中の場合
サイズ制限で設定しているファイルサイズ（「制

318　データ表示／編集／管理

ショートカット操作
☛P32

タイトル、機能名
機能名は索引に記載されています。

機能の概要や操作するときに気をつけること

お買い上げ時の設定

操作手順

おしらせ
本書では以下のように分類して表記しています。
●：その他の操作方法
●：注意事項
●：機能に関する詳細説明

コラム
知っておくと便利な情報など

ページはサンプルです。本文中のページとは異なります。

操作に関する補足説明　章のタイトル

● 特に断りがないかぎり、待受画面からの操作手順を記載しています。
● 操作手順は、主にノーマルメニュー（シンプルメニューを除く）のショートカット操作で説明しています。操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
● 本書では、（スピードセレクター）で項目にカーソルを合わせる操作を、「選ぶ」と表記しています。また、（スピードセレクター）で項目にカーソルを合わせ、（決定キー）を押して項目を選ぶ操作を、「選択」と表記しています。
入力欄に文字を入力する操作においては、最後に（決定キー）を押す操作を省略しています。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

※１：有料サービスです。
※２：お申し込みが必要な有料サービスです。

こんなこともできます

● よく使う機能などの操作方法をクイックマニュアルとしてご案内しています。☞P506

目次

Contents

FOMA D904iの主な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードは、iモード端末のディスプレイを利用して、iモードのサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

iモードメール／デコメール／デコメ絵文字

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトもしくは10個までファイル（JPEG、トルカ、PDFデータなど）を添付することができます。☛P231
また、デコメール／デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたりすることができ、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。☛P228

メガiアプリ／iアプリDX ☛P268

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。大容量のメガiアプリ対応のため、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。また、直感ゲームに対応しており、FOMA端末を振ったり傾けたりして操作ができるモーションコントロール対応ゲームなどのiアプリをお楽しみいただけます。
さらにiアプリDXでは、電話帳やメールなどiモード端末内の情報と連動することで、よりiアプリの楽しみかたが広がります。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のiアプリをプリインストールしており、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。また機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。☛P286
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。☛P288

着うたフル®／うた・ホーダイ ☛P369

着うたフル®では音楽配信サイトから楽曲を1曲まるごと取得し、再生や着信音への設定ができます。☛P372、P374
また、うた・ホーダイでは月額会員制の音楽配信サイトから1曲まるごとの楽曲を取得することができるなど、定額で好きな曲を好きなだけ楽しむことができます。
- 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

ビデオクリップ ☛P217

圧縮効率の高いH.264フォーマットを使った10Mバイトまでのiモーションに対応しているので1曲まるごとのミュージッククリップや映画・アニメなどの高画質なビデオクリップを楽しむことができます。

国際ローミング ☛P436

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3Gエリアのみ対応）。音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。

GPS ☛P298

GPS衛星から発信される電波を利用して、FOMA端末の位置情報を取得します。取得した位置情報を利用して、今いる場所の地図や周辺情報を探したり、自分の位置をメール添付して通知したり、目的地までのナビゲーションが可能です（ナビゲーションiアプリがプリインストールされています）。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1☛P420
- 転送でんわサービス（無料）※1☛P422
- SMS（ショートメッセージ）（無料）☛P261
- キャッチホン（有料）※1☛P421
- デュアルネットワークサービス（有料）※1☛P423
- 2in1（有料）※1☛P426

※1：お申し込みが必要です。

多彩な機能

高精細、大画面ディスプレイ

240×400ドット、約2.8インチの大型TFT液晶を搭載。細かい画像や文字などを大画面で美しく表示します。

スピードセレクター

画面のスクロールや項目選択がすばやく行えます。☛P26

モーションコントロール ☛P383

FOMA 端末を横向きにすると、画面に合わせてｉ モーション、フルブラウザ、ドキュメントビューアなどの表示も横向きに切り替わります。また、FOMA 端末の向きに合わせてマチキャラを回転したり、FOMA 端末を振って新着メールを表示したりできます。

カメラ搭載 ☛P178

アウトカメラとインカメラを搭載しており、大きなディスプレイで見ながら撮影できます。接写やフレーム付き撮影、連続撮影など、さまざまな撮影方法を選択できます。

アウトカメラ：有効画素数約320万画素（最大記録画素数約320万画素）

インカメラ　：有効画素数約10万画素（最大記録画素数約10万画素）

使いやすいメール機能

- 簡単なキー操作で、メールののぞき見を防止できます（オンリービュー）。☛P257
- ATOK+APOT（AI推測変換）搭載により、効率的に文字を変換できます。

ドキュメントビューア ☛P365

Word、Excel、PowerPointのファイルを閲覧できます。拡大／縮小もスピードセレクターで簡単にできます。

きせかえツール ☛P148

テーマに沿った待受画面、メニューアイコン、着信音などをまとめて設定できます。お気に入りのキャラクタなどのきせかえツールをダウンロードすることもできます。☛P209

マチキャラ ☛P151

動き回るキャラクタを待受画面などに表示できます。マチキャラは対応サイトからダウンロードできます。☛P209

microSDメモリーカード対応

- FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどをmicroSDメモリーカードにバックアップできます。☛P336
- FOMA端末とパソコンを、FOMA USB接続ケーブル（別売）で接続すれば、FOMA端末に挿入したmicroSDメモリーカードをパソコンの外部メモリとして利用できます。☛P347

FMラジオ／FMトランスミッター

- FMラジオを聴くことができます。ラジオで流れている曲を検索してダウンロードすることもできます。☛P378
- FM電波を利用して、ミュージックプレイヤーの音楽やナビゲーションｉアプリの音声をカーオーディオなどで聴くことができます。☛P377

スピードメニュー ☛P397

FMラジオ、ミュージックプレイヤー、GPS、フルブラウザ、カメラを声で呼び出し、すばやく利用できます。

簡単に動画を取り込み ☛P472

付属のソフトMotion Smoothy 4を利用すると、パソコンに保存されている動画をFOMA端末で再生可能な形式に簡単に変換できます。

あんしん設定

おまかせロック ☛P163

FOMA端末を紛失した際に、お申し出によりそのFOMA端末へロックをかけられ、解除もできます。お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。

- おまかせロックは有料サービス※1です。
  ※1：ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。
- ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

電話帳お預かりサービス

FOMA端末の電話帳、静止画、メールをお預かりセンターに保存し、FOMA端末の紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを新しい FOMA 端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理でき、編集したデータをFOMA端末に反映することも可能です。☛P175

電話帳お預かりサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』を、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

D904iを使いこなす！

D904iの多彩なビジュアルコミュニケーションを紹介します。

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。☛P51、P66

自分の画面

相手の画面

プッシュトーク

プッシュトーク電話帳から相手を選んで、プッシュトークボタン（P）を押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通信できます。☛P90

メンバー一覧 1/1
☑携帯秋子
☑携帯夏子
☐携帯春子
☐携帯冬子
☑ドコモ一郎
☐ドコモ三郎
☐ドコモ四郎
☐ドコモ二郎
☐ドコモ太郎
090XXXXXXXX

自分
1/1
携帯秋子 参加
携帯夏子 参加
ドコモ一郎 参加

2in1

1つの携帯電話で、2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、発着信履歴、待受画面なども1台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、A・B両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。☛P426
※2in1はお申し込みが必要な有料サービスです。

Aモード
電話番号:090-AAAA-AAAA
アドレス:××A@docomo.ne.jp
電話帳:Aモード用

Bモード
電話番号:090-BBBB-BBBB
アドレス:××B@docomo.ne.jp
電話帳:Bモード用

Aモード
Aモードで電話・メール
電話帳A
メールBOX A
発着信履歴A
留守電A
・・・

デュアルモード
電話帳A･B
メールBOX A･B
発着信履歴A･B
留守電A･B
・・・

Bモード
Bモードで電話・メール
電話帳B
メールBOX B
発着信履歴B
留守電B
・・・

着もじ

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。☛P59

着信中
ドコモ太郎
090XXXXXXXX
どこで🍴する？
着もじ

相手の画面

ビデオクリップ

高画質なｉモーションを大画面で楽しめます。プレイリストを作成すると、好きな順番で再生できます。☛P217、P324

ｉチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。☛P220

※ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。

未契約

契約後

接続

ミュージックプレイヤー／FMラジオ

- 音楽を1曲まるごとダウンロードできる着うたフル®、CDからの取り込みや豊富な音楽配信サイトを活用できるWindows Media Audio（WMA）に対応しています。取り込んだ音楽はミュージックプレイヤーで再生します。☛P368
- FMラジオを聴くことができます。ラジオで流れている曲の情報を表示したり、流れている曲を検索してダウンロードすることもできます。☛P378

ミュージックプレイヤー

FMラジオ

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

⚠危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

- **「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。**

FOMA 端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）

⚠危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA 端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　D07
卓上ホルダ　D13
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA DCアダプタ　01／02
FOMA 乾電池アダプタ　01
FOMA 補助充電アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01
FOMA 海外兼用ACアダプタ　01

- その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

水ぬれ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠警告

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

⚠注意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。

FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

- ご注意いただきたい電子機器の例
  補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
  植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで携行および使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも自動車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

指示

ハンズフリーに設定して通話するときは（スピーカーホン機能）、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。
難聴になる可能性があります。

禁止

コンパクトライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

モーションコントロールご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

モーションコントロールは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

指示

FOMA 端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーションコントロールご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。

けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素　材	表面処理
スピードセレクター	ポリカーボネート	アルミ蒸着
Menu、、、、クリア、、、（FOMA端末の本体色がミラーワインとミラーブラックの場合）	ポリカーボネート	ステンレス蒸着

禁止

microSD メモリーカードスロット、FOMA端末内のFOMAカード挿入口に、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障などの原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

FOMA端末を閉じる際は、指や手のひら、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

指示

FMトランスミッターは日本国内で使用してください。

FOMA端末のFMトランスミッターは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取扱いについて

警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ぬれ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。

ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DC アダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災の原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA 端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。

感電の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、アダプタ本体部分を持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面などにご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

かんたん検索／目次／注意事項
つづく▶

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

● 水をかけないでください。
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れなどによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

● お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

● エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

● FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ったりすると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

● FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

● 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

● 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

● お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
故障の原因となります。

● ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。

● 使用中、充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

● カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

● 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

● 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

● 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

● 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

● 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

● 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

● 落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

● 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
● 次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
● 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
● DC アダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
● 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
● 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

● FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
● 使用中に FOMA カードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
● 他のICカードリーダー／ライターなどに、FOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
● IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
● お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
● お客様ご自身で FOMA カードに登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管してくださるようお願いします。
万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
● 極端な高温・低温は避けてください。
● ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
● FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
● FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
故障の原因となります。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

FeliCaリーダー／ライターについて

● FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
● 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

FMトランスミッターについて

● FOMA端末のFMトランスミッター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
● 使用周波数は86.1～87.3MHz帯です。ご使用の際は、周囲のFMラジオ利用者への影響を避けるため、ご利用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。

注意

● 改造された FOMA 端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘板シールに表示されております。
FOMA 端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉショット」「ｉメロディ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ショートメール」「着モーション」「デコメール」「Vライブ」「ｉエリア」「おサイフケータイ」「パケ・ホーダイ」「キャラ電」「ｉアプリDX」「デュアルネットワーク」「トルカ」「マルチナンバー」「DCMX」「ファミリーワイドリミット」「ビジュアルネット」「ｉチャネル」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「iD」「イマドコサーチ」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「公共モード」「メッセージF」「おまかせロック」「着もじ」「電話帳お預かりサービス」「iCお引っこしサービス」「きせかえツール」「マチキャラ」「ケータイお探しサービス」「IMCS」「OFFICEED」「2in1」「うた・ホーダイ」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ 「WORLD WING」ロゴ「DCMX」ロゴ 「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークは NTT コミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- （フェリカマーク）はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDロゴは商標です。
- 「マルチタスク／ Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista™、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Java及びJavaに関連するすべての商標は、米国及びその他の国において米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「ATOK」「APOT（Advanced Prediction Optimization Technology）」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- 「タマラン」は"Ignition Entertainment Ltd"の登録商標です。
- その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™ テクノロジーを搭載しています。
  Adobe、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
  Copyright© 1995 - 2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- 本製品はAdobe Systems Inc.のAdobe Readerを搭載しています。

AdobeおよびAdobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
  NetFront は日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。
  ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において、以下に記載する場合のみ使用することが認められています。
  - ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
  - ・個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - ・MPEG LA よりライセンスを受けたプロバイダから入手されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,504,773	5,109,390
5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,490,165	5,101,501
5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109
5,506,865	5,228,054	5,544,196
5,337,338	5,657,420	5,710,784
5,778,338		

- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
  Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの登録商標です。
- symbian
  本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltd の商標または登録商標です。
- Microsoft® Excel、Microsoft® Wordは米国Microsoft Corporation の商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記しています。
- Word、Excel、PowerPointのファイル表示技術は、Picsel Technologiesにより実現しています。
  picsel
  Picsel、Picsel File ViewerおよびPicselキューブロゴは、Picsel Technologiesの商標または登録商標です。
- 「明鏡モバイル国語辞典」「Ｇモバイル英和辞典」「Ｇモバイル和英辞典」は大修館書店編集の著作物です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - ・Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
  - ・Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - ・Windows Vistaは、Windows Vista™（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- コンテンツ所有者は、著作権を含む知的財産権を保護する目的で、Windows Media デジタル著作権管理技術(WMDRM) を使用します。本製品は、WMDRM が保護するコンテンツにアクセスするために WMDRM ソフトウェアを使用します。当該 WMDRM ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツ所有者が Microsoft に対して、保護されたコンテンツを WMDRM で再生またはコピーする WMDRM ソフトウェアの機能を無効にするよう要請することがあります。無効にされた場合でも、保護されていないコンテンツは影響を受けません。保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードする場合、お客様は Microsoft がライセンスに失効リストを含む可能性があることに同意したものとします。コンテンツ所有者は、お客様がコンテンツにアクセスする前に、WMDRM のアップグレードを要請することがありますが、もし、アップグレードを行わない場合、お客様はアップグレードが必要なコンテンツにアクセスできなくなります。
  本製品は、特定のマイクロソフトの知的財産権によって保護されています。そのように保護されている技術をマイクロソフトからライセンスを得ることなく本製品以外で使用あるいは配布することは禁止されています。

本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

FOMA D904i
（保証書、リアカバーD18含む）

取扱説明書（本書）

クイックマニュアル記載☞P506

FOMA D904i用
CD-ROM

PDF版「データ通信マニュアル」と「区点コード一覧」を収録

ステレオイヤホン
（取扱説明書付き）

（試供品）

Motion Smoothy 4
簡易操作ガイド（別紙）

主なオプション品

FOMA ACアダプタ01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダD13
（取扱説明書付き）

電池パックD07
（取扱説明書付き）

- その他のオプション品について☞P471

ご使用前の確認

各部の名称と機能

サイズ（mm）：高さ110×幅49×厚さ16.8
（閉じているとき）
質量（g）　：約114（電池パック装着時）

- ①～⑬は、「各種キーの機能」をご覧ください。☛P25

❶ **赤外線ポート**☛P353
赤外線でデータをやりとりします。

❷ **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

❸ **インカメラ**☛P83、P178
自分を撮影したり、テレビ電話で自分の映像を送信します。

❹ **ディスプレイ**☛P28

❺ **外部接続端子**☛P42、P348
各種オプション品などを接続します。

❻ **送話口／マイク**
自分の声を伝えます。

❼ **コンパクトライト**☛P84、P189
アウトカメラ使用中に点灯できます。また、静止画／動画撮影時に赤く点灯／点滅します。

❽ **アウトカメラ**☛P83、P178
人や風景などを撮影したり、テレビ電話で人や風景などの映像を送信します。

❾ **FOMAアンテナ**
アンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

❿ **リアカバー**

⓫ **FeliCaマーク**
ICカードが搭載されていることを示しています。FeliCaマークを読み取り機にかざしてICカード機能を利用します。また、FeliCaマークを重ね合わせてiC通信を行えます。ICカードは取り外せません。

⓬ **ストラップ取付口**

⓭ **スピーカー**
着信音やスピーカーホン機能利用中の相手の声などがここから聞こえます。

⓮ **microSDメモリーカードスロット**☛P340

⓯ **イヤホンマイク端子**
付属のステレオイヤホンや平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。

- イヤホンジャック変換アダプタP001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使えます。

⓰ **充電端子**
卓上ホルダ（別売）を使用して充電するときの端子です。

各種キーの機能

キーを押してできる主な操作には以下があります。
（●：短く押したとき　■：1秒以上押したとき）

① スピードメニュー／テレビ電話開始／スクロール／左下ソフトキー
- ● スピードメニューの表示
- ● テレビ電話をかける／受ける
- ● メールやサイト画面の1画面スクロール
- ● 文字入力時の大文字／小文字切り替え
- ● ガイド行左下に表示される操作の実行
- ■ スピードメニューの表示（音声で呼び出す場合）

② Menu／左上ソフト／マナーモードキー
- ● メニューの表示
- ● ガイド行左上に表示される操作の実行
- ■ マナーモードの設定／解除

③ スピードセレクター
- 回転しても操作できます。☞P26

決定キー※1
- ● 操作の実行　● フォーカスモードの実行
- ■ ワンタッチ登録したｉアプリ起動

データBOX／↑キー
- ● データBOXメニューの表示　● 音量の調整
- ● カーソルの上方向への移動
- ■ インカメラ撮影での静止画撮影の起動

ｉモード／ｉアプリ／↓キー
- ● ｉモードメニューの表示　● 音量の調整
- ● カーソルの下方向への移動
- ■ ｉアプリフォルダ一覧の表示

着信履歴／←（前へ）キー
- ● 着信履歴の表示　● 画面の切り替え
- ● カーソルの左方向への移動
- ■ プライバシーモード設定中にプライバシーモードの起動／解除

リダイヤル／→（次へ）キー
- ● リダイヤルの表示　● 画面の切り替え
- ● カーソルの右方向への移動
- ■ ICカードロックの設定／解除

④ 電話帳／スケジュール／右上ソフトキー
- ● 電話帳の表示
- ● ガイド行右上に表示される操作の実行
- ■ スケジュールの表示

⑤ メール／スクロール／右下ソフトキー
- ● メールメニューの表示
- ● メールやサイト画面の1画面スクロール
- ● ガイド行右下に表示される操作の実行
- ■ ｉモード問合せ

⑥ 電源／終了キー
- ● 通話／操作中の機能の終了
- ● 応答保留
- ● シークレットモードの解除
- ● カスタム待受画面の表示／非表示の切り替え
- ■ 電源を入れる／切る（2秒以上押す）

⑦ クリア ｉチャネル／クリアキー
- ● チャネル一覧の表示
- ● ｉアプリ待受画面のｉアプリ起動
- ● 文字の消去　● 1つ前の画面に戻る
- ■ セルフモードの設定／解除

⑧ 音声電話開始／スピーカーホン／文字キー
- ● 音声電話をかける／受ける
- ● スピーカーホン機能の切り替え
- ● 文字入力時の入力モード切り替え
- ● 静止画撮影のフォーカスロック

⑨ ダイヤルキー※2

0～9
- ● 電話番号や文字の入力　● メニュー項目の実行
- ■「+」の入力（電話番号入力時：0）

＊ ＊／公共モード（ドライブモード）キー
- ●「＊」の入力
- ■ 公共モード（ドライブモード）の設定／解除
- ■「P」の入力（電話番号入力時）

＃ ＃／マナーモード／改行／接写キー
- ●「＃」の入力
- ● 通常撮影と接写撮影の切り替え（アウトカメラで撮影時）
- ● 文字入力時の改行
- ■ マナーモードの設定／解除
- ■「T」の入力（電話番号入力時）

⑩ TASKキー
- ● マルチアクセス・マルチタスクの操作

⑪ 伝言メモ／シャッターキー
- ● 伝言メモ／音声メモメニューの表示
- ● カメラの撮影　● 着信音／アラーム音の停止
- ■ クイック伝言メモの開始
- ■ アウトカメラでの静止画撮影の起動
- ■ メール表示画面の通常表示／オンリービュー表示の切り替え
- は静止画のオートフォーカス撮影に使用するため半押しと全押しがあります。このため、他のキーと押したときの感触が異なります。

⑫ プロテクトキー ☞P169
- ■ プロテクトキーロックの設定／解除

⑬ プッシュトークボタン☞P91
- ● プッシュトークの発信／応答／発言
- ● オートフォーカスのON／OFFを切り替え（静止画撮影時）
- ■ プッシュトーク電話帳の表示

※1：電話着信時やメール受信時、FOMA 端末開閉時、スピードセレクターを回転したとき、カメラ撮影時などに点灯／点滅します。点灯パターン、照明の色を設定できます（☞P152）。また、新着情報があるときに点滅します（☞P153）。充電中は赤く点灯します。

※2：本体の色によってキーの文字の書体が異なります（4、4）。

FOMA端末を開く／閉じる

FOMA端末を開くときは、前面部（ディスプレイが付いている部分）を上にスライドさせてください。閉じるときは、逆方向にスライドさせてください。

開く

閉じる

- FOMA端末を開くことで、メールの返信やスケジュール、メモ帳編集画面の表示などが簡単にできます。☛P385
- FOMA端末を閉じたまま通話できます。また、FOMA端末を開いて電話に出たり、FOMA端末を閉じて通話を終了、保留したりできます。☛P69、P70

スピードセレクターの使いかた

スピードセレクターは、◉や◈を押す操作に加えて、回転して操作できます。

待受画面で操作する

設定によって、スピードセレクターを回転すると、メニューや電話帳、スケジュールを表示できます。また、待受画面の画像を切り替えるようにも設定できます。☛P137

待受画面以外で操作する

画面により、◈または◈と同じ操作ができます。メニュー項目を選ぶときなどすばやく操作できます。移動方向は、スピードセレクター設定で「時計回り」または「反時計回り」を選択できます。

移動方向の設定

時計回り

反時計回り

操作例

一覧画面	一覧画面	表示画面	文字入力画面
項目を選ぶ	絵文字などを選ぶ	スクロール	カーソルを移動

- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの着信中や通話中／通信中に回転すると着信音量、受話音量を調整できます。また、ミュージックプレイヤーのプレイヤー画面表示中に回転すると再生音量を調整できます。
- カメラの撮影画面表示中に回転するとズームできます。
- PDF対応ビューア、ドキュメントビューアの表示中に回転すると表示を拡大／縮小できます。
- 日付・時刻や数値の入力欄では、回転して数値を増減できます。ただし、増減できない入力欄もあります。
- 静止画編集の反転／回転中に回転すると静止画を回転できます。
- メール詳細画面、サイト画面、フルブラウザ画面でスピードセレクターをすばやく回転すると、高速にスクロールします（ターボモード）。

おしらせ

- 以下の場合、(上下)や(左右)の操作が可能ですが、回転による操作はできません。
  - ダイヤル入力画面でのツータッチサイト表示
  - 静止画編集でのカーソル、枠、スタンプなどの移動
  - 電卓
  - ディスプレイの表示が消えているとき

スピードセレクターの設定をする　スピードセレクター設定

スピードセレクターの回転操作について設定します。

お買い上げ時　スピードセレクター：ON　移動方向：時計回り　待受起動機能：セレクトメニュー

1 Menu 8 6 7 ▶ **各項目を設定**

スピードセレクター：スピードセレクターの回転操作を有効にするかどうかを設定します。

移動方向　：回転したときの移動方向を「時計回り」または「反時計回り」から選択します。

待受起動機能：待受画面でスピードセレクターを回転したときに実行する機能を選択します。

- 「セレクトメニュー」に設定すると、セレクトメニューが表示されます。
- 「ノーマルメニュー」に設定すると、ノーマルメニューが表示されます。
- 「電話帳」に設定すると、電話帳一覧が表示されます。
- 「スケジュール帳」に設定すると、スケジュール帳のカレンダー画面が表示されます。

2 (操作キー)

- 待受起動機能を「OFF」以外に設定した場合、待受画面設定のランダムイメージ設定の切替設定を「スピードセレクター」に設定していると、本設定を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとランダムイメージ設定が解除され、お買い上げ時の待受画面が表示されます。

おしらせ

- スピードセレクターを「OFF」に設定していても、一部のｉアプリでは回転操作ができる場合があります。また、スピードセレクターを「ON」に設定し、ｉアプリの動作設定のスピードセレクターを「OFF」以外に設定していても、スピードセレクターの回転操作が有効にならないｉアプリがあります。
- 音量調整、ズーム、数値の増減、PDF対応ビューア／ドキュメントビューアでの表示拡大／縮小では移動方向の設定は無効となり、右回転で増加／拡大、左回転で減少／縮小となります。また、一部のｉアプリでは移動方向の設定は無効になります。

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上部、下部に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。

❶〜⓭

日付・曜日・時刻

⓮

⓯〜㉖

ｉチャネルの受信情報☛P222

❶ ：電池アイコン☛P43

❷ ：アンテナアイコン☛P44

圏外：圏外表示☛P44

self：セルフモード中☛P164

：データ転送モード中☛P337、P353
ドコモケータイdatalink使用中
☛P434

❸ ：ｉモード中（ｉモード接続中）☛P198

：ｉモード中（パケット通信中）
☛P212、P236

❹ ※1 ：赤外線通信中☛P353
赤外線リモコン使用中☛P357

：プロテクトキーロック中（一時解除中はグレー）☛P169

：積算通話料金が上限を超過☛P402

❺ ：スピーカーホン機能ON☛P53

※1 ：ハンズフリー対応機器接続中☛P66

❻ ：GPSの測位中☛P299

※1 ：GPSの位置提供可否設定を「位置提供ON」または「許可期間設定」に設定中
☛P303

❼ ：シークレットモード中☛P171

❽ 未読メール、メッセージR/F状態表示
※1 ☛P212、P236、P263

：未読ｉモードメール、SMS満杯でFOMAカードにSMS満杯

：未読ｉモードメール、SMS満杯

：FOMAカードにSMS満杯

：未読ｉモードメールとSMSあり

：未読ｉモードメールあり

：未読SMSあり

／（青／赤）：未読メッセージRあり／満杯※3

／（緑／赤）：未読メッセージFあり／満杯※3

❾ ※1 ：ネットワーク上の電話帳ページ取得中（プッシュトークプラス）☛P90

：プッシュトーク通信中☛P91

：センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯※2☛P237、P213

／／
：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯

：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり

／／
：センターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり

❿ ※1 ：SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたｉアプリを使用中またはｉアプリでSSL通信中☛P199
SSL/TLSページ表示中☛P310

：圏内自動送信失敗メールあり☛P235

：圏内自動送信メールあり☛P235

⓫ ｉアプリ／ｉアプリDX状態表示☛P138、P271、P280

：ｉアプリ動作中

：ｉアプリ待受画面表示中

：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中

：ｉアプリDX動作中

：ｉアプリDX待受画面表示中

：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中

⓬ ：ｉアプリ自動起動失敗☛P279

⓭ OFFICEED：OFFICEEDエリア内☛P426

⓮ ：フォーカスモードアイコン☛P35

⓯ ：通常マナーモード中☛P133

：オリジナルマナーモード中☛P134

⓰ ：電話着信音量消音設定中☛P130

：音声電話着信のバイブレータ設定中
☛P132

：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中

⓱ ：公共モード（ドライブモード）中☛P74

⓲ ：伝言メモ設定中☛P76

：伝言メモ満杯☛P77

⓳ ：ダイヤル発信制限中☛P166

⓴ ：パーソナルデータロック中☛P165

㉑ ：FOMAカード読み込み中☛P44
※1 ：ICカードロック中☛P293
㉒ ／
：フォーカスモード時のスピードセレクターの有効キーの表示☛P35
㉓ ：目覚まし設定中☛P387
：スケジュールアラーム設定中☛P390
：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中
㉔ USBモード設定とmicroSDメモリーカードの状態表示☛P347
：通信モードでmicroSDメモリーカードあり
／ （紺／グレー）
：microSDモードでmicroSDメモリーカードあり／なし
／ （紺／グレー）
：MTPモードでmicroSDメモリーカードあり／なし
㉕ ：FOMA USB接続ケーブル（別売）で外部機器に接続中☛P88、P348
㉖ ：ソフトウェア更新予約中☛P491
※1 ：更新お知らせアイコン☛P488
／ （成功／失敗）
：最新パターンデータの自動更新結果☛P493

※1：現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2：ｉモードメール、メッセージR/Fのうちいずれかが満杯で、その他に未受信のメール／メッセージがある場合にも表示されます。
※3：未読のｉモードメールやSMSありなどのアイコンの上部に重なって表示されます。

ガイド行の見かた

ガイド行には、Menu、、、、を押して実行できる操作が表示されます。

例 メール本文の入力画面のガイド行のとき

ガイド行

表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するキー（Menu）を使って説明しています。
ガイド行に表示される操作は画面により異なります。
- ガイド行のは、スピードセレクターのに対応しています（使用する機能やサイトやインターネットホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

タスクバーの見かた

タスクバーには、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大9個表示されます。現在、動作中の機能を確認できます。また、メール／メッセージ受信時には受信結果がスクロール表示されます。

タスクバー（音声電話通話中にスケジュール帳を表示したときの例）

：音声電話
：テレビ電話
：音声電話／テレビ電話切替中
：電話終了中
：外部機器によるテレビ電話
：マルチタスクで音量設定中
：プッシュトーク
：電話帳
：着信履歴
：リダイヤル
：伝言メモ・音声メモ
：自局番号
：メール
：ｉモードメール／メッセージR/F受信中
：SMS受信中
：チャットメール
：メッセージR/F
：メール送信履歴
：メール受信履歴
：ｉモード／SMS問合せ中
：ｉモード／ｉチャネル
：ｉモードのBookmark／Internet／画面メモ／ツータッチサイト
：ｉアプリ
：トルカ
：フルブラウザ
：マイピクチャ
：ｉモーション
：メロディ
：マイドキュメント（PDF対応ビューア）

：キャラ電
：マチキャラ
：きせかえツール
：その他（ドキュメントビューア）
：静止画撮影
：動画撮影
：サウンドレコーダー
：バーコードリーダー
：ミュージックプレイヤー
：マルチタスクでFMトランスミッター設定中
：GPS現在地確認
：GPS位置提供
：GPS現在地通知
：GPS位置履歴
：お知らせタイマー
：目覚まし設定中／鳴動中
：スケジュール帳
：スケジュール音鳴動中
：メモ帳
：電卓
：辞典
：外部データ連携中
／（紺／グレー）
：microSDメモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
：64Kデータ通信
／
：USB 経由でパケット発信・通信中／送受信中
／（紺／グレー）
：各機能の設定中／保留中
：ソフトウェア更新中
：ソフトウェア更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中
：各種ネットワークサービス設定中
：お預かりセンターに接続中
：電話帳通信履歴表示中

一覧画面の見かた

例　カラーテーマ設定画面

カラーテーマ設定　1/2
1 ライトホワイト
2 ブライトイエロー
3 ロイヤルパープル
4 ディープレッド
5 ミラーブラック
6 スーパーホワイト
7 ブリリアントピンク
8 ナチュラルベージュ
9 ルミナスピンク
0 ターコイズグリーン
＊ プルシャンブルー
＃ アフリカ
選択

❶ 現在表示中のページ番号と総ページ数（一覧が複数ページにわたる場合）
❷ ：選ばれている項目の上下に選択項目があることを示しています。
- でカーソルを移動します。
- ページの最後の項目でを押すと次ページ、ページの先頭の項目でを押すと前ページが表示されます。

：選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。
- でページを切り替えます。
  ・アイコンの選択画面などでは切り替わりません。

おしらせ

● 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらく同じ画面を表示していると、何か操作をし、画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

メニューの選択方法

メニューには大きく分けてノーマルメニュー、セレクトメニュー、スピードメニューがあります。ノーマルメニューは Menu を押すと表示される標準的なメニューです。また、セレクトメニューはメニュー項目を自由に設定できるメニューです。
スピードメニューは スピード を押すと表示でき、特長ある5つの機能がすばやく呼び出せます。

1秒以上

スピードメニュー

スピードメニュー
（音声で呼び出す場合）

ノーマルメニュー

セレクトメニュー※2

回転※1

※１：お買い上げ時のスピードセレクター設定の待受起動機能は「セレクトメニュー」に設定されています。
※２：メニュー設定の「起動メニュー」の設定によって、Menu を押してセレクトメニューを表示するようにもできます。☛P144

メニューの表示形式

ノーマルメニューとセレクトメニューは表示形式を選べます。
ノーマルメニューの表示形式のひとつに、よく使う機能だけに限定したシンプルメニューがあります。

例 ノーマルメニューの表示形式を変更するとき

アニメーション※1

※１：画面はトータルコーディネイト設定が「バー・コードさん」のノーマルメニューの表示例です。お買い上げ時は、ノーマルメニューの「アニメーション」に設定されています。

「リスト」を選び ●▶□

「タイルアイコン」を選び●▶□

「3Dアイコン」を選び●▶□

「シンプル」を選び●▶□

リスト※2

タイルアイコン※2

3Dアイコン※2

シンプル

※２：セレクトメニューでも設定できます（メニュー設定☛P144）。

メニューを選択する

ダイヤルキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、スピードセレクターでメニュー項目を選択する方法があります。

- 本書では、主にノーマルメニュー（シンプルメニューを除く）のショートカット操作で説明しています。
- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字が薄く表示されます。ただし、メニューの表示形式が「アニメーション」のときは、項目を選択するとメッセージが表示されます。

ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

メニュー項目にはそれぞれ番号（項目番号）が割り当てられており、対応するダイヤルキーで選択できます。3Dアイコンの項目番号はタイルアイコンやリストメニュー、アニメーション表示に切り替えて確認してください。

例　ノーマルメニュー（シンプルメニューを除く）の場合に「電話帳登録」を実行するとき

1 Menu 4 2

Mail
1 2 3 4 5 6 7 8 9

4

Phonebook
1 電話帳検索
2 電話帳登録
3 FOMAカード(UIM)登録
4 プッシュトーク電話帳
5 着信履歴
6 リダイヤル
7 伝言メモ/音声メモ
8 メール送受信履歴
9 自局番号

2

名前入力
名前を
入力してください

複数のショートカット操作がある場合

ノーマルメニュー（シンプルメニューを除く）のショートカット操作が複数ある場合、操作手順で記載している以外のショートカット操作を本文中のタイトル右端に記載しています。

例　プッシュトーク電話帳登録のとき

Menu 44
帳を登録する　プッシュトーク電話帳登録
ンバーを登録します。グループに分けて登録することもできます。
（登録内容により、少なくなる場合があります）。
録するにはFOMA端末電話帳にも電話番号を登録する必要があります。

Menuでメニューを表示した後、4 4の順に押すと、プッシュトーク電話帳が表示されることを示します。
- ✉は✉、⬇は◯を押すことを示します。

スピードセレクターでメニューを選択する

例　ノーマルメニュー（アニメーション表示の「タイプ5」）の場合に「電話帳登録」を実行するとき

1 Menu ▶「Phonebook & Logs」を選び●

- 1つ前の画面に戻す：クリア
- 待受画面に戻す：☎
- アニメーション表示の場合、アニメーションデザインによって◎の動作は異なります。
- アニメーション表示以外のときにメニュー項目を選ぶと、機能説明が表示されます。
- アニメーション表示の場合、ガイド行の◇は表示されません。

「Phonebook & Logs」が選ばれているとき

2 「電話帳登録」を選び●

■ リスト表示での選択方法

選ばれているメニュー項目
選択できないメニュー項目
（文字が薄く表示されます）
次の階層のメニュー項目があるとき

メニュー項目を選び、●または◎を押します。
- 1つ前の階層のメニューに戻す：◎またはクリア

■ タイルアイコン表示での選択方法
メニュー項目を選び、●を押します。
- 1つ前のメニューに戻す：クリア

■ 3Dアイコン表示での選択方法
目的のアイコンを最前面に移動させ、●を押します。
- ◎で奥のアイコンが最前面に移動します。

サブメニューを選択する

ガイド行の左上に「MENU」が表示される場合、サブメニューを使って、さまざまな操作ができます。

例　リダイヤルのサブメニューを選択するとき

1 リダイヤル一覧でMenu ▶サブメニュー項目を選び●または◎

サブメニューがあることを示します。

- サブメニューの選択方法は、リスト表示と同じです。
- サブメニューを閉じる：Menu

項目を選択する

プルダウンメニューから項目を選択する

1 項目を選ぶ▶ でプルダウンメニューを表示▶ で項目を選び

- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

チェックボックスで項目を選択する

1 チェックボックスを選び

チェックボックスが□から☑に変わり、選択されます。

- 選択されている項目の場合は☑から□に変わり、選択が解除されます。
- 機能によっては、Menuを押すとすべての項目を選択または解除できます。
- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

確認画面で「はい／いいえ」を選択する

1 「はい」または「いいえ」を選び

- 機能によっては「はい／いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

情報をすばやく表示する　フォーカスモード

待受画面に や などのフォーカスモードアイコンが表示されたときは、対応する情報をすばやく表示できます。

1 ▶ や などのアイコンを選び

選択したアイコンに対応する画面が表示されます。

07/10TUE 10:00

右の数字は、蓄積されている情報の件数

フォーカスモード中は選ばれているアイコンの色が変わります。

不在着信あり：
着信履歴一覧が表示され、着信日時や電話をかけてきた相手の情報などを確認できます。

未再生の伝言メモあり：
伝言メモ一覧が表示され、伝言メモを再生できます。

留守番電話サービスの伝言メッセージあり：
留守番電話サービスのメッセージ再生確認画面が表示され、メッセージを再生できます。

- 2in1がデュアルモードのときは、以下のアイコンも表示されます。
  - ：Aナンバー、Bナンバーそれぞれの伝言メッセージがある場合
  - ：Bナンバーへの伝言メッセージのみある場合

未読の受信メールあり：
受信メールのフォルダ一覧が表示され、未読メールを表示できます。

未読のトルカあり：
トルカ一覧が表示され、未読のトルカを確認できます。

- フォーカスモードを解除する：クリアまたは
- 以下のアイコンが表示されたときも同様に操作できます。

：更新お知らせアイコン☛P489

／：最新パターンデータの自動更新の結果あり（成功／失敗）☛P493

：FOMA USB接続ケーブル（別売）で外部機器に接続中☛P348

おしらせ

- アイコンを選び、クリアを1秒以上押すと、アイコンは一時的に消去されますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再度表示されます。ただし、留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、表示を消去するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとアイコンが一時的に消去されます。
- 2in1をご契約の場合、トルカ以外の件数表示は、AモードのときはAナンバー／Aアドレスのみ、BモードのときはBナンバー／Bアドレスのみ、デュアルモードのときや2in1がOFFのときはすべての件数が表示されます。

FOMAカードを使う

FOMA カードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。FOMA 端末に挿入して使用します。

• FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末はFOMAカードを取り付けた状態で使用します。カードが取り付けられていないときは、まず、FOMAカードを取り付けてください。

• FOMAカードの取り付けや取り外しは、電源を切ってから行ってください。
• FOMAカードの取り付けや取り外しは、FOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。

取り付けかた

トレイが止まるところまで引き出した状態

トレイ

切り欠き部分

切り欠き部分

IC

FOMAカード

❶リアカバーを外し、電池パックを取り外す☛P39

❷トレイを引き出す

トレイに指先をかけ、トレイが止まるところまで引き出します。

❸IC面を下にし、FOMAカードとトレイの切り欠き部分を合わせてFOMAカードを差し込む

❹トレイが止まるところまで押し込む

❺電池パックとリアカバーを取り付ける☛P39

取り外しかた

❶トレイを引き出す

•「取り付けかた」の❶～❷と同じです。

❷FOMAカードを引き抜く

FOMAカードトレイが外れたとき

FOMA カードトレイを差し込み、まっすぐに押し込んでください。

● FOMAカードを外してから行ってください。

おしらせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、FOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。
- 電池パックを取り付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを取り付けることができません。無理に取り付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。
- FOMAカードがFOMAカードのトレイに乗り上げたままトレイを押し込むと、動作異常の原因となりますのでご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。☛P160

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生、赤外線通信／iC通信やmicroSDメモリーカードへのコピー／移動はできません。ただし、コンテンツ移行対応のｉモーションは、microSDメモリーカードに移動できます。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - ・ｉモードメールに添付されているファイル（トルカを除く）
  - ・ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR/F
  - ・デコメールや署名に挿入されている画像
  - ・ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - ・画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - ・マチキャラ
  - ・Word／Excel／PowerPointのデータ
  - ・テレビ電話伝言メモ
  - ・動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - ・電話帳お預かりセンターからダウンロードした画像
  - ・画面メモ
  - ・コンテンツ移行対応のデータ
  - ・ｉモーション
  - ・キャラ電
  - ・着うた®／着うたフル®
  - ・メロディ
  - ・PDFデータ
  - ・きせかえツール
  - ・動画メモ
  - ・トルカ（詳細）の画像

  「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、ｉアプリの削除、フォルダ移動、ソートのみ行えます。

おしらせ

● FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
● 赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカード、ドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した静止画や動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。
● 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で クリア を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。
● FOMAカードが取り付けられていない場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されません。

FOMAカードに保存される設定

以下の設定はFOMAカードに保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定が有効になります。

- 自局電話番号
- バイリンガル
- 優先ネットワーク設定
- 証明書管理のドコモ証明書、ユーザ証明書
- FOMAカード（UIM）のPIN1コード、PIN2コード、PIN1コードON／OFF
- SMS設定（「送達通知」以外）

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色／白色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P106
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P216
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	P38
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P424

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
なお、D904iはドコモの3Gローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、GSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。

● 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
● 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
● 一部ご利用になれない料金プランがあります。
● 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、FOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。
- カメラに触れないように注意してください。
- 指定の電池パックD07をご使用ください。

取り付けかた

❶**リアカバーを外す**
リアカバーの先端を指で押しながら矢印の方向にスライドさせて外します。

❷**電池パックのドコモロゴ、リサイクルマークのある面を上にして、FOMA端末と電池パックの端子が合うように図のような角度で差し込む**
電池パックの端子を無理に差し込むと、本体のコネクタや電池パックの端子部を破損させる恐れがあります。ご注意ください。

❸**電池パックをはめ込む**

❹**リアカバーをFOMA端末から約1mmずらして置く**

❺**FOMA 端末とリアカバーにすき間が生じないようにリアカバーの中央を指で押しながら、矢印の方向にスライドさせる**

正しい手順で取り付けないと、リアカバーを破損させることがあります。

取り外しかた

❶**リアカバーを外す**
❷**電池パックの突起部分に指などをかけて取り外す**

おしらせ

- FOMA端末のディスプレイはアクティブ液晶を使用しています。アクティブ液晶の特性上、電池パックの取り付け／取り外しの際、残像や横縞がしばらく表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。
- 電池パックを取り外すと、待受画面に設定した日付・時刻情報を必要とするｉアプリは、正しく動作しなくなる場合があります。その場合は、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。

携帯電話を充電する

電池残量が少なくなった場合は、充電してください。

・電池残量は、電池アイコンで確認します。☛P43

電池パックの寿命について

■ **電池パックは消耗品です**

充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。

■ **1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら**

電池パックの寿命が近づいています。早めの交換をお勧めします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

■ **充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うと**

電池パックの寿命が短くなることがあります。

■ **この製品に使用されているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です**

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion

■ **リサイクルの際、以下のことにご注意ください**

・端子にテープなどを貼り、絶縁してください。

・分解、改造をしないでください。

充電について

FOMA端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

■ **充電を開始すると**

決定キーの照明が赤く点灯します。

電源を入れたままで充電を開始すると、充電確認音が鳴り、電池アイコンが点滅します。

状　態	アイコン（▮▮▮）	決定キーの照明	意　味
充電	点滅	点灯（赤）	正常に充電しています。
充電完了	点灯	消灯	正常に充電完了しました。

・お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA 端末の色によって異なります。また、きせかえツールで電池アイコンを変更していても、充電中は▮▮▮が表示されます。

・充電を開始しても決定キーの照明が赤く点灯しなかった場合や、赤で点滅している場合は、正常に充電できていません。FOMA 端末の温度が上昇していると充電できない場合がありますので、使用している機能があれば終了し、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。再度充電を行っても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ **電源を入れたままで充電が完了すると**

充電確認音が鳴り、電池アイコンが点灯状態になります。

■ **電池残量が十分にある場合は**

ACアダプタやDCアダプタに接続しても充電しないことがあります。

■ 留意事項

- 充電しながら通話や通信、ｉモードやｉアプリの使用を長時間行うと充電時間が長くなったり、温度上昇により一時的に充電できなくなる場合もあります。
- 本体接続コネクタは、水平になるように抜き差ししてください。
- 本体接続コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないよう、ゆっくり確実に行ってください。また、本体接続コネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ると故障の原因となります。
- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02(別売)、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売)、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA AC アダプタ 01 は AC100V のみに対応しています。また、FOMA AC アダプタ 02 は AC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

電源を入れたまま長時間（1日以上）充電はおやめください

充電が完了してもFOMA端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再度充電を行いますが、再充電の途中でFOMA端末を取り外した場合は、次のような状態になることがあります。

- 電池残量が少ない
- 電池切れのメッセージが表示される
- 短時間しか使えない

充電時間・電池使用時間の目安

充電時間	連続通話時間※1	連続待受時間※2
約140分	音声電話時　約180分 テレビ電話時　約110分	静止時※3　約600時間 移動時※4　約420時間

※１：電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※２：FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。
なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合など）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※３：FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※４：FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

■ 留意事項

データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーションの再生、音楽再生、FMラジオの使用などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

充電する

FOMA ACアダプタ01／02（別売）を使用して充電できます。また、卓上ホルダD13（別売）と組み合わせても充電できます。
- 電池パック単体では充電できません。
- 詳しくは、ACアダプタと卓上ホルダの取扱説明書をご覧ください。

■ ACアダプタだけで充電する場合

FOMA端末を閉じた状態でも、開いた状態でも充電できます。

❶ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントに差し込む
❷FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを開く
❸本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❹充電の開始を確認する
決定キーの照明が赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら、本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、ACアダプタをコンセントから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

■ 卓上ホルダに差し込んで充電する場合

❶ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントに差し込む
❷卓上ホルダに本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❸卓上ホルダの背面に沿ってFOMA端末を図の向きで矢印❸の方向に差し込む
❹充電の開始を確認する
決定キーの照明が赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら、卓上ホルダを手で押さえながらFOMA端末を手前に傾け、卓上ホルダから取り出します。

- FOMA端末を卓上ホルダへ取り付ける際は、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- 差し込みが十分でなかったり、FOMA端末が傾いていたりすると、正常に充電できません。「カチッ」と音がするまでFOMA端末を押し込んでください。
- FOMA端末は図の向きで卓上ホルダに差し込んでください。向きを間違えると充電できません。
- 卓上ホルダの突起を押すと充電端子が飛び出します。充電しないときは突起を押さないでください。また、コンセントにつないだ状態で、手や指など、身体の一部を充電端子に触れさせないようにしてください。

自動車の中で充電する

専用のFOMA DCアダプタ01／02（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。マイナスアース車（12V車・24V車）で使用できます。
- 詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

❶DCアダプタのシガーライタプラグを自動車のシガーライタソケットに差し込む
❷FOMA端末の電源を切り、外部接続端子の端子キャップを開く
❸DCアダプタの本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む

❹充電の開始を確認する

決定キーの照明が赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら、DCアダプタの本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、シガーライタプラグをシガーライタソケットから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

おしらせ

- 自動車のエンジンを切った状態で充電すると、自動車のバッテリーを消耗させることがあります。必ずエンジンをかけた状態で充電してください。
- 充電しない場合は、DCアダプタはシガーライタソケットから取り外してください。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品です。交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

電池残量

ディスプレイに電池残量の目安が3段階で表示されます。

（電池残量3）：十分残っています。
（電池残量2）：少なくなっています。
（電池残量１）：電池残量がほとんどありません。充電してください。
- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末の色によって異なります。

電池残量を音と表示で確認する

1 Menu 8 6 9 5

（電池残量3）　（電池残量2）　（電池残量１）

3回鳴ります　2回鳴ります　１回鳴ります

電池残量が表示されます。確認音がキー確認音の音で鳴ります。

電池が切れそうになると

電池残量がない旨のメッセージが表示されます。[●]、[クリア]、[電源] を押すとメッセージが消えますが、しばらくすると電池アラーム音が鳴り、再度メッセージが表示されます。このとき、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約1分後に自動的に電源が切れます。充電を開始すれば電池アラーム音は止まります。すぐに止めたい場合は[電源]を押してください。

- 通話中のときは、受話口から電池アラーム音が鳴り、メッセージが表示されます。受話口から電池アラーム音が聞こえてから約20秒後に通話が切れ、その約1分後に自動的に電源が切れます。

電池アラーム音が鳴らないようにする　電池アラーム音

お買い上げ時 ON

1 [Menu][8][1][1][7][5]▶[1]～[2]

おしらせ

● 通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても、受話口から電池アラーム音が鳴ります。

電源を入れる／切る　電源ON／OFF

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。☛P45

電源を入れる

1 [電源]（2秒以上）

受信レベル（アンテナアイコン）

待受画像が表示されます。

07/10TUE 10:00

FOMAカードの読み込み中に[■]が表示され、終わると消えます。

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。ウェイクアップ画面の表示まで多少時間がかかります。

受信レベル表示	[強]	[中]	[弱]	[最弱]	圏外
状態	強	◀━━━━▶		弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- お買い上げ時のアンテナアイコンは、FOMA端末の色によって異なります。
- 日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。時刻情報を受信し自動時刻補正されると消えます。手動で日付・時刻を設定する場合は、[●]を押します。
- FOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。

電源を切る

1 [電源]（2秒以上）

おしらせ

- FOMAカードを差し替えたとき（おまかせロック中を除く）は、電源を入れた後で4～8桁の端末暗証番号の入力が必要です。正しく入力すると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を5回入力した場合は電源が切れます（ただし、再度電源を入れることは可能です）。
- 電源を入れたときに、設定によりPIN1／PIN2コードの入力画面が表示されます（☛P160、P401）。PIN1コード、PIN2コードを入力してください。
- 照明設定の点灯時間設定の通常時を「常時」以外に設定している場合、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイの表示が消えます。☛P143

初期設定を行う

初期設定

電源を初めて入れたときに、日付時刻や端末暗証番号、キーの確認音などの設定を行います。

・お買い上げ時の設定は次のとおりです。

項目		お買い上げ時
日付時刻設定		自動時刻・時差補正：ON
暗証番号設定		0000
プッシュトーク番号通知設定		通知しない
位置提供可否設定		位置提供OFF※1
キー確認音設定		キー確認音1
スピードセレクター音設定		スピードセレクター音1
スライド音設定	スライドオープン	メロディ／スライド・オープン音1
	スライドクローズ	メロディ／スライド・クローズ音1

項目	お買い上げ時
モーションコントロール設定	ｉモーション：横再生 フルブラウザ：ON ドキュメントビューア：ON インテリア時計：ON マチキャラ：ON 新着メールダイレクト表示：OFF ミュージックスキップ：OFF 顔文字・絵文字・記号入力：OFF

※1：設定画面では、設定に関わらず「位置提供ON」が選ばれています。

1 電源を入れる☛P44

2 各項目を設定▶[MENU]

日付時刻設定　：自動時刻・時差補正の「ON」「OFF」や日付時刻の設定を行います。☛P46

暗証番号設定　：各種端末操作用の端末暗証番号を設定します。☛P159

プッシュトーク番号通知設定：
プッシュトークを発信したときやメンバーを追加したときに、自分や他のメンバーの電話番号を通知するかどうかを設定します。☛P97

位置提供可否設定：位置提供の要求に対して、位置提供を許可するかどうかを設定します。位置提供のON／OFFのみ設定できます。許可期間設定を行うには位置提供可否設定から行います。☛P303

キー確認音設定　：キーを押したときに鳴る音を設定します。☛P129

スピードセレクター音設定：
スピードセレクターを回転させたときに鳴る音を設定します。☛P129

スライド音設定　：FOMA端末を開閉したときに鳴る音を設定します。☛P130

モーションコントロール設定：
モーションコントロールによって動作させる機能を設定します。☛P383

- 暗証番号設定または位置提供可否設定を設定せずに☎などを押して終了すると、終了するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して終了すると、次回、電源を入れたときに、設定画面が表示されます。
- 設定を途中で終了しても、後から設定を変更できます。

待受画面から初期設定を変更する

1 Menu 8 6 9 8

- 以降の操作は電源を初めて入れたときと同じです。

おしらせ

- オールロック中、ダイヤル発信制限中に電源を入れた場合、自動電源ON設定によって電源が入った場合は初期設定画面は表示されません。
- 設定した内容は各機能に反映されます。

日付・時刻を合わせる

日付時刻設定

時刻設定には、時刻や時差を自動的に補正する方法と、自分で時刻を入力する方法があります。自動で補正するように設定すると、国内ではドコモのネットワークからの時刻情報をもとに、また、海外では利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合、補正を行います。

お買い上げ時　自動時刻・時差補正：ON　オフセット時間：+、00時間00分

1 Menu 8 6 1 1 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

日付時刻設定
自動時刻･時差補正　ON
オフセット時間
+
00時間00分
日付　2007/01/01(月)
時刻　00時00分
タイムゾーン　GMT+09:00
サマータイム　OFF

- 自動時刻・時差補正を「ON」にした場合、オフセット時間を設定できます。自分で日付・時刻を設定する場合は、自動時刻・時差補正を「OFF」にしてください。

自動時刻・時差補正：自動で時刻や時差の補正を行うかどうかを設定します。

オフセット時間：時計を常に一定時間進めておきたいときなどに、取得した時刻より進める（+）／遅らせる（－）時間を設定します。

日付、時刻：日付、時刻を入力します。
- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。

タイムゾーン：時刻を設定する地域を選択します。国内では「GMT+09:00」を設定します。

サマータイム：サマータイムを設定します。「ON」に設定すると1時間進めた時刻が表示されます。

- 数字は⬍でも増減できます。⬌で変更する数字を選んでからも入力できます。

自動時刻・時差補正を設定したとき

FOMAカードを取り付けた状態で、電波の届く場所で電源を入れたときなどに自動的に補正されます。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリ動作中に時刻情報を受信しても補正できない場合があります。
- 自動時刻・時差補正を「ON」にしたとき、しばらく時刻が補正されない場合があります。自動時刻・時差補正を有効にするには、電源を入れ直してください。
- FOMAカードを取り付けていないときや、圏外にいるときは、電源を入れ直すなどしても補正は行われません。
- 海外で時差補正が行われると、リダイヤル、着信履歴、メールの送受信などの日時は現地時間になります。
- 海外で利用中の通信事業者のネットワークによっては、時差補正が行われない場合があります。
- 自動時刻・時差補正とデュアル時計設定を「ON」に設定すると、海外で利用中の通信事業者のネットワークによる時差補正情報を受信したときにデュアル時計が表示されます。

おしらせ

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
- 自動電源ON／OFF設定
- 目覚まし
- マチキャラ
- ｉアプリの自動起動機能
- ｉアプリDX
- 日付・時刻を利用するFlash画像
- ソフトウェア更新
- パターンデータ更新
- スケジュール帳（データ送受信やスケジュールデータの表示含む）
- 再生制限が設定されているｉモーションの取得、再生
- ランダムイメージ設定（「スライドオープン」「スピードセレクター」切替以外）
- GPS位置提供可否設定の許可期間設定
- 著作権保護により再生制限が設定されている着うたフル®のダウンロード／WMAファイルの再生
- うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®の再生／再生期限更新／着信音設定

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「---------------」などと表示されます。さらに区別のための枝番が付くこともあります。
- リダイヤル／着信履歴
- 伝言メモ／音声メモ
- カメラで撮影した静止画／動画の日時
- メモ帳
- 送信メール／未送信メールの日時
- メール送信履歴
- サウンドレコーダーで録音した音声の日時
- 通話時間／通話料金の前回リセット日時
- バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時
- ｉアプリ（詳細情報）のダウンロード日時
- トルカの受信日時
- GPSの位置履歴
- 作成したメールテンプレートの保存日時
- ダウンロードしたデータやファイルの保存日時
- うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®の詳細情報の再生期限

● 自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。

相手に自分の電話番号を通知する　発信者番号通知

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号(発信者番号)を表示させせます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

1 Menu 8 7 4 1 1

- 設定内容を確認する：Menu 8 7 4 1 2 ▶「はい」

2 **ネットワーク暗証番号を入力▶ 1**

- 通知しない：2

おしらせ

- 発信者番号を通知／非通知にする方法は複数あります。複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。
  ①発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合☛P61
  ②相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けた場合☛P61
  ③電話帳データに発番号設定をした場合☛P116
  ④発信者番号通知を設定した場合
- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。
- プッシュトークの発信者番号通知については、プッシュトークでの設定が必要です。☛P97

Menu 49

自分の電話番号を確認する　自局番号

自分の電話番号(自局電話番号)や名前、メールアドレスなどを確認します。

お買い上げ時　自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録

1 Menu 0

- iモードのメールアドレスを設定・確認するには☛P224

■ **通話中などに自分の電話番号を確認する：**[key] 0

おしらせ

- 2in1をご契約の場合に、FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)を行うときは、正しいBナンバーを取得するために、FOMAカードを差し替える前に2in1をOFFにし、FOMAカードを差し替えた後に再度2in1をONにしてください。☛P427
  また、FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)を行うときも、正しい所有者情報に更新するために、FOMAカードを差し替える前に2in1をOFFにしてください。
- 2in1がAモードまたはデュアルモードのときは、自局電話番号欄にAナンバーが表示されます。Bモードのときは、Bナンバーが表示されます。デュアルモードのときは、[key]を押してAナンバーとBナンバーの表示を切り替えられます。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの映像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電なども表示できます。

- キャラ電について☛P332
- テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

※2：3G-324M…第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

テレビ電話通話中の画面の見かた

❶	親画面	お買い上げ時は、相手側の画像を表示
❷	テレビ電話アイコン	：テレビ電話利用中
❸	スピーカーホン機能	：ON　表示なし：OFF
❹	子画面	お買い上げ時は、自分側の画像を表示
❺	ズーム	×1～×2：標準～2倍（インカメラ） ×1～×16：標準～16倍（アウトカメラ）
❻	状態	：自画像送信中　：カメラオフ画像送信中 ：キャラ電送信中　：フレーム送信中 ：静止画送信中　：通話保留中 ：応答保留中　：伝言メモ録画中 ：動画メモ録画中
	アクションモード	ACTION：全体アクション　PARTS：パーツアクション
❼	撮影モード	AUTO：フルオート　など 他の撮影モードのアイコンについては☛P81
❽	コンパクトライト	表示なし：消灯　：点灯
❾	送信画質	表示なし：標準　：動き優先　HQ：画質優先
❿	音声・映像の送受信状態	：音声送受信中　：映像送受信中 ：音声・映像送受信中
	スピーカー音量／受話音量	1～6：スピーカーホン音量／受話音量調整中
⓫	接写撮影	表示なし：OFF　：ON（アウトカメラ）
⓬	テレビ電話／音声電話切替機能	表示なし：切り替え不可　：切り替え可※1
⓭	通話時間	時：分：秒の形式で表示

※1：発信時のみ表示されます。

電話／テレビ電話をかける

1 電話番号を入力

090XXXXXXXX

- 一般電話にかける場合は、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 電話番号は80桁まで入力できます。ただし、表示されるのは24桁です。
- 電話番号を訂正する：クリア
- 待受画面に戻す：クリア（1秒以上）

2 ☎（音声電話）または（テレビ電話）

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

音声電話のとき

通話中

090XXXXXXXX
08秒

通話中画面

テレビ電話のとき

テレビ電話接続 0:04

接続中画面

00:00:22

通話中画面

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。テレビ電話のときは、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。☎を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- 相手の携帯電話や PHS の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、接続できないことをガイダンスでお知らせします。
- テレビ電話接続中は、自分の画像が表示されます。
- 「テレビ電話接続」と表示された時点から課金が始まります。
- テレビ電話通話中は相手の声がスピーカーから聞こえます（スピーカーホン機能）。
- テレビ電話の場合、相手の設定により代替画像などが表示される場合があります。
- 音声電話通話中は次の操作ができます。
  - ・着信履歴を表示する：　・リダイヤルを表示する：　・電話帳を利用する：

3 通話が終わったら☎

おしらせ

[共通]

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。☛P48
- マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してから電話をかけることができます。☛P426
- 2in1 がデュアルモードのときは、発信番号の選択画面が表示されます。「A ナンバー」または「B ナンバー」を選択します。

[音声電話]

- 音声電話の場合、操作2、操作1の順でも電話をかけられます。[☎]を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。

[テレビ電話]

- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され、待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
お話中です	相手が話し中です。※1
音声電話でおかけ直しください	相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合に表示されます。
上限額を超過しているため接続出来ません	ご利用金額がリミット機能付プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限を超えた場合に表示されます。
接続できませんでした	発信者番号通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
パケット通信中です	相手がパケット通信中です。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）。
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
i モードから接続してください	Vライブを利用するときに表示されます。i モードでIPのサイトに接続し、サイトの画面からテレビ電話をかけてください。

※ 1：相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

- テレビ電話をかけてつながらなかった場合、音声自動再発信を「ON」に設定しているときは、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。
- テレビ電話発信中や再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ることがあります。
- テレビ電話通話中に音声か映像、どちらかの通信が切れて[アイコン]（音声のみ）または[アイコン]（映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続される場合があります。
- 代替画像やキャラ電を利用しても、テレビ電話の通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。

通話中に保留にする　通話中保留

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

1 通話中に

保留中 点滅

090XXXXXXXX
13秒

On hold 保留　保留中　通話中保留画像

音声電話保留中　テレビ電話保留中

通話が保留になり、ガイダンス（通話保留音）が流れます。テレビ電話のときは、相手に通話中保留画像が表示されます。

- 音声電話の保留中にまたはを押すと、保留が解除されます。
- テレビ電話の保留中にを押すと、保留が解除され、保留前に送信していた画像に戻ります。またはを押すと保留が解除され自画像が、を押すと保留が解除され代替画像が相手に送信されます。

スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけられます。

例 音声電話のとき

1 電話番号を入力▶（1秒以上）

- スピーカーホン機能利用中は、ディスプレイ上部にが表示されます。
- 電話帳／リダイヤル／着信履歴／伝言メモ／音声メモの一覧から操作する場合も同様です。

■ **テレビ電話でかけるとき：電話番号を入力▶**

- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときやマナーモード中は、を1秒以上押します。

■ **プッシュトークでかけるとき：電話番号を入力▶**

- プッシュトークスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときやマナーモード中は、を1秒以上押します。

■ **通話中／プッシュトーク通信中にスピーカーホン機能を切り替える：またはか**

- 発信中、呼出中はを押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。

■ **スピーカーの音量を調整する：通話中に▶で音量調整**

- テレビ電話通話中はで音量を調節します。
- 設定は通話終了後も保持され、テレビ電話伝言メモの再生音の音量にも反映されます。

おしらせ

- スピーカーホン機能をONに切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- 周囲や相手側の雑音が大きく、聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能をOFFにして通話してください。
- FOMA端末に向かって約30cm以内の距離でお話しください。
- マナーモード中でもスピーカーホン機能を利用できます。

プッシュ信号（DTMF）を送出する

DTMF送信

・テレビ電話の場合、（自画像送信中）／（カメラオフ画像送信中）／（キャラ電送信中）のときにプッシュ信号（DTMF）を入力できます。

例 テレビ電話のとき

1 テレビ電話通話中に Menu 9 ▶ダイヤルキーで入力

入力した番号が画面に表示され、プッシュ信号（DTMF）が送出されます。

- プッシュ信号（DTMF）送出を解除する：クリア
- 自画像やカメラオフ画像送信中は Menu 9 を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号（DTMF）送出ができます。
- プッシュ信号（DTMF）を送出しようとすると、設定されたフレームや静止画は解除されます。
- プッシュ信号（DTMF）はダイヤルキーで送出するため、キャラ電送信中の場合はダイヤルキーによるアクション操作はできません。

■ **音声電話通話中にプッシュ信号を送出する：音声電話通話中にダイヤルキーで入力**

ポーズ、タイマーを入力する

ポーズとタイマーは音声電話のみ有効です。

例 「03XXXXXXXXP12345」（ポーズ「P」を入力）で発信したとき

電話がつながった後に を押すと、ポーズ以降の番号が送出されます。

通話中
P12345
13秒

通話中
03XXXXXXXX
14秒

ポーズ「P」を入力する

自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。ポーズ（P）が入力された箇所でダイヤルを区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出します。

1 ＊（1秒以上）

- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（T）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 **#（1秒以上）**

- タイマーは連続して入力できます。
- タイマー1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

おしらせ

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（P）、タイマー（T）を入力して電話をかけることはできません。

音声電話／テレビ電話を切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、通話中にサブメニューからの操作で音声電話とテレビ電話を切り替えられます。切り替えは、電話をかけた側の端末からのみ操作できます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応の端末どうしでご利用いただけます。
- 切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。☛P87

例 音声電話からテレビ電話に切り替えるとき

1 **音声電話通話中にMenu 1▶「はい」**

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 「いいえ」を選択すると音声電話通話中の画面に戻ります。
- テレビ電話動作設定でスピーカーホン設定を「ON」に設定している場合、テレビ電話に切り替わると、スピーカーホン機能がONになります。

■ **テレビ電話から音声電話に切り替える：テレビ電話通話中にMenu 1▶「はい」**

おしらせ

- 自分側がパケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中は、テレビ電話に切り替えられません。
- キャッチホンでの音声電話通話中は、テレビ電話に切り替えられません。
- 切り替えには、約5秒かかります。電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては音声電話とテレビ電話の切り替えができず、電話が切れる場合があります。
- スピーカーホン機能は、テレビ電話から音声電話へ切り替えると解除されます。
- テレビ電話通話中に行った設定（カメラの切り替えやフレーム選択など）は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。
- テレビ電話と音声電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 「切替中」と表示されている間は料金は課金されません。

Menu 46／Menu 45

リダイヤル／着信履歴を利用する

リダイヤル／着信履歴

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信履歴（リダイヤル）や、着信履歴を記録します。着信履歴からは電話に出られなかったときの不在着信の履歴や伝言メモが確認できます。

- 着信履歴、リダイヤルそれぞれ最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 2in1をご契約の場合、着信履歴とリダイヤルはAナンバー／Bナンバーでそれぞれ最大30件、合計で60件まで記録されます。Aモードのときは Aナンバーで発着信した履歴のみ、Bモードのときは Bナンバーで発着信した履歴のみ表示されます。デュアルモードのときや2in1がOFFのときは、すべての履歴が表示されます。

例 リダイヤルから電話をかけるとき

1 ▶リダイヤル一覧で相手を選ぶ

リダイヤル 1/1
07/10(火)10:00
+090XXXXXXXX
07/10(火)09:45
ドコモ太郎
07/10(火)09:30
友達

- 着信履歴から電話をかける：▶着信履歴一覧で相手を選ぶ
- 詳細画面を表示する：履歴を選択

2 （音声電話）または（テレビ電話）

- プッシュトークを発信する：
- 選んでいる履歴と同じ発着信の種別で電話をかける：詳細画面で
- 着もじ付きの着信履歴から電話をかけても、着もじは付きません。
- 2in1がONのときは、発着信時のナンバーに従って発信されます。2in1がOFFのときは、発着信のナンバーに関わらずAナンバーで発信されます。

■ **プッシュトーク履歴からメンバーを選んで発信する：プッシュトーク履歴を選択▶▶メンバーを選択▶または**

リダイヤル／着信履歴一覧の操作

以下の電話帳登録などの操作は、詳細画面からも同様に行えます。

■ **電話帳に登録する：**

① **履歴を選びMenu 4 1**

- 登録済みの電話帳データに追加する：Menu 4 2
- プッシュトーク履歴（複数の相手）の場合は相手を選択します。

② **1～2▶名前やメールアドレスなどを登録☛P103、P106**

- 登録済みの電話帳データに追加する：1～2▶相手を選択▶登録内容を修正☛P113

■ **プッシュトーク電話帳に登録する：履歴を選びMenu 4 3▶「はい」**

- 相手がFOMA端末電話帳に登録されていないと、登録できません。
- プッシュトーク履歴（複数の相手）を選んだときは、Menu 4 3を押し、相手を選択した後、□を押し、「はい」を選択します。

■ **プッシュトーク電話帳のグループに登録する：履歴を選びMenu 4 4▶グループ名を入力▶□**

相手がプッシュトーク電話帳に登録されているプッシュトーク履歴（複数の相手）の場合に登録できます。

■ **リダイヤル／着信履歴を削除する：**

- 詳細画面では複数削除はできません。

① **履歴を選びMenu 5 1**

- 複数削除する：Menu 5 2▶履歴を選択▶□
- 全件削除する：Menu 5 3▶端末暗証番号を入力

② **「はい」**

■ **SMSを作成する：履歴を選び✉（1秒以上）**

履歴の電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。

- ✉を押すと、履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、メールアドレスが宛先に設定されたｉモードメールの作成画面が表示されます。複数のメールアドレスが登録されている場合は、メールアドレスを選択します。
  メールアドレスが登録されていない場合は、履歴の電話番号が宛先に設定されたSMSの作成画面が表示されます。
- プッシュトーク履歴の場合は、相手が一人のときに有効です。

■ **画像を詳細画面に表示するかどうかを設定する：履歴の詳細画面でMenu 8▶1～3**

- 詳しくは☛P113

■ **その他に一覧から行える操作**

- リダイヤル／着信履歴一覧を切り替える：Menu 6
- メール送信履歴に切り替える：リダイヤル一覧で□
- メール受信履歴に切り替える：着信履歴一覧で□
- プッシュトーク履歴の詳細画面を表示する：プッシュトーク履歴を選択▶●▶メンバーを選択

おしらせ

- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、発着信時の種別（音声電話／テレビ電話）が履歴に記録されます。
- 同じ電話番号に音声電話またはテレビ電話をかけた場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」のそれぞれについて最新の1件のみがリダイヤルに記録されます。同じ電話番号にプッシュトークで発信した場合は別の履歴として記録されます。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。
- マルチナンバーに登録している発信番号を選択するには☛P426
- 2in1がデュアルモードのときに、ナンバーを選択して発信するには☛P61

かかってきた電話やプッシュトークに出られなかったとき（不在着信）

（数字は件数）が表示され、着信履歴に記録されます。☛P35

- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

おしらせ

- 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信を含むすべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴一覧で[Menu][8][1]を押します。呼出開始時間内の着信履歴を表示しないようにする場合は、[Menu][8][2]を押します。

リダイヤル／着信履歴一覧画面の見かた

例　リダイヤルのとき

一覧画面

詳細画面

	項目	説明
①	日時	発着信日時（海外滞在時は滞在地の日時）
②	アイコン	電話帳に登録したアイコン※1 • プッシュトークグループの発信の場合は が表示されます（一覧画面のみ）。
③	国際電話	：海外滞在時の発着信※2
④	2in1の発着信※3	表示なし：Aナンバー　：Bナンバー
⑤	呼出時間※4	不在着信の場合のみ表示
⑥	通信の種別	／（国内／国際）：音声電話 ／（国内／国際）：テレビ電話 ／（国内／国際）：64Kデータ通信（着信履歴のみ） ／（一人／複数の相手）：プッシュトーク ／（一人／複数の相手）：プッシュトークプラスでのプッシュトーク☛P90
⑦	発信番号の通知／非通知※5	No.：通知　：非通知
	応答の状況（着もじ付き／着もじなし）	／表示なし：応答済み ／：不在着信（確認済み） ／：不在着信（未確認） ／：伝言メモ ／：伝言メモ（削除済み）
⑧	相手の情報	電話番号（一覧画面のみ）、名前※6または以下のいずれか • リダイヤルの場合、プッシュトークのグループ名（一覧画面のみ）※7 • 着信履歴の場合、発信者番号非通知理由
⑨	着もじ	着もじ付きの着信
	相手の情報	プッシュトークのグループ名（詳細画面のみ）
⑩	画像	電話帳に登録されている画像※8
⑪	マルチナンバーの名称	マルチナンバーを契約している場合※9（発着信した基本契約番号の名称または付加番号の名称）
⑫	電話番号	着信履歴の場合、相手の電話番号が通知されなかったときは表示なし

※1：電話番号が電話帳に登録されている場合（シークレット属性が設定されている電話帳でシークレットモード中でない場合、パーソナルデータロック中は非表示）

※2：タイムゾーンが「GMT+09:00」のときは表示されない場合があります。

※3：2in1がデュアルモードのとき
※4：100秒以上の場合、一覧画面では「99"」と表示
※5：発信オプション、電話帳の発番号設定、プッシュトーク番号通知設定で通知／非通知を設定した場合に表示
※6：電話番号が電話帳に登録されている場合（シークレット属性が設定されている電話帳でシークレットモード中でない場合、一覧画面では電話番号を表示、詳細画面では表示なし）
※7：グループ発信以外で複数の相手とプッシュトーク通信したときは、先頭のメンバーの名前
※8：電話帳に登録されている場合は画像／名前表示切替に従って表示
※9：リダイヤルの場合は、発信オプションで発信した場合に表示

着もじを設定する

着もじ

音声電話やテレビ電話をかける際に、相手の着信画面にメッセージ（着もじ）を表示することで、あらかじめ用件や緊急度を伝えることができます。

着信中
ドコモ太郎
090XXXXXXXX
どこで!?する？

- 対応機種：902iSシリーズ、SH902iSL、N902iX HIGH-SPEED、N902iL、903i シリーズ、904i シリーズ、702iS シリーズ（N702iS、M702iS、M702iGを除く）、703iシリーズ、601iシリーズ（L601iを除く）、D800iDS
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金はかかりません。
- 受信した着もじは着信履歴に記録されます。
- オールロック中、パーソナルデータロック中に電話がかかってきた場合、着もじは受信できますが、着信画面には表示されません。ロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

着もじが相手側の着信画面に表示されます。通話を開始すると着もじは消えます。

着もじメッセージの編集や設定をする

着もじを作成する

- 最大10件登録できます。

1 Menu 8 7 3 1

メッセージ作成 1/1
<新しいメッセージ>

2 **「<新しいメッセージ>」**

メッセージ作成
メッセージ内容

■ **送信メッセージの履歴を引用する：Menu 1 ▶ 着もじを選択 ▶ 操作4に進む**

■ **削除する：**
① **着もじを選びMenu 2**
- 全件削除する：Menu 3

② **「はい」**

3 **着もじを入力（全角・半角を問わず10文字まで）**
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字（デコメ絵文字は除く）を入力できます。

4 Menu

- 登録済みの着もじを編集したときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。

着もじを受信するときの条件を設定する　メッセージ表示設定

お買い上げ時　番号通知ありのみ

1 Menu 8 7 3 2 ▶ 1 〜 4

すべて表示　　　：すべての着もじを表示します。
表示しない　　　：着もじを表示しません。
電話帳登録番号のみ：電話帳に登録されている相手からの着もじのみ表示します。
番号通知ありのみ　：発信者番号を通知してきた相手からの着もじのみ表示します。

着もじメッセージを付けて電話をかける

- 着もじは最大10件記録されます（送信メッセージ履歴）。10件を超えると古いものから順に消去されます。
- 2in1をご契約の場合、送信メッセージ履歴はAナンバー／Bナンバーでそれぞれ最大10件、合計で20件まで記録されます。AモードのときはAナンバーで送信した送信メッセージ履歴のみ、BモードのときはBナンバーで送信した送信メッセージ履歴のみ表示されます。デュアルモードのときや2in1がOFFのときは、すべての送信メッセージ履歴が表示されます。

1 **電話番号を入力▶** Menu 3

2 **着もじを選択**

■ **メッセージを作成する：1 ▶着もじを作成**
- 作成方法は「着もじを作成する」の操作3以降と同じです。☛P59

■ **登録済みの着もじから選択する：2 ▶着もじを選択**

■ **送信メッセージ履歴から選択する：3 ▶着もじを選択**
- 2in1がデュアルモードのときは、Bナンバーの送信メッセージ履歴にはBが表示されます。

3 Menu

- 着もじが相手側の端末に届いた場合は「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
- 相手が対応端末でない場合や、メッセージ表示設定の設定により着もじが届かなかった場合などは「送信できませんでした」と表示され、送信料金はかかりません。

おしらせ

● 着もじはプッシュトークに対応していません。
● 相手側が以下のような場合、相手側の端末に着もじは届かず、着信履歴にも記録されません。また、発信側に送信結果は表示されません。この場合は、送信料金はかかりません。
　・圏外のときや電源が入っていない場合　　・公共モード（ドライブモード）中
　・伝言メモの応答時間を「0秒」に設定している場合　など
● 相手側の端末に着もじが届いていても、電波状態によって、発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合は送信料金がかかります。
● 相手が呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内に着もじ付きの着信を受けた場合、着もじは表示され、着信履歴に記録されます。この場合は発信側に送信料金がかかります。
● 海外での利用時には着もじを送受信することはできません。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする　186／184

電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加します。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。

発信者番号を通知する

1 **[1][8][6]▶電話番号を入力▶[音声電話キー]（音声電話）または[テレビ電話キー]（テレビ電話）**

発信者番号を通知しない

1 **[1][8][4]▶電話番号を入力▶[音声電話キー]（音声電話）または[テレビ電話キー]（テレビ電話）**

おしらせ

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手の電話番号に「186」／「184」を付けて発信した場合、「186」／「184」も付いた電話番号がリダイヤルに記録されます。
- 番号通知方法の優先順位について☛P48

条件を設定して電話をかける　発信オプション

音声電話／テレビ電話をかけるたびに、発信時の条件を設定します。
- プッシュトークグループの場合は、発信方法と発信者番号の通知／非通知のみ設定できます。

1 **電話番号を入力▶[Menu][2]**

■ **国際電話をかける：国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[Menu][2]**
- 国際電話をかける場合、地域番号（市外局番）が「0」で始まるときは「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになるときは「0」が必要です）。

2 **各項目を設定**

着もじ　：相手に送信する着もじを作成または選択します。☛P60

マルチナンバー／自局番号：
利用する番号を選択します。
- マルチナンバーの発信方法について☛P426
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときに「自局番号」が表示されます。デュアルモードのときは「Aナンバー」「Bナンバー」から選択します。

発信方法　：「音声電話」「テレビ電話」「プッシュトーク」から選択します。

番号通知　：発信者番号の通知／非通知を設定します。
- 番号通知方法の優先順位について☛P48
- プッシュトークの番号通知方法の優先順位について☛P98

プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス☛P64）を選択します。

国際電話発信　：国際ダイヤルアシスト設定で設定した国際アクセス番号または国番号に置き換えるかどうかを設定します。☛P63
- 国内で「ON」に設定した場合、電話番号の先頭に「+」が入力されていると、国際プレフィックスを設定できます。「+」が入力されていないときは、国番号も設定できます。

国際プレフィックス：
国際ダイヤルアシスト設定で設定した国際アクセス番号を選択します。

国番号　：国際ダイヤルアシスト設定で設定した国番号を選択します。

3 Menu

設定した内容で電話がかかります。
- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合には、 を押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。
- 国際電話発信を「ON」に設定したときは、Menuを押した後、「はい」を選択します。Menuを押した後、「元の番号で発信」を選択すると、着もじと発信方法以外の設定を解除して発信します。

おしらせ
- リダイヤル／着信履歴／伝言メモ／音声メモ一覧、自局番号の詳細画面、プッシュトーク電話帳のメンバー／グループ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧では、Menuを押し「発信オプション」を選択します。
- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の電話帳一覧や詳細画面では電話番号を選んでから、Menuを押し「発信オプション／メール」→「発信オプション」を選択します。
- 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

国際電話を利用する　WORLD CALL

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話方法

0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 電話番号を入力 ▶
- 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
  - ・FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

• 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ・ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
• 一部ご利用できない料金プランがあります。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
• 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
• 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

国際電話の設定をする　国際ダイヤルアシスト設定

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に入力した「+」を、本設定で設定した国際アクセス番号に置き換えて発信するかどうかや、海外からかけるときに国番号を付加するかどうかを設定します。

お買い上げ時　国番号変換：ON（国番号：81、国名称：日本）
国際プレフィックス変換：ON（名称：World Call、国際アクセス番号：009130010）

自動変換機能を設定する

1 Menu 8 8 2 1 ▶ **各項目を設定** ▶ 🕮

国番号変換：海外での利用時に、自動的に国番号に置き換えるかどうかを設定します。
• 「ON」に設定したときは国番号を選択します。

国際プレフィックス変換：
国内での利用時に、「+」を自動的に国際アクセス番号に置き換えるかどうかを設定します。
• 「ON」に設定したときは国際アクセス番号を選択します。

国番号を編集する

• 最大22件登録できます。

1 Menu 8 8 2 2

2 **項目を選択**

■ **自動変換する国番号を設定する：項目を選び** 🕮
設定した国番号に ✔ が表示されます。

■ **削除する：項目を選び** Menu 3 ▶ **「はい」を選択**

3 **国名称欄** ▶ **入力（全角8文字（半角16文字）まで）**

4 **国番号欄** ▶ **入力（5桁まで）** ▶ 🕮

国際プレフィックスの国際アクセス番号を登録する

• 最大3件登録できます。

1 Menu 8 8 2 3

2 「<未登録>」

■ **自動変換する国際アクセス番号を設定する：項目を選び** [帳]

設定した国際アクセス番号に ✔ が表示されます。

■ **削除する：項目を選び** Menu 3 ▶「はい」

3 **名称欄 ▶ 入力（全角8文字（半角16文字）まで）**

4 **国際アクセス番号欄 ▶ 入力（10桁まで）▶** [帳]

「+」を利用して国際電話をかける

先頭に「+」が付いている電話番号に電話をかけるときは、国際ダイヤルアシスト設定に従って置き換えるかどうかの確認画面が表示されます。

• 国際プレフィックス変換を「ON」に設定したときに有効です。

1 **0（1秒以上）▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 電話番号を入力 ▶** [発信]

• 0 を1秒以上押すと「+」が入力されます。
• 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）。
• 国番号に日本の国番号「81」を入力した場合は、国際アクセス番号に置き換わりません。

2 **「はい」**

• 「元の番号で発信」を選択すると「+」は変換されずに発信されます。

電話番号の先頭に付加する番号を設定する　プレフィックス設定

国際アクセス番号や「184」「186」など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ登録しておくと、電話番号を入力した後に、簡単にプレフィックスを付加して電話をかけられます。**☛P61**

お買い上げ時　009130010

1 Menu 8 4 6 2

2 **プレフィックス1～3欄 ▶ 入力（10桁まで）▶** [帳]

• 最大3件登録できます。
• 番号（プレフィックス）にはポーズ、タイマーを含めないでください。ポーズ、タイマーを含めて設定すると、プレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

サブアドレスを指定して電話をかける　サブアドレス設定

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定します。
- 映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

サブアドレスの設定を有効にする

お買い上げ時　ON

1 [Menu][8][4][6][3]▶[1]～[2]

サブアドレスを指定して電話をかける

1 **電話番号を入力▶[＊]▶サブアドレスを入力**
- Vライブに接続するときなどに、電話番号の先頭に「＊」を入力しても発信できます。

2 **[音声電話キー]（音声電話）または[テレビ電話キー]（テレビ電話）**
- 相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

おしらせ

● サブアドレス設定を「ON」に設定していても、ポーズやタイマー、「#」を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号(DTMF)として送出されます。

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する　再接続アラーム音

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話、テレビ電話、プッシュトークを、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

お買い上げ時　アラーム高音

1 [Menu][8][1][1][7][4]▶[1]～[3]

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする　ノイズキャンセラ設定

通話中の周囲の騒音を抑えることによって、自分の声が相手に、また相手の声も明瞭に聞きとれるようになります。
- 通常は、「ON」に設定した状態でのご使用をおすすめします。

お買い上げ時　ON

1 [Menu][8][4][7][1]▶[1]～[2]

車の中で手を使わずに話す　車載ハンズフリー

FOMA 端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と、USB接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット 01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

おしらせ

- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でのマナーモードや着信音の設定に関わらずハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけた／受けた場合、相手には代替画像が送信されます。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、通話中クローズ設定の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は継続されます。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、決定キーの照明が点灯／点滅します。

2 [通話]

通話時間が表示されます。

音声電話のとき　　テレビ電話のとき

通話中
090XXXXXXXX
08秒

テレビ電話接続　0:04

00:00:22

通話中　　接続中　　通話中

- 音声着信の場合、[通話]以外に[0]～[9]、[＊]、[＃]を押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。☛P69
- テレビ電話接続中は、自分の画像がディスプレイに表示されます。
- テレビ電話の場合、[テレビ電話]を押しても受けられます。
- テレビ電話通話中は、相手の声がスピーカーから聞こえます（スピーカーホン機能）。
- テレビ電話の場合、相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。

■ **代替画像でテレビ電話を受ける：[メール]**

テレビ電話がつながったときから、相手には代替画像が送信されます。

- 代替画像にキャラ電を設定していても、キャラ電が表示されないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。

3 通話が終わったら[終話]

ディスプレイの表示について

着信中の相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。名前や電話番号を表示しないように設定できます。☛P169

■ 相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、電話番号が表示されます。また、電話着信設定またはテレビ電話着信設定などで設定した画像が表示されます。

- 着信画像の優先順位について☛P142

相手の電話番号が電話帳に登録されている場合には名前と電話番号が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは電話帳に設定した画像や動画／ｉモーションも表示されます。☛P142

- 受信した着もじは着信履歴に記録されます。

着もじ☛P59

■ 相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知理由	理　由
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります）

着信中にサブメニューから実行できる操作

通話中着信動作選択を「通常着信」に設定していると、通話中に別の音声電話がかかってきたときもサブメニューから同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 **着信拒否**	電話が切れます（相手側に通話料金はかかりません）。
2 **留守番電話**※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 **転送でんわ**※2	かかってきた電話を転送先へ転送します。

※１：留守番電話サービスをご契約いただいている場合に有効です。
※２：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

音声電話通話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、音声電話通話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス※1	留守番電話サービスセンターに接続します。
キャッチホン	通話中の音声電話を保留にし、かかってきた音声電話に応答します。
転送でんわサービス※1	転送先へ転送します。

※１：通話中着信設定を開始に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定した場合にサブメニューから操作できます。

- キャッチホンをご契約されていない場合は、通話中着信音が鳴っても電話は受けられません。

おしらせ

- FOMA 端末から転送された電話を着信した場合は、転送元の電話番号が電話帳に登録されていないときは電話番号が、電話帳に登録されているときは名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。
- 電話帳や電話着信設定などで電話着信時の画像に動画／ｉモーションを設定していても、音声通話中に音声電話の着信があった場合は動画／ｉモーションは再生されず、最初のコマが表示されます。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- 電話帳に登録されていない相手からの着信に対して、着信を拒否したり（☛P175）、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定（☛P174）できます。
- 電話帳に登録されている相手に対して着信拒否を設定できます。☛P172
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を 3G-324M に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合、テレビ電話は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送先を設定してください。

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

- 切り替え操作は、電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは切り替え操作を行うことはできません。
- 切替要求を受けるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P87

例 音声電話からテレビ電話へ切り替えて電話を受けるとき

1 音声電話通話中にテレビ電話への切替要求を受ける

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2「はい」

テレビ電話に切り替わり、相手側に自画像が送信されます。

- 代替画像（カメラオフ画像）を送信する：「いいえ」
- 「はい」を選択したときに初めて自画像が送信されます。

■ **テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける：テレビ電話通話中に音声電話への切替要求を受ける**

切替中
しばらくお待ちください。
Please wait...
ドコモ太郎
090XXXXXXXX

テレビ電話から音声電話へ自動的に切り替わります。

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

ダイヤルキーを押して電話に出られるようにする　エニーキーアンサー設定

電話がかかってきたとき、[通話]以外に[0]～[9]、[＊]、[＃]を押して電話に出られるようにします。

- 本機能は音声電話とプッシュトークに有効です。ただし、通話中着信時は無効です。

お買い上げ時　ON

1 [Menu][8][4][3]▶[1]～[2]

FOMA端末を開いて通話を開始する　着信中オープン応答

- 本機能は音声電話にのみ有効です（プロテクトキーロック中も有効です）。

お買い上げ時　OFF

1 [Menu][8][4][6][4]▶[1]～[2]

FOMA端末を閉じて通話を切断／継続／保留する　通話中クローズ設定

・64Kデータ通信中、パケット通信中は、本機能は動作しません。
・プッシュトークの場合は、FOMA端末を閉じることで切ることができます。プッシュトーク中クローズ設定で設定します。

お買い上げ時　通話継続

1 Menu 8 4 7 2 ▶ 1 ～ 3

切断　：通話を終了します。
通話継続：通話を継続します。
通話保留：通話を保留します。相手にはガイダンス（通話保留音）が流れます。

おしらせ

● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や市販のハンズフリー対応機器などを接続して通話中に FOMA 端末を閉じた場合、接続中の機器から音を鳴らすように設定しているときは、本機能の設定に関わらず通話は継続されます。この状態で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）やハンズフリー対応機器を外しても通話は継続されます。
● 伝言メモ録音／録画中にFOMA端末を閉じた場合、本設定に関わらず録音／録画は継続されます。
● 通話中音声メモ録音中／動画メモ録画中にFOMA端末を閉じた場合は、本設定に従って動作します。「通話保留」に設定している場合、保留直前までに録音／録画していた内容が保存されます。

通話中に相手の声の音量を調整する　受話音量

・Level1（最小）～Level6（最大）の6段階で調整できます。
・通話中に変更された受話音量は、通話終了後も保持されます。また、電源を切っても保持されます。

お買い上げ時　Level4

1 **通話中に** ▶ **で音量調整**

を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。
・音量を大きくする：またはを
・音量を小さくする：または
・テレビ電話通話中はで音量を調節します。

おしらせ

● 待受中に受話音量を調整する方法、受話音量に連動する音量については☛P130

着信中に着信音の音量を調整する　着信音量

- 「silent」（消音）、Level1～Level6の7段階で調整できます（着モーションも7段階になります）。
- 着信中に変更された着信音量は、通話やプッシュトーク通信を終了すると元に戻ります。

お買い上げ時　Level4

1　着信中に◎▶◎で音量調整

◎を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。
- 音量を大きくする：◎または◎
- 音量を小さくする：◎または◎

おしらせ

- 着信音とバイブレータの動作を止める：着信中に[カメラ]
- 着信中はSTEPTONE（約3秒ごとに、消音→Level1→…→Level6で着信音が鳴る）には設定できません。
- 待受中に着信音量を調整する方法、着信音量に連動する音量については☛P130

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する　優先通信モード設定

音声電話通話中にパソコンとつないだパケット通信の着信があったとき、またはｉモード中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

- 音声電話通話中にｉモードメールやメッセージR/Fを受信したときは、本設定に関わらず、音声電話通話中の画面が優先して表示されます。
- 本設定により画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

お買い上げ時　設定なし

1　[Menu][8][4][6][1]▶[1]～[3]

設定なし　：表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。

音声通話表示優先　：音声電話通話中の画面を優先して表示します。

パケット通信表示優先：音声電話通話中はパケット通信中の画面を、ｉモード中はｉモード中の画面を表示します。
- [✉]を押すと、画面切替メニューが表示され、電話を受けられます。

すぐに電話に出られないときに保留にする 応答保留

・応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に[通話キー]

音声電話応答保留中　　テレビ電話応答保留中

応答保留になります。相手に応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話のときは、自分と相手に応答保留画像が表示されます。

・応答保留中に[通話キー]を押すか、相手が電話を切ると、電話が切れます。

2 電話に出られる状態になったら[通話キー]

・テレビ電話の場合は[テレビ電話キー]または[通話キー]を押します。[メールキー]を押すと、相手には代替画像（☛P86）が送信されます。

おしらせ

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約の場合は、着信中に[Menu]を押し「留守番電話」／「転送でんわ」を選択すると、留守番電話への切り替えや電話の転送ができます。

応答保留ガイダンスを設定する 応答保留ガイダンス設定

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音することもできます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 音声電話、テレビ電話ともに、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

お買い上げ時 内蔵音

例 録音データをガイダンスに設定するとき

1 Menu 8 1 1 7 1 ▶**保留音欄**

2 2

- お買い上げ時のガイダンスに戻す：1 ▶操作4に進む

3 **ガイダンスの編集欄の「録音」▶発信音（ピーッ）の後に応答保留ガイダンスを話す**

応答保留ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ録音中

録音可能時間の目安

応答保留ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ設定
保留音 録音ﾃﾞｰﾀ
ｶﾞｲﾀﾞﾝｽの編集 再生 録音 削除

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約 10 秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音を途中で停止する：
- 録音したガイダンスを確認する：「再生」を選択
- 録音し直すときは「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音してください。

4

おしらせ

- 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。
- 保留音を「内蔵音」に設定すると、応答保留時に相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

通話保留音を設定する 通話保留音

- 音声電話、テレビ電話ともに、通話保留中はここで設定したメロディが流れます。

お買い上げ時 保留音・ボイス

1 Menu 8 1 1 7 2 ▶ 1 〜 3

- メロディを再生する：メロディを選び

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定／解除は、待受中のみできます（画面に「圏外」が表示されている時でも可能です）。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

公共モード（ドライブモード）を設定する

1 ［＊］（1秒以上）

公共モードが設定され、待受画面に🚗が表示されます。

着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

■ **解除する：［＊］（1秒以上）**

■ 公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても、着信音は鳴りません。待受画面には［1］（数字は件数）が表示され、着信履歴に記録されます。

電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- プッシュトーク着信の場合は着信音も鳴らず、着信画面も表示されません。待受画面には［1］（数字は件数）が表示され応答できません。発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して運転中であることを通知します。

■ 公共モード（ドライブモード）中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードのガイダンスが流れます。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
キャッチホン	公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れた後、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。

※1：呼出時間を「0秒」に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れません。

おしらせ

- 公共モード中は、次の音が鳴りません。また、バイブレータも動作せず、着信などを知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。
  - 着信音
  - 目覚まし音
  - スケジュール音
  - お知らせタイマーのアラーム音
  - ｉアプリのサウンド
  - 充電確認音
  - 電池アラーム音
  - GPSの鳴動音
  - 通話料金上限通知アラーム（通話料金上限通知の設定を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません）
- 公共モード中でも、次の音は鳴ります。
  - キー確認音
  - スピードセレクター音
  - シャッター音
  - スライド音
- 公共モード中は、ｉチャネルのテロップや着もじは表示されません。
- メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。ただし、ｉモード問合せを行った場合は、受信中画面や受信結果画面が表示されます。
- 公共モード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、公共モードは解除されます。ただし、テレビ電話で発信した場合は、解除されません。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定した後、電源を切った際の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（電源OFF）を設定する

1 *25251▶（発信キー）

公共モード（電源OFF）が設定されます。待受画面上の変化はありません。
続けて電源を切ると、公共モード（電源OFF）が動作します。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ **解除する**：*25250▶（発信キー）

■ **設定を確認する**：*25259▶（発信キー）

■ **公共モード（電源OFF）を設定すると**

「*25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源 OFF）ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- プッシュトーク着信の場合は応答を行わず、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。

■ 公共モード（電源OFF）中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードのガイダンスが流れます。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※１：呼出時間を「0秒」に設定している場合、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れません。

電話に出られないときに用件を録音／録画する　伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音／録画されます。

- 音声電話・テレビ電話合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画できます。
- 2in1をご契約の場合、AナンバーとBナンバーで着信した伝言メモを合わせて最大4件録音／録画できます。AモードのときはAナンバーに着信した伝言メモのみ、BモードのときはBナンバーに着信した伝言メモのみ表示されます。デュアルモードのときや2in1がOFFのときは、すべての伝言メモが表示されます。
- 音声電話の場合は相手の声だけ録音されます。テレビ電話の場合は相手の画像も録画されます。
- 電話がかかってきてから応答ガイダンスを再生するまでの時間を変更できます。
- 自分の声で応答ガイダンスを作成できます。
- プッシュトークの場合、伝言メモは動作しません。
- 伝言メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りください。
  FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音／録画内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Menu 4711

伝言メモを設定する

お買い上げ時　停止する

1 [📷][1][1]

待受画面に が表示されます。

■ 解除する：[📷][1][2]

クイック伝言メモで応対する

伝言メモ機能を開始に設定していなくても、着信中に[カメラキー]を1秒以上押すと、伝言メモ機能を1回だけ動作させることができます。この操作は伝言メモ機能を開始に設定する操作ではありません。

おしらせ

- 伝言メモが4件録音／録画されると、待受画面に[アイコン]が表示されます。この場合、伝言メモを解除してもアイコンは消えません。
- 伝言メモが既に4件録音／録画されている場合は、伝言メモを設定できません。また、クイック伝言メモを動作させようとすると、警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。

伝言メモの設定中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

応答時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答ガイダンスの画面が表示されます。

- 伝言メモ応答ガイダンスを「内蔵音」に設定しているときは、相手には「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後にお名前、ご用件をお話しください。」というガイダンスが流れます。録音したガイダンスを流すときは、「録音データ」に設定します。

2 相手のメッセージを録音または録画

伝言メモ録音中

090XXXXXXXX

録音／録画可能時間の目安

Recording
伝言メモ 録画中

音声電話伝言メモ録音中　　テレビ電話伝言メモ録画中

- 録音／録画の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と鳴ります。また、録音／録画開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音または録画が終了すると、電話が切れる

待受画面に[アイコン 1]（数字は件数）が表示されます。

おしらせ

- 電源が入ってないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービス（有料）をご利用ください。
- 伝言メモが既に4件録音／録画されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが作動します。
- 公共モード（ドライブモード）中は公共モード（ドライブモード）が優先され、伝言メモ機能は動作しません。
- 電波の状態により、録音内容が途切れたり、画像が乱れる場合があります。
- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中に別の電話がかかってきた場合は、着信を拒否して応答ガイダンス、録音／録画を継続します。留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただいている場合、着信を拒否した電話は着信履歴に記録されます。
- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でも電話に出られます。音声電話の場合は、[通話キー]を押します。テレビ電話の場合、自画像を送信するには[通話キー]または[テレビ電話キー]を押します。代替画像を送信するには[メールキー]を押します。
電話に出た場合、それまで録音／録画された内容は記録されません。

Menu 4713

応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する

伝言メモ応答時間設定

お買い上げ時 13秒

1 [カメラ][1][3] ▶ **応答時間を入力（0～120秒）**

- 時間を増減する：[方向キー]

おしらせ

- オート着信機能設定・留守番電話サービス・転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間をオート着信機能設定・留守番電話サービス・転送でんわサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。この場合は、クイック伝言メモで応答してください。
- オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。

Menu 4714

応答ガイダンスを設定する

伝言メモ応答ガイダンス設定

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。

お買い上げ時 内蔵音

例 録音データをガイダンスに設定するとき

1 [カメラ][1][4] ▶ **伝言メモ応答ガイダンス欄**

2 [2]

- お買い上げ時の応答ガイダンスに戻す：[1] ▶ 操作4に進む

3 **ガイダンスの編集欄の「録音」▶ 発信音（ピーッ）の後に応答ガイダンスを話す**

- 操作方法は応答保留ガイダンスを録音する場合と同じです。☛P73

4 [メニュー]

おしらせ

- 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。

伝言メモを再生する

伝言メモ一覧から、録音された伝言メモを再生／削除します。
- 未再生の伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。☛P35

1 [カメラ][2]

伝言メモ
ドコモ太郎
非通知設定
2007/07/10(火) 10:00
+090XXXXXXXX

伝言メモ一覧画面では、録音日時と相手の電話番号が表示されます。

1. **状態アイコン**
   - ：音声電話伝言メモ（未再生）
   - ：テレビ電話伝言メモ（未再生）
   - ：音声電話伝言メモ（再生済み）
   - ：テレビ電話伝言メモ（再生済み）
2. **Bナンバーへの着信（2in1がデュアルモードのとき）**
3. **海外滞在時の着信※1**
4. **国際電話の着信**
5. **電話番号／名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由**
6. **選ばれている相手の録音／録画日時（海外滞在時は滞在時の日時）**
7. **電話番号／発信者番号非通知理由**
8. **マルチナンバーの名称（マルチナンバーを契約している場合）**

※1：タイムゾーンが「GMT+9：00」の場合や、録音日時が記録されなかった場合は、表示されない場合があります。

2 再生する伝言メモを選択

伝言メモ再生中
090XXXXXXXX
経過時間の目安

音声電話伝言メモの場合

- 再生中は次の操作ができます。
  - [上下]：音量調整　[決定]：停止
  - [通話]：スピーカーホン機能の切り替え（音声電話伝言メモのみ）

■ **削除する：**
① **伝言メモを選び[Menu][2][1]**
- 全件削除する：[Menu][2][2]▶端末暗証番号を入力

② **「はい」**

■ **電話帳に登録する：**
① **伝言メモを選び[Menu][4]**
- 登録済みの電話帳データに追加する：[Menu][5]

② **[1]～[2]▶名前やメールアドレスなどを登録**☛P103、P106
- 登録済みの電話帳データに追加する：[1]～[2]▶相手を選択▶登録内容を修正☛P113

■ **電話をかける：伝言メモを選び[通話]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）**

3 「はい」または「いいえ」

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、自分の画像の代わりにキャラクタを送信します。

1 通話中に[Menu][3][2][1]▶フォルダを選択▶キャラ電を選択

キャラ電
© Disney
アクション一覧の
テロップ表示

- キャラ電を代替画像として送信中にダイヤルキーを押すと、キャラクタがキーに対応したアクションをします。また、以下の操作も行えます。
  [0]：アクションの中止
  [＊]：アクション一覧の表示
  - アクションを選択するとキャラクタが動きます。

  [＊]（1秒以上）：
  アクションモード（全体アクション／パーツアクション）の切り替え

おしらせ

● キャラ電によっては、「全体アクション」と「パーツアクション」のどちらか一方しかないものや、アクションがないものもあります。

相手側に送信する映像について設定する

テレビ電話通話中に送信している画像の変更や、送信している画像に特殊な効果をかけられます。また、インカメラとアウトカメラの切り替えなどができます。

送信画像を自画像／代替画像に切り替える

1 通話中に[切替]

代替画像
© Disney

- 押すたびに自画像（[自画像]）と代替画像（[代替画像]または[代替画像]）が切り替わります。☞P86
- 代替画像にキャラ電を設定していても、キャラ電が表示されないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。☞P86

送信／受信画像の品質を設定する

・「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになり、画質がやや粗くなります。
・「画質優先」に設定すると画質は細やかになり、画像の動きがやや鈍くなります。

お買い上げ時 標準

1 **通話中にMenu 7▶1～2▶1～3**

送信画像にフレームを重ねる　フレーム

自画像送信中の場合に、フレームを重ねることができます。
・表示サイズが176×144以下のフレームのみ選択できます。ダウンロードしたフレームは、表示サイズが176×144のフレームのみ選択できます。

1 **通話中にMenu 3 1▶フレームを選択**

・インカメラを使用中はディスプレイに鏡像（左右逆向きの画像）が表示され、相手には正像（正しい向きの画像）が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ画像が相手にも送信されます。
・フレーム送信を解除する：フレーム送信中に
・お買い上げ時に登録されているフレーム☛P456

送信画像に特殊な効果をかける　撮影モード

送信する画像に次の効果をかけることができます。自画像送信中の場合のみ変更できます。

項　目	アイコン	項　目	アイコン	項　目	アイコン	項　目	アイコン
フルオート		夜景		文字		ソフトタッチ	
感度アップ		トワイライト		ネガポジ		モノトーン（赤）	
超感度アップ		サーフ&スノー		絵画		モノトーン（緑）	
逆光補正		スポーツ		版画		モノトーン（青）	
スポット測光		ペット		美白		モノクロ	
風景		グルメ		日焼け		セピア	

・詳しくは☛P190

お買い上げ時 フルオート

1 **通話中にMenu 2 1▶1～9／0／＊／＃**

現在の効果

送信画像の明るさ／色の濃さ／ちらつきを調整する　カメラ調整

明るさ・色の濃さを5段階で調整できます。また、画像のちらつきがある場合、お使いの地域の電源周波数に合った設定にするとちらつきが抑えられる場合があります。
- 自画像送信中の場合のみ変更できます。
- 撮影モードの設定によっては明るさ／色の濃さを変更できない場合があります。
- 通話終了後も設定内容が保持されます。

お買い上げ時　明るさ：3段階目　色の濃さ：3段階目　ちらつき調整：自動

1 通話中にMenu 2▶項目を選択

■ 明るさや色の濃さを調整する：

明るさ
色の濃さ

① 2▶明るさのスライダを選び◎
② ◎で色の濃さのスライダを選び◎▶□
- 調整中、親画面には自画像が表示されます。
- 調整後、しばらくの間何もしなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

■ ちらつきを調整する：3▶1～3

おしらせ

● ちらつき調整の設定はカメラ、バーコードリーダーのちらつき調整にも反映されます。☛P193、P195

静止画／カメラオフ画像を送信する

静止画または「カメラオフ」と表示される代替画像（カメラオフ画像）を選択します。
- フレーム送信中（☛P81）の場合は設定できません。
- 画像サイズが176×144以下で、FOMA端末外への出力が可能な静止画のみ設定できます。

1 通話中にMenu 3▶項目を選択

■ カメラオフ画像を送信する：3
- カメラオフ画像を設定すると、テレビ電話画像選択で設定されている代替画像が送信されます。ただし設定されている代替画像がキャラ電の場合は、標準画像（カメラオフ画像）が送信されます。

■ 静止画を送信する：

x1 AUTO 00:00:22

① 4▶フォルダを選択
② 静止画を選択
- 静止画を表示する：静止画を選び□
- 元の画像を表示する：静止画像送信中に◎

表示倍率を切り替える　ズーム

・自画像送信中の場合のみ利用できます。

お買い上げ時　標準（x1）

1 通話中に

・を押すたびに次の順に切り替わります。を押すと逆の順になります。
インカメラ　：標準（x1）→2倍（x2）
アウトカメラ：標準（x1）→2倍（x2）→4倍（x4）→6倍（x6）→8倍（x8）
→10倍（x10）→12倍（x12）→16倍（x16）

おしらせ

● インカメラ、アウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

アウトカメラに切り替える

・自画像送信中の場合のみ変更できます。

お買い上げ時　インカメラ

1 通話中に Menu 6

x1 00:00:22

インカメラ選択時

x1 00:00:22

アウトカメラ選択時

アウトカメラからの画像が送信されます。
・押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。
・カメラを切り替えても、フレーム、送信画像の明るさ／色の濃さ／ちらつき調整の設定は保持されます。

接写撮影に切り替える

約7～11cmのごく近い距離の画像を送信するときは、接写撮影に切り替えて画像のピントを合わせることができます。
・アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

お買い上げ時　接写撮影OFF

1 通話中に Menu 4

・接写撮影を解除するには、同様の操作を行います。

おしらせ

● 接写撮影中にインカメラに切り替えると、通常の撮影に戻ります。

コンパクトライトを点灯する

- アウトカメラ使用時のみ点灯できます。
- 通話中の設定操作などによって一時的にコンパクトライトが消灯することがあります。

1 通話中にMenu 5

コンパクトライトが点灯します。点灯していた場合は消灯します。

- 押すたびに点灯（☼）／消灯（表示なし）が切り替わります。

テレビ電話中の画面表示について設定する

- 通話終了後も設定内容が保持されます。

親画面と子画面を切り替える

お買い上げ時　親画面：相手画像　子画面：自画像

1 通話中に🕮

- 押すたびに交互に切り替わります。

親画面：相手画像　⟷　親画面：自画像
子画面：自画像　　　　子画面：相手画像

親画面のサイズを変更する

お買い上げ時　大

1 通話中に🕮（1秒以上）

- 押すたびに大→中→小→大→…の順に切り替わります。

通話中に画面表示を設定する　通話中テレビ電話動作設定

お買い上げ時　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大　照明設定：常灯（標準）

1 通話中にMenu 8▶各項目を設定▶🕮

- 各項目（テレビ電話画面設定、子画面表示、画面サイズ設定、照明設定）の設定方法は「テレビ電話の設定を変更する」と同じです。☞P85

テレビ電話の設定を変更する　テレビ電話動作設定

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話通話中の画面などを設定します。

・相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」に設定するとテレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2007年6月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

お買い上げ時　音声自動再発信：OFF　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大
受信画質設定：標準　照明設定：常灯（標準）　スピーカーホン設定：ON

1 Menu 8 5 1 3 ▶**各項目を設定**▶ 📖

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。

テレビ電話画面設定：通話中に自画像または相手画像のどちらか一方のみを表示するか、両方の画像を表示するかを設定します。

子画面表示：通話中の子画面に自画像と相手画像のどちらを表示するかを設定します。

画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。

受信画質設定：相手から受信する画像の画質を設定します。

照明設定：通話中のディスプレイの照明を設定します。
・「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P143）の点灯時間設定（通常時）に従います。

スピーカーホン設定：テレビ電話に接続されたときに、自動的にスピーカーホン機能をONにするかどうかを設定します。

おしらせ

- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、パソコンなどをつないだパケット通信中にテレビ電話をかけようとしても、テレビ電話には接続されずに音声電話で再発信が行われます。音声電話通話中や64Kデータ通信中はテレビ電話には接続されず再発信も行われません。
- 音声自動再発信を「ON」に設定中、音声で再発信した場合の通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などと接続中にテレビ電話で通話すると、スピーカーホン設定の設定に関わらず、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
- 音声自動再発信を「ON」に設定中にFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

テレビ電話で表示する代替画像や保留画像などを設定する　テレビ電話画像選択

テレビ電話で相手に送信する代替画像、伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像を変更します。

- 次の画像は設定できません。
  - ・サイズが176×144を超える静止画
  - ・アニメーション、パラパラマンガ
  - ・JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されている画像

代替画像を設定する

お買い上げ時　標準キャラ電

例　標準キャラ電を設定するとき

1 Menu 8 5 1 5 ▶ 1

2 **イメージ表示欄▶ 1 ▶ 📖**

代替画像設定
イメージ表示　標準キャラ電
イメージ一覧　画像選択
©Disney
キャラ電

「標準キャラ電」（Dimo）が設定されます。

■ **標準の静止画を設定する：2**
「標準画像」（カメラオフ画像）が設定されます。

■ **その他のキャラ電を設定する：**
① **3 ▶イメージ一覧欄▶フォルダを選択**
② **キャラ電を選択**
- キャラ電を表示する：キャラ電を選ぶ▶📖

■ **その他の静止画を設定する：**
① **4 ▶イメージ一覧欄▶フォルダを選択**
② **静止画を選択**
- 静止画を表示する：静止画を選び📖
- 相手には選択した画像に文字メッセージが重なって表示されます。

伝言メモ録画中／応答保留／通話中保留／動画メモ録画中の画像を変更する

お買い上げ時　伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像

例　標準画像を設定するとき

1 Menu 8 5 1 5 ▶ 2 ～ 5

2 **イメージ表示欄▶ 1 ▶ 📖**

伝言メモ画像設定
イメージ表示　標準画像
イメージ一覧　画像選択
Recording
伝言メモ録画中

伝言メモ画像の場合

お買い上げ時の画像が設定されます。

■ **その他の静止画を設定する：**
① **2 ▶イメージ一覧欄▶フォルダを選択**
② **静止画を選択**
- 静止画を表示する：静止画を選び📖
- 相手には選択した画像に文字メッセージが重なって表示されます。

おしらせ

● 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は「標準キャラ電」に戻ります。また、設定した静止画、標準キャラ電を削除した場合は「標準画像」に戻ります。

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する　テレビ電話切替機能通知

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えができる端末であることを、相手の端末に通知するかどうかを設定します。

・音声電話通話中／テレビ電話通話中は、設定の変更はできません。
・圏外では、設定の操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

ご契約時　開始

1 Menu 8 5 1 7 1

■ 停止する：Menu 8 5 1 7 2

■ 設定内容を確認する：Menu 8 5 1 7 3

2 「はい」

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する　パケット通信中着信設定

iモードのパケット通信中にテレビ電話を受けることができます。

お買い上げ時　テレビ電話優先

1 Menu 8 5 1 4 ▶ 1 ～ 4

テレビ電話優先：テレビ電話を着信します。テレビ電話に応答すると通信中のパケット通信を切断します。
パケット通信優先：テレビ電話の着信を拒否し、パケット通信を継続します。
留守番電話：かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ：かかってきたテレビ電話を転送先に接続します。

おしらせ

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「パケット通信優先」の動作となります。
● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0 秒」に設定している場合は、本設定に関わらず各サービスが作動します。着信履歴には記録されません。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する　テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器と接続されていないときは、本機能を利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください（パソコンでのご利用環境など詳細についてはサポートホームページでご確認ください）。

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

お買い上げ時　本体

1 Menu 8 5 1 6 ▶ 1 ～ 2

おしらせ

- 音声電話通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話通話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

プッシュトーク

プッシュトークとは

プッシュトークボタン（P）を1秒以上押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んでPを押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通信できます。Pを押す（発言する）ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。
Pを押し続けている間だけ発言することができ、発言者以外のメンバーはその間は聞くだけになります。
また、画面では誰が発言しているかなどメンバーの状態が確認できます。グループ内での連絡や、短い用件を同時に伝えるときなどに便利にご利用いただけます。

- 対応機種：902iシリーズ、902iSシリーズ、SO902iWP+、SH902iSL、N902iX HIGH-SPEED、N902iL、903iシリーズ、904iシリーズ、P702i、P702iD、SH702iS、P703i、SH703i、SO703i

なお、下記機種※1では通信中にメンバーを追加したり、不参加だったメンバーを再度呼び出すことができます。

※1：903iシリーズ、904iシリーズ、P703i、SH703i、SO703i

2人で会話

もしもし
発信者
着信者
Pを押しながら発言

複数人で会話

発信
発信者
着信者
もうすぐ着きます
着信者
着信者
着信者
Pを押しながら発言

プッシュトークプラス

プッシュトークプラスとは、あらかじめ登録されたネットワーク上の電話帳を利用し、自分も含めて最大20人まで通信できるサービスです。さらに、メンバーの状態を確認できるなど、プッシュトークをより便利にご利用いただけます。プッシュトークプラスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。

● プッシュトークプラスの操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

おしらせ

● 2in1のBナンバーでは、プッシュトークを利用できません。

プッシュトーク発信する

プッシュトーク通信中画面の見かた

10:00
自分
友達
1/1
携帯秋子 参加
携帯夏子 参加
ドコモ一郎 不参加

現在の発言者
名前※1、電話番号、「非通知」※2、「自分」、空白※3、「？」※4のいずれかが表示されます。

グループ名（グループ発信した発信者の画面にのみ表示）

相手の応答の状況
- 呼出中※5：相手を呼出中です。
- 参加：プッシュトークに参加しています。
- 不参加※5：応答がないか、相手がプッシュトークを終了しました。または、相手が圏外であるか電源を切っています。
- 運転中※5：相手が公共モード（ドライブモード）を設定しています。

メンバー
名前※1、電話番号、「非通知」※2のいずれかが表示されます。

※１：電話番号が電話帳に登録されている場合に表示されます（名前の表示について ☞P102）。ただし、着信の場合は、着信／受信時表示設定に従います。
※２：発信者が発信者番号を通知しない設定で発信したとき、着信側のメンバーは「非通知」と表示されます。
※３：発言者がいないときに表示されます。
※４：発言者が特定できなかった場合に表示されます。
※５：3人以上で通信しているときに表示されます。

プッシュトークで会話する

1 電話番号を入力▶[P]

相手が応答すると応答音が鳴り、プッシュトークが開始されます。

10:00
プッシュトーク発信中
1/1
090XXXXXXXX

- FOMA端末を閉じているときやプッシュトークスピーカーホン設定を「ON」に設定しているときは、スピーカーホン機能がONになります。プッシュトークスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときやマナーモード中に[P]を1秒以上押すと、スピーカーホン機能をONにして発信できます。

2 プッシュトークで会話する

- 3人以上で通信しているときに、メンバーが応答すると参加音が鳴ります。
- 3人以上で通信しているときに、メンバーがプッシュトークから抜けるとメンバーが抜けたことを知らせる音が鳴ります。

■ **スピーカーホン機能に切り替える：[✉]／[☎]**

■ **発言する：**

① **[P]を押しながら発言する**
- [P]を押すと発言権取得音が鳴ります。
- 相手が発言中は、[P]を押しても発言権取得失敗音が鳴り、発言できません。

② **発言が終わったら[P]を離す**
- [P]を離すと発言権の開放音が鳴ります。
- 発言権の制限時間がせまると、発言権開放の予告音が鳴ります。

3 プッシュトークが終わったら[☎]

おしらせ

- FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳、リダイヤル、着信履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、ｉアプリ、バーコードリーダーの読み取り結果などからもプッシュトークを発信できます。また、メール、サイト、トルカのPhone To（AV Phone To）などからもプッシュトークを発信できます。
- 音声電話通話中、テレビ電話通話中、データ通信中はプッシュトークを発信できません。また、プッシュトーク通信中は、他の相手に音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
- ｉモード中にプッシュトークを発信したときは、ｉモードが切断されます。
- ｉアプリ起動中にプッシュトークを発信したときは、ｉアプリが中断されます。
- 1回の発言権で、お話しできる時間には限りがあります。制限時間に達するとその発言権は開放されます。
- 一定時間、発言権の取得者がいない場合には、プッシュトーク通信が終了します。
- プッシュトークでは緊急通報（110番、119番、118番）はご利用になれません。
- 2in1がONの場合、電話帳2in1設定で「B」に設定したメンバーにはプッシュトーク発信ができません。

プッシュトーク通信中にメンバーを追加する

発信者はプッシュトーク通信中に、メンバーを最大通話人数（自分を含め５人）まで追加できます。

- メンバーの参加／不参加に関わらず、発信先のメンバーは合計４人までしか追加できません。ただし、既に４人に発信している場合でも、不参加メンバーの再呼び出しはできます。
- 参加中、呼出中のメンバーは追加できません。
- メンバーを追加している間も、発言などのプッシュトークの操作はできます。
- 最大通話人数までは何度でもメンバーを追加できます。
- メンバー追加非対応機種のメンバーも追加できます。追加メンバーは参加メンバーの画面に表示されます。ただし、メンバー追加非対応機種を利用している参加メンバーには、追加メンバーは画面に表示されず、参加音やメンバーが抜けたときの音も鳴りません。また、メンバー追加非対応機種では、発信者からのメンバーの追加はできません。
- 追加したメンバーは、リダイヤルや着信履歴には記録されません。

1 プッシュトーク通信中に

2 追加方法を選択して発信する

■ **プッシュトーク電話帳から選択する：「Pトーク電話帳参照」▶メンバーを選択▶**

- メンバーの選択方法は、プッシュトーク電話帳からメンバーを選択する方法と同じです。☞P95
- グループからメンバーを追加する：プッシュトーク電話帳一覧で ▶グループを選択▶メンバーを選択▶

■ **電話帳から選択する：「電話帳参照」▶電話帳を検索▶メンバーを選択**

■ **リダイヤル／着信履歴から選択する：**

① **「履歴参照」**

- リダイヤル／着信履歴一覧を切り替える：
- 着信履歴は電話番号が通知された履歴のみ表示されます。
- プッシュトークプラス（☞P90）の履歴は表示されません。
- 2in1のBナンバーは、リダイヤル／着信履歴一覧に表示されません。

② **メンバーを選ぶ**

- プッシュトーク履歴からメンバーを選択する：履歴を選択▶ ▶メンバーを選択▶
- プッシュトーク履歴でメンバーを選択し、 を押すと詳細情報を確認できます。 を押すと発信します。

- 音声電話／テレビ電話の履歴からメンバーを選択する：履歴を選び[発信]
- 音声電話／テレビ電話の履歴を選択すると詳細情報を確認できます。[決定]を押すと発信します。

■ **電話番号を入力する：「直接入力」▶電話番号を入力（26桁まで）▶[発信]**

プッシュトーク着信する

1 プッシュトークを着信する

プッシュトーク着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、決定キーの照明が点灯／点滅します。

※１：表示の有無は、着信／受信時表示設定に従います。

※２：発信者が発信者番号を通知しない設定で発信したとき、着信側のメンバーは「非通知」と表示されます。

2 [P]／[終話]

プッシュトークに応答し、相手に「参加」を通知します。

- FOMA端末を閉じているときは、スピーカーホン機能がONになります。FOMA端末を開いているときは、プッシュトークスピーカーホン設定の設定に従った通信になります（ただし、マナーモード中はスピーカーホン機能はOFFになります）。
- [0]～[9]、[＊]、[＃]を押してもプッシュトークに応答できます(エニーキーアンサー☞P69)。
- [終話] を押すと、着信を切断します（応答保留はできません）。グループ着信の場合は、参加メンバーに「不参加」を通知します。

3 プッシュトークで会話する

- 詳しくは「プッシュトークで会話する」の操作2☞P91

4 プッシュトークが終わったら[終話]

おしらせ

- 音声電話通話中にプッシュトークの着信はできません。着信履歴には記録されます。
- テレビ電話通話中、外部機器によるテレビ電話通話中、データ通信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新中はプッシュトークの着信はできません。着信履歴も記録されません。
- ｉモード中にプッシュトークの着信があった場合は、ｉモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
- プッシュトーク通信中にｉモードのご利用はできません。
- プッシュトーク通信中に、テレビ電話、プッシュトーク、データ通信の着信があっても応答できません。着信履歴には記録されます。
- プッシュトーク呼出時間設定で設定されている秒数を経過しても応答しなかった場合、プッシュトーク着信が終了します。3人以上の通信の場合、参加メンバーには「不参加」が通知されます。
- 公共モード（ドライブモード）中に、プッシュトーク着信があっても、着信音も鳴らず、着信画面も表示されません。画面には [1]（数字は件数）が表示され、応答できません。3人以上の場合は、参加メンバーには「運転中」と通知します。

● プッシュトーク着信に応答しなかったときやプッシュトークから抜けた場合でも、他の参加メンバーがプッシュトーク通信している間であれば、着信履歴から発信すると、プッシュトークに再び参加できます。
● プッシュトーク中着信設定で「通常着信」を設定している場合、プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの着信中の操作は、音声電話のときと同じです。☛P67

Menu 44

プッシュトーク電話帳を登録する

プッシュトーク電話帳登録

プッシュトークを発信するメンバーを登録します。グループに分けて登録することもできます。

- 最大1000件登録できます（登録内容により、少なくなる場合があります）。
- プッシュトーク電話帳に登録するにはFOMA端末電話帳にも電話番号を登録する必要があります。
- FOMA端末電話帳で電話番号を削除したり、修正した場合はプッシュトーク電話帳にも反映されます。シークレット属性の設定も反映されます。
- 電話帳2in1設定が「B」の電話帳は、プッシュトーク電話帳に登録できません。
- 2in1がBモードのときは、プッシュトーク電話帳を利用できません。

例 FOMA端末電話帳を検索して登録するとき

1 **[P]（1秒以上）**

メンバー一覧

2 **[✉]▶「電話帳参照」**

- FOMA端末電話帳に登録されていない電話番号を登録する場合、「直接入力」を選択します。FOMA端末電話帳の登録画面が表示されます（☛P103）。各項目を設定し登録すると、プッシュトーク電話帳とFOMA端末電話帳の両方に登録されます。複数の電話番号を登録した場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択してください。プッシュトーク電話帳への登録が終了します。

3 **電話帳を検索▶相手を選択▶「はい」**

- 他のメンバーを追加登録する：操作2～3を繰り返す

おしらせ

● FOMA端末電話帳からプッシュトーク電話帳に登録するときは、電話帳一覧で相手を選び[Menu][3][3]を押し、「はい」を選択します。複数の電話番号が登録されている場合は、そのうち1件の電話番号しか登録できません。電話番号を選択して、「はい」を選択します。また、電話帳詳細画面で電話番号を選び[Menu][4][3]を押し、「はい」を選択しても同様に登録できます。

グループに登録する

プッシュトーク電話帳に登録したメンバーを、グループに登録できます。
- グループは最大30件登録できます。
- 1つのグループには、メンバーを最大19人登録できます。ただし、プッシュトーク通信できるのは自分を含め最大5人です。発信するときはメンバーを最大4人まで選択してください。
- 同じメンバーを複数のグループに登録できます。

1 (1秒以上)▶

グループ一覧

- 登録済みのグループにメンバーを登録する場合は、操作3に進みます。

■ グループ名を変更する:グループを選び Menu 3 ▶グループ名を入力▶
- グループ名を変更しても、リダイヤルには反映されません。

2 ▶グループ名を入力(全角10文字(半角20文字)まで)▶

3 グループを選択▶ ▶メンバーを選択▶

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

- 複数の人にプッシュトークを発信するには、プッシュトーク電話帳にあらかじめ登録しておく必要があります。
- 2in1がAモードのときは、電話帳2in1設定が「B」のメンバーは表示されません。

1 (1秒以上)

メンバー一覧 1/1
携帯秋子
携帯夏子
携帯春子
携帯冬子
ドコモ一郎
ドコモ三郎
ドコモ四郎
ドコモ二郎
ドコモ太郎
090XXXXXXXX

選ばれている相手の電話番号
FOMA端末電話帳に登録されている名前

メンバーが次のフリガナ順に表示されます。

①50音順	②アルファベット順	③数字
④空白で始まるもの	⑤記号	⑥フリガナなし

- 1 ～ 9 、 0 を押すと、それぞれのキーに割り当てられている文字(あ～ら、わ)に対応する行の先頭のメンバーが選ばれます。 * 、 # を押すと50音以外が選ばれます。
- メンバー一覧で Menu 6 を押すと、ネットワークに接続し、プッシュトークプラスを利用できます。☛P90

2 メンバーを選択

メンバー一覧 1/1
携帯秋子
携帯夏子
携帯春子
携帯冬子
ドコモ一郎
ドコモ三郎

選ばれているメンバー
選択したメンバー

- 発信先は最大4人選択できます。
- 選択したメンバーを確認する: Menu 1

3 [P]／[S]

メンバーのうち一人目が応答すると応答音が鳴り、プッシュトークが開始されます。

- メンバーを選択しなかった場合は、選ばれているメンバーに発信されます。
- FOMA端末を閉じているときやプッシュトークスピーカーホン設定を「ON」に設定しているときは、スピーカーホン機能がONになります。プッシュトークスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときやマナーモード中に[P]または[S]を1秒以上押すと、スピーカーホン機能をONにして発信できます。

4 プッシュトークで会話する

- 詳しくは「プッシュトークで会話する」の操作2☛P91

5 プッシュトークが終わったら[☎]

- 発信者が[☎]を押しても、他の参加メンバー間でプッシュトークが継続されます。着信者が1人の場合は、プッシュトークは終了します。

おしらせ

- リダイヤル、着信履歴からも複数の相手にプッシュトークを発信できます。
- シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないときは表示されません。
- メンバーの電話番号に「184」または「186」を付けても無効です。
- 複数のメンバーにプッシュトーク発信した場合、同じ電話番号のメンバーを複数選択したときは、50音順で一番先頭になる名前がプッシュトーク通信中画面に1件表示されます。

プッシュトークグループから発信する

1 [P]（1秒以上）▶[📖]▶グループを選択

- グループの全員にプッシュトークを発信する：[P]（1秒以上）▶[📖]▶グループを選ぶ▶操作3に進む
- グループ内の電話帳データは、次のフリガナ順に表示されます。
  ①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの
  ⑤記号　⑥フリガナなし

2 プッシュトークを発信するメンバーを選択

会社 1/1
☑携帯冬子
☑ドコモ四郎

- グループ内の全メンバーに☑が付いています。発信しないメンバーは□にしてください。
- 発信先は最大4人選択できます。
- 選択したメンバーを確認する：[Menu][1]

3 [P]／[S]

- グループ一覧から発信した場合、選んだグループの全メンバーに発信されます。ただし、2in1がデュアルモードのときは、電話帳2in1設定が「B」以外のメンバーにプッシュトーク発信されます。
- メンバーが5人以上登録されている場合は、通信可能な人数を超えていることを示すメッセージが表示されます。メンバーを最大4人まで選択して発信してください。
- 以降の操作は、「プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する」の操作4以降と同じです。☛P96

おしらせ

- シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性が設定されていないメンバーにのみプッシュトーク発信されます。

● 発信者がプッシュトークから抜けた場合でも、他の参加メンバーがプッシュトーク通信している間であれば、リダイヤルから発信すると、プッシュトークに再び参加できます。

プッシュトーク電話帳を削除する

プッシュトーク電話帳削除

1 (1秒以上)▶メンバーを選びMenu 3

メンバー一覧 1/1
☑携帯秋子
☑携帯夏子
☐携帯春子
☐携帯冬子
☑ドコモ一郎
☐ドコモ三郎

選ばれているメンバー
選択したメンバー

• 選択したメンバーではなく、選ばれているメンバーが削除されます。

2 「はい」▶「いいえ」

• FOMA端末電話帳からも削除する：「はい」▶「はい」
• グループに登録しているメンバーを削除すると、グループからも削除されます。

グループを削除する

1 (1秒以上)▶▶グループを選びMenu 2▶「はい」

• グループを削除しても、グループに登録されていたメンバーはプッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳からは削除されません。

グループに登録されているメンバーを削除する

1 (1秒以上)▶▶グループを選択▶メンバーを選びMenu 3▶「はい」

• グループのメンバーを削除しても、プッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳からは削除されません。

プッシュトークの発着信について設定する

プッシュトーク発着信の際の動作を設定します。プッシュトークのみに有効な設定です。

自分やメンバーの電話番号を通知する

プッシュトーク番号通知設定

プッシュトークを発信したときやメンバーを追加したときに、自分や他のメンバーの電話番号（発信者番号）を通知します。

• 発信者が、発信者番号を通知して発信したとき、自分の電話番号とメンバーの発信者番号がすべてのメンバーに通知されます。発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。

お買い上げ時 通知しない

1 Menu 8 5 3 3▶1～2

• メンバー一覧でMenu 5 2を押しても同様に操作できます。

おしらせ

- 発信者番号通知の設定に関わらず本設定に従ってプッシュトークメンバーの発信者番号が通知されます。
- 複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。
  ①発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合
  ②FOMA端末電話帳の発番号設定（1件のみの発信の場合）
  ③プッシュトーク番号通知設定を設定した場合

着信音を鳴らす時間を設定する　プッシュトーク呼出時間設定

着信音が鳴っている間の時間を設定します。その時間内に応答しなかった場合は、不参加になります。

- 呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定しているときは、呼出動作開始時間が経過した後に本機能が動作します。
- プッシュトーク自動応答設定を「自動応答あり」に設定しているとき、本機能は設定できません。

お買い上げ時　30秒

1 Menu 8 5 3 2 ▶**応答時間を入力（1～60秒）**▶ 📖

- メンバー一覧でMenu 5 1を押しても同様に操作できます。

自動でプッシュトークに応答する　プッシュトーク自動応答設定

プッシュトークの着信に自動的に応答します。プッシュトークに応答したときに、プッシュトークスピーカーホン設定に関わらず自動的にスピーカーホン機能はONになります。

- マナーモード中は本設定は動作しません。プッシュトークに応答するにはPまたは📞を押します（エニーキーアンサーでも応答できます）。
- 公共モード（ドライブモード）中は、本設定は動作しません。着信画面も表示されません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、Pを操作しながら、接続した機器を使って音声をやりとりします。

お買い上げ時　自動応答なし

1 Menu 8 5 3 4 ▶ 1～2

- メンバー一覧でMenu 5 3を押しても同様に操作できます。

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの対処方法を選択する　プッシュトーク中着信設定

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときに、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどで対応します（テレビ電話の着信は無効です）。

お買い上げ時　通常着信

1 Menu 8 5 3 5 ▶ 1～4

通常着信　：プッシュトークを切断し、かかってきた音声電話に応答できます。音声電話着信中に📞を押した場合は、プッシュトークを切断して音声電話に応答します。📞を押した場合は、プッシュトークを切断し、音声電話着信が継続します。
着信拒否　：かかってきた音声電話を着信拒否します。
留守番電話：かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ：かかってきた音声電話を転送先に転送します。

- メンバー一覧でMenu 5 4を押しても同様に操作できます。

おしらせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「通常着信」の動作となります。
- 本設定がいずれの設定の場合でも、着信履歴に記録されます。ただし、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は、本設定に関わらず各サービスが作動します。着信履歴には記録されません。

Menu 284／Menu 8537

iモード中にプッシュトークを着信したときの動作を設定する　iモード中プッシュトーク着信

お買い上げ時　プッシュトーク着信優先

1 ［i］［8］［4］▶［1］～［2］

プッシュトーク着信優先：プッシュトークの着信があった時点でiモードを終了し、プッシュトークの着信画面を表示します。プッシュトークを終了すると、iモードの画面に戻ります。

iモード優先：プッシュトークの着信画面を表示せず、iモードを継続します。その際、プッシュトークは着信履歴に記録されません。

- メンバー一覧で［Menu］［5］［6］を押しても同様に操作できます。

プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する　プッシュトーク中クローズ設定

お買い上げ時　継続

1 ［Menu］［8］［5］［3］［6］▶［1］～［2］

終話　：プッシュトークを終了します。

継続　：プッシュトークを継続します。

- メンバー一覧で［Menu］［5］［5］を押しても同様に操作できます。

おしらせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、FOMA端末を閉じても、本設定に関わらずプッシュトークは継続されます。

スピーカーホン機能を利用して通信する　プッシュトークスピーカーホン設定

FOMA 端末を開いている状態で、プッシュトーク発信したときや着信に応答したときに、自動的にスピーカーホン機能を利用した通信に切り替えるかどうかを設定します。

- FOMA 端末を閉じているときに発信／応答すると、本設定に関わらずスピーカーホン機能が ON になります。
- マナーモード中に発信／応答すると、スピーカーホン機能は本設定に関わらず以下のようになります。
  ・FOMA端末を開いているとき→OFF　・FOMA端末を閉じているとき→ON

お買い上げ時 ON

1 Menu 8 5 3 8 ▶ 1～2

- メンバー一覧で Menu 5 7 を押しても同様に操作できます。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA D904iでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。この他に、プッシュトーク専用のプッシュトーク電話帳があります。☛P94

- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に登録できる項目は次のようになります。

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
電話帳登録件数		最大1000件※1	最大50件
登録内容	メモリ番号	○	×
	名前・フリガナ	名前は全角16文字（半角32文字）まで、フリガナは半角32文字まで設定可能。	名前は全角10文字（半角21文字）まで、フリガナは全角12文字（半角25文字）まで設定可能。
	画像・動画	1人につき1件	×
	グループ	最大30グループおよび「グループなし」に分類可能。	10 グループおよび「グループなし」に分類可能。
	電話番号・アイコン	1人につき5番号まで、電話帳全体で最大3005番号※1設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。
	メールアドレス・アイコン	1人につき5アドレスまで、電話帳全体で最大3005アドレス※1設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。
	その他の設定※2	○	×

※1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる電話帳の件数が少なくなる場合があります。
※2：誕生日・テキストメモ・郵便番号／住所・位置情報・会社名・役職名・URLの設定ができます。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。
- 2in1についての詳細は、「2in1を利用する」を参照してください。☛P426

名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、発信中／呼出中／着信中／通話中の画面に、電話帳に登録されている名前と電話番号が表示されます。ただし、着信の場合は、着信／受信時表示設定に従います。
また、リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、セレクトメニューの人物などや、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを直接入力したときも、電話帳に登録されている名前が表示されます。

- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、FOMA端末電話帳に登録されている名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で複数登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、発信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名「@docomo.ne.jp」を省略したメールアドレスを電話帳に登録していても電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は電話帳の設定で動作します。
- 電話帳に登録した相手からメールを受信すると、電話帳に登録している名前がタスクバーにスクロール表示されます。ただし、シークレットモード中でない場合にシークレット属性が設定されている相手からメールの受信があると、タスクバーにはメールアドレスが表示されます。

• GPSの位置提供を要求され、要求者IDが電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスと一致した場合に、電話帳に登録している名前が表示されます。

FOMA端末電話帳に登録する

電話帳登録

• 最大登録件数☛P102
• 電話帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。
パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。また、電話帳お預かりサービス（有料）をご契約の場合は、お預かりセンターへ保存できます。
• FOMA端末の電話帳データをmicroSDメモリーカードにバックアップできます。☛P341
• FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
• ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1 Menu 4 2

• 電話帳一覧でMenu 2を押しても同様に操作できます。

2 **名前を入力（全角16文字（半角32文字）まで）▶[田]**

名前入力
名前を
入力してください
ドコモ太郎

• 名前を入力しないと登録できません。

3 **各項目を設定▶[田]**

新規登録 1/2
No.000
ドコモ太郎
ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
<画像選択・撮影>
グループなし
[電話番号]
[メールアドレス]
[誕生日]
[テキストメモ]
[郵便番号/住所]
[位置情報]

メモリ番号、名前、フリガナ

• 登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択して他のメモリ番号を指定してください。

メモリ番号：最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

■ **メモリ番号を変更する：メモリ番号欄▶番号を入力（0～999）**
• 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

名前：名前を確認します。

■ **名前を修正する：名前欄▶名前を修正▶[田]**

フリガナ：フリガナを確認します。

■ **フリガナを修正する：フリガナ欄▶フリガナを修正（半角32文字まで）**
• 名前を修正してもフリガナには反映されません。

画像選択・撮影：
発着信時や電話帳データ確認時に表示する画像や動画／ｉモーションを設定します。
画像選択・撮影欄を選択し、次の操作を行います。

■ **画像を設定する：1▶フォルダを選択▶画像を選択**
- 横縦（または縦横）のサイズが640×480を超える画像を選択すると、画像を縮小して登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して画像を設定すると、電話帳用（96×72）以下に縮小した画像が設定・保存されます。
- 電話発着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガは最初のコマが表示されます。

■ **カメラで静止画を撮影して設定する：2▶静止画を撮影▶●**
- 静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

■ **動画／ｉモーションを設定する：3▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択**
- 映像のみの動画／ｉモーションが設定できます。
- 選択時に動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126
- 電話発信時には、動画／ｉモーションの最初のコマが表示されます。

■ **カメラで動画を撮影して設定する：4▶動画を撮影▶●**
- 動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。音声は録音されません。

■ **画像・動画／ｉモーションを削除する：5**

グループ：グループを選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について☛P107

■ **グループを追加する：グループ欄▶✉▶グループ名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶📖**
- 「グループなし」以外に、最大30件登録できます。

電話番号：市外局番から入力し（26桁まで）、アイコンを選択します。
- 1人につき5番号まで登録できます。1件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- ポーズ（P）、タイマー（T）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（＊）を登録できます。

メールアドレス：
半角50文字まで入力できます。アイコンを選択します。
- 1人につき５アドレスまで登録できます。１件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- 相手がシークレットコードを登録しているとき☛P117

誕生日：誕生日設定を「ON」に設定して、誕生日欄に誕生日を入力します。

テキストメモ：
全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

郵便番号／住所：
郵便番号は7桁まで、住所は全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

位置情報：GPS機能で取得した位置情報を登録できます。☛P307
- 既に位置情報が登録されている場合は変更するかどうかの確認画面が表示されます。登録を削除する場合は「初期値に戻す」を選択します。

会社名：全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

役職名：全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

URL：半角256文字まで入力できます。

おしらせ

- 「184」または「186」を付けた電話番号を電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。
- 2in1がBモードのときに登録した電話帳データは電話帳2in1設定が「B」に、それ以外は「A」に設定されます。
- 2in1がAモードのときは、電話帳2in1設定で「B」に設定した電話帳は表示されません。また、Bモードのときは、「A」に設定した電話帳は表示されません。

電話帳データごとに着信動作を設定する　電話帳別着信設定

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データごとに着信音やイルミネーションなどを設定できます。

1 電話帳を検索▶相手を選び[Menu][3][2]

- 電話帳の検索方法☛P108

2 [○]で設定画面を表示▶各項目を設定▶[□]

電話帳別着信設定（電話）	電話帳別着信設定（メール）
着信音：端末設定に従う	着信音：端末設定に従う
着信バイブレータ：端末設定に従う	着信バイブレータ：端末設定に従う
着信ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝﾊﾟﾀｰﾝ：端末設定に従う	着信ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝﾊﾟﾀｰﾝ：端末設定に従う
着信ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝｶﾗｰ：端末設定に従う	着信ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝｶﾗｰ：端末設定に従う
テレビ電話代替画像：端末設定に従う	

電話　　メール

- グループを「グループなし」に設定した場合、各項目は「端末設定に従う」に設定されています。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126

着信音：「着モーションを選択」「メロディを選択」「ミュージックを選択」を選択し、着信音を設定します。音楽データを設定するには☛P127
- 動画／ｉモーション、音楽データは、詳細情報の着信音設定が「可」になっているデータのみ着信音に設定できます。
- 「端末設定に従う」に設定すると、音の設定に従います。

着信バイブレータ：
「選択する」を選択して着信時のバイブレータを設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレータ設定に従います。

着信イルミネーションパターン：
「選択する」を選択して着信時の決定キーの照明の点灯パターンを設定します。
- 「メロディ連動」に設定すると、着信イルミネーションカラーは設定できません。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

着信イルミネーションカラー：
「選択する」を選択して着信時の決定キーの照明の色を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

テレビ電話代替画像（電話のみ設定可能）：
「選択する」を選択して通話中に表示するキャラ電（☛P332）を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、テレビ電話画像選択の設定に従います。

FOMAカード電話帳に登録する

・最大登録件数☛P102

1 Menu 4 3

• FOMAカード電話帳一覧でMenu 2を押しても同様に操作できます。

2 名前を入力（全角10文字（半角21文字）まで）▶ 📖

名前入力
名前を
入力してください
ドコモ太郎

• 全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。
• 名前を入力しないと登録できません。

3 各項目を設定▶ 📖

FOMAカード登録
ドコモ太郎
ドコモタロウ
グループなし
[電話番号]
[メールアドレス]

名前、フリガナ

名前：名前を確認します。

■ **名前を修正する：名前欄▶名前を修正▶ 📖**

フリガナ：フリガナを確認します。

■ **フリガナを修正する：フリガナ欄▶フリガナを修正（全角12文字（半角25文字）まで）**

• フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
• 全角／半角が混在している場合は、12文字までしか登録できません。
• 名前を修正してもフリガナには反映されません。

グループ：「グループなし」または、10グループの中から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。

電話番号：市外局番から入力します。26桁（FOMAカードの種類によっては20桁）まで入力できます。☛P38

• ポーズ（P）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（*）を登録できます。タイマー（T）は入力できますが、登録できません。

メールアドレス：半角50文字まで入力できます。

グループの名前や発着信動作を設定する　グループ設定

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳のグループ名を変更したり、FOMA端末電話帳のグループごとに着信音を設定したりできます。

・「グループなし」は、グループ名の変更や発着信動作の設定はできません。

グループの作成やグループ名の編集をする

・FOMA端末電話帳は「グループなし」以外に最大30件登録できます。

1 Menu 4 1 2

・FOMAカード電話帳のグループ名を変更する：Menu 4 1 2 📖

2 Menu 2 ▶グループ名を入力▶📖

・FOMA端末電話帳のグループ名は、全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
・FOMAカード電話帳のグループ名は、全角10文字（半角21文字）まで入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。

■ グループ名を変更する：グループを選び Menu 4 ▶グループ名を編集▶📖

・FOMAカード電話帳のとき：グループを選び Menu 2 ▶グループ名を編集▶📖

■ FOMA端末電話帳のグループの順序を入れ替える：Menu ▶ 6 ～ 7

FOMA端末電話帳のグループの発着信動作を設定する　グループ別発着信設定

1 Menu 4 1 2 ▶グループを選び Menu 5

2 ⊙で設定画面を表示▶各項目を設定▶📖

・電話の発着信画像の設定方法は「FOMA端末電話帳に登録する」の操作3と同じです。☛P103着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーの設定方法は「電話帳データごとに着信動作を設定する」の操作2と同じです。☛P105
・電話の設定画面で着信音に映像がある画像／ｉモーションを設定すると、発着信画像は「着信音連動」になります。音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定した場合に発着信画像を変更するときは、「イメージを選択」「静止画を撮影」から選択します。

おしらせ

● 発着信動作の優先順位について

・着信音☛P128
・バイブレータ☛P132
・発信画像☛P141
・着信画像☛P142
・イルミネーション☛P153

FOMA端末電話帳のグループを削除する

グループを削除すると、そのグループに登録されている電話帳がすべて削除されます。
- シークレット属性が設定されている電話帳も削除されます。
- プッシュトーク電話帳に登録されている電話帳を削除した場合は、プッシュトーク電話帳からも削除されます。
- 「グループなし」を選択すると、そこに登録されている電話帳だけが削除されます。グループは削除されません。

1 **Menu 4 1 2 ▶グループを選び Menu 3 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」**

Menu 41

電話帳から電話をかける

電話帳検索

お買い上げ時 全件表示（50音）

- 電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出すことができます。
  - ・全件表示（50音）　・グループ検索　・フリガナ検索　・ランキング検索※1
  - ・メモリ番号検索※1　・電話番号検索　・シークレット検索※1
  - ※1：FOMAカード電話帳では利用できません。
- 行検索も行えます。☛P111
- 待受画面で□を押したときに表示される検索方法を指定できます。☛P112
- 電話帳一覧でMenuを押し、「検索方法選択」を選択しても電話帳の検索方法を変更できます。
- FOMAカード電話帳でも利用できる検索方法では、□を押すたびにFOMA端末電話帳一覧とFOMAカード電話帳一覧が切り替わります。
- FOMAカード電話帳一覧では、相手の名前の前に□が表示されます。

例 全件表示（50音）のとき

1 **□**

あかさたなはまやらわ他
電話帳一覧(1/1)
携帯秋子 A
携帯夏子 AB
携帯春子 A
携帯冬子 B
☎1 ✉0 03XXXXXXXX

お買い上げ後、初めて操作したときは全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。検索方法を指定している場合は、指定された方法で電話帳一覧が表示されます。
- 2in1がデュアルモードのときは、電話帳一覧の名前の右側に電話帳2in1設定を示すマークが表示されます。

電話帳2in1設定を示すマーク（2in1がデュアルモードのとき）
A：Aモードの電話帳データ　B：Bモードの電話帳データ
AB：共通の電話帳データ

選ばれている相手の1件目の電話番号（表示しきれない部分は省略）

選ばれている相手に登録されている電話番号とメールアドレスの件数

1件目の電話番号に設定されているアイコン

2 **相手を選び□**

- 電話番号が複数登録されている場合は、電話番号を選択します。（テレビ電話、プッシュトークについても同様です。）
- テレビ電話をかける：相手を選び□
- プッシュトークを発信する：相手を選び□
- 詳細画面から操作する場合は、電話番号を選び□、□、□、□のいずれかを押します。
- 基本情報画面でも同様に操作できます。1件目に登録している電話番号に発信されます。
- 2in1がデュアルモードのときは、電話帳2in1設定で「A」または「共通（AB）」に設定した相手にはAナンバーで、「B」に設定した相手にはBナンバーで発信されます。

■ ｉモードメールを作成する：相手を選び[メール]
- メールアドレスが複数登録されている場合は、メールアドレスを選択します。
- ｉモードメールの作成・送信方法☛P227
- 詳細画面では、メールアドレスを選び[決定]または[メール]を押します。
- 基本情報画面でも同様に操作できます。1件目に登録しているメールアドレスが宛先に設定されます。
- メールアドレスが登録されている場合に有効です。

■ SMSを作成する：相手を選び[メール]（1秒以上）
- 電話番号が複数登録されている場合は、電話番号を選択します。
- SMSの作成・送信方法☛P261
- 詳細画面では、電話番号を選び[メール]を押します。
- 基本情報画面でも同様に操作できます。1件目に登録している電話番号が宛先に設定されます。
- 電話番号が登録されている場合に有効です。
- メールアドレスが登録されていない場合は、[メール]を押しても同様に操作できます。

■ サイトを表示する：相手を選び[Menu][1][5]▶「はい」
- 「はい」の代わりに[切替]を押すと、フルブラウザで表示されます。
- 詳細画面では、URLを選び[決定]を押します。

■ 電話帳データをメールに添付して送信する：相手を選び[Menu][1][3]
- 詳細画面からも同様に操作できます。
- ｉモードメールの作成・送信方法☛P227

■ FOMA端末電話帳の位置情報を利用する：相手を選び[Menu][0]
- 以降の操作は「自分のいる場所を確認する」の操作2と同じです。☛P299
- 詳細画面では、位置情報を選び[決定]を押します。

■ 相手と送受信したメールを一覧表示する(メール検索)：相手を選び[Menu][1][6]▶[1]～[2]
- 受信／送信メールの見かた☛P243
- 電話帳一覧に戻る：[クリア]または[Menu][0]
- FOMAカード電話帳から検索する：相手を選び[Menu][1][5]▶[1]～[2]

おしらせ

● 2in1がデュアルモードまたはAモードのときは、電話帳2in1設定に関わらず、Aアドレスでｉモードメールを、AナンバーでSMSを送信します。Bモードのときは、ｉモードメールとSMSは作成できません。

電話帳データを50音順に表示する　全件表示（50音）

電話帳データを50音順（あ行→か行→さ行→…→その他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし）の順）に表示します。

1 [Menu][4][1][1]▶[左右]で行を選択

- [左右]の代わりに[0]～[9]、[＊]、[＃]を押すと、キーに割り当てられている行が表示されます。たとえば、[1]を押すとあ行が表示されます。50音以外を表示するには、[＊]または[＃]を押します。

グループで検索する　グループ検索

・グループを設定せずに登録した電話帳データは「グループなし」に登録されています。

1 Menu 4 1 2 ▶ **グループを選択**

グループ検索 1/1
1 グループなし
2 会社
3 英会話教室
4 テニスクラブ

→

会社
電話帳一覧(1/1)
携帯冬子
ドコモ四郎

・同一グループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
①50音順　②アルファベット順　③数字
④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

名前で検索する　フリガナ検索

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1 Menu 4 1 3 ▶ **フリガナを入力** ▶ 📖

フリガナ検索
フリガナを
入力してください
ド

→

あかさたなはまやらわ他
電話帳一覧(1/1)
ドコモ一郎
ドコモ三郎
ドコモ四郎
ドコモ二郎
ドコモ太郎

・フリガナは先頭の一部を入力して検索できます。フリガナを入力しなくても検索できます。

通話／メール回数の多い相手を検索する　ランキング検索

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データを、通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、ｉモードメール送受信回数が多い順に表示（メール回数ランキング）できます。
・通話回数、メール回数は9999回まで表示されます。
・電話帳に登録している電話番号、メールアドレスを直接入力した場合もカウントされます。
・プッシュトークの通信回数はカウントされません。

例　通話回数ランキングを表示するとき

1 Menu 4 1 4 1

ランキング検索(通話)
電話帳一覧(1/1)
ドコモ太郎 10回
携帯春子 8回
ドコモ三郎 7回
携帯秋子 6回
携帯夏子 5回
ドコモ四郎 4回
ドコモ一郎 3回
ドコモ二郎 3回
携帯冬子 2回
2　2　03XXXXXXXX

累積通話回数

・累積通話回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までの通話回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からの通話がカウントの対象となります。

■ **メール回数ランキングを表示する：** Menu 4 1 4 2
・累積メール回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までのメール送受信回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からのｉモードメールの送受信がカウントの対象となります。

おしらせ

● 累積回数が同じ場合は、次のフリガナ順に表示されます。
①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

通話回数／メール回数をリセットする

1 電話帳を検索▶相手を選び Menu 9 3 ▶「はい」

- 個々の累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時がリセットされます。

■ **通話回数／メール回数を確認する：電話帳を検索▶相手を選ぶ▶詳細画面で、電話番号またはメールアドレスを選び** 📖

メモリ番号で検索する　　メモリ番号検索

FOMA端末電話帳を、メモリ番号を入力して検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 Menu 4 1 5 ▶メモリ番号を入力▶ 📖

メモリ番号検索
メモリ番号を
入力してください
5

メモリ番号検索
電話帳一覧(1／1)
000 ドコモ太郎
001 ドコモ一郎
002 ドコモ二郎
003 ドコモ三郎
004 ドコモ四郎
005 携帯春子
006 携帯夏子
007 携帯秋子
008 携帯冬子

1件目の電話番号に設定されているアイコン
メモリ番号
入力したメモリ番号に登録されている相手

- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

電話番号で検索する　　電話番号検索

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 Menu 4 1 6 ▶電話番号の一部を入力▶ 📖

電話番号検索
電話番号を
入力してください
03

電話番号検索
電話帳一覧(1／1)
000 ドコモ太郎
003 ドコモ三郎
004 ドコモ四郎
007 携帯秋子
008 携帯冬子

1件目の電話番号に設定されているアイコン
メモリ番号（FOMA端末電話帳のみ）

おしらせ

● 電話番号検索で該当する電話帳データが複数ある場合、FOMA端末の電話帳はメモリ番号の順に表示されます。FOMAカード電話帳は次のフリガナ順に表示されます。
①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

すばやく行検索する

1～9、0に割り当てられている文字（あ～ら、わ）から電話帳データを検索します。

- 前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。

例「ドコモ太郎」を検索するとき

1 待受画面で 4 📖

た行のフリガナが登録されている電話帳一覧が表示されます。

- 検索結果画面では、0～9、#、＊、 を押して行を切り替えられます。

検索方法を指定する

待受画面で[電話帳]を押したときに表示される検索方法を指定できます。
・FOMAカード電話帳の検索方法は指定できません。

お買い上げ時　全件表示（50音）

1 [Menu][4][1]▶**検索方法を選び**[Menu]
- 指定されている検索方法の項目に ✔ が付いています。
- シークレット検索は指定できません。

おしらせ

● 前回FOMAカード電話帳を検索した場合は、[電話帳]を押すと指定されている検索方法でFOMAカード電話帳を検索できます。ただし、FOMAカード電話帳で検索できない方法が指定されている場合は、FOMAカード電話帳（50音）の電話帳一覧が表示されます。

電話帳の登録内容を確認する

1 **電話帳を検索▶相手を選択**
詳細画面が表示されます。

電話帳2in1設定を示すマーク（2in1がデュアルモードのとき）
着信拒否／許可設定や発番号設定、シークレットコードが設定されている場合
着信音などの設定状況（電話／メール）※2
画像※1
登録したアイコン（タブ）
次のページがあるときは◁▷が表示されます。
アイコン種別
登録内容
メモリ番号
名前、フリガナ
グループ名

No.000　ドコモ太郎　ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ　英会話教室　自宅　03XXXXXXXX

FOMA端末電話帳

FOMAカード　ドコモ太郎　ドコモタロウ　英会話教室　電話番号　03XXXXXXXX

名前、フリガナ
グループ名

FOMAカード電話帳

♪／♪：着信音　着信バイブレータ／着信バイブレータ：着信バイブレータ　着信音と着信バイブレータ
着信イルミネーションパターン　着信イルミネーションカラー
着信イルミネーションパターンとカラー　テレビ電話代替画像（電話のみ）
A：Aモードの電話帳データ　B：Bモードの電話帳データ　AB：共通の電話帳データ

※1：登録した画像は、画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。
※2：電話帳別着信設定で着信音などを設定しているとアイコンが色付きで表示されます。

2 **[◎]で登録内容を表示**
- [◎]を押すたびに登録内容の表示が切り替わります。
- 前後の電話帳データの詳細画面を表示する：[◎]

■ **通話回数／メール回数を確認する：[◎]で電話番号またはメールアドレスを選び[電話帳]**
累積情報画面が表示されます。
- 累積情報をリセットするときは、累積情報画面で[電話帳]を押し「はい」を選択します。

■ **基本情報を確認する：[Menu][9][1]**
基本情報画面が表示されます。
- 電話帳に登録した画像／メモリ番号（FOMA端末電話帳のみ）、名前、フリガナ、グループ名、1件目の電話番号（アイコン種別、電話番号）、1件目のメールアドレス（アイコン種別、メールアドレス）が表示されます。

おしらせ

- 詳細画面からも電話帳一覧と同様に以下の操作ができます。
  - 着信動作を設定する☞P105
  - メールを検索する☞P109
  - 電話帳を修正する☞P113
  - 登録内容をコピーする☞P114
  - 電話番号／メールアドレス／メモリ番号の順番を入れ替える☞P114
  - 電話帳をコピーする☞P115
  - 電話帳を削除する☞P116
  - 発信者番号の通知／非通知を設定する☞P116
  - シークレットコードを設定する☞P117
  - シークレット属性を設定する☞P117
  - 登録件数を確認する☞P118
  - 着信拒否／許可を設定する☞P172

画像を詳細画面に表示するかどうかを設定する　画像／名前表示切替

電話帳の詳細画面に画像を表示させるかどうかを設定します。設定内容はすべての電話帳データに反映されます。

お買い上げ時　画像登録時のみ表示

1 **電話帳を検索▶相手を選択▶Menu 9 4▶1～3**

画像表示優先　：画像を表示します。
名前表示優先　：名前を表示します。画像は表示されません。
画像登録時のみ表示：画像を登録しているときのみ画像が表示されます。登録していないときは名前を表示します。

おしらせ

- 名前が長い場合は、名前がすべて表示されない場合があります。
- 本機能の設定は自局番号（☞P398）、リダイヤル／着信履歴（☞P57）、メールの送信／受信履歴（☞P252）の画像／名前表示切替設定にも反映されます。

電話帳を修正する　電話帳修正

- プッシュトーク電話帳に登録されているFOMA端末電話帳を修正すると、プッシュトーク電話帳にも反映されます。

登録内容を修正する

例　FOMA端末電話帳の電話帳データを修正するとき

1 **電話帳を検索▶相手を選び Menu 3 1**
- FOMAカード電話帳のとき：電話帳を検索▶相手を選び Menu 3

2 **電話帳データを修正▶📖**
- 詳細については
  ☞P103「FOMA端末電話帳に登録する」操作3、☞P106「FOMAカード電話帳に登録する」操作3

3 「上書き登録」または「新規登録」

- 上書き登録の場合は、以前の電話帳データは破棄されます。新規登録の場合は、以前の電話帳データは残り、新たに電話帳データが登録されます。
- メモリ番号を変更せずに、FOMA端末電話帳に新規登録した場合は、最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられ、メモリ番号入力画面に表示されます。必要に応じて番号を変更し、再度操作2から操作してください。
- プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号をFOMA端末電話帳から削除すると、上書き登録を選択した後、プッシュトーク電話帳から削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、プッシュトーク電話帳から削除されます。

おしらせ

- FOMAカード電話帳の電話帳データの電話番号に「＊」が含まれている場合は上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、一番最後以外に登録されている電話番号やメールアドレスを削除すると、以降が繰り上げ登録されます。

登録内容をコピーする

コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。
- コピーした内容は電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

例 FOMA端末電話帳の電話帳データをコピーするとき

1 電話帳を検索▶相手を選び Menu 6 ▶ 1 ～ 8 ▶貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

あかさたなはまやらわ他
電話帳一覧(1/1)
ドコモ一郎
ドコモ三郎
1 発信オプション/メール
2 新規登録
1 名前
2 電話番号
3 メールアドレス
4 テキストメモ
5 郵便番号/住所
6 会社名
7 役職名
8 URL

- FOMAカード電話帳のとき：FOMAカード電話帳を検索▶相手を選び Menu 6 ▶ 1 ～ 3 ▶貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

おしらせ

- 電話番号とメールアドレスは、1件目に登録されている内容がコピーされます。2件目以降の電話番号やメールアドレスをコピーするには、詳細画面でコピーする電話番号やメールアドレスを選びコピーします。

電話番号やメールアドレス、メモリ番号の順番を入れ替える

FOMA端末電話帳の電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。また、2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることもできます。

1 **電話帳を検索▶順序を入れ替える**

■ **電話番号の順序を入れ替える：相手を選びMenu 3 4 1▶1件目に登録する電話番号を選択**

電話番号入替え
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX

選択した電話番号と1件目の電話番号が入れ替わります。

■ **メールアドレスの順番を入れ替える：相手を選びMenu 3 4 2▶1件目に登録するメールアドレスを選択**

選択したメールアドレスと1件目のメールアドレスが入れ替わります。

■ **メモリ番号を入れ替える：相手を選びMenu 3 4 3▶メモリ番号を入れ替える相手を選択**

選択した電話帳データのメモリ番号が入れ替わります。

電話帳をコピーする

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の間で、相互に電話帳をコピーします。

- コピー元の電話帳にあるグループと同じ名前のグループが、コピー先の電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。

■ FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーされる項目

名前	全角10文字（半角21文字）まで。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字まで。
フリガナ	全角12文字（半角25文字）まで。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、12文字まで。半角カタカナは全角カタカナになります。
電話番号	1件目に登録されている電話番号をコピーします。26桁（FOMAカードの種類によっては20桁）まで（☛P38）。タイマー（T）が登録されている場合は、タイマー（T）のみ削除されます。アイコンはすべて☎になります。
メールアドレス	1件目に登録されているメールアドレスをコピーします（半角50文字まで）。アイコンはすべて📱になります。

- FOMAカード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

■ FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーされる項目

名前	登録内容がそのままコピーされます。
フリガナ	全角カタカナは半角カタカナになります。
電話番号	アイコンは☎になります。
メールアドレス	アイコンは📱になります。

例 FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーするとき

1 **電話帳を検索▶Menu 7 1▶相手を選択▶📖**

あかさたなはまやらわ他
電話帳選択(1/1)
☐携帯秋子
☐携帯夏子
☐携帯春子
☑携帯冬子

おしらせ

- FOMAカード電話帳の一覧画面ではMenuを押し、「本体へコピー」を選択します。
- FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーする場合、2in1がBモードのときは電話帳2in1設定が「B」に、それ以外は「A」に設定されます。

電話帳を削除する　電話帳削除

- 全件削除すると、作成したグループはすべて削除されます。
- 全件削除すると、シークレットモード中でない場合でもシークレット属性が設定されている電話帳データは削除されます。
- FOMAカード電話帳は全件削除はできません。

例 FOMA端末電話帳の電話帳データを削除するとき

1 電話帳を検索▶相手を選び Menu 4 1

■ 全件削除する：電話帳を検索▶ Menu 4 2 ▶端末暗証番号を入力

■ FOMAカード電話帳を削除する：電話帳を検索▶相手を選び Menu 4

2 「はい」

- FOMA端末電話帳からプッシュトーク電話帳に登録されている相手を削除した場合は、プッシュトーク電話帳からも削除されます。

電話帳をお預かりセンターに保存（復元・更新）する　電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用してFOMA端末電話帳のデータをお預かりセンターに保存できます。

- 電話帳の保存の詳細については☛P119

1 電話帳を検索▶ Menu 7 4 ▶「はい」▶端末暗証番号を入力

お預かりセンターに接続され、データの更新が実行されます。更新が完了すると、実行結果が表示されます。

- 実行結果は約5秒後に消え、待受画面に戻ります。早く戻すには㊦を押します。

電話帳に各種機能を設定する

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知の設定ができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定できます。

- FOMAカード電話帳は、ここで説明する機能を設定できません。

電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する　発番号設定

お買い上げ時　設定なし

1 電話帳を検索▶相手を選び Menu 3 5 2 ▶端末暗証番号を入力▶電話番号を選択▶ 1 ～ 3

おしらせ

- 「設定なし」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。
- 発番号設定をした電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に ! が表示されます。
- 発信者番号通知方法の優先順位について☛P48

メールアドレスにシークレットコードを設定する　シークレットコード設定

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データに設定しておくと、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 **電話帳を検索▶相手を選び[Menu][3][5][4]▶端末暗証番号を入力▶メールアドレスを選択**

2 **4桁のシークレットコードを入力**
- シークレットコード設定を解除する：[クリア]を1秒以上押して消去▶●

おしらせ

- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールには返信できません。
- シークレットコードを設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に！が表示されます。
- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードは、操作1の手順で確認できます。

他人に見られたくない電話帳を守る　シークレット属性

端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレット属性を持ったデータにします。

電話帳にシークレット属性を設定する

- FOMAカード電話帳には設定できません。
- シークレット属性を設定するにはシークレットモード中に設定操作をする必要があります。

1 **シークレットモードを設定**

2 **待受画面で電話帳を検索▶相手を選び[Menu][3][5][1]**

- シークレット属性が設定されると🔒が点滅します。
- 解除するには、同様の操作を行います。

おしらせ

- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードに設定しないと修正や検索ができません。また、クイックダイヤルやクイックメールも利用できません。
- シークレットモードを設定していないときは、着信画面、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモ、メールの受信結果画面、受信メール一覧などに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前や登録された画像または動画／ｉモーションは表示されません。また、電話帳データに設定した着信音やバイブレータも動作しません。
- シークレットモード中に電話帳データを登録・修正すると、その電話帳データにシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性の設定は、プッシュトーク電話帳にも反映されます。

シークレット属性を設定した電話帳を検索する　シークレット検索

・検索できるのはシークレット属性が設定されている電話帳データだけです。

1 **シークレットモードを設定**

2 **待受画面でMenu 4 1 7**

・以降の操作は通常の検索方法と同じです。☛P108

☛P108

点滅し、シークレット属性が設定されていることを示します。

シークレット検索
電話帳一覧(1／1)
005 携帯春子
008 携帯冬子

おしらせ

● シークレットモード中にシークレット検索以外の検索を行うと、シークレット属性が設定されている電話帳データと設定されていない電話帳データの両方が検索の対象となります。

電話帳の登録状況を確認する　登録件数確認

電話帳の登録件数やシークレット属性が設定されている件数などを表示します。

・シークレットデータ件数は、シークレットモード中のみ表示されます。

1 **電話帳を検索▶Menu 9 2**

おしらせ

● 登録件数は、シークレット属性が設定されている件数を含みます。

少ないキー操作で電話をかける　クイックダイヤル

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話やプッシュトークをかけられます。

・電話帳データの1件目の電話番号が電話をかける対象となります。

例　メモリ番号2の電話番号に電話をかけるとき

1 **メモリ番号（この場合は 2 ）を入力▶**

・メモリ番号の前に0などは付けずに入力します。前に0などを付けて入力すると、電話はかかりません。
・テレビ電話をかける：メモリ番号を入力▶
・プッシュトークを発信する：メモリ番号を入力▶
入力したメモリ番号の電話帳の電話番号がプッシュトーク電話帳に登録されているときは、その電話番号にプッシュトークが発信されます。プッシュトーク電話帳に登録されていない場合は、電話帳の1件目の電話番号にプッシュトーク発信されます。

おしらせ

● 2in1がONのときは、電話帳2in1設定に従って発信されます。

電話帳お預かりサービスを利用する

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用して FOMA 端末電話帳のデータをお預かりセンターに保存し、FOMA 端末の紛失、水濡れ時などに、お預かりセンターのデータをもとに新しいFOMA 端末に電話帳データを復元できます。また、お預かりセンターのデータをパソコンなどで編集し、FOMA 端末の電話帳に反映することもできます。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- FOMAカード電話帳は保存できません。

電話帳を保存する／更新する／復元する

1 **Menu 6 8 1 ▶「はい」▶端末暗証番号を入力**

お預かりセンターに接続され、データの更新が実行されます。更新が完了すると、実行結果が表示されます。

- 実行結果は約5秒後に消え、電話帳お預かりサービスのメニュー画面に戻ります。早くメニュー画面に戻すには⊙を押します。

おしらせ

● お預かりセンターに接続中に電話やプッシュトークが着信した場合の動作は次のとおりです。
- 電話帳に登録している相手からの着信の場合でも、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータなどは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
- メモリ別着信拒否、メモリ登録外着信拒否、呼出動作開始時間設定は動作しません。
- 着もじは受信しません。
- プッシュトークの場合は、ｉモード中プッシュトーク着信を「プッシュトーク着信優先」に設定している場合のみ着信します。お預かりセンターとの通信は切断されます。

● 電話帳お預かりサービスの設定により、お預かりセンターからFOMA端末電話帳の更新が行えます。ただし、自動更新時に他の機能を実行していると自動更新は実行されません。

● 電話帳のグループの並び順は、復元しても保存したときの並び順に戻らない場合があります。

● 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

通信履歴を確認する

お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。

- 履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 **Menu 6 8 2 ▶履歴を選択**

電話帳の画像を送信するかどうかを設定する

電話帳に登録されている画像をお預かりセンターに送信するかどうかを設定します。

お買い上げ時 なし

1 Menu 6 8 3 ▶ **電話帳内画像送信欄** ▶ 1 〜 2 ▶ 📖

音／画面／照明設定

着信時などの動作を設定する

電話着信時の動作を設定する　電話着信設定／テレビ電話着信設定

- Bナンバーへの着信時の着信音は、Bナンバー着信設定に従います。☛P427

お買い上げ時　着信音：メロディ／Vivaldism（電話着信設定）、メロディ／電話・メロディ A（テレビ電話着信設定）
イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF　イルミネーション：点滅／青

例　音声電話着信時の動作を設定するとき

1 [Menu] [8] [4] [1] [2]

■ テレビ電話着信時の動作を設定する：[Menu] [8] [5] [1] [2]

2 **各項目を設定▶[📖]**

着信音：電話がかかってきたときの着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データを設定するには☛P127
- 「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。

イメージ表示：電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像が設定されます。
- 「イメージ」「ｉモーション」を選択したときは、画像を設定します。

バイブレータ：電話がかかってきたときの振動を設定します。

イルミネーション：着信時の決定キーの照明の点灯パターンと色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると照明の色は設定できません。

- きせかえツールを設定している場合は☛P149
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126

プッシュトーク着信時の動作を設定する　プッシュトーク着信設定

お買い上げ時　着信音：メロディ／電話・メロディ B　バイブレータ：OFF　着信イルミネーション：点滅／赤

1 [Menu] [8] [5] [3] [1] **▶各項目を設定▶[📖]**

着信音：プッシュトークを着信したときの着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データを設定するには☛P127
- きせかえツールを設定している場合は☛P149
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126

バイブレータ：プッシュトークを着信したときの振動を設定します。

着信イルミネーション：
着信時の決定キーの照明の点灯パターンと色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると照明の色は設定できません。

Menu 191

メール着信時の動作を設定する　メール着信設定

ｉモードメールやSMSを受信したときの動作を設定します。

お買い上げ時　着信音選択：メロディ／メール・メロディＡ　着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑　バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10秒

1 [メール][9][1]

2 **各項目を設定▶[決定]**

着信音選択　：ｉモードメールやSMSを受信したときの着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データを設定するには☛P127
- きせかえツールを設定している場合は☛P149
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126

着信イルミネーション設定：
着信時の決定キーの照明の点灯パターンと色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると照明の色は設定できません。

バイブレータ設定：
着信時の振動を設定します。

鳴動時間（秒）：着信音などを鳴動させる時間を設定します（1～30秒）。

Menu 192

チャットメール着信時の動作を設定する　チャットメール着信設定

チャットメールを起動していないときに、チャットメールを受信したときの着信動作を設定します。

お買い上げ時　着信動作設定：設定する　着信音選択：メロディ／メール・メロディＢ　着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑　バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10秒

1 [メール][9][2]▶**各項目を設定**▶[決定]

着信動作設定　：着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うかを設定します。
- 「設定する」に設定すると、以下の項目を設定できます。

着信音選択　：チャットメールを受信したときの着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データを設定するには☛P127
- きせかえツールを設定している場合は☛P149
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126

着信イルミネーション設定：
着信時の決定キーの照明の点灯パターンと色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると照明の色は設定できません。

バイブレータ設定：
着信時の振動を設定します。

鳴動時間（秒）：着信音などを鳴動させる時間を設定します（1～30秒）。

メッセージR/F着信時の動作を設定する　メッセージR/F着信設定

お買い上げ時　着信音選択：メロディ／メール・メロディC　着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑
バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10秒

例　メッセージR着信時の動作を設定するとき

1 [6][3][4]

■ メッセージF着信時の動作を設定する：[6][3][5]

2 **各項目を設定▶[本]**

- 各項目については「メール着信時の動作を設定する」の操作2と同様です。☛P123

トルカ取得時の動作を設定する　トルカ取得確認設定

読み取り機からトルカを取得したときの動作を設定します。

お買い上げ時　イルミネーション設定：ON　イルミネーションカラー：青　トルカ取得音量：レベル4

1 [Menu][8][5][2][1]▶**各項目を設定**▶[本]

イルミネーション設定：
トルカ取得時に決定キーの照明を点滅させるかどうかを設定します。

イルミネーションカラー：
決定キーの照明の色を設定します。

トルカ取得音量： トルカ取得時に鳴る音の音量を設定します。
- 音量の調整方法については☛P130

GPS測位時の動作を設定する　測位動作設定

お買い上げ時

- 現在地確認
  鳴動音選択、バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10秒　イルミネーション設定：点灯／青-緑
- 現在地通知
  鳴動音選択：メロディ／パターン5　バイブレータ設定：パターンB　鳴動時間：10秒
  イルミネーション設定：点灯／赤-青
- 位置提供／許可、位置提供／毎回確認
  鳴動音選択：メロディ／パターン5　バイブレータ設定：パターンC　鳴動時間：10秒
  イルミネーション設定：点灯／緑-赤

例　現在地確認の測位動作を設定するとき

1 [Menu][6][9][4][3]

■ 現在地通知の測位動作を設定する：[Menu][6][9][5][2][3]

■ 位置提供の測位動作を設定する：[Menu][6][9][6][5]▶[1]～[2]

2 各項目を設定▶[書]

鳴動音選択　：測位時の音を設定します。
- 「メロディ」を選択したときは、音を設定します。
- 選択時にメロディを再生して確認するには☞P126

バイブレータ設定：
測位時の振動を設定します。

鳴動時間（秒）：音などを鳴動させる時間を設定します（位置提供／毎回確認では0～20秒、それ以外では0～30秒）。

イルミネーション設定：
決定キーの照明の点灯パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」は選択できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認では「OFF」も選択できません。

おしらせ

[共通]
- 本機能での設定内容は、音の設定（☞P126）、電話発着信画像設定の電話着信設定／テレビ電話着信設定（☞P141）、バイブレータ設定（☞P132）、イルミネーション設定（☞P152）、音量設定（☞P130）にもそれぞれ反映されます。

[電話着信設定／テレビ電話着信設定]
- イメージ表示にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、音楽データを着信音に設定しているとき、イメージ表示を映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。メロディは変更できます。
- 動画／ｉモーションによってはイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。

[プッシュトーク着信設定]
- プッシュトーク着信音に設定する動画／ｉモーションには、音声のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。

[メール着信設定]
- FOMA端末電話帳でメール着信設定をしている相手からのメールを受信した場合は、電話帳の設定で動作します。☞P105

[チャットメール着信設定]
- 同時に複数のメールを受信した場合にチャットメール着信設定どおりの動作となるのは、チャットメールを最後に受信したときのみです。

[測位動作時]
- 鳴動音、バイブレータを設定しても、現在地確認でリトライするときは鳴動しません。
- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの発信中、通話／通信中、着信中は、GPS機能の鳴動音、バイブレータは鳴動しません。発信中および通話／通信中の場合は、受話口から「ピピッピピッ」という音が鳴ります。

FOMA端末から鳴る音を変える　音の設定

電話やプッシュトークが着信したとき、メールやメッセージR/Fなどを受信したときに鳴る音を設定します。また、目覚まし音やスケジュール音、さまざまな操作をしたときの確認音などを設定します。

- 他の音などを設定するには、以下を参照してください。
  - ・充電確認音☛P133　・応答保留ガイダンス☛P73　・通話保留音☛P73
  - ・通話品質アラーム音☛P133　・再接続アラーム音☛P65　・電池アラーム音☛P44

電話やメール・メッセージなどの着信音を設定する　電話着信音／メール・メッセージ着信音

- 着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション・着うた®）。
- Bナンバーへの電話着信時の着信音は、Bナンバー着信設定に従います。☛P427

お買い上げ時　電話：メロディ／Vivaldism　テレビ電話：メロディ／電話・メロディA
プッシュトーク：メロディ／電話・メロディB　メール：メロディ／メール・メロディA
チャットメール：メロディ／メール・メロディB
メッセージR、メッセージF：メロディ／メール・メロディC

例　電話着信音を設定するとき

1 [Menu][8][1][1][1]▶[1]～[3]

■ **発番号なし動作設定を設定する：[Menu][8][1][1][1]▶[4]▶端末暗証番号を入力**

- 以降の操作は、「電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する」の操作2以降と同じです。☛P173

■ **メール・メッセージ着信音を設定する：[Menu][8][1][1][2]▶[1]～[4]**

2 **各項目を設定▶[□]**

電話着信音
電話 メロディ
Vivaldism

- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データを設定するには☛P127
- きせかえツールを設定している場合は☛P149
- チャットメール着信音を「メール連動」に設定すると、メール着信音の設定に従います。

メロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには

● メロディ一覧でメロディを選び[□]を押すと再生できます（一覧の見かた☛P335）。再生中は次の操作ができます。

- 音量調整※1：[◎]　• 前後のメロディの再生：[◎]　• メロディ一覧に戻る：[クリア]
- メロディの選択：[◎]

● 動画／ｉモーション一覧で動画／ｉモーションを選び[□]を押すと再生できます（一覧の見かた☛P324）。[Menu]を押すと詳細情報を確認できます。再生中は次の操作ができます。

- 音量調整※1：[◎]　• 一時停止／再生：[◎]　• 停止（動画／ｉモーション一覧に戻る）：[□]／[クリア]
- 早送り再生：[◎]　• 巻戻し再生：[◎]　• チャプター戻し：[4]
- チャプター送り：[6]

ただし、動画／ｉモーションによっては早送り再生、巻戻し再生、チャプター戻し、チャプター送りができないことがあります。

※1：再生時の音量はメロディまたはｉモーションの動作設定に従います。音量を調整するとメロディまたはｉモーションの動作設定（☛P336、P330）にも反映されます。着信音量には連動しません。

音楽データを設定するには

音楽データを設定する方法には、まるごと設定とオススメ設定があります。まるごと設定では、音楽データ全体を設定します。オススメ設定では、音楽データのあらかじめ決められている一部分を設定します。

● WMAファイル、部分的にダウンロードした音楽データは設定できません。

● 音楽データによっては設定できない場合や、まるごと設定とオススメ設定の一方しかできない場合があります。設定ができるかどうかは詳細情報参照で確認できます。☛P374

①「ミュージック」▶フォルダを選択

• 「ミュージック」を選択しても、フォルダ一覧が表示されないときは、メロディ欄を選択してください。

② 音楽データを設定

• 詳細情報を確認する：音楽データを選びMenu

■ **まるごと設定する：音楽データを選択**

■ **オススメ設定する：音楽データを選び✉▶再生箇所を選択**

■ **再生して確認する：**

• 音楽データ全体を再生する：音楽データ一覧で音楽データを選び📖
• オススメ設定の再生箇所を再生する：再生箇所一覧で再生箇所を選び📖
• 音楽データ一覧の見かた☛P371
• 再生中は次の操作ができます。
  ・音量調整※1：⊙　・一時停止／再生：⊙
  ・停止（音楽データ一覧／再生箇所一覧に戻る）：クリア
  ・早送り：⊙（1秒以上）　・巻戻し：⊙（1秒以上）

※1：再生時の音量はミュージックプレイヤーの動作設定に従います。音量を調整するとミュージックプレイヤーの動作設定にも反映されます。着信音量には連動しません。

■ **microSDメモリーカード内の音楽データを設定する：**

まるごと設定またはオススメ設定をしようとすると確認画面が表示されます。設定方法や音楽データにより画面が異なります。

• FOMA端末に移動して設定するかどうかの確認画面が表示されたとき：「はい」
  音楽データがFOMA端末に移動されます。
• ｉモーションに切り出して設定するかどうかの確認画面が表示されたとき：「はい」▶表示名を入力▶📖
  着信音に設定する部分がコンテンツ移行対応のｉモーションとしてFOMA端末に保存されます。

着信音などに設定できるメロディ一覧

お買い上げ時は、次のメロディがメロディの「プリインストール」フォルダに登録されています。

• □のメロディは3Dサウンドに対応しています。
• ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

曲名（【　】内は作曲者）	曲名（【　】内は作曲者）	曲名（【　】内は作曲者）
パターン1～5	アラーム・メロディ	ツァラトゥストラはかく語りき【STRAUSS RICHARD】
電話・メロディA	アラーム・アナログ時計	ジムノペディ第1番【SATIE ERIK ALFREDI LE】
電話・メロディB	アラーム・女性ボイス	SKY
電話・メロディC	スライド・オープン音1～3	Lover
電話・黒電話	スライド・クローズ音1～3	Lively Tone
電話・女性ボイス	保留音・ボイス	Early Reflection
メール・メロディA	Vivaldism	
メール・メロディB	交響曲第25番ト短調K.183より第1楽章【MOZART WOLFGANG AMADEUS】	
メール・メロディC		
メール・女性ボイス	おもちゃの兵隊のマーチ【JESSEL LEON】	
メール・英語ボイス	凱旋行進曲【VERDI GIUSEPPE】	

• 作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。

着信時の動作について

■ 着信音の優先順位について

複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で鳴ります。

①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
③FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④音の設定／Bナンバー着信設定

- プッシュトークの着信音は、音の設定に従います。
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音は音の設定／Bナンバー着信設定に従います。プッシュトークの着信音は、音の設定に従います。ただし、発番号なし動作設定の着信動作を「着信拒否」に設定している場合は、発信者番号を通知してこない着信はすべて拒否されます。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像が削除されると、設定内容が変更されます。この場合、実際に鳴る音や表示される画像が設定内容と異なることがあります。
- 電話帳に画像または動画／ｉモーションを設定していても、着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定しているときは、着信音と着信画像は「着モーション」の設定が優先されます。着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定しているとき、または「ミュージック」を設定しているときは、着信音は「着モーション」または「ミュージック」の設定になり、着信画像は電話帳に設定した画像またはグループ別発着信設定や電話着信設定／テレビ電話着信設定で設定した画像になります。

■「着モーション」に設定する動画／ｉモーションの種類と着信画像

設定する動画／ｉモーション	表示される着信画像
音声のみ※1	• 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定しているときに、着信音に音声のみの動画／ｉモーションやメロディ、音楽データを設定すると、標準画像が表示されます。 • 着信画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定しているときに、着信音に音声のみの動画／ｉモーションや音楽データを設定すると、標準画像が表示されます。 ただし、音声電話やテレビ電話の着信画像（Flash画像を除く）は、電話着信設定やテレビ電話着信設定で標準画像から変更※2できます。
音声と映像あり	着信画像は動画／ｉモーションの映像になります。

※１：歌手の歌声など映像のないｉモーション。
※２：アニメーション（標準画像を除く）に変更しても動作せず、着信画面には最初のコマが表示されます。

おしらせ

- 次の動画／ｉモーションや音楽データは、着信音に設定できません。
  - 映像のみの動画／ｉモーション
  - 詳細情報（☛P350）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーション
  - 詳細情報（☛P374）のまるごと着信音設定とオススメ着信音設定が「不可」になっている音楽データ
- プッシュトークの「着モーション」には音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）のみ設定できます。
- 着信音に音楽データを設定し、着信画面にアニメーション（標準画像を除く）を設定している場合は、アニメーションは動作せず、着信画面には最初のコマが表示されます。
- 本機能での設定内容は、次の設定にも反映されます。
  - 電話着信設定、テレビ電話着信設定☛P122　• プッシュトーク着信設定☛P122
  - メール着信設定☛P123　• チャットメール着信設定☛P123　• メッセージR/F着信設定☛P124
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、着信音をイヤホンからのみ鳴らすように設定する☛P406

目覚まし音やスケジュール音を設定する　目覚まし音・スケジュール音

目覚ましやスケジュールで、目覚まし音やスケジュール音を「端末設定に従う」に設定しているときに鳴る音を設定します。

お買い上げ時　目覚まし音：メロディ／アラーム・メロディ　アラーム：メロディ／アラーム・女性ボイス
予告アラーム：メロディ／パターン4

1 Menu 8 1 1 4 ▶ 1 ～ 2 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

- 音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。
- 音楽データを設定するには☛P127
- きせかえツールを設定している場合は☛P149

キーを押したときやスピードセレクターを回転させたときに鳴る音を設定する　キー確認音・スピードセレクター音

- キー確認音を変更すると電池レベル表示時の確認音も変更されます。
- 次のキーを押したときは鳴りません。
  - 📷　・ 🔑　・ ⊶

お買い上げ時　キー確認音：キー確認音1　スピードセレクター音：スピードセレクター音1

1 Menu 8 1 1 5 ▶ 1 ～ 2 ▶ 1 ～ 4

おしらせ

- キー確認音を「OFF」に設定すると、次の音は鳴らなくなります。
  - 電池レベル表示時の確認音
  - 赤外線通信、iC通信、データ送受信時の通信終了音
- キー確認音やスピードセレクター音を「OFF」以外に設定しても、次の場合は鳴りません。
  - マナーモード中（オリジナルマナーモード中で、オリジナルマナーモード設定のキー確認音やスピードセレクター音を「OFF」以外に設定している場合は鳴ります）
  - プロテクトキーロック中（ディスプレイの表示が消えているときに、☎を押した場合は鳴ります）
  - ｉアプリ実行中（マルチタスクの切り替え中や他の画面を表示中は鳴ります）
  - 動画撮影中
  - サウンドレコーダー録音中
  - ボイス認証中／認証用の音声録音中
  - スピードメニューの音声認証中
- 本機能での設定内容は、初期設定にも反映されます。☛P45

GPS使用時に鳴らす音を設定する　GPS測位鳴動音

お買い上げ時　現在地確認：OFF　現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認：メロディ／パターン5

1 Menu 8 1 1 3 ▶ 1 ～ 4 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

- 「メロディ」を選択したときは、鳴動音を設定します。

おしらせ

- 本機能での設定内容は、現在地確認や現在地通知、位置提供の測位動作設定にも反映されます。☛P124

シャッター音を設定する　シャッター音

- 動画撮影シャッター音を変更すると、サウンドレコーダーの録音確認音（シャッター音）も変わります。

お買い上げ時　静止画撮影シャッター音、動画撮影シャッター音：シャッター音1

1 Menu 8 1 1 5 ▶ 3 〜 4 ▶ 1 〜 5

おしらせ

- 本機能での設定内容は、静止画詳細設定、動画／録音詳細設定にもそれぞれ反映されます。☛P187

FOMA端末を開閉したときに鳴る音を設定する　スライド音

お買い上げ時　スライドオープン：メロディ／スライド・オープン音1
スライドクローズ：メロディ／スライド・クローズ音1

1 Menu 8 1 1 5 5 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

スライドオープン：FOMA端末を開いたときに鳴る音を設定します。
スライドクローズ：FOMA端末を閉じたときに鳴る音を設定します。
- 「メロディ」を選択したときは、スライド音を設定します。

おしらせ

- FOMA端末をすばやく開閉すると、スライド音は鳴らない場合があります。また、次の場合は、FOMA端末を開閉してもスライド音は鳴りません。
  - 発信中
  - 呼出中
  - 着信中
  - 応答保留中
  - 通話中
  - プッシュトーク通信中
  - マナーモード中
  - 目覚まし音／アラーム鳴動中
  - メロディ再生中
  - 動画／ｉモーション再生中
  - 音楽データ再生中
  - 動画撮影中
  - キャラ電撮影中
  - 伝言メモ／音声メモ／動画メモ再生中
  - 伝言メモ応答ガイダンス再生中
  - ｉアプリ起動中
  - サウンドレコーダー録音中
  - 通話料金上限通知アラーム鳴動中
  - 伝言メモ録音／録画中
  - 通話中音声メモ録音中
  - 動画メモ録画中
- スライド音の音量は変更できません。
- 本機能での設定内容は、初期設定にも反映されます。☛P45

着信音などFOMA端末から鳴る音の音量を調整する　音量設定

電話やメールの着信音、目覚まし音、スケジュール音などの音量を調整します。
- 「silent」（消音）、Level1～Level6の7段階で調整できます（着モーションも7段階になります）。STEPTONE（約3秒ごとに、消音→Level1→…→Level6で着信音が鳴る）も設定できます。
- 受話音量は、消音に設定できません。
- 受話音量、ｉアプリ音量、トルカ取得音量、メロディ音量は、STEPTONEに設定できません。

お買い上げ時　すべてLevel4

1 Menu 8 1 2

2 1～8

- アラーム音量を選択したときは、さらに1～2を押します。

3 **で音量調整▶**

- STEPTONEにする：Level6のときに、または
- 消音にする：Level1のときに、または

■ 各設定により音量が変更される音

設 定	変更される音
電話着信音量	• 音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音 • 通話料金の上限通知アラーム　• 電池レベル表示時の確認音
メール・メッセージ着信音量	メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音
GPS測位鳴動音量	GPS機能（現在地確認、現在地通知、位置提供）の測位時に鳴る音
受話音量	• 音声電話、テレビ電話、プッシュトークの受話音 • キー確認音　• スピードセレクターを回転したときの音 • 音声電話伝言メモ　• 音声メモの再生音 • 画像へのスタンプ貼り付けとテキスト貼り付けの効果音
目覚まし音量	• 目覚ましで、音量を「端末設定に従う」に設定したときの目覚まし音 • お知らせタイマーのアラーム音
スケジュール音量	スケジュールのアラーム音
ｉアプリ音量	ｉアプリから鳴る音
トルカ取得音量	トルカ取得時に鳴る音
メロディ音量	• メロディ再生時の音 • メールやメッセージR/Fに添付されたメロディ再生時の音

おしらせ

- 電話着信音量を消音に設定した場合は、待受画面にが表示されます。また、同時に音声電話のバイブレータを設定した場合は、が表示されます。
- トルカ取得音量、メロディ音量の設定内容は、トルカ取得確認設定(☛P124)、メロディの動作設定(☛P336)にも反映されます。

ステレオ・3Dサウンドやサラウンドの効果を設定する　ステレオ効果設定

動画／ｉモーションやメロディ、音楽データを再生する際のステレオ効果を設定します。

お買い上げ時　動画（ｉモーション）：OFF　メロディ：ON　ミュージックプレイヤー：OFF

1 Menu 8 1 6 ▶ 1～3 ▶ 1～2

- 「ON」に設定すると、広がりや奥行きのある立体音響で再生されます。

3Dサウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー（または付属のステレオイヤホンなど）を使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。臨場感あふれるｉアプリのゲームや着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。
本機能は、FOMA端末を約20～30cm（個人差があります）程度離し、正面に持って聞いた場合に最も効果が現れます。正面から左右にずらした位置で聞いたり、近すぎたり遠すぎたりすると、効果が薄れてしまいます。
● 立体感の感じかたには個人差があります。

おしらせ

● 本機能での設定内容は、ｉモーションの動作設定（☛P330）、メロディの動作設定（☛P336）、ミュージックプレイヤーの動作設定（☛P377）にも反映されます。

着信やアラームを振動で知らせる バイブレータ設定

・目覚ましで、バイブレータを「端末設定に従う」に設定しているときに、本設定の目覚まし鳴動時の設定が有効になります。
・バイブレータを設定して机などの上に置いたままにすると、バイブレータが動作したときに振動で落下する恐れがありますので、ご注意ください。

お買い上げ時 電話着信時、テレビ電話着信時、プッシュトーク着信時、メール着信時、チャットメール着信時、メッセージR着信時、メッセージF着信時、現在地確認時：OFF　現在地通知時：パターンB
位置提供／許可時、位置提供／毎回確認時：パターンC　目覚まし鳴動時、スケジュール鳴動時：OFF
ｉアプリ利用時：ON

例 電話着信時のバイブレータの動作を設定するとき

1 Menu 8 1 3 1 ▶ 1 ～ 3

■ **メール・メッセージ着信時の動作を設定する：** Menu 8 1 3 2 ▶ 1 ～ 4
・チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信時を設定できません。

■ **GPS測位時の動作を設定する：** Menu 8 1 3 3 ▶ 1 ～ 4

■ **アラーム鳴動時の動作を設定する：** Menu 8 1 3 4 ▶ 1 ～ 2

■ **ｉアプリ利用時の動作を設定する：** Menu 8 1 3 5

2 1 ～ 5

・ｉアプリ利用時の動作を設定する：1 ～ 2
・「パターンA」を設定すると、約0.5秒振動→約0.5秒停止→約0.5秒振動→約1.5秒停止の繰り返しで振動します。
・「パターンB」を設定すると、約1秒振動→約2秒停止の繰り返しで振動します。
・「パターンC」を設定すると、約0.25秒振動→約0.25秒停止の繰り返しで振動します。
・「メロディ連動」を設定すると、着信音などに設定したメロディに合わせて振動します。ただし、メロディによっては振動しないことがあります。また、主旋律に連動しないことがあります。
・電話着信時のバイブレータを設定したときは、待受画面に（電話着信音量を「silent」（消音）に設定しているときは）が表示されます。

バイブレータの優先順位について

複数の機能でバイブレータを設定している場合は、次の優先順位で振動します。
①FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③バイブレータ設定
● プッシュトーク着信時の振動は、バイブレータ設定に従います。

おしらせ

● 通話中に着信があった場合は振動しません。
●「OFF」に設定していても、一部のFlash画像が動作しているときに振動する場合があります。
● パターンの選択画面で「メロディ連動」を選んでも振動しません。
● お知らせタイマーのバイブレータの動作は、目覚まし鳴動時の設定に従います。

● 本機能での設定内容は、次の設定にも反映されます。
- 電話着信設定、テレビ電話着信設定☛P122　・プッシュトーク着信設定☛P122
- メール着信設定☛P123　・チャットメール着信設定☛P123　・メッセージR/F着信設定☛P124
- 現在地確認の測位動作設定、現在地通知の測位動作設定、位置提供の測位動作設定☛P124
- ｉアプリのバイブレータ設定☛P274

充電時の確認音を設定する　充電確認音

充電の開始／完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時　ON

1 Menu 8 1 1 6 ▶ 1 〜 2

おしらせ

●「ON」に設定しても、次の場合は、充電確認音は鳴りません。
- マナーモード中
- 公共モード（ドライブモード）中
- 音声電話通話中
- テレビ電話通話中
- プッシュトーク通信中
- 64Kデータ通信中
- ｉモード通信中
- パケット通信中

通話が切れそうなときにアラームで知らせる　通話品質アラーム音

音声電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れてしまう恐れのある場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。
- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

お買い上げ時　アラーム高音

1 Menu 8 1 1 7 3 ▶ 1 〜 3

電話から鳴る音を消す　マナーモード

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。

お買い上げ時　未設定

1 Menu **（1秒以上）または** # **（1秒以上）**

マナーモード選択で指定したマナーモードが設定され、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。
- 解除するには、同様の操作を行います。

通常マナーモードを設定すると

着信音、キー確認音、アラームなどFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

● 次の場合のバイブレータの動作は、「パターンA」になります。
- 電話やプッシュトーク着信時、メール受信時など
- お知らせタイマーで指定した時間が経過したとき
- スケジュールで設定した日時になったとき

● 目覚ましで設定した時刻になったときのバイブレータの動作は、目覚ましの設定に従います。

● GPS測位中のバイブレータの動作は、バイブレータ設定に従います。ただし、GPS測位時に鳴動音を鳴らす設定にしている場合は、バイブレータ設定を「OFF」に設定していても「パターンA」で動作します。

● 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して送受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません※1。

● メロディや音楽データの再生時には、再生するかどうかの確認画面が表示されます※1。「はい」を選択すると再生されます。

● 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます※1。「はい」を選択すると再生されます。映像のある動画／ｉモーションの場合、「いいえ」を選択すると映像のみ再生されます。

※1：スピーカー出力時のみ

おしらせ

● マナーモード中でも、シャッター音は鳴ります（キャラ電撮影を除く）。

● 通常マナーモード中は、通話料金上限通知を「ON」に設定し、アラームで通知する設定にしていても、メッセージのみ表示されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従ってアラームが鳴ります。

マナーモードを変更する　マナーモード選択

マナーモードの設定を変更できます（オリジナルマナーモード設定）。通常マナーモードとオリジナルマナーモードのどちらを設定するかを選択できます。

お買い上げ時　通常マナーモード

1 Menu 8 1 4

2 2

- 1 を押すと通常マナーモードで動作するように設定され、1つ前の画面に戻ります。

3 **各項目を設定▶**

バイブレータ　：電話やプッシュトーク着信時、メール受信時などにバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定（☛P132）に従って振動で知らせます。ただし、バイブレータ設定で「OFF」に設定しているときは「パターンA」で振動します。GPS測位時のバイブレータ設定を「OFF」に設定している場合は、鳴動音を鳴らす設定にしているときだけ、測位中に「パターンA」で振動します。

キー確認音　：キー確認音を設定します。

スピードセレクター音：
スピードセレクターを回転させたときに鳴る音を設定します。

電話着信音量　：電話着信音量を設定します。

メール着信音量：メール着信音量を設定します。
メロディ音量　：メロディ再生時の音量を設定します。
トルカ取得音量：読み取り機からトルカを取得したときに鳴る音の音量を設定します。
GPS測位動作音量：
GPS測位鳴動音の音量を設定します。
電池アラーム音：電池が切れそうなときにアラームを鳴らすかどうかを設定します。
目覚まし音　：目覚まし音やお知らせタイマーのアラームを鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、目覚まし音は、目覚ましの設定に従って鳴ります。お知らせタイマーのアラームは、音量設定（☛P130）の目覚まし音量で設定した音量で「アラーム・メロディ」が鳴ります。

スケジュール音：スケジュールのアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、スケジュールの設定とスケジュール音量に従って鳴ります。

ｉアプリ音　：ｉアプリの音を鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」に設定するとｉアプリ音量に従って鳴ります。

マイク感度UP：マイクの感度を上げるかどうかを設定します。

待受画面の表示を変更する　待受画面設定

待受画面の表示をお好みに応じて変更できます。
- テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定しているとき、待受画面に動画／ｉモーションまたはキャラ電、ｉアプリを設定すると、テロップ表示は解除されます。その後、動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面以外を設定すると、テロップ表示設定のテロップ表示は「表示する」に戻ります。☛P222
- 時計の表示を設定するには☛P155
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときの待受画面は、モード別待受画面設定に従います。☛P427
  ただし、カスタム待受画面の設定は、2in1の設定に関わらず有効です。
- モーションコントロールにより、卓上ホルダ（別売）を使用して充電しているときなどはインテリア時計が表示されます。☛P384

画像・動画／ｉモーション・キャラ電を待受画面に設定する

- お買い上げ時に登録されている画像、ｉモーション、キャラ電☛P454、P457

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

1 Menu 8 2 1 1 ▶ 1／3／4

待受画面選択
1 イメージ設定
2 ランダムイメージ設定
3 ｉモーション設定
4 キャラ電設定
5 ｉアプリ設定
6 きせかえツールに従う

- きせかえツールを設定している場合は☛P149

2 **フォルダを選択▶画像、動画／ｉモーション、キャラ電を選択**
- 画像を確認するには、画像一覧で画像を選び m を押します。画像表示画面で次の操作ができます。
  ・前後の画像の表示：◎　・画像一覧に戻る：クリア　・画像の選択：●

• キャラ電を確認するには、キャラ電一覧でキャラ電を選び [田] を押します。キャラ電表示画面で次の操作ができます。
・全体アクションとパーツアクションの切り替え：[⇄]
・アクション一覧を表示：[✉]　・拡大表示と等倍表示の切り替え：[◎]
・キャラ電一覧に戻る：[◎]／[クリア]
• 選択時に動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126
• microSDメモリーカードに保存されている画像や動画／ｉモーションは選択できません。FOMA端末に移動またはコピーしてから選択してください。
• 2in1がデュアルモードまたはBモードのとき、Aモード待受画面を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **キャラ電のアクションを設定する：**

① **キャラ電一覧でキャラ電を選び[Menu]▶通常欄▶[1]～[4]**
• 不在着信、未読メールがあるときのアクションも同様に設定します。
•「全体アクション」または「パーツアクション」を選択した場合は、アクション一覧からアクションを選択します。
•「直接入力」を選択した場合は、アクションに対応している数値を入力してください。
•「OFF」に設定すると、あらかじめ設定されている動作になり、アクションは設定できません。

② **アクション間隔欄▶[1]～[6]**
•「OFF」に設定すると、１回のみ選択したアクションが動作します。

③ [田]

3 「はい」

• 選択した画像のサイズによっては、確認画面で次の項目が選択できます。画像サイズによって、表示される項目が異なります。

項　目	説　明
はい（等倍表示）	画像サイズのまま表示します。
はい（拡大表示）	画面サイズに合わせて拡大して表示します。
はい（縦ピッタリ）※1	画像の縦のサイズを画面サイズに合わせて拡大／縮小して表示します。
はい（横ピッタリ）※2	画像の横のサイズを画面サイズに合わせて拡大／縮小して表示します。

※１：画像サイズによっては、画像の左右が切れることがあります。
※２：画像サイズによっては、画像の上下が切れることがあります。

• 選択した動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、確認画面で等倍表示するか拡大表示するかを選択できます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示します。
• ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーション、キャラ電を再生するには

● 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
• 再生：[☎]／FOMA端末を開く　• 停止：[クリア]／FOMA端末を閉じる／[☎]
• 音量調整：[◎]
● アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の場合は次の操作ができます。
• 再生：FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる
• 一時停止／再生：[☎]　• 停止：FOMA端末を閉じる
● キャラ電の場合は次の操作ができます。
• 再生（アクション間隔を設定しているときは、設定した間隔で繰り返し再生）：[クリア]／FOMA端末を開く
• 停止：[クリア]／FOMA端末を閉じる／[☎]
● プロテクトキーロック中も、FOMA端末を開くと再生できます。

おしらせ

- オールロック中やパーソナルデータロック中(パーソナルデータロックの対象となっているデータを待受画面に設定している場合)、おまかせロック中は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再度表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定したデータが表示されます。
- 画像によっては設定できない場合があります。
- 縦ピッタリ表示、横ピッタリ表示が設定できるのは、JPEG形式の場合、横縦(または縦横)のサイズが8×8～640×480、および960×1280、1200×1600、1536×2048、1728×2304のいずれかの画像のみです。ただし、iアプリ待受画面設定中は、1200×1600、1536×2048、1728×2304の画像は設定できません。GIF形式の場合、横縦(または縦横)のサイズが8×8～640×480の画像のみです。
- 再生回数や再生期限などの制限が設定されている動画／iモーションや、音声のみの動画／iモーション(歌手の歌声など映像のないiモーション)は、待受画面に設定できません。また、動画／iモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
- 待受画面を表示すると、Flash画像やアニメーションは、一定時間再生後に停止します。
- アニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れる場合があります。
- テロップ中にリンクのある動画／iモーションを待受画面に設定しても、待受画面からPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能は利用できません。
- テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定している場合、待受画面に設定したアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の再生は、約5秒後に停止し、iチャネルのテロップが表示されます。ただし、[☎]で再生した場合は、再生完了後にiチャネルのテロップが表示されます。
- キャラ電の複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位に従ってアクションします。
  ①不在着信、未読メール
  ②通常
  - 不在着信と未読メールの両方が設定されている場合に、不在着信と未読メールの両方が存在するときは、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。

画像をランダムに表示する　ランダムイメージ設定

画像を一定の時間ごとやFOMA端末を開くタイミング、スピードセレクターを回転させたタイミングで、待受画面にランダムに表示できます。

1 [Menu][8][2][1][1][2]

- きせかえツールを設定している場合は☞P149

2 **各項目を設定**

フォルダ：画像が保存されているフォルダをマイピクチャ内から選択します。
- 表示できる画像がないフォルダは選択できません。

切替設定：画像を切り替えるタイミングを設定します。
- 「15秒毎」に設定すると、待受画面に戻ってから15秒毎に切り替わります。
- 「1分毎」「15分毎」「1時間毎」のいずれかに設定すると、時計に従って切り替わります(たとえば、「1分毎」に設定すると、毎分0秒に切り替わります)。
- 「日替り」に設定すると、毎日0時に切り替わります。
- 「スライドオープン」に設定すると、FOMA端末を開いたときに切り替わります。
- 「スピードセレクター」に設定すると、スピードセレクターを回転させたときに切り替わります。

3 [辞書]▶「はい」

- スピードセレクター設定のスピードセレクターを「ON」に設定し、待受起動機能を「OFF」以外に設定しているとき、切替設定を「スピードセレクター」に設定して[辞書]を押すと、スピードセレクター設定の待受起動機能を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときは、[辞書]を押した後に、Aモード待受画面を設定するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- 次の画像は表示できません。
  - パラパラマンガ
  - アニメーション
  - Flash画像
- スピードセレクター設定のスピードセレクターを「OFF」に設定している場合は、切替設定を「スピードセレクター」に設定できません。
- 電源が入っていない場合、画像は切り替わりません。
- 現在、待受画面に表示されている静止画を移動したり、パラパラマンガを作成しても、次の画像に切り替わるまでその画像が表示されています。それ以降は表示されません。
- 選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動または削除したり、パラパラマンガを作成したりして表示できる静止画がなくなると、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージ設定は解除されます（移動やパラパラマンガを作成した場合は、次の画像に切り替わるタイミングまで画像が表示されています）。
- 切替設定を「スライドオープン」に設定していても、FOMA 端末の開閉をすばやく繰り返すと、画像が切り替わらない場合があります。また、「スピードセレクター」に設定していても、スピードセレクターを速く回転させると、画像が切り替わらない場合があります。

ｉアプリ待受画面を設定する

- ｉアプリ待受画面は、待受画面選択の他の設定と同時に設定できます。同時に設定した場合は、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。

1 [Menu][8][2][1][1][5]

ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリが一覧表示されます。

2 ｉアプリを選択▶「はい」

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面に[アイコン]または[アイコン]が表示されます。

- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときは、ｉアプリを選択した後に、Aモード待受画面を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、ｉアプリ待受画面は表示されず、その前に設定していた待受画面が表示されます。ただし、パーソナルデータロック中の場合、パーソナルデータロックの対象となっているデータを設定していたときは、お買い上げ時の待受画面が表示されます。オールロック中やおまかせロック中は、お買い上げ時の待受画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を操作するには☛P280

待受画面の表示をカスタム設定する　カレンダー／待受カスタマイズ

待受画面上に情報エリアを設定して（カスタム待受画面）、[☎]を押すことで表示／非表示を切り替えられます。

- 設定した情報は、待受画面に画像を設定している場合、画像に重ねて表示されます。待受画面にｉモーションやキャラ電、ｉアプリ待受画面が設定されている場合は表示されません。

お買い上げ時 パターン4（エリア1設定、エリア2設定は未登録　エリア3設定：キーガイダンス）

1 Menu 8 2 1 5

2 1

- 2 を押すと解除され、1つ前の画面に戻ります。

3 でパターンを切り替え

4 エリアを選択▶ 1 ～ 7

1 表示なし
2 新着情報
3 スケジュール
4 カレンダー
5 メモ一覧
6 メモ内容
7 キーガイダンス
エリア2設定

- 複数のエリアがある場合は、操作4を繰り返します。
- カレンダーは、画面の半分より小さいエリア（パターン3のエリア1設定など）には設定できません。
- キーガイダンスは、画面の4分の1より大きいエリア（パターン2のエリア1設定など）には設定できません。

■ 新着情報を設定する：エリアを選択▶ 2 ▶情報を選択▶

新着情報
未読メール一覧
メッセージR
メッセージF
不在着信一覧
伝言メモ一覧

■ メモ内容を設定する：
① エリアを選択▶ 6
② メモを選択
- メモを選び を押すとメモの内容が表示されます。クリア を押すとメモ一覧に戻ります。メモ帳参照画面で を押しても設定されます。

■ 全エリアの表示項目をリセットする：Menu ▶「はい」

5 ▶「はい」

カスタム待受画面の情報を確認する

1

選ばれたエリアがカーソル枠で囲まれます。
- カスタム待受画面の情報が表示されていないときは、待受画面で を繰り返し押して表示させてから を押します。

2 でカーソル枠を移動させ、エリアを選択

おしらせ
- 画像とカスタム待受画面は同時に設定できますが、アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を設定している場合、再生が停止／一時停止した後に を押すとカスタム待受画面の情報が表示されます。

各情報の表示内容について

カスタム待受画面と各種情報は次のように表示されます。
- 表示される情報の件数・行数はエリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ 新着情報

10:00 定例会議の件

新着情報で設定している項目が、新しい順に一覧表示されます。

未読メール一覧：受信日時と題名の先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

メッセージR／メッセージF：
受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、メッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。

不在着信一覧：着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、着信履歴一覧が表示されます。

伝言メモ一覧：録音／録画日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

■ スケジュール

10:00 会議

開始日時が経過していないスケジュールが日時順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールの詳細が表示されます。
- アイコン、日時、内容の先頭部分が表示されます。

- 長期間スケジュールの場合は、登録されているアイコンの代わりにが表示されます。アイコンの後には開始の日付または時刻（当日で開始時刻前の場合）が表示されます。長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。
- 終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始日時の代わりに「終日」と表示されます。

■ カレンダー

2007年 7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

当日は黄色で表示

ドット

当月のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。
- 休日と祝日が赤、土曜日は青で表示されます。休日と祝日は、スケジュール帳の休日設定や祝日設定に従います。ただし、休日設定で休日に設定した日は、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、パーソナルデータロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- スケジュールが設定されているときは日付の右上にドットが表示されます。ただし、すべてのスケジュールにシークレット属性を設定している場合は、シークレットモードを設定していないと表示されません。また、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、パーソナルデータロック中も表示されません。

■ メモ一覧

次の会議は本社第三…

状態アイコン

メモ帳に登録されている順番に内容の先頭部分が表示されます。エリアを選択すると、メモ一覧が表示されます。
- 完了状態別表示設定で表示対象になっているメモのみ表示されます。
- 状態アイコンについては☛P403

■ メモ内容

次の会議は本社第三会議室で行う。重要案件あり。

設定したメモの内容が表示されます。エリアを選択すると、メモの詳細が表示されます。

■ キーガイダンス

待受画面で⊙、⊙、⊙、⊙に割り当てられている機能のマークが表示されます。
エリアを選択すると、☎でキーガイダンスを非表示にできる旨のメッセージが表示されます。

電話の発着信時に表示する画像を変更する　電話発着信画像設定

Menu 8411／Menu 8511

電話発信時の画像を変更する　電話発信設定／テレビ電話発信設定

音声電話やテレビ電話の発信時に表示される画像を設定します。

お買い上げ時　すべて標準画像

1 Menu 8 2 3 2 ▶ 1 ／ 3

2 **イメージ表示欄▶ 1 ～ 2 ▶ 🕮**
- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像が設定されます。
- 「イメージ」を選択したときは、画像を設定します。
- きせかえツールを設定している場合は☛P149

発信画像の優先順位について

複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
①FOMA端末電話帳の設定（人物画像表示設定が「ON」に設定されているときに有効）
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③電話発着信画像設定（電話発信設定／テレビ電話発信設定）

おしらせ

● パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

電話着信時の画像を変更する　電話着信設定／テレビ電話着信設定

音声電話やテレビ電話の着信時に表示される画像を設定します。
- 電話番号が通知されない音声電話着信時の画像を設定するには☛P173

お買い上げ時　すべて標準画像

1 Menu 8 2 3 2 ▶ 2 ／ 4

2 イメージ表示欄▶1～3▶[辞書]

- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像が設定されます。
- 「イメージ」または「ｉモーション」を選択したときは、画像を設定します。
- きせかえツールを設定している場合は☛P149
- 着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定していると「着信音連動」になります。
- 選択時に動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126

着信画像の優先順位について

複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳の設定※1／FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定※2
③FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④電話発着信画像設定（電話着信設定／テレビ電話着信設定）／音の設定※2／Bナンバー着信設定※2
※1：人物画像表示設定が「ON」に設定されているときに有効です。
※2：着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定している場合に有効です。電話帳や電話帳のグループ別発着信設定に画像または動画／ｉモーションを設定していても、着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定しているときは、着信音と着信画像は「着モーション」の設定が優先されます。

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像は電話発着信画像設定（テレビ電話着信設定）／音の設定に従います。ただし、発番号なし動作設定の着信動作を「着信拒否」に設定している場合は、発信者番号を通知してこない着信はすべて拒否されます。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像が削除されると、設定内容が変更されます。この場合、実際に鳴る音や表示される画像が設定内容と異なることがあります。

おしらせ

- パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、イメージ表示を映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音は「Vivaldism」（音声電話）または「電話・メロディ A」（テレビ電話）になります。メロディは変更できます。
- 動画／ｉモーションによってはイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。
- 本機能での設定内容は、発着信・通話機能の電話着信設定、テレビ電話のテレビ電話着信設定にもそれぞれ反映されます。☛P122

発着信時に電話帳に設定した画像を表示する　人物画像表示設定

電話帳に登録されている相手との音声電話やテレビ電話の発着信時に、電話帳に設定されている人物画像を表示できます。

お買い上げ時　ON

1 Menu 8 2 3 2 5▶1～2

メール送受信時や問合せ時の画像を変更する　メール送受信画像設定

ｉモードメールなどの送信時の画像や受信中の画像、受信結果画面の画像を設定します。また、ｉモード問合せやSMS問合せ時の画像を設定します。

お買い上げ時　すべて標準画像

1 Menu 8 2 3 3 ▶ 1～4

2 **画像を設定**

- メール着信結果画像設定を設定するときの操作方法は「電話着信時の画像を変更する」の操作2と同じです。☛P142
  それ以外を設定するときの操作方法は「電話発信時の画像を変更する」の操作2と同じです。☛P141

ディスプレイとキーの照明を設定する　照明設定

点灯時間を設定する

ディスプレイは、点灯するとより明るくなります。

お買い上げ時　通常時：10秒　ACアダプタ接続時、ｉモード中：端末設定に従う
静止画撮影中、動画撮影中、ｉモーション：常灯　ｉアプリ：端末設定に従う

1 Menu 8 2 4 1 ▶ 1～7

2 1～7

- 通常時以外を設定するときは、1～2のいずれかを押します。「端末設定に従う」に設定すると、通常時で設定した点灯時間に従って点灯します。
- 「常時」／「常灯」に設定すると、明るさ調整で設定した明るさで常にディスプレイが点灯します。ただし、ACアダプタ接続時は「高輝度」で点灯します。
- ｉアプリを「ソフトに従う」に設定するとｉアプリに従って点灯します。

範囲を設定する

ディスプレイとキー部分を点灯させるか、ディスプレイのみを点灯させるかを設定します。
- スピードセレクターは点灯しません。

お買い上げ時　ディスプレイ＋キー

1 Menu 8 2 4 2 ▶ 1～2

明るさを調整する

ディスプレイが点灯するときの明るさを設定します。

お買い上げ時　標準

1 Menu 8 2 4 3 ▶ 1～3

おしらせ

- 点灯時間設定の通常時を「常時」以外に設定している場合、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイの表示が消え、省電力の状態になります。キー操作※1をしたり（ただし、スピードセレクターの回転操作を除く）、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び表示されます。ただし、次の場合などは省電力の状態になりません。
  - テレビ電話通話中
  - カメラの撮影画面表示中や撮影中
  - 点灯時間設定のACアダプタ接続時を「常灯」に設定して充電中
  - 点灯時間設定を「常灯」に設定した機能の実行中

  ※1：[O-]を押しても、ディスプレイは表示されません。また、通話中以外の場合は、キーを押しても数字などは入力されません。
- ｉアプリによっては「ｉアプリ」を「端末設定に従う」に設定しても、端末設定に従わない場合があります。
- 本機能での設定内容は、ｉモードの照明設定（☛P212）、静止画詳細設定（☛P187）、動画／録音詳細設定（☛P187）、ｉモーションの動作設定（☛P330）、ｉアプリの照明設定（☛P274）にもそれぞれ反映されます。

画面のカラー配色を変更する

カラーテーマ設定

画面の背景や文字など画面の各部の色が変わります。

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

1 [Menu][8][2][3][1]▶[1]～[9]／[0]／[*]／[#]

- 24種類から選択できます。色名はイメージです。

Menu 8221

メニューの表示方法やデザインを設定する

メニュー設定

メニューの表示形式やアイコンのデザインの変更などができます。よく使う機能だけに限定したシンプルメニューにも設定できます。シンプルメニューでは、文字も大きく表示されます。

- お買い上げ時に登録されているノーマルメニューのタイルアイコンとアニメーションのデザイン☛P454

お買い上げ時　ノーマル：アニメーション　セレクト：タイルアイコン
アニメーションデザインはトータルコーディネイト設定に従う　アイコン拡大表示：OFF
起動メニュー：ノーマル　セレクトメニューショートカット：セレクト

1 [Menu][S]

- 起動メニューを「セレクト」に設定しているときは、待受画面で[Menu]を押し、[Menu][8]を押します。

2 **各項目を設定▶[📖]**

ノーマル：ノーマルメニューの表示形式を設定します。
- シンプルメニューを設定するときは「シンプル」を選択します。
- きせかえツールを設定している場合は☛P149

セレクト：セレクトメニューの表示形式を設定します。

タイルアイコンデザイン：

ノーマルメニューのタイルアイコンのデザインを設定します。
- ノーマルを「タイルアイコン」に設定した場合のみ設定できます。
- 設定できるのは、メニューの1階層目のデザインです。
- 「カスタム1」または「カスタム2」は、メニューアイコンや背景画像を変更してオリジナルのメニューのデザインを作成するときに設定します。

アニメーションデザイン：

ノーマルメニューのアニメーションのデザインを設定します。
- ノーマルを「アニメーション」に設定した場合のみ設定できます。

アイコン拡大表示：タイルアイコンや3Dアイコンを選択時に、拡大表示するかどうかを設定します。

起動メニュー　：待受画面で Menu を押したときにノーマルメニューとセレクトメニューのどちらを表示させるかを設定します。

セレクトメニューショートカット：

セレクトメニューのショートカットの操作方法を設定します。
- 「ノーマル」に設定すると、ノーマルメニューと同じ項目番号でショートカット操作ができます。
- 「セレクト」に設定すると、セレクトメニューに登録された各機能の位置に対応した項目番号でショートカット操作ができます。

シンプルメニューに設定したときは

- メニュー番号が異なります。メニュー一覧については☛P453
- 呼出中や通話中に、受話音量の調整方法が表示されます。
- 電話番号を入力すると、次に行う操作方法が表示されます。
- 待受画面でメモリ番号（1～9）を入力すると、登録されている名前と電話番号が表示されます。また、音声電話やテレビ電話をかけるキー操作が表示されます。音声電話通話中に Menu を押し、「ダイヤル入力」を選択してメモリ番号を入力した場合も同様に表示されます。
- リダイヤル、着信履歴、電話帳／グループ一覧、プッシュトーク電話帳のメンバー／グループ一覧、メール詳細画面、メール送信履歴／メール受信履歴、サイト、画面メモ、メール本文入力画面、文字入力時の全画面入力画面の文字が大きく表示されます。
- 文字サイズの設定は変更できません。

おしらせ

- **バイリンガル設定を英語表示に設定しているときは、シンプルメニューに切り替えられません。また、シンプルメニューに設定すると、バイリンガルの設定はできません。**
- **シンプルメニューに設定していても、バイリンガル設定が英語表示に設定されているFOMAカードに差し替えると解除されます。**

オリジナルのメニューのデザインを作成する

ノーマルメニューのアイコンや背景画像を変更して、メニュー画面のデザインを2種類作成できます。
- アイコンは96×96、背景画像は240×240より大きい画像は縮小して表示されます。

1 Menu ⇄

- 起動メニューを「セレクト」に設定しているときは、待受画面で Menu を押し、Menu 8 を押します。

2 ノーマル欄▶2▶タイルアイコンデザイン欄▶6～7▶「カスタマイズ」

メニュー設定
ノーマル
タイルアイコン
セレクト タイルアイコン
タイルアイコンデザイン カスタム1
カスタマイズ
アニメーションデザイン タイプ5
アイコン拡大表示 OFF
起動メニュー ノーマル
セレクトメニューショートカット セレクト

3 機能を選択▶フォルダを選択▶画像を選択

■ メニューアイコンを解除する：アイコンを選びMenu 1▶「はい」
- 全件解除する：Menu 2▶「はい」

4 ✉▶フォルダを選択▶画像を選択

■ 背景を解除する：Menu 4▶「はい」

5 📖📖

おしらせ

- パラパラマンガやFlash画像、アイテム画像は設定できません。また、アニメーションを設定すると最初のコマが表示されます。
- パーソナルデータロック中は、タイルアイコンデザインの「カスタム1」または「カスタム2」の設定内容を変更できません。

電池残量のマークを変更する　電池アイコン設定

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

1 Menu 8 2 1 3▶1～5

電池アイコン設定
1 パターンA
2 パターンB
3 パターンC
4 パターンD
5 パターンE
6 きせかえツールに従う

- きせかえツールを設定している場合は☞P149

受信レベル表示のマークを変更する　アンテナアイコン設定

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

1 Menu 8 2 1 4▶1～5

アンテナアイコン設定
1 パターンA
2 パターンB
3 パターンC
4 パターンD
5 パターンE
6 きせかえツールに従う

- きせかえツールを設定している場合は☞P149

FOMA端末の色に合わせてコーディネイトする　トータルコーディネイト設定

待受画面、電池アイコン、アンテナアイコン、時計表示、カラーテーマ、メニューアイコンは、FOMA端末の色によってトータルコーディネイトされています。他の色に対応したコーディネイトにも変更できます。

コーディネイトされる機能・項目		トータルコーディネイト設定				
		リング	トロピカルフィッシュ	ラインライト	ありんこライフ	バー・コードさん
待受画面選択		Metal ring	Bubble	line of light	Colorful dot	Bar code
電池アイコン設定		パターンA	パターンB	パターンB	パターンA	パターンB
アンテナアイコン設定		パターンA	パターンB	パターンB	パターンA	パターンB
時計表示設定	デザイン	ON／デジタル1	ON／デジタル2	ON／デジタル3	ON／デジタル4	ON／デジタル5
	表示位置	中	中	中	中	下
カラーテーマ設定		ブライトイエロー	スーパーホワイト	ミラーブラック	ブリリアントピンク	ライトホワイト
メニュー設定のアニメーションデザイン		タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4	タイプ5

・お買い上げ時の設定は次のとおりです。

FOMA端末の本体色	ミラーワイン	スーパーホワイト	ミラーブラック	ブリリアントピンク
トータルコーディネイト設定	リング	トロピカルフィッシュ	ラインライト	ありんこライフ

1 Menu 8 2 8 ▶ 1 ～ 5

おしらせ

● 時計表示設定の形式・曜日、メニュー設定のノーマルを設定していても、本設定を設定すると、お買い上げ時の状態に戻ります。
● 2in1がデュアルモードやBモードのときの待受画面は変更されません。

きせかえツールを利用する

きせかえツール

きせかえツールを設定すると、着信音や待受画面、メニューアイコンなどがまとめて変更されます。

- 変更される機能は、設定するきせかえツールによって異なります。きせかえツールに含まれない機能は、現在の設定を継続します。
- お買い上げ時は「ドットドッグ」が登録されています。☛P457

お買い上げ時 未設定

きせかえツールを設定する

1 **8▶フォルダを選択**

きせかえツール一覧が表示されます。

- 各フォルダには、次のようなきせかえツールが保存されています。
  - **iモード**：iモードでダウンロードしたきせかえツール
  - **プリインストール**：お買い上げ時に内蔵されているきせかえツール
  - **フォルダ**：他のフォルダから移動したきせかえツール
    - お買い上げ時には表示されません。作成するには☛P150

■ **設定内容をリセットする：8▶Menu 5▶端末暗証番号を入力▶「すべてリセット」／「メニュー画面のみ」**

- 「すべてリセット」を選択すると、きせかえツールによって変更されたすべての機能がお買い上げ時の設定に戻ります。
- 「メニュー画面のみ」を選択すると、「アニメーションメニュー」「メニューアイコン」「メニューアイコン（背景）」のみお買い上げ時の設定に戻ります。

2 **きせかえツールを選び▶「はい」**

- 部分的にデータをダウンロードしたきせかえツールを選び、、、を押した場合、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードできます。
- サムネイル表示とタイトル表示を切り替える：
- 複数のきせかえツールを設定した場合、重複する機能には、最後に設定したきせかえツールのデータが設定されます。

■ **きせかえツールで変更される画面や着信音など**

- 待受画面
- アニメーションメニュー
- メニューアイコン
- メニューアイコン（背景）
- 音声電話発信画面
- 音声電話着信画面
- テレビ電話発信画面
- テレビ電話着信画面
- メール送信画面
- メール受信中画面
- メール着信結果画面
- センター問合せ画面
- 電池アイコン
- アンテナアイコン
- 音声電話着信音
- テレビ電話着信音
- プッシュトーク着信音
- メール着信音
- チャットメール着信音
- メッセージR着信音
- メッセージF着信音
- 目覚まし音
- カラーテーマ

きせかえツール一覧の見かたと操作

サムネイル表示のとき　　タイトル表示のとき

プリインストール　1/1
ドットドッグ

きせかえツール一覧

❶取得元
：ｉモード　　：内蔵

❷設定状態・ファイルの種類
：設定しているきせかえツール
：設定しているきせかえツール（最後に設定したきせかえツール）
：部分的にダウンロードしたきせかえツール
なし：設定していないきせかえツール
- FOMAカード動作制限で利用できない場合でも、アイコンは表示されます。

❸ファイル制限
：ファイル制限あり

- サムネイル表示では、きせかえツールのプレビュー画像が表示されます。プレビュー画像がないきせかえツールは、FOMAカード動作制限機能が設定されているきせかえツールは、部分的にダウンロードしたきせかえツールはで表示されます。

■ **プレビュー画面を表示する：きせかえツールを選び**

■ **きせかえツールで設定される内容を確認する：**
①きせかえツールを選び

ドットドッグ　1/2
待受画面
アニメーションメニュー
音声電話発信画面
音声電話着信画面
テレビ電話発信画面
テレビ電話着信画面
メール送信画面
メール受信中画面
メール着信結果画面
センター問合せ画面
電池アイコン
アンテナアイコン
音声電話着信音

内容一覧

❶**設定状況**
- 現在設定されているデータには、チェックがついています。

❷**ファイルの種類**
JPG：画像（JPEG）　GIF：画像（GIF）　：Flash画像
MP4：動画　SMF：メロディ（SMF）　MFi：メロディ（MFi）
表示なし：カラーテーマ

②設定される項目を選択
画像が表示されたり、メロディなどが再生されます。
- 「カラーテーマ」の場合は、選ぶと設定される配色で画面が表示されます。
- ｉモーション再生中にできる操作については☛P126
- メロディ再生中は、で音量調整ができます。

■ **詳細情報を表示する：きせかえツールを選びMenu 2 1**
- 詳細情報を変更する：

■ **詳細情報を変更する：きせかえツールを選びMenu 2 2 ▶表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶**
- 「オリジナルに戻す」を選択すると、表示名をあらかじめきせかえツールに設定されているオリジナルタイトルに戻せます。

■ **設定を解除する：きせかえツールを選びMenu 3 ▶「はい」**

きせかえツールを設定すると

きせかえツールによって変更された機能は、「きせかえツールに従う」に設定されます。ただし、カラーテーマは、きせかえツールに従った設定になります。
各機能の設定を個別に変更すると、「きせかえツールに従う」を選択できなくなります。きせかえツールの設定に戻したいときは、再度きせかえツールを設定してください。ただし、「OFF」や「メール連動」、待受画面選択のｉアプリ設定に変更した場合は、「きせかえツールに従う」を選択できます。

おしらせ

- プレビュー画面、内容一覧画面で[m]を押しても設定できます。
- きせかえツール内に表示・再生できないデータがあるときは、きせかえツールを設定しても、そのデータのみ設定されません。
- 現在設定されているきせかえツールを削除した場合、そのきせかえツールによって変更されたすべての機能がお買い上げ時の状態に戻ります。
- きせかえツールのアニメーションメニューによっては、待受画面で[i]や[✉]を押したときの動作が通常と異なる場合や、メニューのショートカット操作ができない場合があります。
- きせかえツールを設定しても、2in1がデュアルモードやBモードのときの待受画面やBナンバーの音声電話着信音、テレビ電話着信音は変更されません。
- お買い上げ時に登録されているきせかえツールを削除した場合は、iモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P453

きせかえツールを管理する

フォルダを作成／削除する

■ フォルダを作成する

- フォルダは「iモード」「プリインストール」フォルダ以外に最大10個作成できます。
- 「iモード」「プリインストール」フォルダのフォルダ名は変更できません。

① [○][8]

② [Menu][1]

- フォルダ名を変更する：フォルダを選び[Menu][3]

③ フォルダ名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶[m]

■ フォルダを削除する

- 「iモード」「プリインストール」フォルダは削除できません。

① [○][8]▶フォルダを選び[Menu][2]

- フォルダ内にきせかえツールが保存されたままの場合は、端末暗証番号を入力します。

②「はい」

きせかえツールを他のフォルダに移動する

■ きせかえツールを自分で作成したフォルダに移動する

「iモード」フォルダのデータを自分で作成したフォルダに移動したり、自分で作成したフォルダ間できせかえツールを移動します。

- 「プリインストール」フォルダに保存されているきせかえツールは移動できません。

① [○][8]▶フォルダを選択

② きせかえツールを選び[Menu][4][1][1]

- 複数移動する：[Menu][4][1][2]▶きせかえツールを選択▶[m]
- フォルダ内のすべてのきせかえツールを移動する：[Menu][4][1][3]

③ 移動先のフォルダを選択▶「はい」

■ きせかえツールを「iモード」フォルダに戻す

① [○][8]▶フォルダを選択

② きせかえツールを選び[Menu][4][2][1]

- 複数戻す：[Menu][4][2][2]▶きせかえツールを選択▶[m]
- 自分で作成したフォルダ内のすべてのきせかえツールを戻す：[Menu][4][2][3]

③「はい」

きせかえツールを削除する

1 ⓒ[8]▶フォルダを選択

2 きせかえツールを選び[Menu][5][1]
- 複数削除する：[Menu][5][2]▶きせかえツールを選択▶[m]
- 全件削除する：[Menu][5][3]▶端末暗証番号を入力

3 「はい」

きせかえツールを並べ替える　ソート

きせかえツール一覧の並び順を変更します。

お買い上げ時　対象：保存日時　順序：降順

1 ⓒ[8]▶フォルダを選択

2 [Menu][6]▶各項目を設定▶[m]

対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

きせかえツールの動作条件を設定する　動作設定

きせかえツール一覧の表示形式を設定します。「なし」に設定するとタイトル表示、「あり」に設定するとサムネイル表示になります。

お買い上げ時　あり

1 ⓒ[8]▶[Menu][4]▶[1]～[2]

マチキャラを設定する　マチキャラ設定

マチキャラを設定すると、待受画面やサイト表示画面などにキャラクタが表示されます。
- FOMA端末の状況やマチキャラによって、マチキャラの動作や表示される位置などが異なります。
- お買い上げ時に登録されているマチキャラの一覧☛P457

お買い上げ時　ON／ドコモダケ

1 [Menu][8][2][9]

2 表示設定欄▶[1]

マチキャラ設定
表示設定　ON
マチキャラ選択
ドコモダケ

- 解除する：表示設定欄▶[2]▶操作4に進む

3 「マチキャラ選択」▶フォルダを選択▶マチキャラを選択

4 [m]

マチキャラを設定すると

● マチキャラを設定すると、以下の画面に表示されます。
- 待受画面※1　• サイト表示画面※2　• メニュー（タイルアイコン表示の場合）
- スピードメニュー（音声で呼び出す場合）

※1：テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定していると、マチキャラの表示範囲が狭くなります。

※2：ディスプレイが点灯し、i が点滅している状態で約30秒間キー操作がないときに表示されます。

● 以下の場合は、マチキャラは表示されません。
- 待受画面にｉモーション、キャラ電、ｉアプリ、Flash画像を設定している場合の待受画面表示中
- カスタム待受画面表示中に各情報のエリアやフォーカスモードアイコンを選んでいるとき
- サイト表示画面にFlash画像が表示されているとき
- 日付・時刻を設定していないとき

おしらせ

● データBOXのマチキャラ一覧でマチキャラを選び、[m]を押してもマチキャラを設定できます。

● モーションコントロールにより、FOMA端末の向きを変えるとマチキャラが回転します。FOMA端末を振ったり向きを変えると特定の動きをするマチキャラもあります。☛P385

着信時などの点灯色と点灯パターンを設定する　イルミネーション設定

- 目覚ましで、イルミネーションパターンやイルミネーションカラーを「端末設定に従う」に設定しているときに、本機能の目覚ましの設定が有効になります。

お買い上げ時　テレビ電話着信、音声着信：点滅／青
メール着信、メッセージR着信、メッセージF着信、チャットメール着信：ゆっくり点滅／緑
プッシュトーク着信：点滅／赤　トルカ取得：ON／青　通話中：OFF　現在地確認：点灯／青-緑
現在地通知：点灯／赤-青　位置提供／許可、位置提供／毎回確認：点灯／緑-赤　ICカード：ON／青
スピードセレクター：ON／青-緑-赤 ミックス　目覚まし、スケジュール：点滅／青-緑-赤
メロディ再生：メロディ連動　スライドオープン、スライドクローズ：ゆっくり点滅／青-緑

1 [Menu][8][2][5]▶[1]～[5]▶**イルミネーションを設定**▶[m]

着信
テレビ電話着信
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝﾊﾟﾀｰﾝ
点滅
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝｶﾗｰ
青
音声着信
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝﾊﾟﾀｰﾝ
点滅
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝｶﾗｰ
青
メール着信
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝﾊﾟﾀｰﾝ

■ **テレビ電話着信、音声着信、メール着信、メッセージR着信、メッセージF着信、チャットメール着信、プッシュトーク着信、通話中、現在地確認、現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認、目覚まし、スケジュール、メロディ再生、スライドオープン、スライドクローズを設定する：**

① **イルミネーションパターン欄**▶[1]～[5]
- 通話中、現在地確認、現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認には「メロディ連動」は設定できません。位置提供／許可、位置提供／毎回確認には「OFF」も設定できません。
- 「メロディ連動」に設定するとイルミネーションカラーは設定できません。
- 「メロディ連動」に設定すると「レインボー」で点灯／点滅します。

② **イルミネーションカラー欄**▶[1]～[8]

■ トルカ取得、ICカードを設定する：
① イルミネーション欄▶[1]～[2]
② イルミネーションカラー欄▶[1]～[8]

■ スピードセレクターを設定する：
① イルミネーション欄▶[1]～[2]
② 回転イルミネーションパターン欄▶[1]～[9]／[0]／[＊]／[#]

イルミネーションの優先順位について

複数の機能でイルミネーションを設定している場合、次の優先順位で決定キーの照明が点灯／点滅します。
①FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③イルミネーション設定
● プッシュトークのイルミネーションは、イルミネーション設定に従います。

おしらせ

● イルミネーションパターンの選択画面で「メロディ連動」を選んだ場合は点滅します。
● チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信を設定できません。
● イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定すると、メロディによっては、決定キーの照明が点灯／点滅しないことがあります。
● ICカードを「ON」に設定していても、おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、決定キーの照明が点灯しない場合があります。
● 電源が入っていない場合は、ICカードを「ON」に設定していても、決定キーの照明は点灯しません。
● ICカードを「ON」に設定した場合、FeliCaマークを読み取り機にかざしたときに決定キーの照明が点滅します。おサイフケータイ対応ｉアプリが登録されていない読み取り機にかざしたときも、点滅します。
● スピードセレクターを「ON」に設定しても、通話中や充電中などを除き、決定キーの照明が点灯／点滅中はスピードセレクターの回転操作による点灯／点滅はしません。
● 本機能での設定内容は、次の設定にも反映されます。
・電話着信設定、テレビ電話着信設定☛P122
・メール着信設定☛P123
・メッセージR/F着信設定☛P124
・トルカ取得確認設定☛P124
・プッシュトーク着信設定☛P122
・チャットメール着信設定☛P123
・メロディの動作設定☛P336
・現在地確認の測位動作設定、現在地通知の測位動作設定、位置提供の測位動作設定☛P124

新着情報があるときに決定キーの照明を点滅させる　不在着信お知らせ

不在着信や未読メール、未読メッセージR/Fなどの新着情報があるときに決定キーの照明が点滅します。

お買い上げ時　ON

1 [Menu][8][2][6]▶[1]～[2]

おしらせ

- 「ON」に設定していても、次の場合、決定キーの照明は点滅しません。
  - 着信中
  - 通話中
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - オールロック中
  - カメラ、サウンドレコーダー起動中
  - 決定キーの照明が点灯中（FOMA端末を開閉したときやスピードセレクターを回転させたとき、充電中に決定キーの照明が点灯している場合を除く）
- 「ON」に設定した場合、最後の新着情報から（2in1がONのとき、切り替え先のモードに新着情報がある場合は切り替えてから）約6時間経過したときや、待受画面の 1 1（数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくても決定キーの照明の点滅は停止します。
- 「ON」に設定すると、次の各設定のイルミネーションカラーに従って、決定キーの照明が約6秒間隔で点滅します。電話帳の電話帳別着信設定やグループ別発着信設定には従いません。新着情報を確認すると点滅は停止します。
  - 不在着信（音声電話／テレビ電話／プッシュトーク／伝言メモ）：イルミネーション設定の音声着信
  - 未読情報（メール／チャットメール／SMS）：イルミネーション設定のメール着信
  - 未読情報（メッセージR／メッセージF）：イルミネーション設定のメッセージR着信／メッセージF着信
- 「ON」に設定しているとき、新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従った色で決定キーの照明が点滅します。

  ①不在着信（音声電話／テレビ電話／プッシュトーク／伝言メモ）
  ②未読情報（メール／チャットメール／SMS）
  ③未読情報（メッセージR）
  ④未読情報（メッセージF）

Menu 8271

文字の大きさを変更する

文字サイズ設定

メモ帳など、文字入力の画面やメール詳細画面、サイト表示画面などの文字サイズ（5種類または3種類）を変更できます。

次の会議は本社第三会議室で行う。
重要案件あり。

最小：12ドット　小：16ドット　中（標準）：20ドット　大：24ドット　最大：28ドット

お買い上げ時　すべて中（標準）

1 Menu 8 6 3 ▶ 1 ～ 4

- 一括の設定を変更すると、ｉモード／フルブラウザ、メール閲覧、メール編集／文字入力の設定も変更されます。

2 1 ～ 5

- ｉモード／フルブラウザやメール閲覧の文字サイズを設定するときは、1 ～ 3 のいずれかを押します。

おしらせ

- インライン入力時の文字サイズは変更されません。
- デコメ絵文字の文字サイズは変更されません。
- サイトや画面メモ、フルブラウザの表示画面によっては、サイズが変わらない文字もあります。
- 一括の設定を「最大」または「最小」に変更すると、ｉモード／フルブラウザやメール閲覧の設定はそれぞれ「大」「小」になります。
- メール詳細画面からも文字サイズを変更できます。設定内容は本設定のメール閲覧に反映されます。
- 「メール編集／文字入力」の設定を変更すると、文字入力時に表示される予測変換候補やメール作成画面の文字サイズも変更されます。ただし、「最大」または「最小」に設定している場合、メール作成画面の文字サイズはそれぞれ「大」「小」で表示されます。

時計の表示を設定する

時計表示設定

待受画面の時計表示の有無や時計のデザイン、時刻の表示形式（24 時間表示／ 12 時間表示）、表示位置、曜日の表示言語を設定できます。

- モーションコントロールにより、卓上ホルダ（別売）を使用して充電しているときなどはインテリア時計が表示されます。☛P384

お買い上げ時　デザインはトータルコーディネイト設定に従う　形式：24時間表示
表示位置はトータルコーディネイト設定に従う　曜日：英語

■ 設定例

「アナログ 1」を中央部に表示

「デジタル 1」を上部に、24時間で表示

「デジタル2」を中央部に、24時間で表示

「デジタル 3」を下部に、24時間で表示

「デジタル4」を上部に、12時間で表示

「デジタル5」を中央部に、12時間表示

「デジタル 6」を下部に、12時間表示

「世界時計」を中央部に、24時間で表示

1 Menu 8 6 1 4 ▶**各項目を設定**▶ 📖

デザイン：時計を表示するかどうかを設定します。
- 「ON」に設定したときは、デザインを選択します。
- 「世界時計」を選択したときは、曜日は設定できません。
「世界時計」に設定すると、左側には日本国内の日時を、右側には設定したタイムゾーンの日時と名称を表示します。

形式：24時間表示と12時間表示のどちらで表示するかを設定します。

表示位置：時計を表示する位置を設定します。

曜日：曜日を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。
- 「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

世界時計：デザインを「世界時計」に設定した場合に、表示するタイムゾーンの選択やサマータイムを設定するかどうかを選択します。また、タイムゾーンの名称を選択します。
- サマータイムを「ON」に設定すると、設定したタイムゾーンの時刻を1時間進めて表示します。

おしらせ

- 次の場合はデザインや表示位置の設定に関わらず、時計は、デジタル時計（デザイン固定）でディスプレイ上部に表示されます。
  - 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電が表示されている場合
  - ｉアプリ待受画面が表示されている場合
- オールロック中やおまかせロック中は、本機能の設定に関わらず上部に表示されます。
- サマータイム制度の有無や開始時期・終了時期は、国や地域によって異なります。目的の都市のサマータイム制度について確認のうえご利用ください。
- デュアル時計の設定については☛P441
- 待受画面以外の画面では、ディスプレイの右上に時刻が表示されます。時刻の表示形式（24 時間表示／ 12 時間表示）は、本機能の設定に従います。

画面を英語表示に切り替える　バイリンガル

お買い上げ時　Japanese

1 Menu 8 2 7 2 ▶ 1 ～ 2

おしらせ

- 設定内容は、FOMAカードに保存されます。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

暗証番号について

FOMA 端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「*」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や FOMA 端末、FOMA カードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。☛P159

- 端末暗証番号の入力に５回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」→「料金&お申込・設定」→「オプション設定」→「ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。☛P160
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

- PIN１／PIN２コード、PIN１コードON／OFFの設定は、FOMAカードに記録されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

電源を入れたときのセキュリティ ▶ PIN1コードの入力
・ユーザ証明書操作
・FirstPass対応サイトへの接続 ▶ PIN2コードの入力
入力に3回連続失敗 ▶ PINロック解除コードの入力
OK ▶ 新しいPINコードの設定
入力に10回連続失敗 ▶ ドコモショップ窓口にお問い合わせください

端末暗証番号を変更する　端末暗証番号変更

- 端末暗証番号には、4～8桁の数字を入力します。

お買い上げ時 0000

1 Menu 8 3 6

2 現在の端末暗証番号を入力

3 新しい暗証番号欄▶新しい端末暗証番号を入力

暗証番号変更
新しい暗証番号
新しい暗証番号（確認）

4 新しい暗証番号（確認）欄▶操作3と同じ端末暗証番号を入力▶ 📖

PINコードを設定する

• PIN1／PIN2コードには、4～8桁の数字を入力します。

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する　PIN1コードON／OFF

ご契約時 OFF

1 Menu 8 3 5 3 ▶ 1～2

2 **PIN1コードを入力**

PIN1コード
PIN1コードを
入力してください
あと 3回

• ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。
• 3回連続して失敗するとPIN1コードがロックされます。PIN1コードのロックを解除してください。解除方法は、「PINロックを解除する」をご覧ください。☛P161
• 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

PIN1コードON／OFFを「ON」に設定すると

FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。
• 正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。
• PIN1コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コードがロックされます。PIN1コードのロックを解除してください。解除方法は、「PINロックを解除する」をご覧ください。☛P161

PIN1／PIN2コードを変更する　PIN1／PIN2コード変更

• PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定する必要があります。

ご契約時 PIN1コード、PIN2コード：0000

例 PIN1コードを変更するとき

1 Menu 8 3 5 1

■ PIN2コードを変更する：Menu 8 3 5 2

2 **端末暗証番号を入力▶現在のPIN1コードを入力**

PIN1コード変更
PIN1コードを
入力してください
あと 3回
新しいPIN1コード
新しいPIN1コード(確認)

3 **新しいPIN1コード欄▶新しいPIN1コードを入力**

4 新しいPIN1コード（確認）欄▶操作3と同じPIN1コードを入力▶[完了]

• 現在のPIN1コードの入力に3回連続して失敗すると、PIN1コードがロックされます。PIN1コードのロックを解除してください。解除方法は、「PINロックを解除する」をご覧ください。☛P161

おしらせ

● PIN2コードの入力を3回連続失敗してPIN2コードがロックされた場合でも、電話やプッシュトークの発着信、メールの送受信などは可能ですが、PIN1コードの入力を3回連続失敗してPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1／PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

• PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

例 PIN1コードのロックを解除するとき

1 PINコードがロックされたら、確認画面で[●]

2 8桁のPINロック解除コードを入力

PINロック解除コード
PINロック解除コードを
入力してください
あと10回
新しいPIN1コード
新しいPIN1コード(確認)

3 新しいPIN1コード欄▶新しいPIN1コードを入力

4 新しいPIN1コード（確認）欄▶操作3と同じPIN1コードを入力▶[完了]

PINロックが解除され、新しいPIN1コードが設定されます。

各種ロック機能について

FOMA端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

• 複数のロック機能を同時に設定できます。
• プロテクトキーロックとシークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
• おまかせロックとプロテクトキーロック以外のロック機能を設定しても、緊急通報（110番、119番、118番）は可能です。

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P162
おまかせロック	FOMA端末を紛失した際に、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P163
セルフモード	電話やプッシュトークの発着信、ｉモードの利用やメールの送受信、赤外線通信／iC通信などの通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。	P164
パーソナルデータロック	電話帳／プッシュトーク電話帳や自局番号、スケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにして、情報の表示や改ざんを防ぎます。	P165
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話やプッシュトークを発信できないようにします。	P166
プライバシーモード設定	電話帳やメール、マイピクチャなどの表示ができなくなり、他人が不正に閲覧するのを防ぎます。	P166
着信／受信時表示設定	電話やメールの着信時などに、名前などを表示するかどうかを設定します。	P169
プロテクトキーロック	キーの操作を無効にし、誤動作を防ぎます。	P169
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号を入力してシークレットモードを設定したときのみ表示されます。	P171
ICカードロック	ICカード機能を利用できないようにします。	P293
電源OFF時ICロック設定	FOMA端末の電源が切れている場合に、ICカード機能を利用できないようにします。	P296

他の人が使用できないようにする　オールロック

各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正に FOMA 端末を使用するのを防ぎます。オールロック中は、電話をかけることもできなくなります。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して[発信]を押します。このとき、緊急通報番号は端末暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。

- オールロックを設定しても、ICカードロックは設定されません。ICカードロックとオールロックの両方を設定するには、先にICカードロックを設定してから、オールロックを設定してください。ICカードロックを設定するには☞P293
- オールロックを設定しても、FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックはかかりません。

お買い上げ時　未設定

1 [Menu][8][3][1][1]▶**端末暗証番号を入力**

「オールロック中」と表示されます。

■ **解除する：待受画面で端末暗証番号を入力**

おしらせ

- オールロック中にプッシュトークを着信したときは、着信が拒否され、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
- オールロック中は、待受画面を設定していても、お買い上げ時の画像が表示されます。また、マチキャラは表示されません。
- オールロック中は、指定した日時になっても目覚ましやスケジュールは動作しません。

- オールロック中は、不在着信お知らせを「ON」に設定していて、新着情報があっても決定キーの照明は点滅しません。
- オールロック中は、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されません。
- オールロック中は、電話帳お預かりサービスをご利用の場合、FOMA 端末からの保存／更新／復元操作はできません。
- オールロックを解除するとき、端末暗証番号の入力を5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。
- オールロック中でも、次の機能は利用できます。
  - 電話を受ける操作※1
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※2
  - 読み取り機からのトルカの取得
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作と位置情報の送信※3
  - 電源を入れる／切るの操作、自動電源ON／OFF機能※4

  ※１：電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音は、お買い上げ時の状態になり、テレビ電話の代替画像は「標準画像」（カメラオフ画像）になります。着もじは受信できますが着信画面には表示されません。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

  ※２：受信中の画面や受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。

  ※３：位置提供の要求者名は表示されません。

  ※４：電源を入れたときの初期設定画面は表示されません。

おまかせロックを利用する　おまかせロック

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

- おまかせロックは、お客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定／解除
0120－524－360　　受付時間　24時間
• パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックのご利用方法／料金など詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

おまかせロックを設定すると

「おまかせロック中です」と表示され、おまかせロックが設定されます。

- おまかせロック中は、音声着信／テレビ電話着信に対する応答と電源を入れる／切るの操作、GPSの位置提供の要求を受けたときの操作と位置情報の送信を除いて、すべてのキー操作ができなくなり、各機能（ICカード機能を含む）を使用することができなくなります。
- 音声着信／テレビ電話着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている相手の名前、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信時の着信画像や着信音は、お買い上げ時の状態になり、テレビ電話の代替画像は「標準画像」（カメラオフ画像）になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。

- おまかせロック中は、着もじは受信できますが着信画面には表示されません。おまかせロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
- GPSの位置提供の要求者名は表示されません。
- おまかせロック中にプッシュトークが着信したときは、着信が拒否され、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。着信履歴には不在着信として記録されます。
- おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保管されます。
- 電源を入れる／切るの操作は可能ですが、電源を切ってもロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

- 他の機能が起動中の場合でも起動中の機能を終了してロックをかけます。編集中のデータがある場合は、データを保存せずに、終了する場合があります。
- 他のロックがかかっていても、おまかせロックをかけることができます。
- 圏外やセルフモード中、電源が入っていない場合はロックがかかりません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

Menu 848

発信や着信ができないようにする　セルフモード

電話やプッシュトークの発着信、iモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。また、赤外線通信／iC通信や赤外線リモコン、GPS機能、USB接続によるデータ送受信、FMトランスミッターの利用、読み取り機からのトルカ取得もできません。

お買い上げ時　OFF

1　クリア（1秒以上）▶「はい」

セルフモードが設定され、待受画面にselfが表示されます。

- 解除するには、同様の操作を行います。
- ショートカット操作したとき：1～2▶「はい」

おしらせ

- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。
- GPSの現在地通知先一覧への通知先の登録や編集、削除はできません。
- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中にプッシュトークが着信したときは、着信が拒否され、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。
- セルフモード中に送られてきたiモードメールやメッセージR/FはiモードセンターでSMSはSMSセンターでお預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してからiモード問合せ／SMS問合せをしてください。

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする パーソナルデータロック

個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、本機能を設定できません。
- 本機能の設定よりも着信／受信時表示設定の設定が優先されます。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 3 1 2 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ 1 ～ 2

パーソナルデータロックが設定されると、待受画面にが表示されます。

パーソナルデータロックを設定すると

- パーソナルデータロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の状態に戻ります（メニュー設定のノーマルが「きせかえツールに従う」に設定されている場合は、タイルアイコン表示になります）。パーソナルデータロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定した待受画面や着信音などになります。
- 次の操作（すべて、または一部の設定や機能）が利用できなくなります。ただし、FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックはかかりません。

・メール[※1]／チャットメール[※1]／SMS[※1]／メッセージR/F[※1]　・ｉモード問合せ
・ｉモード／フルブラウザ　・ｉチャネル[※2]　・ｉアプリ
・電話帳[※3]／プッシュトーク電話帳　・伝言メモ[※4]／音声メモ（動画メモ）
・データBOX（マイピクチャ、メロディなど）　・赤外線通信／iC 通信によるデータ送受信
・バーコードリーダー／カメラ／サウンドレコーダー／ミュージックプレイヤー
・トルカ　・ICカード一覧　・microSD
・電話帳お預かりサービス　・GPS[※5]　・スケジュール帳
・メモ帳　・目覚まし
・電話着信音／メール・メッセージ着信音／GPS測位鳴動音／アラーム音／スライド音
・発番号なし動作設定　・待受画面選択　・テロップ表示設定
・電話発着信画像設定（人物画像表示設定を除く）　・メール送受信画像設定
・テレビ電話画像選択[※6]　・マチキャラ設定[※7]　・スキャン機能
・電話発信設定／テレビ電話発信設定　・電話着信設定／テレビ電話着信設定
・メモリ着信拒否／許可　・イヤホンスイッチ設定（イヤホンスイッチ発信）
・プッシュトーク着信設定　・ソフトウェア更新　・通話料金上限通知
・各種設定リセット　・データ一括削除　・初期設定　・件数増加鳴動設定[※8]
・2in1設定　・マルチナンバーの電話番号設定、着信設定　・自局番号
・着もじ[※9]　・スピードメニュー　・メニュー設定

※1：自動受信はできますが、受信中の画面や受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。メール送受信履歴からのメール作成はできません。
※2：待受画面のテロップ表示もされません。
※3：発着信画面などに電話帳に登録されている相手の名前や画像は表示されず、電話番号やメールアドレスのみ表示されます。
※4：伝言メモ設定中でも、待受画面にや未再生の伝言メモのアイコンは表示されません。
※5：位置提供の要求を受けたときの操作と位置情報の送信はできます。ただし、位置提供の要求者名は表示されません。
※6：代替画像、応答保留画像、通話中保留画像は「標準画像」になります。

※7：マチキャラの表示もされません。
※8：通知音が鳴るように設定していても、通知音などによる通知は行われません。
※9：受信できますが、着信画面には表示されません。パーソナルデータロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

ダイヤル発信を禁止する　ダイヤル発信制限

電話番号をダイヤルして電話やプッシュトークを発信すること（ダイヤル発信）ができない状態にします。

- 電話帳／プッシュトーク電話帳からの発信はできます。

お買い上げ時　OFF

1 Menu 8 3 1 4 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ 1 ～ 2
ダイヤル発信制限が設定されると、待受画面に が表示されます。

ダイヤル発信制限を設定するとできなくなる操作

- 着信履歴やリダイヤルからの発信※1
- 電話帳／プッシュトーク電話帳の修正、登録、削除、グループ設定
- 自局番号の修正、リセット
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- 外部機器との電話帳データ、自局番号の送受信
- メールやチャットメール、SMSの送信（メール送受信履歴からの送信も含む）※1
- メール作成画面からのメールテンプレートの読み込み
- テンプレート一覧画面やテンプレート詳細画面からのメール作成※2
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- 現在地通知の直接入力
- 現在地通知先の登録、編集、削除
- 位置履歴からの電話発信
- 電源を入れたときの初期設定
- パソコンとつないだパケット通信

※1：電話帳に登録している相手への発信や送信はできます。
※2：電話帳に登録しているアドレスが宛先に入力されているテンプレートからのメール作成はできます。

他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする　プライバシーモード設定

プライバシーモードの動作を設定する

プライバシーモード中に電話帳／プッシュトーク電話帳やメール、マイピクチャなどを利用するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。プライバシーモードは手動で起動させたり、一定時間内に何も操作しなかった場合に自動的に起動させることもできます。

- プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。

お買い上げ時　電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリ、位置履歴（GPS）：表示する
自動起動：OFF

1 Menu 8 3 2

2 端末暗証番号を入力▶各項目を設定▶[m]▶[●]

- 「認証後に表示」に設定すると、プライバシーモード中に、次の機能を利用するときに、端末暗証番号の入力が必要になります。

電話帳・履歴：電話帳／プッシュトーク電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを利用するときの設定です。
- メールグループやメール振り分け設定の表示、チャットメールを起動する場合にも、端末暗証番号の入力が必要です。

メール：メールやメール送受信履歴などを利用するときの設定です。
- 電話帳やスケジュールからメールを検索したり、メールグループやメール振り分け設定の表示、チャットメールの起動、メール連動型ｉアプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をする場合にも、端末暗証番号の入力が必要です。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、メールグループやメール振り分け設定の表示、チャットメールを起動するときに端末暗証番号の入力が必要です。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されません。また、カスタム待受画面の新着情報エリア、メール送受信履歴にも表示されません。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するときの設定です。

ｉモーション：ｉモーションを利用するときの設定です。

スケジュール：スケジュールを利用するときの設定です。

ｉアプリ：ｉアプリを利用するときの設定です。
- メール連動型 ｉ アプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉ アプリをダウンロードする場合にも、端末暗証番号の入力が必要です。

位置履歴(GPS)：位置履歴を利用するときの設定です。

自動起動：待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

おしらせ

● 自動起動以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動しません。また、プライバシーモードを起動していたときは、自動的に解除されます。

プライバシーモードを起動する

1 [○]（1秒以上）

- プライバシーモード設定で自動起動を「OFF」以外に設定しているときは、待受画面表示中に何も操作せずに設定した時間が経過すると、プライバシーモードが自動的に起動します。

■ 解除する：[○]（1秒以上）▶端末暗証番号を入力

プライバシーモード中の一時解除について

次の場合、プライバシーモードが一時的に解除され、非表示に設定しているすべてのデータが表示されるようになります。待受画面に戻るまで一時解除は有効です。

● プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）、受信／送信／未送信メールのフォルダ一覧画面、メール一覧画面、移動先フォルダ選択画面、メール送受信履歴一覧画面、複数削除画面で[クリア]を1秒以上押し、端末暗証番号を入力した場合

● プライバシーモード中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合）、メール作成中の絵文字Ｄ一覧画面で[クリア]を1秒以上押し、端末暗証番号を入力した場合

●「認証後に表示」に設定した機能をプライバシーモード中に利用するときに、端末暗証番号を入力した場合

おしらせ

● プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した項目によって、次のような制限があります。

項目	制限
電話帳・履歴	• 発着信画面などには電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。※1ただし、GPSの位置提供の要求者名は表示されません。 • 電話帳データに設定されている着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像などは動作せず、FOMA端末の設定に従います。 • カスタム待受画面の新着情報エリアに、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。 • セレクトメニューで人物の選択ができません。 • イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号を設定していても、イヤホンスイッチ発信はできません。
メール	カスタム待受画面の新着情報エリアに、未読メール一覧は表示されません。
マイピクチャ、iモーション	[共通] • FOMA端末電話帳で、お買い上げ時に登録されているデータ以外のデータを着信音や画像に設定している場合は、設定が無効になります。 • 待受画面に画像や動画／iモーションを設定している場合やランダムイメージ設定を設定している場合、プライバシーモード中でもマイピクチャ内の画像やiモーション内の動画／iモーションを表示します。 [マイピクチャ] • スケジュール帳のイメージを「あり」に設定し、お買い上げ時に登録されているデータ以外のデータを設定している場合は、設定が無効になります。 • 静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねての撮影はできません。 • メール本文入力時や署名編集時に絵文字Dの一覧を表示しても、お買い上げ時に登録されているデータ以外のデータは表示されません（メールの装飾選択画面から表示した場合を除く）。 • FOMA端末電話帳のデータをmicroSDメモリーカードにコピーやバックアップしても、FOMA端末電話帳に設定された静止画は、コピーやバックアップされません。 [iモーション] • 目覚まし音やスケジュール音に「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定している場合は、設定が無効になります。
スケジュール	• 設定した日時になってもスケジュールアラームは鳴りません。 • カスタム待受画面のスケジュールエリアは表示されません。 • カスタム待受画面のカレンダーに、スケジュールの休日設定で休日に設定した日は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。また、スケジュールが登録されていることを示すドットは表示されません。

※1：電話着信時（音声電話通話中を含む）やプッシュトーク着信時（通信中を含む）、メール受信時は、着信／受信時表示設定に従います。

● プライバシーモード中にデーター括削除や各種データの全件削除などを行った場合は、非表示のデータも削除されます。

● プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からメールを受信した場合は、着信／受信時表示設定のメール受信時表示の設定によって、次のようになります。

着信／受信時表示設定のメール受信時表示	着信時の動作
プライバシーモードに従う、テロップなし	受信結果画面は表示されず、着信音の鳴動など受信動作を行いません。
メールアドレス＋題名、名前＋題名、受信通知のみ	受信結果画面が表示され、着信音の鳴動など受信動作を行います。プライバシーモード設定の電話帳・履歴を「表示する」に設定している場合、電話帳別着信設定を設定した相手からの受信では、電話帳別着信設定の着信音などが鳴りますのでご注意ください。

● プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した項目の対象となるデータを利用する各種設定を行おうとすると、設定によっては、端末暗証番号を入力した後に、プライバシーモード設定で非表示にしている項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

電話やメールの着信時に名前などを表示しないようにする　着信／受信時表示設定

・パーソナルデータロックの設定よりも本機能の設定が優先されます。

お買い上げ時　電話着信時表示、メール受信時表示：プライバシーモードに従う

1 Menu 8 3 3 ▶**端末暗証番号を入力**▶**各項目を設定**▶

電話着信時表示：電話着信時（音声電話通話中を含む）やプッシュトーク着信時（通信中を含む）に名前と電話番号を表示するかどうかを設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）、名前は表示されません。
- 「電話番号」に設定すると、電話番号のみが表示されます。
- 「名前」に設定すると、名前のみが表示されます。
- 「電話番号＋名前」に設定すると、電話着信時（音声電話通話中を含む）は、電話番号と名前が表示されます。プッシュトーク着信時（通信中を含む）は、名前のみが表示されます。

メール受信時表示：メール受信時の受信結果の表示方法を設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）、名前は表示されません。また、プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、メールを受信した旨のメッセージのみタスクバーにスクロール表示されます。
- 「メールアドレス＋題名」に設定すると、メールアドレスと題名がタスクバーにスクロール表示されます。
- 「名前＋題名」に設定すると、名前と題名がタスクバーにスクロール表示されます。
- 「受信通知のみ」に設定すると、メールを受信した旨のメッセージのみタスクバーにスクロール表示されます。
- 「テロップなし」に設定すると、タスクバーに受信結果が表示されません。

おしらせ

- 電話帳に登録していない相手からの着信の場合、電話着信時表示を「名前」に設定していても電話番号が表示されます。また、メール受信時表示を「名前＋題名」に設定していても、名前の代わりにメールアドレスが表示されます。
- シークレットモードを設定していない場合にシークレット属性を設定している相手から着信があったときは、本設定で名前を表示するように設定していても、電話番号が表示されます。

キーの誤動作を防止する　プロテクトキーロック

キー操作を無効にし、鞄などに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

・待受画面以外の画面を表示中でも設定／解除できます。ただし、電源を入れてから待受画面が表示されるまでの間は設定できません。

お買い上げ時　未設定

1 **（1秒以上）**

プロテクトキーロックが設定されます。

・解除するには、同様の操作を行います。FOMA端末を閉じているときでも解除できます。

■ プロテクトキーロックの状態遷移について

プロテクトキー動作設定	プロテクトキーロックの状態遷移
スライドオープン時もロック	解除 ⇔（1秒以上）※1 ⇔ 設定（ロック）
スライドオープン時は解除	解除：開いている ⇔（1秒以上）⇔ 設定：一時解除 → FOMA端末を閉じる → ロック／ロック → FOMA端末を開く → 一時解除 解除：閉じている ⇔（1秒以上）※1 ⇔ 設定：ロック

※１：待受画面を表示中にタイマープロテクトキーロック設定で設定した時間がたったときは、プロテクトキーロックが設定されます。

- プロテクトキーロックが設定されるとディスプレイの表示が消えます。ただし、次の場合などは、ディスプレイは表示されたままで、ディスプレイ上部に が表示されます。
  - ・カメラの撮影画面表示中や撮影中
  - ・照明設定の点灯時間設定を次のように設定したとき
    - ・通常時を「常時」に設定
    - ・ACアダプタ接続時を「常灯」に設定して充電中
    - ・「常灯」に設定した機能の実行中
- 一時解除の状態では、ディスプレイ上部に （グレー）が表示されます。
- 通話中は、一時解除の状態で設定され、通話が終了するとロックがかかります。
- プロテクトキーロック中にディスプレイの表示が消えているとき、 を押すかFOMA端末を開いたり、電話の着信などがあるとディスプレイが点灯します。ディスプレイ上部に または （グレー）が表示されています。

おしらせ

- プロテクトキーロック中や一時解除中に、自動電源OFFによって電源が切れた場合は、プロテクトキーロックは解除されます。一時解除中に手動で電源を切った場合も同様です。
- プロテクトキーロック中でも、次のキー操作はできます。また、かかってきた電話に出たり、応答保留や伝言メモで対応するとプロテクトキーロックが一時的に解除され、操作ができます。通話が終了するとプロテクトキーロックが再度設定されます。
  - プロテクトキーロックの解除
  - 音声電話着信時に またはFOMA端末を開いて（着信中オープン応答を「ON」に設定している場合のみ）電話を受ける、 で応答保留にする、 を1秒以上押して伝言メモで対応する、 で着信音を止める
  - テレビ電話着信時に または で電話を受ける、 で応答保留にする、 を1秒以上押して伝言メモで対応する、 で着信音を止める
  - プッシュトーク着信時に または で応答する、 で切断する（発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。）、 で着信音を止める
  - アラーム音などを止める
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などのスイッチを1秒以上押して音声電話をかけたり、音声電話やテレビ電話を受ける

自動的にプロテクトキーロックを設定する　タイマープロテクトキーロック設定

待受画面表示中に設定時間（10秒～5分）が経過すると自動的にプロテクトキーロックがかかるように設定できます。

- プロテクトキー動作設定を「スライドオープン時は解除」に設定している場合は、FOMA端末を閉じている場合のみ有効です。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 3 1 5 2

2 **タイマープロテクトキーロック欄▶1**

- 解除する：タイマープロテクトキーロック欄▶2▶操作4に進む

3 **プロテクトキーロック設定時間欄▶1～5**

4 📖

FOMA端末を開いたときのプロテクトキーロックの動作を設定する　プロテクトキー動作設定

FOMA端末を開いたときに、プロテクトキーロックを一時解除するかどうかを設定します。

お買い上げ時 スライドオープン時は解除

1 Menu 8 3 1 5 1▶1～2

おしらせ

- 「スライドオープン時は解除」に設定している場合、プロテクトキーロック一時解除中に「スライドオープン時もロック」に変更すると、プロテクトキーロックが設定されます。FOMA端末を閉じるか🔑以外のキーを押すとディスプレイの表示が消えます。

シークレット属性を設定している情報を表示する　シークレットモード

シークレットモードを設定すると、シークレット属性を設定している電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定／解除する場合、シークレットモードを設定する必要があります。

お買い上げ時 未設定

1 Menu 8 3 4▶**端末暗証番号を入力**

シークレットモードが設定され、ディスプレイ上部に🔒が表示されます。

■ **解除する：待受画面で☎**

- 待受画面でMenu 8 3 4を押しても解除されます。

おしらせ

- シークレットモード中は、アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。☎を押すとシークレットモードが解除され、再生されます。
- シークレット属性を設定している相手から着信やメールの受信があったときは、シークレットモード中にのみ電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する　メモリ別着信拒否／許可

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信拒否または許可を設定し、その設定をメモリ別着信拒否／許可で有効にします。ただし、拒否設定と許可設定を同時には有効にできません。

- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。
- 本機能はプッシュトーク着信にも有効です。
- お買い上げ時の設定は次のとおりです。

電話番号ごとの着信許可／拒否設定	設定なし
メモリ別着信拒否／許可	設定解除

指定した電話番号からの着信のみを許可する

1 電話帳を検索▶相手を選び[Menu][3][5][3]

2 端末暗証番号を入力▶電話番号を選択

3 [1]

電話番号に対して、着信許可が設定されます。電話帳データの詳細画面上部に[!]が表示されます。

- 解除する：[3]
- 複数の電話番号を設定する場合、操作1～3を繰り返します。

4 待受画面で[Menu][8][4][5][1]▶端末暗証番号を入力

5 [3]

電話番号ごとの着信許可の設定が有効になり、着信許可に設定したすべての電話番号のみ、着信が許可されます。

- 解除する：[1]

指定した電話番号からの着信を拒否する

設定した電話番号から電話やプッシュトークが着信しても、着信音が鳴らずに切断され、電話の場合は相手に話中音が流れ、プッシュトークの場合は発信者の画面に「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。

1 電話帳を検索▶相手を選び[Menu][3][5][3]

2 端末暗証番号を入力▶電話番号を選択

3 [2]

電話番号に対して、着信拒否が設定されます。電話帳データの詳細画面上部に[!]が表示されます。

- 解除する：[3]
- 複数の電話番号を設定する場合、操作1～3を繰り返します。

4 待受画面で[Menu][8][4][5][1]▶端末暗証番号を入力

5 [2]

電話番号ごとの着信拒否の設定が有効になり、着信拒否に設定したすべての電話番号が拒否されます。

- 解除する：[1]

おしらせ

- FOMAカード電話帳に登録されている電話番号には設定できません。
- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 着信拒否／許可を設定している電話番号を変更／削除した場合、設定は解除されます。その場合は、変更／登録後の電話番号に着信拒否／許可を設定してください。
- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、メモリ別着信拒否／許可の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- 「着信許可」に設定した電話帳データがない場合に、本設定で「許可設定」を選択すると、すべての着信を拒否する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、すべての着信を拒否するように設定されます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

Menu 81114／Menu 82326

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する 発番号なし動作設定

電話番号が通知されない音声電話の着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本機能の設定が優先されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話が着信したときはテレビ電話着信設定に、プッシュトークが着信したときはプッシュトーク着信設定に従って動作します。ただし、本設定の着信動作を「着信拒否」に設定しているときは、着信が拒否されます。

お買い上げ時 すべて設定解除

1 [Menu][8][4][2]▶端末暗証番号を入力

2 [1]～[3]

- 通知されない理由ごとに操作2～3を繰り返します。
- 非通知理由については☛P67

3 各項目を設定▶[☐]

非通知設定
設定解除
Vivaldism
イメージ表示 標準画像
イメージ一覧 画像選択

着信動作

着信動作：発信者番号が通知されない電話が着信したときの動作を設定します。

- 「設定解除」に設定すると、電話着信設定で設定した着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」に設定すると、着信を拒否します。
- 「着信音OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データを設定するには☛P127

・「設定解除」または「着信拒否」に設定すると、イメージ表示は設定できません。「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話が着信したときに表示する画像を設定します。
・「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像が設定されます。
・「イメージ」または「ｉモーション」を選択したときは、画像を設定します。

・選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126

おしらせ

● 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に不在着信として記録されます。
● 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、または「ミュージック」に音楽データを設定した場合、イメージ表示が「標準画像」に設定されることがありますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。
● メモリ登録外着信拒否を設定している場合に発信者番号が通知されない着信があったときは、本機能よりもメモリ登録外着信拒否の設定が優先されます。

電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする　呼出動作開始時間設定

・「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。
・メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

お買い上げ時　OFF

1 Menu 8 1 5 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

着信呼出動作：本機能を有効にするかどうかを設定します。
呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します（1～99秒）。
時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やプッシュトークが着信したとき、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。
・設定した時間が経過する前でも、電話やプッシュトークに出たり伝言メモで応答できます。
・パーソナルデータロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳に登録されている相手からの着信でも本機能が動作します。
・次の場合も、本機能が動作します。
　・電話帳に登録されている相手でも発信者番号が通知されない電話やプッシュトークが着信したとき
　・シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定している電話帳に登録されている相手から着信があったとき

おしらせ

● 本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスは動作します。
　・公共モード（ドライブモード）　・伝言メモ　・留守番電話サービス　・転送でんわサービス
● 発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話やプッシュトークが着信した場合は、本機能より発番号なし動作設定が優先されます。
● 呼出開始時間を留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する　メモリ登録外着信拒否

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- パーソナルデータロック中や呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。
- 本機能はプッシュトーク着信にも有効です。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 4 5 2 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ 1 ～ 2

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やプッシュトークが着信したとき、着信音は鳴らずに切断され、電話の場合は相手に話中音が流れ、プッシュトークの場合は発信者の画面に「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。

- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 次の場合も、着信を拒否します。
  - ・電話帳に登録されている相手でも発信者番号が通知されない電話やプッシュトークが着信したとき
  - ・シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定している電話帳に登録されている相手から着信があったとき

おしらせ

- 発信者番号が通知されない着信があった場合は、発番号なし動作設定よりも本機能の設定が優先されます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービスを利用する　電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・静止画・メール（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。万一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている電話帳などのデータを新しいFOMA端末に復元させることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンから My DoCoMo のページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

FOMA端末　お預かりセンター　パソコンなど

電話帳・静止画・メールを保存
紛失・水濡れ時は簡単に復元
パソコンの編集内容を反映
インターネット
お預かりしたデータを閲覧・編集

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- データの保存／復元方法については、以下のページを参照してください。
  ・電話帳☛P116、P119　・静止画☛P323　・メール☛P251

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目　的	機能・サービス名称	参照先
電子認証サービスを利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応サイトに限ります）。	FirstPass	P199 P216
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信設定	P255
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認します。	「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
メールアドレスを変更／確認します。	アドレス変更／確認	
URLが記載されたメールを受信しません。	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールを受信／拒否します。	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否します。		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。		
SMSの受信を拒否します。	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
1日に1台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールのサイズを制限します。	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認します。	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
紛失したFOMA端末のおよその位置を確認します。	ケータイお探しサービス	
ICカード機能を利用できないようにします。	ICカードロック	P293
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P423
発信者番号を通知してこない電話を受けません。	番号通知お願いサービス	P423
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P487
障害を引き起こす可能性のあるデータの削除や、アプリケーションの起動の中止によって、FOMA端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P492

カメラ

カメラをご使用になる前に

FOMA端末のカメラを使って静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画や動画は、FOMA端末で表示/再生するだけでなく、microSDメモリーカードに保存したり、i モードメールに添付して送信したり、赤外線通信/iC通信で送信できます。

カメラ利用時の留意事項

カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、点や線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- レンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとしたり、電池残量が少ないと、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがあります。
- 蛍光灯などの光源や窓などを撮影した場合に、明るい部分から光の帯が見える場合がありますが、故障ではありません。
- レンズの特性により、画像が歪んで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。被写体との距離やカメラの向きを変えたり、場所を移動することで、ちらつきを減らすことが可能です。また、ちらつき調整によりちらつきを低減できる場合があります。☛P193
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- カメラ起動時やオートフォーカス起動時、カメラ切り替え時などにモーター音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

きれいに撮影するために

FOMA端末を閉じていても開いていても撮影できます。図のようにしっかりと持って撮影してください。

- 撮影時は、なるべくFOMA端末が動かないようにしてください。
- レンズ部分に指、ストラップなどがかからないように注意してください。
- レンズ部分に指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 手ぶれのない静止画/動画を撮影するには、手ぶれ補正機能の利用をおすすめします。☛P191
  また静止画撮影時は、セルフタイマー機能の利用も、自動でシャッターを切れるため、手ぶれ防止に効果的です。

撮影時の留意事項

- 撮影する場所に応じて明るさを設定してください。☛P191
  また、暗い場所ではコンパクトライトを補助光として利用してください。☛P189
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中にmicroSDメモリーカードを抜かないでください。FOMA端末の故障の原因になります。
- 撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後保存せずに長時間放置しないようにしてください。
- お買い上げ時は、撮影画面を表示したまま約1分間何も操作しないと静止画撮影、動画撮影が自動終了するように設定されています。自動終了の設定は変更できます。☛P187

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト(番組)やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

撮影画面について

撮影画面の見かた

撮影画面には操作のガイドやカメラの設定状況が表示されます。詳細や設定方法は各参照先をご覧ください。

■ 静止画撮影画面

■ 動画撮影画面

❶ **タスクバーのアイコン☛P29**

静止画撮影中、動画撮影中であることを示します。

❷ **設定ガイド**

で撮影時の設定を変更できることを示します。☛P189

❸ **オートフォーカス状態**

オートフォーカスの状態が表示されます（静止画のアウトカメラ撮影時のみ）。☛P184

❹ **画面切替ガイド**

静止画撮影時は で全画面表示と標準画面表示を切り替えられることを示します。

- 全画面表示にすると設定ガイドや画面下部のマーク、ガイド行が消えます。

動画撮影時は画像サイズがQVGA(320×240)のアウトカメラ撮影時のみ表示され、 で縦撮影と横撮影を切り替えられることを示します。

❺ **オートフォーカス操作ガイド**

静止画のアウトカメラ撮影時にオートフォーカスのON／OFFとキーの説明が表示されます。

- オートフォーカスの操作については☛P182

オートフォーカスONのとき

AF　→F-Lock →AF-OFF

オートフォーカスOFFのとき

→AF-ON

❻ **保存先☛P187、P188**

：FOMA端末　：microSDメモリーカード

❼ **撮影種別☛P188**

：画像＋音声　：画像のみ

❽ **コンパクトライト**

コンパクトライト点灯時に が表示されます。☛P189

❾ **接写撮影**

接写撮影時に が表示されます。☛P189

❿ **セルフタイマー／共通再生モード**

静止画撮影の場合

セルフタイマー設定時にセルフタイマーのマークが表示されます。☛P189

動画撮影の場合

共通再生モードが「ON」のときに が表示されます。☛P194

⓫ **インジケータ**

撮影待機中の場合

通常の撮影時は保存先の保存領域の使用率を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。

- microSDメモリーカードの保存領域の使用率は、静止画や動画が保存されていなくても0にならないことがあります。

動画撮影中／一時停止中の場合

サイズ制限で設定しているファイルサイズ(「制限なし」の場合は保存可能サイズ）に対する撮影したサイズの割合を示します。

⓬ **カウンタ**

撮影待機中の場合

通常の撮影時は現在の設定で FOMA 端末または microSD メモリーカードに保存できる静止画の最大枚数（目安）または動画の最大時間（目安）

を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。静止画の手動連写中は撮影枚数／総撮影枚数を示します。

動画撮影中／一時停止中の場合

経過時間／残り時間（撮影停止するまでの時間）（目安）を示します。

⑬ **撮影モード☛P190**
⑭ **明るさ☛P191**
⑮ **色の濃さ☛P191**
⑯ **ホワイトバランス☛P191**
⑰ **手ぶれ補正☛P191**
⑱ **フレーム☛P192**
⑲ **連続撮影☛P184**
⑳ **画質／品質☛P192**
㉑ **サイズ制限☛P192**
㉒ **画像サイズ☛P193**

おしらせ

● 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。
● 電話帳、メール、ｉアプリからカメラを起動したときは、利用できない機能や変更できない設定があります。
● ｉアプリから静止画撮影を起動したときは、インジケータ、カウンタ、サイズ制限は表示されません。また、ｉアプリから動画撮影を起動したときはサイズ制限およびインジケータの保存領域の使用率は表示されず、カウンタには１回で撮影可能な時間が表示されます。
● インカメラ撮影時、撮影画面では画像が鏡像表示されますが、撮影した静止画や動画は正像となります。静止画の場合、静止画詳細設定で自動保存を「しない」に設定すると、鏡像でも保存できます。
● 動画撮影時、QVGA（320 × 240）の横撮影に切り替えている場合は、■STANDBY（撮影待機中）、● REC（撮影中）、II PAUSE（一時停止中）が表示され、カウンタの表示位置が変わります。

シャッター音／カウントダウン音について

- 着信音量を「silent」（消音）に設定している場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中などでも、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。
- シャッター音、カウントダウン音の音量は変更できません。
- シャッター音の種類は静止画詳細設定、動画／録音詳細設定で変更できます。

決定キーの照明／コンパクトライトの点灯について

カメラ起動時や撮影時は、決定キーの照明とコンパクトライトが点灯／点滅します。点灯／点滅しない設定や点灯パターン／色の変更はできません。

状態	決定キーの照明	コンパクトライト※1
静止画撮影／動画撮影起動時	青で点灯	赤で点灯
撮影画面表示中	点灯しない	
静止画撮影時	赤で点灯	一度消灯し赤で点灯
静止画連続撮影時	色を変えながら点灯※2	
動画撮影中	色を変えながら点滅	赤で点滅
動画撮影一時停止中	緑で点灯	赤で点灯
セルフタイマーのカウントダウン中※3	緑で点滅	赤で点滅

※１：コンパクトライトを点灯して撮影していると赤の点灯／点滅がわかりにくい場合があります。
※２：インカメラ自動連写時は赤で点灯します。
※３：撮影時間が近づくと点滅間隔が短くなります。

ファイル名・ファイル形式について

撮影した静止画／動画のファイル名や表示名、タイトル（動画のみ）には、撮影した日時が自動的に付けられます。
（例）2007年7月10日12時34分56秒の場合
→20070710123456
ファイル形式は以下のとおりです。

■ 静止画ファイルの形式

項　目	内　容
ファイル形式	JPEG（Exif 形式、PRINT Image Matching Ⅲ対応）
拡張子	JPG

■ 動画ファイルの形式

項　目	内　容
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4　音声：AMR
拡張子	3GP

おしらせ

● 撮影後、ファイル名や表示名を変更できます。☛P350

静止画の保存枚数

D904iおよびmicroSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画像サイズ、画質、サイズ制限の設定や撮影状況によって変わります。
- 画像サイズ、画質、サイズ制限は静止画詳細設定で設定します。

静止画保存枚数（D904i本体）

D904i に保存できる静止画の枚数（目安）を以下に示します。

単位：枚

画像サイズ＼画質	エコノミー	スタンダード	ファイン
96×72	約563	約563	約563
128×96	約563	約563	約563
176×144	約563	約563	約563
240×320	約563	約457	約285
240×400	約563	約457	約285
352×288	約563	約472	約298
640×480	約249	約190	約104
480×640	約249	約190	約104
960×1280	約115	約71	約39
1200×1600	約55	約40	約21
1536×2048	約39	約28	約14

- お買い上げ時に登録されているデータを削除すると、保存枚数は増えます。

静止画保存枚数（microSDメモリーカード）

microSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数（目安）を、容量が64Mバイトの場合について以下に示します。

単位：枚

画像サイズ＼画質	エコノミー	スタンダード	ファイン
96×72	約3822	約3822	約3822
128×96	約3822	約3822	約3822
176×144	約3822	約3822	約1911
240×320	約1911	約1911	約1274
240×400	約1911	約1911	約1274
352×288	約1911	約1911	約1274
640×480	約955	約764	約424
480×640	約955	約764	約424
960×1280	約477	約294	約173
1200×1600	約238	約182	約95
1536×2048	約173	約123	約64

動画の撮影時間

動画の撮影時間は、サイズ制限、画像サイズ、品質、撮影種別の設定や撮影状況によって変わります。
- サイズ制限、画像サイズ、品質、撮影種別は動画／録音詳細設定で設定します。

1回あたりの撮影時間（D904i本体）

D904i に保存するとき、1回で撮影できる時間（目安）を以下に示します。

上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限	画像サイズ	品質 LP	品質 STD	品質 HQ
メール添付用（小）	128×96	約83秒 約100秒	約52秒 約63秒	約37秒 約42秒
	176×144	約56秒 約63秒	約29秒 約32秒	約20秒 約21秒
	320×240	約30秒 約32秒	約15秒 約16秒	約10秒 約11秒
メール添付用（大）	128×96	約340秒 約411秒	約214秒 約257秒	約152秒 約172秒
	176×144	約228秒 約258秒	約118秒 約129秒	約81秒 約86秒
	320×240	約121秒 約129秒	約62秒 約65秒	約42秒 約43秒
制限なし	128×96	約32分 約38分	約20分 約24分	約14分 約16分
	176×144	約21分 約24分	約11分 約12分	約460秒 約491秒
	320×240	約11分 約12分	約351秒 約369秒	約238秒 約246秒

合計撮影時間（D904i本体）

D904iに保存できる動画の合計撮影時間（目安）を以下に示します。

上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限	画像サイズ	品質 LP	品質 STD	品質 HQ
メール添付用（小）	128×96	約32分 約38分	約20分 約24分	約14分 約16分
	176×144	約21分 約24分	約11分 約12分	約466秒 約489秒
	320×240	約11分 約12分	約349秒 約372秒	約233秒 約256秒
メール添付用（大）	128×96	約32分 約38分	約20分 約24分	約14分 約16分
	176×144	約21分 約24分	約11分 約12分	約460秒 約489秒
	320×240	約11分 約12分	約352秒 約369秒	約238秒 約244秒

サイズ制限	画像サイズ	品質		
		LP	STD	HQ
制限なし	128×96	約32分 約38分	約20分 約24分	約14分 約16分
	176×144	約21分 約24分	約11分 約12分	約460秒 約491秒
	320×240	約11分 約12分	約351秒 約369秒	約238秒 約246秒

- お買い上げ時に登録されているデータを削除すると、撮影時間は増えます。

合計撮影時間（microSDメモリーカード）

microSD メモリーカードに保存できる動画の合計撮影時間（目安）を、容量が64Mバイトの場合について以下に示します。

上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限	画像サイズ	品質		
		LP	STD	HQ
メール添付用（小）※1	128×96	約169分 約204分	約106分 約127分	約75分 約85分
	176×144	約113分 約128分	約58分 約64分	約40分 約42分
	320×240	約60分 約64分	約30分 約32分	約20分 約21分
メール添付用（大）※1	128×96	約169分 約204分	約106分 約127分	約75分 約85分
	176×144	約113分 約128分	約58分 約64分	約40分 約42分
	320×240	約60分 約64分	約30分 約32分	約20分 約21分
制限なし※2	128×96	約169分 約204分	約106分 約127分	約75分 約85分
	176×144	約113分 約128分	約58分 約64分	約40分 約42分
	320×240	約60分 約64分	約30分 約32分	約20分 約21分

※１：１回あたりの撮影時間は「１回あたりの撮影時間（D904i本体）」と同じです。
※２：１回で合計撮影時間まで撮影できます。

Menu 661

静止画を撮影する

静止画撮影

静止画を撮影する

オートフォーカス機能で画面中央の被写体にピントを合わせて撮影できます。

- オートフォーカスでピントを合わせられる距離は、通常撮影で約50cm以上、接写撮影で約8～50cmです。
- インカメラ撮影時はオートフォーカス撮影はできません。固定焦点で撮影されます。

1 （1秒以上）

静止画撮影が起動します。

- インカメラとアウトカメラを切り替える：
- 全画面表示と標準画面表示を切り替える：

静止画撮影画面

2 被写体にカメラを向けて または

画面中央にオレンジ色のフォーカス枠が表示され、ピントが調節されます。ピントが合うとフォーカス枠が緑の＋に変わり、シャッター音が鳴って静止画が撮影され、確認画面が表示されます。

フォーカス枠　緑の＋

- インカメラ撮影時は、フォーカス枠は表示されずに静止画が撮影されます。
- または を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差がありますので、 または を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないようにしてください。

3 撮影した静止画を確認

- 保存しないで撮影し直す：クリア
- 横長VGA（640×480）以上の静止画を等倍表示して確認する：
  - でスクロールできます。元に戻すにはクリアを押します。
- 確認画面を表示せずに自動保存するには☞P187

4 または

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

■ 保存した静止画を確認する：[m]▶静止画を選択
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は [m] を押してフォルダを選択し、静止画を選択します。

画面の中央以外にピントを合わせて撮影する（フォーカスロック撮影）

1 静止画撮影画面でピントを合わせたい被写体を画面の中央に合わせる▶[通話]

オレンジ色のフォーカス枠が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の＋に変わります。
- フォーカスロックを解除する：[クリア]
- マナーモード中は確認音は鳴りません。

2 撮影したい位置にカメラを向ける▶[●]

静止画が撮影されます。
- [カメラ]を使ってもフォーカスロック撮影ができます。被写体を画面の中央に合わせて[カメラ]を半押しし、ピントを合わせます。半押ししたまま撮影したい位置にカメラを向け、シャッター音が鳴るまで[カメラ]を押し込みます。
  - 半押しした後で[カメラ]から指を離すとフォーカスロックが解除されます。

アウトカメラでオートフォーカスを使わずに撮影する

固定焦点で撮影します。シャッターチャンスの限られた被写体でも、すばやく撮影できます。

1 静止画撮影画面で[マナー]

オートフォーカスがOFFに設定されます。
- もう一度押すとONに戻ります。

2 被写体にカメラを向けて[●]

静止画が撮影されます。
- オートフォーカスをOFFに設定していても、[カメラ]を押すとオートフォーカスで撮影されます。

確認画面からの各種操作

操作3で、撮影した静止画の確認画面から以下の操作が行えます。

■ メールに添付して送信する：[メール]

撮影した静止画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画が保存され、メール作成画面が表示されます。
- 画像サイズによってはQVGA（240×320または320×240）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。☞P232
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイトより小さいファイルサイズで保存されます。
- 静止画のファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定していても、FOMA端末に保存されます。

■ 待受画面に設定する：[MENU][2][1]▶「はい」

撮影した静止画が保存され、待受画面に設定されます。
- 画像サイズによっては、静止画の表示サイズを選択できます。☞P136
- iアプリ待受画面が設定されているときは、続けてiアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録する（画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ）：[MENU][2]▶[2]～[3]▶「はい」

撮影した静止画が保存され、電話帳の登録画面が表示されます。
- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ タイトルを変更する：[MENU][3][1]▶タイトルを入力（全角・半角を問わず31文字（連続撮影した画像は30文字）まで）▶[m]

■ 明るさや色のバランスを補正する：[m]
- 以降の操作は、「明るさや色のバランスを補正する」の操作2以降と同じです。☞P322
- 画像サイズが横長VGA（640×480）以上の場合は補正できません。
- 4コマ撮影でフレームが設定されている場合は、補正できません。

■ 鏡像で保存する（インカメラ撮影時のみ）：[MENU][5][3]
- フレームが設定されている場合は、鏡像で保存できません。

■ 正像表示／鏡像表示を切り替える（インカメラ撮影時のみ）：[MENU][4][2]

■ 保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替える：Menu 7
・静止画保存後は、保存先の設定は切り替え前の設定に戻ります。

■ 保存されている画像を一覧表示する：Menu 8 ▶ 1〜2
・microSD メモリーカードの画像を一覧表示するときはフォルダを選択します。

おしらせ

[共通]
● 待受画面で を１秒以上押すとインカメラ撮影で静止画撮影を起動できます。
● 速く動いている被写体を撮影すると、または を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
● 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかることがあります。
● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像を削除するか、画像サイズや画質を低い値に変更してください。
● 音声電話通話中に静止画を撮影した場合、通話が途切れることがあります。
● 静止画を撮影後、保存完了前に電話やプッシュトークが着信した場合、着信したタイミングによっては撮影した静止画が破棄される場合があります。
● 静止画詳細設定で撮影日時を「日付」または「日付＋時刻」に設定して撮影しても、確認画面には日付や時刻は表示されません。保存した静止画には日付や時刻が表示されます。なお、横長 VGA（640 × 480）以上の静止画では、確認画面で を押して等倍表示すると日付や時刻が表示されます。
● 他の機能でmicroSDメモリーカードを使用中は、microSDメモリーカードへは保存できません。
● 画像サイズをUXGA（1200×1600）や3M（1536×2048）に設定して撮影したとき、撮影した静止画のファイルサイズが 500K バイトを超えることがあります。この場合、静止画を赤外線通信／iC通信で送信できません。
● 以下の項目は、アウトカメラとインカメラで別々に設定します。カメラを切り替えたときに設定は引き継がれません。
・ズーム　・撮影モード　・フレーム
・連続撮影　・画質　・サイズ制限
・画像サイズ
● 静止画撮影画面で を１秒以上押すと動画撮影に切り替わります。

[オートフォーカス撮影]
● 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
・色の濃淡がない被写体を撮影する場合
・動いている被写体を撮影する場合
・暗い場所で撮影する場合
・FOMA端末を動かしながら撮影する場合
・撮影範囲内にライトなどがある場合
● ピント調節中は画面の Auto Focus が ＋Auto Focus に変わり、ピントが合うと OK Auto Focus に変わります。ただし、フォーカスロック撮影時以外は OK Auto Focus は短時間で消えるため、確認できない場合があります。

連続撮影する

次の撮影ができます。いずれの場合も、一定間隔（アウトカメラでは約0.15秒、インカメラでは約0.4秒）で自動的に撮影する自動連写と、1枚ずつ撮影する手動連写ができます。

・連続撮影自動／連続撮影手動
最大9枚の静止画を連続して撮影します。撮影した静止画は、マイピクチャにパラパラマンガの形式で保存され、アニメーションのように連続して表示できます。撮影できる画像サイズはSub-QCIF（128×96）、QCIF（176×144）、QVGA（240×320）、待受用（240×400）、CIF（352×288）です。
　・撮影枚数は静止画詳細設定で設定します。
　・マイピクチャのパラパラマンガの解除機能を使用すると、1枚ずつの静止画にできます。
　・microSDメモリーカードに保存する場合は、1枚ずつの静止画として保存されます。
・4コマ撮影自動／4コマ撮影手動
120×160のサイズの静止画を4枚撮影し、並べて1枚の静止画にします。撮影できる画像サイズはQVGA（240×320）のみです。

1枚目	2枚目
3枚目	4枚目

1 （1秒以上）
静止画撮影が起動します。
・インカメラとアウトカメラを切り替える：

2 で連続撮影のマークを選ぶ ▶ で撮影方法を選び

: 連続撮影自動
: 連続撮影手動
: 4コマ撮影自動
: 4コマ撮影手動
: OFF（連続撮影解除）

連続撮影のマーク

・連続撮影できない画像サイズでは、連続撮影のマークにカーソルが移動しません。

3 被写体にカメラを向けて◉または📷

自動連写のときは、自動連写用のシャッター音が鳴り、撮影枚数分の静止画が連続で撮影されます。手動連写のときは、シャッター音が鳴り、最初の1枚が撮影されます。以降、1枚ごとに◉または📷を押して撮影します。撮影枚数分の撮影が終了すると、確認画面が表示されます。

- 連続撮影自動／4コマ撮影自動でオートフォーカスで撮影する場合、1枚目を撮影するときにピントが調整され、以降は1枚目と同じピントで撮影されます。
- 連続撮影手動、4コマ撮影手動を途中で中断するには📖を押します。
  - ・4コマ撮影手動の場合、それまでに撮影した静止画は保存できません。
- 連続撮影自動、4コマ撮影自動は途中で中断できません。

4 連続撮影した静止画を確認

- 確認画面で操作できる機能は通常の撮影時と同じです。
- 保存しないで撮影し直す：クリア
- 連続撮影自動／連続撮影手動で2枚以上撮影したときは、⇄を押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。1枚表示時に◀○▶を押すと前後の静止画を表示できます。
- 確認画面を表示せずに自動保存するには☛P187

5 ◉または📷

静止画が保存されます。

■ **静止画を1枚だけ保存する（連続撮影自動／連続撮影手動のみ）：**

①**静止画を選ぶ**

- 1枚表示時は保存する静止画を表示します。

②◉（1秒以上）▶「はい」

- インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。
- 保存しなかった静止画は破棄されます。

■ **静止画を複数選択して保存する（連続撮影自動／連続撮影手動のみ）：**

①**サムネイル表示中にMenu 5 2 ▶保存しない静止画を解除**

- ✉を押すとカーソル位置の静止画が拡大表示されます。◉を押すとサムネイル表示に戻ります。

②📖▶「はい」

- インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。
- 保存しなかった静止画は破棄されます。

■ **静止画をすべて鏡像で保存する（インカメラ撮影時のみ）：Menu 5 3**

おしらせ

- 手動連写中に電話やプッシュトークが着信したり、目覚ましやスケジュールアラームの設定時刻になった場合、その時点で撮影が終了します。4コマ撮影手動の場合、それまでに撮影した静止画は破棄され、保存できません。

動画を撮影する

動画撮影

- お買い上げ時は音声付きの動画を撮影するように設定されています。動画／録音詳細設定で変更できます。

1 Menu 6 6 2

動画撮影画面

動画撮影が起動します。

- インカメラとアウトカメラを切り替える：⇄
- 縦撮影と横撮影を切り替える：✳
  - ・画像サイズがQVGA（320×240）のアウトカメラ撮影時のみ切り替わります。

2 被写体にカメラを向けて◉または📷

シャッター音が鳴り、撮影が開始されます。画面下部に●が表示されます。

- 撮影を一時停止するときは◉を押します。●が❚❚に切り替わります。◉または📷を押すと、撮影を再開します。

3 📖または📷

シャッター音が鳴り、撮影が終了します。確認画面が表示されます。

- 撮影中にファイルサイズが制限値を超えると、撮影が自動的に終了します。
- 一時停止中に📖を押して撮影を終了できます。

4 撮影した動画を確認

- 保存しないで撮影し直す：クリア
- 動画を再生する：📖
- 確認画面を表示せずに自動保存するには☛P188

5 ◉または📷

撮影した動画がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSD メモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。

■ **保存した動画を確認する：📖▶動画を選択**

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は 📖 を押してフォルダを選択し、動画を選択します。

確認画面からの各種操作

操作4で、撮影した動画の確認画面から以下の操作が行えます。

■ **メールに添付して送信する：✉**

撮影した動画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画が保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先を microSD メモリーカードに設定していても、FOMA端末に保存されます。
- 撮影した動画のファイルサイズが 2M バイトを超える場合は、添付できません。
- 撮影した動画を下記機種※1以外に送信する場合、あらかじめ共通再生モードを「ON」にして撮影することをおすすめします。☛P194

※1：903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）

■ **待受画面に設定する：Menu 2 1 ▶「はい」**

撮影した動画が保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 保存先を microSD メモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ **電話帳の画像に登録する：Menu 2 ▶ 2 ～ 3 ▶「はい」**

撮影した動画が保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。
- 撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ登録できます。
- 保存先を microSD メモリーカードに設定している場合は、登録できません。

■ **タイトルを変更する：Menu 3 ▶タイトルを入力（全角・半角を問わず31文字まで）▶📖**

- 変更したタイトルは動画保存後に有効になります。

■ **保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替える：Menu 5**

- 撮影した動画のファイルサイズが 2M バイトを超える場合は、切り替えられません。
- 動画保存後は、保存先の設定は切り替え前の設定に戻ります。

■ **保存されている動画を一覧表示する：Menu 6 ▶ 1 ～ 2**

- microSDメモリーカードの動画を一覧表示するときはフォルダを選択します。

おしらせ

- 動きの激しいものを撮影すると、映像が乱れることがあります。
- 撮影／録音中にキーを押したり充電を開始すると、操作音や確認音が録音される場合があります。
- 撮影／録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影／録音できない場合があります。
- サイズ制限を「制限なし」に設定している場合、撮影／録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な動画や音声を削除するか、サイズ制限の設定を変更してください。
- 撮影／録音中に電話やプッシュトークが着信したときや、目覚ましやスケジュールアラームの設定時刻になったとき、⏎を押したときは、その時点で撮影／録音が終了します。それまでに撮影／録音したデータは保存できます。
- 撮影／録音中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影や録音が終了します。それまでに撮影／録音したデータは保存できます。
- 撮影／録音中に目覚まし音やスケジュールアラーム、電池アラームが鳴り撮影や録音が終了した場合、保存した動画／音声の最後に目覚まし音やスケジュールアラーム、電池アラームが録音されることがあります。
- 他の機能でmicroSDメモリーカードを使用中は、microSDメモリーカードへは保存できません。
- 以下の項目は、アウトカメラとインカメラで別々に設定します。カメラを切り替えたときに設定は引き継がれません。
  - ズーム
  - 撮影モード
  - フレーム
  - 品質
  - サイズ制限
  - 画像サイズ
  - 撮影種別

● 動画撮影画面で［文字］を1秒以上押すと静止画撮影に切り替わります。

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する　静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

・電話帳、メール、iアプリからカメラを起動したときは設定できません。その場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

お買い上げ時

● 静止画詳細設定
画像サイズ（アウトカメラ）、画像サイズ（インカメラ）：待受用（240×400）
サイズ制限（アウトカメラ）、サイズ制限（インカメラ）：制限なし
画質（アウトカメラ）、画質（インカメラ）：スタンダード
撮影日時：なし　連続撮影枚数：9枚
自動保存：しない　保存先：本体
自動終了時間：1分後　シャッター音：シャッター音1
照明設定：常灯

● 動画／録音詳細設定
サイズ制限（アウトカメラ）、サイズ制限（インカメラ）、サイズ制限（サウンドレコーダー）：メール添付用（大）
品質（アウトカメラ）、品質（インカメラ）、品質（サウンドレコーダー）：STD（標準）
画像サイズ（アウトカメラ）、画像サイズ（インカメラ）：QCIF（176×144）
撮影種別（アウトカメラ）、撮影種別（インカメラ）：画像+音声
自動保存：しない　保存先：本体
自動終了時間：1分後　シャッター音：シャッター音1
照明設定：常灯

例　静止画詳細設定を変更するとき

1 ［カメラ］（1秒以上）▶［Menu］［9］

■ 動画／録音詳細設定を変更する：
［Menu］［6］［6］［2］▶［Menu］［8］

2 各項目を設定▶［決定］

■ **静止画の撮影可能枚数（目安）を表示する：静止画詳細設定画面で［Menu］**
画像サイズと画質ごとの撮影可能枚数（目安）が表示されます。
・画像サイズ（インカメラ）、サイズ制限（インカメラ）、画質（インカメラ）を選んでいるときは、インカメラの撮影可能枚数（目安）、それ以外のときはアウトカメラの撮影可能枚数（目安）が表示されます。
・枚数は現在の保存先とサイズ制限の設定に従って計算されます。ただし、現在のサイズ制限では設定できない画像サイズについては、設定可能なサイズ制限で計算されます。
・画像サイズの選択画面表示中に［Menu］を押しても表示できます。

■ **動画の撮影可能時間（目安）を表示する：動画／録音詳細設定画面で［Menu］**
画像サイズと品質ごとに、保存できる合計撮影時間（総撮影時間）と1回あたりの撮影時間の目安が表示されます。また、サウンドレコーダーの録音時間の目安も表示されます。
・時間は現在の保存先と撮影種別（画像のみ／画像＋音声）、サイズ制限の設定に従って計算されます。
・1回あたりの撮影時間／録音時間が149時間を超える場合は149:00:00、総撮影時間／録音時間が999時間59分59秒を超える場合は999:59:59が表示されます。

設定項目について

■ **静止画詳細設定**

画像サイズ（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の画像サイズを設定します。☛P193
・選択画面で画像サイズを選ぶと、画面下部のアイコン表示で手ぶれ補正、連続撮影、フレーム撮影、アウトカメラ／インカメラ撮影の可／不可を確認できます。
・SXGA（960×1280）以上の画像サイズとサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。

サイズ制限（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時のファイルサイズの制限値を設定します。☛P192

画質（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の画質を設定します。☛P192

画像サイズ（インカメラ）／サイズ制限（インカメラ）／画質（インカメラ）：
設定内容はアウトカメラと同じです。ただし、設定できる画像サイズはアウトカメラと異なります。

撮影日時：
静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
・「日付」または「日付＋時刻」に設定しても、画像サイズが電話帳用（96×72）のときは撮影日時は入りません。

連続撮影枚数：
連続撮影する枚数を設定します（2〜9枚）。

自動保存：
「する」に設定すると撮影した静止画が自動的に保存されます。「しない」に設定すると撮影後に確認画面が表示されます。

保存先：
「本体」または「microSD」を選択します。

自動終了時間：
何も操作していないときに静止画撮影を終了するまでの時間を設定します。

シャッター音：
シャッター音1～5から選択します。
照明設定：
「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P143）の点灯時間設定（通常時）に従います。

■ **動画／録音詳細設定**

サイズ制限（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時のファイルサイズの制限値を設定します。☛P192
品質（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の動画の品質を設定します。☛P192
画像サイズ（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の画像サイズを設定します。☛P193
撮影種別（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の動画の種類を「画像＋音声」「画像のみ」から選択します。
サイズ制限（インカメラ）／品質（インカメラ）／画像サイズ（インカメラ）／撮影種別（インカメラ）：
設定内容はアウトカメラと同じです。
サイズ制限（サウンドレコーダー）：
サウンドレコーダーで録音する音声のファイルサイズの制限値を設定します。☛P362
品質（サウンドレコーダー）：
サウンドレコーダーで録音する音声の品質を設定します。☛P361
自動保存：
「する」に設定すると撮影／録音した動画／音声が自動的に保存されます。「しない」に設定すると撮影／録音後に確認画面が表示されます。
保存先：
「本体」または「microSD」を選択します。
自動終了時間：
何も操作していないときに動画撮影／サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。
シャッター音：
シャッター音1～5から選択します。
照明設定：
「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P143）の点灯時間設定（通常時）に従います。

おしらせ

- サウンドレコーダーの録音画面でMenuを押し、「動画／録音詳細設定」を選択しても動画／録音詳細設定を変更できます。
- 共通再生モードを「ON」に設定しているときに、動画／録音詳細設定を以下の値に変更すると、共通再生モードが解除されます。
  - サイズ制限（アウトカメラ）／サイズ制限（インカメラ）：メール添付用（大）または制限なし
  - 画像サイズ（アウトカメラ）／画像サイズ（インカメラ）：QVGA（320×240）
- 動画／録音詳細設定は、動画撮影とサウンドレコーダーの一方で設定すると両方の設定が変わります。
- シャッター音の設定内容は、音の設定の操作確認音にも反映されます。☛P130
  また、照明設定の設定内容は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定にも反映されます。☛P143

いろいろな方法で撮影する

ズームする

各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

■ アウトカメラ

- **静止画撮影時**

画像サイズ	最大倍率	ズーム段階
電話帳用（96×72）	約15.9倍	65段階
Sub-QCIF（128×96）	約15.9倍	65段階
QCIF（176×144）	約15.9倍	65段階
QVGA（240×320）	約7.9倍	65段階
待受用（240×400）	約5.9倍	65段階
CIF（352×288）	約6.0倍	65段階
横長VGA（640×480）	約2.9倍	65段階
縦長VGA（480×640）	約4.0倍	65段階
SXGA（960×1280）	約3.0倍	65段階
UXGA（1200×1600）	約2.0倍	6段階
3M（1536×2048）	約2.0倍	6段階

- **動画撮影時**

画像サイズ	最大倍率	ズーム段階
Sub-QCIF（128×96）	約16.0倍	8段階
QCIF（176×144）	約16.0倍	8段階
QVGA（320×240）縦撮影	約4.0倍	3段階
QVGA（320×240）横撮影	約7.9倍	5段階

■ インカメラ
ズームなしと約2倍の2段階で切り替えられます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で[↕]

押すたびに倍率が変わり、スライダの目盛が移動します。
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

スライダ

静止画撮影時

セルフタイマーを使う

静止画撮影時に、設定した秒数が経過すると自動でシャッターが切れます。
- 連続撮影手動、4コマ撮影手動では利用できません。また、動画撮影では利用できません。
- シャッターが切れるまでの秒数は2秒、5秒、10秒、15秒から選択できます。

1 静止画撮影画面で[Menu][5]

2 [1]～[4]

セルフタイマーが設定され、[2]、[5]、[10]、[15]のいずれかが表示されます。
- 解除する：[5]

セルフタイマーのマーク

3 被写体にカメラを向けて[●]または[📷]

カウントダウン音が鳴り、セルフタイマーのカウントダウンが始まります。インジケータとカウンタに撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。撮影時間が近づくと音の間隔が短くなり、設定した秒数が経過するとシャッター音が鳴り、撮影されます。
- オートフォーカス撮影時は、[●]または[📷]を押すとピントを合わせてからカウントダウンが開始され、設定した秒数が経過するとそのピントで撮影されます。
- セルフタイマーを途中で中止する：[□]
- セルフタイマーのカウントダウン中に電話やプッシュトークが着信したときや、目覚ましやスケジュールアラームの設定時刻になったとき、[◪]を押したときは、撮影は中止されます。

コンパクトライトを点灯する

- インカメラ撮影時は点灯できません。
- 静止画撮影時にコンパクトライトを点灯している場合、シャッターが切れる瞬間に光量が増加します。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で[✉]

コンパクトライトが点灯します。
- 消灯する：もう一度[✉]
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

近くのものを撮影する　接写撮影

アウトカメラでごく近い距離の被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えるとピントを合わせることができます。インカメラ撮影時は利用できません。接写撮影でピントを合わせられる距離は、静止画のオートフォーカス撮影時で約8～50cmです。静止画のオートフォーカス撮影時以外は、約7～11cmでピントが合います。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で[#]

接写撮影に切り替わり、[🌷]が表示されます。
- 解除する：もう一度[#]
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

接写撮影のマーク

撮影時の設定を変更する

- 以下の設定は静止画撮影／動画撮影を終了しても保持されます。
  - ・明るさ
  - ・手ぶれ補正
  - ・サイズ制限
  - ・ちらつき調整
  - ・色の濃さ
  - ・画質／品質
  - ・画像サイズ

お買い上げ時

撮影モード：フルオート　明るさ：±0
色の濃さ：±0　ホワイトバランス：オート
手ぶれ補正：オート　フレーム：なし
画質／品質：〈静止画〉スタンダード〈動画〉STD（標準）
サイズ制限：〈静止画〉制限なし〈動画〉メール添付用（大）
画像サイズ：〈静止画〉待受用（240×400）
〈動画〉QCIF（176×144）
ちらつき調整：自動

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で で マークを選ぶ

- ちらつき調整はマークでは設定できません。設定するには☛P193

撮影モードの場合

- マークには左から順に 1 ～ 9 、 0 のキーが割り当てられています。各キーを押してもマークを選べます。
  - 1 ：撮影モード　2 ：明るさ
  - 3 ：色の濃さ　4 ：ホワイトバランス
  - 5 ：手ぶれ補正　6 ：フレーム
  - 7 ：連続撮影（静止画撮影時のみ）☛P184
  - 8 ：画質／品質　9 ：サイズ制限
  - 0 ：画像サイズ

2 で設定を選び

- フレームは、6 を繰り返し押してフレームを選び、 を押しても設定できます。
- 撮影画面で 6 を1秒以上押すとフレームを解除できます。

撮影モード

色合いや撮影場所に応じた設定を選択できます。

フルオート：
最も標準的な撮影モードです。通常はこのモードでご利用ください。

感度アップ：
カメラの感度がアップし、暗い所でも被写体が写りやすくなります。

超感度アップ：
わずかな光でも被写体をモノクロ画像として抽出して撮影できます。

逆光補正：
逆光により顔などが暗くなってしまうのを、明るくなるように調整します。

スポット測光：
画面中央部の明るさに画像全体の明るさを合わせます。

風景：
自然や街並みを鮮やかに撮影できます。彩度とシャープネスがやや強めに設定されます。

夜景：
シャッタースピードが遅めになり、夜景を撮影しやすくなります。手ぶれに注意してください。

トワイライト：
夕暮れの風景を美しく撮影できます。彩度が高めで、紫がかった写真になります。

サーフ&スノー：
海や空の青色や、雪の白色を鮮やかに再現します。

スポーツ：
シャッタースピードが高速に設定され、動く被写体もぶれにくくなります。

ペット：
シャッタースピードが速め、彩度が高めに設定されます。

グルメ：
料理やお菓子の撮影に適したモードです。

文字：
文字の輪郭が強調されます。

ネガポジ：
色を反転させて撮影します。ネガフイルムのような表現になります。

絵画：
油絵のようなタッチで撮影できます。

版画：
黒と白のコントラストを生かした木版画風の画像を撮影できます。

美白：
肌が明るく、白く見えるように調整されます。室内での撮影をおすすめします。

日焼け：
肌が小麦色に見えるように調整されます。屋外での撮影をおすすめします。

ソフトタッチ：
輪郭が柔らかい画像になります。

モノトーン（赤）：
赤系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。

モノトーン（緑）：
緑系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。

モノトーン（青）：
青系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。

モノクロ：
白黒写真の色合いで撮影できます。

セピア：
セピア調の色合いで撮影できます。

- インカメラ撮影中は感度アップ、超感度アップ、ネガポジ、絵画、版画には設定できません。
- 夜景モードと連続撮影自動／4コマ撮影自動は同時に設定できません。
- 夜景モードでは色合いなどの再現性はよくなりますが、カメラの特性上、光量が少ない場所で撮影すると線などのノイズが出る場合があります。
- スポーツモード、ペットモードでは明るい場所で撮影してください。室内や暗い場所で撮影すると、ノイズが出る場合があります。
- グルメモードや文字モードで近距離で撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。
- 静止画撮影画面／動画撮影画面でMenu 1を押すと、各モードの説明を見ながらモードを選択できます。

明るさ

：＋2　：＋1　：±0
：－1　：－2

- 被写体によっては、調整しても表示があまり変化しないことがあります。
- 撮影モードを超感度アップ、版画、美白、日焼けに設定しているときは設定できません。

色の濃さ

：＋2　：＋1　：±0
：－1　：－2

- 被写体によっては、調整しても表示があまり変化しないことがあります。
- 撮影モードを超感度アップ、版画、美白、日焼け、モノトーン（赤）、モノトーン（緑）、モノトーン（青）、モノクロ、セピアに設定しているときは設定できません。

ホワイトバランス

撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整します。

オート：
ホワイトバランスを自動的に調整します。

太陽光：
晴天時の屋外で撮影するときに設定します。

くもり：
曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定します。

蛍光灯：
蛍光灯などの照明の下で撮影するときに設定します。

電球：
電球などの照明の下で撮影するときに設定します。

- 撮影モードを超感度アップ、風景、トワイライト、サーフ&スノー、版画、モノトーン（赤）、モノトーン（緑）、モノトーン（青）、モノクロ、セピアに設定しているときは設定できません。また、インカメラ撮影中は、これらに加え撮影モードを美白、日焼けに設定しているときも設定できません。

手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を利用するかどうかを設定します。

オート：
手ぶれしやすい設定や撮影状況のとき、自動的に手ぶれ補正が働きます。

OFF：
手ぶれ補正を行いません。

おしらせ

- 以下の場合は、自動的に手ぶれ補正が「OFF」に設定され、変更できません。
  - 静止画／動画のインカメラ撮影時
  - 静止画の連続撮影／4コマ撮影時
  - ｉアプリ動作中（ｉアプリ待受画面設定時も含む）に静止画を撮影するとき
- 次のようなときは手ぶれが補正できない場合があります。
  - 手ぶれが大きいとき
  - 被写体が動いているとき
  - ズーム撮影時

  また、上記以外の場合でも、被写体や撮影場所の条件によっては、手ぶれが補正できない場合があります。
- 手ぶれ補正を使用して画像サイズの大きい静止画を撮影した場合、確認画面からの操作の一部が可能になるまでに時間がかかる場合があります。
- 手ぶれ補正を使用して動画を撮影した場合、手ぶれ補正を行わない場合に比べ、撮影したときに写る範囲が少し狭くなります。

フレーム

FOMA 端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを選択できます。

: フレーム設定中　: フレーム解除

- お買い上げ時にFOMA端末に登録されているフレームは、QCIF（176×144）、QVGA（240×320）、待受用（240×400）の画像サイズに対応しています。☛P456
- 静止画の画像サイズを電話帳用（96×72）、横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、3M（1536×2048）、動画の画像サイズをQVGA（320×240）に設定しているときは、フレームを設定できません。

おしらせ

- 静止画撮影画面／動画撮影画面で Menu 3 1 を押すと、一覧からフレームを選択できます。
- 画像サイズと縦横が逆のフレーム（たとえば画像サイズがQCIF（176×144）のときに144×176のフレーム）を選択した場合、フレームが右90度回転して表示されます。このとき、静止画撮影画面／動画撮影画面で Menu 3 3 を押すと、フレームが180度回転します。画像サイズとフレームの縦横が同じ場合は回転できません。
- 撮影中にサイトからダウンロードしたフレームが表示されないときは、静止画撮影画面／動画撮影画面で Menu 3 4 を押すと、追加したフレームが選択可能になります。

画質／品質

静止画の画質／動画の品質を設定します。

■ 画質（静止画撮影時）

ファイン：
最も高い画質です。ファイルサイズは大きくなります。

スタンダード：
標準的な画質です。

エコノミー：
最も低い画質です。ファイルサイズは小さくなります。

■ 品質（動画撮影時）

高品質：
画像の動きがなめらかになります。ファイルサイズは大きく、撮影時間は最も短くなります。

標準：
標準的な品質です。

長時間：
最も低い品質です。ファイルサイズは小さく、撮影時間は最も長くなります。

サイズ制限

ファイルサイズの制限値を設定します。

■ 静止画撮影時

撮影した静止画のファイルサイズが制限値より大きくなる場合は、自動的に画質を落として保存します。

制限なし：
ファイルサイズを制限しません。

メール添付用（大）※1：
ファイルサイズを 2M バイト以下に制限します。ファイルサイズを変更せずに ｉ モードメールに添付できます。

メール添付用（小）※1：
ファイルサイズを 90K バイト以下に制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

- 画像サイズがSXGA（960×1280）以上のときは「メール添付用（小）」に設定できません。
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

■ 動画撮影時

撮影中に動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。

制限なし：
ファイルサイズを制限しません。

メール添付用（大）※1：
ファイルサイズを2Mバイト以下に制限します。

メール添付用（小）※1：
ファイルサイズを 500K バイト以下に制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

- 撮影した動画を ｉ モードメールに添付して送信するときは「制限なし」以外に設定します。
- 共通再生モードを「ON」に設定しているときは設定できません。

※ 1：マークを選んだとき、画面には「メール添付（小）」「メール添付（大）」と表示されます。

画像サイズ

設定できる画像サイズは次のとおりです。

撮影方法	マーク	画像サイズ	備考
静止画撮影	96×72	電話帳用（96×72）	❶
	128×96	Sub-QCIF（128×96）	❶
	176×144	QCIF（176×144）	❶
	240×320	QVGA（240×320）	❶
	240×400	待受用（240×400）	❷
	352×288	CIF（352×288）	❷
	640×480	横長VGA（640×480）※1	❷
	480×640	縦長VGA（480×640）※1	❷
	960×1280	SXGA（960×1280）※1	❷
	1200×1600	UXGA（1200×1600）※1	❷
	1536×2048	3M（1536×2048）※1	❷
動画撮影	128×96	Sub-QCIF（128×96）	❸
	176×144	QCIF（176×144）	❸
	320×240	QVGA（320×240）	❸

※1：インカメラ撮影時は設定できません。

❶：ｉモードメールに添付して送信できます。また、デコメールに貼り付けるのに適したサイズです。

❷：ｉモードメールに添付して送信できます。ファイル添付時にサイズをQVGA（240×320 または 320×240）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。

❸：ｉモードメールに添付して送信できます。

- ｉモード端末に送信できる静止画、動画のファイルサイズは最大2Mバイトです。
  - ・受信側の機種によって、正しく受信や表示がされない、または動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
  - ・下記機種※1以外に動画を送信する場合には、QCIF（176×144）サイズの動画をおすすめします。
    ※1：903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。
- ｉアプリ動作中（ｉアプリ待受画面設定時も含む）はUXGA（1200×1600）、3M（1536×2048）に設定できません。また、これらのサイズに設定しているとき、ｉアプリ動作中に静止画撮影画面を表示すると、画像サイズがSXGA（960×1280）に変更されます。
- 共通再生モードを「ON」に設定しているときは、動画の画像サイズをQVGA（320×240）に設定できません。

ちらつき調整

蛍光灯などの下で画面がちらつくとき、ご利用の地域の電源周波数に合わせてちらつき調整を設定すると、ちらつきを低減できる場合があります。

- 蛍光灯などの光が強くあたっている場所では、調整してもちらつきが消えないことがあります。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で Menu 2 4 ▶ 1 ～ 3

自動：
　ちらつきを低減するように自動的に調整します。

50Hz（東日本）：
　東日本の電源周波数に合わせて調整します。

60Hz（西日本）：
　西日本の電源周波数に合わせて調整します。

おしらせ

- 本機能での設定内容は、テレビ電話、バーコードリーダーのちらつき調整にも反映されます。
  ☞P82、P195
- ちらつき調整が「自動」に設定されているときに手ぶれ補正機能を使うと、ちらつき調整が十分に働かないことがあります。ご利用の地域の電源周波数に合わせて、ちらつき調整の設定を変更することをおすすめします。

設定を一括して変更する　カメラ一括調整

明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、ちらつき調整をまとめて設定できます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で Menu 2 5

■ 撮影モードの設定画面から操作する：
　①静止画撮影画面／動画撮影画面で Menu 1
　②撮影モードを選び Menu

2 各項目を設定 ▶ 📖

- 撮影モード欄には、現在の撮影モード（撮影モードの設定画面から操作したときは、設定画面で選んだ撮影モード）が表示されます。変更はできません。
- 撮影モードによっては設定できない項目があります。
- 撮影モードの設定画面から操作したときは、📖を押すと撮影モードも設定されます。

■ 各項目を一括してお買い上げ時の設定に戻す：✉ ▶「はい」

動画を他機種に送信するときに最適な設定にする　共通再生モード

撮影した動画を下記機種※1以外に送信する場合に最適な設定にします。

※1：903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）

- 「ON」に設定すると、サイズ制限がメール添付用（小）に変更されます。また、画像サイズがQVGA（320×240）だったときはQCIF（176×144）に変更されます。

1 動画撮影画面で Menu 7

- 押すたびに共通再生モードの「ON」と「OFF」が切り替わります。

おしらせ

● 共通再生モードを「ON」に設定しているときは、サイズ制限のマークは選択できません。また、画像サイズのQVGA（320×240）はマークから設定できません。

撮影時の設定を初期値に戻す

撮影モード、明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、ちらつき調整の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- 撮影モードは、アウトカメラ撮影時はアウトカメラの設定、インカメラ撮影時はインカメラの設定だけが戻ります。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で Menu 2 6 ▶「はい」

通話中に撮影した静止画を送信する　ワンショットメール

音声電話通話中に撮影した静止画を、iモードメールに添付して通話中の相手に送信します。

- 静止画詳細設定で保存先を「microSD」に設定したときは、自動保存を「しない」に設定してください。自動保存が「する」に設定されている場合、通話中に撮影した静止画を送信できません。
- 保存先を「microSD」に設定していても、送信する静止画はFOMA端末に保存されます。

1 音声電話通話中に カメラキー

2 静止画を撮影

- 保存先が「本体」で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメールに添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画を確認できます。
- 連続撮影すると、撮影した静止画がサムネイル表示されます。十字キーで静止画を選びます。

3 メールキー ▶「はい」

撮影した静止画が保存され、メール作成画面が表示されます。

- 通話中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は入力されません。
- 画像サイズやファイルサイズなどによっては各種の確認画面が表示されます。表示される画面は静止画撮影の確認画面からのメール添付と同じです。☛P183

4 iモードメールを作成して送信

- 通話中画面に戻る：クリア

バーコードリーダーを利用する　バーコードリーダー

JANコードやQRコードから文字や数字などの情報を読み取って利用できます。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- JANコードとQRコード以外のバーコードおよび2次元コードは読み取れません。
- バーコードの種類やサイズによっては読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないことがあります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。☛P415

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードの1つです。 8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
下のJANコードでは、「4942857129373」という文字情報が読み取れます。

4 942857 129373

QRコードとは

縦横方向の模様で英数字や文字（漢字・カナ・絵文字）、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードの1つです。

左のQRコードでは、「FOMA D904i」という文字情報が読み取れます。

コードを読み取る

バーコードリーダーを起動すると自動的に接写撮影に切り替わります。アウトカメラをコードから約8～10cm 離して読み取ってください。

約8～10cm

1 Menu 6 1

2 **コードを読み取る**

アウトカメラをコードに合わせると、自動的にコードが読み取られます。正しく読み取れると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

読み取りデータ
FOMA D904i

- コードが読み取りにくいときは、コードとアウトカメラの距離や角度、方向などを調節したり、等倍表示にすると読み取れる場合があります。
- キー操作後、約30秒経過してもコードを読み取れないときは「読み取りできませんでした」と表示されます。さらに約30秒経過してもコードが読み取れないときは、再度「読み取りできませんでした」と表示後、バーコードリーダーが終了します。
- データが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが、保存はできます。
- サブメニュー表示中など、読み取りを停止しているときは、画面右上の⌛が⌛に変わります。

■ **コードを読み取り直す：** 📖

3 Menu 4

読み取ったデータがFOMA端末に保存されます。

- 既にデータが5件保存されているときや保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して保存されているデータを削除してください。

■ **読み取ったデータの文字情報をコピーする：**
① Menu 1 ▶ **コピーの開始位置を選択**
  - 文字情報全体をコピーする：Menu ◉
② **コピーの終了位置を選択**

コード読み取り中の各種操作

操作2で、コード読み取り中の画面から以下の操作が行えます。

- サイズの大きいコードを読み取るときは、接写をOFFにしたり等倍表示にすると、読み取りやすくなることがあります。

■ **コンパクトライトの点灯（☼）／消灯（表示なし）を切り替える：** ✉

■ **接写OFF（表示なし）／接写ON（🌷）を切り替える：** #

■ **等倍表示にする／2倍表示にする：** ◎／◎

■ **オートフォーカスを使ってコードを読み取る：アウトカメラをコードに向ける▶** ☎

ピントが自動的に調節され、コードが読み取られます。

- ピント調節中はAF（黒）が表示されます。ピントが合うとAF（緑）に変わります。

■ **ちらつき調整を設定する：** Menu 2 ▶ 1～3

- 設定内容については☛P193
- 本機能での設定内容は、テレビ電話、カメラのちらつき調整にも反映されます。☛P82、P193

分割されたQRコードを読み取る場合

複数（最大16個）に分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って、次々に読み取ってください。

QRコードの読み取り状況
緑：最後に読み取ったコード
青：読み取り済みのコード
グレー：まだ読み取っていないコード

残りのQRコード数／QRコードの総数

11/12

- 途中で読み取りを中止する：クリア▶「はい」

おしらせ

- 静止画撮影画面や動画撮影画面でMenuを押し、「機能切替」→「バーコードリーダー」を選択してもバーコードリーダーに切り替わります。
- コード読み取り中の画面でMenu 4を押し、1～2を押すと、静止画撮影、動画撮影に切り替えられます。文字入力画面やｉアプリからバーコードリーダーを起動した場合は、切り替えられません。
- 読み取ったデータのファイル名は、「読み取り日時＋ファイル項番.拡張子」になります。拡張子はJANコードでは「jan」、QRコードでは「qr」です（例：2007年7月10日12時34分にJANコードを読み取った場合は「20070710123400.jan」）。同じ日時に保存したデータが既に保存されている場合は、ファイル項番が＋1されます。ファイル名は変更できません。

読み取ったデータを利用する

読み取りデータにより、行える操作は異なります。

例　情報を電話帳に登録するとき

1 Menu 6 1▶📖

2 **データを選択**

■ **読み取りデータを削除する：データを選び Menu 3 1▶「はい」**
- すべて削除する：Menu 3 2▶端末暗証番号を入力▶「はい」

3 **電話帳に登録する情報を選ぶ▶新規登録するときはMenu 3 1、更新登録するときはMenu 3 2▶1～2**

電話帳の登録画面が表示されます。
- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。

■ **情報を電話帳に一括登録する：「電話帳登録」▶1～2**

電話帳の登録画面が表示されます。データによっては名前やフリガナなども入力されます。

■ **ｉモードメールを送信する：メールアドレスを選択、または「メール作成」**

メール作成画面が表示されます。
- 「メール作成」を選択した場合、データによっては題名、本文も入力されます。

■ **サイトまたはインターネットホームページに接続する：URLを選択▶「はい」**
- ｉモードとフルブラウザの両方で表示可能な場合、「はい」を選択するとｉモード、📧を押すとフルブラウザで表示されます。

■ **URLをブックマークに登録する：**

① **URLを選びMenu 3 3、または「ブックマーク登録」**

② **フォルダを選択▶タイトル名を入力（全角12文字（半角24文字）まで）▶📖**
- 「ブックマーク登録」を選択した場合、データによってはタイトル名が入力されます。

■ **ｉアプリを起動する：「ｉアプリ起動」**

■ **音声電話またはテレビ電話をかける／プッシュトーク発信する：**

① **電話番号を選択▶発信条件を設定☛P61**

② **Menu▶「はい」**
- 着もじ、発信方法以外の設定を無効にして発信する：Menu▶「元の番号で発信」

■ **静止画を保存／表示する：静止画のファイル名を選択▶「保存」**
- 以降の操作は「画像を取得する」の操作3以降と同じです。☛P206
- 静止画を表示する：「表示」

■ **メロディを保存／再生する：メロディのファイル名を選択**
- 以降の操作は「メロディをダウンロードする」の操作2以降と同じです。☛P207
- メロディはデータBOXのメロディの「データ交換」フォルダに保存されます。

■ **トルカを保存／表示する：トルカのファイル名を選択▶「保存」**
- トルカを表示する：「表示」

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。
- ｉモードのサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉモードのご使用にあたって

- ●サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ●ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示・再生できません。
- ●FOMA カード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、別の FOMA カードに差し替えた場合やFOMAカードを未挿入のまま電源をONにすると、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データをダウンロードしたときに使用した FOMA カードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

おしらせ

- ●パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに保管できます。また、電話帳お預かりサービス（有料）をご契約の場合は、メールをお預かりセンターへ保存できます。
- ●microSDメモリーカードを利用することにより、メールやブックマークなどの内容を保存できます。☞P341

Menu 21

サイトを表示する

1 [i] [1]

ｉモード中点滅

Connecting

ネットワーク接続中・・・

- 接続中の画面で[中止]を押すと、接続が中止されます。
- [1]、[2]などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

2「メニュー／検索」

- ページ取得中に[MENU]を押すと、ページの取得が中止されます。

3 項目を選択

サイトに接続されます。以降同様に目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら[終話]▶「はい」

おしらせ

● 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
　：表示・効果設定で画像を「表示しない」に設定しているとき（メッセージR/Fで画像未取得の場合は ）
　：画像のデータが不正なときや、画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
　：画像の URL の誤りなどで画像を表示できないとき
● サイト表示中に i Menuに戻る場合はMenuを押し、「i Menu」を選択します。
● サイトからお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が要求されたときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために使われます。
送信するお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
● サイトからユーザ名、パスワードの入力が要求されたときは、ユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、「OK」を選択します。

SSLページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。
- SSLページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要な場合があります。☛P215
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。

SSLページに接続する

SSL通信開始の画面が表示されます。FOMA端末に保存されている証明書がSSL通信に必要な場合、選択画面が表示されます。SSLページが表示されるとディスプレイ上部に が表示されます。

■ SSLページ表示中に証明書を表示する：
Menu 9 2
- 証明書の内容☛P215

SSLページから通常ページに進む

確認画面が表示されます。「はい」を選択すると通常ページが表示され、ディスプレイ上部の が消えます。

FirstPass対応ページに接続する

次の画面が表示されます。

①ユーザ証明書を選択
- ユーザ証明書を選んでMenuを押すと、証明書の内容を確認できます。

②PIN2コードを入力
ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。
- 60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL通信は切断されます。

おしらせ

● FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイの対象外となります。

Menu 233

以前に表示したページに再接続する
ラストURL

ラスト URL を利用すると以前に表示したページ（最大10件）に簡単に再接続できます。
- ページによっては、表示できないことがあります。また、以前に表示したページと異なることがあります。

1 **[3][3]▶ラストURLを選択**
- ラストURLのURLを確認するときは、ラストURLを選び[□]を押します。

■ ラストURLを削除する：
①ラストURLを選び[Menu][4][1]
- 複数削除する：[Menu][4][2]▶削除対象のラストURLを選択▶[□]
- 全件削除する：[Menu][4][3]▶端末暗証番号を入力

②「はい」

サイトの見かたと操作

リンク先や項目を選択する

ページによっては選択項目や入力欄が表示されます。で選択項目や入力欄を選びを押して選択・入力します。

携帯電話情報 ①
お名前 ②
性別 ●男 ○女 ③
好きなスポーツ ☑野球 □サッカー □ラグビー ④
ご職業 会社員 ⑤
応募する ⑥

① **リンク**
関連するページへ進みます。選ぶと反転表示されます。

② **文字入力欄**
文字を入力します。入力文字種と文字数は、文字入力欄によって異なります。

③ **ラジオボタン**（○：選択されていない状態 ●：選択されている状態）
選択肢の中から1つだけ選択できます。

④ **チェックボックス**（□：選択されていない状態 ☑：選択されている状態）
選択肢の中から複数選択できます。
で□と☑が切り替わります。

⑤ **プルダウンメニュー**
項目の一覧から項目を選択します。

⑥ **ボタン**（名称はサイトによって異なる）
ページの設定内容を確定してサイトへ送信したり、取り消したりします。

おしらせ
- 画像にリンクが設定されている場合もあります。
- 文字入力画面には電話帳データや自局番号の登録内容、バーコードリーダーで読み取ったJANコードやQRコードの文字列情報を入力できます。☞P415
- プルダウンメニューによっては、を押して複数の項目が選択できる場合があります。選択後は[□]を押します。
- ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、文字入力欄で入力／設定した内容は、登録したブックマークや画面メモには反映されません。

Flash画像の表示について

Flash画像により、表現豊かなサイトを利用できます。
- Flash画像を利用したサイトでは、通常のサイトと表示動作が異なる場合があります。
- Flash画像によっては、画像保存したり、画面メモに保存しても画像の一部が保存されないなど、サイトで表示したときと見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash 画像によってはガイド行にが表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- Flash画像を最初から再生する場合は、[Menu][9][7]を押してください。
- Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量はメロディの動作設定の音量に従います。効果音を鳴らさない場合は、[Menu][9][3]を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください。
- バイブレータ設定を「OFF」以外に設定しているときに、Flash画像の効果音が鳴っても振動しません。
- Flash画像によっては、バイブレータ設定を「OFF」に設定しても、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。

• 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、、、、、、～、、、、のいずれかのキーを押してください。

前のページに戻る／進む

ページの履歴をキャッシュに最大20件記録しています。

• キャッシュとは、表示したページのデータを一時的に記録する端末内の場所のことです。で通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。ただし、キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示するときは、通信を行います。
• FirstPassセンター接続中（☞P216）は本機能を利用できません。

1つ前のページ　現在のページ

次のページに進めることを示します。

前のページに戻れることを示します。

おしらせ

● サイトの表示履歴が満杯になるとキャッシュ内の履歴が消去される場合があり、を押しても前のページに戻れないことがあります。
● 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
● ｉモードを終了すると、キャッシュ内の履歴はすべて消去されます。
● Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。
● ページA→ページB→ページCの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→ページB→ページCの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが、さらにページBには戻れません。

画面をスクロールする

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目を選べるときは、ガイド行に△や▽が表示されます。

• でスクロールします。押し続けると連続スクロールできます。
• 、を押すと画面単位でスクロールします。押し続けると画面単位で連続スクロールとなります。

おしらせ

● スクロールバーは、ページ取得中やフォーカス移動、スクロールが必要な操作をしたときなどに表示されます。スクロールバーは、操作なしで約1秒経過すると消えます。

情報を再読み込みする

接続の中断などでサイトが表示できなかった場合、再読み込みを行うと表示できることがあります。

1 サイト表示中にMenu 5

表示中のサイトのURLを表示する

1 サイト表示中にMenu 9 1

マイメニューを使う

マイメニュー

サイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトを簡単に表示できます。

• 最大45件登録できます。
• 登録にはｉモードパスワードが必要です。ｉモードご契約時には「0000」に設定されています。
• ｉMenuのメニュー／検索内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
• マイメニューに登録できるのはｉMenuのメニュー／検索内のサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。登録できないサイトやインターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

マイメニューに登録する

1 サイト表示中に「マイメニュー登録」

- 各サイトによりページ構成が異なります。項目に対応する番号のキーを押すか、該当する項目を選択してください。

2 ｉモードパスワード入力欄▶入力▶「決定」

マイメニューからサイトを表示する

1 ｉMenuで「マイメニュー」▶サイトを選択

ｉモードパスワードを変更する

ｉモードパスワード変更

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときは、ｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードは、ｉモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワード（4桁の数字）に変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- ｉモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

1 ｉMenuで「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「ｉモードパスワード変更」

2 現在のパスワード欄▶現在のｉモードパスワードを入力

ｉﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
決定
※ｉﾓｰﾄﾞのﾊﾟｽﾜｰﾄﾞはﾏｲﾒﾆｭｰの登録/削除やｵﾌﾟｼｮﾝ設定時に利用します。

3 新パスワード欄▶新しいｉモードパスワードを入力

4 新パスワード確認欄▶操作3と同じｉモードパスワードを入力▶「決定」

- 入力内容に誤りや抜けがあるとエラー画面が表示されます。「再入力」を選択して再度操作2から操作してください。

Menu 231

インターネットホームページを表示する

インターネット接続

- ｉモードに対応していないインターネットホームページは正しく表示されない場合があります。
- フルブラウザに切り替えられます。☛P313

1 ◎[3][1]▶URLを入力（半角256文字まで）▶[m]

- 2回目からは前回入力して接続したURLが表示されます。
- 「／」「．」「-」などの記号は、半角英字入力モード時に[1]を繰り返し押して入力します。また、「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、半角英字入力モード時に[*]を繰り返し押して入力できます。

おしらせ

- サイト画面では[Menu]を押し、「Internet」→「URL入力」を選択します。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示されます。◎を押すとメッセージが消去され、受信できた分のデータが表示されます。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同じです。

Menu 232

URL履歴を使って表示する

URL履歴

URLを入力して接続したインターネットホームページのURLを新しい順に最大20件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

1 ◎[3][2]▶URLを選択

- URLが長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、URLを選び[m]を押します。

■ URLを編集して接続する：URL履歴一覧でURLを選び[Menu][6]▶URLを編集▶[m]

■ URL履歴を削除する：
①URL履歴一覧でURLを選びMenu 4 1
• 複数削除する：URL履歴一覧でMenu 4 2 ▶削除対象のURLを選択▶
• すべて削除する：URL履歴一覧でMenu 4 3 ▶端末暗証番号を入力
②「はい」

おしらせ
● サイト画面ではMenuを押し、「Internet」→「URL履歴」を選択します。
● URL履歴が20件を超えた場合は、一番古いURL履歴に上書きされます。

文字を正しく表示する　文字コード

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めや仕組みの総称のことです。

1 サイトやインターネットホームページ表示中にMenu 9 6 1
• 押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。また、Menu 9 6 2を押すと自動選択に戻ります。
• サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。
• 操作を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する　ブックマーク

よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけで、すばやく表示できます。
• 最大登録件数☛P495
• URLが半角256文字を超えるサイトはブックマークに登録できません。
• サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

ブックマークに登録する

1 サイトやインターネットホームページを表示▶Menu 2 1 ▶登録先フォルダを選択

2 タイトル名を入力（全角12文字（半角24文字）まで）▶
• タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧ではURLが表示されます。

おしらせ
● 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、ラストURL一覧、URL履歴一覧ではMenuを押し、「Bookmark登録」を選択します。
● 最大登録件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は上書きするブックマークを選択します。

Menu 22
ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 2 ▶フォルダを選択
：ブックマークなし　：ブックマークあり

2 ブックマークを選択
■ URLを確認する：ブックマークを選び

おしらせ
● サイト画面ではMenuを押し、「Bookmark」→「表示」を選択します。

少ないキー操作でサイトに接続する　ワンタッチサイト登録

ブックマークをワンタッチサイト登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。
• 登録できるのは、ｉモードとフルブラウザを合わせて最大10件です。

1 2 ▶フォルダを選択▶ブックマークを選びMenu 2
• 解除するには、同様の操作を行います。
• ワンタッチサイト未登録のブックマークを選んでいる場合は、を押しても登録できます。

2 登録先を選択
• ワンタッチでサイトを表示するとき、アイコンの番号（～）が0～9に対応します。
• ブックマーク一覧では、登録されたブックマークのマークがからに変わります。
• 登録済みの登録先を選択すると上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。

ツータッチでサイトを表示する

1 0～9▶

ツータッチサイト一覧から操作する Menu 281

お買い上げ時 未登録

1 81

ツータッチサイト一覧が表示されます。
- フルブラウザのブックマークにはが表示されます。

■ サイトを表示する：ブックマークを選択

■ サイトを登録する：
①未登録を選びMenu11
- フルブラウザのブックマークを登録する：未登録を選びMenu12

②フォルダを選択▶ブックマークを選択

■ 解除する：ブックマークを選びMenu2▶「はい」

■ URLを確認する：ブックマークを選び

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成する

- フォルダは「フォルダ1」を含めて最大20個作成できます。

1 2▶Menu1

■ フォルダ名を変更する：フォルダ一覧でフォルダを選びMenu3

■ フォルダの並び順を変更する：フォルダ一覧でフォルダを選びMenu▶7～8

2 **フォルダ名を入力(全角8文字(半角16文字）まで）▶**

フォルダを削除する

- フォルダが1個のときは削除できません。

1 2▶ **フォルダを選び** Menu2▶ **端末暗証番号を入力▶「はい」**

ブックマークを移動する

1 2▶**フォルダを選択**

2 **ブックマークを選び**Menu51

■ 複数移動する：Menu52▶ブックマークを選択▶

3 **移動先のフォルダを選択**

ブックマークのタイトルを変更する

1 2▶**フォルダを選択▶ブックマークを選び**
- 以降の操作は「ブックマークに登録する」の操作2と同じです。☛P203

ブックマークをメールに添付して送信する

1 2▶**フォルダを選択▶ブックマークを選び**Menu9

ブックマークが添付されているメール作成画面が表示されます。

ブックマークを削除する

1 2▶**フォルダを選択**

■ 全件削除する：フォルダ一覧でMenu4▶端末暗証番号を入力▶操作3に進む

2 **ブックマークを選び**Menu31

■ 複数削除する：Menu32▶ブックマークを選択▶

■ フォルダ内のブックマークを全件削除する：Menu33▶端末暗証番号を入力

3 **「はい」**

おしらせ

● ツータッチサイト登録されているブックマークを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

ブックマークを並べ替える ソート

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると「アクセス日付順」に戻ります。
- 並べ替えはすべてのフォルダが対象です。
- アクセス日付順、タイトル名順、URL順、アクセス回数順が選択できます。

1 2▶**フォルダを選択**▶Menu6▶1～4

おしらせ

● タイトルに全角／半角の文字や英字、漢字、URL表示のものが混在していると「タイトル名順」の並び順の結果が50音順にならない場合があります。

サイトの内容を保存する

画面メモ

画面メモを保存する

- 最大保存件数☛P495
- 保存できるファイルサイズは、画面内の画像などを含め1件あたり最大100Kバイトです。

1 **サイトを表示▶Menu 4 1**

2 **タイトル名を入力（全角12文字（半角24文字）まで）▶[📖]**

- タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする画面メモを選択してください。保護されている画面メモは上書きされません。

Menu 24

画面メモを表示する

1 **ⓘ 4▶画面メモを選択**

[アイコン]：通常の画面メモ
[アイコン]：保護されている画面メモ

- 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。☛P200

■ URLを確認する：画面メモを選び[📖]

おしらせ

● サイト画面ではMenuを押し、「画面メモ」→「表示」を選択します。このとき、文字コードを変更していた場合、サイト画面に戻ると文字コードは「自動選択」に戻ります。

● 画面メモ表示画面でFlash画像を再度動作させるときは、Menuを押し、「表示」→「リトライ」を選択します。

画面メモのタイトルを変更する

1 **ⓘ 4▶画面メモを選び[✉]**

- 以降の操作は「画面メモを保存する」の操作2と同じです。☛P205

おしらせ

● 画面メモ表示画面ではMenuを押し、「タイトル変更」を選択します。

画面メモを保護する

- 最大保護件数☛P495

1 **ⓘ 4**

2 **画面メモを選びMenu 1 1**

画面メモが保護され、マークが[アイコン]から[アイコン]に変わります。

- 解除する：画面メモを選びMenu 1 3

■ 複数保護する：Menu 1 2▶画面メモを選択▶[📖]

■ 複数解除する：Menu 1 4▶画面メモを選択▶[📖]

■ 全件解除する：Menu 1 5

おしらせ

● 画面メモ表示画面ではMenuを押し、「保護」／「保護解除」を選択します。

画面メモを削除する

- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 **ⓘ 4**

2 **画面メモを選びMenu 2 1**

■ 複数削除する：Menu 2 2▶画面メモを選択▶[📖]

■ 全件削除する：Menu 2 3▶端末暗証番号を入力

3 **「はい」**

おしらせ

● 画面メモ表示画面ではMenuを押し、「削除」を選択します。

画面メモを並べ替える　ソート

画面メモの並び順を一時的に並べ替えます。終了すると「日付順」に戻ります。
- 日付順、タイトル順が選択できます。

1 [i]4 ▶ Menu 8 ▶ 1～2

おしらせ

● タイトルに全角／半角や英字、漢字、URL表示のものが混在していると「タイトル順」の並び順の結果が50音順にならない場合があります。

サイトから各種データをダウンロードする　ダウンロード

サイトからデータ（ファイル）をダウンロードして、FOMA端末に保存します。
- データ（ファイル）によっては、microSDメモリカードに保存できるものもあります。

共通基本操作

- ダウンロードを中止したいとき：ダウンロード中に[m]（PDFデータは[i]）
- 保存を中止したいとき（画像、PDFデータを除く）：「戻る」▶「いいえ」
- 保存したデータを表示、内容の確認をしたいとき（メールテンプレート、トルカ、きせかえツール、マチキャラ）：「プレビュー」

画像を取得する　画像保存

サイトなどから、画像やフレーム、デコメ絵文字などを取得し保存します。保存した画像は「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定できます。
- 最大保存件数☞P495
- 取得できる画像のファイルサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- GIF形式、JPEG形式、Flash形式の画像を保存できます。

例 サイトからダウンロードするとき

1 サイトを表示 ▶ Menu 6 1

■ サイトの背景画像を保存する：サイトを表示 ▶ Menu 6 2 ▶ 操作3に進む

2 画像を選択

イラスト集
pengin　18.7KB

保存する画像に枠が付きます。
ファイル名とファイルサイズ

3 各項目を設定

- メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限欄に「あり」と表示）の場合、表示名以外は変更できません。

表示名：
全角・半角を問わず36文字まで入力できます。

ファイル名：
半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

コメント：
全角・半角を問わず100文字まで入力できます。

フレーム候補：
画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×400または352×288を超える画像は「する」に変更できません。

スタンプ候補：
画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×400以上の画像は「する」に変更できません。

ファイル制限：
メール添付によって他の携帯電話に画像を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に画像を送信することを制限するかどうかを設定します。
- サイトからダウンロードした画像ファイルの場合は変更できません。

- 画像ファイルによっては選択できない項目があります。
- ガイド行に[microSD]が表示された場合は、[切替]を押し、[m]を押すと microSD メモリーカードに保存できます。
microSD メモリーカードに保存する場合は、表示名のみ設定できます。
- 本体に保存する場合は、Menuを押すと、画像を設定できる一覧が表示され、待受画面などに設定できます。☞P319

4 [m] ▶ 保存先を選択

- デコメ絵文字の場合、保存先を選択できません。「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。

おしらせ

- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は640×480、JPEG形式は1728×2304を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って画像を削除してください。削除する前に画像一覧で[□]を押すと画像の表示、[Menu]を押すと詳細情報の表示ができます。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。

メロディをダウンロードする　i メロディ

サイトからメロディをダウンロードし、再生・保存します（i メロディ対応）。保存したメロディは「メロディ」から再生したり、着信音に設定できます。

- 最大保存件数☛P495
- ダウンロードできるメロディのサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。
- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。

1 サイトを表示▶メロディを選択

2 「保存」

- 再生する：「再生」

3 表示名を入力（全角25文字（半角50文字）まで）▶[□]

メロディは、データBOX内の「メロディ」の「i モード」フォルダに保存されます。☛P335

- ガイド行に[アイコン]が表示された場合は、[□]を押し、[□]を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。

おしらせ

- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、メロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってメロディを削除してください。削除する前にメロディ一覧で[□]を押すとメロディの再生、[Menu]を押すと詳細情報の表示ができます。

PDFデータをダウンロードする

- 最大保存件数☛P495
- ダウンロードできるPDFデータのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
- データサイズの大きいPDFデータをダウンロードした場合、高額のパケット通信料となることがありますので、ご注意ください。

1 サイトを表示▶PDFデータを選択

PDFデータがダウンロードされ、PDF対応ビューアに表示されます。☛P362

- PDFデータにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して[□]を押します。
- 部分的にダウンロードしたPDFデータの残りのデータをダウンロードする場合は[Menu][8]を押します。

2 [Menu][2]

- 既に同じPDFデータが保存されているときは、PDFデータによっては上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[□]

PDFデータは、データBOX内の「マイドキュメント」の「i モード」フォルダに保存されます。☛P362

- ガイド行に[アイコン]が表示された場合は、[□]を押し、[□]を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。
- すべてのページをダウンロードしていなくても、ダウンロードしたところまで保存されます。

おしらせ

- 2Mバイトを超えるPDFデータをダウンロードしようとすると、最大サイズを超えているためダウンロードできない旨のメッセージが表示され、ダウンロードできません。
- i モードしおりやマークの合計サイズが100Kバイトより大きいPDFデータやサイズが不明なPDFデータはダウンロードできません。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、i モードしおりやマークの内容が異なるときは、異なるi モードしおりやマークが追加で保存されます。ただし、i モードしおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数を超える旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従って登録可能件数になるまで i モードしおりやマークを削除してください。

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、PDFデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って PDF データを削除してください。削除する前にPDFデータ一覧で[Menu]を押すとPDFデータの詳細情報の表示ができます。
● 500Kバイトより大きいPDFデータをダウンロードする場合、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。ダウンロードする場合は「はい」を選択します。
● ダウンロードを中止したり、通信が切断されて途中まででしか保存されていないPDF データの場合、マイドキュメントから再ダウンロードできます。再ダウンロードについては、「PDFデータを表示する」の操作2を参照してください。☛P362

辞書をダウンロードする

• 最大10件保存できます。
• ダウンロードできる辞書のサイズは1件あたり最大32Kバイトです。
• ダウンロードした辞書を利用できるようにするには☛P418

1 サイトを表示 ▶ 辞書を選択 ▶「保存」▶ ◉

辞書は、文字入力設定のダウンロード辞書に保存されます。

おしらせ

● 最大保存件数を超えるときは、保存できません。画面の指示に従って辞書を削除してください。

キャラ電をダウンロードする

• 最大保存件数☛P495
• ダウンロードできるキャラ電のサイズは1件あたり最大100Kバイトです。

1 サイトを表示 ▶ キャラ電を選択

2 「保存」

• 表示する：「表示」

3 各項目を設定

表示名：
全角・半角を問わず36文字まで入力できます。

コメント：
全角・半角を問わず100文字まで入力できます。

4 [📖]

キャラ電は、データBOX内の「キャラ電」の「iモード」フォルダに保存されます。☛P332

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、キャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってキャラ電を削除してください。削除する前にキャラ電一覧で[📖]を押すとキャラ電の表示、[Menu]を押すと詳細情報の表示ができます。
● お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、iモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P453

メールテンプレートをダウンロードする

• 最大保存件数☛P495
• ダウンロードできるメールテンプレートのサイズは1件あたり最大200Kバイトです。
• ダウンロードしたメールテンプレートは、お買い上げ時に登録されているメールテンプレートとともに「テンプレート読込み」に保存されます。

1 サイトを表示 ▶ メールテンプレートを選択 ▶「保存」

以降の操作は「テンプレートを登録する」の操作2以降と同じです。☛P235

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って登録されているテンプレートを削除してください。
● ダウンロードしたメールテンプレートに利用できないファイルが添付されているときは、ファイルを削除しないと保存できません。
● ダウンロードしたメールテンプレートにメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像またはFOMA端末で利用できない画像が挿入されているときは、画像を削除しないと保存できません。

トルカをダウンロードする

• 最大保存件数☛P495
• 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
• トルカは「トルカフォルダ」に保存されます。
• 保存されたトルカから詳細情報をダウンロードした場合は、別のファイルとして保存されず、元のトルカに詳細情報が追加されます。トルカからトルカ（詳細）を取得するには☛P290

1 **サイトを表示▶トルカを選択▶「保存」**

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って削除してください。削除する前にトルカ一覧で［□］を押すとトルカを表示できます。
- サイトからダウンロードしたトルカは、「プレビュー」を選択しないで保存した場合でも既読となります。

きせかえツールをダウンロードする

- 最大保存件数☛P495
- ダウンロードできるきせかえツールのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
- きせかえツールを利用するには☛P148

1 **サイトを表示▶きせかえツールを選択▶「保存」**

2 **表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶［□］**

きせかえツールは、データBOX内の「きせかえツール」の「iモード」フォルダに保存されます。

- きせかえツールを設定する：表示名を入力（全角･半角を問わず36文字まで）▶［Menu］▶「はい」

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってきせかえツールを削除してください。削除する前にきせかえツール一覧で［✉］を押すとプレビュー画面を表示できます。
- 設定される画面や着信音などは、きせかえツールによって異なります。
- きせかえツールによっては、表示・設定できないものがあります。
- ダウンロードを中止したり、通信が切断されて途中までしか保存されていないきせかえツールの場合、「きせかえツール」から再ダウンロードできます。再ダウンロードについては、「きせかえツールを設定する」の操作2を参照してください。☛P148

マチキャラをダウンロードする

- 最大保存件数☛P495
- ダウンロードできるマチキャラのサイズは1件あたり最大500Kバイトです。
- マチキャラを設定するには☛P151

1 **サイトを表示▶マチキャラを選択▶「保存」**

2 **表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）**

- 待受画面などに表示するように設定する：［Menu］

3 **［□］**

マチキャラは、データBOX内の「マチキャラ」の「iモード」フォルダに保存されます。☛P334

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってマチキャラを削除してください。削除する前にマチキャラ一覧で［□］を押すとマチキャラの表示、［Menu］を押すと詳細情報の表示ができます。［⇄］を押すとタイトル表示とサムネイル表示を切り替えられます。
- ダウンロードを中止したり、通信が切断されて途中までしか保存されていないマチキャラの場合、「マチキャラ」から再ダウンロードできます。再ダウンロードについては、「マチキャラを表示する」の操作2を参照してください。☛P334

オリジナル証明書をダウンロードする

- オリジナル証明書は最大5件、RootCA証明書と中間証明書は合わせて最大10件、合計35Kバイトまで保存できます。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、オリジナル証明書のダウンロードはできません。
- オリジナル証明書は各企業から発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
- ダウンロードする際のパケット通信料は有料です。
- ダウンロードしたオリジナル証明書の有効／無効を設定するには☛P216

1 **サイトを表示▶オリジナル証明書を選択▶「保存」**

- パスワードの入力を要求されたときは、パスワードを入力し「OK」を選択します。

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って証明書を削除してください。ユーザ証明書の場合、削除する前に証明書一覧で［✉］を押すと証明書を表示できます。

iモードの便利な機能

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

表示中の画面の電話番号やメールアドレス、URLから、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信（Phone To／AV Phone To）、メールの作成（Mail To）、サイトやインターネットホームページへの接続（Web To）が行えます。

- サイトやインターネットホームページによっては、利用できない機能があります。
- 2in1がBモードのときは、Mail Toを利用できません。

1 サイトを表示▶電話番号、メールアドレス、またはURLを選択

- 選べない電話番号、メールアドレス、URLは選択できません。

■ Phone To（AV Phone To）のとき：
発信オプションの画面が表示されます。
①発信条件を設定☛P61
②[Menu]▶「はい」
- 着もじ、発信方法以外の設定を無効にして発信する：[Menu]▶「元の番号で発信」

■ Mail Toのとき：
選択したメールアドレスが宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。
①iモードメールを作成して送信
- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。

■ Web Toのとき：
選択したURLのサイトやインターネットホームページに接続されます。
- メールなどから実行した場合、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると接続されます。確認画面表示中のガイド行に「フルブラウザ」と表示された場合、[⇄]を押すとフルブラウザで表示されます。

URLをコピーする

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- コピーした文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと、以前にコピーした文字は上書きされます。

例 サイトのURLをコピーするとき

1 サイトのURLを表示▶[Menu][1]

- URLを表示する☛P201

2 コピーする範囲の開始位置を選択▶終了位置を選択

- 全文を選択する場合は[Menu][☺]を押します。
- 開始位置を指定し直すときは[クリア]を押します。
- 開始位置指定後に[Menu]、[📖]を押すとカーソルが文頭、文末に移動します。

3 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

おしらせ

- ラストURL一覧、URL履歴一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧では[Menu]を押し、「URLコピー」を選択します。ブックマーク一覧では[Menu]を押し、「URL表示／入力／コピー」→「URLコピー」を選択します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。
- メールにURLを貼り付けるには、サイト画面で[Menu]を押し、「メール作成」を選択します。表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられてメール作成画面が表示されます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する　電話帳登録

表示中の画面の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。

- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。

例 サイト画面に表示されている電話番号を新規登録するとき

1 サイトを表示▶電話番号を選ぶ

- 選べない電話番号やメールアドレスは登録できません。

2 [Menu][8][1]

- 登録済みの電話帳データに追加する：[Menu][8][2]

3 [1]～[2]▶名前などを登録☛P103、P106

- 登録済みの電話帳データに追加する：[1]～[2]▶相手を選択▶登録内容を修正☛P113

おしらせ

- 画面メモ表示画面ではMenuを押し、「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を、メッセージR/F詳細画面ではMenuを押し、「登録」→「電話帳新規」または「電話帳更新」を選択します。

URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧からURLを電話帳に登録します。

例 ブックマーク一覧から登録するとき

1 2▶フォルダを選択

2 ブックマークを選びMenu 7 1

- 登録済みの電話帳データに追加する：ブックマークを選びMenu 7 2

3 名前などを登録☛P103、P106

- 登録済みの電話帳データに追加する：相手を選択▶登録内容を修正☛P113

おしらせ

- 画面メモ一覧ではMenuを押し、「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を選択します。

ｉモードの設定を行う

ｉモード設定

Menu 282

接続待ち時間を設定する 接続待ち時間設定

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で接続が自動的に中断されます。

お買い上げ時 60秒間

1 8 2▶1～3

おしらせ

- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断されることがあります。

Menu 288

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信） 接続先設定

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時 ｉモード（FOMAカード）

■ ISP接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）へ接続できます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- ISP接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。
- ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

■ プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。
- 通信中は接続先を設定／変更できません。

1 8 8

2 ユーザ設定1～10のいずれかを選びMenu▶端末暗証番号を入力

■ ｉモードを利用する設定に戻す：「ｉモード（FOMAカード）」▶📖

■ 以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶📖

3 各項目を設定▶📖

接続先名称：
全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

接続先番号：
半角英数字で99文字まで入力できます。

接続先アドレス：
半角英数字で30文字まで入力できます。

接続先アドレス2：
半角英数字で30文字まで入力できます。
- 接続先アドレス2はｉチャネルの接続先です。

- Menuを押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

4 編集した接続先を選択▶📖

おしらせ

- 接続先を変更した場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面でクリアを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- 接続先番号または接続先アドレスを変更すると、圏内自動送信の設定は解除されます。
- 2in1がONの場合、接続先を変更すると、すべてのモードのテロップ表示設定のテロップ表示がお買い上げの状態に戻ります。

Menu 286

画像表示／効果音を設定する　表示・効果設定

サイトや画面メモなどの内容を表示したときの画像や効果音（Flash再生時）を設定します。

お買い上げ時　画像、アニメーション：表示する
端末情報データ利用設定：利用する
効果音設定：ON

1 Ｍ８６▶各項目を設定▶ｍ

画像：
画像を表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、画像やFlash画像、アニメーションは表示されず、が表示されます。また、アニメーション、端末情報データ利用設定は設定できません。

アニメーション：
アニメーションを再生して表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。

端末情報データ利用設定：
Flash画像を表示するときに、FOMA端末内の登録データを利用するかどうかを設定します。

効果音設定：
Flash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。

おしらせ

- サイト画面、画面メモ表示画面ではMenuを押し、「表示」→「表示・効果設定」を選択します。
- アニメーションを「表示しない」に設定してもFlash画像は再生されます。
- 画像の設定は、添付ファイルとして添付されている画像やメッセージR/Fの本文中の画像には反映されません。画像を「表示しない」に設定すると、Web To 機能を使用して ｉモードメールに添付された画像の表示や保存はできなくなります。
- 効果音設定はメッセージR/Fには反映されません。
- 端末情報データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、音量設定のメロディ音量、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

Menu 283

サイト表示中のディスプレイの照明を設定する　照明設定

サイトや画面メモ、メッセージR/F、ｉチャネルなどの内容を表示したときの照明を設定します。

お買い上げ時　端末設定に従う

1 Ｍ８３▶１～２

端末設定に従う：
ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

常灯：
ディスプレイの照明が常時点灯します。

おしらせ

- サイト画面、画面メモ表示画面ではMenuを押し、「表示」→「照明設定」を選択します。
- 本機能での設定内容は、ディスプレイの照明設定（☛P143）の点灯時間設定（ｉモード中）にも反映されます。

メッセージR/Fを受信したときは　メッセージR/F受信

- 受信したメッセージRは「メッセージR」、メッセージFは「メッセージF」に保存されます。
- 最大保存件数☛P495

1 メッセージR/Fを受信

点滅

10:00
Message FR
メッセージR受信中 …

受信中画面

受信完了

点滅
R（青）：未読のメッセージRあり
F（緑）：未読のメッセージFあり
受信結果(スクロール表示)
受信したメッセージR/Fの件数
受信に失敗したときは「メッセージR」「メッセージF」の後に「×」が表示されます。受信し直すには、iモード問合せを行ってください。

1 メール --- 件
2 メッセージR 1 件
3 メッセージF --- 件

受信結果画面

とR（青）またはF（緑）が点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。
受信が完了すると、メッセージR/F着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。
- 受信中画面でを押すと受信を中止します。

2 **2～3▶メッセージR/Fを選択**
- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。また、自動再生されないようにも設定できます。☛P257
  ただし、メッセージR/Fを自動表示した場合は再生されません。
- メッセージR/Fの画面の見かた☛P214

おしらせ

● 受信結果画面は何も操作しないと約15秒間、メッセージR/F着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときは着信音が鳴り終わるまで表示されます。ただし、メッセージ自動表示に設定したメッセージR/Fを受信した場合は、受信前の画面に戻る前に、未読のメッセージR/Fの内容が表示されます。早く受信前の画面に戻すにはクリアを押します。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の古いメッセージR/Fから順に上書きされます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。☛P214
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはR（赤）やF（赤）が表示されます。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示（☛P213）、不要メッセージR/Fの削除（☛P214）、保護解除（☛P214）などを行う必要があります。

● 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
- 電源が入っていないとき
- プッシュトーク通信中
- 受信に失敗したとき
- SMS受信中
- テレビ電話中
- セルフモード中
- 圏外のとき
- 赤外線通信中
- お預かりセンター接続中
- FirstPassセンター接続中
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- おまかせロック中

● FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、FOMA端末に保存され、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
● ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときはややが表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークがややに変わります。

Menu 2631

メッセージR/Fを自動的に表示する

メッセージ自動表示

メッセージR/Fを受信したときに、その内容を自動的に表示（約15秒間）するかどうかを設定します。また、メッセージR/Fのどちらかのみ、または、メッセージR/Fのいずれかを優先して表示するようにも設定できます。

お買い上げ時 メッセージR優先

1 6 3 1▶1～5

おしらせ

● 待受画面表示中の場合だけ自動表示できます。受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信した場合は自動表示されません。
● 自動表示するように設定すると、受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容が自動表示されます。自動表示中にキー操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。

Menu 261／Menu 262

保存されているメッセージR/Fを表示する

メッセージR／メッセージF

例 メッセージRを表示するとき

1 6 1
■ メッセージFを表示する：6 2

2 **メッセージRを選択**

メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージRとメッセージFの画面の見かたは同様です。

■ メッセージR/F一覧画面

メッセージR 1/ 1
❶ 10:00 天気予報
09:51 最新ニュース
❷
09:01 ニュース速報
08:01 東京為替

受信日時とタイトル
- 受信日時には、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

❶ ：未読　：既読　：保護
❷ ：画像あり　：メロディあり
：トルカあり　：複数添付ファイルあり

■ メッセージR/F詳細画面

メッセージR 001
07/07/10 10:00
天気予報
○○県　今日の天気
時々☀
最高:29℃
降水確率:10%→0%
－ END －

状態マーク、添付ファイルマーク（添付ファイルがあるときのみ）、メッセージR/F番号

：受信日時　：タイトル

- で前後のメッセージR/Fを表示できます。

● 添付ファイルがある場合、メッセージ R/F 詳細画面にマークと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。
- 画像、メロディ、トルカのマークの意味 ☞P240

● 本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。
画像を受信できなかったときはマークが表示されます。マークはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです（☞P199）。

添付されているファイルを表示・保存する

メッセージ R/F に添付されている画像やトルカを表示・保存したり、メロディを再生・保存します。

例　添付されているファイルを保存するとき

1 メッセージR/F一覧を表示▶メッセージR/Fを選び添付ファイルのファイル名を選び[Menu][5][2]
- 画像の場合、以降の操作方法は「画像を取得する」の操作3以降と同じです。☞P206
- メロディの場合、以降の操作方法は「メロディをダウンロードする」の操作３と同じです。☞P207
- トルカの場合、保存先を選択してください。ただし、トルカによっては、トルカ（詳細）が保存されない旨の確認画面が表示されます。
- 1024バイトを超えるトルカはmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。

■ 表示・再生する：ファイル名を選択
- 画像の場合は、表示／非表示が切り替わります。
- 1024バイトを超えるトルカは表示できません。

■ タイトルを表示する：ファイル名を選び[Menu][5][3]
- 画像の場合は操作できません。

おしらせ

● 本文中の画像や背景画像を保存する場合は、[Menu]を押し「画像保存」→「画像選択」または「背景画像保存」を選択し、画像を選択します。
● トルカによっては一度しか保存できない場合があります。

メッセージR/Fを保護する　メッセージ保護

- 最大保護件数☞P495
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fを選び[Menu][2][1]

メッセージ R/F が保護され、マークが から に変わります。
- 解除する：メッセージR/Fを選び[Menu][2][3]

■ 複数保護する：[Menu][2][2]▶メッセージR/Fを選択▶[Ⓜ]

■ 複数解除する：[Menu][2][4]▶メッセージR/Fを選択▶[Ⓜ]

■ 全件解除する：[Menu][2][5]

おしらせ

● メッセージR/F詳細画面では[Menu]を押し、「保護」／「保護解除」を選択します。

メッセージR/Fを削除する　メッセージ削除

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fを選び[Menu][1][1]

■ 既読のメッセージR/Fのみを削除する：[Menu][1][2]

■ 複数削除する：[Menu][1][3]▶メッセージR/Fを選択▶[Ⓜ]

■ 全件削除する：[Menu][1][4]▶端末暗証番号を入力

3 「はい」

おしらせ

- メッセージR/F詳細画面ではMenuを押し、「削除」を選択します。

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ　表示種別

メッセージR/F一覧に、指定した種別のメッセージR/Fだけを一時的に表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。

- すべて表示、未読のみ表示、既読のみ表示、保護のみ表示が選択できます。

1 メッセージR/F一覧を表示▶Menu 3▶1～4

- 「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

メッセージR/Fを並べ替える　ソート

メッセージR/Fの並び順を一時的に並べ替えます。終了すると「日付順」に戻ります。

- 日付順、タイトル順が選択できます。

1 メッセージR/F一覧を表示▶Menu 4▶1～2

おしらせ

- タイトルに全角／半角や英字、漢字、URL表示のものが混在していると「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

Menu 2851

証明書を表示して有効／無効を設定する　証明書管理

お買い上げ時　すべて有効

証明書を表示する

- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、CA証明書以外は表示されません。

1 ◎ 8 5 1▶証明書を選択

証明書管理 1/2
CA証明書1
CA証明書2
CA証明書3
CA証明書4
CA証明書5
CA証明書6
CA証明書7
CA証明書8
CA証明書9
CA証明書10
CA証明書11
ドコモ証明書1
ドコモ証明書2

① ：有効　表示なし：無効　－：設定不可
② ：CA証明書
　：ドコモ証明書／ユーザ証明書
　：オリジナル証明書

- オリジナル証明書を選択したときは、一覧画面が表示されます。証明書を選択してください。

CA証明書：
認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。

ドコモ証明書：
FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめFOMAカード内に保存されています。

ユーザ証明書：
FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書です。
FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードするとFOMAカード内に保存されます。

オリジナル証明書：
各企業･自治体などが独自に発行した証明書をお客様がダウンロードしたものです。

■ **オリジナル証明書の管理名を変更する：**
①**証明書の一覧画面で証明書を選び**
②**証明書管理名を入力（全角9文字（半角18文字）まで）▶**
- 所有者名に戻す：

■ **オリジナル証明書を削除する：証明書の一覧画面で証明書を選び ▶「はい」▶端末暗証番号を入力**

おしらせ

- 証明書の表示内容
所有者
CN=：(Common Name) サーバの名前、管理者名、または識別番号
O=　：(Organization) 会社名など
C=　：(Country) 国名

発行者
CN=：（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
OU=：（Organization Unit）会社の部署など
O= ：（Organization）会社名など
有効期限
シリアル番号
● 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

1 [8][5][1]▶[□]▶**証明書を選び**
• 押すたびに有効／無効が切り替わります。
• [Menu]を押すと証明書を表示できます。

2 [□]
チェックされている証明書が有効となって設定されます。

おしらせ
● ドコモ証明書2は無効に設定できません。
● ドコモ証明書、ユーザ証明書の設定は、FOMAカードに保存されます。

Menu 2854

オリジナル証明書利用時の端末暗証番号入力を省略する 暗証番号入力省略設定

オリジナル証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了したオリジナル証明書を再び利用するときに、端末暗証番号入力を省略するかどうかを設定します。

お買い上げ時 省略する

1 [8][5][4]▶[1]～[2]

Menu 2852

FirstPassを設定する ユーザ証明書操作

FirstPassセンターに接続して、ユーザ証明書の発行申請をし、ダウンロードします。
• FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
• FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

1 [8][5][2]▶**「次へ」▶「[1]証明書発行」**

FirstPass
・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当サイトの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。
次へ/English

FirstPass
1証明書発行
2ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ
3その他
4ご利用規則

■ 発行されたユーザ証明書を失効させる：
① [8][5][2]▶「次へ」▶「[3]その他」
②「[1]証明書失効」▶ユーザ証明書
③ PIN2コードを入力▶「実行」
④「次へ」▶「実行」

2 **「実行」**

がお客様に損害賠償義務を負う場合といえども、当社が負担すべき損害賠償額は、当社の責に帰すべき事由に基づきお客様に発生した現在かつ通常の損害に限り、かつ一つのﾕｰｻﾞ証明書に起因する損害賠償額の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。
「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。
実行/ﾒﾆｭｰ

3 **PIN2コードを入力**
• 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

4 **「ダウンロード」▶「実行」**

FirstPass
証明書の発行申請が完了しました。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ操作を行ってください。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ/ﾒﾆｭｰ

OU=DoCoMo Secure Network Secondary 1
O=NTT DoCoMo, Inc.
C=JP
発行者：
OU=DoCoMo Secure Network Secondary 1
O=NTT DoCoMo, Inc.
C=JP
有効期限：
XXXX/XX/XX XX:XX:XX
ｼﾘｱﾙ番号：
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
実行/ﾒﾆｭｰ

• ダウンロードしたユーザ証明書は、証明書の一覧に追加されます。☞P215

おしらせ
● 海外では本機能は利用できません。
● FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
● ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。

● オリジナル証明書は各企業・自治体などから発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
● フルブラウザでも、オリジナル証明書を利用できます。
● オリジナル証明書をダウンロードする際のパケット通信料は有料です。
● 付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPassを使った通信ができます。詳しくはCD-ROM内の「簡易操作マニュアル(FirstPassManual.pdf)」をご覧ください。「簡易操作マニュアル(FirstPassManual.pdf)」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照願います。

FirstPassのご使用にあたって

● FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
● FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
● ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、申請してください。
● ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
● PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
● FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
● FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
● FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

Menu 2853

証明書発行接続先を変更する
証明書発行接続先設定

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

・オリジナル証明書をダウンロードするには
☛P209

お買い上げ時 ドコモ

1 [メニュー] [8] [5] [3]

2 **接続先欄▶[2]**
・FirstPassに接続する設定に戻す：接続先欄▶[1]▶操作5に進む

3 **ユーザ設定接続先欄▶接続先を入力(半角英数字99文字まで)**

4 **ユーザ設定初期画面URL欄▶URLを入力(半角英数字100文字まで)**

5 [完了]

iモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生・保存します。保存した映像や音はiモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます(一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません)。
iモーションには大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得時にデータの種類を変更したり、選択したりできません。

■ 標準タイプ(保存可※1)

再生動作	説　明
データを取得しながら再生(最大10Mバイト)	iモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得後に再生するiモーションと同様に操作できます。
データを取得後に再生(最大10Mバイト)	iモーションのデータをすべて取得後に再生します。

※1:保存できないiモーションもあります。

■ ストリーミングタイプ（保存不可）

再生動作	説　明
データを取得しながら再生（最大10Mバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったｉモーションのデータは消去され、FOMA端末に保存できません。

サイトからｉモーションを取得する

・最大保存件数☛P495

1 サイトを表示▶ｉモーションを選択

ｉモーションの取得が始まり、完了するとその旨のメッセージが表示されます。

・取得中にを押して「はい」を選択すると、取得を中止します。
ファイルサイズが500K～10Mバイトで部分保存できるｉモーションの場合は、再開するかどうかの確認が表示されます。「はい」を選択すると取得が開始され、「いいえ」を選択すると確認画面が表示されます。「部分保存」を選択して保存した場合、残りのデータはｉモーション内の「ｉモード」フォルダから再取得できます。
☛P324「動画／ｉモーションを再生する」操作2

・ストリーミングタイプのｉモーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、取得しながら再生します。

■ データを取得しながら再生するｉモーション：
ｉモーションを取得しながら再生します。再生終了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。

受信済みのデータ量／全体のデータ量

・再生中は次の操作ができます。
　・一時停止／再生（標準タイプのみ）：
　・音量調整：
　・中断（ストリーミングタイプのみ）：
　・停止（標準タイプのみ）：（を押すと先頭から再生）
　・詳細情報の表示：
・再生を一時停止または停止しても、データの受信は継続します。
・中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「はい」を選択します。

■ データを取得後に再生するｉモーション：
取得が完了すると、自動的に再生されます。

・再生中の操作は「動画／ｉモーションを再生する」の操作2と同じです。ただし、しおりは設定できません。☛P324

2 「保存」

・ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。
・もう一度再生する：「再生」
・詳細情報を表示する：「情報表示」
・保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」（ストリーミングタイプのｉモーションの場合は、確認画面は表示されません）

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶

取得したｉモーションは、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

・ガイド行に が表示された場合は、を押し、を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。コンテンツ移行対応のｉモーションのフォルダ一覧が表示されます。フォルダを選択してください。
現存の保存先はタスクバーの表示で確認できます。
・本体に保存する場合は、を押すとｉモーションの利用先一覧が表示されます。待受画面などに設定する方法は、「動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する」の操作2と同じです。☛P326

■ 取得したｉモーションのテロップにリンクが設定されている：
テロップ中に電話番号やメールアドレス、サイトなどへのリンクが設定されているときは、再生を終了するか中断するとPhone To、AV Phone To、Mail To、Web Toを利用できます。Phone To、AV Phone To の場合は、発信オプションの画面が表示されます。Mail To、Web Toの場合は、確認画面が表示されます。

・ｉモーションが保存されていない場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。
・Phone To（AV Phone To）の場合は、を押すと電話番号を電話帳に登録できます。Mail Toの場合は、「電話帳登録」を選択するとメールアドレスを電話帳に登録できます。
・複数のリンク項目があるときは、1つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

おしらせ

- 取得、再生できる ｉ モーションは MP4（Mobile MP4）形式のみです。ASF形式の ｉ モーションの取得、再生はできません。
- ｉ モーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉ モーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉ モーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていれば取得完了後に再生できます。ただし、ｉ モーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- データを取得しながら再生する ｉ モーションでも、サイトの状況などによって取得中は再生できない場合があります。
- ｉ モーションのデータが不正だった場合、ｉ モーションの受信が中止されることがあります。
- ｉ アプリから ｉ モーションを利用して、保存する前に詳細情報を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。
- ストリーミングタイプの ｉ モーションを取得しながら再生しているときに電話がかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になった場合は、取得が中断され、再生が中止されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って動画／ｉ モーションを削除してください。削除する前に、動画／ｉ モーション一覧で [m] を押すと動画／ｉ モーションを再生し、[Menu] を押すと動画／ｉ モーションの詳細を表示できます。
- 取得を中止したり、通信が切断されて途中までしか保存されていない ｉ モーションの場合、データBOXの ｉ モーションから再取得できます。再取得については、「動画／ｉ モーションを再生する」の操作2を参照してください。☛P324

ｉ モーションの自動再生を設定する

ｉ モーション設定

標準タイプの ｉ モーションを取得中、または取得完了後に自動的に再生するかどうかを設定します。

お買い上げ時　自動再生設定：自動再生する

1 [i] [8] [7] ▶ **自動再生設定欄** ▶ [1] ～ [2] ▶ [m]

おしらせ

- サイト画面から操作する場合は [Menu] を押し、「表示」→「ｉ モーション設定」を選択します。
- 「自動再生しない」に設定しても、ｉ モーション取得完了後「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプの ｉ モーションは自動再生設定の設定に関わらず自動的に再生するかどうかの確認画面が表示されます。

iチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がiチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応キー（クリア）を押すことでチャネル一覧に表示されます（チャネル一覧の表示方法は ☛P221）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- iチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

未契約

iチャネルをご契約いただいていない場合。

契約後

iチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。

クリア

クリアを押下するとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。

で接続

各チャネルを押下するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

- iチャネルの各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでiチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はiチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、iチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」の情報ともに、待受画面にテロップとして流すことができます。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、iチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。
- 国際ローミング中の「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、iチャネルのサービス利用料に含まれません。

iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはiモード契約が必要です。）

- 操作方法は☛P221

おためしサービス

ｉモードをご契約の上ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

・おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、クリアを押下することで開始できます。

おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。

おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

● 情報を受信しても着信音、バイブレータは動作しません。決定キーの照明も点灯／点滅しません。
● ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、クリアを押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、クリアを押すと最後に受信した情報がチャネル一覧に表示される場合があります。
● テロップ表示設定でテロップ表示を「表示しない」に設定している場合は、テロップは表示されません。
● FOMA端末の電源が入っていない場合や、圏外または電波状況がよくないなどで情報を受信できなかったときは、受信可能な状況でクリアを押すと情報を受信できます。
● 情報を受信中は が点滅します。
● ｉチャネルの接続先は変更できます（通常は変更する必要はありません）。
  ・操作方法は☞P211

Menu 271

ｉチャネルを表示する

チャネル一覧

1 クリア

チャネル一覧が表示されます。
・待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定しているとき：ｉ 7 1
・ クリアを押しても表示されません。

2 **チャネルを選択**

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。
・ご利用の状況によりチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

おしらせ

● チャネル一覧を表示し直すときは、チャネル一覧でMenuを押し、「リトライ」を選択します。
● チャネル一覧でMenuを押し「効果音設定」を選択すると、Flash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定できます。設定方法については☞P212「画像表示／効果音を設定する」

ｉチャネルの設定を変更する
テロップ表示設定

受信したｉチャネルの情報を待受画面にテロップ表示するかどうかを設定します。テロップ表示の速度も設定できます。

- テロップ表示を「表示する」に設定すると、待受画面を表示するごとに新しい情報から順に最大10件、ディスプレイの表示が消えるまでテロップ表示されます。「表示しない」に設定すると、テロップは表示されません。
- お買い上げ時やFOMAカードを差し替えたとき、接続先アドレス2を変更したときは、ｉチャネルの情報が自動更新されるか、または[クリア]を押してチャネル一覧を表示すると、テロップが表示され、テロップ表示設定ができるようになります。

お買い上げ時　テロップ表示：表示する　テロップ速度：普通

1 [ｉ][7][2]▶**各項目を設定**

テロップ表示：
「表示する」「表示しない」から選択します。
テロップ速度：
「遅い」「普通」「速い」から選択します。

2 [📖]

- テロップ表示を「表示する」に設定した場合、待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリが設定されているときは確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリは解除されます。

おしらせ

● 次の場合は、ｉチャネルの情報はテロップ表示されません。
- オールロック中
- パーソナルデータロック中
- おまかせロック中
- 公共モード（ドライブモード）中
- FOMAカードを挿入していないとき

● 2in1がONの場合、各モードごとに設定できます。
● 異なるFOMAカードに差し替えると、テロップ表示は、お買い上げ時の状態に戻ります。

ｉチャネルの情報をお買い上げ時の状態に戻す
ｉチャネル初期化

ｉチャネルの受信情報をすべて削除し、お買い上げ時の状態に戻します。

- テロップ表示設定の設定は保持されます。

1 [ｉ][7][3]▶**「はい」**

おしらせ

● ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面で[クリア]を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信されます。テロップ表示を「表示する」に設定していたときは、待受画面にテロップが表示されるようになります。

メール

FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

メール機能の送受信について

FOMA端末→FOMA端末

FOMA端末　ｉモードメール → ｉモードメール　FOMA端末
最大全角5000文字
SMS → SMS
最大70文字（日本語※1）
最大160文字（英語※1）

※１：SMS設定の送信文字種で設定します。

FOMA端末→mova端末

FOMA端末から送信したSMSは、mova端末ではｉモードメールとして受信します。

FOMA端末　ｉモードメール → ｉモードメール　mova端末
最大全角2000文字※1
SMS →※2 ｉモードメール

※１：mova端末の設定により異なります。
※２：SMS設定で送達通知を「要求する」に設定している場合は、mova端末に送信できません。

mova端末→FOMA端末

mova端末から送られたショートメールはSMSとして受信します。

mova端末　ショートメール 特番1655をダイヤル → SMS　FOMA端末
最大50文字
ｉモードメール → ｉモードメール
最大全角250文字

- ショートメールとは、movaサービスの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル（JPEG、トルカ、PDFなど）を添付できます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例)abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
- **お客様のメールアドレスの確認方法**
ｉMenu→料金＆お申込・設定→メール設定→アドレス確認

- ｉモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。
- メールの送信方法は☛P227
- メールの受信方法は☛P236
- ｉモードのサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

■ **メール選択受信**
ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。☛P238

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

設定方法
ｉMenu→料金＆お申込・設定→メール設定→【各設定】

- 詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

■ メールアドレス変更【メールアドレス設定（アドレス変更）】
たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ メールアドレス確認【メールアドレス設定（アドレス確認）】
現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）→シークレットコード登録】
電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて 4 桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）→アドレスリセット】
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ 迷惑メール対策
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

①URL付きメール拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→URL付きメール拒否設定】
ｉモードメールのうち出会い・アダルト・不法・セキュリティなどのカテゴリに該当するとネットスター株式会社が判断したサイトのURLが記載されているメールを受信しないように設定できます。

②受信／拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→受信／拒否設定】
ドコモ・au・ソフトバンク・ツーカー・ウィルコムのうち、メールを受信したい会社を指定できます。
また指定するドメインまたはアドレスからのメールのみ受信することもできます。受信設定した会社やドメインであっても、個別に拒否したいメールアドレスを指定して拒否することもできます。なお、上記の会社以外（インターネット）からのメールのうち、携帯・PHS ドメインになりすましたメールのみを拒否することもできます。

③SMS 拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→SMS拒否設定】
受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知 SMS 拒否」「国際 SMS 拒否」「非通知SMS及び国際SMS拒否」の4つの中からいずれか１つを選択いただけます。また、設定の状況を確認できます。

④ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
１日に１台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）→未承諾広告※メール拒否】
受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に「未承諾広告※」（全角６文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

■ メールサイズ制限【メール受信設定（メールサイズ制限）】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

■ 設定状況確認【メール受信設定（設定状況確認）】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合や圏外などで受信できないときは、メールが保存されている720 時間は届くまで再送いたします。

- 受信されない場合は720 時間ｉモードセンターで保存されます。
- 受信できない条件により再送条件が変わります。

また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信できます。

こんなこともできます

■ ファイル送受信

ｉモードメール（2Mバイト対応）では、添付可能なファイル種別に制限はありません。最大 10 個、合計 2M バイトまでのファイルをメールに添付し、送信できます。ｉモードメール（2M バイト対応）として受信する場合は、すべてのファイルを受け取ることが可能で、100Kバイトまで自動受信し（自動受信添付ファイル）、100K バイトを超えた 2M バイトまでの添付ファイルは必要なものを選択して受信できます（選択受信添付ファイル）。また、端末のメール受信添付ファイル設定により 100K バイト以下の添付ファイルでも、サイズによらず選択して受信することもできます。その他の機種で受信する場合は、その端末のメール受信容量内で対応ファイル種別のみを受信します。

■ デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。また、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末および10000バイトまでのデコメール対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信される場合があります。その場合、受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。
・デコメール編集方法☛P228
・デコメール送信方法☛P228
・対応機種･･･デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

SMS（ショートメッセージ）について

FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。
- 送信方法☛P261
- 受信方法☛P263
- 問合せ方法☛P264

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。
- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間で送受信を行う場合については、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

送信文字種の設定（☛P264）により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字のみ）※1	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※2

※１：半角の「+」を含めた場合は21文字になります。
※２：半角の英数字と記号（` 。「」、・゛゜を除く）を送信できます。
記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

おしらせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。☛P264
- 保管期間が超過したSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せにより受信できます。☛P264
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。

こんなこともできます

■ 送達通知
送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取れます。☛P264

■ FOMAカードへの保存
受信したSMSや送信したSMSをFOMAカードに保存できます。☛P264

Menu 12

iモードメールを作成して送信する

iモードメール作成・送信

例 宛先を直接入力してiモードメールを作成・送信するとき

1 [メール][2]▶[To]欄

メール作成<新規>

メール作成<新規>
入力方法を選択してください
メール送信履歴
メール受信履歴
電話帳参照
メールグループ
直接入力

メール作成画面

本文中の文字と装飾情報の合計バイト数（全角1文字は2バイト）

2 「直接入力」▶宛先を入力（半角50文字まで）

- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- かな入力方式の場合、半角英字入力モードで、[1]を繰り返し押すと「.」「@」「-」などを、[＊]を繰り返し押すと「.com」「.ne.jp」「.co.jp」などを入力できます。
- 相手がシークレットコードを登録しているときは、相手のｉモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードの入力が必要です。

■ メール送信履歴から選択する：「メール送信履歴」▶履歴を選択
- メールの宛先のアドレスが設定されます。

■ メール受信履歴から選択する：「メール受信履歴」▶履歴を選択
- メールの発信者のアドレスが設定されます。

■ 電話帳から検索する：「電話帳参照」▶相手を選択

■ メールグループから入力する：「メールグループ」▶メールグループを選択
- 既に入力されている宛先との合計が5件を超える場合、メールグループは追加できません。
- メールグループを選び[Menu]を押すとメールグループの詳細を確認できます。

3 [Sub]欄▶題名を入力（全角15文字（半角30文字）まで）

4 [Text]▶本文を入力（全角5000文字（半角10000文字）まで）

- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、[＃]を押すと改行できます（全角／半角数字入力モードを除く）。
- 全角・半角の空白や改行も本文の文字数に含まれます。
- 本文にデコメ絵文字（絵文字D）を挿入するとデコメールになります。
- 本文を装飾できます。☛P228

■ 位置情報のURLを貼り付ける：[Menu][5][5]
- 以降の操作方法は「メール、電話帳、自局番号に位置情報を付加する」の操作2以降と同じです。☛P307
- メール本文に位置情報URLを貼り付けると、位置情報URLの前に が付加されます。

■ 署名を挿入する：[Menu][5][6]
- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

5 [送信]

- 接続中画面で[終話]を、送信中画面で[送信]を押すと送信が中止され、「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、操作のタイミングによっては「未送信BOX」フォルダに保存されなかったり、保存されても送信されていることがあります。
- 圏外の場合、既に保存済みの圏内自動送信メールが4件以下のときは、圏内自動送信するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

おしらせ

● 他の機能が起動したりして、10000バイトを超えるメールが自動保存された場合、作成中のメールの一部が保存されないことがあります。
● 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。

- 送信が正常に終了したときは、i モードメールが「送信メール」の「送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、i モードメールが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信メール」から i モードメールを編集・送信できます。
- i モードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示され、「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存される場合があります。
- 他の携帯電話会社（au ／ソフトバンク／ツーカー）に絵文字入りの i モードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。
  - 送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
  - 送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「〓」に変換されます。
- 顔文字は相手の端末の表示文字数やフォント、ディスプレイの大きさによっては、形がくずれたり見え方が異なったりするなど、正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、i モードメールは作成、送信できません。「未送信メール」から不要な i モードメール、SMSを削除してください。☛P249
- 2in1のBアドレスをメールの発信元にしてメールを送信するには、WEBメールを利用します。☛P238

宛先を追加する　　宛先追加

i モードメールは最大5人の相手に同時に送信（同報送信）できます。

- 宛先の種別には [To]（TO）、[Cc]（CC）、[Bcc]（BCC）の3種類があります。
  - [To]：通常の宛先に使います。
  - [Cc]：TOの宛先に送ったメールの内容を他の相手に知らせるときに使います。
  - [Bcc]：CCと同じように他の相手に知らせるときに使いますが、BCC で指定した宛先は他の相手には表示されません。
- [To] 欄に宛先が１件も入力されていないメールは送信できません。

1 メール作成画面で宛先欄を選び [✉] ▶ 入力方法を選択

- 「メールグループ」を選択したときは操作3に進みます。

2 「TO」／「CC」／「BCC」

3 宛先を入力または選択

■ TO、CC、BCCを変更する：宛先欄を選び [Menu] [9] ▶ 宛先種別を選択

■ 追加した宛先欄を削除する：宛先欄を選び [Menu] [8] ▶ 「はい」

- 宛先欄が 1 件のときは入力されているアドレスのみが削除されます。

おしらせ

- [To] 欄と [Cc] 欄に入力したメールアドレスは受信側に表示されますが、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。
- 送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。[●] を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。

デコメールを作成して送信する

デコメール

i モードメールの本文に、文字サイズや文字色、背景色の変更や、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されているデコメールピクチャ、デコメ絵文字（絵文字D）の挿入などの装飾（デコレーション）を行い、デコメールを作成できます。

- 送信できるデコメールのサイズは、メール本文と本文中に挿入した画像の合計が100Kバイト以内です。その他に10件または合計2Mバイトまでのファイルを添付できます。

■ 装飾例

■ デコメール作成の流れ

ステップ1 メール作成画面からメール本文の入力画面を表示する

ｉモードメール作成で本文を入力できる状態にします。

ステップ2 文字入力や装飾を行う

- 装飾を指定してから文字を入力する ☛P229
- 文字を入力してから装飾を指定する ☛P231
- 編集中に Menu 0 を押すと、プレビュー画面で装飾を確認できます。

ステップ3 装飾を確認して送信する

メール作成画面で装飾を確認します。

おしらせ

- 装飾した文字を削除しても、装飾情報が残り、入力可能な文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、クリアを1秒以上押して文字をすべて削除すると、装飾情報（背景色は除く）もすべて削除されます。
- パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- 下記機種※1以外のデコメール対応機種に10000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、送信先では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。
  ※1：903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）
- デコメール非対応機種に10000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、送信先では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。ただし、非対応機種によってはデコメールのサイズが10000バイトを超えるときは本文のみ受信し、閲覧用URLがないメールを受信する場合があります。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間がたつと自動的に停止します。
- 本文にデコメ絵文字（絵文字 D）を入力するとデコメールになります。

装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で iText ▶ ✉

2 装飾を選択▶文字を入力

文字色

マーク

装飾選択画面

装飾選択画面でマークを選び◉を押すと、その装飾が選択状態になります。装飾の操作方法については☛P229「デコメール装飾選択画面の操作」

■ 複数の装飾を設定する：装飾選択画面でマークを選び Menu

- 「テロップ」「スウィング」「文字位置」は同時に設定できません。

■ 選択状態の装飾を解除して文字を入力する：入力位置を選び ✉▶

- 解除される装飾は「文字色」「文字サイズ」「点滅」「テロップ」「スウィング」「文字位置」です。

■ 装飾を変更する：Menu 1 8 ▶開始位置を選び◉

- 以降の操作は「文字を入力してから装飾を指定する」の操作2以降と同じです。☛P231

■ 装飾をすべて解除する：Menu 1 9

3 Menu 0 ▶装飾を確認▶◉

- 設定した装飾と、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

4 ◉▶📖

デコメール装飾選択画面の操作

■ 文字色を変更する：■▶文字色を選択▶文字を入力

サンプル

指定なし

その他の色

文字色

お久しぶり。

約9819 byte

- 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。
- 絵文字1、2の文字色も変更されます。範囲を選択して文字色を「指定なし」にすると元の色に戻ります。操作方法については☛P231「文字を入力してから装飾を指定する」

■ 文字のサイズを変更する：T（または T T）▶文字サイズを選択▶文字を入力

「大」にしたとき

- デコメ絵文字のサイズは変更できません。

■ 画像を挿入する：▶「本体」▶フォルダを選択▶画像を選択

カーソル位置に画像が挿入されます。

- 「本体」の場合、挿入できない画像は表示されません。「microSD」の場合、挿入できない画像を選択すると、挿入できない旨のメッセージが表示されます。
- microSDメモリーカード内の画像を挿入する：「microSD」▶1～3▶フォルダを選択▶画像を選択
- 静止画を撮影して挿入する：「静止画を撮影」▶静止画を撮影▶
  - ・静止画のサイズは自動的に電話帳用（96×72）に設定されます。
- デコメ絵文字は、絵文字を入力する手順でも挿入できます。☛P414
- 画像は最大20件、画像サイズの合計が90Kバイトまで挿入できます。同一画像は20件以上挿入できる場合があります。
- 画像を挿入すると、実際の画像サイズではなく、画像の挿入を示す装飾情報のサイズ分、本文のバイト数が増えます。
- お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャ、デコメ絵文字☛P455、P456

■ 文字を点滅させる：▶文字を入力

■ 文字をテロップにして右から左へ動かす：▶文字を入力

- との間に文字を入力します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かす：▶文字を入力

- との間に文字を入力します。

■ 文字の位置を変更する：（または ）▶位置を選択▶文字を入力

「右寄せ」にしたとき

- カーソルがある行に文字が入力されている場合は、改行されます。

■ ライン（罫線）を挿入する：

文字色（■）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

■ 本文の背景色を変更する：▶背景色を選択

- 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。

■ 1つ前の状態に戻す：

直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

文字を入力してから装飾を指定する

メール本文に入力されている文字や、既に装飾されている文字は、範囲を指定して操作します。
- ライン挿入、画像挿入、背景色は操作できません。装飾を指定してから操作してください。

1 メール本文の入力画面で開始位置を選び[Ｓ]

2 終了位置を選び[ボタン]

こんにちは
昨日はありがとう。
9968

- 開始位置から文頭までを選択する：[Menu][ボタン]
- 開始位置から文末までを選択する：[本][ボタン]
- 本文すべてを選択する：[メール]

3 装飾方法を選択

こんにちは
昨日はありがとう。
1 文字色
2 文字サイズ
3 点滅
4 テロップ
5 スウィング
6 文字位置
7 デコレーションなし
8 コピー
9 切り取り
0 元に戻す
9968

- 装飾の確認や解除方法は、装飾を指定して文字を入力する場合と同じです。☛P229

■ **文字色を変更する：[1]▶文字色を選択**
- ライン（罫線）の色も変更されます。

■ **文字のサイズを変更する：[2]▶[1]～[3]**

■ **文字を点滅表示／解除する：[3]▶[1]～[2]**

■ **文字をテロップ表示／解除する：[4]▶[1]～[2]**

■ **文字をスウィング表示／解除する：[5]▶[1]～[2]**

■ **文字の位置を変更する：[6]▶[1]～[3]**
- 画像の位置も変更されます。

■ **装飾を解除する：[7]**

■ **文字をコピーする：[8]**

■ **文字を切り取る：[9]**

■ **1つ前の状態に戻す：[0]**
- 直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

■ **続けて文字を装飾する：[Menu]▶操作3を繰り返す**

4 [ボタン]

装飾した文字の選択が解除されます。
- [方向キー]を押しても解除されます。

5 [ボタン]▶[本]

おしらせ

● メール本文の入力画面で[Menu][0]を押すと、プレビュー画面が表示され、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

ファイルを添付する

添付ファイル

iモードメールにファイルを添付して送信できます。
- 添付できるファイルは最大10件、添付ファイルの合計サイズは最大2Mバイトです。
- 添付ファイルのサイズによって、送信に時間がかかる場合があります。

添付できるファイルの種別

ファイルの種別	制限事項など	備考
画像	JPEG形式、GIF形式のみ添付できます。パラパラマンガは添付できません。	❶❷
動画／iモーション	再生制限が設定されているファイルは添付できません。再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。	❸
メロディ	「プリインストール」フォルダ内のメロディは添付できません。MFi形式のメロディを添付しても本文中には挿入されません。	❹❺
トルカ	「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは添付できません。IP（情報サービス提供者）の設定により添付できないものがあります。	❻
PDFデータ	「プリインストール」フォルダ内のPDFデータは添付できません。	－
スケジュール	－	－
ブックマーク	－	－
電話帳	－	－
ボイス録音	－	❼
その他	Word、Excel、PowerPoint のファイルまたは閲覧不可ファイルを添付します。	－

❶：10000バイトを超えるJPEG形式の画像を添付したメールを下記機種※1以外に送信した場合は、ｉショットセンターで、受信する端末に適したサイズに変換されます。
※1：903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）

❷：受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URLが記載されたメールまたはメールの添付ファイルとして受信します。

❸：受信側の機種によって、正しく受信や表示がされない、または動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。下記機種※1以外に動画を送信する場合は、サイズ制限：メール添付用（小）、画像サイズ：QCIF（176×144）、品質：HQ（高品質）の動画をおすすめします。
※1：903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）

❹：下記機種※1以外にメロディを送信した場合、受信側では正しく再生できないことがあります。
※1：D703i、D903i、D903iTV、D904i

❺：お買い上げ時は、次のメロディが「メール添付メロディ」フォルダに登録されています。

タイトル	曲名（【　】内は作曲者）
クリスマス	もろびとこぞりて 【HANDEL GEORGE FRIDERIC / MASON LOWELL】
結婚式	結婚行進曲 【WAGNER RICHARD WILHELM】
誕生日	－
嬉しい	－
悲しい	－

• 作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。

❻：受信側の機種によっては、トルカ（詳細）を受信できない場合があります。

❼：サウンドレコーダーで録音したデータはｉモーションとして保存され、メールに添付できます。

ファイルを添付して送信する

1 メール作成画面で［📎］欄

2 ファイルの種類を選択▶ファイルを選択▶［📖］

［📎］欄にファイル名が表示されます。ファイル名が表示しきれない場合［📎］欄を選び［Menu］［4］［3］を押すとファイル名が表示されます。

• ［📎］欄を選択すると添付ファイルを表示または再生できます。ただし、次のファイルは表示、再生できません。
  ・100Kバイトを超えるメロディ
  ・1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ（詳細）
  ・1件のファイルに電話帳、スケジュール、ブックマークのうち複数の種類を含むファイル
  ・閲覧不可ファイル

■ **画像を添付する：**

①「イメージ」

②「本体」▶フォルダを選択

• microSD メモリーカード内の画像を選択する：「microSD」▶［1］～［3］▶フォルダを選択
• 静止画を撮影して添付する：「カメラ撮影」▶静止画を撮影▶［●］
  ・撮影する静止画のサイズは自動的にQVGA（240×320）に設定されます。

③画像を選択

• 添付できない画像は表示されません。画像を選び［📖］を押すと表示できます。［●］を押すと添付でき、［クリア］を押すと一覧に戻ります。
• 画像サイズがQVGA（240×320または320×240）を超えるJPEG形式の画像の場合は、QVGAに変換するかどうかの確認画面が表示されます。変換するときは「はい」を選択します。
• 2Mバイトを超えるJPEG形式の画像は、自動的に添付可能なサイズに変換されます。このとき、処理に時間がかかることがあります。

■ **動画／ｉモーションを添付する：**

①「ｉモーション」

②「本体」▶フォルダを選択

• microSDメモリーカード内の動画／ｉモーションを選択する：「microSD」▶［4］／［6］▶フォルダを選択
• 動画を撮影して添付する：「カメラ撮影」▶動画を撮影▶［●］
  ・撮影する動画のサイズは自動的にQCIF（176×144）に設定されます。

③動画／ｉモーションを選択

• 「本体」の場合、添付できない動画／ｉモーションは表示されません。動画／ｉモーションを選び［📖］を押すと再生できます。再生が終了すると一覧に戻ります。
• 「microSD」の場合、添付できない動画／ｉモーションを選択すると、添付できない旨のメッセージが表示されます。動画／ｉモーションを選び［📖］を押すと再生できます。［クリア］を押すと一覧に戻ります。

■ メロディを添付する：
①「メロディ」
- microSDメモリーカード挿入時は「メロディ」を選択し、「本体」または「microSD」を選択します。

② フォルダを選択▶メロディを選択
- 「本体」の場合、添付できないメロディは表示されません。メロディを選び[□]を押すと再生できます。[●]を押すと添付でき、[クリア]を押すと一覧に戻ります。
- 「microSD」の場合、添付できないメロディを選択すると、添付できない旨のメッセージが表示されます。メロディを選び[□]を押すと再生でき、[●]を押すと一覧に戻ります。

■ トルカを添付する：
①「トルカ」
- microSDメモリーカード挿入時は「トルカ」を選択し、「本体」または「microSD」を選択します。

② フォルダを選択▶トルカを選択
- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めて添付するかどうかの確認画面が表示されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると詳細は切り取られますが、サイトに詳細情報がある場合は、受信側でダウンロードできます。
- トルカを選び[□]を押すとトルカの内容を確認できます。[●]を押すと添付でき、[クリア]を押すと一覧に戻ります。
- 添付できないトルカを選択すると、添付できない旨のメッセージが表示されます。

■ PDFデータを添付する：
①「PDF」
- microSDメモリーカード挿入時は「PDF」を選択し、「本体」または「microSD」を選択します。

② フォルダを選択▶PDFデータを選択
- 「本体」の場合、添付できないPDFデータは表示されません。PDFデータを選び[□]を押すと表示できます。[クリア]を押すと一覧に戻ります。

■ スケジュールを添付する：
①「スケジュール」
- microSDメモリーカード挿入時は「スケジュール」を選択し、「本体」または「microSD」を選択します。

② 日付を選択▶スケジュールを選択▶[●]

■ ブックマークを添付する：
①「Bookmark」
- microSDメモリーカード挿入時は「Bookmark」を選択し、「本体」または「microSD」を選択します。「microSD」を選択したときは操作③に進みます。

② フォルダを選択
- 「本体」の場合、フォルダ一覧で[□]を押すとｉモードのブックマークとフルブラウザのブックマークを切り替えられます。

③ ブックマークを選択
- ブックマークを選び[□]を押すとURLが表示されます。[クリア]を押すと一覧に戻ります。

■ 電話帳データを添付する：
①「電話帳」
- microSDメモリーカード挿入時は「電話帳」を選択し、「本体」または「microSD」を選択します。

② 電話帳を選択▶[●]

■ 音声を録音して添付する：「ボイス録音」▶録音（サウンドレコーダー）▶[●]

■ Word、Excel、PowerPointファイルを添付する：
①「その他」
- microSDメモリーカード挿入時は「その他」を選択し、「本体」または「microSD」を選択します。

② フォルダを選択▶ファイルを選択

■ 閲覧不可ファイルを添付する：「その他」▶「microSD」▶フォルダを選択▶ファイルを選択

おしらせ

- mova端末へは、JPEG形式の画像を1枚のみ添付して送信できます。その場合、相手の端末はURLが記載されたメール（ｉショットメール）として受信します。JPEG形式の画像以外の添付ファイルは削除されて送信されます。
- 受信側の端末が対応していないファイルを添付してメール送信すると、添付ファイルがｉモードセンターで削除される場合があります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像やメロディ、取得元がｉモード以外のPDFデータを除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
- 10000バイトを超える画像をQVGAサイズ（240×320または320×240）に縮小できます。☞P320

添付ファイルを変更／解除する

例 添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面を表示

2 [📎]欄を選び[✉]▶「はい」

■ 添付ファイルを変更する：[📎]欄を選び[✉]▶ファイルを添付☛P231

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、ｉモードメールの雛形です。メールテンプレートを呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。また、画像などの装飾が設定されているメールテンプレートを使えばデコメールも簡単に作成できます。
お買い上げ時に登録されているメールテンプレート（☛P455）のほか、サイトからダウンロード（☛P208）したメールテンプレートや自分で作成したメールテンプレートを利用できます。

- ダウンロードしたり、作成したメールテンプレートは、お買い上げ時に登録されているメールテンプレートとともに「テンプレート読込み」に保存されます。
- SMSには使用できません。

メール作成時にテンプレートを使う テンプレート読込み

1 メール作成画面で[Menu][6][1]

- テンプレートを選び[📖]を押すとテンプレートを表示できます。[●]を押すと読込め、[📖]を押すと一覧に戻ります。

2 テンプレートを選択

：画像あり　：メロディあり
：動画／ｉモーションあり
：トルカあり　：PDFデータあり
：スケジュールあり　：ブックマークあり
：電話帳あり　：Wordあり
：Excelあり　：PowerPointあり
：その他の添付あり　：複数の添付あり

- 入力済みの項目があるメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中のメールに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「本文のみ読込み」を選択し、テンプレートを選択すると、メール本文のみがテンプレートの内容に上書きされます。「すべて読込み」を選択し、テンプレートを選択すると、宛先、題名、添付ファイル、本文のすべてがテンプレートの内容に上書きされます。読み込みを中止するときは[クリア]を押します。
- １件のメールに複数のテンプレートを読み込むことはできません。

3 メールを編集▶[📖]

Menu 18

テンプレートを表示してメールを作成する テンプレート読込み

1 [✉][8]▶テンプレートを選択

- [◎]で前後のテンプレートを表示できます。

2 [📖]▶メールを編集▶[📖]

テンプレートを登録する テンプレート登録

作成または受信／送信したｉモードメールをテンプレートとして登録できます。

- 最大保存件数☛P495
- お買い上げ時に登録されているテンプレートの内容を変更して、新しいテンプレートとして保存できます。
- 次の場合は、テンプレートに登録できません。
  ・本文と装飾で10000バイトを超えている場合
  ・本文中に挿入されている画像の合計サイズが90Kバイトを超える場合

・本文と本文中に挿入されている画像と添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合
- 受信／送信した i モードメールの場合は、本文がないと登録できません。また、宛先、題名は登録されません。

1 メール作成画面で Menu 6 2 ▶「はい」

- 受信／送信した i モードメールを登録する：メール詳細画面で Menu 4 5

2 各項目を設定

表示名：
全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

ファイル名：
半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

3 [📖]

- 登録済みのテンプレートに上書きする：[✉]▶テンプレートを選択▶「はい」
  ・お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書きできません。

おしらせ

- 登録したテンプレートの詳細情報を確認・変更する場合は、テンプレート一覧でテンプレートを選び Menu を押し、「詳細情報」→「参照」または「変更」を選択します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートの詳細情報は変更できません。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って保存されているテンプレートを削除してください。

テンプレートを削除する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは削除できません。

例 1件削除するとき

1 [✉] 8

2 テンプレートを選び Menu 2 1

■ 複数削除する：Menu 2 2 ▶テンプレートを選択▶[📖]

■ 全件削除する：Menu 2 3 ▶端末暗証番号を入力

3「はい」

i モードメールを保存しておき、あとで送信する　i モードメール保存

i モードメールを保存する

- 最大保存件数☛P495
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを設定しないと保存できません。

1 メール作成画面で Menu 3

i モードメールが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

おしらせ

- 保存領域が足りないときは、保存できない旨のメッセージが表示されたり、添付ファイルを解除して保存するかどうかの確認画面が表示される場合があります。その場合は、未送信メールから不要なメールを削除するか、添付ファイルを解除して保存してください。

圏内になったら i モードメールを自動送信する　圏内自動送信

圏外で作成した i モードメールを、圏内になったら自動的に送信するように設定して保存できます。

- 最大5件保存できます。
- TOの宛先を設定しないと保存できません。

1 メール作成画面で Menu 2

圏内自動送信メールとして「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存され、ディスプレイ上部に [✉] が表示されます。

圏内になると

圏内自動送信メールは自動送信されます。自動送信中は [✉] が点滅し、すべての圏内自動送信メールが送信されると [✉] は消えます。

- 送信に失敗したときは、圏内自動送信の失敗メールとして「未送信メール」に残り [✉] が点滅します。圏内自動送信の失敗メールの削除や圏内自動送信設定の解除またはFOMAカードの差し替えなどによって圏内自動送信の失敗メールがなくなると [✉] は消えます。

おしらせ

- 署名編集中は自動送信されません。
- 圏内自動送信に失敗したメールは、次に圏内になっても自動送信されません。ただし、圏外のため失敗した場合は最大2回再送信されます。

メール つづく▶

圏内自動送信設定を解除する

1 未送信メール一覧で、圏内自動送信が設定されているメールを選び[m]▶「はい」

おしらせ

- 未送信メール一覧で圏内自動送信の設定メールを選択しても、圏内自動送信設定が解除されます。
- 未送信メール一覧で圏内自動送信の失敗メールを選び[Menu]を押し、「表示」→「圏内自動送信エラー表示」を選択すると、失敗の原因が表示されます。
  - 失敗の原因として、同報への送信に失敗した旨のメッセージが表示されたときは、[●]を押すとそのアドレスが表示されます。
- 以下の場合も、圏内自動送信設定が解除されます。
  - メールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合
  - 接続先設定で「接続先番号」または「接続先アドレス」を変更した場合
  - 2in1をBモードに設定した場合

Menu 14／Menu 15

送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

例 未送信メールを編集するとき

1 [✉][4]▶フォルダを選択

- SMSには[SMS] が表示されます。
- 送信メールを編集・送信する：[✉][5]▶フォルダを選択

2 メールを選択

- 送信メールを再編集する：メールを選び[m]

3 メールを編集▶[m]

おしらせ

- 送信メール詳細画面で[m]を押しても編集できます。

手早くメールを作成する
クイックメール

FOMA端末電話帳のメモリ番号0～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを作成できます。

- ｉモードメールの場合は1件目のメールアドレス、SMSの場合は1件目の電話番号が宛先となります。

例 メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 メモリ番号（この場合は[2][3]）を入力▶[✉]

- メモリ番号の前には0を付けずに入力します。
- ｉモードメールの作成・送信方法☛P227

■ SMSを作成する：メモリ番号を入力▶[✉]（1秒以上）
- SMSの作成・送信方法☛P261

ｉモードメールを受信したときは
メール自動受信

- 受信したｉモードメールは「受信メール」の「受信BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。
- 最大保存件数☛P495

1 ｉモードメールを受信

受信が完了すると、受信結果画面が表示され、メール着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅します。

受信中画面

受信完了

：未読のｉモードメールあり
：未読のｉモードメールとSMSあり
受信結果（スクロール表示）
受信したｉモードメールの件数
受信に失敗したときは「メール」の後に「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

受信結果画面

• メール受信中に を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。

2 **1▶フォルダを選択▶メールを選択**

• メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定できます。☛P257
• 受信メールの見かた☛P243
• メール連動型 ｉ アプリ用のフォルダを選択すると、対応するｉアプリが起動します。

おしらせ

● 受信結果画面は何も操作しないと約15秒間、メール着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときは着信音が鳴り終わるまで表示されます。早く受信前の画面に戻すには クリア を押します。
● 受信メールのデータ量（文字数、添付ファイル）が、ｉMenuの「料金＆お申込・設定」→「メール設定」→「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超える場合、添付ファイルは自動受信できません。受信するには、メール詳細画面でファイル名を選択します。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の一番古い受信メールに上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。特に2Mバイトなどサイズが大きい添付ファイルを受信する場合は削除される既読メールが多くなりますのでご注意ください。
● 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や が表示されます。受信する場合、未読メールの内容表示、未読メールの既読メールへの変更、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
● ｉモードメールの送信直後は自動受信できない場合があります。ｉモード問合せを行ってください。
● 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに発信元にエラーメッセージとともに返信されることがあります。
● 2in1のBアドレスで受信したメールはWEBメールサイトに保存されます。☛P238
● 新しいｉモードメールが届くと、ｉモードセンターで保管しているｉモードメールやメッセージR/Fも合わせて受信します。
● FOMA端末でｉモードメールを受信すると、「受信メール」に保存され、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
● TO、CC、BCCを設定できる相手からのメールを受信した場合、自分がTO、CC、BCCのどれにあてはまるかを確認できます。☛P245
● FOMA端末電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合、メール着信音、着信バイブレータ、決定キーの照明はFOMA端末電話帳の設定に従って動作します。電話帳との照合については「名前の表示について」を参照してください。☛P102
  • 複数のｉモードメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR/Fの条件に従って動作します。
● ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。☛P240
● 次のような場合に送られてきた ｉ モードメールは ｉ モードセンターに保管されます。
  • 電源が入っていないとき
  • テレビ電話中
  • プッシュトーク通信中
  • セルフモード中
  • 受信に失敗したとき
  • 圏外のとき
  • SMS受信中
  • 赤外線通信中
  • iC通信中
  • メール選択受信設定が「ON」のとき
  • お預かりセンター接続中
  • おまかせロック中
  • FirstPassセンター接続中
  • 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
● ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが や に変わります。

ｉモードメールを選択して受信する
メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを自動受信せずに、選択して受信します。

ｉモードセンターにメールが届いたときは

メール選択受信設定を「ON」に設定しているときに送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、「センターに✉あり」と表示されます。

- ｉモードメールがｉモードセンターに保管されてもメール着信音やバイブレータは動作しません。
- (クリア)、(OK)以外のキーを押すとメッセージが消えます。

おしらせ

- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中には、センターにメールが届いてもメッセージが表示されません。
- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うと、すべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、問い合わせ項目からメールを外してください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

Menu 163

メールを選択受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定します。「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

1 ✉ 6 3

✉メール選択受信✉
(1/1ページ)

選択受信説明
[1] 保留
07/07/10 10:27
✉明日の会議
docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
サイズ:2.7Kバイト 📷
[2] 保留
07/07/10 09:23
✉契約書
docomo.taro.△△@docomo

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

📷：画像添付あり
♪：メロディ添付あり
🎥：ｉモーション添付あり
トルカ添付あり
その他ファイル添付あり

2 **メールごとに「保留」▶「受信」／「削除」／「保留」**

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
- ｉモードセンターに保管されているすべてのメールを削除するときは「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 **「受信／削除」▶「決定」**

確認画面
受信：　5件
削除：　3件
保留：　2件

よろしいですか?
決定
キャンセル

ｉモードメール／WEBメールを確認する

Menu 161／Menu 25／✉61／⬇5

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる
ｉモード問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などにｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。
ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかどうかを問い合わせます。

- 電波状態のよい場所で操作してください。

1 **✉（1秒以上）**

- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。

Menu 165

WEBメールを確認する
WEBメール

2in1のBアドレスを利用してメールを送受信するには、WEBメールサイトに接続して操作します。
WEBメールサイトへは2in1がBモードまたはデュアルモードのときのみ接続できます。

- 2in1はお申し込みが必要な有料サービスです。

1 **✉ 6 5 ▶ｉモードパスワードの入力欄▶入力▶「決定」**

WEBメールサイトに接続されます。

・WEB メールの詳細については『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

ｉモードメールに返信する

ｉモードメール返信

・受信メールによっては返信できない場合があります。
・発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」のSMSには返信できません。
・メール返信引用設定で、返信メールに本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。

1 **[✉][1]▶フォルダを選択**

2 **メールを選び[📖]**

クイック返信本文選択画面が表示されます。
・SMSに返信するときは、クイック返信本文選択画面は表示されません。操作4に進みます。

■ **複数の宛先に送られた受信メールの宛先すべてに返信する：**
発信元と、自分以外のすべての宛先に返信できます。本文を引用するかどうかを選択できます。
① [Menu][1]▶[3]～[4]

3 **クイック返信本文を選択**

メール作成<返信>
To docomotaro@△△.□□□…
Sub RE:明日のランチ🍴
Text
ＯＫです。
>明日のランチの待ち合わせ、11時にいつものところでいい？
67

受信メールの発信元
「RE:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）
クイック返信本文
引用文字「>」と受信メールの本文

・クイック返信本文を挿入しないときは「本文直接入力」を選択します。メール本文の入力画面が表示されます。

4 **メールを編集▶[📖]**

おしらせ

● 受信メール詳細画面では[📖]を押します。
● 受信メール一覧および詳細画面で[Menu]を押し、「返信／転送」→「返信」または「引用返信」を選択すると、メール返信引用設定の設定に関わらず、本文を引用するかどうかを選択できます。宛先が複数ある場合は、「全員へ返信」または「全員へ引用返信」も選択できます。
● 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
● 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に挿入されたメロディ）は返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
● 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。
● 複数の宛先に送られた受信メールに[📖]を押すかFOMA端末を開いて返信する場合は、操作する画面により宛先欄に入力されるメールアドレスが異なります。受信メール一覧から返信する場合は、発信元のメールアドレスが表示され、受信メール詳細画面から返信する場合は、発信元と、自分以外のすべての宛先のメールアドレスが入力されます。

ｉモードメールを他の宛先に転送する

ｉモードメール転送

・SMS も同様に転送できます。ｉモードメールはｉモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 **[✉][1]▶フォルダを選択**

2 **メールを選び[✉]**

メール作成<転送>
To
Sub FW:明日のランチ🍴
Text
明日のランチの待ち合わせ、11時にいつものところでいい？
54

「FW:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）
受信メールの本文

・添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されます。ただし、未取得、取得途中の添付ファイルは設定されません。

3 **メールを編集▶[📖]**

おしらせ

● 受信メール詳細画面では、[Menu]を押し、「返信／転送」→「転送」を選択します。

● 受信メールの添付ファイルのうち、メール添付やFOMA 端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
● 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に挿入されたメロディ）は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
● 受信したデコメールを転送した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。
● 本文中に挿入された画像の合計サイズが90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像を削除した旨のメッセージが表示されます。Ⓞを押すと、超えた分の画像が削除されてメール作成画面が表示されます。
● 2in1がデュアルモードのとき、FOMA端末に保存したBアドレス（Bナンバー）で受信したメールを転送すると、発信元がAアドレス（Aナンバー）のメールとして送信されます。

ｉモードメールから添付ファイルを表示・再生・保存する 添付ファイル表示・再生・保存

ｉモードメールに添付されているファイルは最大10個、合計2Mバイトまで受信し、取得できます。それを超える添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。
添付ファイルは合計100Kバイトまでは自動受信されます。自動受信できなかった添付ファイルは選択受信します。取得した添付ファイルを表示・再生したり、FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存できます。
- 最大保存件数☛P495

添付ファイルの種別／取得状況を確認する

1 **✉ 1 ▶ フォルダを選択 ▶ ファイルが添付されているｉモードメールを選択**

受信メール 13/ 16
07/07/10 13:51
docomo.taro.ΔΔ@doco…
見て見て
見て見て かわいいでしょ
photo.jpg 18.1KB

添付ファイルのマークとファイル名、ファイルサイズ
- 未取得、取得途中の場合、保存期限が表示されます。
- 本文中に挿入されたメロディではタイトルが表示されます。
- ｉアプリが起動できるリンク項目では、 とｉアプリの名前が表示されます。☛P280

- 取得済みの画像は自動表示されます（デコメールの添付ファイルは除きます）。
- 取得済みのメロディは自動再生されます。自動再生しない設定もできます。☛P257
- 取得済みの他の閲覧可能な添付ファイルは、ファイル名を選択して表示／再生できます。☛P241～P242
- 閲覧不可の添付ファイルは、FOMA端末へは保存できません。microSDメモリーカードへの保存（☛P242）、ｉモードメール転送（☛P239）はできます。
- 添付ファイルがｉモードセンターで削除された場合、受信メールの題名の下に［添付ファイル削除］と表示されます。

■ 添付ファイルマークの意味

ファイルの種別	取得状態					
	取得済み※1	取得済み※2	未取得	取得途中	取得不可	データ不正
画像						
動画／ｉモーション						
メロディ						
メロディ（本文中）			－	－	－	
トルカ						
PDFデータ						
スケジュール		－				
ブックマーク		－				
電話帳		－				
Word		－				
Excel		－				
PowerPoint		－				
閲覧不可ファイル		－				－

※１：メール添付やFOMA 端末外への出力可
※２：メール添付やFOMA 端末外への出力不可

選択受信添付ファイルを取得する

受信メールの未取得または取得途中の添付ファイルを取得します。
- 保存期限を過ぎたファイルは取得できません。

1 **メール詳細画面でファイル名を選択**

おしらせ

● 未取得または取得途中の添付ファイルを取得する際に、保存領域の空きが足りない場合、取得するファイルのサイズに応じて保護されていない既読メールが削除されますのでご注意ください。
● メール詳細画面でファイル名を選びMENUを押し、「添付ファイル」→「URL表示」を選択すると取得先を確認できます。

画像、動画／ｉモーション、トルカ、PDFデータを表示・再生・保存する

例 受信メールから保存するとき

1 メール詳細画面でファイル名を選び Menu 6 3

■ デコメール内に表示されている画像を保存する：Menu 4 4 ▶ 画像を選択
- デコメール内に挿入された画像では、表示名やファイル名などは表示されません。

■ 表示・再生する：ファイル名を選択
- 画像の場合、ファイル名を選択するごとに表示／非表示が切り替わります。
- 1Kバイトを超えるトルカまたは100Kバイトを超えるトルカ（詳細）は表示できません。

■ タイトルを確認する：ファイル名を選び Menu 6 2

2 各項目を設定
- 画像の場合、設定方法は「画像を取得する」の操作3と同じです。☞P206
- 動画／ｉモーションの場合、設定方法は「サイトからｉモーションを取得する」の操作3と同じです。☞P218
- PDFデータの場合、設定方法は「PDFデータをダウンロードする」の操作3と同じです。☞P207
- トルカの場合、登録先（FOMA端末またはmicroSDメモリーカード）を選択する画面が表示されます。トルカによっては、どちらか一方の登録先しか選択できない場合があります。
  - ・1Kバイトを超えるトルカや100Kバイトを超えるトルカ（詳細）はmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。

3 m
- 画像の場合は保存先を選択します。
- 保存先については「添付ファイルの保存先」を参照してください。☞P243

おしらせ
- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、microSDメモリーカード内のメール詳細画面からタイトルを確認する場合は、ファイル名を選び Menu を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
- 送信メールに添付したファイルも同様の操作で保存できます。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って削除してください。
  - 画像の場合、削除する前に画像一覧で m を押すと画像を、Menu を押すと画像の詳細情報を表示できます。
  - 動画／ｉモーションの場合、削除する前に動画／ｉモーション一覧で m を押すと動画／ｉモーションの再生、Menu を押すと詳細情報の表示ができます。
  - PDFデータの場合、削除する前にPDFデーター覧で m を押すとPDFデータの詳細情報を表示できます。
  - トルカの場合、削除する前にトルカ一覧で m を押すとトルカを表示できます。
- 画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像、動画／ｉモーションによっては正しく表示できない場合があります。
- 横352×縦288または横240×縦400を超える画像はフレーム候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×400以上の画像はスタンプ候補にできません。
- 画像が添付されている受信メールを表示したときは、添付された画像は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文中に挿入されている画像は自動的に表示されますが、添付された画像は自動的に表示されません。画像を表示するには、画像のファイル名を選択します。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。☞P473

メロディを再生・保存する

- 発信元が下記機種※1以外の場合、送られてきたメロディを正しく再生できない場合があります。
  ※1：D703i、D903i、D903iTV、D904i

例 受信メールから保存するとき

1 メール詳細画面でファイル名（タイトル）を選び Menu 6 2
- 100Kバイトを超えるメロディの場合、microSDメモリーカードに保存する旨のメッセージが表示されます。● を押してください。

■ 再生する：ファイル名（タイトル）を選択
- 途中で止める：クリア
- 100Kバイトを超えるメロディは再生できません。

■ タイトルを確認する（本文の後に添付されたメロディ）：ファイル名を選び Menu 6 5
- タイトルを確認する（本文中に挿入されたメロディ）：タイトルを選び Menu 6 4

■ データを文字として表示する：タイトルを選び[Menu][6][5]
- 本文の後に添付されたメロディではこの機能は利用できません。
- タイトル表示に戻す：データの先頭行を選択

2 表示名を入力(全角25文字(半角50文字)まで)▶[帳]
- 表示名の入力については「メロディをダウンロードする」の操作3と同じです。☛P207
- microSDメモリーカード挿入時は、[≶]を押すと保存先(FOMA端末／microSDメモリーカード)を切り替えられます。
- 保存先については「添付ファイルの保存先」を参照してください。☛P243

おしらせ
- データ表示時にメロディを再生・保存するにはメロディの先頭行を選び[Menu]を押し、「添付ファイル」→「再生」または「保存」を選択します。
- 送信メール詳細画面ではファイル名を選び[Menu]を押し、「添付ファイル」→「保存」を選択します。
- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、microSDメモリーカード内のメール詳細画面からタイトルを確認する場合は、ファイル名を選び[Menu]を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
- 送信メール、メールテンプレート、microSDメモリーカード内のメールの添付メロディも同様に再生できます。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って削除してください。削除する前にメロディ一覧で[帳]を押すとメロディの再生、[Menu]を押すと詳細情報の表示ができます。

スケジュール、ブックマーク、電話帳を表示・保存する

例 受信メールから保存するとき

1 メール詳細画面でファイル名を選択

■ 表示する：ファイル名を選び[Menu][6][1]
- 1ファイルに複数件のデータがある場合は表示できません。

■ ファイル名を確認する：ファイル名を選び[Menu][6][2]

2 [帳]
- ブックマークの場合、タイトルを入力します(全角12文字(半角24文字)まで)。
- microSDメモリーカード挿入時は、[≶]を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。
- 1ファイルに複数件のデータがある場合は、microSDメモリーカードにのみ保存できます。
- 保存先については「添付ファイルの保存先」を参照してください。☛P243

おしらせ
- 送信メール詳細画面からも同様の操作で表示・保存できます。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは保存できません。

Word、Excel、PowerPointのファイルを表示・保存する

例 受信メールから保存するとき

1 メール詳細画面でファイル名を選び[Menu][6][3]

■ 表示する：ファイル名を選択

■ ファイル名を確認する：ファイル名を選び[Menu][6][2]

2 表示名を入力(全角・半角を問わず36文字まで)▶[帳]
- microSDメモリーカード挿入時は、[≶]を押すと保存先(FOMA端末／microSDメモリーカード)を切り替えられます。
- 保存先については「添付ファイルの保存先」を参照してください。☛P243

おしらせ
- 送信メール詳細画面からも同様の操作で表示・保存できます。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って削除してください。

閲覧不可ファイルを保存する

受信／送信メールに添付されたFOMA端末で表示・再生できないファイル(閲覧不可ファイル)をmicroSDメモリーカードに保存します。

1 メール詳細画面でファイル名を選び[Menu][6][3]

■ ファイル名を確認する：ファイル名を選び[Menu][6][2]

2 「はい」
- 保存先については「添付ファイルの保存先」を参照してください。☛P243

添付ファイルを削除する　添付ファイル削除

- 本文中に挿入された画像やメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除できません。

例　受信メールに添付されている画像を削除するとき

1 メール詳細画面でファイル名を選び Menu 6 4

- 添付ファイルを一括削除する：Menu 6 5

2 「はい」

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

おしらせ

- 送信メール詳細画面では、添付ファイルを選び Menu を押し、「添付ファイル」→「削除」または「一括削除」を選択します。

添付ファイルの保存先

添付ファイルはファイル種別によって以下の場所に保存されます。データによってはmicroSDメモリーカードに保存できない場合があります。

ファイル種別	FOMA端末	microSD メモリーカード
画像※1	データBOXのマイピクチャ • 保存先フォルダを「ｉモード」「デコメピクチャ」またはアルバムから選択します。※2	データBOXのマイピクチャまたはその他の画像
動画／ｉモーション	データBOXのｉモーションの「ｉモード」フォルダ※3	データBOXの動画またはその他の動画
メロディ	データBOXのメロディの「ｉモード」フォルダ※3	データBOXのメロディ
トルカ	LifeKitのトルカ	トルカ
PDFデータ	データBOXのマイドキュメントの「ｉモード」フォルダ※3	マイドキュメント
スケジュール	ステーショナリーのスケジュール帳	PIMのスケジュール
ブックマーク	ｉモードのBookmark • フルブラウザのブックマークはフルブラウザのBookmarkに保存されます。	PIMのBookmark
電話帳	電話帳一覧	PIMの電話帳
Word、Excel、PowerPoint	データBOXのその他 • フォルダが複数ある場合は保存先フォルダを選択します。	その他
閲覧不可ファイル	－	その他

※１：デコメ絵文字として利用できる画像はFOMA端末、microSDメモリーカードともに「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
※２：microSDメモリーカードからコピーしたメールやデータ通信で受信したメールの場合は「データ交換」「デコメピクチャ」またはアルバムから選択します。
※３：microSDメモリーカードからコピーしたメールやデータ通信で受信したメールの場合は「データ交換」フォルダに保存されます。

Menu 11／Menu 14／Menu 15

受信／送信メールBOXのメールを表示する　受信メールBOX／送信メールBOX

- 最大保存件数☛P495
- 送信せずに保存したｉモードメールやSMS、送信に失敗したｉモードメールやSMS、圏外自動送信待ちのｉモードメールは「未送信メール」のフォルダに保存されます。

1 ✉ ▶ 1／4／5

2 フォルダを選択

メールの一覧が表示されます。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、対応するｉアプリが起動します。
- ｉアプリを起動せずにフォルダ内のメールを表示する：フォルダを選び Menu 1

3 メールを選択

- メールの便利な機能については☛P249
- 未送信メール一覧からメールを選択すると、メール作成画面が表示されます。

受信メールフォルダ一覧画面の見かた

受信メール 1/1　保存領域の使用率
1 受信BOX
2 家族
3 友達1
4 友達2
5 会社

- (グレー)：メールなし
- (黄)：未読メールなし
- ：メールなし／未読メールなし（プライバシーON）
- ：メールなし／未読メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
- ：未読メールあり
- ：未読メールあり（プライバシーON）
- ：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

送信／未送信メールフォルダ一覧画面の見かた

送信メール 1/1
1 送信BOX
2 家族
3 友達1
4 友達2
5 会社

- (グレー)：メールなし
- (黄)：メールあり
- ：プライバシーON
- ：メール連動型ｉアプリ

受信メール一覧画面の見かた

受信BOX 1/3
16:54 docomotaro@△…
明日のランチ
14:51 docomo.taro.…
ご無沙汰してます。
12:45 ドコモ太郎
ビデオ撮りました
10:24 docomotaro@△…
新曲送ります♪その2
10:14 docomotaro@△…
新曲送ります♪
07/09 docomo.taro.…
おはよう

1 受信日時※1、発信元
2 題名※2（SMSでは本文の先頭）

※1：海外滞在時（タイムゾーンがGMT+9:00の場合を除く）に受信したメールには、受信日時の後にが表示される場合があります。

※2：2in1がデュアルモードのときは、Bアドレス（Bナンバー）で受信したメールには題名の先頭にBが表示されます。

1
- ：未読
- ：既読
- ：既読（返信済み）
- ：保護
- ：保護（返信済み）
- ：未読（返信不可）
- ：既読（返信不可）
- ：既読（転送済み）
- ：保護（返信不可）
- ：保護（転送済み）

・返信済み／転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

2
- ：画像あり
- ：メロディあり
- ：動画／ｉモーションあり
- ：トルカあり
- ：PDFデータあり
- ：スケジュールあり
- ：ブックマークあり
- ：電話帳あり
- ：Wordあり
- ：Excelあり
- ：PowerPointあり
- ：閲覧不可の添付あり
- ：複数の添付あり
- ：SMS
- ：送達通知／着信通知
- ：ｉアプリToあり
- ：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

・メール一覧表示設定を「1行表示」に設定しているときは、添付ファイルがあると、題名の先頭またはBの前にが表示されます。
・ｉアプリToありのときは、他の添付を示すマークは表示されません。
・発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
・海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「+」が表示されます。
・受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
・受信したｉモードメールによっては題名が表示されない場合があります。
・データ異常のSMSにはが表示され、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）となります。発信元は表示されません。

送信／未送信メール一覧画面の見かた

送信／保存日時※1、宛先
題名（SMSでは本文の先頭）

※1：海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に送信したメールには、送信日時の後にが表示される場合があります。

❶ マークなし：未保護　　：保護
：圏内自動送信
：保護（圏内自動送信）
：圏内自動送信失敗
：保護（圏内自動送信失敗）
：画像あり　　：メロディあり
：動画／iモーションあり
：トルカあり　　：PDFデータあり
：スケジュールあり
：ブックマークあり　　：電話帳あり
：Wordあり　　：Excelあり
：PowerPointあり
：閲覧不可の添付あり
：複数の添付あり
：SMS
：iアプリToあり
：メール連動型iアプリで利用されるメール

- メール一覧表示設定を「1行表示」に設定しているときは、添付ファイルがあると、送信メール一覧では題名の先頭にが表示されます。
- iアプリ Toありのときは、他の添付を示すマークは表示されません。
- 送信／保存日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。

メール詳細画面の見かた

■ 受信メール詳細画面

宛先マーク※1、状態マーク、添付ファイルマーク、SMSマーク

※1：TO、CC、BCCのいずれで送られてきたのかを示します（iモードメールの場合）。

❶ ：受信日時　　：発信元
：宛先（TO）（iモードメールのみ）
：宛先（CC）（iモードメールのみ）
：題名（SMSは「受信SMS」「SMS送達通知」「留守番　着信通知」のいずれか）
：発信元（返信不可）
：宛先（TO）（返信不可）（iモードメールのみ）
：宛先（CC）（返信不可）（iモードメールのみ）

- 海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に受信したメールには、受信日時の後にが表示される場合があります。
- データ異常のSMSにはが表示されます。
- 2in1がデュアルモードのときは、Bアドレス（Bナンバー）で受信したメールには受信日時の後またはの後にBが表示されます。

■ 送信メール詳細画面

状態マーク、添付ファイルマーク、SMSマーク

❶ ：送信日時　　：宛先（TO）
：宛先（CC）（iモードメールのみ）
：宛先（BCC）（iモードメールのみ）
：題名（SMSは「送信SMS」）

- 海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に送信したメールには、送信日時の後にが表示される場合があります。

おしらせ

- 表示できない文字は空白などに置き換わります。
- パソコンから装飾されたメールを受信した場合、パソコンと同じ動作にならない場合があります。
- 本文中に挿入されたメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は1件のみ有効です。
  複数添付されていると無効になります。このとき添付ファイルマークには ? が表示されます。
- ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。SMSでは、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。電話帳との照合については「名前の表示について」を参照してください。☛P102
- 詳細画面では、受信したSMSおよび送達通知、着信通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項目	SMS	送達通知	着信通知
題名	受信SMS	SMS送達通知	留守番 着信通知
発信元	電話番号	SMS Center	DoCoMo SMS

  - 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
    「非通知設定」：非通知に設定して送られてきた
    「公衆電話」　：公衆電話から送られてきた
    「通知不可能」：発信者番号を通知できない方法で送られてきた
- 添付ファイル（☛P240）やｉアプリが起動できるリンク項目（☛P280）がある場合、詳細画面にマークと添付ファイル名などが表示されます。

フォルダを作成・削除する

フォルダを作成する

- 受信メールでは「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個作成できます。
- 送信メール、未送信メールでは「送信BOX」フォルダまたは「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大20個作成できます。
- 「受信 BOX」フォルダ、「送信 BOX」フォルダ、「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダのフォルダ設定は変更できません。

1 [✉]▶[1]／[4]／[5]

2 [Menu][1]

■ フォルダ設定を変更する：フォルダを選び[Menu][3]

■ フォルダの並び順を変更する：フォルダを選び[Menu]▶[7]〜[8]

3 各項目を設定▶[📖]

フォルダ名：
　メールのフォルダ名を設定します（全角8文字（半角16文字）まで）。

プライバシー：
　「ON」に設定すると、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）はフォルダを表示しません。

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「未送信BOX」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してから削除してください。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。対応するｉアプリがないときはフォルダを削除できますが、対応するｉアプリにより作成されたフォルダがすべて削除されます。

1 [✉]▶[1]／[4]／[5]

2 フォルダを選び[Menu][2]

3 端末暗証番号を入力▶「はい」

メールの件数を確認する　フォルダ内メール件数

受信メール、送信メール、未送信メールの保存件数をフォルダごとに確認します。

1 [✉]▶[1]／[4]／[5]

2 フォルダを選び[Menu][5]

おしらせ

- メール一覧では[Menu]を押し、「表示」→「メール件数確認」を選択します。

メールアドレスを確認する　アドレス表示

メールアドレスが途中までしか表示されていない場合や、電話帳に登録されていて名前が表示されている場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。

1 [✉]▶[1]／[5]▶**フォルダを選択▶メールを選択**

2 発信元または宛先を選択

おしらせ

- 複数のメールアドレスをまとめて確認するときは、メール詳細画面で[Menu]を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。受信／送信／未送信メール一覧では、アドレスを表示するメールを選び[Menu]を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。送信メール、未送信メールでは全宛先のメールアドレスが、受信メールでは発信元のほか、同報送信された宛先（自分以外）が表示されます（「TO:」「CC:」も表示されます）。

受信／送信メールをフォルダに移動する　メール移動

メールを別のフォルダに移動します。

例　1件移動するとき

1 [✉]▶[1]／[4]／[5]▶**フォルダを選択**

2 **メールを選び[Menu][4][1][1]**

■ 複数移動する：[Menu][4][1][2]▶メールを選択▶[📖]

■ フォルダ内のすべての受信メールを移動する：[Menu][4][1][3]

3 [●]▶**移動先フォルダを選択**▶**「はい」**

おしらせ

- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。
- 圏内自動送信を設定したｉモードメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動すると、圏内自動送信の設定は解除されます。

メールを検索する　メール検索

受信メールや送信メールを、発信者・宛先または受信日・送信日を指定して検索します。

- 受信メールでは発信者または受信日を指定して検索します。
- 送信メールでは宛先または送信日を指定して検索します。

例　発信者・宛先で検索するとき

1 [✉]▶[1]／[5]

2 [Menu][9][1]▶**検索する電話帳を選択**

- 受信日または送信日で検索する：[Menu][9][2]▶日付を選択
- 電話帳や日付を選ぶと、メール一覧表示設定で「1行表示」に設定している場合は該当するメールの先頭4件が、「2行表示」に設定している場合は該当するメールの先頭2件が表示されます。
  - ・[●]を押すと全メールが一覧表示されます。
  - ・送信メールを宛先で検索する場合、2件目以降の宛先に電話帳の相手が設定されていても検索されます（選択中の画面には1件目の宛先が表示されます）。
- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードにすると表示されます。

3 **表示するメールを選択**

- 検索結果画面からは、メール一覧と同様の操作ができます。
- メール検索を解除する：[Menu][0]

おしらせ

- 受信メール一覧、送信メール一覧で[Menu]を押し、「メール検索」→「電話帳でメール検索」または「カレンダーでメール検索」を選択しても同様に操作できます。この場合はフォルダ内のメールだけが検索されます。

受信／送信メールを並べ替える　ソート

受信メールや送信メールの一覧の並び順を一時的に変更します。表示を終了すると、並び順は日付順に戻ります。

- 日付順、送信者順（送信メールでは宛先順）、タイトル順、メールサイズ順が選択できます。
- 未送信メールやFOMAカード内のSMSの並び順は変更できません。

お買い上げ時　日付順

1 [✉]▶[1]／[5]▶**フォルダを選択**

2 **受信メールでは[Menu][7][4]／送信メールでは[Menu][5]**▶[1]〜[4]

おしらせ

● 送信者順または宛先順の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並びます。
● タイトル順の場合、全角／半角の文字が混在していると、50音順と一致しない場合があります。
● メールサイズ順の場合、添付ファイルを含めサイズの大きいものから順に並びます。
● 同じフォルダ内にSMSが含まれていると、一覧画面では SMS はメッセージの本文の先頭が表示されるため、タイトル順に並べた場合、50音順と一致しません。

受信メールの既読／未読を変更する

• 保護されている受信メールの既読／未読は変更できません。

例 既読メールを1件未読にするとき

1 ✉ 1 ▶フォルダを選択

2 メールを選び Menu 5 2

■ 未読メールを1件既読にする：メールを選び Menu 5 1

■ 既読メールを複数選択して未読にする：Menu 5 4 ▶メールを選択▶ 📖 ▶「はい」

■ 未読メールを複数選択して既読にする：Menu 5 3 ▶メールを選択▶ 📖 ▶「はい」

■ フォルダ内のメールを全件未読にする：Menu 5 6 ▶「はい」

■ フォルダ内のメールを全件既読にする：Menu 5 5 ▶「はい」

受信／送信メールを保護する　メール保護

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防ぐことができます。

• 最大保護件数☛P495
• 未読メールは保護できません。

例 1件保護するとき

1 ✉ ▶ 1 ／ 4 ／ 5 ▶フォルダを選択

2 メールを選び Menu 3 1

メールが保護され、マークが次のいずれかに変わります。

受信メール：（既読）　（返信不可）　（返信済み）　（転送済み）

送信／未送信メール：

• 解除する：メールを選び Menu 3 4

■ 複数保護する：Menu 3 2 ▶メールを選択▶ 📖

■ フォルダ内の受信メールを全件保護する：Menu 3 3

■ 複数解除する：Menu 3 5 ▶メールを選択▶ 📖

■ 全件解除する：Menu 3 6

おしらせ

● メール詳細画面では Menu を押し、「保護」／「保護解除」を選択します。
● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。
● 「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

受信／送信メールを削除する　メール削除

受信メール、送信メール、未送信メールから不要なメールを削除します。

• 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、条件に該当していても保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

受信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細
メール全件	○※2	×	×
フォルダ内-既読	○	○※3	×
フォルダ内-全件	○	○※3	×
フォルダ内-7日経過※1	○	○※3	×
フォルダ内-14日経過※1	○	○※3	×
フォルダ内-30日経過※1	○	○※3	×
1件削除	×	○	○
複数削除	×	○	×
全検索結果削除	×	○※4	×

※ 1：メール受信後の経過日数によって削除します。
※ 2：プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）、非表示のフォルダ内のメールも削除されます。
※ 3：メール検索結果の一覧からは実行できません。
※ 4：メール検索結果の一覧からのみ実行できます。
• まとめて削除する場合、条件に該当する未読メールも削除されます。

例　1件削除するとき

1 ✉ 1

■ メールをすべて削除する：Menu 4 6 ▶端末暗証番号を入力▶操作4に進む

2 フォルダを選択

3 受信メールを選びMenu 2 1

■ 複数削除する：Menu 2 2 ▶メールを選択▶ 📖

■ フォルダ内の既読メールを削除する：Menu 2 3

■ フォルダ内のメールをすべて削除する：Menu 2 4 ▶端末暗証番号を入力

■ 受信後の経過日数によって削除する：Menu 2 ▶ 5 〜 7

4 「はい」

おしらせ

- フォルダ一覧ではMenuを押し、「メール削除」を選択します。
- メール詳細画面ではMenuを押し、「削除」を選択します。
- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

送信／未送信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細（送信メール）
メール全件	○※2	×	×
フォルダ内-全件	○	×	×
全件削除※1	×	○※3	×
1件削除	×	○	○
複数削除	×	○	×
全検索結果削除	×	○※4	×

※1：フォルダ内のメールをすべて削除します。
※2：プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）、非表示のフォルダ内のメールも削除されます。
※3：送信メール検索結果の一覧からは実行できません。
※4：送信メール検索結果の一覧からのみ実行できます。

例　1件削除するとき

1 ✉ ▶ 4 〜 5

■ メールをすべて削除する：Menu 4 2 ▶端末暗証番号を入力▶操作4に進む

2 フォルダを選択

3 メールを選びMenu 2 1

■ 複数削除する：Menu 2 2 ▶メールを選択▶ 📖

■ フォルダ内の送信メールをすべて削除する：Menu 2 3 ▶端末暗証番号を入力

4 「はい」

おしらせ

- フォルダ一覧ではMenuを押し、「メール削除」を選択します。
- メール詳細画面ではMenuを押し、「削除」を選択します。

メールの便利な機能

本文中の電話番号、メールアドレス、URLから、音声電話／テレビ電話／プッシュトークの発信（Phone To／AV Phone To）、iモードメールの作成（Mail To）、サイトやインターネットホームページへの接続（Web To）ができます。また、本文中の文字をコピーしたり、電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録することもできます。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

- 操作方法はサイトからのPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toと同じです。☞P210
- パソコンなどから受信したメールでは本機能を利用できないことがあります。
- 2in1がBモードのときは、Mail To機能は利用できません。

本文などをコピーする

iモードメール、SMS、メールテンプレート中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- FOMAカード内のSMSの場合、本文コピーと宛先コピー、発信元コピーができます。
- デコメールの場合、メールの本文や署名以外には装飾情報はコピーされず、テキストのみコピーされます。

- コピーした文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

例　受信メール詳細画面からコピーするとき

1 受信メール詳細画面を表示

- 選択項目コピーの場合は、コピーする項目を選びます。

2 Menu 2

- メールテンプレートを表示しているときはMenu 3を押します。

3 コピー方法を選択

本文コピー：
本文中の指定した範囲の文字をコピーします。
題名コピー：題名をコピーします。
選択項目コピー：
カーソルを合わせている項目をコピーします。

- 本文コピーの場合はコピーする範囲を指定します。指定方法については☛P210「URLをコピーする」操作2

4 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

おしらせ

- メールにDate To形式の本文が含まれている場合は、いったんメモ帳に貼り付けて保存するとスケジュール登録できます。

受信／送信メールから電話をかける　電話発信

受信メールの送信者や送信メールの宛先に電話をかけることができます。

- 電話番号とメールアドレス（相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合を除く）を電話帳に登録しておく必要があります。

例　受信メールから電話をかけるとき

1 受信メール一覧を表示

2 メールを選びMenu 6

- 受信メール／送信メール詳細画面では電話をかける相手（発信者／宛先）を選びMenu 7を押します。
- 同報アドレスがあるときはメールアドレス選択画面が表示されます。電話をかけるメールアドレスを選択してください。

3 発信条件を設定

4 Menu

- 詳細画面から操作したときはMenuを押し「はい」を選択します。

電話番号やアドレス、URLを電話帳に登録する

iモードメール、SMS中の電話番号、メールアドレス、URLを電話帳に登録できます。

例　受信メール詳細画面から新規登録するとき

1 メールを表示▶項目を選ぶ

- 選べない項目は登録できません。

2 Menu 4 1

- 登録済みの電話帳データに追加する：
Menu 4 2
- 以降の操作は「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」の操作3と同じです。☛P210

おしらせ

- 送信メール詳細画面、FOMAカード内のSMS詳細画面、microSDメモリーカード内のメール詳細画面ではMenuを押し、「登録」を選択します。
- デコメールからは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLをブックマークに登録する

iモードメール、SMSの本文中にあるURLをブックマークに登録できます。

例　受信メール詳細画面からブックマーク登録するとき

1 メールを表示

2 URLを選びMenu 4 3

3 フォルダを選択

- 以降の操作は「ブックマークに登録する」の操作2と同じです。☛P203

おしらせ

- デコメールからは登録できない場合があります。

メールをお預かりセンターに保存する
電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用して、iモードメールやSMSをお預かりセンターに保存できます。
- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

メールを保存する
- 1件あたりのファイル容量が、10000バイトを超えるメールは保存できません。
- お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。☞P119

1 **[メール]▶[1]／[4]／[5]▶フォルダを選択**

2 **受信メール、送信メールでは[Menu][4][5]／未送信メールでは[Menu][4][3]▶メールを選択▶[電話帳]**
- 最大10件選択できます。
- SMS送達通知は保存できません。

3 **「はい」▶端末暗証番号を入力**
選択したメールがお預かりセンターに保存されます。保存が完了すると、実行結果が表示されます。
- 実行結果は約5秒後に消え、メール一覧に戻ります。早く一覧に戻すには[決定]を押します。

おしらせ
● 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

メールを復元する
お預かりセンターに保存されているメールを、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存します。詳細は『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 復元したファイルは保護されます。ただし、次の場合は保護されません。
  - ・お預かりセンターに保存されているメールが未読だった場合
  - ・FOMA端末に保存されているメールの保護件数が最大保護件数に達している場合

メールの履歴を利用する
メール受信履歴／メール送信履歴

受信／送信したメールの履歴を記録しておく機能です。履歴を呼び出して、iモードメール／SMSを作成したり音声電話／テレビ電話／プッシュトークを発信できます。
- 複数の宛先に送信した場合、宛先ごとにメール送信履歴に記録されます。
- 同じ宛先に送信した場合は、最新の1件のみがメール送信履歴に記録されます。
- 返信不可の受信メールの履歴は記録されません。
- それぞれ最大30件記録します。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 2in1をご契約の場合、受信履歴にはAアドレス（Aナンバー）最大30件、Bアドレス（Bナンバー）最大30件の合計60件まで記録されます。Aモードのときは Aアドレス（Aナンバー）の履歴のみ、BモードのときはBアドレス（Bナンバー）の履歴のみ表示されます。

1 **[Menu][4][8]▶[1]～[2]**

2 **履歴を選ぶ**
- 履歴を選択すると履歴の詳細画面が表示されます。

3 **実行する操作のキーを押す**
- 履歴の詳細画面からも同様に操作できます。

■ **iモードメールを作成する：[メール]**
メール作成画面が表示され、宛先欄に以下のように設定されます。
- 履歴がiモードメールの場合、発信元／宛先のメールアドレスが設定されます。
- 履歴がSMSの場合、発信元または宛先の電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されているときにメールアドレスが設定されます。

■ **SMSを作成する：[メール]（1秒以上）**
SMS作成画面が表示され、宛先欄に以下のように設定されます。
- 履歴がSMSの場合、発信元または宛先の電話番号が設定されます。
- 履歴がiモードメールの場合、発信元／宛先のメールアドレスが電話帳に登録されていて、その電話帳に電話番号が登録されているときに電話番号が設定されます。

■ **音声電話をかける：[発信]**
- [発信]を1秒以上押すと、スピーカーホン機能を利用した発信になります。

■ テレビ電話をかける：[テレビ電話キー]
- [テレビ電話キー]を1秒以上押すと、スピーカーホン機能を利用した発信になります。

■ プッシュトークを発信する：[P]
- [P]を1秒以上押すと、スピーカーホン機能を利用した発信になります。

■ 発信オプションを利用する：[Menu][3]
発信オプションの画面が表示されます。以降の操作は「条件を設定して電話をかける」の操作2以降と同じです。☛P61

■ 電話帳に登録する：[Menu]▶新規登録するときは[4]、登録済みの電話帳データに追加するときは[5]
- 以降の操作は「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」の操作3と同じです。☛P210
- iモードメールではメールアドレスが、SMSでは電話番号が登録されます。

■ 履歴の詳細画面に画像を表示させるかどうかを設定する：履歴の詳細画面で[Menu][9]▶[1]～[3]
- 詳しくは☛P113

おしらせ

- メール受信履歴は[←]▶[□]、メール送信履歴は[→]▶[□]でも表示できます。
- プライバシー「OFF」のフォルダに自動的に振り分けられたメールを、プライバシー「ON」のフォルダに移動させて、プライバシーモード（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に設定しても、メール履歴には表示されます。逆に、プライバシー「ON」のフォルダに自動的に振り分けられたメールを、プライバシー「OFF」のフォルダに移動させても、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）、メール履歴には表示されません。
- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークを発信したり、発信オプションを利用する場合の電話番号は、履歴がiモードメールかSMSかによって以下のようになります。
  - SMSの場合、履歴の電話番号に発信されます。
  - iモードメールの場合、発信元／宛先のメールアドレスが電話帳に登録されていて、その電話帳に電話番号が登録されているとき発信されます。

メール受信／送信履歴一覧画面の見かた

■ 履歴の一覧画面の見かた

メール受信履歴 1/3
07/10(火)18:39
携帯春子
07/10(火)18:12
090XXXXXXXX
07/10(火)16:01
携帯春子
07/10(火)13:59
docomo.taro.△△@doco…
07/10(火)12:16
携帯夏子
07/09(月)10:10
携帯冬子

受信／送信日時※1
履歴の種類のマーク※2
発信元／宛先のメールアドレス（SMS では電話番号）または名前※3
電話帳に登録されているとき表示されます。

※1：海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に受信／送信したメールの履歴には、日時の後に[マーク]が表示される場合があります。
※2：2in1 がデュアルモードのときは、Bアドレス（Bナンバー）の受信履歴には種類のマークの後に[B]が表示されます。
※3：メールアドレスまたは電話番号が電話帳に登録されている場合

■ 履歴の詳細画面の見かた

メール受信履歴 1/15
07/10(火) 18:39
携帯春子
docomotaro@△△.□□□.co.jp

受信／送信日時※1
履歴の種類のマーク※2
名前※3、画像※4
発信元／宛先のメールアドレス（SMSでは電話番号）

※1：海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に受信／送信したメールの履歴には、日時の後に[マーク]が表示される場合があります。
※2：2in1 がデュアルモードのときは、B アドレス（Bナンバー）の受信履歴には種類のマークの後に[B]が表示されます。
※3：発信元／宛先のメールアドレス（SMS では電話番号）が電話帳に登録されている場合
※4：電話帳に登録されている場合

- メール受信履歴一覧または詳細画面で、[Menu]を押し「メール送信履歴」を選択するとメール送信履歴一覧が表示されます。
- メール送信履歴一覧または詳細画面で、[Menu]を押し「メール受信履歴」を選択するとメール受信履歴一覧が表示されます。
- メール受信履歴一覧または詳細画面で、[□]を押すと電話の着信履歴一覧が表示されます。
- メール送信履歴一覧または詳細画面で、[□]を押すとリダイヤル一覧が表示されます。

メールの履歴を削除する　メール履歴削除

1 [Menu][4][8]▶[1]～[2]

2 履歴を選び[Menu][6][1]

■ 複数削除する：[Menu][6][2]▶履歴を選択▶[□]

■ すべて削除する：Menu 6 3 ▶ 端末暗証番号を入力

3 「はい」

おしらせ

- メール履歴詳細画面ではMenuを押し、「削除」を選択します。
- メール受信／送信履歴を削除しても、受信／送信メールは削除されません。
- 受信／送信メールを削除しても、メール受信／送信履歴は削除されません。

FOMA端末のメール機能を設定する
メール設定

Menu 193

メールを自動的にフォルダに振り分ける
メール振り分け設定

受信／送信したｉモードメールやSMSに振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。

- 受信メール、送信メールの振り分け条件はそれぞれ30件登録できます。

振り分け条件を設定する

- 振り分け条件を設定したり実行するには、受信振り分け設定／送信振り分け設定の自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。お買い上げ時は「ON」に設定されています。☛P254
- 条件設定後に受信／送信するメールに対して有効です。受信／送信済みのメールは振り分けられません。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできます。
- メール連動型ｉアプリのメールは、該当するメール連動型ｉアプリ用のフォルダがあると、振り分け条件の設定に関わらず、そのフォルダに保存されます。

例 受信メールの振り分け条件を設定するとき

1 ✉ 9 3

2 1

- 送信メールの振り分け条件を設定する：2

受信振り分け一覧 1/1
振り分け：ON
01 電話帳登録なし
02 docomotaro@ΔΔ.□□□…
03 報告書

自動振り分け設定のON／OFF
登録済みの振り分け条件（優先順位順に表示）

❶ To：送信メールアドレス
From：受信メールアドレス
No.：メモリ番号
：電話帳登録なし
：題名
：グループ
：条件なし

3 Menu 1 ▶ 振り分け条件を指定

振り分け条件の指定
1 メールアドレス
2 題名
3 メモリ番号
4 グループ
5 電話帳登録なし
6 条件なし

振り分け条件の指定画面

■ **メールアドレスを指定する：**
指定したメールアドレスで受信／送信したメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角50文字まで）。アドレスの一部の文字では振り分けられません。電話番号を指定すると、SMSも振り分けできます。
① 1 4 ▶ **メールアドレスを入力** ▶ 📖
- メール送信履歴から選択する：1 1 ▶ 履歴を選択
- メール受信履歴から選択する：1 2 ▶ 履歴を選択
- 電話帳に登録されているメールアドレスを指定する：1 3 ▶ 相手を選択

■ **題名を指定する：**
指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角15文字（半角30文字）まで）。SMSは題名では振り分けできません。
① 2 ▶ **題名を入力** ▶ 📖

■ **メモリ番号を指定する：**
FOMA端末電話帳の指定したメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。
① 3 ▶ **メモリ番号を入力** ▶ 📖
② **電話帳データを選択**

■ **グループを指定する：4 ▶ 1～2 ▶ グループを選択**
グループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

■ **電話帳登録なしを指定する：5**
電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

■ 条件なしを指定する：6
条件を設定せずにすべてのメールを振り分けます。

4 振り分け先フォルダを選択

振り分け先の指定 1/1
1 受信BOX
2 家族
3 友達1
4 友達2
5 会社

• メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがｉアプリで利用される旨のメッセージが表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

5 優先順位を指定

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

優先順位の指定 1/1
01 電話帳登録なし
02 docomotaro@ΔΔ.□□□…
03 報告書
［最後に追加する］

• 1件目の条件を登録する：［最後に追加する］
• 最後に追加する：［最後に追加する］
• 優先順位の高い条件から順に並べます。
• 登録済みの条件を変更したときは［最後に追加する］は、［最後に移動する］と表示されます。

おしらせ

● 発信元の端末がｉモード端末でメールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるため、振り分け設定に「携帯電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。
● FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳に同一のメールアドレスが登録されている場合、FOMA端末電話帳のメールアドレスを優先して振り分けるため、振り分けの優先度と一致しない場合があります。
● 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を２件設定した場合、次のように振り分けられます。
①優先順位1の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。
②優先順位2の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダに保存されます。

振り分け条件を確認・変更する

1 ✉ 9 3 ▶ 1 〜 2

2 振り分け条件を選択

• 条件を確認中でも振り分け条件の変更、削除ができます。

■ 登録済みの振り分け条件を変更する：
①振り分け条件を選び Menu 2 ▶ 振り分け条件を指定
• 振り分け条件の指定は「振り分け条件を設定する」の操作3以降と同じです。
☛P253
②「変更する」

■ 優先順位を変更する：振り分け条件を選び Menu 5 ▶ 位置を選択
• 選択した位置の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、［最後に移動する］を選択します。

■ 条件を削除する：振り分け条件を選び Menu 3 ▶「はい」
• 条件をすべて削除する：Menu 4 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

自動的に振り分けるかどうかを設定する

• 「ON」に設定しても、振り分け条件を設定しないと振り分けられません。

お買い上げ時 すべてON

1 ✉ 9 3 ▶ 1 〜 2 ▶ Menu 6 ▶ 1 〜 2

Menu 194

メールの署名を登録する 署名設定

ｉモードメールやSMSの本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。

署名を編集し登録する

• 署名は装飾できます。装飾方法はデコメールの場合と同じです。装飾すると、その分入力できる文字数が減ります。
• 装飾した署名が挿入されたメールはデコメールになります。

お買い上げ時 未登録

1 ✉ 9 4 ▶ 2 ▶ ●

2 署名を入力（全角 4999 文字（半角 9998文字）まで）▶ 📖

• 全角5000文字（半角10000文字）まで入力できますが、署名の挿入時には改行されるため、改行（全角1文字（半角2文字））分少なくしてください。

署名を自動挿入するかどうかを設定する

・「する」に設定しても、署名が登録されていないと挿入できません。

お買い上げ時 する

1 ✉ 9 4 ▶ 1 ▶ 1 〜 2

おしらせ

● 署名も本文の文字数に含まれます。本文に署名の文字数と改行分の空きがないと、署名は挿入できません。
● 自動挿入を「する」に設定すると、返信／転送時も本文の最後に署名が挿入されます。ただし、署名に設定した背景色は、ｉモードメールを新規作成する場合、またはｉモードメールに本文を引用せずに返信する場合だけ反映されます。
● 署名が登録してあるときは、メールの本文入力時にMenuを押し「定型文・区点・引用」→「署名挿入」を選択すると挿入できます。ただし、署名に設定した背景色はｉモードメールの場合で、本文が未入力の状態のときだけ反映されます。
● 以下の場合、署名はSMSに挿入できません。
  ・署名を挿入すると本文の文字数が全角・半角を問わず70文字を超える場合
  ・署名を装飾した場合
  ・SMS設定で送信文字種を「英語」に設定し、新規にSMSを作成する場合
  ・送信文字種が「英語」に設定されたSMSに返信、転送する場合
● 署名に電話番号やメールアドレス、URLを入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手がPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を使うことができます。

Menu 164／Menu 2632／✚632

センター問い合わせの内容を設定する

ｉモード問合せ設定

・お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに☑が付いています。問い合わせをしない場合は☐にしてください。

お買い上げ時 すべて問い合わせる

1 ✉ 6 4 ▶ **問い合わせ項目を選択** ▶ 📖

Menu 1972

メールを選択して受信できるようにする

メール選択受信設定

・「ON」に設定すると選択受信でき、「OFF」に設定すると自動受信します。

お買い上げ時 OFF

1 ✉ 9 7 2 ▶ 1 〜 2
  ・「ON」に設定するとメールを自動的に受信できない旨のメッセージが表示されます。◉を押してください。
  ・「ON」に設定するとチャットメールは利用できません。

Menu 196

宛先をメールグループに登録する

メールグループ設定

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメール作成時に簡単な操作で複数の宛先が設定できます。

・メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 ✉ 9 6

2 📖
  ■ メールグループ名を編集する：メールグループを選び Menu 2
  ■ メールグループをコピーする：メールグループを選び Menu 3
  ■ メールグループを1件削除する：メールグループを選び Menu 4 1 ▶「はい」
  ■ メールグループを全件削除する：Menu 4 2 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」

3 **メールグループ名を入力（全角8文字（半角16文字）まで）▶ 📖**
  ・続けて別のメールグループを登録する：📖

4 **メールグループを選択**

5 **✉ ▶ 各項目を設定**

宛先種別：
TO、CC、BCCを設定します。☞P228

アドレス：
メールアドレスを入力します（半角50文字まで）。
・メール送信履歴から選択する：Menu 1 ▶ 履歴を選択

- メール受信履歴から選択する：[Menu][2]▶履歴を選択
- 電話帳から選択する：[Menu][3]▶相手を選択

6 [m]

- 他のメールアドレスを追加する：操作5から繰り返す

■ **メールアドレスを編集する：メールアドレス（または名前）を選択▶メールアドレスを編集▶[m]**

■ **メールアドレスを1件削除する：メールアドレス（または名前）を選び[Menu][2]▶「はい」**

■ **メールアドレスの詳細を表示する：[Menu][3]▶メールアドレスの確認が終わったら(▼)**

7 [m]

- メールグループを選び[✉]を押すとｉモードメールを作成できます。

Menu 1951

返信時に本文を引用するかどうかを設定する
メール返信引用設定

ｉモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

お買い上げ時　引用：する　引用文字：>（半角）

1 [✉][9][5][1]

2 **各項目を設定▶[m]**

引用：
メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。

引用文字：
全角1文字（半角2文字）まで入力できます。
- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

Menu 1952

返信時にクイック返信本文を挿入するかどうかを設定する
クイック返信設定

- SMSにはクイック返信本文は挿入できません。
- 「ON」に設定しても、クイック返信本文が登録されていないと挿入できません。

お買い上げ時　ON

1 [✉][9][5][2]▶[1]〜[2]

Menu 1953

クイック返信時に挿入する本文を登録する
クイック返信本文登録

- 最大5件登録できます。
- お買い上げ時の状態から新たに本文を登録するには、登録されている本文を選択して修正するか、不要な本文を削除してください。

お買い上げ時　OKです。　NGです。　ありがとう！
ゴメンなさい！　後ほど連絡します。

1 [✉][9][5][3]▶**本文を選択**

2 **本文を入力（全角20文字（半角40文字）まで）▶[m]▶「はい」**

- 改行はできません。

■ **登録されている本文を確認する：クイック返信本文一覧で本文を選び[m]**

■ **登録されている本文を削除する：クイック返信本文一覧で本文を選び[Menu][1]▶「はい」**

■ **新たに本文を登録する：クイック返信本文一覧で「<新しい返信本文>」▶本文を入力▶[m]**

■ **お買い上げ時の内容に戻す：クイック返信本文一覧で[Menu][2]▶端末暗証番号を入力▶「はい」**

Menu 1975

メール一覧の表示形式を設定する
メール一覧表示設定

受信メールや送信メールの一覧の表示形式を設定します。

- 未送信メールやFOMAカード内のSMSでは設定に関わらず、2行表示されます。

お買い上げ時　2行表示

2行表示

受信BOX　1/3
16:54　docomotaro@△…
明日のランチ🍴
14:51　docomo.taro.…
ご無沙汰してます。…
12:45　ドコモ太郎
ビデオ撮りました
10:24　docomotaro@△…
新曲送ります♪その2
10:14　docomotaro@△…
新曲送ります♪
07/09　docomo.taro.…
おはよう

1行表示

受信BOX　1/2
16:54 明日のランチ🍴
14:51 ご無沙汰し…
12:45 ビデオ撮り…
10:24 新曲送りま…
10:14 新曲送りま…
07/09 おはよう
07/09 出欠確認
07/08 案内状
07/08 こんにちは
07/07 待ち合わせ
07/07 Hello!
07/07 報告書
docomotaro@△△.□□□.co.jp

選んでいるメールの発信元（送信メールでは1件目の宛先）

1 [✉][9][7][5]▶[1]〜[2]

Menu 1976

メールをのぞき見されないようにする　オンリービュー設定

ｉモードメール／SMSの作成画面や詳細画面、署名編集画面（装飾なし）、メールテンプレートの表示画面をオンリービュー表示にするかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、表示画面のコントラストが調整され、表示が見えにくくなり、のぞき見されにくくなります。
- 以下の画面ではオンリービュー表示にはなりません。
  - ・文字入力　・一覧表示　・デコメール
  - ・チャットメール

お買い上げ時　OFF

1 [✉][9][7][6]▶[1]〜[2]

- 表示中に設定を切り替える：[📷]（1秒以上）▶「はい」
  - ・表示中に切り替えると、オンリービュー設定にも反映されます。

Menu 1973

添付ファイルを自動受信するかどうかを設定する　メール受信添付ファイル設定

- お買い上げ時は、イメージ、メロディ、ｉモーション、トルカ、PDF、ツールデータ、その他のすべてに☑が付いています。自動受信しない（選択受信する）場合は□にしてください。
  - ・「ツールデータ」とは、スケジュールデータ、ブックマークデータ、電話帳データです。
  - ・「その他」とは、Word、Excel、PowerPoint、その他のファイルです。

お買い上げ時　すべて自動受信

1 [✉][9][7][3]▶**設定を変更する**▶**ファイル種別を選択**▶[📖]

おしらせ

- メール本文中に挿入された画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。
- □に設定したファイルは、メール受信時には受信しません。受信するには、メール詳細画面でファイル名を選択します。
- ☑に設定しても、メール本文と本文中に挿入されている画像および添付ファイルの合計が100Kバイトまでは自動受信し、それを超える場合は選択受信になります。

Menu 1974／Menu 2633／✚633

メロディを自動再生するかどうかを設定する　添付ファイル自動再生設定

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

お買い上げ時　自動再生する

1 [✉][9][7][4]▶[1]〜[2]

おしらせ

- 「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、メロディ音量で設定されている音量でメロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。途中で止めるには[クリア]を押します。
- 「自動再生する」に設定しても、メッセージR/Fが自動表示されたときは、メロディは自動再生されません。

表示するメールの種別を選ぶ　表示種別

指定した種別のメールだけを表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。

- 受信メールでは「すべて表示」「未読のみ表示」「既読のみ表示」「保護のみ表示」から選択できます。
- 送信メールでは「すべて表示」または「保護のみ表示」が選択できます。
- 未送信メールやFOMAカード内のSMSの表示種別は選択できません。

お買い上げ時　すべて表示

1 [✉]▶[1]／[5]▶**フォルダを選択**

2 [Menu][7][2]▶[1]〜[4]

おしらせ

- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メール詳細画面の文字の大きさを変更する　文字サイズ

受信メールや送信メール、メールテンプレートの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

- 文字サイズの変更は受信メール、送信メール、メールテンプレート、microSDメモリーカード内のメールすべてに反映されます。

お買い上げ時　中（標準）

メール つづく▶

受信メール 1
07/07/10 16:54
docomotaro@△△.□…
明日のランチ
明日のランチの待ち合わせ、11時にいつものところでいい？
- END -

大：24ドット

受信メール 1/ 13
07/07/10 16:54
docomotaro@△△.□□□.c…
明日のランチ
明日のランチの待ち合わせ、11時にいつものところでいい？
- END -

中：20ドット（標準）

受信メール 1/ 13
07/07/10 16:54
docomotaro@△△.□□□.co.jp
明日のランチ
明日のランチの待ち合わせ、11時にいつものところでいい？
- END -

小：16ドット

例 メール詳細画面から操作するとき

1 [✉]▶[1]／[5]▶**フォルダを選択**

2 **メールを選択**▶[Menu][3][1]

• メールテンプレートを表示しているときは、[Menu][4][1]を押します。

3 [1]～[3]

おしらせ

● 文字サイズ設定の「一括」または「メール閲覧」からも変更できます。
● microSDメモリーカード内の受信／送信メールや未送信メールの詳細画面では[Menu]を押し、「文字サイズ」を選択します。
● 文字サイズを変更してもデコメ絵文字のサイズは変更されません。
● メール詳細画面の文字サイズの変更は次に設定を変更するまで保持されます。
● 本機能での設定内容は、文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。
● メール作成時および編集時の文字サイズは、文字サイズ設定の「一括」または「メール編集／文字入力」から変更できます。

Menu 1971

メール受信通知を設定する 受信・自動送信表示

FOMA端末の操作中に、iモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面を表示するかどうか、また圏内自動送信中画面を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 通知優先

1 [✉][9][7][1]▶[1]～[2]

操作優先：FOMA端末操作中は、受信中画面、受信結果画面、圏内自動送信中画面を表示しません。

通知優先：FOMA端末操作中でも、受信中画面、受信結果画面、圏内自動送信中画面を表示します。

おしらせ

● 「操作優先」に設定すると、待受中以外の場合（他の機能が起動中）は受信中画面や受信結果画面、圏内自動送信中画面は表示されません。
● 「通知優先」に設定していても、以下の場合には受信中画面や受信結果画面、圏内自動送信中画面は表示されません。
  • 音声電話中
  • テレビ電話中
  • プッシュトーク通信中
  • カメラ起動中
  • iアプリ動作中
  • ストリーミングタイプのiモーション再生中
  • 目覚まし音やアラーム鳴動中など
● オールロック中、パーソナルデータロック中、公共モード（ドライブモード）中は設定に関わらず、受信中画面や受信結果画面、圏内自動送信中画面は表示されません。
● 受信結果画面が表示されない場合にはメール着信音は鳴りません。また、着信を知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。

チャットメールを作成して送信する チャットメール作成・送信

複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは1つの画面で確認できます。

• あらかじめ相手のメールアドレスをチャットメンバーに登録しておく必要があります。
• メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、または受信／送信メールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
• チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、相手の端末には「チャットメール」の題名が付いたメールとして届きます。また、

チャットメンバーに登録しているチャットメール非対応端末から、題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信した場合、チャットメールとして受信できます。

- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

チャットメール画面の見かた

発信者のニックネーム

：海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に受信／送信すると表示される場合があります。

：チャットメンバーに未登録の同報アドレスあり

詳細表示欄に表示しきれない場合に ◀ ▶ が表示されます。でページが切り替わります。

チャットメールを受信／送信した日付または時刻

❶ **送受信履歴**

最新の履歴から最大100件表示できます。

- ガイド行に△▽が表示されているときは でスクロールできます。
  - ・画面単位でスクロールする：／
  - ・先頭行に移動する：Menu 5 1
  - ・最終行に移動する：Menu 5 2

❷ **詳細表示欄**

最新または選んだチャットメールの詳細を表示します。表示可能文字数は全角250文字（半角500文字）までです。

❸ **本文入力欄**

Menu 13

チャットメンバーを登録する

チャットメンバー設定

- チャットメンバーに登録できるのは、最大5件です。同じメールアドレスは複数登録できません。

はじめてチャットメンバーを登録する

1 3 ▶「はい」▶

2 各項目を設定

アドレス：

半角50文字まで入力できます。

- メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスを登録してからシークレットコードを設定し、相手の携帯電話番号のみをメンバーに登録します。
- メール送受信履歴または電話帳から選択する：Menu ▶ 1 ～ 3 ▶ 履歴または宛先を選択

ニックネーム：

全角4文字（半角8文字）まで入力できます。

- メールアドレスが、電話帳に登録されているアドレスと一致するときは、電話帳の名前（先頭から全角4文字（半角8文字）まで）がニックネーム欄に表示されます。
- ニックネームを入力しなかった場合は、チャットメール画面では、メールアドレスの@より前の部分が先頭から最大8文字表示されます。

文字色：

ニックネームの文字色を選択します。

3

チャットメンバーが表示されます。

- 他のメンバーを追加登録する：▶ 操作2～3を繰り返す

4

チャットメンバーを追加・編集・削除する

例 チャットメンバーを追加するとき

1 3 ▶ Menu 7

2 ▶ **各項目を設定**

- 編集する：メンバーを選択 ▶ 各項目を設定
- 1件削除する：メンバーを選び Menu 2 ▶「はい」
- 詳細情報を表示する：メンバーを選び Menu 3 ▶ 確認が終わったら
- メンバー全件をメールグループと入れ替える：Menu 5 ▶ グループを選択 ▶「はい」

3

個人情報（自分のニックネームとその文字色）を設定する

1 3 ▶ Menu 8 ▶ **ニックネームと文字色を設定** ▶

- ニックネームを設定しなかった場合、「自分」と表示されます。

チャットメールを作成して送信する

- チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、設定は元に戻ります。
- 送信したチャットメールは、「送信メール」の「送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 [✉][3]

- メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 本文入力欄▶本文を入力（全角250文字（半角500文字）まで）

■ **チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付ける：**
①**チャットメールを選び**[Menu][6]▶**範囲を指定**
・範囲の指定方法☛P416
②**本文入力欄▶貼り付ける位置を選び**[Menu][3]

■ **送信するメンバーを選択する：**[Menu][3]▶**宛先を選択**▶[📖]

3 [📖]

- 正常に送信されると、送信されたチャットメールはチャットメール画面に表示されます。

■ **受信したメールの同報アドレス全員に返信する：**[Menu][2][2]

おしらせ

- チャットメールは、以下の操作でもチャットメール画面に表示できます。
  - 受信／送信メール一覧でチャットメールを選び[Menu]を押し、「表示」→「チャットメール表示」を選択
  - 受信／送信したチャットメールの詳細画面で[Menu]を押し、「表示」→「チャットメール表示」を選択
- 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは「未送信メール」の「未送信 BOX」フォルダに保存されます。「未送信 BOX」フォルダにはチャットメールは 1 件のみ保存できます。さらに送信に失敗すると、「未送信 BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信 BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文入力欄に表示されます。再送信する場合は、チャットメール画面から送信してください。

チャットメールを受信する　チャットメール受信

チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手から、題名に「チャットメール」（全角・半角を問わず）を含むメールを受信した場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加されます。

- チャットメールを起動しているときは、チャットメールを受信しても、着信音は鳴らず、着信バイブレータも動作しません。着信を知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。
- チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールが送信されてきた場合は、次の「チャットメールを起動していないとき」の操作に従ってチャットメール画面に読み込んでください。

チャットメールを起動していないとき

チャットメールはｉモードメールとして「受信メール」の「受信BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 受信メール一覧でチャットメール画面に読み込むチャットメールを選び[Menu][7][5]

- 受信メール詳細画面では[Menu][3][3]を押します。
- 読み込むメールの発信元アドレスがチャットメンバーに登録されていない場合は、登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録するときは「はい」を選択してメンバー登録をしてください。☛P259
- デコメールやパソコンから受信した HTML メールは、チャットメール画面には読み込めません。

ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

1 チャットメール画面で[Menu][1]

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加されます。

- ▮が点滅しているときは、更新できません。
- ｉモード問合せでチャットメールを受信すると、同時にｉモードメールも受信します。

おしらせ

- チャットメール画面では本文中に電話番号やメールアドレス、URLが含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toは行えず、ｉアプリToの機能も使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し、「受信メール」からチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
- 「受信メール」からチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。
- チャットメールを起動していないとき、チャットメンバーに登録している相手からチャットメールを受信した場合は、次回のチャットメール起動時にチャットメール画面に読み込まれます。
- チャットメール画面で受信したチャットメールは、「受信メール」では既読になります。
- メール連動型ｉアプリからメールを送受信した場合、チャットメールとして受信したメールはチャットメール画面に表示されます。

同報アドレスを表示する

受信したメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面でメールを選び[Menu][4]

受信メールの宛先の一覧が表示されます。

- チャットメンバーに登録されている宛先には、登録したニックネームとメールアドレスが表示されます。チャットメンバーに登録されていない宛先には、「未登録」とメールアドレスが表示されます。
- メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、メールアドレスの代わりに名前が表示されます。メールアドレスを確認するには[●]を押します。

■ **未登録の同報者をチャットメンバーとして登録する：アドレスを選び[📖]**

- 以降の操作は「はじめてチャットメンバーを登録する」の操作2以降と同じです。☞P259

■ **同報アドレスをコピーする：アドレスを選び[Menu][2]**

チャットメールの履歴をすべて削除する

- 受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

1 チャットメール画面で[Menu][9]▶「はい」

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で[☎]／[クリア]▶「いいえ」

チャットメールが終了します。次回のチャットメール起動時に、前回のチャットメールが表示されます。

- 「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。この場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

Menu 171

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

SMS作成・送信

- 最大保存件数☞P495
- 半角カタカナは受信側で正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも「国際SMS」の送受信が可能です。ご利用方法やご利用可能な国・海外通信事業者については ドコモのホームページをご覧ください。
- 受信、送信、未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた☞P244

例 宛先を直接入力してSMSを作成・送信するとき

1 [✉][7][1]▶[✉To]欄

ﾒｯｾｰｼﾞ作成<新規>
To
Text
0

➡

ﾒｯｾｰｼﾞ作成<新規>
To
入力方法を選択してください
メール送信履歴
メール受信履歴
電話帳参照
直接入力
0

2 「直接入力」▶宛先（相手の電話番号）を入力

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（0を1秒以上押す）「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。また、「010」「国番号」「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。
- To欄には26文字まで入力できますが、宛先として送信できるのは20文字（「+」を含めた場合21文字）までです。

■ **電話帳から検索する：「電話帳参照」▶相手を選択**
- 電話番号を複数登録しているときは、電話番号を選択します。

■ **SMSの送信履歴から選択する：「メール送信履歴」▶履歴を選択**
- SMSの宛先の電話番号が設定されます。

■ **SMSの受信履歴から選択する：「メール受信履歴」▶履歴を選択**
- SMSの発信者の電話番号が設定されます。

3 Text▶本文を入力

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず70文字まで入力できます。空白も本文の文字数に含まれます。
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、半角160文字まで入力できます。英数字と記号（｀。「」、･゛゜を除く）が使用できます。半角空白も本文の文字数に含まれます。
- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは#を押します（全角／半角数字入力モードを除く）。改行も本文の文字数に含まれます。ただし、相手の端末では空白に置き換わります。

■ **署名を挿入する：Menu 4 5**
- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

4 ✉

■ **SMSを送信せずに保存する：Menu 2**
- 保存したSMSを再編集して送信できます。☞P236

おしらせ

- 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 発信者番号通知設定を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 送信文字種が英語の場合、一部の記号（｜ ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。この場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。☞P249
- SMSを送信完了した場合でも、SMS受信に非対応の機種では正常にSMSを受信することはできません。
- 2in1のBナンバーではSMSを送信できません。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はSMSの作成開始後に変更することもできます。
- 送信が正常に終了したときは、SMSが「送信メール」の「送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダからSMSを編集・送信できます。☞P236
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信メール」に保存されます。

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは　SMS受信

- 最大保存件数☛P495

1 SMSを受信

点滅
受信が完了すると、受信結果画面が表示され、メール着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅します。

メッセージ受信中 ・・・

受信中画面

↓ 受信完了

：未読のSMSあり
：未読のSMSとｉモードメールあり

受信結果（スクロール表示）

メッセージを受信しました

受信したSMSの件数
受信に失敗したときは「メール」の後に「×」が表示されます。受信し直すには、SMS問合せを行ってください。

1 メール　1件

受信結果画面

- SMS受信中に[☎]を押すと受信を中止します。
- 受信結果画面は何も操作しないと約15秒間、メール着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときは着信音が鳴り終わるまで表示されます。早く受信前の画面に戻すには[クリア]を押します。

■ **受信したSMSをすぐに読む：受信結果画面で[●]／[1]▶フォルダを選択▶SMSを選択**
- 受信したSMSに返信（☛P239）したり、他の宛先に転送（☛P239）できます。
操作方法はｉモードメールの場合と同様です。

おしらせ

- ｉモードメール、メッセージR/F受信中やお預かりセンター接続中は、SMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の一番古い受信メールに上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面には や が表示されます。受信する場合、未読メールの内容表示、未読メールの既読メールへの変更、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
  - FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、「受信メール」に空きがあっても、SMSを受信できないことがあります。このとき、画面には や が表示されます。FOMA端末に移動（☛P265）するか、FOMAカード内のSMSを削除（☛P266）してください。
- SMSに電話番号やURLが記載されている場合、そのSMSを最初に表示するとき、電話番号やURLが記述されている旨の注意が表示されます。SMSを表示するには[●]を押します。スキャン機能設定で、注意を表示しない設定もできます。☛P492
- 受信したSMSに直接FOMAカードへの保存が指定されている場合は、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカード内のSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから再度、SMS問合せを行ってください。
- 受信したSMSは「受信メール」に保存されます。
- mova端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
- FOMA端末電話帳にメール着信設定のある相手からSMSを受信した場合、メール着信音、着信バイブレータ、決定キーの照明はFOMA端末電話帳の設定に従って動作します。電話帳との照合については「名前の表示について」を参照してください。☛P102
  - 複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したSMSの条件に従って動作します。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「＋」が付きます。電話帳に「＋」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。

Menu 162

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる　SMS問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに SMS が届いていないかを問い合わせます。
- 電波状態のよい場所で操作してください。

1 [✉][6][2]

おしらせ
- SMS問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

Menu 174

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う　SMS設定

通常は SMSC、アドレス、Type of Number の設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　送信文字種：日本語
送達通知：要求しない　有効期間：3日
SMSC：ドコモ
アドレス：81903101652
Type of Number：international

1 [✉][7][4]

2 **各項目を設定▶[📖]**

送信文字種：
日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。

送達通知：
SMS を送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

有効期間：
送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。
- 「0 日」に設定した場合、一定時間経過後に再送を行い、SMSセンターから削除します。

SMSC：
ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。
- 「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、アドレスを入力します（半角20文字まで）。

Type of Number：
「international」「unknown」のいずれかを設定します。
- SMSCに「その他」を設定しアドレス欄に数字のみ、または「＊」「#」を含んだ番号を入力した場合は、「unknown」に設定してください。

おしらせ
- SMSの作成画面では[Menu]を押し、「SMS設定」を選択します。この場合には、「送達通知」「有効期間」のみ設定でき、作成中のSMSにだけ有効です。
- 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Number の設定は、FOMAカードに保存されます。

SMS(ショートメッセージ)をFOMAカードに保存する　FOMAカード保存SMS

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに移動／コピーする

- 最大保存件数☛P495
- 「未送信メール」のSMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送信 SMS を移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に「FOMAカード（UIM）受信 SMS」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例　1件移動／コピーするとき

1 [✉]▶[1]／[5]▶**フォルダを選択**

2 **SMSを選び[Menu][4]▶[2]／[3]▶[1]**

■ 複数移動／コピーする：[Menu][4]▶[2]／[3]▶[2]▶SMSを選択▶[📖]

3 **「はい」**

おしらせ
- 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面では[Menu]を押し、「移動／コピー」→「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」を選択します。
- FOMAカードにSMSが20件保存されているときは移動／コピーできません。FOMA カードから不要なSMSを削除してください。
- 保護の設定はFOMAカードに移動／コピーされません。

● 2in1のBナンバーで受信したSMSをFOMAカードに移動／コピーすると、Aナンバーで受信したSMSとして保存されます。

Menu 172／Menu 173

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を表示する

例 受信SMSを表示するとき

1 [メール][7][2]

FOMA受信SMS一覧画面では、SMSは2行で表示されます。

受信日時と発信元または宛先

本文の先頭または「SMS送達通知」「留守番 着信通知」のいずれか

❶ ：未読（返信可） ：未読（返信不可）
：既読（返信可） ：既読（返信不可）
：送達通知／着信通知

- 一覧の既読／未読のマークは、FOMAカード内のSMSを表示したかどうかを示します。移動／コピー前の未読／既読の状態も引き継がれます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 送信SMSを表示する：[メール][7][3]

2 **SMSを選択**

❶ ：受信（返信可） ：受信（返信不可）
：送信
：送達通知／着信通知
：FOMAカード内のSMS

❷ ：日時 ：宛先
：発信元 ：発信元（返信不可）
：題名（「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」「留守番 着信通知」のいずれか）

- 送達通知の発信元には「SMS Center」、着信通知の発信元には「DoCoMo SMS」と表示されます。
- 送信SMSをFOMAカードに移動／コピーした場合、FOMAカード内の送信SMSから送信日時のデータが消去されます。ただし、送達通知のある送信SMSは送達通知の日時が表示されます。

おしらせ

● FOMAカード内のSMSから返信／転送、再送信などを行った場合、送信済みのSMSは、FOMA端末の「送信メール」に保存されます。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末に移動／コピーする

- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例 1件移動／コピーするとき

1 [メール][7]▶[2]～[3]

2 **SMSを選び[Menu][3]▶[1]／[3]**

■ **複数移動／コピーする：[Menu][3]▶[2]／[4]▶SMSを選択▶[確定]**

3 **[決定]▶フォルダを選択▶「はい」**

おしらせ

● FOMAカード内のSMS詳細画面では[Menu]を押し、「移動／コピー」→「本体へ移動」または「本体へコピー」を選択します。

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないSMSやｉモードメールがあっても上書きされません。不要なSMS、ｉモードメールを削除してください。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を削除する

・送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にある場合は、同時に削除されます。

1 [メール][7]▶[2]～[3]

2 **SMSを選び[Menu][2][1]**

■ 複数削除する：[Menu][2][2]▶SMSを選択▶[電話帳]

■ 全件削除する：[Menu][2][3]▶端末暗証番号を入力

■ 送達通知を全件削除する：[Menu][2][4]▶端末暗証番号を入力

3 **「はい」**

おしらせ

● FOMAカード内のSMS詳細画面では[Menu]を押し、「削除」を選択します。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図の ｉ アプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリをダウンロードする☛P269
- ｉアプリを起動する☛P271
- ｉアプリを自動起動する☛P279

おしらせ

- ｉ アプリによっては、ｉ モード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- ｉアプリによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。☛P273

登録データを利用する

ｉアプリには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、動画、トルカ、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像、動画保存
- トルカ参照、取得
- トルカ保存
- microSDメモリーカードの利用

おしらせ

- プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、位置履歴（GPS）を「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないｉアプリがあります。
- ｉアプリにより画像・動画が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダ、ｉモーションの「ｉモード」フォルダ、または ｉ アプリ内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

登録データを利用する

ｉアプリDXでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、動画、トルカ、アイコン情報）だけでなく、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- メール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像、動画、着信音保存
- トルカ参照、取得
- トルカ保存
- 画像設定の変更（待受画面、電話発着信、テレビ電話着信、メール送受信、メッセージR/F受信）
- microSDメモリーカードの利用
- 位置情報の利用

おしらせ

- ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはｉアプリによって異なります。
- ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、位置履歴（GPS）を「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないｉアプリDXがあります。
- ｉアプリDXにより画像・動画・着信音が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダ、ｉモーション・メロディの「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリDX内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリは、ｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。
- 2in1がBモードのときは利用できません。

おサイフケータイ対応ｉアプリとは

おサイフケータイ対応ｉアプリを使って、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴をFOMA端末上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにICカード内の情報が送信されます。
- おサイフケータイとは☛P286

GPS対応ｉアプリとは

GPS対応ｉアプリでは、GPS機能を利用することにより、現在地のタウン情報などがより簡単に探せたり、地図上に自分の現在地を表示させ目的地までのナビゲーションができるなど、便利な機能がご利用いただけます。

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの位置情報利用設定を「利用する」に設定する必要があります。

こんなこともできます

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にできます。☛P138、P280

- ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリで利用できる機能です。
- 2in1がデュアルモードやBモードのときは、ｉアプリ待受画面は表示されません。

■ ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ｉアプリを自動起動できます。あらかじめｉアプリに設定されている時間間隔で自動起動できるｉアプリもあります。☛P279

■ カメラ撮影

ｉアプリからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。☛P284

- カメラ撮影機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ｉアプリから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使い方ができます。☛P284

- 赤外線通信機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ｉアプリから、赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。☛P357
たとえばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。
☛P276

- 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。相手の機器に対応したｉアプリが必要です。

サイトからｉアプリをダウンロードする

- 最大保存件数☛P495
- 電波状況などによりｉアプリのダウンロードに失敗した場合、そのｉアプリはFOMA端末に保存されません。

• ダウンロードできるｉアプリのサイズは1件あたり最大1Mバイトです。

1 ｉアプリのあるサイトを表示 ▶ ｉアプリを選択

選択したｉアプリがダウンロードされます。

• ダウンロードを中止する：[ボタン] ▶「はい」

■ ソフト情報表示設定を「表示する」に設定しているとき：

ｉアプリの情報が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリがダウンロードされます。

• ダウンロードするｉアプリの詳細情報を確認する：[ボタン]

■ 登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号、ICカードの製造番号、microSDメモリーカードを利用するｉアプリをダウンロードするとき：

確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロードされます。

• ガイド行に「ガイド」と表示された場合、[ボタン]を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

■ 選択したｉアプリが既にダウンロードされているとき：

「ダウンロード済みです」と表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロード（バージョンアップ）されます。

■ 選択したｉアプリが既に異なるFOMAカードでダウンロードされているとき：

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードしたｉアプリが上書きされます。

2 保存先を選択

ｉアプリを使用するかどうかの確認画面が表示されます。

• ｉアプリによっては、待受画面（ｉアプリ待受画面）、通信設定、位置情報（位置情報利用設定）の設定画面が表示されます。各項目を設定してください。
各設定項目については、「ｉアプリの動作条件を設定する」の操作2を参照してください。
☛P273

3 「はい」

ダウンロードしたｉアプリが起動します。

• サイト画面に戻る：「いいえ」
• 設定画面で待受画面を「設定する」に設定した場合は、待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、テロップ表示設定を「表示する」に設定している場合は、テロップ表示は解除されます。
• 2in1がBモードのときにメール機能を利用するｉアプリをダウンロードし、設定画面が表示されている場合は[ボタン]を押してください。設定画面が表示されない場合は、サイト画面に戻ります。

おしらせ

● ダウンロードを中止したり、通信が切断された場合などは、ｉアプリによってはダウンロードしたところまでを保存できます。残りのデータをダウンロードするには、「ｉアプリを起動する」の操作3を参照してください。☛P271

● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存されているｉアプリを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したｉアプリや同時に削除したmicroSDメモリーカード内のデータは元に戻りません。

● ICカード内のデータ容量によっては、ｉアプリの保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。この場合は、画面の指示に従ってｉアプリを削除してください。ただし、ｉアプリの種類によっては、削除対象として表示されないｉアプリがあります。また、ｉアプリによっては、ｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール・受信メール・未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更できません。

• メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください（フォルダを削除すると対応するｉアプリも削除されます）。
• 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にFOMA端末に保存されている場合はダウンロードできません。

おしらせ

- メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダのみが残っているときに、そのメールフォルダを利用するメール連動型 ｉ アプリを再度ダウンロードしようとすると、既にあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メール連動型ｉアプリがダウンロードされます。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型ｉ アプリをダウンロードしてください。
- ダウンロードするメール連動型 ｉ アプリに対応した受信メールが既にFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、受信メールが振り分けられます。ただし、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、振り分けられません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る
ソフト情報表示設定

お買い上げ時　表示しない

1 Menu 3 2 3 ▶ 1 ～ 2

Menu 31

ｉアプリを起動する

1 （1秒以上）

■ ICカードソフト（おサイフケータイ対応ｉアプリ）のみ表示する：Menu 6 4 1

ICカードソフト一覧画面が表示されます。操作3に進みます。

- GPS対応ｉアプリのみ表示するには☛P302

2 フォルダを選択

ソフト一覧画面が表示されます。

：ｉアプリあり　　：ｉアプリなし

3 ｉアプリを選択

- を押すたびにリスト表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 起動するｉアプリの通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
- iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータを選択した場合は、ソフトをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータによっては、ソフトをダウンロードするためにサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。対応するおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすると、起動できます。
- 部分的にデータをダウンロードしたｉアプリを選択した場合、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードできます。残りのデータをダウンロードすると起動できます。残りのデータをダウンロードできなかった場合は、部分保存したｉアプリが削除される場合があります。
- ｉアプリの音をFMトランスミッターで出力するには☛P378

ｉアプリを終了するには

ｉ アプリごとに設定されている方法で終了してください。

- を押し、「はい」を選択しても終了できます。

ソフト一覧画面の見かた

リスト表示のとき　　サムネイル表示のとき

① ：おサイフケータイ対応ｉアプリ

※1 ：メール連動型ｉアプリ

：ｉアプリDX

（オレンジ）：通常のｉアプリ

② ：ｉアプリ待受画面に設定中

※1 ：ｉアプリ待受画面に設定できる

③ ：自動起動設定中

④ （上半分グレー、下半分オレンジ）：

※1 部分保存したｉアプリ

：IP（情報サービス提供者）による停止状態

：FOMAカード動作制限のため使用できない

⑤ ：SSLページからダウンロードした

⑥ ：2in1がBモードのため起動できない

：メール連動型ｉアプリ

❼ ：ワンタッチｉアプリ登録されている
※1 0～9：
ツータッチｉアプリ登録されている
❽ ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
❾ ：GPS対応ｉアプリ
❿ ：スピードメニュー ｉ アプリ登録されている
⓫ ：削除できない
※1：優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。

ICカードソフト一覧画面の見かた

リスト表示のとき　サムネイル表示のとき

ICカード一覧 1/1
ケータイクレジット「iD」
DCMXクレジットアプリ

ICカード一覧 1/1
ケータイクレジット「iD」

選ばれている
ｉアプリ名

❶ ：FOMAカード動作制限のため使用できない
※1 ：2in1がBモードのため起動できない
❷ （上半分グレー、下半分オレンジ）：
※1 部分保存したｉアプリ
：IP（情報サービス提供者）による停止状態
※1：優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。ただし、サムネイル表示のときは「ソフト一覧画面の見かた」の❷と同じ優先順位でアイコンが1つだけ表示されます。☛P271

おしらせ

● 部分保存した ｉ アプリは、詳細情報の表示、削除、フォルダ移動のみできます。
● iC お引っこしサービスにより移し替えた IC カードデータは、削除のみできます。
● 次のような場合、ｉアプリは中断されます。動作中の機能が終了すると ｉ アプリは再開しますが、を押して「ｉアプリ」を選択すると動作中の機能を継続したままｉアプリを再開できます。ただし、機能によっては、で ｉ アプリに切り替えられない場合があります。また、ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
おサイフケータイ対応ｉアプリが中断されたときは、ICカードへのデータの読み書きも中断されます。その場合、読み書きしていたデータが破棄されることがあります。
• 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）
• プッシュトークが着信したとき（ｉ モード中プッシュトーク着信で「ｉ モード優先」に設定していて、ｉアプリの通信中に着信した場合を除く）
• お知らせタイマーで指定した時間が経過したとき
• スケジュールアラームや目覚ましの設定時刻になったとき
• 他の機能に切り替えたとき
● 圏外にいる場合や、登録データが使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
● ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信／iC通信機能を利用して取得した画像などです。
● ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存された ｉ アプリにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除および詳細情報の表示のみ行えます。再度、ご利用いただくには ｉ アプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
● ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
● IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、が点滅します。この場合、通信料はかかりません。
● ソフトによっては、microSDメモリーカードにデータを保存できるものもあります。microSDメモリーカードを利用するかどうかは、詳細情報で確認できます。microSD メモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できない場合があります。
● ｉアプリ動作中にプロテクトキーロックを設定してディスプレイの表示が消えても、ｉアプリは動作し続けます。
● ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は、ｉアプリ音量で設定できます。ただし、ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。
● サムネイル画像を取得できない場合は、、、、、※1のいずれかが表示されます。
※1：iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータ
● ｉアプリ作成者の方へ
ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。待受画面で 3 3 4 を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するように作られている ｉ アプリが保存されていないときは表示できません。
トレース情報を削除するときは、を押して「はい」を選択します。

登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する　セキュリティエラー履歴

ｉ アプリが登録データを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときに、ｉ アプリ名・日時・セキュリティエラー理由が記録されます。

- セキュリティエラー履歴は最大20件記録されます。20件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。

1 Menu 3 3 3

■ 履歴を削除する：履歴表示画面で [m] ▶「はい」

ｉ アプリの詳細情報を表示する　詳細情報

ｉ アプリの名前やバージョンなど、ｉ アプリの詳細情報を確認します。

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉ アプリを選び [m]

- 表示される項目はｉ アプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉ アプリの場合、ソフト詳細情報画面で [m] を押すと、サイトの証明書を確認できます。

ｉ アプリの動作条件を設定する　動作設定

- 設定できる項目はｉ アプリによって異なります。
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときは、「ｉ アプリ待受画面」と「ｉ アプリ待受画面通信設定」は設定できません。

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉ アプリを選び Menu 6 ▶各項目を設定▶ [m]

スピードセレクター：
ｉ アプリ動作中のスピードセレクターの回転操作について設定します。
- 「上下」に設定すると と同じ操作になります。
- 「左右」に設定すると と同じ操作になります。
- スピードセレクター設定のスピードセレクターを「OFF」に設定している場合は、設定できません。

FMトランスミッター：
ｉ アプリの音をFMトランスミッター出力するかどうかを設定します。
- FMトランスミッターについては☞P377

ｉ アプリ待受画面：
待受画面に設定するかどうかを設定します。
- 設定できるｉ アプリは1件のみです。

ｉ アプリ待受画面通信設定：
ｉ アプリ待受画面動作中に自動的に通信するかどうかを設定します。

通信設定：
ｉ アプリ動作中に自動的に通信するかどうかを設定します。

アイコン情報：
ｉ アプリがメール、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコン情報を利用するかどうかを設定します。

ブラウザからの起動：
サイトからの起動（ｉ アプリTo）を許可するかどうかを設定します。

トルカからの起動：
トルカからの起動（ｉ アプリTo）を許可するかどうかを設定します。

メールからの起動：
メールからの起動（ｉ アプリTo）を許可するかどうかを設定します。

住所リンク機能での起動：
サイトやメッセージR/F、トルカの位置情報のリンク項目からの起動（ｉ アプリTo）を許可するかどうかを設定します。

外部機器からの起動：
外部機器からの起動（ｉ アプリTo）を許可するかどうかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を※1：
ｉ アプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかどうかを設定します。

変更ごとに確認画面を※1：
ｉ アプリが着信音や画像の設定を変更するごとに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を※1：
ｉ アプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を参照することを許可するかどうかを設定します。
- FOMA端末に保存したトルカも対象になります。

位置情報利用設定※1：
GPS対応ｉ アプリで位置情報を利用するかどうかを設定します。

※1：ｉ アプリDXのみ設定できます。

- 「ｉ アプリ待受画面」を「設定する」に設定したときは、待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉ アプリ待受画面に設定されます。「はい」を選択すると、テロップ表示設定を「表示する」に設定している場合は、テロップ表示は解除されます。ただし、既にそのｉ アプリを待受画面に設定している場合は、確認画面は表示されません。

おしらせ

- スピードセレクターを「OFF」に設定していても、スピードセレクターの回転操作が無効にならないｉアプリがあります。
- スピードセレクターを「上下」や「左右」に設定していても、ｉアプリによっては動作が異なることや、スピードセレクターの回転操作ができないことがあります。
- 通信設定を「通信しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。アイコン情報が必要なｉアプリの場合、「利用しない」に設定すると、動作しないｉアプリがあります。
- ｉアプリ動作中にスピードセレクターを回転させたときの移動方向は、スピードセレクター設定の移動方向の設定に従います。ただし、ｉアプリによっては従わない場合もあります。

ｉアプリ動作中の照明とバイブレータの動作を設定する　照明設定／バイブレータ設定

照明動作を設定する

- ｉアプリ待受画面の照明動作はディスプレイの照明設定（☛P143）の点灯時間設定（通常時）に従います。
- 公共モード（ドライブモード）中は、「ソフトに従う」に設定してもｉアプリ動作中の照明は動作しません。

お買い上げ時　端末設定に従う

1 Menu 3 2 4 ▶ 1 ～ 2

端末設定に従う：
ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

ソフトに従う：
ｉアプリに従って照明が点灯します。

おしらせ

- ｉアプリによっては「端末設定に従う」に設定しても、端末設定に従わない場合があります。
- 本機能での設定内容は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉアプリ）にも反映されます。☛P143

バイブレータを設定する

ｉアプリによるバイブレータの動作を許可します。

- 公共モード（ドライブモード）中は、本設定に関わらずｉアプリ動作中のバイブレータは動作しません。

お買い上げ時　使用する

1 Menu 3 2 5 ▶ 1 ～ 2

おしらせ

- 本機能での設定内容は、音／バイブのバイブレータ設定にも反映されます。☛P132

ｉアプリから他のｉアプリを起動する

ｉアプリによっては指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しむことができます。

1 **ｉアプリを操作して他のｉアプリを起動**

おしらせ

- ｉアプリによっては起動するｉアプリを選択できます。ｉアプリを選択する旨のメッセージが表示されたら(●)を押し、ｉアプリを選択します。

プリインストールｉアプリを使う

お買い上げ時は次のｉアプリが登録されています。

- タマラン
- FMラジオMusicサーチ
- NAVITIME for D904i
- 体感！珍さんの釣り物語
- Gガイド番組表リモコン
- ケータイクレジット「iD（アイディ）」
- 「DCMX」クレジットアプリ
- デコメ絵文字ポケット
- ｉアプリバンキング
- 楽オク出品アプリ

一覧から選択すると各ｉアプリが起動します。

- ｉアプリの名称は画面の表示と異なる場合があります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P453

タマラン

FOMA 端末を傾けて液体を転がし、ゴールまで運ぶ立体迷路ゲームです。

- FOMA端末を横にして操作します。
- メインメニューやゲーム中のサブメニューからハイスコアの表示、ヘルプ、オプションの設定もできます。オプションでは、キー操作で液体を転がす設定もできます。詳しい遊びかたはヘルプをご覧ください。

体感！珍さんの釣り物語

パンダの「珍さん」を操作して、魚を釣り上げるゲームです。

メっちゃ湖編では、１つの釣り場で釣れるすべての種類の魚を釣った後、たにむら釣具店に行って、イベントキャラクターの頼みごとを叶えると、次の釣り場へ進めます。すべての種類の魚を釣り、最後の課題を達成すると、地底湖編へ進めます。

- 釣り場や時間帯などによって釣れる魚や魚の釣りやすさが異なります。
- FOMA端末を横にして操作します。タイトル画面で[m]を押すと、上下が逆になります。説明文の[◎]は、FOMA端末を横にしたときのスピードセレクターに対応しています。
- 釣り場や全体マップで[m]を押すと、設定を確認／変更できます。全体マップでは、ステータスやアイテムも確認できます。

■ たにむら釣具店について

魚を釣ってたまったポイントで買い物をしたり、たにむらくんと話して釣りのヒントなどを聞けます。また、イベントキャラクターの頼みごとを聞いたり、ミニゲームやヘルプの参照などができます。

- [◎]またはスピードセレクターを回転させて珍さんの移動先を指定し、[●]を押すと移動できます。

たにむらくん

ランキング
ミニゲームでハイスコアを取ると掲載されます。

げーむ機
ミニゲームができます。

図鑑
魚の情報やヘルプなどが記載されています。

でぐち
全体マップに戻ります。

イベントキャラクター
ゲームを進めると登場します。

■ 釣りの基本操作

テンションゲージ※1
獲物と引き合っている強度が表示されます。黄色いラインが一杯になるとラインが切れて、なくなると魚が逃げます。

魚と岸までの距離

回転ボーナス
手巻きでリールを巻くと数値が上がります。ランクが上がると、ボーナスポイントがつきます。

水深メーター※1
ルアーが何メートル沈んだかが表示されます。
魚が食いつくと枠が黄色になります。

※1：水深メーターとテンションゲージ・回転ボーナスは同時には表示されません

① キャストする
- [◎]でキャスティングポイントを選びます。釣竿を振るようにFOMA端末を手前から奥に振るか、[●]を押してルアーを湖に向かって投げ落とします。

② ルアーを操りアタリを待つ
- ルアーが湖底まで沈んだら、スピードセレクターを回転させるか（手巻き）、[●]を1秒以上押して（電動リール）リールを巻きます。ルアーの位置は水深メータで確認します。

③ アタリが来たらアワセる
- 獲物がルアーに食いつくと振動や「！」の表示などでわかるので、すばやくFOMA端末を上下に振るか、[◎]を押します。うまくいけば針が獲物にかかります。

④ バトル
- スピードセレクターを回転させて釣り糸のテンションをゲージ内のなるべく高い位置に保ちます。

⑤ 釣り上げ
- リールを巻き上げて糸の長さが短くなると画面上に上下左右のいずれかの方向が指示されます。正しい方向にFOMA端末を振るか、正しいキー（[◎][◎][◎][◎]のいずれか）を押すと獲物を釣り上げられます。

おしらせ

● このアプリは、FOMA端末を傾けたり振ったりして遊ぶゲームです。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損につながる可能性があります。遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り過ぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

デコメ絵文字ポケット

「デコメ絵文字ポケット」は、iモードメール上で絵文字のように使えるデコメ絵文字を、簡単に検索、保存ができるデコメ絵文字専用のiアプリです。
情報サービス提供者から提供されるデコメ絵文字を、「カテゴリ」や「イラスト・キャラクタ」などのテーマから探すことができ、簡単に携帯電話機に保存することができます。
また、複数のデコメ絵文字を一括して保存することもできます。お気に入りのデコメ絵文字を見つけたら、その画像を提供するサイトの紹介文をご覧いただけ、サイトへアクセスすることもできます。

- 「デコメ絵文字ポケット」の月額情報料は無料です。IP（情報サービス提供者）が提供するサイトをご覧になる場合には別途iモード情報料がかかる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

FMラジオMusicサーチ

FMラジオを聴くアプリです。詳しくは☛P378

NAVITIME for D904i

GPS機能を利用するアプリです。詳しくは☛P300

Gガイド番組表リモコン

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上アナログもしくは地上デジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレイヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- 初めて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- 別途パケット通信料がかかります。
- メール連携アプリのため、2in1がBモードのときは利用できません。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の日付時刻設定を日本時間に合わせてください。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- リモコン操作については☛P357

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

■ 初期設定方法

①DVDレコーダーにインターネット接続を設定
- ご利用のDVDレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

②本アプリを起動し、メニューの「リモート録画予約」
- ガイダンスが表示されます。ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。

■ 番組予約の方法

初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューの「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。
- 既に同じ時間に予約がされている場合には、メッセージが番組表にでます。
- 別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応 i アプリ

ケータイクレジット「iD（アイディ）」

• 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

ケータイクレジット「iD（アイディ）」とは、おサイフケータイをかざすだけで買い物やキャッシングのできるクレジットサービスです。今までのようにカードを財布から出したり、サインしたりすることなく、カンタン便利にショッピングができます。

- iD のご利用には、iD に対応した各カード発行会社へのお申し込みと iD アプリ、各カード発行会社提供のカードアプリが必要になります。
- iDアプリを初めて起動される際は、「ご利用上の注意」に同意し、ご利用の準備を行った後、カードアプリのダウンロードを行う必要があります。
- iD 対応のクレジットサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iD アプリおよび各カード発行会社のカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- iD に関する情報については、iD の i モードサイトおよびホームページをご覧ください。
  i モードサイト：
  iMenu の「メニュー／検索」→「ケータイクレジット「iD」」
  ホームページ：http://id-credit.com

サイト接続用QRコード

「DCMX」クレジットアプリ

• 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「DCMX」とは、「iD（アイディ）」に対応した、エヌ･ティ･ティ･ドコモグループが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々１万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

■ アプリの機能

入会申し込み・審査※1
▼
カード情報設定
▼
使う
面倒なチャージは不要！
設定済みケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。

確認する※3
当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！

変更する
お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！

※1：DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、i モードのお申し込みページに接続します。
※2：一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3：ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については下記をご参照ください。
  DCMXのホームページ
  ・i モードから
  iMenuの「DCMX」
  ・パソコンなどから
  http://dcmx.jp/
- 本サービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サイト接続用QRコード

おしらせ

- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応 i アプリに関するご注意

- IC カードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ｉアプリバンキング

• 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのｉアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込･振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。ｉアプリを立ち上げる際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

• ｉアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのモバイルバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
• ご利用には別途パケット通信料がかかります。
• 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA編>）』をご覧ください。
• ｉアプリバンキングに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。

楽オク出品アプリ

• 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「楽オク出品アプリ」は、楽オクにいつでもどこでもカンタンに出品できる便利なアプリです。
ガイド表示付きで、初めて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影・編集や履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

• 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意する必要があります。
• ご利用には別途パケット通信料がかかります。
• 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA編>）』をご覧ください。
• 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
• 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ホームページ：
  http://a.rakuten.co.jp/
  ｉモードサイト：
  iMenuの「楽オク-オークション-」

サイト接続用QRコード

ワンタッチでｉアプリを起動する

ワンタッチｉアプリ

ワンタッチ登録をする

• 登録できるｉアプリは1件です。お買い上げ時はｉアプリ「タマラン」が登録されています。

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選びMenu 8 1

• 解除するには、同様の操作を行います。

ワンタッチでｉアプリを起動する

1 （1秒以上）

ツータッチでｉアプリを起動する

ツータッチｉアプリ

ツータッチ登録をする

• 登録できるｉアプリは最大10件です。

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選びMenu 8 2

• 解除するには、同様の操作を行います。

3 登録先を選択

• ツータッチｉアプリを起動するとき、アイコンの番号（0～9）が、0～9に対応します。
• 登録済みの登録先を選択すると上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。

ツータッチでｉアプリを起動する

1 0～9▶（1秒以上）

ツータッチｉアプリの一覧を表示する

お買い上げ時 未登録

1 Menu 3 2 6
- 起動する：ｉアプリを選択
- 詳細情報を表示する：ｉアプリを選び 📖
- 登録を解除する：ｉ アプリを選び Menu 2 ▶「はい」

ｉアプリを自動起動する

自動起動を行うかどうかを設定し、ｉアプリごとに自動起動の条件を設定します。

自動起動するかどうかを設定する 自動起動設定

お買い上げ時 自動起動する

1 Menu 3 2 2 ▶ 1 〜 2

自動起動の日時を設定する 自動起動情報登録

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。
- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- ｉアプリによっては自動起動できないものがあります。
- 自動起動設定を「自動起動しない」に設定しているときは、自動起動情報を登録できません。

1 **(1秒以上) ▶ フォルダを選択**

2 **ｉアプリを選び Menu 5 ▶ 各項目を設定 ▶ 📖**

ユーザ設定：
自動起動する条件を設定するかどうかを選択します。

時刻：
自動起動する時刻を入力します。

繰り返し：
自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。

毎週：
繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。

日付：
繰り返しを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。

ソフト設定：
ｉ アプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。

ｉアプリ設定1〜4：
ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4つ設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

おしらせ

- 自動起動を設定しても、次のときは起動せず、待受画面に が表示され、ｉアプリ名・日時・起動しなかった理由が自動起動失敗履歴に記録されます。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - FOMAカード動作制限中（プリインストールｉアプリを除く）
  - FOMAカードを認識できないとき
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉ アプリを「認証後に表示」に設定した場合）
  - 2in1がBモードのとき（メール機能を利用するｉアプリのみ）
  - IP（情報サービス提供者）によって ｉ アプリの使用を停止されているとき
- 複数の ｉ アプリを同時刻に自動起動するように設定している場合、起動する ｉ アプリは1つだけです。起動できなかった ｉ アプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面に は表示されません。

自動起動できなかったときの履歴を表示する 自動起動失敗履歴

ｉ アプリの自動起動に失敗したときは、待受画面に が表示され、ｉアプリ名・日時・起動失敗理由が記録されます。
- 自動起動失敗履歴は最大20件記録されます。20件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の が消えます。

1 Menu 3 3 1

■ **履歴を削除する：履歴表示画面で 📖 ▶「はい」**

サイトやメールなどからｉアプリを起動する　ｉアプリTo

サイトやｉモードメールなどのｉアプリを起動できるリンク項目を選択してｉアプリを起動します（ｉアプリTo）。

1 サイトやｉモードメールなどのｉアプリを起動できるリンク項目を選択▶「はい」

ｉアプリが起動します。

おしらせ

- ｉアプリToで起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていないと、起動できません。ただし、ｉアプリによっては保存されていなくても、サイトからダウンロード後、すぐに起動するものがあります。
  - ダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
  - ダウンロード後すぐに起動したｉアプリを終了するときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。
- ｉアプリToで起動しないように設定している場合は、ｉアプリを起動できません。☛P273

ｉアプリ待受画面を操作する　ｉアプリ待受画面

ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に または が表示されます。

- あらかじめｉアプリを待受画面に設定しておく必要があります。☛P138

おしらせ

- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- オールロック、パーソナルデータロック、プライバシーモード（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）、おまかせロック中、2in1がデュアルモードやBモードのときは、ｉアプリ待受画面が一時的に解除されます。オールロックなどを解除するとｉアプリ待受画面が再度起動します。
- ｉアプリ待受画面に設定されているｉアプリがIP（情報サービス提供者）によって使用を停止されると、ｉアプリ待受画面が次回起動時に解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生し、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示された場合、「はい」を選択すると解除されます。このとき、ｉアプリ名と日時が異常終了履歴に記録されます。
- ｉアプリ待受画面からはサイトに接続（Web To）できません。
- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するか、約５秒間何も操作しないと、ｉアプリ待受画面が起動します。「いいえ」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。自動電源ONによって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。

ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する

1 ｉアプリ待受画面で クリア

ｉアプリの画面に切り替わり、ディスプレイ上部の または が点滅します。

ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

1 **ｉアプリ動作中に[電話]▶「終了する」**

ｉアプリが終了し、ｉアプリ待受画面が起動します。ディスプレイ上部のマークが[マーク]から[マーク]、または[マーク]から[マーク]に変わります。

- ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。
- 「終了する」を選択してもｉアプリ待受画面は解除されません。解除するときは「解除する」を選択します。ディスプレイ上部の[マーク]または[マーク]が消えます。

おしらせ

- ソフト一覧でｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリを選び[Menu]を押し、「ｉアプリ待受画面」を選択し、「解除する」を選択しても解除できます。

ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する

異常終了履歴

ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。

- 異常終了履歴は最大20件記録されます。20件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。
- 通常終了時は記録されません。

1 [Menu][3][3][2]

■ 履歴を削除する：履歴表示画面で[m]▶「はい」

ｉアプリを管理する

ｉアプリをバージョンアップする

バージョンアップ

ｉアプリが更新されている場合は、バージョンアップできます。

- IP（情報サービス提供者）によって使用を停止されているｉアプリはバージョンアップできません。

1 **[i]（1秒以上）▶フォルダを選択**

2 **ｉアプリを選び[Menu][4]▶「はい」**

バージョンアップを開始します。

おしらせ

- バージョンアップすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去されることがあります。
- ｉアプリによっては、使用期間・使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップできます。
- ｉアプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成する

- フォルダは「マイフォルダ」を含めて最大20個作成できます。

1 **[i]（1秒以上）**

2 **[Menu][4]**

■ フォルダ名を変更する：フォルダを選び[Menu][1]

■ フォルダの並び順を変更する：フォルダを選び[Menu]▶[5]～[6]

3 **フォルダ名を入力（全角8文字（半角16文字）まで）▶[m]**

フォルダを削除する

- フォルダ内にｉアプリ「FMラジオMusicサーチ」が含まれている場合は削除できません。

1 **[i]（1秒以上）**

2 **フォルダを選び[Menu][2][1]**

- フォルダ内にｉアプリが保存されたままの場合は、端末暗証番号を入力します。

3 「はい」

- 削除するフォルダ内にメール連動型ｉアプリが含まれている場合は、メールフォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ｉアプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 削除するフォルダ内に、ICカード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 削除するフォルダ内に、microSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリが含まれている場合は、microSDメモリーカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「はい」を選択するとmicroSDメモリーカード内のデータも削除されます。「いいえ」を選択するとｉアプリのみ削除されます。

おしらせ

- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用メールフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。
- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールのフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。☛P243

ｉアプリを他のフォルダに移動する

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選びMenu 3 1

■ 複数移動する：Menu 3 2 ▶ｉアプリを選択▶

■ フォルダ内のすべてのｉアプリを移動する：Menu 3 3

3 移動先のフォルダを選択▶「はい」

ｉアプリを削除する

- ｉアプリによっては、ICカード内のデータも削除されます。
- ｉアプリによっては、ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。
- iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータによっては、ソフトをダウンロードして、ICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。
- 「FMラジオMusicサーチ」は削除できません。

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選びMenu 2 1

■ 複数削除する：Menu 2 2 ▶ｉアプリを選択▶

■ フォルダ内の ｉ アプリをまとめて削除する：Menu 2 3 ▶端末暗証番号を入力

3 「はい」

- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、メールフォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ｉアプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 「複数削除」または「全件削除」するｉアプリに、ICカード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- microSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリを削除する場合は、microSDメモリーカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「はい」を選択するとmicroSDメモリーカード内のデータも削除されます。「いいえ」を選択するとｉアプリのみ削除されます。

おしらせ

- フォルダ一覧からフォルダ内の ｉ アプリをまとめて削除するときは、フォルダを選び[Menu]を押し、「削除」→「ソフト削除」を選択します。
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。
- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールのフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。☛P243

ｉアプリを並べ替える　ソフトの並べ替え

お買い上げ時　使用日時順

1 [Menu][3][2][1]

2 [1]～[5]

- 「使用日時順」および「ダウンロード日時順」では、FOMA端末の日付・時刻で設定されている日時順に並び替わります。
- 「名前順」の場合、ｉアプリ名に全角／半角の文字や英字が混在していると、50音順と一致しないことがあります。
- 「使用回数順」にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。使用回数はｉアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「ソフトのサイズ順」の場合、ｉアプリのソフトサイズとデータ記録領域の合計が大きい順に並び替わります。ただし、詳細情報で表示されるソフトサイズとデータ記録領域の合計サイズの大きい順とは異なる場合があります。

おしらせ

- ソフト一覧から操作する場合は、[Menu]を押し、「ソート」を選択します。
- 使用日時には、ダウンロードした日時も含まれます。

フォルダ内のｉアプリの件数を確認する　フォルダ内ソフト件数

1 [i]（1秒以上）▶フォルダを選び[📖]

- マークの意味☛P271

ｉアプリの設定状況を確認する　ソフト情報表示

1 [i]（1秒以上）▶[✉]

ソフト保存領域：
保存されている ｉ アプリの総容量がバーと数値で表示されます。

ソフト保存件数：
保存されている ｉ アプリの総件数が表示されます。

ｉアプリ待受画面：
ｉ アプリ待受画面に設定している ｉ アプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

ワンタッチｉアプリ：
ワンタッチ ｉ アプリに設定している ｉ アプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

スピードメニュー ｉアプリ：
スピードメニューに登録している ｉ アプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

自動起動：
次回の自動起動に設定している ｉ アプリの名前・保存先のフォルダ・起動日時が表示されます。

microSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する　microSD保存データ

ｉアプリがmicroSDメモリーカードに保存したデータのフォルダを表示し、情報の確認と削除が行えます。

- データの内容は表示できません。

1 [Menu][6][5][5]

ｉアプリデータのフォルダ一覧が表示されます。

■ **フォルダの情報を確認する：フォルダを選択**
- フォルダの利用可／不可や、利用する ｉ アプリ名、利用不可の場合の理由などを表示できます。フォルダによっては表示されない項目があります。

■ **フォルダを削除する：**
①フォルダを選び[Menu][1]
- 複数削除する：[Menu][2]▶フォルダを選択▶[📖]
- 全件削除する：[Menu][3]▶端末暗証番号を入力

②「はい」

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

- それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

ｉアプリからカメラ機能を利用する

1 **ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う**

おしらせ

- 撮影した画像または動画は、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- ｉアプリから静止画撮影や動画撮影を起動した場合は、サイズ制限の変更、フレームの設定、画像サイズの変更、品質の設定はできません。また、静止画撮影の場合は、インジケータやカウンタが表示されず、手ぶれ補正を使った撮影もできません。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はマイピクチャの「ｉモード」フォルダ、「デコメピクチャ」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。また撮影した動画は ｉ モーション内の「ｉ モード」フォルダ、またはｉアプリに保存されます。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 **ｉアプリを操作してコードを読み取る**

- 読み取ったデータはｉアプリで利用･保存される旨のメッセージが表示されます。

ｉアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 **ｉアプリを操作して赤外線通信を行う**

- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していた場合、サイト接続やメールの送受信は中止されます。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモード FeliCa）やICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCaとは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の１つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使って支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話がますます便利な道具になります。
また、従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べ、通信を利用しておサイフケータイ内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、ICカード機能に対応したｉアプリ（ICアプリ）により設定を行う必要があります（詳細は、IP（情報サービス提供者）にご確認ください）。
※ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ICカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりできませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iC お引っこしサービスによる移し替えを除き、IP（情報サービス提供者）のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）やiCお引っこしサービスへの対応の有無はサービスごとに異なりますので、事前に IP（情報サービス提供者）にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内のデータの消失・変化その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、おまかせロック、ICカードロックでICカード機能を制限できます。☛P163、P293

おサイフケータイの利用方法

ステップ 1：おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする☛P269

お買い上げ時にはおサイフケータイ対応ｉアプリとして「ケータイクレジット「iD（アイディ）」」、「「DCMX」クレジットアプリ」が登録されています。

ステップ 2：おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータの読み書きを行う☛P287

おサイフケータイ対応ｉアプリで電子マネーや乗車券にお金をチャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認できます。

ステップ 3：FeliCaマークを読み取り機にかざす

- イルミネーション設定のICカードアクセスのイルミネーションを「ON」に設定している場合は、ICカードの読み書きが可能な状態になると、イルミネーションカラーの設定に従って決定キーの照明が点滅します。

FOMA 端末の FeliCa マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用できます。この機能は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。

おしらせ

- FOMA 端末の FeliCa マークを読み取り機にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークを読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- 通話中や ｉ モード中でもFeliCaマークを読み取り機にかざしてICカードを利用できますが、ｉモード中におサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。
- 電源を切った状態でもFeliCaマークを読み取り機にかざして IC カードを利用できるようにするには、電源OFF時ICロック設定を「直前のロック状態を継続」に設定し、ICカードロックを設定していない状態で電源を切ってください。
- 電池パックを装着していない場合は、ICカード機能を利用できません。ICカード機能を利用するときは、電池パックを装着してください。また、電池パックを装着していても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラーム音が鳴った後で充電しなかった場合は、利用できない場合があります。その場合は電池パックを充電してください。
- 電源を切った状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを読み書きしたり、トルカを取得できません。
- おまかせロックを設定すると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- FeliCaマークを読み取り機にかざしたとき、ｉアプリが起動することがあります。ただし、起動対象のｉアプリがあらかじめ保存されていない場合や、ｉアプリTo で起動しないように設定されている場合は、起動しません。

iCお引っこしサービスとは

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイお取り替え時に、ICカード内のデータを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイ※3に移すサービスです。ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。

iCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。

詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1：iCお引っこしサービスご利用には手数料がかかります（一部手数料がかからない場合もあります）。また、ICアプリのダウンロード・各種設定にはパケット通信料がかかります。

※2：おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはiCお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。

※3：iCお引っこしサービスは、お取り替え先のおサイフケータイが iC お引っこしサービス対応の機種である場合にご利用いただけます。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

- おサイフケータイ対応 ｉ アプリを初めて起動する際やダウンロードする際は、「FOMAカード情報とICカードの対応付けを行います」と表示されます。それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとIC カード機能をご利用できません。別の FOMA カードに差し替えてご利用になる場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入し一度おサイフケータイ対応 ｉ アプリをすべて削除しないとICカード機能はご利用できません。

1 Menu 6 4 1

- 以降の操作は「ｉアプリを起動する」の操作3と同じです。☛P271

おしらせ

- おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、FeliCaマークを読み取り機にかざしても IC カードを利用できないことがあります。
- テレビ電話通話中は、おサイフケータイ対応ｉアプリの一部の操作ができないことがあります。
- 圏外で通信できない場合や、登録データが使用できない場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。

トルカとは

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線通信、microSD メモリーカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは「LifeKit」メニューのトルカに保存されます。

- トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得します。

↓

トルカ一覧から取得したトルカを選択します。

→

「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

トルカの取得手段

サイト

読み取り機

ｉアプリ

microSD
メモリーカード

QRコード

赤外線通信
iC通信

ｉモードメール

ｉモード端末どうしでトルカを交換

おしらせ

- ｉモード通信でトルカをやりとりする場合は、パケット通信料がかかります。

トルカを取得する

- 最大保存件数☛P495
- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- トルカは、「トルカフォルダ」に保存されます。ただし、読み取り機から取得した場合に、トルカ振り分け設定で設定した条件と合致したときは、指定フォルダに保存されます。
- 保存されたトルカから詳細情報をダウンロードした場合は、別のファイルとして保存されず、元のトルカに詳細情報が追加されます。トルカからトルカ（詳細）を取得するには☛P290

おしらせ

- 次の方法でもトルカを取得できます。ただし、受信メールやメッセージR/F、iアプリ、バーコードリーダーから取得したときは、既読の状態で保存されます。
  - サイトからのダウンロード☛P208
  - 受信メールやメッセージR/F☛P240、P214
  - iアプリ　• バーコードリーダー☛P194
  - 赤外線通信☛P355　• iC通信☛P359
  - microSDメモリーカード☛P341

読み取り機から取得する

- トルカ取得設定のトルカ取得設定を「ON」に設定する必要があります。
- ICカードロック中は取得できません。

1 **FeliCaマークを読み取り機にかざす**

トルカ取得音が鳴り、決定キーの照明が点滅します。

■ **詳細をダウンロードするかどうかの確認画面が表示されたとき：「はい」／「いいえ」**
- 「はい」を選択すると、iモードに接続し、トルカ（詳細）を保存します。

■ **自動読取機能を利用するかどうかの確認画面が表示されたとき：「はい」／「いいえ」**
- 自動読取機能を利用するときは、「はい」を選択した後に[決定][1]を押します。
- あらかじめ自動読取機能を利用するかどうかを設定するには☛P293

■ **トルカ取得設定の自動表示設定を「ON」に設定しているとき：**
待受画面表示中の場合のみ、取得したトルカが表示されます。何も操作しないと約15秒間表示されます。早く待受画面に戻すには[クリア]を押します。

おしらせ

- トルカ取得設定の重複チェック設定を「ON」に設定している場合、既に取得済みのトルカは取得できません。取得したいときは「OFF」に設定してください。
- 自動読取機能を利用しない場合はトルカを利用できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、取得できない旨のメッセージが表示されます。不要なトルカを削除してください。
- トルカ取得設定の自動表示設定を「ON」に設定して、読み取り機から取得した場合、[終話]または[クリア]を押して終了した場合は、未読となります。それ以外のキーを押すと既読となります。

トルカを表示する

- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは、詳細画面を表示できません。

1 **[Menu][6][3]▶フォルダを選択**

- microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で[切替]
  - microSDメモリーカードの操作方法☛P343

■ **トルカをメールに添付して送信する：トルカ一覧でトルカを選び[メール]**
- トルカ（詳細）によっては、詳細を含めてメールに添付するかどうかの確認画面が表示されます。詳細を含めて送信するときは「はい（詳細あり）」、詳細取得前の状態で送信するには「はい（詳細なし）」を選択します。
- トルカ（詳細）によっては、詳細が含まれない旨の確認画面が表示されます。
- トルカによっては送信できない場合があります。☛P231

2 トルカを選択

■ トルカ（詳細）を取得する：トルカの詳細表示画面で「詳細」▶「はい」

ｉモードに接続し、トルカ（詳細）を保存します。

■ トルカ（詳細）を更新する：トルカ（詳細）の詳細表示画面で Menu 1 ▶「はい」

ｉモードに接続し、トルカ（詳細）を更新して保存します。

おしらせ

- 詳細表示画面でトルカをメールに添付して送信するときは、Menu 2 を押します。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、更新や移動／コピーができなかったり、メールの送付や赤外線などでやりとりができないことがあります。
- トルカに有効期限が設定されている場合、有効期限が過ぎると、トルカ一覧画面のトルカの背景色が異なる色で表示されます。
- トルカ一覧画面や詳細表示画面に、トルカ発行者独自のカテゴリマークが表示される場合があります。ただし、検索やトルカ振り分け設定の条件「ジャンル」のカテゴリマークには含まれません。
- 受信側の機種によってはメールに添付されたトルカ（詳細）を受信できない場合があります。
- 2in1がBモードのときは、メールに関する操作はできません。
- 表示中の本文に電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。
- 表示中の本文に含まれている位置情報を利用できます。☛P308
- 詳細表示画面で、電話番号、メールアドレスを選び Menu 4 1 を押すと電話帳に新規登録、Menu 4 2 を押すと電話帳に更新登録できます。また、URL を選び Menu 4 3 を押すとブックマークに登録できます。Menu 4 4 を押し、画像を選択すると画像を保存できます。Menu 4 5 を押すと背景画像を保存できます。
- 詳細表示画面でアニメーションを再度動作させるときは、Menu 7 を押します。

フォルダ一覧画面／トルカ一覧画面の見かた

フォルダ一覧画面の見かた

：トルカなし　　：未読トルカなし

：未読トルカあり

（グレー）：利用済みトルカなし

（黄色）：利用済みトルカあり

トルカ一覧画面の見かた

フォルダを作成／削除する

- 「トルカフォルダ」、「利用済みトルカ」フォルダのフォルダ名や並び順の変更、削除はできません。

フォルダを作成する

- フォルダは「トルカフォルダ」、「利用済みトルカ」フォルダ以外に最大20個作成できます。

1 Menu 6 3 ▶ Menu 2

■ フォルダ名を変更する：フォルダ一覧でフォルダを選び Menu 4

■ フォルダの並び順を変更する：フォルダ一覧でフォルダを選び Menu ▶ 8 ～ 9

2 フォルダ名を入力（全角8文字（半角16文字）まで）▶

フォルダを削除する

1 **Menu 6 3 ▶ フォルダを選び Menu 3 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」**

トルカをフォルダに移動／コピーする

- トルカによっては、移動／コピーできない場合があります。
- 「利用済みトルカ」フォルダには移動／コピーできません。

例 1件移動するとき

1 **Menu 6 3 ▶ フォルダを選択**

2 **トルカを選び Menu 4 1 1**

■ **複数移動する：Menu 4 1 2 ▶ トルカを選択 ▶ 📖**

■ **フォルダ内のすべてのトルカを移動する：Menu 4 1 3**

■ **他のフォルダに 1 件コピーする：トルカを選び Menu 4 2 1**

■ **他のフォルダに複数コピーする：Menu 4 2 2 ▶ トルカを選択 ▶ 📖**

■ **他のフォルダにすべてコピーする：Menu 4 2 3**

3 **移動／コピー先フォルダを選択 ▶「はい」**

おしらせ

● 詳細表示画面では Menu 3 を押します。

トルカの保存内容を確認する

1 **Menu 6 3 ▶ Menu 5**

FOMA 端末に保存されているトルカの件数や全容量に対する使用領域の割合などが表示されます。

- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは含まれません。

■ **フォルダ内の件数を確認する：フォルダ一覧でフォルダを選択 ▶ Menu 5 1**

トルカを検索する

- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは検索できません。

1 **Menu 6 3 ▶ Menu 1**

- フォルダ内を検索する：フォルダ一覧でフォルダを選択 ▶ Menu 2

2 **検索条件欄 ▶ 1 ～ 3 ▶ 📖**

全件検索
検索条件 ジャンル
ジャンル
グルメ
検索文字列

- 「ジャンル」を選択したときは、ジャンル欄を選択し、ジャンルを選択します。
- 「タイトル」または「インデックス」を選択したときは、検索文字列欄を選択し、タイトルまたはインデックスを入力します（タイトルの場合は全角10文字（半角21文字）まで。インデックスの場合は全角7文字（半角15文字）まで）。
- タイトルとインデックスは、一部を入力しても検索できます。全角と半角は区別して検索できますが、英字の大文字と小文字は区別されません。
- 取得日時では検索できません。

トルカを並べ替える　ソート

トルカ一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると「日付順」に戻ります。

- 日付順、ジャンル順、タイトル順、インデックス順、かな順が選択できます。

1 **Menu 6 3 ▶ フォルダを選択 ▶ Menu 5 2 ▶ 1 ～ 5**

おしらせ

● タイトル順、インデックス順の場合、タイトルやインデックスに全角／半角の文字が混在していると、50音順にならない場合があります。

● 「かな順」の場合、トルカ内に保持している ID 順に並びます（IDは表示できません）。

トルカを削除する

1 Menu 6 3 ▶フォルダを選択

2 トルカを選び Menu 3 1

■ 複数削除する：Menu 3 2 ▶トルカを選択▶ [m]

■ フォルダ内のトルカを全件削除する：Menu 3 3 ▶端末暗証番号を入力

■「利用済みトルカ」フォルダのトルカを削除する：トルカを選び [クリア]

3「はい」

おしらせ

● 詳細表示画面では Menu 8 を押します。

トルカについて設定する

トルカを取得するかどうかを設定する

トルカ取得設定

読み取り機からトルカを取得するかどうかや取得したときの動作を設定します。

- 本設定の自動振り分け設定を「ON」に設定しても、トルカ振り分け設定で振り分け条件を設定していないと振り分けられません。

お買い上げ時　トルカ取得設定、重複チェック設定：ON
自動振り分け設定、自動表示設定：OFF

1 Menu 8 5 2 2

2 各項目を設定▶ [m]

トルカ取得設定：
トルカを取得するかどうかを設定します。

重複チェック設定：
取得済みの確認をするかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると取得済みのトルカは取得できません。

自動振り分け設定：
自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。

自動表示設定：
自動的に表示するかどうかを設定します。

おしらせ

● 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカや有効期限の切れたトルカは、重複チェックの対象外となります。

トルカを自動的にフォルダに振り分ける

トルカ振り分け設定

読み取り機から取得したトルカの振り分け条件を設定します。

- 振り分け条件は20件登録できます。
- 本設定を有効にするには、トルカ取得設定の自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。
- 条件設定後に取得したトルカに対して有効です。取得済みのトルカは振り分けられません。
- 「利用済みトルカ」フォルダには振り分けられません。

振り分け条件を設定する

1 Menu 8 5 2 4

トルカ振り分け一覧　1/1
01 GENRE グルメ
02 TITLE ショッピング
03 ■ 条件なし

①　登録済みの振り分け条件（優先順位順に表示）

① GENRE：ジャンル　TITLE：タイトル
INDEX：インデックス　■：条件なし

2 [m]

振り分け条件追加
振り分け条件　ジャンル
ジャンル
グルメ
振り分け条件文字列
振り分け先フォルダ
トルカフォルダ

振り分け条件の指定画面

3 振り分け条件欄▶ 1 ～ 4

- 「ジャンル」を選択したときは、ジャンル欄を選択し、ジャンルを選択します。
- 「タイトル」または「インデックス」を選択したときは、振り分け条件文字列欄を選択し、タイトルまたはインデックスを入力します（タイトルの場合は全角10文字(半角21文字)まで。インデックスの場合は全角7文字（半角15文字）まで)。
- タイトルとインデックスは、一部を入力しても振り分けられます。
- 「条件なし」に設定すると、条件を設定せずにすべてのトルカを振り分けます。

4 振り分け先フォルダ欄▶振り分け先フォルダを選択

振り分け先の指定 1/1
1 トルカフォルダ
2 グルメ
3 ショッピング
4 レジャー
5 利用済みトルカ

5 [📖]▶優先順位を指定

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

優先順位の指定 1/1
01 GENRE グルメ
02 TITLE ショッピング
03 条件なし
[最後に追加する]

- 1件目の条件を登録する：[最後に追加する]を選択
- 最後に追加する：[最後に追加する]を選択
- 優先順位の高い条件から順に並べます。
- 登録済みの条件を変更したときは[最後に追加する]は、[最後に移動する]と表示されます。

おしらせ

● 条件は優先順位に従って判定されます。優先順位の判定はメール振り分け設定と同様です（「メールを自動的にフォルダに振り分ける」のおしらせ ☛P254）。ただし、条件に合わなかったときは「トルカフォルダ」に保存されます。

振り分け条件を確認・変更する

1 [Menu][8][5][2][4]

2 振り分け条件を選択

- 条件を確認中でも振り分け条件の変更、削除ができます。

■ **条件を変更する：振り分け条件を選び[Menu][2]▶振り分け条件を指定**

- 振り分け条件の指定は「振り分け条件を設定する」の操作3以降と同じです。☛P292

■ **優先順位を変更する：振り分け条件を選び[Menu][5]▶位置を選択**

- 選択した位置の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、[最後に移動する]を選択します。

■ **条件を削除する：振り分け条件を選び[Menu][3]▶「はい」**

- 条件をすべて削除する：[Menu][4]▶端末暗証番号を入力▶「はい」

自動読取機能を利用するかどうかを設定する　自動読取機能設定

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動読み取りさせるかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、利用可能なトルカが自動的に認識され「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。
- 「利用済みトルカ」フォルダには、最大20件保存されます。20件を超えると古いものから順に消去されます。

お買い上げ時　ON

1 [Menu][8][5][2][3]▶[1]～[2]

おしらせ

● 「OFF」に設定した場合、読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面や自動読取機能が無効である旨のメッセージが表示されることがあります。トルカを利用する場合「はい」や「OK」を選択して本機能を「ON」に設定してください。

Menu 642／Menu 83131

ICカード機能を使用できないようにする　ICカードロック

ICカードロックを設定すると、FeliCaマークを読み取り機にかざしてICカードを利用したり、トルカを取得できなくなります。また、おサイフケータイ対応iアプリのダウンロードや使用ができなくなります。iC通信もできません。

- オールロック中は本機能を設定できません。ICカードロックとオールロックの両方を設定するには、先にICカードロックを設定してから、オールロックを設定してください。

お買い上げ時　OFF

1 [⊙]（1秒以上）▶「はい」

ICカードロックが設定され、待受画面に[ICロック]が表示されます。

解除する

- ICカードロック設定の解除方法を「ボイス認証＋暗証番号」に設定し、認証用の音声キーワードを登録している場合は、ICカードロックの解除にボイス認証が必要になります。
- ボイス認証を行う場合には、次の点にご注意ください。
  - ・録音時と同じ持ちかた（通話するときと同じように顔の横で持つ、または顔の正面で約5cm離して持つ）でお話しください。
  - ・周囲が騒がしい場所などでは音声が認証されにくくなります。
  - ・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを使用すると音声が認証されにくくなります。

1 **（1秒以上）**

約2秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- ICカードロック設定の解除方法を「暗証番号」に設定している場合は、操作3に進みます。

2 **5秒以内に認証用のキーワードを話す**

認証されると、端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 認証を途中で中止する：

ボイス認証

ボイス認証を行います。
音声を入力してください

- IC カードロック設定で登録したキーワードを話してください。
- 周囲に騒音があるときは、「もう一度静かな場所で音声を入力してください」と表示されます。 を押して再度キーワードを話してください。
- 正しく認証されなかった場合は、その旨のメッセージが表示されます。 を押して再度キーワードを話してください。
- を1秒以上押すと、ボイス認証操作をしなくても端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 **端末暗証番号を入力**

おしらせ

- ショートカット操作でも設定／解除できます。
  Menu 6 4 2 または Menu 8 3 1 3 1 ▶端末暗証番号を入力▶ 1 ～ 2
  - IC カードロック設定の解除方法を「ボイス認証＋暗証番号」に設定している場合は、端末暗証番号の入力前にボイス認証が必要です。
- 登録する言葉や、音声を登録する際の環境によっては、周囲の音や似ている言葉に反応して認証されることがあります。特に短い言葉を登録した場合や、周囲が騒がしい場所で登録した場合に起こりやすくなります。
- ボイス認証に５回連続して失敗すると、ボイス認証が中止されます。
- ICカードロック中に電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れても、ロックは解除されません。

Menu 83134

音声と端末暗証番号で解除できるようにする　ICカードロック設定

IC カードロックの解除時に必要な認証操作を設定します。

- 約0.5～2秒の音声を１件だけ登録できます。
- 録音する場合には、次の点にご注意ください。
  - ・周囲の騒音の少ない、できるだけ静かな場所で行ってください。
  - ・5～10音節程度の言葉を登録することをおすすめします。また、普段使い慣れない言葉は発音が一定しないことがありますので、なるべくお避けください。
  - ・次のいずれかの持ちかたで約5cm離してお話しください。通話するときと同じように顔の横で持ってお話すると認証精度が高くなります。
    - ・通話するときと同じように、FOMA端末を開き、顔の横で持つ
    - ・顔の正面で持つ
  - ・できるだけはっきりとお話しください。小声や大声では登録しないでください。
  - ・送話口を指でふさがないようご注意ください。
  - ・「シャ」「シュ」「ショ」や「サ」行の音が多い単語を登録した場合は、他人の声で認証されることがあります。ご注意ください。
  - ・次のような単語を登録した場合は、認証されにくくなることがあります。
    - ・長音（ー）が多い単語（「セーター」など）
    - ・促音（っ）が多い単語（「とっちゃって」など）
  - ・咳払いや「えー」、舌打音など、音声データと無関係な音を出さないでください。また、送話口に息を吹きかけないようにお話しください。
  - ・音声の途中に無音部分ができないようにお話しください。あまりゆっくり話すと無音部分とみなされ正しく登録できない場合があります。

お買い上げ時 暗証番号

1 Menu 6 4 5 ▶ **端末暗証番号を入力**

2 **解除方法欄** ▶ 2

- 端末暗証番号入力のみの認証操作にする：1 ▶操作6に進む

3 **音声データ欄の「録音」** ▶ ⦿

- 既に音声データを登録している場合は、「録音」を選択した後に、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

4 ⦿

約2秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- 周囲に騒音があるときは、「もう一度静かな場所で録音してください」と表示されます。⦿を押して再度操作してください。

5 **5秒以内にキーワードを話す** ▶ ⦿ ▶ **5秒以内にもう一度同じキーワードを話す**

- キーワードは2回録音します。1回目と2回目が一致した場合に登録されます。
- 録音を途中で中止する：⦿
- 次の場合には、確認画面が表示されます。⦿を押し、声の大きさやキーワードを変更して再度操作4から操作してください。
  - ・声が小さい場合
  - ・キーワードが短い／長い場合
  - ・音節数が少ない場合
  - ・周囲に騒音がある場合
  - ・1回目と2回目のキーワードが一致しなかった場合

6 📖

おしらせ

- 人の声は年齢などによって変わる場合があるため、長期間使用していると、登録した音声データと一致しにくくなることがあります。その場合は、音声データを登録し直してください。
- ボイス認証は完全な本人認証を保証するものではありません。本製品を第三者に使用されたこと、または音声の誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Menu 83132

自動的にICカードロックを設定する

ICカードオートロック設定

設定時間（1～90分）が経過すると自動的にICカードロックがかかるように設定できます。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 6 4 3

2 **オートロック欄** ▶ 1

- 解除する：オートロック欄 ▶ 2 ▶ 操作4に進む

3 **ロックまでの時間欄** ▶ 1 ～ 7

4 📖

おしらせ

- 「ON」に設定していても、ｉアプリ起動中はオートロックされません。ｉアプリ終了後に設定されます。
- 「ON」に設定しているときに電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れた場合は、指定した時間にならなくてもICカードロックが設定されます。
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除できない場合があります。

Menu 83133

電源を切ったときにICカード機能をロックする　電源OFF時ICロック設定

お買い上げ時　直前のロック状態を継続

1 Menu 6 4 4 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 1／2

GPS 機能

GPSとは

GPS（Global Positioning System：全地球測位システム）は、米国国防総省が開発・運営しているシステムで、地球の周回軌道を回る衛星から放射される位置測位用の電波を利用して現在の位置（緯度、経度など）を知ることができるシステムです。
GPS衛星から放射される位置測位用の電波を利用して、FOMA 端末（お客様）の位置情報（緯度・経度）を取得します。取得した位置情報を利用して、さまざまなサービスが利用できます。

GPS機能を使ってできること

■ 今いる場所の地図や周りの情報を見る、探す（現在地確認）☛P299
現在地の位置情報を送信して地図を表示したり、周辺情報を検索したりできます。

■ GPS機能対応のｉアプリを使う（GPS対応ｉアプリを利用）☛P302
位置情報を利用した便利なｉアプリを使うことができます。位置情報を利用して、目的地まで歩いて行くときや車で行くときのナビゲーション、乗り換え案内などが利用できます。お買い上げ時に登録されている「NAVITIME for D904i」でも徒歩や車のナビゲーションが利用できます。

■ 相手からの要求に応えて位置情報を提供する（位置提供）☛P302
位置提供機能に対応したサービス（ドコモの「イマドコサーチ」など）であらかじめ検索対象になっていると、現在どこにいるかの要求があった際、位置情報を提供します。※1「イマドコサーチ」とは、検索者が、ｉモード対応FOMA端末をお持ちの方のおおよその場所を、携帯電話やパソコンから地図情報で確認できるサービスです。また、「ケータイお探しサービス」を利用すると、紛失したFOMA端末のおおよその場所を、パソコンから地図情報で確認できます。「イマドコサーチ」や「ケータイお探しサービス」に関しての詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
※1：位置提供可否設定（☛P303）を「位置提供ON」または「許可期間設定」に設定すると、FOMA端末を操作しなくても位置情報が検索者に送信されることがあります。

■ 今いる場所の位置情報を通知する（現在地通知）☛P305
現在地の位置情報を他の人（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知します。

■ メールで自分の場所やお気に入りの場所の位置情報を送る☛P299、P307
位置情報をメール本文に貼り付けることができます。受信者は位置情報URLを利用して周辺地図を見ることができます。

■ 位置情報を電話帳に登録する☛P307
取得した位置情報を電話帳に登録して利用することができます。

おしらせ

● FOMA 端末が圏外のときは（または海外では）、現在地測位（確認）を除き、GPS機能をご利用いただけません。

GPS機能のご利用について

■ GPS機能の利用について
- GPS機能のご利用にあたっては、ｉモードのご契約が必要となる場合があります。

■ 測位について
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - ・建物の中や直下
  - ・地下やトンネル、地中、水中
  - ・かばんや箱の中
  - ・ビル街や住宅密集地
  - ・密集した樹木の中や下
  - ・高圧線の近く
  - ・自動車、電車などの車内
  - ・大雨、雪などの悪天候
  - ・携帯電話の周囲に障害物（人や物）があるとき
  - ・携帯電話の画面、キー、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っているとき

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- GPSの人工衛星は高度約20000kmの衛星軌道上に約24個あり、それぞれが約12時間で地球を一周しています。そのため同じ使用環境であっても日時が異なれば、電波の受信状態が異なり、位置情報に大きな誤差を生じたり、測位できなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

■ 他の機能利用中やロック中の利用について

- 以下の場合はGPS機能（現在地確認、位置提供、現在地通知）は利用できません。
  - ・オールロック中※1　・おまかせロック中※1
  - ・パーソナルデータロック中※1
  - ・セルフモード中
  - ・赤外線通信／iC通信中
  - ・他の機能による測位中
  - ・FOMAカードを挿入していないとき
  - ・FOMAカードがロックされているとき
  - ・ソフトウェア更新中
  - ・パターンデータ更新中
  - ※1：位置提供の要求を受けたときは、操作および位置情報の送信が可能です。
- ｉアプリの通信中は、位置提供は行われません。
- お預かりセンターに接続中は現在地確認、現在地通知は行えません。

■ その他

- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

自分のいる場所を確認する

現在地確認

GPS機能を使用して現在いる場所を測位し、地図を表示したり、GPS対応ｉアプリを起動したりできます。測位した位置情報をｉモードメールで送ったり、電話帳に付加することもできます。

- 現在地確認はFOMA端末が圏外（または海外）でも利用できる場合がありますが、時間がかかったり、周囲の状況によっては測位できないことがあります。
- 圏外では「地図を見る」は利用できません。
- テレビ電話中、プッシュトーク通信中は「地図を見る」「対応ｉアプリを利用」「メール貼り付け」は利用できません。
- 海外でもローミング対応している国では「地図を見る」を選択すると地図サイトに接続しますが、エラー画面が表示され、パケット料金が発生します。
- 現在地確認した際のパケット通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 Menu 6 9 1

測位が開始されます。

測位中点滅

現在地確認中
今いる場所を調べています。
クリアキーで中断します。
「利用」で現在の測位結果を使用します。
測位レベル:★☆☆

現在の測位レベル

測位中画面

現在地確認
今いる場所の確認が終了しました。
測位レベル:★★★
1 地図を見る
2 対応アプリを利用
3 メール貼り付け
4 電話帳新規登録
5 電話帳更新登録
6 位置情報表示

終了時の測位レベル

測位結果画面

- 測位レベルの意味は以下のとおりです。
  - ★★★：ほぼ正確な位置情報です（誤差がおおむね50m未満）
  - ★★☆：比較的正確な位置情報です（誤差がおおむね300m未満）
  - ★☆☆：おおよその位置情報です（誤差がおおむね300m以上）

  測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 測位を途中で打ち切って測位結果画面を表示する：測位中画面のガイド行に「利用」が表示されているときに[m]
- 測位を中止する：測位中画面で[クリア]
- 完了後に測位し直す（リトライ）：測位結果画面で[m]

2 **機能を選択**

■ **地図を見る：1▶●**

ｉモードに接続され、地図が表示されます。地図表示後にｉエリアを使って周辺情報を調べることができます。ｉエリアについての詳細はドコモのホームページをご覧ください。

■ **GPS対応ｉアプリを起動する：2▶ｉアプリを選択**

■ **位置情報をメールに貼り付ける：3**

メール作成画面が表示されます。

- メールの題名には「位置メール」、本文には📍と位置情報URLが入力されます。位置情報URLも本文の文字数に含まれます。
- 送付する位置情報は、ｉモード対応端末でのみ表示されます。

■ 電話帳に新規登録する：4

■ 電話帳に更新登録する：5▶電話帳データを選択

■ 位置情報を表示する：6

07/07/10 10:00:12 — 測位日時
N XX° XX′ XX.XXX″ — 緯度（N：北緯、S:南緯）
EXXX° XX′ XX.XXX″ — 経度（E：東経、W：西経）
測地系 :WGS84 — 測地系
- 地球上の位置を緯度と経度で表すときの基準です。
WGS84：世界測地系
Tokyo：日本測地系
測位レベル:★★★ — 測位レベル
OK

おしらせ

● 電波が入りにくいために測位に時間がかかる場合、確認画面が表示されます。測位を続けるには「はい」を、中止するには「いいえ」を、リトライするには「リトライ」を選択します。
- 現在地確認の測位モード設定（☞P308）を標準モードに設定していても、リトライ時は品質重視モードで測位されます。
- 海外では「リトライ」は表示されません。

● 測位に失敗したときはリトライするかどうかの確認画面が表示されます。リトライするには「はい」を選択します。

● 測位を開始すると、現在地確認の測位動作設定に従って決定キーの照明が点灯／点滅します。音、バイブレータを鳴動させる設定もできます。☞P124

現在地確認時に実行する機能を設定する
現在地確認後動作設定

セレクトメニューに登録して現在地確認を実行したときの測位完了後に実行する機能を設定します。
- 本機能は、セレクトメニューの1階層目に現在地確認を登録し、待受画面でダイヤルキーを1秒以上押して現在地確認を実行したときに有効です。お買い上げ時は登録されていません。登録するには☞P395
- 実行する機能は「地図を見る」「対応ｉアプリを利用」「メール貼り付け」「電話帳登録」「測位ごとに確認」から選択します。「測位ごとに確認」では、測位後に機能を選択できます。

お買い上げ時　地図を見る

1 Menu 6 9 4 1 ▶ 1〜5

ナビゲーションを使用する
ナビゲーション

お買い上げ時に登録されているGPS対応ｉアプリ「NAVITIME for D904i」を使用すると、現在地から目的地への経路を検索し、地図や音声によるナビゲーション（道案内）ができます。また、地図検索などさまざまな機能を利用できます。

NAVITIME for D904iの利用期間について

● 初回利用時から90日間は、NAVITIME for D904iのすべての機能を無料でご利用いただけます。
- 別途パケット通信料がかかります。

● 初回利用時から90日を過ぎると一部の機能のみ利用できます。

● NAVITIME for D904iをご利用いただける期間は、2010年7月31日までです。ただし、期間は変更される場合があります。ヘルプでご確認ください。

● NAVITIME for D904iを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☞P453

NAVITIME for D904iの使いかた

- 詳しい操作は各画面の表示やヘルプをご覧ください。

例 トータルナビ機能で現在地から目的地までのルート検索を行うとき

1 ｉα 3

NAVITIME for D904i
ナビ
現在地(GPS)
地図/スポット検索
乗換/時刻表
ドライブ
設定/インフォメーション
目的地を入れれば行き方が分かる！GPSを使った音声ナビにも対応！
フル機能利用期間:200X年XX月XX日まで

- スピードメニューから起動するｉアプリを変更している場合は、GPS対応ｉアプリの一覧から起動してください。☞P302

- 初回起動時は確認画面が表示され、「はい」を選択するとご利用確認画面が表示されます。利用規約を確認の上、NAVITIME for D904iを利用するには「確認／利用規約承諾」を選択してください。なお、次回以降ご利用確認画面を表示しないようにするには「次回以降表示しない」を選択してください。

2 「ナビ」▶「トータルナビ」

3 店名／住所／駅名などを入力▶「検索」

- を押して画面を切り替えると、いろいろな方法で目的地を検索できます。

4 目的地を選択

5 「一発ルート探索（GPS）」

現在地が測位され、現在地から目的地までのルート探索結果が表示されます。

- 現在時刻を出発時刻として探索されます。
- 「出発地に設定」「目的地に設定」を選択して、出発地や目的地を設定することもできます。この場合、時刻や探索条件も設定できます。

6 ルートを選択

- で他のルートの詳細を表示できます。

7 「音声ナビ開始」▶「OK」

© NAVITIME JAPAN
地図：昭文社

現在地付近の地図が表示され、徒歩ルートの音声ナビゲーションが始まります。

- Menu を押すとサブウィンドウに各種情報を表示できます。
- を押すと音量調整や地図表示の終了などが行えます。
- スピードセレクターを回転して地図を拡大／縮小できます。
- 0 を押すとヘルプが表示され、地図の操作方法を確認できます。
- 7 を押しながらFOMA端末を傾けると、傾けた方向に地図がスクロールします。地図を元の位置に戻すには 7 を離してから クリア を押します。

NAVITIME for D904iのメニュー

メニュー項目		説　明
ナビ	トータルナビ※1	乗物、自動車、徒歩などを用いたルート検索と音声ナビゲーション
	ドライブサポーター	自動車ルート向けの音声ナビゲーション
	ぐるっとナビ	複数の経由地を効率よく回るルートを検索
	検索履歴／Myルート	最近検索したルートや登録済みのMyルートを表示
現在地（GPS）※1		現在地の地図や周辺情報を表示
地図／スポット検索	地図検索※1	駅名／スポット名／住所などから地図を検索
	おすすめスポット	おすすめスポット情報やイベントを紹介
乗換／時刻表	乗換検索	出発･到着駅を指定した乗換検索
	時刻表検索	全国の駅時刻表を検索
	乗換履歴／Myルート	最近検索した乗換ルートを表示
ドライブ	ドライブサポーター	「ナビ」のドライブサポーターと同じ
	駐車場検索	全国の駐車場検索と駐車場までのルート案内

メニュー項目		説　明
設定／インフォメーション※1	NAVITIMEとは？	初めて利用する方へのご案内を表示
	利用制限について	初回利用から 90 日後の利用制限について表示
	お知らせ	新着のイベント／スポット情報などを表示
	各種設定	NAVITIME for D904iの各種設定
	ヘルプ	サービスのご案内や使いかたの表示、お問い合わせ

※ 1：初回利用時から 90 日を過ぎてもご利用いただけます。ただし、利用できる機能は一部制限されます。

おしらせ

- メール連携アプリのため、2in1がBモードのときは利用できません。
- FMトランスミッターを利用すると、ナビゲーションの音声をカーステレオなどで聞くことができます。☛P377

GPS対応ｉアプリを利用する

GPS対応ｉアプリ

GPS機能に対応したｉアプリを実行します。GPS機能に対応したｉアプリでは、FOMA端末で取得した位置情報を利用した処理を行えます。

- お買い上げ時は「NAVITIME for D904i」が登録されています。
- 位置情報の利用方法は、ｉアプリによって異なります。

1 Menu 6 9 2 ▶ **ｉアプリを選択**

ソフトが起動されます。

おしらせ

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの動作設定で、位置情報利用設定を「利用する」に設定してください。
- お買い上げ時に登録されている「NAVITIME for D904i」を削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P453

要求に応えて現在の位置情報を提供する

位置提供

位置提供機能に対応したサービス提供者から要求されたときに、現在地を測位して位置情報を送信します。

- 本機能を利用するには、あらかじめサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料になる場合があります。
- 本機能を利用するには、位置提供可否設定を「位置提供ON」または「許可期間設定」に設定しておく必要があります。☛P303
- 利用するサービスによっては、位置提供設定のサービス利用設定（GPSサービス利用設定）が必要な場合があります。☛P305
- 「イマドコサーチ」を利用する場合は、FOMA端末でのサービス利用設定は不要ですが、ｉMenu（料金＆お申込・設定のオプション設定）の位置情報利用設定（イマドコサーチ設定）が必要です。イマドコサーチ設定についてはドコモのホームページなどをご覧ください。
- 位置提供のご利用にあたっては、サービス提供者や、ドコモホームページなどでのお知らせに従ってください。

位置提供が要求されたときは

位置提供が要求されたときに表示される画面や動作は、サービスごとの利用設定によって異なります。

■ **サービスごとの利用設定が「許可」の場合**

開始通知画面が表示され、お客様の確認なしに自動的に測位が開始されます。◉を押すか、約5秒経過すると測位中画面が表示されます。

位置提供中
今いる場所を送信します。
クリアキーで中断します。
送信先:
イマドコサーチ
ドコモ一郎
090XXXXXXXX
OK
測位レベル:★☆☆

位置提供中
今いる場所を調べています。
クリアキーで中断します。
送信先:
イマドコサーチ
ドコモ一郎
測位レベル:★☆☆

測位が完了すると自動的に位置情報が送信され、結果画面が表示されます。

■ サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合

確認画面が表示されます。位置提供を行うには「はい」、中止するには「いいえ」を選択します。

- 確認画面が表示されてから操作せずに約 20 秒経過すると、位置提供は中止されます。

測位が完了すると自動的に位置情報が送信され、結果画面が表示されます。

■ 位置提供時の動作について（「許可」「毎回確認」共通）

- 位置提供の要求を受けると、位置提供の測位動作設定に従って音、バイブレータが鳴動し決定キーの照明が点灯／点滅します。☛P124
- 測位中に位置提供を中断するには クリア を押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。また、送信先によっては中断できない場合があります。
- 表示項目の意味は以下のとおりです。

NAME：送信先名　NAME：要求者名※1

ID：要求者ID※2

※1：要求者 ID が電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスと一致した場合に、電話帳に登録されている名前が表示されます。2in1 がONのときは、2in1 の各モードで表示される電話帳と照合されます。

※2：表示されない場合があります。

おしらせ

● 公共モード（ドライブモード）中の位置提供については、次のように動作します。

- サービスごとの利用設定で位置提供を「毎回確認」に設定した場合、公共モード（ドライブモード）中は位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。
- サービスごとの利用設定で位置提供を「許可」に設定した場合、測位時の音、バイブレータ、イルミネーションは動作せず、画面表示のみされ、位置情報が提供されます。

● 電波状況によっては、位置情報が送信されても、サービス提供者やイマドコサーチの検索者に届いていないことがあります。

● 位置提供は、2in1 のモードに関わらずAナンバーでのみ利用できます。相手からBナンバーで検索された場合は、位置提供は行われず、検索者には検索失敗が通知されます。

位置提供の可否を設定する

位置提供可否設定

位置提供の要求に対して、位置提供を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時　位置提供OFF

1 Menu 6 9 6 1 ▶端末暗証番号を入力

2 位置提供可否を設定

■ 位置提供を許可する：1

■ 位置提供を許可しない：2

■ 指定した期間だけ位置提供を許可する：3 ▶各項目を設定▶

開始時間：
位置提供を開始する時刻を入力します。

終了時間：
位置提供を終了する時刻を入力します。

繰り返し：
- 「毎日」に設定すると、毎日、開始時間から終了時間まで位置提供が許可されます。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して を押します。

有効期間：
位置提供を許可する期間を設定するときに「開始日指定」または「開始／終了日指定」に設定します。
- 繰り返しを「毎日」または「曜日指定」に設定したときだけ設定します。

開始日：
有効期間を「開始日指定」または「開始／終了日指定」に設定したときに入力します。

終了日：
有効期間を「開始／終了日指定」に設定したときに入力します。

許可期間設定時の注意事項

■ 繰り返しが「なし」のとき

- 現在より後の開始時間を設定すると、本日の開始時間から許可されます。
- 開始時間が現在より前、終了時間が現在より後の場合は、現在から終了時間まで許可されます。
- 開始時間、終了時間とも現在より前の場合は、翌日の開始時間から終了時間まで許可されます。
- 開始時間と同じ終了時間、または開始時間より前の終了時間を設定すると、翌日の終了時間まで許可されます。

例 現在時刻が10:00のとき

設定例		許可される期間
開始時間	終了時間	
11:00	18:00	本日11:00～本日18:00
09:00	17:00	現在（本日10:00）～本日17:00
06:00	09:00	翌日6:00～9:00
11:00	10:00	本日11:00～翌日10:00
09:00	08:00	現在（本日10:00）～翌日8:00

■ 繰り返しが「毎日」または「曜日指定」で有効期間が「なし」または「開始日指定」のとき

本日または開始日以降の開始時間から終了時間までが許可されます。

例 現在日時が2007年7月10日（火）10:00で繰り返しを「曜日指定」（月～金）、有効期間を「なし」に設定するとき

設定例		許可される期間
開始時間	終了時間	
09:00	18:00	現在より月～金の9:00～18:00
09:00	09:00	現在より月～金の全日（月～金の 9:00 ～翌日9:00）
17:00	06:00	本日 17:00 より月～金の17:00～翌日6:00

■ 繰り返しが「毎日」または「曜日指定」で有効期間が「開始／終了日指定」のとき

開始時間と同じ終了時間、または開始時間より前の終了時間を設定すると、終了日の翌日の終了時間まで許可されます。

例 現在日時が2007年7月10日（火）10:00で繰り返しを「毎日」に設定するとき

設定例				許可される期間
開始時間	終了時間	開始日	終了日	
09:00	18:00	2007/07/10	2007/07/30	現在～7月30日の18:00まで（毎日9:00～18:00）
09:00	09:00	2007/07/10	2007/07/30	現在～ 7 月 31 日 9:00 まで（毎日9:00～翌日9:00まで全日）
17:00	06:00	2007/07/10	2007/07/30	本日17:00～7月31 日 6:00 まで（毎日 17:00～翌日6:00まで）

おしらせ

- 「位置提供ON」または「許可期間設定」に設定すると、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。
- 「位置提供ON」または「許可期間設定」に設定にすると、許可期間前でも、画面に GPS が表示されます。許可期間が過ぎると GPS は消えます。
- 「位置提供OFF」に設定すると、位置情報の要求を受信しても画面表示や音、バイブレータ、イルミネーションでお知らせせずに、位置提供を拒否します。位置履歴には位置提供（測位失敗）の履歴が記録されます。

GPSサービス利用設定の接続先を設定する

サービス利用／接続設定

GPS サービス利用設定を行う際の接続先を設定します。

※通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時 ドコモ

1 Menu 6 9 6 4

2 **接続先欄▶「ユーザ設定」**

- ドコモに接続する設定に戻す：接続先欄▶「ドコモ」▶ 🄼

3 **ユーザ設定接続先欄▶入力（半角英数字99文字まで）**

4 **ユーザ設定初期画面URL欄▶入力（半角英数字100文字まで）▶ 🄼**

GPSサービス利用設定を行う

サービス利用設定

GPSサービス利用設定のサイトに接続して、位置提供の検索許可やパスワードなどサービスの設定を行います。

- ローミング対応している海外の国から接続すると、GPSサービス利用設定のサイトへパケット接続しますが、エラー画面が表示され、パケット料金が発生します。

1 [Menu] [6] [9] [6] [3]

GPSサービス利用設定のサイトに接続されます。

2 設定を行う

- 設定方法はGPSサービス提供者にお問い合わせください。

現在の位置情報を通知する

現在地通知

現在地を測位して、あらかじめ登録した相手に位置情報を送信します。

- 本機能は、現在地通知機能に対応したサービス提供者へ、FOMA端末の現在地を送信するための機能です。
- 本機能の利用は有料です。
- 本機能を利用するには、あらかじめサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 現在地通知のご利用にあたっては、サービス提供者や、ドコモホームページなどでのお知らせに従ってください。

現在地通知先を登録する　現在地通知先一覧

- 最大5件登録できます。

1 [Menu] [6] [9] [5] [2] [1]

2 「＜新しい通知先＞」

現在地通知先一覧　1/5件
＜新しい通知先＞
○○サービス

- 登録済みの現在地通知先を確認する：現在地通知先を選択
  - ・[📖]を押すと編集できます。

■ **現在地通知先を削除する：現在地通知先を選び[Menu] [3] [1] ▶「はい」**

- 全件削除する：[Menu] [3] [2] ▶端末暗証番号を入力▶「はい」

■ **現在地通知先を電話帳に登録する：現在地通知先を選ぶ▶新規登録するときは[Menu] [4]、更新登録するときは[Menu] [5] ▶ [1] ～ [2]**

電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。

3 各項目を設定▶[📖]

通知先名：
全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

通知先ID：
サービス提供者から指定された通知先IDを入力します（半角数字、＊、＃で12文字まで）。

電話番号：
現在地通知先の電話番号を入力します。

発信時通知設定：
登録した電話番号への電話発信時に位置情報を自動通知するかどうかを、「する」「しない」「発信時確認」から選択します。

■ **電話帳から検索する：[Menu] [1] ▶相手を選択**

発信時通知設定を「する」または「発信時確認」に設定したときは

登録した電話番号に電話をかけたときに、現在地が測位され、現在地通知先に通知されます。

- 相手に電話がつながらなかった場合、現在地通知はできません。
- 発信者番号非通知で電話をかけた場合は、現在地を通知しません。

例 「発信時確認」に設定したとき

1 登録した電話番号に電話をかける▶確認画面で「はい」

今いる場所と電話番号を送信する旨のメッセージが表示されます。

- 発信時通知設定を「する」に設定したときは、通知するかどうかの確認画面は表示されません。

2 [⊙]

測位が実行され、位置情報が送信されます。

- [⊙]を押さなくても約5秒後に自動的に測位が実行されます。

現在地を通知する

現在地を測位し、位置情報を送信します。

1 Menu 6 9 5 1

2 1 ▶ **現在地通知先を選択**

今いる場所と電話番号を送信する旨のメッセージが表示されます。

- 現在地通知先の詳細情報を確認する：一覧から現在地通知先を選び 📖
  - ・ ⦿ を押すと測位を実行できます。
- 通知先IDを直接入力する：2 ▶ 通知先IDを入力

3 ⦿

測位が開始されます。測位が完了すると位置情報が送信され、完了画面が表示されます。

- 現在地通知の測位動作設定に従って、測位中は決定キーの照明が点灯／点滅し、測位が完了すると音、バイブレータが鳴動します。☛P124
- 測位中に現在地通知を中断するには クリア を押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。

4 ⦿

おしらせ

- 電波状況によっては、位置情報が送信されても、サービス提供者に届いていないことがあります。
- 2in1 のモードに関わらず、A ナンバーで位置情報を通知します。

確認した位置情報の履歴を表示する

位置履歴

現在地確認、位置提供、現在地通知で測位した履歴を表示します。位置情報を利用して地図を表示したり、ｉモードメールで送信したりできます。

- 最大50件記録されます。50件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 Menu 6 9 3

位置履歴　1/1
07/07/10 10:00:12
07/07/10 08:25:42
07/07/10 06:02:15
07/07/09 22:54:32
07/07/09 15:47:54

測位日時

種別アイコン

- GPS：現在地確認（測位成功）※1
- 位置提供（▼が赤：測位成功、▼がグレー：測位失敗）
- 現在地通知（▼が赤：測位成功、▼がグレー：測位失敗）

※1：現在地確認の測位失敗時や中断時は、位置履歴は保存されません。

■ **位置履歴の詳細を確認する：位置履歴を選択**

位置履歴詳細　1/5
07/07/10 10:00:12
現在地確認
N XX° XX′ XX.XXX″
EXXX° XX′ XX.XXX″
測地系　:WGS84
測位レベル:★★★

- 機能や利用するGPSサービスなどによって表示情報の種類は異なります。

現在地確認の場合

- アイコンの意味は以下のとおりです。
  - ：測位日時、機能
  - ：位置情報
  - NAME：送信先／通知先名
  - ID：送信先／通知先ID
  - NAME：位置提供要求者名
  - ID：位置提供要求者ID
- 位置提供の要求者IDが電話番号の場合、要求者IDを選択して電話をかけられます。要求者IDがメールアドレスの場合、要求者IDを選択してメールを作成できます。また、Menu 3 ／ Menu 4 を押すと電話番号やメールアドレスを電話帳に新規登録／更新登録できます。

■ **位置履歴を利用する：位置履歴を選び** Menu 1

- 測位失敗の位置履歴は利用できません。
- 以降の操作は「自分のいる場所を確認する」の操作2と同じです。☛P299

■ 位置履歴を削除する：
①位置履歴を選びMenu 2 1
・複数削除する：Menu 2 2 ▶位置履歴を選択▶ 📖
・全件削除する：Menu 2 3 ▶端末暗証番号を入力
②「はい」

おしらせ

● 位置履歴に測位成功の履歴が記録されていても、電波状況によりサービス提供者やイマドコサーチの検索者に位置情報が届いていない場合があります。
● 位置提供の要求者IDが電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスと一致した場合に、電話帳に登録されている名前が要求者名に表示されます。2in1がONのときは、2in1の各モードで表示される電話帳と照合されます。
● iアプリなど他の機能から位置履歴の一覧を表示したときは、測位失敗の履歴は表示されません。また、サブメニューからの位置情報の利用や削除はできません。

各機能から位置情報を利用する

メール、電話帳、自局番号に位置情報を付加する

iモードメールの本文や署名に位置情報URLを入力したり、FOMA 端末電話帳や自局番号に位置情報を付加できます。

例 iモードメールの本文に位置情報URLを入力するとき

1 メール本文の入力画面でMenu 5 5

・メールの署名に入力する：署名編集画面で◉▶Menu 5 5
・FOMA端末電話帳に登録する：電話帳登録画面で位置情報欄
・自局番号に登録する：自局番号編集画面で位置情報欄

2 位置情報を取得

■ 現在地を測位する：1
■ 位置履歴から取得する：2 ▶位置履歴を選択
■ 電話帳に登録されている位置情報を取得する：3 ▶電話帳データを選択
■ 自局番号に登録されている位置情報を取得する：4 ▶端末暗証番号を入力

3 「はい」

📍と位置情報URLが入力されます。
・位置情報を表示する：「位置情報表示」
・位置情報URLも本文の文字数に含まれます。
・送付する位置情報は、iモード対応端末でのみ表示されます。

おしらせ

● 電話帳データに位置情報を付加するときは、位置情報登録済みの電話帳データから位置情報を取得することはできません。

電話帳や自局番号の位置情報を利用する

例 FOMA端末電話帳に登録した位置情報を利用するとき

1 電話帳を検索▶電話帳データを選びMenu 0

・以降の操作は「自分のいる場所を確認する」の操作2と同じです。☛P299
ただし、電話帳登録はできません。
・電話帳詳細画面から操作する：位置情報を選び◉
・自局番号に登録した位置情報を利用する：自局番号の詳細画面で位置情報を選び◉

メールの位置情報URLを利用する

メールの本文中の先頭に📍が付いている位置情報URLを利用して、iモードに接続し地図を表示できます。

1 メールを表示▶位置情報URLを選択▶「はい」

・地図表示後にiエリアを使って周辺情報を調べることができます。iエリアについての詳細はドコモのホームページをご覧ください。

サイトに位置情報を送信する

サイトに位置情報送信用のリンク項目があるとき、リンク項目を選択して位置情報をサイトに送信できます。

1 サイトを表示▶位置情報送信用のリンク項目を選択

2 位置情報を取得

・操作方法は「メール、電話帳、自局番号に位置情報を付加する」の操作2以降と同じです。☛P307

サイトやトルカの位置情報を利用する

サイトや画面メモ、メッセージR/F、トルカのリンク項目に位置情報（住所情報）が付加されている場合、リンク項目を選択して位置情報を利用できます。

1 **サイトや画面メモ、メッセージR/F、トルカを表示▶位置情報を選択**

2 **メニュー項目を選択**

■ GPS対応ｉアプリを利用する：「対応ｉアプリを利用」▶Ⓒ▶ｉアプリを選択

■ 地図を見る：「地図を見る」▶Ⓒ

■ ｉモードメールに貼り付ける：「メール貼り付け」▶Ⓒ

測位モードを設定する

測位モード設定

- 標準モードでは短い時間で測位することを優先します。
- 品質重視モードでは時間をかけて測位します。その結果、標準モードより精度が上がる場合があります。

お買い上げ時　標準モード

例　現在地確認の測位モードを設定するとき

1 Menu 6 9 4 2

■ 位置提供の測位モードを設定する：
Menu 6 9 6 2

■ 現在地通知の測位モードを設定する：
Menu 6 9 5 2 2

2 1～2

フルブラウザ

パソコン向けのインターネットホームページを表示する　フルブラウザ

パソコン向けに作成されたインターネットホームページをFOMA端末で表示できます。
- ページによっては表示されない場合や、正しく表示されない場合があります。
- 画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

例　URLを入力して表示するとき

1 9 3 1 ▶URLを入力（半角512文字まで）▶

- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。
- 接続中にを押すと接続を中止できます。また、データ取得中に クリア を押すとデータの取得を中断できます。

■ ホームページを表示する： 9 1
- あらかじめホームページとして登録したページに接続されます。☛P315
- ホームページが未登録のときは登録画面が表示されます。

■ ブックマークから選択する： 9 2 ▶フォルダを選択▶ブックマークを選択
- ブックマークに登録するには☛P313

■ URL履歴を使って表示する： 9 3 2 ▶URLを選択
- URL履歴は、新しい順に最大20件記録されます。

■ 以前に表示したページに再接続する（ラストURL）： 9 3 3 ▶ラストURLを選択
- ラストURLは、新しい順に最大10件記録されます。
- ページによっては表示できないことがあります。また、以前に表示したページと異なることがあります。

2 利用しますか。欄▶「利用する」▶「登録」

- 「表示」を選択すると注意事項が表示されます。必ずお読みください。
- アクセス設定を「利用する」に設定している場合は、操作2は不要です。

3 インターネットホームページを見終わったら ▶「はい」

おしらせ

- ページによっては表示に時間がかかる場合があります。
- 次の機能には対応していません。
  - Flash画像の表示
  - プラグイン
  - 音の再生
  - 画面メモ保存
  - Phone To（AV Phone To）
- 画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  - ：データ取得中や、画像表示設定で画像を表示しない設定にしているとき
  - ：画像のデータが不正なときや、画像が見つからないとき、圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - ：画像のURL誤りなどで画像を表示できないとき
- データ取得中は実行できない機能があります。
- ブックマークのフォルダ一覧やブックマーク一覧、URL履歴一覧、ラストURL一覧から行える操作やURLの入力方法はiモードと同じです。☛P203、P202、P200
- ページによっては自動的に通信するものがあります。通信を開始するときは、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
- フルブラウザではSSL/TLS対応のページを表示できます。SSL/TLSは、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式です。
  - SSL/TLS通信にFOMA端末に保存されているユーザ証明書またはオリジナル証明書が必要な場合、証明書の選択画面が表示されます。
  - SSL/TLS通信中はが表示されます。
  - SSL/TLS対応ページ表示中に Menu を押し「表示」→「証明書詳細表示」を選択するとページの証明書を表示できます。
  - SSL/TLS対応ページの表示を終了するときは確認画面が表示されます。

フルブラウザ画面表示中の操作について

フルブラウザ画面の見かた

フルブラウザ画面の表示モードにはケータイモードとPCモードがあります。ケータイモードでは、FOMA端末の画面幅に合わせてページ内容が表示され、上下にスクロールして表示できます。PCモードでは、FOMA端末の画面幅で折り返さずにページ内容が表示され、上下左右にスクロールして表示できます。
お買い上げ時はケータイモードに設定されています。

ケータイモード　PCモード

❶状態表示／ページのタイトルまたはURL
：フレームサムネイル表示中☛P312
：フレーム拡大表示中☛P312
（緑）：データ取得中
（グレー）：フレーム拡大表示中に他フレームのデータ取得中
：PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルのダウンロード中

❷表示モードアイコン
：ケータイモード　：PCモード

❸ポインター
ポインターを表示すると、パソコンのようにポインターを使って操作できます。☛P312

❹ビューポジション
ページ表示時や画面スクロール時などに、ページ内の現在表示中の範囲を示すバーが約１秒間表示されます（サムネイル表示中を除く）。
赤：表示中の範囲（表示色は変更できます。）
グレー：表示していない範囲
- 枠のサイズは表示モードやページによって変わります。

● マルチウィンドウの表示については☛P312

■ ケータイモードとPCモードを切り替える：
[m][4]
- 設定はフルブラウザを終了しても保持されます。

■ スクロールする：ケータイモードでは、PCモードでは
- ポインター表示中は、ポインターを画面の端付近まで移動するとスクロールします。

■ 画面単位にスクロールする：
- ケータイモードのとき：
[1]／[2]／[3]／[←]※1で上スクロール
[7]／[8]／[9]／[✉]※1で下スクロール
※1：ポインター表示中は[←]、[✉]は使用できません。
- PCモードのとき：[1]～[4]、[6]～[9]
（キーの方向にスクロール）

■ 前のページに戻る／進む：[←]／[✉]
- ケータイモードでポインター非表示のときは／で操作します。

■ ガイド行の表示／非表示を切り替える：[＊]
- 画面表示設定を「全画面表示」に設定している場合のみ有効です。

■ ページを再読み込みする：[Menu][4]

■ ページのURLを表示する：[Menu][8][1]
- URLをコピーできます。操作方法は「URLをコピーする」と同じです。☛P210

■ リンク先のURLを表示する：リンクを選び
▶[Menu][8][2]
- 表示したURLをコピーする：[Menu]
以降の操作は「URLをコピーする」の操作2以降と同じです。☛P210

■ 文字コードを切り替える：[Menu][8][5][1]
- 押すたびにSJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。
- 自動選択する：[Menu][8][5][2]
- 文字コードを切り替えても、文字を正しく表示できない場合があります。

■ アニメーションを最初から再生する：
[Menu][8][6]

■ ビューポジションを手動で表示する：
[Menu][8][8]
- 表示色を設定する：[Menu][8][9]▶[1]～[3]
- 表示しないように設定する：[Menu][8][9][4]

■ URLをメールで送信する：[Menu][6]
表示中のページのURLを本文に入力したメール作成画面が表示されます。

■ 他のページを表示する：
- ホームページを表示する：[Menu][1]
- ブックマークから選択する：[Menu][2][2]▶フォルダを選択▶ブックマークを選択
- URLを入力して表示する：[Menu][3][1]▶URLを入力（半角512文字まで）▶[m]
- URL履歴を使って表示する：[Menu][3][2]▶URLを選択
- 以前に表示したページに再接続する（ラストURL）：[Menu][3][3]▶URLを選択

■ ヘルプを表示する：[m][8]

おしらせ
● スクロールする場合、該当するキーを押し続けると連続スクロールできます。
● ポインター非表示のとき、リンクや入力欄などの選択方法はｉモードのサイト表示中と同じです。ただし、番号付きの項目をダイヤルキーで選択することはできません。

ポインターの表示／非表示を切り替える

1 フルブラウザ画面で#

- 設定はフルブラウザを終了しても保持されます。
- 検索画面表示中、画像選択中などはポインターは表示されません。

ポインターで項目を選択する

1 でポインターを項目に合わせ

- を押し続けると連続で移動します。斜めに押しても移動できます。
- 表示されていない範囲があるときは、ポインターを画面の端付近まで移動するとスクロールします。
- 選択可能な項目にポインターを合わせるとガイド行の中央に「選択」が表示されます。
- ガイド行やサブメニューなどはポインターで選択できません。

おしらせ

- フレームによってはポインターの移動範囲が制限されることがあります。

フレームに分割されたページを表示する

最初にフレームサムネイル画面が表示されます。フレームを選択するとフレーム拡大表示画面が表示され、スクロールや項目選択などの操作ができます。

- フレームの分割数が多いページの場合、表示できない場合があります。また、マルチウィンドウ中は、表示できるフレーム数が少なくなります。

1 フレームサムネイル画面からフレームを選択

サムネイル表示中　拡大表示中

□□□□□ページ　□□□□□ページ

INDEX　TOPページ

フレームサムネイル画面　フレーム拡大表示画面

- ポインター表示中はでポインターをフレームに移動しを押します。
- ポインター非表示のときはで枠を移動しを押します。PCモードではでも移動できます。
- フレームサムネイル画面に戻す：クリア
- リンクを選択したときなどに、自動的にフレームサムネイル画面に戻ることがあります。

おしらせ

- フレームの構成によっては、内容をすべて表示できない場合があります。
- フレームサムネイル画面では以下の操作は行えません。
  - スクロール
  - リンク先の表示
  - 画像、PDFデータ、Word、Excel、PowerPointのファイルの保存
  - 検索
  - ビューポジションの表示／設定
- 認証が必要なフレームは黄色の枠、スキャン機能で問題が検出されたフレームは赤色の枠で表示されます。

マルチウィンドウで表示する

複数のウィンドウを同時に開いて、切り替えながら表示できます。

- ウィンドウは最大5つ表示できます。ただし、フレーム数やページ内容によっては最大数まで表示できない場合があります。
- 複数のページを並べて表示できません。

例 リンク先を別ウィンドウに表示するとき

1 フルブラウザ画面でリンクを選びm35

新しいウィンドウに表示されます。今までのページは裏ウィンドウに残ります。

●○○○○○ページ

○○○○○

ウィンドウごとのタブ
白：表示中のウィンドウ
グレー：裏ウィンドウ

- ホームページを表示する：m31
- ブックマーク／URL入力／URL履歴／ラストURLを使って表示する：m3▶2～4／6
  - 以降の操作は「パソコン向けのインターネットホームページを表示する」と同じです。☛P310
- マルチウィンドウ中に、裏ウィンドウの処理に関する確認画面が表示されることがあります。確認画面表示中は、裏ウィンドウのタブが点滅表示されます。
- 表示中のウィンドウや裏ウィンドウでデータ取得中は実行できない操作があります。
- データ取得中にクリアを押すと表示中のウィンドウのデータの取得を中断できます。また、Menu8を押すと全ウィンドウのデータの取得を中断できます。

■ ウィンドウを切り替える：[m][1]▶ウィンドウを選択

■ ウィンドウを閉じる：閉じるウィンドウを表示▶[クリア]▶「はい」

おしらせ

● リンクによっては、自動的に新しいウィンドウを開くように設定されている場合があります。
● マルチウィンドウ中に表示モードを切り替えると、すべてのウィンドウの表示モードが切り替わります。

横表示する

90度回転してページを表示できます。

1 フルブラウザ画面で[m][6]

縦表示と横表示が切り替わります。
- 横表示ではガイド行は表示されません。
- モーションコントロールにより、FOMA端末を左に倒して横向きにすると横表示に、縦に戻すと縦表示に切り替わります。ただし、キー操作で切り替えているときは切り替わりません。☛P384

横表示中のキー操作について

横表示中は画面単位のスクロールや戻る／進む操作に使用するキーが変わります。

■ 画面単位でスクロールする：
- ケータイモードのとき：
  [3]／[6]／[9]／[✉]※1で上スクロール
  [1]／[4]／[7]／[✉]※1で下スクロール
  ※1：ポインター表示中は[✉]、[✉]は使用できません。
- PCモードのとき：[1]～[4]、[6]～[9]（キーの方向にスクロール）

■ 前のページに戻る／進む：前のページに戻るには[✉]、進むには[✉]
- ケータイモードでポインター非表示のときは[◎]／[◎]で操作します。

iモードからフルブラウザに切り替える

iモードでインターネットホームページを表示中に、フルブラウザに切り替えて表示できます。
- ページによっては表示されない場合や、正しく表示されない場合があります。

1 iモードでインターネットホームページに接続

2 [Menu][3][3]▶「はい」

- 以降の操作は、「パソコン向けのインターネットホームページを表示する」の操作2と同じです。☛P310
  ・アクセス設定画面で「利用しない」のまま登録したり、[クリア]を押してもiモードの画面には戻れません。

フルブラウザ画面からの各種操作

ブックマークに登録する

- 最大登録件数☛P495
- URLが半角512文字を超える場合は登録できません。
- ページによってはブックマークに登録できない場合があります。

1 フルブラウザ画面で[Menu][2][1]▶登録先フォルダを選択

- 以降の操作はiモードの「ブックマークに登録する」の操作2と同じです。☛P203

画像を保存する

GIF形式、JPEG形式の画像をFOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存できます。また、PNG形式、BMP形式の画像をmicroSDメモリーカードへ保存できます。
- 最大保存件数☛P495
- PNG形式、BMP形式の画像は、microSDメモリーカードの「その他」フォルダに保存され、FOMA端末では表示できません。iモードメールに添付して送信したり、パソコンでmicroSDメモリーカードから取り出すなどして利用することはできます。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は640×480、JPEG形式は1728×2304を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合があります。
- ファイルサイズが500Kバイトを超える画像は保存できません。
- 保存可能なファイル形式･サイズの画像でも、ページによっては保存できない場合があります。
- 背景画像は保存できません。また、画像以外のデータは取得できません。

1 フルブラウザ画面で[Menu][5]▶画像を選択

- GIF形式、JPEG形式の画像を選択したときは画像の保存画面が表示されます。以降の操作は「画像を取得する」の操作3以降と同じです。☛P206

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って画像を削除してください。削除する前に画像一覧で[m]を押すと画像の表示、[Menu]を押すと詳細情報の表示ができます。

ファイルをダウンロードする

PDFデータおよび、Word、Excel、PowerPointのファイルをダウンロードできます。

- 受信できるファイルのサイズは最大500Kバイトです。
- Word、Excel、PowerPointのファイルは、microSDメモリーカードを挿入しているときのみダウンロードできます。
- Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルはダウンロードできません。
- 最大保存件数☛P495

1 フルブラウザ画面でファイル取得用の項目を選択

- ダウンロードを中止する：[クリア]▶「はい」

2 「保存」

- 表示する：「プレビュー」
- 保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[m]

PDFデータはマイドキュメントの「ｉモード」フォルダに保存されます。☛P362

Word、Excel、PowerPointのファイルは「その他」内のフォルダに保存されます。☛P365

- Word、Excel、PowerPointを保存する場合、「その他」にフォルダが複数ある場合は、保存先のフォルダを選択する画面が表示されます。保存先のフォルダを選択してください。
- ガイド行に[アイコン]が表示された場合は、[≡]を押し、[m]を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってデータを削除してください。削除する前にPDFデータ一覧やドキュメント一覧で[Menu]を押すと詳細情報を表示できます。

ページ内の文字列を検索する

- ページによっては検索できないことがあります。

1 フルブラウザ画面で[0]

検索画面に切り替わり、画面の下部に検索文字列の入力欄が表示されます。

2 文字列を入力（全角20文字（半角40文字）まで）

検索が実行され、入力した文字列に一致した語句が強調表示されます。

- 一致する次の語句を検索する：[✉]
- 一致する前の語句を検索する：[≡]
- 検索を終了する：[m]

■ 詳細条件を設定する：検索画面で[Menu]▶各項目を設定▶[m]

- 半角英数字を検索するとき、完全に一致する語句だけを検索するには検索方法を「完全一致」に設定します。
- 英字の大文字と小文字を区別して検索するときは、「大文字と小文字を区別」を「区別する」に設定します。
- 設定はフルブラウザを終了しても保持されます。

おしらせ

● 検索した文字と検索文字列の入力欄が重なることがあります。その場合は[m]を押して確認してください。

画像をアップロードする

画像のアップロードに対応しているページに、FOMA端末の画像をアップロードできます。

- GIF形式、JPEG形式の画像をアップロードできます。アップロードできるファイルサイズは最大80Kバイトです。ただし、複数の画像や文字列を含む場合は、合計で最大100Kバイトです。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像はアップロードできません（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）。また、画像と文字列以外のデータはアップロードできません。
- アップロードの実行方法は、ページにより異なります。

1 画像アップロード対応ページで「参照」▶フォルダを選択▶画像を選択

- microSDメモリーカード挿入時は「参照」を選択後、「本体」または「microSD」を選択します。
- 「参照」は、FOMA端末で画像をアップロードできる場合に表示されます。同じページをパソコンなどで表示すると異なるボタンで表示されます。

■ 選択したファイルを変更する：「参照」▶「変更」

■ 選択したファイルを解除する：「参照」▶「解除」

フルブラウザの設定をする

フルブラウザ設定

- ｉモードの以下の設定はフルブラウザにも有効です。
  - ・接続待ち時間設定
  - ・接続先設定
  - ・証明書管理
  - ・照明設定
  - ・暗証番号入力省略設定

Menu 2941

ホームページを設定する　ホーム設定

お買い上げ時　未登録

1 [i][9][4][1]▶URLを入力（半角512文字まで）▶[i]

おしらせ

- ホームページに設定するページの表示中に[Menu]を押し、「ホーム登録」を選択し、「はい」を選択しても設定できます。ただし、URLが半角512文字を超える場合は登録できません。

Menu 2942

Cookieについて設定する　Cookie設定／削除

Cookieとは、インターネットホームページにアクセスしたときに、ユーザ名などお客様に関する情報をFOMA端末に一時的に保存しておき、次に同じページにアクセスしたときに送信して利用するしくみです。たとえば、お客様専用のページを自動的に表示するなどの用途で利用されます。

- Cookieを有効にしたことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ページによってはCookieを「無効」に設定すると正しく表示できない場合や、利用できない場合があります。

お買い上げ時　有効（確認なし）

1 [i][9][4][2]

2 各項目を設定▶[i]

Cookie：
「有効（確認なし）」に設定するとCookieが常に有効になります。「有効（毎回確認）」に設定すると送受信時に確認画面が表示されます。「無効」に設定するとCookieが常に無効になります。

確認：Cookieを「有効（毎回確認）」に設定したときに、送信時、受信時、送受信時のいずれのときに確認画面を表示するかを選択します。

■ Cookieをすべて削除する：[Menu]▶端末暗証番号を入力▶「はい」

おしらせ

- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、Cookieは「無効」に設定されます。
- Cookieを「無効」から「有効（確認なし）」または「有効（毎回確認）」に変更するときは、端末暗証番号の入力が必要な場合があります。また、保存されているCookieを削除するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- 保存されているCookieの表示や個別の削除はできません。

Menu 2943

Scriptについて設定する　Script設定

インターネットホームページのJavaScriptについて設定します。

- JavaScriptとは、インターネットホームページで動作するプログラムです。
- ページによっては、Script実行を「無効」に設定すると正しく表示できない場合があります。

お買い上げ時　Script実行：有効
ウィンドウオープンガード：無効

1 [i][9][4][3]▶各項目を設定▶[i]

Script実行：
JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。

ウィンドウオープンガード：
JavaScriptから新規ウィンドウのオープンが指示されたときの動作を設定します。「無効」に設定すると、新規ウィンドウのオープン時に確認画面が表示され、「はい」を選択するとウィンドウが開きます。「有効」に設定すると、新規ウィンドウは開きません。

おしらせ

- ウィンドウオープンガードの設定は、フルブラウザ画面で[Menu]を押し、「表示」→「自動オープンガード」を選択し、「はい」を選択しても切り替えられます。
- ウィンドウオープンガードを「有効」に設定した場合、フルブラウザ画面でJavaScriptにより新規ウィンドウのオープンが指示されてウィンドウオープンガード機能が働くと、表示モードアイコンの位置に[icon]が表示されます。

Menu 2944

表示モードを設定する　表示モード設定

フルブラウザ起動時の表示モードを、ケータイモード、PCモードから選択します。

お買い上げ時　ケータイモード

1 [9][4][4]▶[1]～[2]

Menu 2945

画像を表示するかどうかを設定する　画像表示設定

お買い上げ時　すべて表示する

1 [9][4][5]▶**各項目を設定**▶[]

画像： 画像やアニメーションを表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、アニメーションは設定できません。

アニメーション：
アニメーションを再生して表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。

おしらせ

● フルブラウザ画面で[Menu]を押し、「表示」→「画像表示設定」を選択しても設定できます。

Menu 2946

フルブラウザを利用するかどうかを設定する　アクセス設定

お買い上げ時　利用しない

1 [9][4][6]▶ **利用しますか。欄▶「利用する」／「利用しない」**
- 「表示」を選択すると注意事項が表示されます。「利用する」に変更する際には、必ずお読みください。

2 「登録」

おしらせ

● FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、アクセス設定は「利用しない」に設定されます。

Menu 2947

Refererについて設定する　Referer設定

リンクを選択してインターネットホームページを表示したときに、Referer（どこからリンクしてきたかを示すリンク元情報）を送信するかどうかを設定します。
- 「送信する」「毎回確認」「送信しない」から選択します。「毎回確認」に設定すると、Refererを送信する前に確認画面が表示されます。
- Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お買い上げ時　送信する

1 [9][4][7]▶[1]～[3]

Menu 2948

フルブラウザ画面のガイド行を表示しないようにする　画面表示設定

フルブラウザ画面のガイド行の表示を消し、ページ内容を全画面に表示します。
- 全画面表示にしても操作は通常の画面と同様に行えます。

お買い上げ時　標準画面表示

1 [9][4][8]▶[1]～[2]

データ表示／編集／管理

Menu 51

画像を表示する

マイピクチャ

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 ◎1▶フォルダを選択

カメラ：
カメラで撮影した静止画、動画／iモーションやPDFデータから切り出した静止画

iモード：
iモード、フルブラウザ、iモードメール、iアプリで取得した画像、ミュージックプレイヤーで保存した画像

デコメピクチャ：
お買い上げ時に内蔵されているデコメール用の画像（☛P455）、サイトやiモードメールなどから取り込んだ画像

デコメ絵文字：
お買い上げ時に内蔵されているデコメ絵文字（☛P456）、サイトやiモードメールなどから取り込んだデコメ絵文字

アイテム：
お買い上げ時に内蔵されているフレーム画像（☛P456）、サイトからダウンロードしたフレーム画像／スタンプ画像

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されている画像☛P454

データ交換：
バーコードリーダーで取り込んだ画像、microSDメモリーカードから移動／コピーした画像、データ通信で受信した画像

アルバム：
他のフォルダから移動した画像
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P349

- microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で▶1～3
  - microSDメモリーカードの操作方法☛P343

2 画像を選択

画像が表示されます。を押すと全画面表示できます。

- ◎で前後の画像を表示できます。
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を表示すると、自動的に再生されます。再生中は次の操作ができます。
  - ◎：一時停止／再生
  - Menu 7：リトライ（先頭から再生）
  - ：スロー再生（パラパラマンガの停止中のみ）
  - ：全画面表示

■ **画像を等倍表示する：◎▶◎でスクロール**
- 画像サイズが240×400を超える画像でのみ行えます。
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像は等倍表示できません。
- 等倍表示を終了する：クリア

画像一覧の見かたと操作

サムネイル表示のとき　　**タイトル表示のとき**

❶取得元
- ：カメラ
- ：iモード
- ：内蔵
- ：アイテム
- ：データ交換
- ：キャラ電

❷画像の種類
- 表示なし：静止画
- ：パラパラマンガ
- ：アニメーション、Flash画像

❸ファイル形式

GIF：GIF形式　JPG：JPEG形式

：SWF（Flash画像）

表示なし：パラパラマンガ

❹ファイル制限

（青）：ファイル制限なし

（グレー）：ファイル制限あり

- サムネイル表示とタイトル表示を切り替える：
- FOMAカード動作制限機能が設定されている画像は、サムネイル表示では（デコメ絵文字では）で表示されます。
- 表示名などを変更する☛P350

■ 画像をメールに添付して送信する：画像を選び

画像が添付されているメール作成画面が表示されます。

- 画像のファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。
- 画像サイズがQVGA（240×320または320×240）を超えるJPEG形式の画像の場合は、QVGAに変換するかどうかの確認画面が表示されます。
- メールに添付できる画像について☛P231

スライドショーを見る

フォルダ内の画像を自動的に切り替えて表示します。

- 切り替え速度と順序は動作設定に従います。

1 1▶フォルダを選びMenu 5

スライドショーが開始します。

- フォルダ内のすべての画像を表示すると、フォルダ一覧に戻ります。
- パラパラマンガは表示されません。
- 画像の効果音は再生されません。
- 途中で終了する：クリア

画像を待受画面や電話帳などに設定する

1 1▶フォルダを選択▶画像を選びMenu 2

2 項目を選択

■ 待受画面に設定する：1▶「はい」

- 画像サイズによっては、静止画の表示サイズを選択できます。☛P136
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 画像によっては設定できない場合があります。

■ 電話帳に新規登録する：2

■ 登録されている電話帳に更新登録する：3▶相手を選択

■ 電話発着信画像に設定する：4▶1～2

■ テレビ電話の発着信画像や代替画像、保留画像などに設定する：5▶1～7

- 画像サイズが176×144を超える画像、およびFOMA端末外に出力不可の画像は、発信画像と着信画像にのみ設定できます。

■ メールの送信画像、受信画像、着信結果画像、問合せ画像に設定する：6▶1～4

- 送信画像、受信画像、着信結果画像に設定した画像は、メッセージR/F受信時や、SMS送受信時にも表示されます。

■ メニューアイコンに設定する：7～8▶1～9／0

選択した画像がタイルアイコンデザインの「カスタム1」または「カスタム2」のメニューアイコンに設定されます。

- パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像はメニューアイコンに設定できません。

パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画（最大9枚）を選択してパラパラマンガを作成します。

- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像およびサイズが640×480を超える静止画はパラパラマンガに登録できません。
- パラパラマンガに登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。

1 1▶フォルダを選択

2 Menu 4 1

■ 解除する：パラパラマンガを選びMenu 4 2

3 画像を選択

選択した順に画像に番号が表示されます。

- すべての選択を解除する：Menu

4 ▶表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶

画像一覧にと表示名が表示されます。サムネイル表示では最初のコマが表示されます。

おしらせ

- 連続撮影した静止画はパラパラマンガの形式で保存されており、解除すると1枚ずつの静止画になります。ファイル名の末尾には「-1」「-2」のように番号が付きます。

静止画を編集する

FOMA端末のマイピクチャに保存されている静止画を編集します。編集項目と編集可能な最大画像サイズは次のとおりです。

編集項目	編集可能な最大画像サイズ（ドット）※1
サイズ変更	1728×2304 （拡大／縮小は240×400または352×288）
切出し	1728×2304 （範囲指定は1224×1632）
明るさ／色調	480×640
効果	480×640
反転／回転	480×640
フレーム	240×400または352×288
スタンプ貼付	240×400または352×288
テキスト貼付	240×400または352×288
切抜き	240×400
サイズ制限保存	1728×2304 （2Mバイト以下の静止画では480×640）
補正	240×400または352×288

※1：画像サイズが大きくて編集できないときは、サイズ変更で編集可能な画像サイズに縮小できます。

- 次の画像は編集できません。
  - ・アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - ・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - ・縦横のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画

1 **ⓞ 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 静止画を選び 📖**

静止画編集画面が表示されます。

- 補正するには☛P322

2 **Menu**

静止画編集画面　→　編集メニュー画面

1 サイズ変更
2 切出し
3 明るさ/色調
4 効果
5 反転/回転
6 フレーム
7 スタンプ貼付
8 テキスト貼付
9 切抜き
0 サイズ制限保存

3 **編集項目を選択 ▶ 静止画を編集**

- 編集方法については「編集メニューの操作」をご覧ください。☛P320

4 **編集が終わったら ⓞ ▶「保存」**

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームやスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。フレーム候補・スタンプ候補にできる画像について☛P351
- デコメ絵文字として利用できる静止画は、「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
- 編集した静止画をメールに添付して送信する：静止画編集画面で ✉
  ただし、画像サイズが1200×1600を超える静止画では行えません。

おしらせ

- 明るさ／色調や効果などの編集を行うと、画像が小さく表示されることがあります。そのまま保存しても画像サイズに影響はありません。保存した画像は、正しいサイズで保存されています。
- 編集後、静止画のファイルサイズが大きくなることがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って不要な画像を削除してください。

編集メニューの操作

サイズを変更する

- 静止画のサイズを変更すると、画質が劣化することがあります。

1 **編集メニュー画面で 1 ▶ 画像サイズを変更**

■ 指定したサイズに変更する：1～9／0
指定したサイズと静止画の縦横比が同じ場合は、サイズが変更され、静止画編集画面に戻ります。
縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。／でサイズ枠の位置を調整しを押すと、サイズ枠で囲まれた部分が指定したサイズに変更されます。
- 縦横比を無視して静止画全体を指定したサイズに収める（ストレッチ）：Menu
- 縦横比を保持したまま静止画全体を指定したサイズに収める（フィット）：

■ 拡大／縮小する：
① ＊ ▶ で拡大／縮小
縦横比を保持したまま、5% ずつ拡大／縮小します。
- Menuを押すと20%ずつ縮小、を押すと20%ずつ拡大します。
- 縦長の静止画は288×352、横長の静止画は352×288まで拡大できます（縦横どちらかが上限になるまで）。
- 縦横のどちらかが8ドットになるまで縮小できます。

②

任意のサイズに切り出す

サイズや範囲を指定して、静止画の一部を切り出します。
- 元の静止画が16×16より小さい場合は切り出しできません。

1 編集メニュー画面で 2 ▶ 静止画を切り出す

■ 指定したサイズに切り出す：
① 1～9／0
② で切り出し枠の位置を調整
- 切り出し枠の縦横を切り替える：
- 切り出しサイズを切り替える：
- 範囲指定に切り替える：Menu

③

■ 範囲を指定して切り出す：
① ＊ ▶ で ✥ の位置を調整 ▶
範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下に ✥ が表示されます。
② で ✥ の位置を調整 ▶
切り出し範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。
- の代わりにを押すと、左上位置を再度変更できます。
- を押した後にで範囲指定枠を移動できます。

③

明るさと色調を変更する

1 編集メニュー画面で 3 ▶ 明るさや色調を変更

■ 明るさを調整する：
① 1 ▶ で明るさを調整
- 最大にする：
- 最小にする：Menu

②

■ 色調をモノトーンまたはセピアにする：
2～3

特殊な効果をかける

1 編集メニュー画面で 4 ▶ 効果を選択

ぼかし：ぼかします。
球面：中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。
エンボス：鉛色にし、凸凹を強調します。
うずまき：中心から渦状に回転させたような効果をかけます。
きらきら：きらきら光っているようなマークを入れます。
モザイク：モザイクをかけます。

反転／回転させる

1 編集メニュー画面で 5 ▶ 静止画を反転／回転

- 上下反転：
- 左右反転：
- 左90度回転：Menu
- 右90度回転：

2

フレームを重ねる

- お買い上げ時に登録されているフレーム☞P456

1 編集メニュー画面で 6

編集している静止画と同じサイズのフレームが一覧表示されます。
- 詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示されます。

2 フレームを選択 ▶ 静止画を確認

- フレームを切り替える：
- フレームを180度回転させる：Menu

3

スタンプを貼り付ける

- お買い上げ時に登録されているスタンプ☛P457

1 編集メニュー画面で 7

編集している静止画より小さいサイズのスタンプが一覧表示されます。

- 詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像、およびお買い上げ時に登録されているスタンプは、編集している静止画のサイズより大きくても表示されます。

2 スタンプを選択

選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

3 でスタンプを移動▶

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。

- 続けて別の位置に貼り付けることができます。
- 貼り付けたスタンプをすべて削除する：Menu
- 効果音の音量は受話音量の設定に従います。

4

文字を貼り付ける　テキスト貼付

1 編集メニュー画面で 8 ▶ 各項目を設定▶

テキスト：文字を入力します（全角20文字（半角40文字）まで）。
文字の種類：文字の種類を設定します。
文字のサイズ：文字のサイズを設定します。
文字色：文字の色を設定します。
文字縁取り色：文字の縁取りの色を設定します。
背景色：文字の背景色を設定します。
貼り方：文字をまとめて貼り付けるか、1文字ずつ異なる位置に貼り付けるかを設定します。

2 で文字を移動▶

効果音が鳴り、文字が貼り付けられます。

- 続けて別の位置に貼り付けることができます。
- 貼り方が「一字ごと」の場合は、を押すたびに 1 文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字が表示されます。
- 貼り付けた文字をすべて削除する：Menu
- 効果音の音量は受話音量の設定に従います。

3

任意の部分を切り抜く

選択した色と近似している色の部分を切り抜きます。

1 編集メニュー画面で 9 ▶ で切り抜く色に を合わせ

の位置の色と近似している色の部分が切り抜かれます。

- 続けて別の部分を切り抜くことができます。

2

ファイルサイズを制限して保存する

ファイルサイズをメール添付用（小）サイズ（90Kバイト以下）、メール添付用（大）サイズ（2Mバイト以下）に制限して保存します。

1 編集メニュー画面で 0 ▶ サイズを選択

設定したファイルサイズ以下で、同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- サイズが480×640を超える静止画は、「メール添付用（小）」に設定できません。
- 2Mバイト以下の静止画では「メール添付用（大）」に設定できません。

明るさや色のバランスを補正する

- 静止画によっては、補正してもあまり変化しないことがあります。

1 静止画編集画面で

2 で補正モードを切り替え

静物：静物や植物などの画像を適切に補正します。
背景：背景を適切に補正します。
風景：風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
美肌：人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
日焼け：人物画像の肌を小麦色に表現します。
青ざめ：人物画像の肌を青ざめたように表現します。
酔っ払い：人物画像の肌を赤らめたように表現します。

- Menuを押して 1 〜 7 を押しても、補正モードを選択できます。

3 でレベルを調整

- 最大にする：
- 最小にする：
- レベルにより、明るさや色合いが変わります。

4

画像の動作条件を設定する

動作設定

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり　タイトル表示：あり
番号表示：あり　コメント表示：あり
小さい画像の拡大：なし　効果音再生：あり
全画面時の自動スクロール：なし
スライドショーの切替え速度：普通
スライドショーのランダム表示：なし

1 ◎1▶Menu4▶**各項目を設定**▶📖

一覧の画像表示：
「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

タイトル表示：
画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。

番号表示：
画像表示画面で件数を表示するかどうかを設定します。

コメント表示：
画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。

小さい画像の拡大：
表示領域より小さい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。

- 「あり」に設定しても全画面表示では拡大されません。

効果音再生：
画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。

全画面時の自動スクロール：
「あり」に設定すると、画面より大きいJPEG形式の画像表示中に✉を押したとき、自動的にスクロールして表示されます。

- 縦または横が画面より小さくても拡大はされません。
- 縦横の比率が画面とほぼ同じ場合はスクロールしません。
- スクロール中に◉を押すと停止／再開できます。終了後に押しても再スクロールしません。

スライドショーの切替え速度：
「速い」「普通」「ゆっくり」から選択します。

スライドショーのランダム表示：
スライドショーで画像をランダムに表示するかどうかを設定します。

静止画をお預かりセンターに保存する

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用して、静止画をお預かりセンターに保存できます。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

静止画を保存する

- 100Kバイトを超える静止画は保存できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画は保存できません(自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く)。
- パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像、「プリインストール」フォルダ内の画像は保存できません。
- お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。☛P119

1 ◎1▶**フォルダを選択**

2 Menu56▶**静止画を選択**▶📖

- 最大10件選択できます。

3 **「はい」▶端末暗証番号を入力**

選択した静止画がお預かりセンターに保存されます。保存が完了すると、実行結果が表示されます。

- 実行結果は約5秒後に消え、画像一覧に戻ります。早く一覧に戻すには◉を押します。

おしらせ

- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

静止画を復元する

お預かりセンターに保存されている静止画を、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存します。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

動画／ｉモーションを再生する

ｉモーション

FOMA端末のデータBOXのｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを再生します。

1 ③▶フォルダを選択

プレイリスト：
FOMA端末で作成したプレイリスト☛P329

カメラ：
カメラで撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声、動画メモ

ｉモード：
ｉモードやｉモードメールで取得したｉモーション、microSDメモリーカードから移動したコンテンツ移行対応のｉモーション、お買い上げ時に内蔵されているｉモーション☛P454

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されているｉモーション☛P454

データ交換：
microSDメモリーカードから移動／コピーした動画／ｉモーション（コンテンツ移行対応のｉモーション以外）、データ通信で受信した動画／ｉモーション

アルバム：
他のフォルダから移動した動画／ｉモーション

- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P349

- microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で▶④～⑥
  - ・microSDメモリーカードの操作方法☛P343

2 動画／ｉモーションを選択

動画／ｉモーションが再生されます。

①**再生状態**
- ▶PLAY：再生中
- ■STOP：停止中
- ⅡPAUSE：一時停止中

②**再生時間**：現在の再生時間／総再生時間を数字とバーで示します。

③**ファイルの種類**
- ：映像のみ
- ：音声のみ
- ：テキストのみ
- ：映像＋音声
- ：映像＋テキスト
- ：音声＋テキスト
- ：映像＋音声＋テキスト

④**拡大／縮小表示**
- ：拡大表示中
- ：縮小表示中
- 表示なし：等倍表示中
- 拡大表示するかどうかは、動作設定で設定できます。☛P330

⑤**再生音量**：現在の音量を示します。

- 動作設定の表示画像の拡縮が「なし」に設定されている場合、動画を縮小して再生するときは確認メッセージが表示されます。を押します。
- 動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再生、先頭から再生（停止後）
  - ：音量調整
  - ：停止
  - ：早送り再生※1
  - ：巻戻し再生※1
  - クリア：再生終了（動画／ｉモーション一覧に戻る）

  ※1：ｉモーションによっては行えないことがあります。
- 部分的にデータを取得したｉモーションは再生できません。選択すると、残りのデータを取得するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると取得が開始されます。
  - ・再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータを取得できません。削除するかどうかの確認画面が表示され、部分的に取得したｉモーションを削除できます。
  - ・再取得が不可能なエラーを検出した場合、部分的に取得したｉモーションが削除されることがあります。
- 再生中にクリアやを押して終了したり、他の機能の影響で再生が中断したときは、中断位置が保存され、次回再生時にその位置から再生されます。中断位置は、FOMA端末およびmicroSDメモリーカードの、それぞれ新しい順に最大5つの動画／ｉモーションについて保存されます。再生中に電源を切ったときや、ダウンロード時の再生、音や画面の設定画面から再生したときなどは、中断位置は保存されません。

■ 横向きで再生する：再生中に[*]
- 押すたびに縦横が切り替わります。
- テロップ入りの動画／ｉモーションでは切り替えられません。
- 画像サイズが320×240の動画／ｉモーションは、横再生中に[*]を押すと画面の幅いっぱいに拡大されます（ワイド再生）。もう一度[*]を押すと通常再生に戻ります。ワイド再生では画像の上下30ドット分は表示されません。
- モーションコントロールにより、FOMA端末を左に倒して横向きにすると横再生／ワイド再生に、縦に戻すと通常再生に切り替わります。ただし、キー操作で切り替えているときは切り替わりません。☛P384

■ チャプターを利用する：
チャプター付きのｉモーションでは、次の操作ができます。

機　能	操　作
チャプター戻し	再生中に[4]
チャプター送り	再生中に[6]
チャプター選択	再生中に[Menu][5]▶チャプターを選択※1

※1：チャプターを選び[Menu]を押すと再生開始位置（時間）を確認できます。
- チャプターがないｉモーションでは行えません。FOMA 端末で撮影した動画にはチャプターはありません。
- チャプター付きのｉモーションでも、チャプター戻し／チャプター送りの一方しか行えない場合や、現在の再生位置より前または後のチャプターを選択できない場合があります。
- チャプター選択では、現在の再生位置にごく近いチャプターは選択できません。また、ｉモーションの先頭から約1秒間は、チャプター選択はできません。

■ しおりを設定する：
しおりを設定すると、しおりを設定した動画／ｉモーションを一覧から再生するときに、確認画面が表示され、しおりの位置から再生できます。
- 再生画面で停止中に[●]を押して再生するときは、しおりを設定していても、先頭から再生されます。
- しおりは、FOMA端末内の動画／ｉモーション全体で1つ、microSDメモリーカードの「動画」「動画🔑」「その他の動画」でそれぞれ1つだけ設定できます。既にしおりが設定されている場合は、破棄されて新しいしおりが設定されます。
- 再生制限が設定されているｉモーションでは設定できません。また、電話帳の登録画面やメール作成画面、音や画面の設定画面などから再生したときは、設定およびしおりからの再生はできません。

①再生中にしおりを設定したい位置で[≶]▶「はい」
- 続けて再生する：[●]
- しおりを解除する：再生を停止させてから[≶]

動画／ｉモーション一覧の見かたと操作

サムネイル表示のとき　　タイトル表示のとき

❶取得元
- [icon]：カメラ
- [icon]：内蔵
- [icon]：キャラ電
- [icon]：ｉモード
- [icon]：データ交換
- [icon]：テレビ電話

❷再生制限
- [icon]：再生制限なし
- [icon]：期限制限あり
- [icon]：回数制限あり
- [icon]：期間制限あり

❸ファイルの種類
- MP4：MP4
- MP4：しおり付きMP4
- ASF：ASF
- ASF：しおり付きASF
- [icon]：部分的にデータを取得したｉモーション

❹ファイル制限
- [icon]（青）：ファイル制限なし
- [icon]（グレー）：ファイル制限あり

- サムネイル表示とタイトル表示を切り替える：[≶]
- サムネイル表示では、サウンドレコーダーで録音した音声、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、部分的にデータを取得した ｉ モーションは[icon]、FOMAカード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーションは[icon]で表示されます。
- 表示名などを変更する☛P350

■ 動画／ｉモーションをメールに添付して送信する：動画／ｉモーションを選び[✉]
動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P231

再生制限が設定されているとき

再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と表示内容は次のとおりです。

■ 回数制限

状　態	表示内容
再生回数残あり	「あと×回（×／総再生回数）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。
規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。

■ 期限制限

状　態	表示内容
期限内	「年／月／日 時:分まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。
期限後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。

■ 期間制限

状　態	表示内容
期間内	「年／月／日 時:分～年／月／日 時:分まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。
期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。
期間後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。

- 残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報参照で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

おしらせ

- 次の形式の動画／ｉモーションを再生できます。再生できる画像サイズは48×48～320×240です。

ファイル形式（拡張子）	符号化形式	
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（ASF）	映像	MPEG4
	音声	G.726

- 他の機能の影響により、動画／ｉモーションの保存時にサムネイル画像を取得できない場合があります。そのような動画／ｉモーションは、サムネイル表示では▨で表示されます。
- ｉモーションによっては、再生画面の総再生時間が「-：--：--」と表示される場合があります。このとき、次の機能は利用できません。
  - 早送り再生／巻戻し再生
  - しおりからの再生
  - チャプターを利用した操作
- 動画メモは、しおりや再生中断位置からの再生はできません。

動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- ASF形式の動画／ｉモーション、部分的にデータを取得したｉモーションは設定できません。
- 映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240を超える動画／ｉモーションは待受画面に設定できません。
- 電話帳、着信画像には映像のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。
- 着モーション（着信音）、着信画像には、詳細情報の着信音設定、着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションを設定できます。ただし、次の動画／ｉモーションは設定できません。
  - ・赤外線通信／iC通信やドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末に戻したもの
  - ・コンテンツ移行対応のｉモーション以外で、microSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動したもの（FOMA端末からコピー／移動した動画／ｉモーションを、もう一度FOMA端末にコピー／移動した場合も含む）
- プッシュトーク着信音には、音声のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。

1 ⓘ［3］▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選び［Menu］［2］

2 設定する項目を選択

■ 待受画面に設定する：［1］▶「はい」
- 動画／ｉモーションが拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションを再生するには☛P136

■ 電話帳に新規登録する：［2］

■ 登録されている電話帳に更新登録する：［3］▶相手を選択

■ 着モーション（着信音）に設定する：［4］▶［1］～［7］

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：
①［4］▶［8］～［9］▶電話帳から相手を選択
②内容を確認▶［□］

■ 音声電話／テレビ電話の着信画像、メール着信結果画像に設定する：［5］▶［1］～［3］

おしらせ

- プレイリストの動画／ｉモーション一覧ではMenuを押し、「動画の利用」を選択します。
- 動画／ｉモーションによっては、待受画面などに設定できない場合があります。

動画／ｉモーションを編集する

ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。

- 編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
  - ・自端末で撮影した動画
  - ・自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限、再生制限がないもの
- お買い上げ時に登録されている動画／ｉモーション、部分的にデータを取得したｉモーション、ASF形式の動画は編集できません。また、符号化形式などにより編集できない動画／ｉモーションがあります。

静止画を切り出す　キャプチャ

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出します（キャプチャ）。

- テロップはキャプチャした静止画に表示されません。

1 **3▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択**

選択した動画／ｉモーションが再生されます。

2 **切り出す位置でMenu 6**

- 切り出しの操作をやり直す：Menu▶「はい」

3 **画像を確認▶**

静止画がキャプチャされ、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

■ **キャプチャした静止画をメールに添付して送信する：**

キャプチャした静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存され、静止画が添付されているメール作成画面が表示されます。

- 静止画のファイルサイズが90Kバイト以下の場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。

動画／ｉモーションを切り出す　選択切り出し

動画／ｉモーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

1 **3▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選びMenu 4 1**

選択切り出しモードになり、が表示されます。

- 動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合は、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択切り出しモードになります。この場合、切り出す位置によってはテロップが削除されることがあります。

2 **（始点）▶切り出しを終える位置で（終点）**

▷PLAY
00082/02038KB
0:00:07/0:03:04
vol.13

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

- （始点）を押した後で操作をやり直すにはクリア、切り出しを中断するにはMenuを押します。
- （終点）を押さずに最後まで再生すると自動的に切り出しが終了します。
- 動画／ｉモーションのファイルサイズが2038Kバイトを超える場合、上限の設定に関わらず、2038Kバイトになると自動的に切り出しが終了します。

■ **切り出しサイズの上限を設定する：（始点）を押す前の画面でMenu▶「メール添付用（小）」（500Kバイト）／「メール添付用（大）」（2038Kバイト）／「設定なし」（切り出し元のファイルサイズ）**

- 切り出し元のファイルサイズが500Kバイトより大きいときのみ設定できます。
- 切り出し中のファイルサイズが設定した切り出しサイズに達したときは、自動的に切り出しが終了します。
- 切り出し元のファイルサイズが2038Kバイトを超える場合は、「設定なし」に設定できません。

3 **表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶**

切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生する：**

■ 動画／ｉモーションをメールに添付して送信する：[✉]
切り出した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

ファイルサイズを指定して切り出す　サイズ切り出し

動画／ｉモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。
- 指定できるファイルサイズは10Kバイト～2038Kバイトです。ただし、上限は動画／ｉモーションにより異なります。

1 [◎][3]▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選び[Menu][4][2]
- 動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合は、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、サイズ切り出しモードになります。この場合、切り出す位置によってはテロップが削除されることがあります。

2 切り出しサイズを入力
■ メール添付サイズに設定する：[Menu]▶「メール添付用（小）」（500Kバイト）／「メール添付用（大）」（2038Kバイト）
- 切り出し元のファイルサイズが500Kバイトより大きいときのみ設定できます。

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[📖]
切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ 動画／ｉモーションを再生する：[✉]

■ 動画／ｉモーションをメールに添付して送信する：[✉]
切り出した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

テロップを挿入する　テロップ編集

- 挿入できるテロップ数は、動画／ｉモーションにより異なります（最大10個）。
- テロップを挿入した動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。

1 [◎][3]▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選び[Menu][4][3][1]
- 既にテロップが挿入されている場合は、削除してテロップ編集を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、既に挿入されているすべてのテロップが削除されます。

■ テロップを削除する：[Menu][4][3][2]▶「はい」
挿入されているすべてのテロップが削除されます。操作8に進みます。

2 各項目を設定
表示間隔：
「ユーザ指定」に設定すると、テロップの挿入位置を任意に指定できます。
「等間隔」に設定したときはテロップ数を指定します。動画／ｉモーションの再生時間内に、指定した数のテロップが等間隔で挿入されます。

テロップ数：
表示間隔を「等間隔」に設定したときに、テロップ数を入力します（1～10）。

3 [📖]
- 表示間隔を「ユーザ指定」に設定したときは、確認メッセージが表示され、[▣]が表示されます。
- 表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作6に進みます。

4 [◉]で再生を開始▶テロップの挿入位置で[◉]
再生は中断しません。[◉]を押すたびに、テロップの挿入位置が設定されます。
- 再生を開始すると先頭に1箇所目の挿入位置が設定されます。
- 動画／ｉモーションの再生が終了するか、挿入位置を先頭の1箇所を含めて10箇所設定すると、挿入位置の設定が終了します。
- 挿入位置の設定を途中で終了する：[📖]

5 「はい」

6 テロップの入力欄▶入力（全角20文字（半角40文字）まで）

■ **テロップを修飾する：テロップを選び [✉]▶各項目を設定▶[□]**

テロップ1～10：
テロップ編集画面で入力した文字が表示されます。文字を入力できます。

文字色：
文字の色を設定します。「指定なし」に設定すると白になります。
- 絵文字には反映されません。

背景色：
テロップの背景色を設定します。「指定なし」に設定すると黒になります。

スクロール動作：
- 「スクロール・イン」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されます。
- 「スクロール・アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されなくなります。
- 「スクロール・イン&アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示され、その後徐々に表示されなくなります。

スクロール方向：
スクロール動作を「なし」以外に設定したときの文字のスクロール方向を設定します。

文字位置：
文字の表示位置を設定します。

文字サイズ：
文字の大きさを設定します。

下線：
文字に下線を付けるように設定します。

点滅：
文字が点滅するように設定します。

7 [□]

- テロップ挿入前の動画／ｉモーションのファイルサイズが500Kバイト以下の場合、テロップ挿入後のファイルサイズが500Kバイトを超えると、メール添付用（小）サイズを超えた旨のメッセージが表示されます。[●]を押します。

8 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[□]

テロップを挿入した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生する：[▷]**

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信する：[✉]**
テロップを挿入した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

プレイリストを管理／利用する

プレイリストとは、動画／ｉモーションを再生する順番を登録するリストです。お好みの動画／ｉモーションを登録しておくと、登録した動画／ｉモーションだけを順番に再生できます。

- FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションのみ登録できます。
- プレイリストは最大100件作成できます。
- 1件のプレイリストには、最大100件の動画／ｉモーションを登録できます。
- 部分的にデータを取得したｉモーション、回数制限が設定されているｉモーションはプレイリストに登録できません。期限制限／期間制限が設定されているｉモーションは、期限内／期間内であれば登録できます。

プレイリストを作成する

プレイリストを作成し、動画／ｉモーションを登録します。

1 [⊙][3]▶「プレイリスト」▶[Menu][1]

- プレイリストが1件もないときは、「プレイリスト」を選択するとプレイリストを作成するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、操作2へ進みます。

2 表示名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶[□]

3 動画／ｉモーションが保存されているフォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶[□]▶「はい」

おしらせ

- プレイリストが最大保存件数を超えるときは、保存されているプレイリストを削除するかどうかの確認画面が表示されます。作成する場合は、画面の指示に従って保存されているプレイリストを削除してください。

プレイリストを再生する

1 **[3]▶「プレイリスト」▶プレイリストを選択**

- 動画／ｉモーションが1件も登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。動画／ｉモーションを登録するには「はい」を選択してフォルダを選択し、動画／ｉモーションを選択して[m]を押し、「はい」を選択します。

2 **再生を開始する動画／ｉモーションを選択**

- 動作設定のリピート再生の設定に従って (ON) または (OFF) が表示されます。ON の場合、プレイリストの最後まで再生すると先頭に戻って再生されます。OFFの場合、最後まで再生すると動画／ｉモーション一覧に戻ります。
- 再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再生　　：音量調整
  - [←]：動画／ｉモーションの先頭に戻る、前の動画／ｉモーションに戻る
  - [✉]：次の動画／ｉモーションに進む
  - [m]：停止
  - [クリア]：再生終了（動画／ｉモーション一覧に戻る）
- 横再生／ワイド再生、しおり位置からの再生、チャプターの操作、早送り／巻戻しはできません。また、テロップからのPhone To／AV Phone To、Mail To、Web To は行えません。

プレイリストを編集する

1 **[3]▶「プレイリスト」**

■ **プレイリスト名を変更する：プレイリストを選び[Menu][2]▶表示名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶[m]**

2 **プレイリストを選択**

3 **プレイリストを編集**

■ **動画／ｉモーションを登録する：**

①[Menu][3][1][1]▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択

- 複数登録する：[Menu][3][1][2]▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶[m]
- 全件登録する：[Menu][3][1][3]▶フォルダを選択▶登録しない動画／ｉモーションがあれば解除▶[m]

②「はい」

■ **動画／ｉモーションを解除する：**

- プレイリストから動画／ｉモーションの登録情報が削除されるだけで、FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションは残ります。

①動画／ｉモーションを選び[Menu][3][2][1]

- 複数解除する：[Menu][3][2][2]▶動画／ｉモーションを選択▶[m]
- 全件解除する：[Menu][3][2][3]▶端末暗証番号を入力

②「はい」

■ **動画／ｉモーションを並び替える：**

①[Menu][3][3]

②移動する動画／ｉモーションを選び[←]または[✉]で移動

③並べ替えが終了したら[m]

おしらせ

- 動画／ｉモーションを登録する際に最大登録件数を超えるときは、登録されている動画／ｉモーションを解除するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って登録されている動画／ｉモーションを解除してください。
- プレイリストに登録した動画／ｉモーションを削除したり、microSDメモリーカードに移動した場合は、プレイリストから解除されます。

プレイリストを削除する

1 **[3]▶「プレイリスト」**

2 **プレイリストを選び[Menu][3][1]**

- 複数削除する：[Menu][3][2]▶プレイリストを選択▶[m]
- 全件削除する：[Menu][3][3]▶端末暗証番号を入力

3 **「はい」**

動画／ｉモーションの動作条件を設定する　動作設定

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり
表示画像の拡縮：なし
リピート再生：ON　照明設定：常灯
音量：レベル13　サラウンド：OFF

1 **[3]▶[Menu][4]▶各項目を設定▶[m]**

一覧の画像表示：
「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

表示画像の拡縮：
「あり」に設定すると、表示領域と再生する動画／ｉモーションのサイズが合わないときは、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを拡大／縮小表示します。
「なし」に設定すると、拡大／縮小表示しません。ただし、表示領域より大きいサイズの動画／ｉモーションを再生したときは、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示します。

リピート再生：
プレイリストの再生時、およびmicroSDメモリーカードの動画／ｉモーションの連続再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

照明設定：
「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

音量：
再生時の音量を設定します。

サラウンド：
動画／ｉモーション再生時にサラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。

おしらせ

● サラウンドの設定はステレオ効果設定にも反映されます。☛P131
● 照明設定の設定内容は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉモーション）にも反映されます。☛P143

動画／ｉモーションをmicroSDメモリーカードに移動する　コンテンツ移行対応

サイトから取得した著作権のあるｉモーションのうち、コンテンツ移行対応のｉモーションを、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動できます。コピーはできません。

- データの提供者が許可していないｉモーションは移動できません。移動可否は詳細情報参照で確認できます。☛P350

FOMA端末のコンテンツ移行対応のｉモーションをmicroSDメモリーカードに移動する

- 移動したｉモーションはデータBOXの「動画🔑」に保存されます。
- 再生方法は☛P344

1 [○] [3] ▶フォルダを選択

2 コンテンツ移行対応のｉモーションを選び[Menu] [5] [4] [1]

■ 複数移動する：[Menu] [5] [4] [2] ▶ｉモーションを選択▶ [本]
■ 全件移動する：[Menu] [5] [4] [3]

3 移動先のフォルダを選び [本]

- フォルダを選択するとフォルダ内のデータ一覧が表示されます。ただし、フォルダ内にフォルダがないときは、選択できるフォルダがない旨が表示されます。
- ホームフォルダを選ぶ：[✉]

4 「はい」

- 複数移動／全件移動の場合、さらに確認画面が表示されます。「はい」を選択します。コンテンツ移行対応以外の動画／ｉモーションも同時に移動する場合、コンテンツ移行対応のｉモーションはデータBOXの「動画🔑」の指定フォルダに、それ以外の動画／ｉモーションは「動画」フォルダまたは「その他の動画」フォルダに振り分けて保存されます。

おしらせ

● 新しいフォルダを作成（☛P345）してｉモーションを移動した場合、他のFOMA端末で確認できない場合があります。

microSDメモリーカードのコンテンツ移行対応のｉモーションをFOMA端末に移動する

- サイトから取得したときやFOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入していないと移動できません。また、ｉモーションによっては、機種が異なると移動できないことがあります。
- ｉモーションによってはFOMA端末に移動できない場合があります。
- 移動したｉモーションは、データBOXのｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

1 [Menu] [6] [5] [1] [5] ▶フォルダを選択

2 ｉモーションを選び[Menu] [3] [1] [1]

■ 複数移動する：[Menu] [3] [1] [2] ▶ｉモーションを選択▶ [本]
■ フォルダ内のｉモーションを全件移動する：[Menu] [3] [1] [3] ▶端末暗証番号を入力

3 「はい」

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話利用時に、自分の画像の代わりに相手の画面に表示させるキャラクタです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させたり、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存することもできます。

- キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
- キャラ電のアクションには、キャラクタ全体が動く「全体アクション」と、部分的に動く「パーツアクション」があります。キャラ電によってはどちらか一方しかないものや、アクションがないものもあります。

全体アクション：喜ぶ

全体アクション：ハート

キャラ電を表示する

Menu 56

キャラ電

1 [○][6]▶フォルダを選択

iモード：
iモードでダウンロードしたキャラ電

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されているキャラ電
☛P457

フォルダ：
他のフォルダから移動したキャラ電
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P349

2 キャラ電を選択

キャラ電が表示されます。

アクションモード
ACTION：全体
PARTS：パーツ

- ダイヤルキーを押すと、そのキーに応じたアクションをします。
- アクションを中止する：[0]

■ 拡大表示と等倍表示を切り替える：[○]（拡大表示）または[○]（等倍表示）

■ キャラ電を切り替える：
①[Menu][9][1]▶フォルダを選択
②キャラ電を選択

■ アクションを一覧表示する：[✉]
現在のアクションモードのアクションの番号（対応するキー）と説明が表示されます。
- アクションを選択すると、キャラ電が動きます。
- アクションを選び[Menu]を押すと説明の全文を確認できます。

■ 全体アクションとパーツアクションを切り替える：[✉]（1秒以上）

キャラ電一覧の見かたと操作

❶取得元
: iモード
: 内蔵

❷ファイル制限
（グレー）：
ファイル制限あり

- 表示名などを変更する☛P350

■ キャラ電を利用してテレビ電話をかける：
①キャラ電を選び[✆]
②電話番号を入力▶[✆]
- [📖]を押すと、電話帳から電話番号を入力できます。
- 番号入力後に[Menu]を押すと、条件を設定してテレビ電話をかけられます。☛P61

■ キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定する：キャラ電を選び[✉]
- キャラ電表示画面で[✆]を1秒以上押しても設定できます。

■ キャラ電を待受画面に設定する：
①キャラ電を選び[Menu][4]
②アクションの種類とアクション間隔を設定▶[📖]
- 設定内容は「キャラ電のアクションを設定する」と同じです。☛P136

③「はい（等倍表示）」／「はい（拡大表示）」
- iアプリ待受画面が設定されているときは、続けてiアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

● キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存することはできません。

キャラ電を撮影する

キャラ電撮影

- 撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。画像ファイルの保存形式☛P180

1 ⓞ6 ▶ フォルダを選択 ▶ キャラ電を選びⓜ

キャラ電撮影画面が表示されます。

2 ⓢで撮影種別を切り替え

撮影種別

動画＋音声：
送話口からの音声付きでキャラ電を録画します。送話口からの音声に反応するキャラ電の場合は、音声に合わせて口を動かします。

動画のみ（マイクあり）：
映像のみを録画します。マイクは音声に反応するキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。音声は録音されません。

動画のみ（マイクなし）：
映像のみを録画します。マイクは無効となります。

静止画：
静止画を撮影します。

- 保存先、画質／品質、動画のサイズ制限はキャラ電撮影の静止画設定／動画設定で変更できます。

■ キャラ電を切り替える：Menu11 ▶ フォルダを選択 ▶ キャラ電を選択

3 撮影したいアクションを実行 ▶ ⓒ

静止画撮影の場合、撮影確認音（シャッター音）が鳴り、静止画が保存されます。
動画撮影の場合、撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影が開始されます。ⓜを押すか、ファイルサイズが制限値を超えると撮影が終了して撮影確認音が鳴り、動画が保存されます。

- 撮影した静止画／動画は、保存先がFOMA端末の場合はマイピクチャまたは ｉ モーションの「カメラ」フォルダ、保存先がmicroSDメモリーカードの場合はmicroSDメモリーカードの「マイピクチャ」フォルダまたは「動画」フォルダに保存されます。
- 動画撮影中にⓒを押すと撮影を一時停止できます。ⓒを押すと撮影を再開します。
- 動画撮影中もアクションを実行できます。

■ 静止画設定または動画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき：
確認画面が表示されます。確認画面では次の操作ができます。

ⓒ：静止画／動画の保存
ⓢ：取消（保存せずに静止画／動画を消去）
Menu：保存先の切り替え
ⓜ：メール作成
ⓜ：再生（動画のみ）

■ 保存した静止画／動画をすぐに確認する：ⓜ ▶ 静止画／動画を選択
- 保存先がmicroSDメモリーカードのときはⓜを押してフォルダを選択し、静止画／動画を選択します。

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像／動画を削除してください。

静止画／動画の撮影動作を設定する

静止画設定／動画設定

お買い上げ時
- 静止画設定
  画質：スタンダード　撮影確認音：確認音1
  撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する
  保存先：本体　表示サイズ：拡大
  照明設定：端末設定に従う
- 動画設定
  品質：STD（標準）　サイズ制限：メール添付用（小）
  撮影確認音：確認音1　撮影後ファイル制限：なし
  自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大
  照明設定：端末設定に従う

1 キャラ電撮影画面で Menu4 ▶ 各項目を設定 ▶ ⓜ

画質（静止画設定のみ）：
撮影する静止画の画質を設定します。画質がよくなるほど静止画のファイルサイズは大きくなります。

品質（動画設定のみ）：
撮影する動画の品質を設定します。品質がよくなるほど動画のファイルサイズは大きくなります。

サイズ制限（動画設定のみ）：
撮影する動画のファイルサイズの制限値を設定します。撮影中の動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。

撮影確認音：
撮影確認音（シャッター音）を確認音1～5から選択します。

撮影後ファイル制限：
メールに添付して他の携帯電話に静止画／動画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に静止画／動画を送信することを制限するかどうかを設定します。
- ダウンロードしたキャラ電で最初から「あり」に設定されている場合は、「なし」に設定できません。

自動保存：
「する」に設定すると、撮影した静止画／動画が、設定されている保存先に自動的に保存されます。「しない」に設定すると、撮影後に確認画面が表示されます。

保存先：
「本体」または「microSD」を選択します。

表示サイズ：
キャラ電を拡大表示するか等倍表示するかを設定します。
- 撮影画面を表示したときから有効になります。

照明設定：
「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P143）の点灯時間設定（通常時）に従います。

おしらせ

- 詳細情報の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した静止画／動画は、編集・転送・メール添付ができません。
- 詳細情報の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電では、撮影した静止画／動画をmicroSDメモリーカードに保存できません。保存先を「microSD」に設定しても、「本体」に変更されます。

キャラ電の動作条件を設定する

動作設定

お買い上げ時　表示サイズ：拡大　照明設定：端末設定に従う

1 ⓞ 6 ▶ Menu 4 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

表示サイズ：キャラ電を拡大表示するか等倍表示するかを設定します。
照明設定　：「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P143）の点灯時間設定（通常時）に従います。

Menu 57

マチキャラを表示する

マチキャラ

1 ⓞ 7 ▶ **フォルダを選択**

iモード：
iモードでダウンロードしたマチキャラ
プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されているマチキャラ
☛P457
フォルダ：
他のフォルダから移動したマチキャラ
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P349

2 **マチキャラを選択**

マチキャラが表示されます。
- ⓞで前後のマチキャラを表示できます。
- 部分的にデータをダウンロードしたマチキャラを選択すると、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
  - ・再ダウンロードが不可能なエラーを検出した場合、部分的にダウンロードしたマチキャラが削除されることがあります。

マチキャラ一覧の見かたと操作

サムネイル表示のとき　　タイトル表示のとき

©NTT DoCoMo/dentsu

❶**取得元**
：iモード　　：内蔵
❷**ファイル制限**
（グレー）：ファイル制限あり

- サムネイル表示とタイトル表示を切り替える：
- サムネイル表示では、部分的にデータをダウンロードしたマチキャラは（上半分がグレー）、サムネイル画像がないマチキャラは、FOMAカード動作制限機能が設定されているマチキャラはで表示されます。
- 表示名を変更する☛P350

■ マチキャラを待受画面などに設定する：マチキャラを選び[i]
• 部分的にデータをダウンロードしたマチキャラは設定できません。
• マチキャラ設定の表示設定が「OFF」に設定されていたときは、「ON」に変更されます。
• 解除する：[Menu][2]
・マチキャラ設定の表示設定が「OFF」に変更されます。

■ マチキャラの経過時間をリセットする：マチキャラを選び[Menu][3]▶「はい」
マチキャラに記録されている経過時間情報がリセットされ、ダウンロード時の状態に戻ります。
• 部分的にデータをダウンロードしたマチキャラでは行えません。

マチキャラの動作条件を設定する

動作設定

マチキャラ一覧の表示形式を設定します。「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

お買い上げ時 あり

1 [○][7]▶[Menu][4]▶[1]～[2]

Menu 54

メロディを再生する

メロディ

FOMA端末のデータBOXのメロディに保存されているメロディを再生します。

1 [○][4]▶フォルダを選択

iモード：
iモードやiモードメールで取得したメロディ

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されているメロディ
☛P127

メール添付メロディ：
お買い上げ時に内蔵されているメール添付用のメロディ☛P232

データ交換：
バーコードリーダーで取り込んだメロディ、microSDメモリーカードから移動／コピーしたメロディ、データ通信で受信したメロディ

アルバム：
他のフォルダから移動したメロディ
• お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P349

• microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で[⇆]
・microSDメモリーカードの操作方法☛P343

2 メロディを選択
メロディが再生されます。

現在の再生位置
音量

• メロディの再生中は次の操作ができます。
[○]：音量調整　[○]：前後のメロディ再生
[クリア]／[○]：再生終了（メロディ一覧に戻る）

メロディ一覧の見かたと操作

プリインストール
パターン1
パターン2
パターン3
パターン4
パターン5

❶取得元
：iモード
：iモード＋3Dサウンド対応
：内蔵
：内蔵＋3Dサウンド対応
：データ交換
：データ交換＋3Dサウンド対応
• 3Dサウンドとは☛P131

❷ファイルの種類
SMF：SMF
MFi：MFi

❸ファイル制限
（青）：ファイル制限なし
（グレー）：ファイル制限あり

• 表示名などを変更する☛P350

■ メロディをメールに添付して送信する：メロディを選び[✉]
メロディが添付されているメール作成画面が表示されます。
• 下記機種※1以外にメロディを送信した場合、受信側では正しく再生できないことがあります。
※1：D703i、D903i、D903iTV、D904i
• メールに添付できるメロディについて☛P231

メロディを着信音に設定する

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

1 ⓞ[4]▶フォルダを選択▶メロディを選び[Menu][2]

2 着信音の種類を選択

■ 音声電話、メール、チャットメール、メッセージR/F、テレビ電話、プッシュトークの着信音に設定する：[1]～[7]

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：
①[8]～[9]▶電話帳から相手を選択
②内容を確認▶[□]

メロディの動作条件を設定する

動作設定

お買い上げ時　音量：レベル4
イルミネーションパターン：メロディ連動
イルミネーションカラー：レインボー
バイブレータ：OFF
再生位置：フルコーラス再生
再生画面背景：標準
ステレオ・3Dサウンド：ON

1 ⓞ[4]▶[Menu][5]▶各項目を設定▶[□]

音量：
メロディ再生時の音量を設定します。

イルミネーションパターン：
メロディ再生時の決定キーの照明の点灯パターンを設定します。「メロディ連動」に設定するとイルミネーションカラーは設定できません。

イルミネーションカラー：
メロディ再生時の決定キーの照明の色を設定します。

バイブレータ：
メロディ再生時の振動パターンを設定します。

再生位置：
全体を再生（フルコーラス再生）するか一部分を再生（ポイント再生）するかを設定します。

再生画面背景：
メロディ再生時に背景に表示する画像を設定します。マイピクチャの画像を設定するには「選択」に設定し、画像を選択します。

ステレオ・3Dサウンド：
「ON」に設定すると、広がりや奥行きのある立体音響でメロディを再生します。「OFF」に設定すると、立体音響のないモノラル再生となります。

おしらせ

● メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しないことがあります。
● ステレオ・3Dサウンドの設定はステレオ効果設定にも反映されます。☛P131

microSDメモリーカードについて

撮影した静止画や動画、メロディなどをmicroSDメモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのバックアップを取ることができます。また、パソコンなどの外部機器で作成した音楽データや動画を microSD メモリーカードに保存し、FOMA端末で再生したり（☛P369、P472）、パソコンからmicroSDメモリーカード内のデータを操作したりできます（☛P347）。

- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSD メモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていない microSD メモリーカードは、FOMA端末で初期化してから使用してください。なお、初期化を中断した microSD メモリーカードの動作は保証できません。☛P346
- パソコンなどで初期化したmicroSDメモリーカードは、FOMA 端末では正常に使用できないことがあります（初期化もできない場合があります）。
- microSDメモリーカード内の画像、動画／ｉモーション、メロディ、音楽データは、待受画面、着信音、着信画像などに設定できません。
- D904iでは市販の2Gバイトまでのmicro SDメモリーカードに対応しています（2007年6月現在）。microSD メモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ・FOMA端末から：
    ｉMenuの「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」→「My D-style」→「D904iサポート」の「クイックマニュアル」（2007年6月現在）

サイト接続用QRコード

・パソコンから：
三菱電機株式会社のホームページ http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mobile/の「FOMA D904i」の「FAQ」→「外部メモリ」
なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

microSDメモリーカード使用時の留意事項

- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、microSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが壊れたり、保存済みのデータが利用できなくなることがあります。
- microSDメモリーカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。microSDメモリーカードが飛び出すことがあります。
- microSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着しているmicroSDメモリーカードや、変形しているmicroSDメモリーカードをFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。
- データのコピー中、移動中、削除中やmicroSDメモリーカードの初期化中、情報更新中は画面上部に ⇄ が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、iモード接続、データ通信などはできません。[クリアキー] を押して他の機能に切り替えることもできません。また、通話中、iモード中、データ通信中などでデータ転送モードに移行できない場合、データのコピー／移動、削除などは行えません。
- オールロック中、パーソナルデータロック中はmicroSDメモリーカードを使用できません。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDメモリーカードでは、データの保存、削除、初期化などはできません。
- 他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示／再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示／再生できない場合があります。
- ご利用になるmicroSDメモリーカードによっては、保存した動画に乱れが発生することがあります。
- microSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

■ FOMA端末で表示したとき

フォルダ構成は次のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

フォルダ構成		保存されるデータ
データBOX	マイピクチャ	カメラで撮影した静止画、JPEG形式の静止画（DCF規格※1）、GIF形式の画像
	その他の画像	JPEG形式の静止画（DCF規格外※1）、アニメーションGIF
	デコメ絵文字	デコメ絵文字
	動画	映像がある動画／iモーション
	動画🔑	コンテンツ移行対応のiモーション
	その他の動画	映像がない動画／iモーション
	メロディ	メロディ
	ミュージック	ミュージックプレイヤーで再生する音楽データ（着うたフル®、WMAファイル）
PIM	電話帳	電話帳、スケジュール、受信メール、未送信メール、送信メール、メモ、ブックマーク（iモード／フルブラウザ）
	スケジュール	
	受信メール	
	未送信メール	
	送信メール	
	メモ	
	Bookmark	
マイドキュメント		PDFデータ
トルカ		トルカ
iアプリのデータ※2		iアプリのデータ
現在地通知先		GPS機能の現在地通知先
その他		ドキュメント（Word、Excel、PowerPointのファイル）および閲覧不可ファイル

※1：DCFはDesign rule for Camera File systemの略でファイルシステムの規格です。
※2：データの保存はiアプリで行います。microSDメモリーカードのフォルダからは、情報の確認と削除が行えます。☞P283

- 各フォルダの最大保存件数は以下のとおりです。（microSDメモリーカードの容量に関係なく、FOMA端末から保存できる最大データ件数です。実際に保存できる件数は容量や保存データにより異なります。）

フォルダ	最大件数
マイピクチャ、その他の画像、デコメ絵文字、その他の動画、メロディ	各9999件
動画	4095件
動画🔑	1000件

フォルダ		最大件数
ミュージック	着うたフル®	1000件
	WMAファイル	500件
	プレイリスト	100件
電話帳、スケジュール、受信メール、未送信メール、送信メール、メモ、Bookmark		合計9999件
マイドキュメント、トルカ、現在地通知先、その他		各999件
i アプリのデータ		1200件

■ **パソコンなどに挿入して表示したとき**

パソコンなどに挿入して microSD メモリーカードの内容を表示した場合のフォルダとファイルの構成を示します。

- FOMA 端末での初期化直後はフォルダはありません。FOMA端末からmicroSDメモリーカードにデータを移動／コピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接microSDメモリーカードに保存したときなどに、そのファイルに対応したフォルダが自動的に作成されます。
- パソコンなどから microSD メモリーカードにデータを保存するときは、ここで示すファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先フォルダを間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。

```
microSDメモリーカード
├─ DCIM※1
│   └─ xxxD904I-----------------yyyyxxxx.JPG/GIF
├─ SD_VIDEO※2
│   └─ PRLzzz -------------- MOLzzz.3GP/MP4/ASF
├─ PRIVATE
│   └─ DOCOMO
│       ├─ STILL※3 --------------- STILxxxx.JPG/GIF
│       │   └─ SUDxxx ----------- STILxxxx.JPG/GIF
│       ├─ DECOIMG※4-----------DIMGxxxx.JPG/GIF
│       │   └─ DUDxxx-----------DIMGxxxx.JPG/GIF
│       ├─ RINGER※5--------RINGxxxx.MLD/MID/SMF
│       │   └─ RUDxxx ------ RINGxxxx.MLD/MID/SMF
│       ├─ MMFILE※6--------MMFxxxx.3GP/MP4/ASF
│       │   ├─ MUDxxx※6-----MMFxxxx.3GP/MP4/ASF
│       │   ├─ WM※7､8 ------------------ xxxx.WMA
│       │   └─ WM_SYSTEM※8､9
│       ├─ DOCUMENT※10
│       │   └─ PUDxxx---PDFDCxxx.PDF/$DF/DDF/JPG
│       ├─ TORUCA※11 ------------- TORUCxxx.TRC
│       │   └─ TRCxxx-------------- TORUCxxx.TRC
│       ├─ LCSCLIENT※12 ----------- LSCDCxxx.LSC
│       │   └─ LSCxxx-------------- LSCDCxxx.LSC
│       ├─ OTHER※13 ----- OTHERxxx.yyy/xxxxxxxx.yyy
│       │   └─ OUDxxx-----OTHERxxx.yyy/xxxxxxxx.yyy
│       └─ TABLE※8
├─ SD_PIM※14 -----PIMxxxxx.VCF/VCS/VMG/VNT/VBM
└─ SD_BIND※15
    └─ SVCxxxxx
```

※ 1：撮影画像、JPEG 形式の静止画（DCF 規格）、GIF形式の画像が保存されます。
- JPEG形式の静止画をこのフォルダに保存し情報更新を行っても表示できない場合は、ファイル名を「STILxxxx.JPG」（xxxx は 0001 ～ 9999）の形式に変更して「PRIVATE」→「DOCOMO」→「STILL」フォルダに保存すると、表示できる場合があります。

※ 2：動画／ i モーションが保存されます。拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

※ 3：JPEG 形式の静止画（DCF 規格外）、アニメーションGIFが保存されます（FOMA端末で表示したときの「その他の画像」フォルダ）。

※ 4：デコメ絵文字が保存されます。

※ 5：MFI形式、SMF形式のメロディが保存されます。

※ 6：「MMFILE」直下および「MUDxxx」には、映像がない動画／ i モーションが保存されます（FOMA端末で表示したときの「その他の動画」フォルダ）。

※ 7：ミュージックプレイヤーで再生するWMAファイルが保存されます。

※ 8：このフォルダにあるファイルは削除したり、ファイル名を変更しないでください。FOMA端末でデータを正しく表示／再生できなくなります。

※ 9：このフォルダは隠しフォルダです。パソコンの設定によっては表示されません。

※10：PDFデータが保存されます。拡張子を含めて半角 64 文字までのロングファイルネーム形式にも対応しています。ただし、FOMA 端末から保存する際に、ファイル名に重複があった場合などは、ファイル名が「PDFDCxxx」に変更されることがあります。
拡張子「$DF」はダウンロードに失敗したPDFデータです。残りのデータをダウンロードして保存すると拡張子が「PDF」に変わります。拡張子「DDF」は i モードしおり情報やマーク情報などを管理するファイル、「JPG」はサムネイル表示用データです。拡張子を除くファイル名は、対応するPDFデータと同じです。

※11：トルカ、トルカ（詳細）が保存されます。

※12：現在地通知先が保存されます。

※13：「その他」のファイルが保存されます。

※14：電話帳、スケジュール、受信メール、送信メール、未送信メール、メモ、ブックマークが保存されます。

※15：サイトから取得したコンテンツ移行対応の i モーションや着うたフル®のデータや、i アプリのデータが保存されます。ファイルは暗号化されており、パソコンでは表示／再生できません。このフォルダにあるファイルやフォルダは、削除したり名前を変えたりしないでください。FOMA端末でデータを正しく利用できなくなります。

- フォルダ名、ファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
  - ・「xxxD904I」のxxxは100～999
  - ・「yyyyxxxx」のyyyyはA～Z（大文字）、0～9、_（アンダーバー）、xxxxは0001～9999

・「PRLzzz」「MOLzzz」のzzzは001～FFFまでの16進数（16進数では1つの桁を0～9とA～Fの16種類の文字で表します。）
・「STILxxxx」「DIMGxxxx」「RINGxxxx」「MMFxxxx」のxxxxは0001～9999
・「SUDxxx」「DUDxxx」「RUDxxx」「PUDxxx」「PDFDCxxx」「TRCxxx」「TORUCxxx」「MUDxxx」「LSCxxx」「LSCDCxxx」「OUDxxx」のxxxは001～999
・「OTHERxxx.yyy」のxxxは001～999、yyyは拡張子
・「xxxxxxxx.yyy」のxxxxxxxxはA～Z、0～9、_（アンダーバー）、yyyは拡張子
・「PIMxxxxx」「SVCxxxxx」のxxxxxは00001～65535

• 同じフォルダ内に同一ファイル名で拡張子が異なるファイルがあると表示されない場合があります。

おしらせ

● パソコンなどでmicroSDメモリーカードにコピーしたデータ（コンテンツ移行対応のｉモーション、音楽データを除く）をFOMA端末で利用するには、FOMA端末でmicroSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。また、パソコンなどでmicroSDメモリーカード内のデータを変更／削除してFOMA端末でデータを正しく表示できなくなった場合も情報更新をしてください。☛P347

● パソコンなどでmicroSDメモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。

microSDメモリーカードで利用できるデータ

データ形式ごとのファイルサイズの上限値や利用可否は次のとおりです。

• メール添付の詳細☛P231

■ 画像、動画／ｉモーション

値：（上段）ファイルサイズ　（下段）画像サイズ

データ（拡張子）＼操作	microSDメモリーカードへコピー／移動	FOMA端末へコピー／移動	メール添付	内容表示／再生
JPEG形式の画像（JPG）※1	無制限	2.6Mバイト	2Mバイト※2	2.6Mバイト
	無制限	1728×2304	無制限	1728×2304
GIF形式の画像（GIF）※1	無制限	2.6Mバイト	2Mバイト	2.6Mバイト
	無制限	480×640	無制限	480×640
MP4形式の動画／ｉモーション（MP4、3GP）	無制限	無制限	2Mバイト	無制限
	無制限	無制限	無制限	48×48～320×240※3
ASF形式の動画／ｉモーション（ASF）	無制限	無制限	不可	無制限
	無制限	無制限	不可	176×144、320×240

※1：デコメ絵文字の場合、画像サイズは20×20、microSDカードへコピー／移動、FOMA端末へコピー／移動できるファイルサイズは90Kバイト以下になります。
※2：2Mバイトを超える場合は、2Mバイト以下に変換されて添付されます。
※3：再生可能な画像サイズを超えている動画／ｉモーションでも、再生可能な音声形式であったり、表示可能なテロップがデータ内に存在する場合は、音声やテロップの再生を行います。

■ 音楽データ、メロディ、PDFデータなど

値：ファイルサイズ

データ（拡張子）＼操作	microSDメモリーカードへコピー／移動	FOMA端末へコピー／移動
MP4形式の音楽データ（3GP）※1	無制限	5Mバイト
メロディ（MID、SMF、MLD）	無制限	100Kバイト
PDFデータ（PDF）	無制限	2Mバイト※2
トルカ（TRC）	1Kバイト	1Kバイト
トルカ（詳細）（TRC）	100Kバイト	100Kバイト
現在地通知先（LSC）	無制限	無制限
「その他」のドキュメント（DOC、XLS、PPT）	無制限	2Mバイト
「その他」の閲覧不可ファイル（DOC、XLS、PPT以外）	不可	不可

データ（拡張子）＼操作	メール添付	内容表示／再生
MP4形式の音楽データ（3GP）※1	不可	無制限
メロディ（MID、SMF、MLD）	2Mバイト	100Kバイト
PDFデータ（PDF）	2Mバイト	無制限
トルカ（TRC）	2Mバイト	1Kバイト
トルカ（詳細）（TRC）	2Mバイト	100Kバイト
現在地通知先（LSC）	不可	無制限
「その他」のドキュメント（DOC、XLS、PPT）	2Mバイト	無制限
「その他」の閲覧不可ファイル（DOC、XLS、PPT以外）	2Mバイト	不可

※１：D902iS以前のFOMA Dシリーズのミュージックプレイヤーで再生できた AAC 形式のファイルは、本 FOMA 端末では、音楽データではなく MP4 形式の動画／ｉモーションとして扱われます。

※２：詳細情報で表示される実メモリサイズが 2M バイトを超えていても、ｉモードしおりやマークのデータを除いたファイルサイズが 2M バイト以内であれば、コピー／移動できます。

■ PIMデータ

値：ファイルサイズ

データ（拡張子）＼操作	microSDメモリーカードへコピー／バックアップ	FOMA端末へコピー／復元
電話帳（VCF）	無制限	無制限
スケジュール（VCS）	無制限	無制限
メール（VMG）	無制限※1	無制限
メモ（VNT）	無制限	無制限
ブックマーク（VBM）	無制限	無制限

データ（拡張子）＼操作	メール添付	内容表示
電話帳（VCF）	2Mバイト	無制限
スケジュール（VCS）	2Mバイト	無制限
メール（VMG）	不可	無制限
メモ（VNT）	不可	無制限
ブックマーク（VBM）	2Mバイト	無制限

※１：メールのサイズが 100K バイトを超える場合、超えた分の添付ファイルはコピー／バックアップされません。

microSD メモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

- microSD メモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- microSDメモリーカードスロットにはmicroSDメモリーカード以外は挿入しないでください。
- microSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- microSD メモリーカードは正しく取り付けてください。microSD メモリーカードを正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- microSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときに、microSD メモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

microSDメモリーカードの取り付けかた

❶ microSDメモリーカードスロットのカバーを開く

❷ microSDメモリーカードを、印字面を上にして、スロットにゆっくり差し込む

❸ microSDメモリーカードを「カチッ」と音がするまで押し込む

❹ microSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

microSDメモリーカードの取り外しかた

❶ microSDメモリーカードスロットのカバーを開く

❷ microSDメモリーカードを軽く押し込み、指を離す

microSDメモリーカードが少し飛び出します。

❸ microSDメモリーカードをゆっくりと取り出す

- まっすぐに取り出してください。

❹ microSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間でデータをやりとりする

FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間でデータをコピー／移動したり、FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにバックアップします。
やりとりできるデータの種類と操作内容は次のとおりです。

データの種類		操作内容
データBOX	画像（デコメ絵文字含む）、動画／ｉモーション※1、メロディ、「ミュージック」の音楽データ※1	1件コピー 複数コピー 全件コピー 1件移動 複数移動 全件移動
PDFデータ		
トルカ、トルカ（詳細）		
「その他」のデータ（Word、Excel、PowerPointのファイルのみ）		
PIM	電話帳※2	1件コピー バックアップ 復元
	スケジュール	
	メール	
	ブックマーク（ｉモード／フルブラウザ）	
	メモ	
現在地通知先		

※1：コンテンツ移行対応のｉモーション、音楽データはコピーできません。
※2：バックアップ／復元するとプッシュトーク電話帳もバックアップ／復元されます。1件コピーではプッシュトーク電話帳はコピーされません。
FOMAカード電話帳はコピーできません。

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピー／移動する

- 以下のデータはコピー／移動できません。
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているデータ（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータを除く）
  - ・パラパラマンガ
  - ・部分的にデータを取得したｉモーション、PDFデータ
- トルカによってはコピー／移動できない場合があります。
- トルカ（詳細）をコピー／移動すると、トルカ（詳細）取得前の状態で保存される場合があります。
- 「ミュージック」の音楽データを移動するには ☞P373

例 画像をmicroSDメモリーカードにコピー／移動するとき

1 ◎ 1 ▶フォルダを選択

2 画像を選び Menu 5 ▶ 4 〜 5

3 1

■ 複数コピー／複数移動する：2 ▶画像を選択▶ 回

■ 全件コピー／全件移動する：3

4 「はい」

画像がmicroSDメモリーカードにコピー／移動されます。

- コピー／移動を中止する：◎

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、「その他」のドキュメント一覧、トルカ一覧では Menu を押し、「移動／コピー」→「microSDへ移動」または「microSDへコピー」を選択し、「1件移動」「複数移動」「全件移動」「1件コピー」「複数コピー」「全件コピー」のいずれかを選択します。
  コンテンツ移行対応のｉモーションを移動する場合は、操作3の後で移動先フォルダの選択画面が表示されます。☞P331
- 電話帳一覧では Menu を押し、「データバックアップ」→「microSDへコピー」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面、メモ一覧では Menu を押し、「赤外線／iC／microSD」→「microSDへコピー」を選択します。
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧では Menu を押し、「移動／コピー」→「microSDへコピー」→「1件コピー」を選択します。
- ブックマーク一覧では Menu を押し、「移動／microSD」→「microSDへコピー」→「1件コピー」を選択します。
- 現在地通知先一覧では Menu を押し、「microSD」→「microSDへコピー」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定している画像、動画／ｉモーション、メロディをmicroSDメモリーカードに移動すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されている画像、動画／ｉモーション、メロディを移動したときは、音の設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- コンテンツ移行対応以外の動画／ｉモーションは、FOMA端末からmicroSDメモリーカードへコピー／移動し、その後、microSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動すると、着信音や着信画像に設定できなくなります。

- FOMA端末の画像、動画／ｉモーション、メロディ、トルカをmicroSDメモリーカードにコピー／移動すると、ファイル名が管理用の名前に変更されます。PDFデータの場合は、データによって、管理用の名前に変更されることがあります。
- 画像をFOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピー／移動すると、microSDメモリーカード側で表示される実メモリサイズが、FOMA端末で表示される実メモリサイズより大きくなることがあります。この場合、microSDメモリーカード側で表示される実メモリサイズが実際のサイズになります。
- 電話帳データをコピーすると、登録されている画像もコピーされます。ただし、microSDメモリーカードの電話帳データを表示したとき、画像は表示されません。FOMA端末にデータを戻すと画像が表示されます。
- 電話帳データをコピーしても、登録されている動画はコピーされません。
- 受信メールをコピーしたとき、取得が完了していない添付ファイルはコピーされません。
- スケジュールに登録されているメンバーリストはコピーされません。また、データBOXの「プリインストール」フォルダ以外の画像が登録されている場合、画像はコピーされません。
- D904iで保存した画像、動画／ｉモーション、メロディは、データサイズの制限などの違いにより、他のFOMA端末で表示／再生できない場合があります。
- データの保護の設定は microSD メモリーカードにコピーされません。
- 静止画をmicroSDメモリーカードにコピー／移動した場合、静止画の形式により、データBOXの「マイピクチャ」と「その他の画像」に振り分けて保存されます。FOMA端末で撮影した以外の静止画でも、「マイピクチャ」に保存される場合があります。
- 動画／ｉモーションをmicroSDメモリーカードにコピー／移動した場合、映像やテロップがある動画／ｉモーションはデータBOXの「動画」、音声のみの動画／ｉモーションはデータBOXの「その他の動画」に保存されます。また、サイトから取得したコンテンツ移行対応のｉモーションは「動画🔑」に保存されます。

microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピー／移動する

- FOMA端末の最大保存件数☛P495
- ｉアプリのデータはコピー／移動できません。

データBOXのデータ／PDFデータ／トルカ／「その他」のデータをFOMA端末にコピー／移動する

- コンテンツ移行対応のｉモーションを移動するには☛P331
- 「ミュージック」の音楽データを移動するには☛P373
- 「その他」のデータのうち、Word、Excel、PowerPoint 以外のファイルは FOMA 端末にコピー／移動できません。

1 **Menu 6 5 ▶データの種類を選択**

■ データBOXのデータをコピー／移動する：1 ▶ 1～4／6～7

■ PDFデータをコピー／移動する：3

■ トルカをコピー／移動する：4

■ 「その他」のデータをコピー／移動する：7

2 **フォルダを選択**

3 **データを選ぶ▶データ BOX のデータ、PDF データ、「その他」のデータでは Menu 3／トルカでは Menu 2**

4 **1 または 4**

■ 複数コピー／複数移動する：2 または 5 ▶データを選択▶ 🄼

■ 全件コピー／全件移動する：3 または 6

5 **「はい」**

データがFOMA端末のデータBOXの各データの「データ交換」フォルダ（「その他」の場合は先頭フォルダ）またはトルカ一覧の「トルカフォルダ」にコピー／移動されます。

- デコメ絵文字として利用できる画像はマイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダにコピー／移動されます。
- コピー／移動を中止する：⏻

PIMデータ／現在地通知先をFOMA端末にコピーする

- バックアップデータ（📱、📱、✉、📱、📱、📱が付いているデータ）はコピーできません。FOMA端末にデータを戻すには復元を行います。

1 **Menu 6 5 ▶データの種類を選択**

■ PIMデータをコピーする：2 ▶ 1～7

■ 現在地通知先をコピーする：6 ▶フォルダを選択

2 データを選びMenu 1 1 ▶「はい」

- ブックマークの場合、ｉモードのブックマークには、フルブラウザのブックマークにはが表示されます。

FOMA 端末のデータを microSD メモリーカードにバックアップする

FOMA端末の各PIMデータおよび現在地通知先を、一括してバックアップします。

1 Menu 6 5 ▶データの種類を選択

■ PIMデータをバックアップする：2 ▶ 1 ～ 7

■ 現在地通知先をバックアップする：6 ▶フォルダを選択

- microSD メモリーカードに、コピーまたはバックアップしたデータが1件以上保存されているときのみ操作できます。

2 Menu 1 4 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」

- バックアップを中止する：
  - ・途中までバックアップしたデータは破棄されます。

おしらせ

● FOMA端末の各データの一覧からも操作できます。
- 電話帳一覧ではMenuを押し、「データバックアップ」→「microSDへバックアップ」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面、メモ一覧ではMenuを押し、「赤外線／iC／microSD」→「microSDへバックアップ」を選択します。
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧ではMenuを押し、「移動／コピー」→「microSDへコピー」→「バックアップ」を選択します。
- ブックマーク一覧ではMenuを押し、「移動／microSD」→「microSD へコピー」→「バックアップ」を選択します。
- 現在地通知先一覧では Menu を押し、「microSD」→「microSDへバックアップ」を選択します。

● ブックマークをバックアップする場合、Menu 6 5 2 7を押し、Menu 1 4を押すと、ｉモードとフルブラウザの両方のブックマークがバックアップされます。ｉモードまたはフルブラウザのブックマーク一覧から操作すると、ｉモードのブックマークのみ、またはフルブラウザのブックマークのみがバックアップされます。

microSD メモリーカードのバックアップデータを復元する

復元方法には追加復元と上書き復元があります。
- 追加復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータとは別のデータとして保存されます。
- 上書き復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータは消去され、復元したデータで上書きされますのでご注意ください。

1 Menu 6 5 ▶データの種類を選択

■ PIMデータを復元する：2 ▶ 1 ～ 7

■ 現在地通知先を復元する：6 ▶フォルダを選択

2 バックアップデータを選びMenu 1 ▶ 2 ～ 3

：電話帳　：スケジュール
：受信メール、送信メール、未送信メール
：メモ　：ブックマーク
：現在地通知先

3 端末暗証番号を入力▶「はい」

- 復元を中止する：
  - ・中止する前に処理されたバックアップデータはFOMA端末に復元されます。
- 電話帳を追加復元する場合、プッシュトーク電話帳のメンバーはグループに未登録の状態で復元されます。グループ名は復元されません。
- 電話帳のグループの並び順は、復元してもバックアップ時の並び順に戻らない場合があります。
- 現在地通知先の場合、同じ電話番号のデータは復元されません。また、FOMA端末のデータが5件を超える場合、超過分は復元されません。

microSD メモリーカード内のデータを表示する

- ｉアプリのデータを表示するには☛P283

データ BOX のデータ／PDF データ／トルカ／「その他」のデータを表示／再生する

- コンテンツ移行対応のｉモーションを再生するには☛P344
- 「ミュージック」の音楽データを再生するには☛P372

・「その他」のデータのうち、Word、Excel、PowerPoint以外のファイルの内容は表示できません。一覧表示、メール添付、詳細情報の表示、削除は行えます。

1 Menu 6 5 ▶ **データの種類を選択**

■ データBOXのデータを表示／再生する：1 ▶ 1 ～ 4 ／ 6 ～ 7

■ PDFデータを表示する：3

■ トルカを表示する：4

■「その他」のデータを表示する：7

2 **フォルダを選択**

・FOMA端末のフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で i

3 **データを選択**

データが表示／再生されます。

・動画／ｉモーション、メロディ、PDFデータ、トルカ、「その他」のデータ（Word、Excel、PowerPoint）の操作方法は以下のページを参照してください。

・動画／ｉモーション☞P324
・メロディ☞P335　・PDFデータ☞P363
・トルカ☞P290（詳細は取得できません）
・「その他」のデータ（Word、Excel、PowerPoint）☞P366

・画像表示中は次の操作ができます。

Menu：詳細情報表示　✉：メール作成
i：全画面表示（自動スクロールはしません）
📖：ファイル名の表示／非表示切り替え

データ一覧での各種操作

■ サムネイル表示とタイトル表示を切り替える（メロディ、トルカ、「その他」のデータを除く）：i

■ メールに添付して送信する：データを選び✉

■ 詳細情報を表示する（トルカを除く）：データを選びMenu 2

■ 1件削除する：
①データを選ぶ▶データBOXのデータ、PDFデータ、「その他」のデータでは Menu 4 1 ／トルカでは Menu 3 1
②「はい」

■ 複数削除する：
①データBOXのデータ、PDFデータ、「その他」のデータでは Menu 4 2 ／トルカでは Menu 3 2
②データを選択▶📖▶「はい」

■ 全件削除する：
①データBOXのデータ、PDFデータ、「その他」のデータでは Menu 4 3 ／トルカでは Menu 3 3
②端末暗証番号を入力▶「はい」

■ 指定したページにジャンプする：📖▶ページ数を入力

・ページ数を入力しないときは1ページ目が表示されます。

■ microSDメモリーカード内のデータを検索する（トルカ、「その他」のデータを除く）：Menu 5 ▶日付を入力▶📖

■ 動画／ｉモーションを連続再生する：Menu 6

フォルダ内の動画／ｉモーションが連続して再生されます。連続再生中は次の操作ができます。

●：一時停止／再生　　◎：音量調整
i ／✉：前後の動画／ｉモーション再生
📖：停止
クリア：再生終了（動画／ｉモーション一覧に戻る）
横再生／ワイド再生はできません。

■ 動画／ｉモーションの動作条件を設定する：Menu 7 ▶各項目を設定▶📖

・設定項目について☞P330

コンテンツ移行対応のｉモーションを再生する

microSDメモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションを再生します。

・サイトから取得したときやFOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入していないと再生／利用できません。また、ｉモーションによっては、機種が異なると再生／利用できないことがあります。

・microSDメモリーカードを利用するｉアプリを待受画面に設定している場合、microSDメモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションの再生や移動ができないことがあります。

1 Menu 6 5 1 5

動画🔑のフォルダ一覧が表示されます。

📁（赤）：初期フォルダ（ホームフォルダのときは📁）
📁（黄）：通常フォルダ（ホームフォルダのときは📁）

・「初期フォルダ」は自動的に作成されます。「初期フォルダ」のフォルダ名は変更できます。
・FOMA端末のｉモーションのフォルダ一覧に切り替える：Menu 4

2 **フォルダを選択**

・ホームフォルダを選択する：✉▶●

3 ｉモーションを選択

ｉモーションが再生されます。

データ一覧での各種操作

■ **サムネイル表示とタイトル表示を切り替える：**

■ **ｉモーションの詳細情報を表示する：ｉモーションを選びMenu 2 1**

■ **ｉモーションの詳細情報を変更する：ｉモーションを選びMenu 2 2 ▶各項目を設定▶**
- 表示名のみ変更できます。☛P351

■ **ｉモーションを待受画面や着信音、着信画像に設定する：**
- 設定可能なｉモーションの条件については「動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する」をご覧ください。☛P326
- 設定したｉモーションはFOMA端末に移動します。

① **ｉモーションを選びMenu 1**

② **設定する項目を選択**
- 待受画面に設定する：1 ▶「はい」
  - ｉモーションが拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
  - ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
  - 待受画面に設定したｉモーションを再生するには☛P136
- 着モーション（着信音）に設定する：2 ▶ 1 ～ 7 ▶「はい」
- メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：2 ▶ 8 ～ 9 ▶ 電話帳から相手を選択▶「はい」
- 音声電話／テレビ電話の着信画像、メール着信結果画像に設定する：3 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

■ **1件削除する：ｉモーションを選びMenu 4 1 ▶「はい」**

■ **複数削除する：Menu 4 2 ▶ｉモーションを選択▶ ▶「はい」**

■ **全件削除する：Menu 4 3 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」**

フォルダを利用する

■ **フォルダを作成する：**
- 最大1000個作成できます。
- フォルダ内にさらにフォルダを作成することもできます。

① **動画 のフォルダ一覧ではMenu 1／フォルダ内のデータ一覧ではMenu 5**

② **フォルダ名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶**

■ **ｉモーションをフォルダに移動する：**

① **ｉモーションを選びMenu 3 2 1**
- 複数移動する：Menu 3 2 2 ▶ｉモーションを選択▶
- 全件移動する：Menu 3 2 3

② **移動先フォルダを選び ▶「はい」**
- フォルダを選択するとフォルダ内のデータ一覧が表示されます。ただし、フォルダ内にフォルダがないときは、選択できるフォルダがない旨が表示されます。
- ホームフォルダを選ぶ：

■ **フォルダ名を変更する：**

① **フォルダを選ぶ▶動画 のフォルダ一覧ではMenu 2／フォルダ内のデータ一覧ではMenu 6**

② **フォルダ名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶**

■ **ホームフォルダを設定する：フォルダを選び ▶「はい」**

アイコンが または に変わります。

■ **フォルダを削除する：**
- フォルダを削除するとフォルダ内のデータも削除されます。
- ホームフォルダに設定したフォルダを削除すると、「初期フォルダ」がホームフォルダになります。
- 「初期フォルダ」を選んでフォルダ削除を行うと、「初期フォルダ」内のフォルダとデータだけが削除されます。「初期フォルダ」は削除されません。

① **フォルダを選ぶ▶動画 のフォルダ一覧ではMenu 3／フォルダ内のデータ一覧ではMenu 7**

② **「はい」**
- フォルダ内に無効なファイル（一覧に表示されないファイル）があると、フォルダ内のコンテンツ移行対応のｉモーションは削除されますが、フォルダは削除されずに残ります。この場合、パソコンなどで無効なファイルを取り除いてから、フォルダを削除し直してください。

PIMデータ／現在地通知先を表示する

1 Menu 6 5

2 **データの種類を選択**

■ PIMデータを表示する：2 ▶ 1～7

■ 現在地通知先を表示する：6 ▶ フォルダを選択

3 **データを選択**

データが表示されます。

- バックアップデータには、、、、、が表示されます。バックアップデータを選択したときは、バックアップデータに含まれているデータが一覧表示されます。データを選択します。
- ブックマークの場合、iモードのブックマークには、フルブラウザのブックマークにはが表示されます。

データ一覧での各種操作

■ **メールに添付して送信する（受信メール／未送信メール／送信メール／メモ／現在地通知先を除く）：データを選び**

■ **1件削除する：データを選び Menu 2 1 ▶「はい」**

■ **複数削除する：Menu 2 2 ▶ データを選択 ▶ ▶「はい」**

■ **全件削除する：Menu 2 3 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」**

■ **指定したページにジャンプする：▶ ページを入力**

- ページを入力しないときは1ページ目が表示されます。

■ **microSDメモリーカード内のデータを検索する（現在地通知先を除く）：Menu 3 ▶ 日付を入力 ▶**

おしらせ

- 電話帳データに登録されている画像は表示されず、が表示されます。FOMA端末に戻すと画像が表示されます。
- 電話帳のバックアップデータにプッシュトーク電話帳が含まれていても表示されません。復元はできます。
- microSDメモリーカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
- メールの詳細画面のサブメニューから、文字サイズの変更、メールアドレスの電話帳新規登録や更新登録、添付データの表示／非表示やタイトル確認ができます。また、受信メールの場合は、返信や転送もできます。
- 電話帳の詳細画面のサブメニューから、画像／名前表示切替や基本情報の確認ができます。
- ブックマークの詳細画面のサブメニューから、URLのコピー、電話帳新規登録や更新登録ができます。

microSDメモリーカードを管理する

microSDメモリーカードを初期化する　初期化

microSDメモリーカードに保存されているデータをすべて削除するときや、新たに購入したmicroSDメモリーカードをFOMA端末で使用するときに、初期化します。

- microSDメモリーカードの状態によっては、初期化できない場合があります。

1 **Menu 6 5 ▶ ▶ 初期化方法を選択**

簡易初期化：

microSDメモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。microSDメモリーカードが一度初期化済みで、microSDメモリーカードに問題がない場合だけ実行してください。

完全初期化：

microSDメモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。新しく購入したmicroSDメモリーカードを初期化するときなどに実行します。

2 **端末暗証番号を入力 ▶「はい」**

- 初期化を中断する：

microSDメモリーカードの保存容量を確認する　使用状況

1 Menu 6 5 ▶ Menu

使用状況	
使用領域：	3,696 KB
空き領域：	57,568 KB
全容量　：	61,264 KB

全容量に対する使用領域の割合

おしらせ

- 実際に使用できるmicroSDメモリーカードの容量は、microSDメモリーカードに記載されている容量よりも少なくなります。
- microSD メモリーカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、別のmicroSDメモリーカードを取り付けてからデータを保存してください。

microSDメモリーカードの情報を更新する
情報更新

他の機器で microSD メモリーカード内のデータを変更、追加、削除し、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、microSDメモリーカードの情報を更新します。

- 情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
  - ・「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」「その他」内のデータの場合は、ファイル名と同じ名前（「その他」では拡張子を含む）に変更されます。
  - ・「動画」「その他の動画」「メロディ」「マイドキュメント」内のデータの場合は、タイトルと同じ名前に変更されます。タイトルがないときはファイル名と同じ名前に変更されます。
  - ・「トルカ」内のデータの場合は、タイトル名と同じ名前に変更されます。ただし、タイトル名がないときは「無題」に変更されます。

1 Menu 6 5 ▶ ✉ ▶ **項目を選択**

情報更新 1/1
1 ■マイピクチャ
2 □その他の画像
3 □デコメ絵文字
4 □動画
5 □その他の動画
6 □メロディ
7 □PIM
8 □マイドキュメント
9 □トルカ
0 □現在地通知先
※ □その他

2 📖 ▶ **「はい」**

- 情報更新を中断する：●

おしらせ

- 他の機器で microSD メモリーカードにデータを保存した場合、FOMA 端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。
- 「動画」に音声のみの動画／ｉモーションが保存されている場合、情報更新を行うと音声のみの動画／ｉモーションは表示されなくなります。情報更新を行う前にFOMA端末に移動するか、パソコンなどでmicroSD メモリーカードの「その他の動画」用のフォルダ（￥PRIVATE￥DOCOMO￥MMFILE）にファイル名を変更して保存しておくことをおすすめします。☛P338
- 「動画🔑」「ミュージック」「ｉアプリのデータ」は情報更新できません。
- microSD メモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。

microSDメモリーカードをチェックする
カードチェック

microSD メモリーカードに保存されているデータをチェックして、問題があれば修復します。

- microSD メモリーカードの状態によっては、データを修復できないことがあります。

1 Menu 6 5 ▶ ✉ ▶ **「はい」**

パソコンから microSD メモリーカードを利用する

パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、FOMA端末に取り付けられている microSD メモリーカード内のデータをパソコンから操作できます。

- パソコンから操作したときの microSD メモリーカードのフォルダ構成について☛P338

microSDモード／MTPモードに設定する
USBモード設定

次の3つのモードがあります。パソコンからFOMA端末の microSD メモリーカード内のデータを操作するには、microSDモードまたはMTPモードに設定します。

- microSDモード
  パソコンから microSD メモリーカード内のデータを操作するモードです。
- MTPモード
  MTP（Media Transfer Protocol）に対応したOSがインストールされたパソコンと接続して、パソコンからFOMA端末のmicroSDメモリーカードに音楽データを転送するときに使用するモードです。MTP に対応していない OS がインストールされたパソコンでは通信モードと同じになります。音楽データの転送については☛P369
- 通信モード
  パソコンとFOMA端末を接続してデータ通信を行うモードです。詳細は付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

1 Menu 6 2 6 ▶ 1 ～ 3 ▶ **「はい」**

- microSDモードでは（紺）、MTPモードでは（紺）が待受画面に表示されます。ただし、microSD メモリーカードを取り付けていないときは（グレー）／（グレー）が表示されます。
- 通信モードでは、microSDメモリーカードを取り付けている場合にが表示されます。
- 選択したモードに既に設定されていた場合は、確認画面は表示されません。

おしらせ

- microSDモードに対応しているOSはWindows 2000、Windows XP、Windows Vista、MTPモードに対応しているOSはWindows XP Service Pack 2、Windows Vistaです。
- パソコンとFOMA端末を接続していてもUSBモード設定を変更できます。ただし、パソコン側で、FOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、microSDモード、MTPモードに設定できないことがあります。また、パソコンからmicroSD メモリーカードにアクセス中は切り替えられません。

パソコンとFOMA端末を接続する

- パソコンとFOMA端末は電源が入っている状態で接続してください。

❶ FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く
❷ FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまで FOMA 端末の外部接続端子に差し込む
❸ FOMA USB 接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む

- microSD モードまたは MTP モードでパソコンと接続中は決定キーの照明が青で点滅します。

■ 取り外しかた

FOMA 端末側コネクタの両側のリリースボタンを押しながら水平に引き抜きます。無理に引っ張ると故障の原因となりますのでご注意ください。パソコン側コネクタはそのまま引き抜きます。

おしらせ

- microSDモードまたはMTPモードに設定してパソコンとFOMA端末を接続しても、次の場合はパソコンがFOMA端末を認識しないことがあります。
  - 「LifeKit」メニューの「microSD」を起動しているとき
  - FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピー／移動しているとき
  - 静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダー、キャラ電が動作しているとき
  - ダウンロードしたPDFデータ、ｉモーションなどを直接microSDメモリーカードに保存中
  - ミュージックプレイヤーを起動しているとき
- microSD モードでパソコンと接続中に FOMA USB 接続ケーブルを取り外すときは、パソコンのタスクトレイのをクリックし「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※1を安全に取り外します※2」をクリックし、「'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。」が表示されることを確認してください。
  ※1：ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。
  ※2：Windows 2000の場合は「停止します」と表示されます。
- microSDメモリーカードとのデータ転送中にFOMA USB 接続ケーブルを外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。
- microSD モード、MTP モードでパソコンと接続中は FOMA 端末での microSD メモリーカードの操作（保存、表示など）やミュージックプレイヤーの起動はできません。
- パソコンと FOMA 端末が接続されると待受画面にが表示されます。押してを選択するとUSBモード設定の画面を表示できます。

アルバムを利用する

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメント、マチキャラ、「その他」のフォルダ一覧にアルバム（フォルダ）を追加し、データを整理できます。メロディでは、アルバム内のデータをまとめて再生できます。

・キャラ電、マイドキュメント、マチキャラ、「その他」ではアルバムを「フォルダ」と表記しています。
・きせかえツールでのフォルダの利用については☛P150

アルバムを作成する

・アルバム（フォルダ）はマイピクチャで最大100個、ｉモーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメント、マチキャラ、「その他」でそれぞれ最大10個作成できます。

例 マイピクチャのアルバムを作成するとき

1 ◎ 1

2 Menu 1

■ アルバム名を変更する：アルバムを選び Menu 3

■ アルバムを削除する：
アルバムを削除すると、アルバム内のデータも削除されます。
①アルバムを選び Menu 2
・削除するアルバムにデータが保存されているときは、端末暗証番号を入力します。
②「はい」

3 アルバム名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶ 📖

・キャラ電、マチキャラでは全角・半角を問わず10文字まで入力できます。

おしらせ

● ｉモーション、メロディのフォルダ一覧では Menu を押し、「アルバム追加」「アルバム名変更」「アルバム削除」のいずれかを選択します。
● キャラ電、マイドキュメント、マチキャラ、「その他」のフォルダ一覧では Menu を押し、「フォルダ追加」「フォルダ名変更」「フォルダ削除」のいずれかを選択します。
● お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更、削除ができません。
●「その他」にお買い上げ時に登録されている「マイフォルダ」は名前の変更、削除ができます。ただし、フォルダが1つのときは削除できません。

データをアルバムに移動／コピーする

データをアルバムに移動する

固定フォルダのデータを自分で作成したアルバム（フォルダ）に移動したり、自分で作成したアルバム（フォルダ）間でデータを移動します。

・マイピクチャの「デコメピクチャ」には、他のフォルダからデータを移動できます。
・「プリインストール」フォルダ、「デコメ絵文字」フォルダ、「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。
・部分的にデータを取得したｉモーションは移動できません。

例 マイピクチャのデータを移動するとき

1 ◎ 1 ▶ **フォルダを選択**

2 データを選び Menu 5 1 1

■ 複数移動する：Menu 5 1 2 ▶ データを選択 ▶ 📖

■ フォルダ内のすべてのデータを移動する：Menu 5 1 3

3 移動先のアルバムを選択 ▶「はい」

おしらせ

● 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧では Menu を押し、「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を選択し、「1件移動」「複数移動」「全件移動」のいずれかを選択します。
● キャラ電一覧、マチキャラ一覧では Menu を押し、「移動」を選択し、「1 件移動」「複数移動」「全件移動」のいずれかを選択します。
● PDF データ一覧、「その他」のドキュメント一覧では Menu を押し、「移動/コピー」→「フォルダへ移動」を選択し、「1件移動」「複数移動」「全件移動」のいずれかを選択します。

アルバムのデータを固定フォルダに戻す

・キャラ電、マチキャラ、「その他」のドキュメントでは固定フォルダへ戻す操作はできません。

例 マイピクチャのアルバムのデータを固定フォルダに戻すとき

1 ◎ 1 ▶ **アルバムを選択**

2 データを選び Menu 5 2 1

■ 複数戻す：Menu 5 2 2 ▶ データを選択 ▶ 📖

■ アルバム内のすべてのデータを戻す：Menu 5 2 3

3「はい」

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧ではMenuを押し、「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」を選択し、「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」のいずれかを選択します。
- お買い上げ時に「デコメピクチャ」フォルダに登録されている画像は、固定フォルダに戻す操作をすると、「ｉモード」フォルダに移動します。

データをコピーする

マイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメントのデータを同じアルバムまたはフォルダ内にコピーできます。

- 次のデータはコピーできません。
  - ・マイピクチャのパラパラマンガ、アイテム画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - ・再生制限が設定されているｉモーション、部分的にデータを取得したｉモーション、サイトやメールから取得した着信音に設定可能な動画／ｉモーション
  - ・ファイル制限が「あり」に設定されているデータ。ただし、自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。

例　マイピクチャのデータをコピーするとき

1 ◎1▶**フォルダを選択**▶**データを選び**Menu53

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、PDFデータ一覧ではMenuを押し、「移動／コピー」→「コピー」を選択します。
- アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

メロディをアルバムごと再生する

メロディのアルバム内のデータを続けて再生できます。

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダはアルバム再生できません。

1 ◎4▶**アルバムを選び**Menu1

- アルバム再生中は次の操作ができます。
  - ◎：音量調整　　◎：前後のメロディ再生
  - クリア／◎：再生終了（フォルダ一覧に戻る）

データの詳細情報を表示／変更する

詳細情報参照／変更

- 「ミュージック」の音楽データの詳細情報参照／変更については☛P374
- きせかえツールの詳細情報参照／変更については☛P149
- 部分的に取得したデータでは表示されない項目があったり、表示／変更ができないことがあります。

詳細情報を表示する

例　画像の詳細情報を表示するとき

1 ◎1▶**フォルダを選択**▶**画像を選び**Menu31

- 画面単位でスクロールする：✉／✉
- 詳細情報を変更する：📖

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、キャラ電一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、マチキャラ一覧、「その他」のドキュメント一覧ではMenuを押し、「詳細情報」→「参照」を選択します。

詳細情報を変更する

例　画像の詳細情報を変更するとき

1 ◎1▶**フォルダを選択**▶**画像を選び**Menu32

2 **各項目を設定**▶📖

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、キャラ電一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、マチキャラ一覧、「その他」のドキュメント一覧ではMenuを押し、「詳細情報」→「変更」を選択します。
- 動画／ｉモーション、キャラ電、メロディ、マチキャラの場合、「オリジナルに戻す」を選択すると、表示名を、あらかじめデータに設定されているオリジナルタイトルに戻せます。

表示項目と変更可否一覧

- データによっては、表中で変更可となっていても、変更できない場合があります。

●：変更可　○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	画像	動画／iモーション	キャラ電	メロディ	PDFデータ	マチキャラ	「その他」のドキュメント
表示名	●	●	●	●	●	●	●
タイトル	－	○	○	○	－	○	－
ファイル名	●	●	○	●	○	○	○
種類	○	－	－	－	－	－	－
作成者	－	●	－	－	－	－	－
コピーライト	－	●	－	－	－	－	－
説明	－	●	－	－	－	－	－
ファイル制限	●	●	○	●	○	○	○
撮影後ファイル制限	－	－	○	－	－	－	－
microSDへの移動（本体への移動）	○	○	○	○	○	○	○
ファイル種別	○	○	－	○	○	－	○
音	－	○	－	－	－	－	－
表示サイズ	○	○	○	－	－	－	－
実メモリサイズ	○	○	○	○	○	○	○
消費メモリサイズ	○	○	○	○	○	○	○
メール添付サイズ	○	－	－	－	－	－	－
再生時間	－	－	－	○	－	－	－
保存日時	○	○	○	○	○	○	○
フレーム候補	●	－	－	－	－	－	－
スタンプ候補	●	－	－	－	－	－	－
コメント	●	－	●	－	－	－	－
着信音設定	－	○	－	－	－	－	－
着信画面設定	－	○	－	－	－	－	－
再生制限	－	○	－	－	－	－	－
取得元	○	○	○	○	○	○	○

表示項目の説明

表示名：
FOMA端末で表示するタイトル（変更する場合、メロディ以外では全角・半角を問わず36文字まで、メロディでは全角25文字（半角50文字）まで）

タイトル：
データにあらかじめ設定されているオリジナルタイトル

ファイル名：
データをメールに添付したときに表示されるファイル名（変更する場合、半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで）
- 「.」はファイル名の先頭に入力できません。

種類：画像の種類

作成者：
作成者の名前など（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）
- 自端末で撮影した動画では、自局番号に登録した名前が表示されます。自局番号に名前が登録されていない場合は設定されません。

コピーライト：
著作者名や著作物の公表年月日など（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）

説明：
動画／iモーションの説明（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）

ファイル制限：
メールに添付して他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかどうかの区分
- ASF形式の動画／iモーションでは表示されません。
- サイトなどから取得したiモーション、ダウンロードしたメロディでは変更できません。

撮影後ファイル制限：
キャラ電を撮影した静止画／動画にファイル制限を設定するかどうかの区分

microSDへの移動（本体への移動）：
データをmicroSDメモリーカードに移動できるかどうかの区分
- microSDメモリーカード内のデータでは「本体への移動」が表示され、FOMA端末に移動できるかどうかの区分が示されます。

ファイル種別：
ファイルの種別（Flash画像では「---」）

音：音声データの種別

表示サイズ：
データの表示サイズ（ドット）
- Flash画像では表示されません。

実メモリサイズ：
データの実ファイルサイズ

消費メモリサイズ：
データの保存に使用するメモリサイズ
- 同じデータでもFOMA端末とmicroSDメモリーカードでは、消費メモリサイズが異なる場合があります。

メール添付サイズ：
iモードメールに添付するときのファイルサイズ
- 添付できないときは表示されません。

再生時間：データの再生時間

保存日時：データを保存した日時

フレーム候補：
画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうかの区分
- サイズが240×400または352×288を超える画像、アイテム画像と合成した画像、アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像は「する」に変更できません。

スタンプ候補：
画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうかの区分
- サイズが240×400以上の画像、アイテム画像と合成した画像、アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像は「する」に変更できません。

コメント：
　データの説明など（変更する場合、全角・半角を問わず100文字まで）
着信音設定：
　動画／ｉモーションを着信音に設定できるかどうかの区分
着信画面設定：
　動画／ｉモーションを着信画像に設定できるかどうかの区分
再生制限：動画／ｉモーションの再生制限
取得元：データの取得元

おしらせ

- 画像の詳細情報のうちフレーム候補やスタンプ候補を「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。
- microSDメモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なる場合があります。
- 自端末で撮影種別を「画像＋音声」に設定して撮影した動画やサウンドレコーダーで録音した音声、その動画／音声から切り出した動画／音声は、着信音設定が「可」になります。ただし、テロップを挿入した動画／音声は「不可」になります。
- コンテンツ移行対応のｉモーションの場合、microSDメモリーカードに保存されているときは着信音設定、着信画面設定が「不可」でも、FOMA端末に移動すると「可」になることがあります。

データを削除する

- マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメントの「プリインストール」フォルダ、メロディの「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは削除できません。
- 「ミュージック」の音楽データの削除については☛P373
- きせかえツールの削除については☛P151

例　マイピクチャのデータを削除するとき

1 **[MENU]1▶フォルダを選択**

2 **データを選び[Menu]61**
■ 複数削除する：[Menu]62▶データを選択▶[文字]
■ フォルダ内のデータを全件削除する：[Menu]63▶端末暗証番号を入力

3 **「はい」**

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデータ一覧、マチキャラ一覧、「その他」のドキュメント一覧では[Menu]を押し、「削除」を選択し、「1件削除」「複数削除」「全件削除」のいずれかを選択します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除したときは、音の設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している元の画像も削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電、マチキャラ、デコメールピクチャ、デコメ絵文字、フレームを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P453

データを並べ替える

ソート

一覧画面のデータの並び順を変更します。
- 「ミュージック」の音楽データの並べ替えについては☛P373

お買い上げ時　対象：保存日時　順序：降順

例　マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 **[MENU]1▶フォルダを選択▶[Menu]7**

2 **各項目を設定▶[文字]**
対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデータ一覧、マチキャラ一覧、「その他」のドキュメント一覧では[Menu]を押し、「ソート」を選択します。
- 表示名に全角と半角の文字が混在していると、並び順が50音順と一致しないことがあります。

本体メモリの使用状況を確認する

メモリ確認

FOMA端末のデータBOXおよびｉアプリのデータ保存用メモリの使用状況を、データごとに表示します。

1 Menu 8 6 9 3 ▶ **項目を選ぶ**

メモリ確認 1/2
マイピクチャ
ミュージック
モーション
メロディ
マイドキュメント

使用領域： 3,096 KB
空き領域： 11,764 KB
保存領域： 14,860 KB

保存領域に対する使用領域の割合

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他の FOMA 端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

- FOMA 端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータおよび「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
- 赤外線通信中や受信データの保存中は画面上部に と が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。 を押して他の機能に切り替えることもできません。また、通話中、ｉモード中、データ通信中などでデータ転送モードに移行できない場合、赤外線通信は行えません。
- FOMA 端末の赤外線通信機能は IrMC1.1 に準拠しています。
- 相手端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 絵文字を使用したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても、相手端末によっては、絵文字２を使用したデータは正しく表示されない場合があります。

赤外線通信を行うには

通信距離は約20cm以内、角度は中心から15度以内です。データの送受信が終わるまで、FOMA 端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常に行えないことがあります。

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線送信

データを選択して１件ずつ送信する方法と、機能ごとのデータを全件送信する方法があります。送信できるデータは次のとおりです。

：全件送信可

種　類	留意事項
電話帳	• １件送信の場合、シークレット属性を設定した電話帳はシークレットモード中のみ送信できます。 • 全件送信するとプッシュトーク電話帳、自局番号データも送信されます。 • プッシュトーク電話帳は１件送信できません。 • ダイヤル発信制限中は送信できません。 • データ送受信設定の電話帳の画像送信で、全件送信時に電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信するかどうかを設定できます。 • 送信先によっては、電話帳に登録されている画像が受信されない場合があります。 • グループの並び順は送信先に反映されない場合があります。
スケジュール	• １件送信の場合、シークレット属性を設定したスケジュールはシークレットモード中のみ送信できます。 • 日付・時刻の設定が必要です。

種　類	留意事項
受信メール 送信メール 未送信メール	• メール本文中の添付データ（iアプリが起動できるリンク項目）は削除されます。 • 10000バイトを超えるメールは、送信先によっては正しく送信できない場合があります。 • 取得が完了していない添付ファイルは送信されません。 • メールのサイズが100Kバイトを超える場合、超えた分の添付ファイルは送信されません。
メモ	―――
ブックマーク（iモード／フルブラウザ）	• 送信先によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。 • 全件送信すると一覧の末尾から送信されます。
画像	• 表示名は全角9文字（半角18文字）まで送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。 • 500Kバイトを超えるデータは送信できません。 • 部分的にデータを取得したｉモーションは送信できません。
動画／ ｉモーション	
メロディ	• タイトルは全角25文字（半角50文字）まで送信できます。
PDFデータ	• 512Kバイト※1を超えるPDFデータ、部分的にデータをダウンロードしたPDFデータは送信できません。
トルカ	• トルカ（詳細）を送信する場合、1件送信では詳細を含めて送信するかどうかを選択できます。全件送信では詳細を含めて送信されます。ただし、トルカ（詳細）によっては1件送信／全件送信とも、詳細取得前の状態で送信される場合があります。 • IP（情報サービス提供者）の設定によっては送信できない場合があります。 • 相手の機種によってはトルカ（詳細）は送信できない場合があります。
現在地通知先	―――
自局番号	• 送信先によっては画像が受信されない場合があります。 • ダイヤル発信制限中は送信できません。

※1：詳細情報で表示される実メモリサイズが512Kバイトを超えていても、ｉモードしおりやマークのデータを除いたファイルサイズが512Kバイト以内であれば送信できます。

• D904i以外の端末や赤外線通信機器との通信では、データを正しく送受信できない場合があります。送信先で登録できない項目は破棄されます。
• データサイズの制限などの違いにより、画像、動画／ｉモーション、メロディをFOMA端末に送信したとき、受信側で保存できない場合があります。

データを1件送信する

例　電話帳を1件送信するとき

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 電話帳を検索▶電話帳データを選び Menu 8 1 ▶「はい」

• 赤外線送信を中断する：（ボタン）

おしらせ

● ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、画像一覧、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデーター覧では Menu を押し、「赤外線／iC送信」→「赤外線送信」を選択します。
● スケジュールのデイリービュー画面、メモ一覧では Menu を押し、「赤外線／iC／microSD」→「赤外線送信」を選択します。
● トルカ一覧では Menu を押し、「赤外線送信」を選択します。トルカ（詳細）を送信する場合、詳細を含めて送信するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、詳細を送信できないトルカ（詳細）の場合は、詳細が含まれない旨の確認画面が表示されます。
● 現在地通知先一覧では Menu を押し、「赤外線送信」→「送信」を選択します。
● 自局番号画面では Menu を押します。名前、フリガナ、電話番号（1件目）、メールアドレス（1件目）が送信されます。全項目を送信するには詳細画面を表示して Menu を押し、「自局番号全項目送信」→「赤外線送信」を選択します。

データを全件送信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマーク、トルカ、現在地通知先のすべてのデータを送信します。

• 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 Menu 6 2 2 ▶データの種類を選択▶端末暗証番号を入力

3 認証パスワードを入力▶「はい」

• 赤外線送信を中断する：（ボタン）

おしらせ

- 電話帳一覧、ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧では[Menu]を押し、「赤外線／iC送信」→「赤外線全件送信」を選択します。
- スケジュールのカレンダー画面／デイリービュー画面、メモ一覧では[Menu]を押し、「赤外線／iC／microSD」→「赤外線全件送信」を選択します。
- トルカのフォルダ一覧では[Menu]を押し、「赤外線全件送信」を選択します。
- 現在地通知先一覧では[Menu]を押し、「赤外線送信」→「全件送信」を選択します。
- 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。
- [Menu][6][2][2]を押して「Bookmark」を選択すると、iモードとフルブラウザの両方のブックマークが全件送信されます。iモードまたはフルブラウザのブックマーク一覧から操作すると、iモードのブックマークのみ、またはフルブラウザのブックマークのみが全件送信されます。

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線受信

データを1件ずつ受信する方法と、機能ごとのデータを全件受信する方法があります。受信したデータは、直接FOMA端末に保存するか、赤外線受信のINBOXに一時的に保存して、受信したデータを確認してからFOMA端末に保存します。受信できるデータは次のとおりです。

□：全件受信可

データの種類	受信後の保存場所
電話帳	電話帳
スケジュール	スケジュール帳
受信メール	受信メール
送信メール	送信メール
未送信メール	未送信メール
メモ	メモ帳
ブックマーク（iモード／フルブラウザ）	iモードのBookmark／フルブラウザのBookmark
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ※1
動画／iモーション	iモーションの「データ交換」フォルダ
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ
PDFデータ	マイドキュメントの「データ交換」フォルダ
トルカ	トルカ一覧の「トルカフォルダ」
現在地通知先	現在地通知先一覧
自局番号	電話帳

※1：デコメ絵文字として利用できる画像は「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。

- 受信データの保存順は以下のとおりです。
  - ・電話帳、自局番号は、最も小さい空きメモリ番号に登録されます。
  - ・スケジュール、メールは日時順に保存されます。
  - ・メモ、画像、動画／iモーション、メロディ、PDFデータはソートの設定に従って追加されます。
  - ・ブックマーク、トルカは一覧の先頭に追加されます。
  - ・現在地通知先は一覧の末尾に追加されます。
- 電話帳データを全件受信して上書き保存した場合、自局電話番号以外の自局番号データが上書きされます。
- 電話帳データを全件受信した場合、受信データにプッシュトーク電話帳のデータが含まれていると、プッシュトーク電話帳に保存されます。
- ダイヤル発信制限中は電話帳データ、自局番号を受信できません。
- データ保存時の注意事項については「受信したデータを保存する」のおしらせをご覧ください。☛P357

データを1件受信する

- 512Kバイトを超えるデータは受信できません。

1 [Menu][6][2][1][1]

受信方式選択画面が表示されます。

2 [1]～[2]

保存確認あり：
受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。INBOXに空きがないときは選択できません。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。

保存確認なし：
受信したデータはFOMA端末に保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、受信方式選択画面に戻ります。

3 「はい」

受信待機状態になります。

4 送信側でデータを1件送信する

操作2で「保存確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX画面が表示されます。データの保存方法については「受信したデータを保存する」の操作2以降をご覧ください。☛P356
「保存確認なし」を選択した場合は、受信終了後、受信方式選択画面に戻ります。
- 赤外線受信を中断する：

データを全件受信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマーク、トルカ、現在地通知先のすべてのデータを受信できます。
- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 Menu 6 2 1 2

全件受信方式選択画面が表示されます。

2 1～2

上書き確認あり：
受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。INBOXに空きがないときは選択できません。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。INBOXからの保存時に追加保存と上書き保存を選択できます。
- 「上書き確認あり」を選択したときは、操作4に進みます。

上書き確認なし：
受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、全件受信方式選択画面に戻ります。
- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

3 「はい」▶端末暗証番号を入力

4 認証パスワードを入力▶「はい」

受信待機状態になります。

5 送信側でデータを全件送信する

操作2で「上書き確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX画面が表示されます。データの保存方法については「受信したデータを保存する」の操作2以降をご覧ください。☛P356
「上書き確認なし」を選択した場合は、受信終了後、全件受信方式選択画面に戻ります。
- 赤外線受信を中断する：

おしらせ
- データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。

受信したデータを保存する

INBOXに一時的に保存されているデータをFOMA端末に保存します。
- 1件受信時に「保存確認あり」、全件受信時に「上書き確認あり」を選択した場合、受信終了後、自動的にINBOX画面が表示されます。
- FOMA端末に保存したデータはINBOXから削除されます。

1 Menu 6 2 4

2 データを選択

／：電話帳1件データ／複数件データ
／／：
　ｉモードのブックマーク1件データ／フルブラウザのブックマーク1件データ／複数件データ
／：メール1件データ／複数件データ
／：スケジュール1件データ／複数件データ
／：メモ1件データ／複数件データ
：画像
：動画／ｉモーション
：メロディ
：PDFデータ
／：トルカ1件データ／複数件データ
／：現在地通知先1件データ／複数件データ

■ 1件削除する：データを選び Menu 2 ▶「はい」

■ 全件削除する：Menu 3 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」

3 「はい」

■ 複数件データを選択したとき：端末暗証番号を入力▶追加保存する場合は「追加」、上書き保存する場合は「上書き」
- 「上書き」を選択するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

おしらせ

- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存／登録件数より少なくなることがあります。
- D904iではToDoデータ（用件を管理するリスト機能のデータ）は保存できません。D904i以外の機種などからToDoデータとスケジュールデータをまとめて全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。ToDoデータのみを全件受信した場合、上書き保存するとD904iに登録されていたスケジュールがすべて削除されますのでご注意ください。
- 全件受信したデータを上書き保存すると、FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- 電話帳の複数件データを追加保存する場合、プッシュトーク電話帳のメンバーはグループに未登録の状態で保存されます。グループ名は登録されません。
- FOMA端末からメールを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にならないことがあります。
- FOMA端末からブックマークを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。ただし、相手の端末によっては、ブックマークが先頭のフォルダに保存されることがあります。
- D904i以外のFOMA端末から画像、動画／ｉモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録されることがあります。
- 受信したデータの中に不正な文字などが含まれる場合、空白に置き換えられたり、切り詰められます。
- メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダを選び[Menu][1]を押してください。

赤外線通信モードにする

赤外線通信モード

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からｉアプリ起動データを受信して、ｉアプリを起動します。

- 指定のソフトをあらかじめサイトなどからダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリが外部機器からのｉアプリToで起動しないように設定されている場合は起動できません。

1 [Menu][6][2][1][1][2]▶「はい」

受信待機状態になります。

2 赤外線通信機器からｉアプリ起動データを受信する

ｉアプリが起動します。

- 受信を中断する：[CLR]

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応したｉアプリをダウンロードしてください。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリ「Gガイド番組表リモコン」を起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。☛P276
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受けることがあります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください（操作方法はｉアプリによって異なります）。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

データ送受信時の動作を設定する

データ送受信設定

赤外線通信、iC 通信、USB 接続によるデータ送受信時の動作を設定します。

お買い上げ時　通信終了音：OFF　自動認証：なし
電話帳の画像送信：あり

1 Menu 6 2 5 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

通信終了音：
通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。

自動認証：
ドコモケータイ datalink 使用時など、USB 接続による通信時に、認証コードを通信相手と自動でやりとりするかどうかを設定します。「あり」に設定すると、認証パスワードを毎回入力する必要がなくなります。
- 「あり」に設定するときは、端末暗証番号を入力し、4 ～ 8 桁の携帯側認証コード（FOMA 端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、📖を押します。

電話帳の画像送信：
電話帳の全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

iC通信機能について

iC通信

iC 通信機能を搭載した FOMA 端末間で、互いの FOMA端末のFeliCaマーク（📶）を重ね合わせることでデータを送受信します。

FeliCa マーク間の距離が 1cm以内になるように重ねてください。また、データの送受信中は動かさないでください。
- FeliCaマークを重ね合わせるとき、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

- 送受信できるデータの種類は赤外線通信と同じです。☛P353、P355
- FOMA 端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータおよび「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
- iC通信中や受信データの保存中は画面上部に ⇌ が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。 を押して他の機能に切り替えることもできません。また、通話中、ｉモード中、データ通信中などでデータ転送モードに移行できない場合、iC通信は行えません。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、FeliCa マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

iC通信でデータを送信する

データを選択して１件ずつ送信する方法と、機能ごとの全データを送信する方法があります。

データを１件送信する

例　電話帳を１件送信するとき

1 **電話帳を検索** ▶ **電話帳データを選び** Menu 8 3 ▶ **「はい」**

2 **FOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせる**
- iC通信を中断する：

おしらせ

- ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、画像一覧、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDF データ一覧では Menu を押し、「赤外線／iC送信」→「iC送信」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面、メモ一覧では Menu を押し、「赤外線／iC／microSD」→「iC送信」を選択します。
- トルカ一覧では Menu を押し、「iC送信」を選択します。トルカ（詳細）を送信する場合、詳細を含めて送信するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、詳細を送信できないトルカ（詳細）の場合は、詳細が含まれない旨の確認画面が表示されます。
- 現在地通知先一覧では Menu を押し、「iC送信」→「送信」を選択します。
- 自局番号画面では を押します。名前、フリガナ、電話番号（１件目）、メールアドレス（１件目）が送信されます。全項目を送信するには詳細画面を表示して Menu を押し、「自局番号全項目送信」→「iC送信」を選択します。

データを全件送信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマーク、トルカ、現在地通知先のすべてのデータを送信します。
- 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 Menu 6 2 3 ▶ データの種類を選択 ▶ 端末暗証番号を入力

2 認証パスワードを入力 ▶「はい」

3 FOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせる
- iC通信を中断する：🔘

おしらせ
- 電話帳一覧、ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧ではMenuを押し、「赤外線／iC送信」→「iC全件送信」を選択します。
- スケジュールのカレンダー画面／デイリービュー画面、メモ一覧ではMenuを押し、「赤外線／iC／microSD」→「iC全件送信」を選択します。
- トルカのフォルダ一覧では Menu を押し、「iC 全件送信」を選択します。
- 現在地通知先一覧ではMenuを押し、「iC送信」→「全件送信」を選択します。
- 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。
- Menu 6 2 3 を押して「Bookmark」を選択すると、ｉモードとフルブラウザの両方のブックマークが全件送信されます。ｉモードまたはフルブラウザのブックマーク一覧から操作すると、ｉモードのブックマークのみ、またはフルブラウザのブックマークのみが全件送信されます。

iC通信でデータを受信する

- 他の機能を実行していると受信できません。待受画面に戻して受信してください。
- データ保存時の注意事項については「受信したデータを保存する」のおしらせをご覧ください。☞P357

データを1件受信する

- 512Kバイトを超えるデータは受信できません。

1 送信側で1件送信操作を行う

2 受信側を待受画面にし、FOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせる

受信終了後、INBOX 画面が表示されます。データの保存方法については「受信したデータを保存する」の操作2以降をご覧ください。☞P356
- 受信を中断する：🔘

データを全件受信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマーク、トルカ、現在地通知先のすべてのデータを受信できます。
- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 送信側で全件送信操作を行う

2 受信側を待受画面にし、FOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせる

3 認証パスワードを入力

4 再度、FOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせる

受信終了後、INBOX 画面が表示されます。データの保存方法については「受信したデータを保存する」の操作2以降をご覧ください。☞P356
- 受信を中断する：🔘

おしらせ
- データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかる場合があります。

サウンドレコーダーで音声を録音する

サウンドレコーダー

録音した音声はFOMA端末で再生するだけでなく、microSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信したり、赤外線通信／iC通信で送信できます。
- 録音した音声は、映像のない動画／ｉモーションとして保存されます。

ファイル名・ファイル形式について

音声ファイルのファイル名や表示名、タイトルには、録音した日時が自動的に付けられます。
(例) 2007年7月10日12時34分56秒の場合
→20070710123456
ファイル形式は以下のとおりです。

項　目	内　容
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	AMR
拡張子	3GP

- 録音後、ファイル名や表示名を変更できます。☛P350

音声の録音時間について

音声の録音時間は、品質、サイズ制限の設定によって変わります。

■ 1回あたりの録音時間（D904i本体）

D904iに保存するときに、1回に録音できる時間（目安）を以下に示します。

品　質	ファイルサイズ制限		
	メール添付用（小）	メール添付用（大）	制限なし
STD	約486秒	約33分	約188分
HQ	約320秒	約21分	約123分

■ 合計録音時間（D904i本体）

D904iに保存できる合計録音時間（目安）を以下に示します。

品　質	ファイルサイズ制限		
	メール添付用（小）	メール添付用（大）	制限なし
STD	約188分	約188分	約188分
HQ	約123分	約123分	約123分

- お買い上げ時に登録されているデータを削除すると、録音時間は増えます。

■ 合計録音時間（microSDメモリーカード）

microSD メモリーカードに保存できる合計録音時間（目安）を、容量が64Mバイトの場合について以下に示します。

品　質	ファイルサイズ制限		
	メール添付用（小）	メール添付用（大）	制限なし
STD	約990分	約990分	約990分
HQ	約650分	約650分	約650分

- 「メール添付用（小）」「メール添付用（大）」の1回あたりの録音時間はD904iに保存するときと同じです。
- 「制限なし」の場合、1回で合計録音時間まで録音できます。

録音画面の見かた

Setting
Sound Recorder
READY
待機中
02:12:45

❶ **設定ガイド**
　で録音時の設定を変更できることを示します。☛P361

❷ **保存先☛P188**
: FOMA端末
: microSDメモリーカード

❸ **種別**
音声を録音することを示します。

❹ **インジケータ**
録音待機中の場合
保存先の保存領域の使用率を示します。
- microSD メモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても0にならないことがあります。

録音中／一時停止中の場合
サイズ制限で設定しているファイルサイズ（「制限なし」の場合は保存可能サイズ）に対する録音したサイズの割合を示します。

❺ **カウンタ**
録音待機中の場合
現在の設定で FOMA 端末または microSD メモリーカードに保存できる音声の最大時間（目安）を示します。
録音中／一時停止中の場合
経過時間／残り時間（録音停止するまでの時間）（目安）を示します。

❻ **品質☛P361**

❼ **サイズ制限☛P362**

音声を録音する

- 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
- 着信音量を「silent」(消音) に設定している場合やマナーモード中、公共モード(ドライブモード)中などでも、録音確認音(シャッター音)は鳴ります。また、録音確認音(シャッター音)の音量は変更できません。
- サウンドレコーダー起動時は決定キーの照明が青で点灯します。録音中はコンパクトライトが赤、決定キーの照明が色を変えながら点滅します。一時停止中はコンパクトライトが赤、決定キーの照明が緑で点灯します。点灯/点滅しない設定や点灯パターン/色の変更はできません。

1 Menu 6 7

サウンドレコーダーが起動します。

2 ●または 📷

録音確認音(シャッター音)が鳴り、録音が開始されます。画面下部に ● が表示されます。

- 音声は送話口から録音されます。
- 録音を一時停止するときは ● を押します。● が ❚❚ に切り替わります。● または 📷 を押すと、録音を再開します。

3 📖 または 📷

録音確認音(シャッター音)が鳴り、音声の録音が終了します。録音した音声の確認画面が表示されます。

- 録音中にファイルサイズが制限値を超えると、録音が自動的に終了します。
- 一時停止中に 📖 を押して録音を終了できます。

4 録音した音声を確認

- 保存しないで録音し直す:クリア
- 音声を再生する:📖
- 確認画面を表示せずに自動保存するには☞P188

5 ●または 📷

録音した音声がiモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカードの「その他の動画」フォルダに保存されます。

■ 保存した音声を確認する:📖 ▶ 音声を選択

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、📖 を押してフォルダを選択し、音声を選択します。

確認画面からの各種操作

操作4で、録音した音声の確認画面から以下の操作が行えます。

■ メールに添付して送信する:✉

録音した音声を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録音した音声が保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定していても、FOMA端末に保存されます。
- 録音した音声のファイルサイズが2Mバイトを超える場合は、添付できません。

■ タイトルを変更する:Menu 3 ▶ タイトルを入力(全角・半角を問わず31文字まで) ▶ 📖

- 変更したタイトルは音声保存後に有効になります。

■ 保存先をFOMA端末/microSDメモリーカードに切り替える:Menu 5

- 録音した音声のファイルサイズが2Mバイトを超える場合は切り替えられません。
- 音声保存後は、保存先の設定は切り替え前の設定に戻ります。

■ 保存されている音声を一覧表示する:Menu 6 ▶ 1 〜 2

- microSDメモリーカードの音声を一覧表示するときはフォルダを選択します。

おしらせ

- 静止画撮影画面や動画撮影画面で Menu を押し、「機能切替」→「サウンドレコーダー」を選択してもサウンドレコーダーに切り替わります。
- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項については☞P186「動画を撮影する」のおしらせ
- メールからサウンドレコーダーを起動した場合、利用できない機能や設定できない項目があります。
- 録音した音声の再生方法については☞P324「動画/iモーションを再生する」

録音時の設定を変更する

- 動画/録音詳細設定でも設定できます。☞P187

音声の品質を設定する

1 録音画面で ◎ で品質のマーク(STD、HQ)を選ぶ

- 8 を押しても選べます。

2 ◎ で設定を選び ●

HQ 高品質:音質がよくなりますが、録音できる時間は短くなります。

STD 標準 :標準的な品質です。

ファイルサイズを制限する

1 録音画面で でサイズ制限のマーク（、、）を選ぶ

- 9 を押しても選べます。

2 で設定を選び

- 各設定の意味は動画撮影のサイズ制限と同じです。☛P192

Menu 55

PDFデータを表示する

PDF対応ビューア

FOMA端末のデータBOXのマイドキュメントに保存されているPDFデータを表示します。

- お買い上げ時は「辞典機能」が「プリインストール」フォルダに保存されています。
- パソコンなどでmicroSDメモリーカードに保存したPDFデータも表示できます。
  - ・microSDメモリーカード内のPDFデータの保存場所やファイル名については☛P338
  - ・microSDメモリーカード内のPDFデータを表示するには☛P343

1 5 ▶フォルダを選択

iモード：
iモード、フルブラウザ、iモードメールで取得したPDFデータ

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されているPDFデータ

データ交換：
microSDメモリーカードから移動／コピーしたPDFデータ、データ通信で受信したPDFデータ

フォルダ：
他のフォルダから移動したPDFデータ

- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P349

- microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で
microSDメモリーカードの操作方法☛P343

2 PDFデータを選択

PDFデータが表示されます。

PDF表示画面

- PDFデータにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して を押します。
- ダウンロードに失敗したPDFデータ（ファイル種別が）を選択すると、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ（ファイル種別が）の残りのデータをダウンロードするには、PDFデータ表示中に Menu 8 を押します。また、未取得のページを表示しようとするなど、データのダウンロードが必要な操作を行うと確認画面が表示され、「はい」を選択するとダウンロードできます（一度「はい」を選択すると、以降のページは確認画面なしでダウンロードされます）。
- PDFデータによっては、残りのデータをダウンロードできない場合があります。
- マークが登録されているページには が表示されます。

■ **表示を終了する：クリア ▶「はい」**

- PDFデータを変更したときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存するときは「はい」を選択して を押します。元のPDFデータに上書きされます。
  - ・PDFデータを変更したときは、PDF表示画面で Menu 2 を押しても保存できます。

PDFデータ一覧の見かたと操作

サムネイル表示のとき　　タイトル表示のとき

❶取得元
- ：iモード　　：内蔵
- ：データ交換

❷ファイル種別
- ：すべてのデータをダウンロードしたPDFデータ
- ：部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ
- ：通信が途中で切断された場合など、ダウンロードに失敗したPDFデータ
- ：FOMAカード動作制限機能が設定されているPDFデータ

❸ファイル制限
- （青）　：ファイル制限なし
- （グレー）：ファイル制限あり

- サムネイル表示とタイトル表示を切り替える：
- PDFデータのサムネイル画像が表示できない場合、サムネイル表示では次の画像が表示されます。
  - ：サムネイル画像がないPDFデータ、一度も表示していないPDFデータ
  - ：部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ
  - ：ダウンロードに失敗したPDFデータ
  - ：FOMAカード動作制限機能が設定されているPDFデータ
- 表示名を変更する☛P350

■ **PDFデータをメールに添付して送信する：PDFデータを選び**

PDFデータが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できるPDFデータについて☛P231

PDFデータ表示中の各種操作

■ **スクロールする：**
- 押し続けると連続スクロールします。

■ **ページを切り替える：**

表示ページ	操　作
前ページ	
次ページ	
先頭ページ	4
最後のページ	6
指定ページ	Menu 1 3 ▶ページ番号を入力

■ **表示倍率を変更する：**

機　能	操　作
拡大	3
縮小	1
ページ全体を表示	2
実際の大きさで表示	Menu 6 2 ▶ 2
画面幅に合わせて表示	Menu 6 2 ▶ 3
倍率を指定	Menu 6 3 ▶倍率を入力

■ **表示を回転する：Menu 6 4 ▶ 1 ～ 3**
- 右90°回転、左90°回転、180°回転が行えます。
- 7 を押しても右90°回転できます。
- ページの向きに関わらず、スクロールして前後のページを表示するには を押します。

■ **標準画面表示／全画面表示を切り替える：＊**
- 全画面表示にするとスクロールバー、ステータス、ガイド行の表示が消えます。
- 標準画面表示時のスクロールバー／ステータスの表示／非表示を選択する：標準画面表示中に Menu 7 ▶各項目を設定▶

■ **ツールバーを使う：**

①

ツールバーとガイドが表示されます。
- 全画面表示時はガイドは表示されません。

ガイド
ツールバー

② でマークを選び

- ：縮小　　：全体表示
- ：拡大　　：最初のページ
- ：検索　　：最後のページ
- ：右90°回転　　：リンク表示
- ：画面切り出し　　：ドキュメント情報

- マークには左から順に 1 ～ 9 、0 のキーが割り当てられています。各キーを押してもマークを選択できます。
- ツールバー選択中に クリア を押すとガイドが消え、PDFデータのスクロールなどの操作ができます。再度ツールバーを選択するには を押します。

- ツールバーを消す：[#]
  - ・ツールバー選択中は、[クリア]を押してから[#]を押します。
  - ・ツールバーが表示されていないときに[#]を押すとツールバーが表示されます。

■ **ページレイアウトを切り替える：**[Menu][6][5]▶[1]〜[3]
- 単一ページ（1ページずつ表示）、連続ページ（ページを連続して表示）、見開きページ（2ページずつ表示）から選択できます。
- 1ページのみのPDFデータや、部分的にデータをダウンロードしたPDFデータでは設定できません。

■ **文字列を検索する：**
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータの場合は、表示中のページのみ検索されます。

① **[5]▶文字列の入力欄▶入力（全角8文字（半角16文字）まで）**
- 完全に一致する語句だけを検索するときは検索方法を「完全一致」に設定します。
- 英字の大文字と小文字を区別して検索するときは「大文字と小文字を区別」を「区別する」に設定します。

② **[📖]**

検索が実行され、入力した文字列に一致した語句が強調表示されます。
- 一致する次の語句を検索する：[✉]
- 一致する前の語句を検索する：[⇄]
- 検索を終了する：[Menu]
- ヘルプを表示する：[📖]

■ **リンクを利用する：**[8]▶**リンク項目を選択**
- リンク表示をONにするとスクロール操作やページ移動はできません。利用したいリンク項目がある箇所を表示してから操作してください。
- リンク表示を終了する：[Menu]

■ **ページのイメージを保存する（画面切り出し）：**[9]

現在画面に表示している内容が、JPEG形式の画像として、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。
- PDFデータによっては画面切り出しができない場合があります。
- 保存した画像のFOMA端末外への出力の可／不可は、切り出し元のPDFデータの設定に従います。
- 切り出される画像サイズは、PDFデータが表示されている画面領域の大きさによって異なります。

■ **ヘルプ（キーの説明）を表示する：**[📖]

■ **ドキュメント情報を表示する：**[0]
- タイトル、著作者名、ファイルサイズなどを表示できます。

おしらせ
- PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。

しおりやマークを使う

しおりやマークを選択して、ページをすばやく表示できます。しおり、マークには次の3種類があります。

種　類	説　明
しおり	あらかじめ登録されているしおりです。追加や変更、削除はできません。登録されていないPDFデータもあります。
iモードしおり	後から追加できるしおりです。しおりの情報としてページの説明などを登録できるので、目次やメモなどとして使用できます。
マーク	iモードしおりと同様にPDFデータに後から追加できます。情報は登録できません。一覧画面にはページ番号が表示されます。

- iモードしおりには位置と現在の表示状態（倍率、回転方向）も登録されます。マークには位置のみ登録されます。
- PDFデータによっては、iモードしおりやマークがあらかじめ登録されている場合があります。
- iモードしおり、マークはそれぞれ最大10件登録できます（あらかじめ登録されていたiモードしおり、マークの件数も含む）。ただし、PDFデータによっては最大件数まで登録できない場合があります。
- パソコンでPDFデータを表示した場合、iモードしおりやマークが表示されない場合があります。

しおりを使う

1 **PDFデータ表示画面で[Menu][4][1]▶しおりを選択**

iモードしおりを使う

iモードしおりを登録する

1 **iモードしおりを登録するページを表示▶[Menu][4][2][2]**

2 **情報を入力（全角64文字（半角128文字）まで）▶[📖]**

ｉモードしおりを表示する

1 PDFデータ表示画面で Menu 4 2 1 ▶ｉモードしおりを選択

該当ページの、ｉモードしおりが登録されている位置が、登録時の表示状態（倍率、回転方向）で表示されます。

■ 編集する：ｉモードしおりを選び Menu 1 ▶情報を入力▶ 🄼

■ 1件削除する：ｉモードしおりを選び Menu 2 1 ▶「はい」

■ 複数削除する：Menu 2 2 ▶ｉモードしおりを選択▶ 🄼 ▶「はい」

■ 全件削除する：Menu 2 3 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」

マークを使う

マークを登録する

1 マークを登録するページを表示▶ Menu 4 2 5

マークが登録され、現在の表示範囲の中央にマークが表示されます。

マークを表示する

1 PDFデータ表示画面で Menu 4 2 4 ▶マークを選択

該当ページの、マークが登録されている位置が表示されます。

■ 1件削除する：マークを選び Menu 1 ▶「はい」

■ 複数削除する：Menu 2 ▶マークを選択▶ 🄼 ▶「はい」

■ 全件削除する：Menu 3 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」

PDF対応ビューアの動作条件を設定する
動作設定

PDFデータ一覧の表示形式を選択します。「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

お買い上げ時 あり

1 ⓘ 5 ▶ Menu 4 ▶ 1 ～ 2

Menu 59

Word、Excel、PowerPointのファイルを表示する
ドキュメントビューア

データBOXの「その他」に保存されているWord、Excel、PowerPointのファイルを表示します。

- ドキュメントはフルブラウザでダウンロードしたり、ｉモードメールで取得できます。
- パソコンなどでmicroSDメモリーカードに保存したドキュメントも表示できます。
  - ・microSDメモリーカード内のドキュメントの保存場所やファイル名については☛P338
  - ・microSDメモリーカード内のドキュメントを表示するには☛P343
- Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルは表示できません。

1 ⓘ 9 ▶フォルダを選択

- お買い上げ時は「マイフォルダ」が登録されています。フォルダを作成するには☛P349
- microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で 🄼
  microSDメモリーカードの操作方法☛P343

2 ドキュメントを選択

ドキュメントが表示されます。

ステータス（ページ番号／総ページ数と表示倍率）

1/2 28%

ドキュメント表示画面

■ 表示を終了する：クリア

ドキュメント一覧の見かたと操作

❶ 取得元
：フルブラウザ、iモードメール
：データ交換

❷ ファイル種別
：Word　：Excel
：PowerPoint
／／：FOMA カード動作制限機能が設定されているデータ

❸ ファイル制限
(青)：ファイル制限なし

- 表示名を変更する☛P350

■ **ドキュメントをメールに添付して送信する：ドキュメントを選び[✉]**
ドキュメントが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できるドキュメントについて☛P231

ドキュメント表示中の各種操作

- データの読み込み中は実行できない操作があります。

■ **スクロールする：[◎]**
- 押し続けると連続スクロールします。

■ **ページを切り替える：**

表示ページ	操　作
前ページ	[✉]
次ページ	[✉]
先頭ページ	[4]
最後のページ	[6]
指定ページ	[Menu][1][3]▶ページ番号を入力

■ **表示倍率を変更する：**

機　能	操　作
拡大	[3]
縮小	[1]
ページ全体を表示	[2]
画面幅に合わせて表示	[8]
倍率を指定	[Menu][3][3]▶倍率を入力※1

※1：全体表示時より小さい倍率では表示できません。

■ **表示を回転する：[Menu][4]▶[1]～[3]**
- 右90°回転、左90°回転、180°回転が行えます。
- [7]を押しても右90°回転できます。
- モーションコントロールにより、FOMA端末を左に倒して横向きにすると横表示（右 90°回転）に、縦に戻すと縦表示に切り替わります。ただし、キー操作で切り替えているときは切り替わりません。☛P384

■ **標準画面表示／全画面表示を切り替える：[*]**
- 全画面表示にするとガイド行の表示が消えます。

■ **タイトル／ステータスの表示／非表示を切り替える：[0]**
- 押すたびに以下の順で切り替わります。
ステータスだけ表示→タイトルだけ表示→両方とも非表示→両方とも表示
- [Menu][6]を押し、[1]～[2]を押しても切り替えられます。

■ **文字列を検索する：**
① **[5]▶文字列の入力欄▶入力（全角16文字（半角32文字）まで）**
- 完全に一致する語句だけを検索するときは、検索方法を「完全一致」に設定します。

② **[📖]**
検索が実行され、入力した文字列に一致した語句が強調表示されます。
- 一致する次の語句を検索する：[✉]
- 一致する前の語句を検索する：[✉]
- 検索を終了する：[Menu]
- ヘルプを表示する：[📖]

■ **ヘルプ（キーの説明）を表示する：[📖]**

おしらせ

● ドキュメントによっては表示に時間がかかる場合があります。
● 対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。
● IRM（Information Rights Management）機能が設定されているドキュメントは表示できません。

音楽再生／FMラジオ

ミュージックプレイヤー

さまざまな操作で音楽を楽しむ

FMラジオを聴く

音楽の再生方法について

FOMA端末で音楽を再生する方法には次の2つがあります。

- ミュージックプレイヤーで再生
  サイトから取得した音楽データ（着うたフル®）や、パソコンでインターネットホームページやCDから取り込んでmicroSDメモリーカードに転送した音楽データ（WMAファイル）を再生します。
- ｉモーションとして再生
  ｉモードで取得してFOMA端末のデータBOXに保存した音のみのｉモーションを再生します。microSDメモリーカードに保存すれば、microSDメモリーカードからも再生できます。

ここでは、ミュージックプレイヤーで再生する方法を説明します。

- ｉモーションを再生する方法については☛P324、P343

おしらせ

● 本書では、ミュージックプレイヤーで再生する着うたフル®とWMA（Windows Media® Audio）ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。

ミュージックプレイヤーについて

ミュージックプレイヤーでは、サイトからダウンロードした着うたフル®や、音楽CDやインターネットなどからパソコンに取り込んだWMAファイルを再生できます。

※１：WMAファイルの保存にはmicroSDメモリーカードが必要です。

音楽データの取り扱いについて

- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合は、既存のWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末およびmicroSDメモリーカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDメモリーカードに保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体にコピーまたは移動しないでください。

バックグラウンド再生について

ミュージックプレイヤーで音楽を聴きながら、マルチタスク機能を利用して、メールの表示や作成、ｉモードサイトの表示などができます（バックグラウンド再生）。

- マルチタスクの組み合わせについては☛P468
- 次のような場合は再生が一時停止し、通話／通信や機能の終了後に再開されます。
  ・音声電話／テレビ電話／プッシュトークの、発信中／着信中／通話・通信中
  ・メールやメッセージR/Fを受信したとき（メールの受信・自動送信表示の設定が「通知優先」の場合）
  ・ｉモード問合せを行ったとき
  ・留守番電話サービスの件数増加の通知音が鳴ったとき
  ・お知らせタイマーで指定した時間が経過したとき、目覚ましやスケジュールの設定時刻になったとき
  ・カメラ撮影、動画／ｉモーション、メロディ、ｉアプリのダウンロードなど、ミュージックプレイヤーと同時に使用できない機能が実行されたとき
  ・パソコンとつないだパケット通信中
- GPS機能などでFOMA端末から音を鳴らす設定にしていると、機能実行時に音が鳴っている間は音楽の再生が停止します。
- 同時に多くの機能を実行すると、再生が途切れることがあります。

音楽データを保存する

着うたフル®をダウンロードする

- FOMA端末の最大保存容量☛P495
- 着うたフル®によってはmicroSDメモリーカードにも保存できます。
- ダウンロードできる着うたフル®のサイズは1件あたり最大5Mバイトです。

1 サイト を表示▶着うたフル®を選択

- ダウンロードを中止する：[□]

2 「保存」

- 再生する：「再生」
  再生中は次の操作ができます。
  ・一時停止／再生：[●]　・音量調整：[◎]
  ・巻戻し：[◎]（1秒以上）
  ・早送り：[◎]（1秒以上）
- 詳細情報を表示する：「情報表示」
- 保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力（全角・半角を問わず50文字まで）▶[□]

- 表示名にはあらかじめ着うたフル®の「タイトル名-アーティスト名」が入力されています。
- ガイド行に[アイコン]が表示された場合は、[□]を押し、[□]を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている音楽データを削除してください。削除する前に、音楽データ一覧で[□]を押すと音楽データを再生し、[Menu]を押すと音楽データの詳細情報を表示できます。
- ダウンロードを中止したり、通信が切断されて途中まででしか保存されていない着うたフル®の場合、ミュージックプレイヤーから着うたフル®を選択すると、再ダウンロードできます。着うたフル®によっては再ダウンロードできない場合があります。

WMAファイルを保存する

パソコンでインターネットやCDからWMAファイルを取り込み、microSDメモリーカードに保存します。WMAファイルの取り込みと保存には、Windows Media Playerを使用します。

- 最大保存件数☛P338
- WMAファイルの転送は、Windows XP Service Pack 2またはWindows Vistaで、Windows Media Playerの以下のバージョンを使用して行ってください。
  ・Windows XP Service Pack 2の場合：
  Windows Media Player 10
  （10.00.00.3802以降のバージョン）
  またはWindows Media Player 11
  （11.0.5721.5145以降のバージョン）
  ・Windows Vistaの場合：
  Windows Media Player 11
  （11.0.6000.6324以降のバージョン）
- パソコンとFOMA端末を接続する前に、Windows Media Player のバージョンを必ず確認してください。
- パソコンとFOMA端末の接続にはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- パソコンからプレイリストを転送できます。ただし、転送できるプレイリスト内のWMAファイルは最大400件です。
- WMAファイルはFOMA端末には保存できません。

1 Windows Media Playerを使用して、パソコンにWMAファイルを保存する

- Windows Media Player の操作方法については、Windows Media Player 10／11のヘルプをご覧ください。

2 FOMA端末のUSBモード設定をMTPモードに切り替える

- USBモードの設定方法☛P347
- microSDメモリーカードを取り付けてからMTPモードに切り替えてください。

■ **ミュージックプレイヤー動作中にMTPモードに切り替える：ミュージックプレイヤーのフォルダ一覧／音楽データ一覧で[Menu]▶「MTPモード」▶「はい」**
MTPモードに設定され、ミュージックプレイヤーが終了します。
- 再生中は行えません。

3 Windows Media Playerを起動する

4 パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブルで接続する

- パソコンとFOMA端末の接続方法☛P348

5 Windows Media Playerを使用して、パソコンからFOMA端末のmicroSDメモリーカードにWMAファイルを転送する

6 転送が終わったらFOMA USB接続ケーブルを取り外す

• FOMA USB接続ケーブルの取り外しかた
☞P348

ナップスター®アプリについて

ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

● ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。付属のCD-ROMからも下記のホームページにアクセスできます。
http://www.napster.jp/

● ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら下記のホームページをご覧ください。
http://www.napster.jp/support/

おしらせ

● Windows XP、Windows VistaおよびWindows Media Playerは常にアップデートして、最新の状態にしておくことをおすすめします。アップデートがされていないと、転送したWMAファイルの操作や表示が遅くなるなど十分な性能が得られないことがあります。

● FOMA端末でのWMAファイルの著作権管理情報の残り保存容量が少なくなると、ミュージックプレイヤーを起動したときに、WMAファイルをこれ以上追加できない可能性がある旨のメッセージが表示されます。さらにWMAファイルを追加したいときには、FOMA端末でWMA一括削除の操作を行ってから、必要なWMAファイルをパソコンから転送してください。

● 他のFOMA端末でmicroSDメモリーカードに保存したWMAファイルは、本FOMA端末では表示／再生されない場合があります。

● D902iS以前のFOMA Dシリーズのミュージックプレイヤーで再生できたAAC形式のファイルは、D904iのミュージックプレイヤーでは再生できませんが、microSDメモリーカードのデータBOX内の「その他の動画」では再生できます。ファイルをmicroSDメモリーカードへコピーする際に、コピー先をPRIVATE¥DOCOMO¥MMFILE¥MUDxxx（xxxは001～999）にしてください（☞P338）。コピー後にmicroSDメモリーカードの情報更新を行うと、コピーしたファイルが表示されます。ただし、ファイル名が「MMFxxxx」（xxxxは0001～9999）以外のファイルや、拡張子が「.m4a」のファイルはコピーしても表示／再生できません。

ミュージックプレイヤーのフォルダと画面の見かた

ミュージックプレイヤーのフォルダ構成

```
ミュージック（トップフォルダ）
├プレイリスト
├アーティスト
│└アーティスト名※1
│　├全曲
│　└アルバム名※1
├アルバム
│└アルバム名※1
├ジャンル
│└ジャンル名※1
│　├全曲
│　└アーティスト名※1
│　　├全曲
│　　└アルバム名※1
├年
│└年※1
│　├全曲
│　└アーティスト名※1
│　　├全曲
│　　└アルバム名※1
└全曲
```

※1：音楽データに登録されている名称や年がフォルダ名になります。名称や年が登録されていないときは、「不明なアーティスト」「不明な年」などのフォルダが表示されます。

■ フォルダの説明

フォルダ	説　明
ミュージック	ミュージックプレイヤーのトップフォルダです。初めて起動したときや前回終了時の情報がないときは、このフォルダのフォルダ一覧が表示されます。
プレイリスト	プレイリストが保存されます。☞P375
アーティスト／アルバム／ジャンル／年	音楽データがアーティスト名／アルバム名／ジャンル／年で分類されて表示されます。
全曲	すべての音楽データが表示されます。

おしらせ

● ミュージックプレイヤーで表示するフォルダ構成は、FOMA端末のメモリ上やmicroSDメモリーカード上でデータが保存されているフォルダの構成とは異なります。

画面の見かた

フォルダ一覧画面の見かた

現在のフォルダ（トップ画面では「ミュージック」）

フォルダ一覧
- ：通常フォルダ
- ：プレイリストフォルダ

プレイリスト一覧画面の見かた

保存先
- ：FOMA端末
- ：microSDメモリーカード

- ：クイックプレイリスト
- ：FOMA端末で作成したプレイリスト、microSDメモリーカードからコピーしたプレイリスト
- ：パソコンからmicroSDメモリーカードに転送したプレイリスト

音楽データ一覧画面の見かた

を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

サムネイル表示のとき　　タイトル表示のとき

❶取得元

：ｉモード　：パソコンから転送

❷状態／再生制限

：再生制限なし

：部分的にダウンロードしたデータ

：回数制限あり※1　：期限制限あり※1

：期間制限あり※1

（緑）：
うた・ホーダイの再生期限内※1

（グレー）：
うた･ホーダイの再生期限切れ／再生禁止※1

：再生不可※1

※１：着うたフル®のみ表示

❸ファイル形式と著作権管理

：着うたフル®、DoCoMo

：WMAファイル、Windows Mediaデジタル著作権管理技術（WMDRM）

：WMAファイル、著作権管理なし

❹保存場所

：FOMA端末

：microSDメモリーカード

❺ファイル制限

（グレー）：ファイル制限あり

- サムネイル表示では音楽データに登録されているジャケット画像が表示されます。音楽データによっては次の画像が表示されます。
  - ：ジャケット画像がないデータ
  - ：部分的にダウンロードしたデータ
  - ：FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

プレイヤー画面の見かた

❶アーティスト名

❷タイトル

❸ジャケット画像

音楽データにジャケット画像が含まれていると表示されます。

❹再生状態

▶：再生中　▶INTRO：イントロ再生中

Ⅱ：一時停止中

❺音量

FM：FMトランスミッター ON☛P377

❻モード表示☛P377

- シャッフル

  SHUFFLE：ON　SHUFFLE：OFF
- サラウンド

  ((•))：ON　((•))：OFF
- リピート再生

  ：全曲　1：１曲

  ：OFF
- イコライザ

  EQ：ノーマル　BASS1：バス１

  BASS2：バス２　ROCK：ロック

  JAZZ：ジャズ　VOCAL：ボーカル

  CLASSIC：クラシック　POP：ポップ

  TRAIN：トレイン

❼再生進捗バーと再生時間／総再生時間

おしらせ

● FOMA端末のプレイリストに登録されている音楽データを削除したり、音楽データが保存されているmicroSDメモリーカードを取り外したときは、プレイリストに表示される曲名が「- - -」になり、再生できなくなります。音楽データを削除したときは、プレイリストからも解除してください。microSDメモリーカードを取り外したときは、microSDメモリーカードを取り付けると登録された曲名が表示され、再生できます。

Menu 52／Menu 6518／Menu 9

音楽データを再生する

- 付属のステレオイヤホンや平型ステレオイヤホンセット（別売）をご利用いただけます。ただし、平型ステレオイヤホンセットのスイッチによるミュージックプレイヤーの操作はできません。
- 着うたフル®は、サイトから取得したときと同じFOMA カードを挿入していないと再生できません。また、着うたフル®によっては、機種が異なると再生できないことがあります。
- ミュージックプレイヤーを使用すると電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

フォルダ内の音楽データを連続再生する

1 [ショートカット][2]

トップ画面が表示されます。

- 前回、音楽データの再生中／一時停止中や、[クリア]での再生終了後にミュージックプレイヤーを終了した場合は、ミュージックプレイヤーを起動するとプレイヤー画面が表示され、前回終了時の音楽データが先頭から再生されます。ただし、FOMA 端末の電源を入れ直したなどで前回終了時の情報がないときは、トップ画面が表示されます。

2 **フォルダ／プレイリストを選択**

3 **再生を開始する音楽データを選択**

音楽データが再生されます。

- 次の操作ができます。
  - [決定]：一時停止／再生
  - [上下]：音量調整（FMトランスミッター出力中は無効）
  - [左]：音楽データの先頭に戻る／前の音楽データに戻る
  - [右]：次の音楽データに進む
  - [左]（1秒以上）：巻戻し
  - [右]（1秒以上）：早送り
  - [クリア]：再生を終了し一覧に戻る
- 再生中に[メール]を押すか、[iアプリ]を1秒以上押すと、再生を継続したまま音楽データ一覧に戻り、音楽データを選択できます。一つ上のフォルダの一覧に移動するには、[クリア]を押すか[iアプリ]を1秒以上押します（トップ画面ではミュージックプレイヤー終了）。[メール]または[iアプリ]を押すとそのままプレイヤー画面に戻ります。
- 再生開始／停止時や早送り／巻戻し時、音量調整時などは決定キーの照明が点灯／点滅します。点灯／点滅しない設定や点灯パターン／色の変更はできません。

■ **再生期限の更新が必要な着うたフル®があるとき：**

うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®の中に再生期限の更新が必要なものがあると、「再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？」と表示されます。[Menu]（はい）を押すとサイトに接続され、再生期限が更新されます（パケット通信料有料）。

- 再生期限の更新が必要な着うたフル®を選択して「はい」を選択しても更新できます。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎた後でも数日間の再生猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限を更新しなくても再生ができます。再生猶予期間を過ぎると着うたフル®を再生できません。また、再生期限の更新を行っていない状態で着うたフル®のダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- 着うたフル®をダウンロードした際に使用していたFOMAカード（UIM）と異なる電話番号のFOMAカード（UIM）を挿入し再生期限の更新を行っても、着うたフル®は再生できません。
- 着うたフル®をダウンロードした際に使用していたFOMA カードと異なる電話番号のFOMA カードを挿入して（FOMA端末譲渡の場合など）ミュージックプレイヤーを使用する場合は、データ一括削除を実施することをおすすめします。☞P408
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの適用対象外です。

■ **再生制限が設定されている音楽データを再生するとき：**

確認画面が表示されます。確認画面の内容はｉモーションの再生制限と同じです。ただし、期限内／期間内のときは確認画面なしで再生されます。
☞P326

■ **部分的にダウンロードした着うたフル®の残りのデータをダウンロードする：着うたフル®を選択▶「はい」**

ミュージックプレイヤーが終了してダウンロードが開始されます。

- 部分的にダウンロードした着うたフル®は再生できません。

- 再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータをダウンロードできません。削除するかどうかの確認画面が表示され、部分的にダウンロードした着うたフル®を削除できます。
- 再ダウンロードが不可能なエラーを検出した場合、部分的にダウンロードした着うたフル®が削除されることがあります。

おしらせ

- 電池残量が2以下になると、再生を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
- microSDメモリーカードを取り付けていないときは Menu 6 5 1 8 ではミュージックプレイヤーを起動できません。
- 再生中にmicroSDメモリーカードを抜かないでください。
- 再生期限が切れるか確認できなくなったことにより再生できなくなったWMAファイルは、パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。

曲の先頭だけを連続再生する　イントロ再生

音楽データの先頭から約7秒のみを、順に再生します。

1 音楽データ一覧で音楽データを選び 📖

選んだ音楽データからイントロ再生されます。

- イントロ再生中に ● を押すと通常の再生に切り替わります。

音楽データを管理／利用する

音楽データを移動する

サイトからダウンロードした着うたフル®のうち、コンテンツ移行対応の着うたフル®を、FOMA端末とmicroSDメモリーカード間で移動できます。

- データの提供者が許可していない着うたフル®は移動できません。移動可否は詳細情報参照で確認できます。☛P374
- WMAファイル、部分的にダウンロードした着うたフル®は移動できません。
- 再生中は行えません。

例 FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動するとき

1 音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 4 2 1

- 複数移動する：Menu 4 2 2 ▶ 音楽データを選択 ▶ 📖
- 全件移動する：Menu 4 2 3
- プレイリスト内の音楽データ一覧からは行えません。

■ **microSDメモリーカードからFOMA端末に移動する：音楽データを選び Menu 4 1 1**

- 複数移動する：Menu 4 1 2 ▶ 音楽データを選択 ▶ 📖
- 全件移動する：Menu 4 1 3

2 「はい」

おしらせ

- 着信音などに設定している音楽データをFOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動すると、着信音などの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。

音楽データを削除する

- 再生中は行えません。

1 音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 5 1

- 複数削除する：Menu 5 2 ▶ 音楽データを選択 ▶ 📖
- 全件削除する：Menu 5 3 ▶ 端末暗証番号を入力
- プレイリスト内の音楽データ一覧からは行えません。

2 「はい」

おしらせ

- 着信音などに設定している音楽データを削除すると着信音などの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。

音楽データの表示順を変更する　ソート

音楽データ一覧の音楽データの並び順を変更できます。

- 再生中は行えません。

お買い上げ時　対象：トラック番号　順序：昇順

1 音楽データ一覧で Menu 6

- プレイリスト内の音楽データ一覧からは行えません。

2 各項目を設定 ▶ 📖

対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

音楽データを着信音に設定する

音楽データを音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音に設定できます。

- 着信音に設定する方法には、まるごと設定とオススメ設定の2種類があります。まるごと設定では、音楽データ全体を着信音に設定します。オススメ設定では、音楽データのあらかじめ決められている一部分を着信音に設定します。
- WMAファイル、部分的にダウンロードした音楽データは設定できません。
- 音楽データによっては着信音に設定できない場合や、まるごと設定とオススメ設定の一方しかできない場合があります。設定可否は詳細情報参照で確認できます。
- 再生中は行えません。

例 まるごと設定するとき

1 音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 1 ▶ 1 ～ 9

2 1

- メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき：電話帳から相手を選択▶内容を確認▶ 📖

■ **オススメ設定するとき：2 ▶再生箇所を選択**

- 再生して確認する：再生箇所一覧から再生箇所を選び 📖

■ **microSDメモリーカード内の音楽データを設定するとき：**

確認画面が表示されます。設定方法や音楽データにより画面が異なります。

- FOMA端末に移動して設定するかどうかの確認画面が表示されたとき：「はい」
  音楽データがFOMA端末に移動されます。
- ｉモーションに切り出して設定するかどうかの確認画面が表示されたとき：「はい」▶表示名を入力▶ 📖
  着信音に設定する部分がコンテンツ移行対応のｉモーションとしてFOMA端末（ｉモーションの「ｉモード」フォルダ）に保存されます。

おしらせ

● うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®を着信音などに設定後に、再生期限が切れたなどで再生できなくなった場合、お買い上げ時の音が鳴ります。

音楽データの詳細情報を表示／変更する

詳細情報参照／変更

詳細情報を参照する

1 音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 2 1

- 曲情報、権利情報、ファイル情報、可否情報を切り替える：◎
- 詳細情報を変更する：📖
- ファイル情報にURL情報が含まれている場合は、ファイル情報画面で Menu を押し、「はい」を選択するとサイトに接続できます。
- 曲情報のトラック番号はアルバム内の曲番号と総曲数を示します。
- ファイル種別の「ミュージック」は着うたフル®、「ミュージック（会員制）」はうた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®を示します。
- 可否情報画面では以下のように各種操作の可否を確認できます。

項目	説明
ファイル制限	音楽データをFOMA端末外へ出力できるかどうかの区分
再生制限	再生制限の内容
まるごと着信音設定	音楽データ全体を着信音などに設定できるかどうかの区分
オススメ着信音設定	音楽データの一部を着信音などに設定できるかどうかの区分
保存可能ジャケット画像	ジャケット画像をFOMA端末に保存できるかどうかの区分
保存可能画像	待受画面用の画像をFOMA端末に保存できるかどうかの区分
保存可能歌詞	歌詞画像をFOMA端末に保存できるかどうかの区分
microSDへの移動（本体への移動）	音楽データをmicroSDメモリーカードまたはFOMA端末へ移動できるかどうかの区分
著作権管理	著作権管理のあり／なし

おしらせ

● プレイヤー画面で Menu 1 を押しても表示できます。ただし、変更はできません。

● 着うたフル®では可否情報の著作権管理は表示されません。

● WMAファイルでは以下の情報は表示されません。
- 曲情報のコメント、オリジナルタイトル
- 権利情報の権利者、販売元以外の項目
- ファイル情報の音のビットレート、URL情報
- 可否情報の著作権管理以外の項目

● 時差のある海外では、うた・ホーダイの再生期限は現地時間の日付で表示されます。日本時間で再生期限が過ぎると、表示されている現地時間に関わらず再生できなくなりますのでご注意ください。

詳細情報を変更する

- WMAファイルの詳細情報は変更できません。
- 再生中は行えません。

1 音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 2 2 ▶各項目を設定▶ m

表示名：
　音楽データ一覧に表示する名前を入力します（全角・半角を問わず50文字まで）。
タイトル：
　プレイヤー画面に表示するタイトルを入力します（全角・半角を問わず128文字まで）。
アーティスト／アルバム／ジャンル／コメント：
　全角・半角を問わず128文字まで入力できます。
年／トラック番号／総トラック数：
　4桁で入力します。

- 「表示名を自動作成」を選択すると、表示名が「タイトル名-アーティスト名」になります。
- 各項目の「オリジナルに戻す」を選択すると、ダウンロード時の内容に戻ります。

音楽データの画像や歌詞を表示／保存する

音楽データにジャケット画像、待受画面用の画像、歌詞画像が含まれているとき、画像を表示し、FOMA端末に保存できます。

- JPEG形式、GIF形式の画像を表示できます。表示可能な最大枚数は、ジャケット画像1枚、待受画面用の画像2枚、歌詞画像7枚です。
- 音楽データによっては画像を表示できてもFOMA端末に保存できない場合があります。
- WMAファイルではデータに埋め込まれたジャケット画像のみ表示できます。保存はできません。
- 画像はマイピクチャの「ｉモード」に保存されます。

1 音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 2 3 ▶ 1 ～ 3

画像が表示されます。

- 複数の画像があるときは、◎で前後の画像を表示できます。
- 全画面表示する：画像表示中に ⌨
  - 全画面表示を終了する：クリア
- 画像を保存する：画像表示中に m

WMAファイルを一括して削除する

WMA一括削除

microSDメモリーカードに保存されているWMAファイルとプレイリストをすべて削除します。

- 再生中は行えません。

1 トップ画面で Menu 1 ▶ 端末暗証番号を入力▶「はい」

おしらせ

- WMA一括削除を行うと、microSDメモリーカードのWMフォルダ、WM_SYSTEMフォルダとフォルダ内のデータがすべて削除されます。ミュージックプレイヤーで利用しないデータも削除されますのでご注意ください。

プレイリストを管理する

プレイリストとは、音楽データを再生する順番を登録するリストです。FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存されている音楽データの中からお好みの音楽データを選んで登録しておくと、登録した音楽データだけを順番に再生できます。

- プレイリストの最大保存件数および、プレイリスト1件あたりの音楽データの最大件数は以下のとおりです。

保存先	最大保存件数	1件あたりの音楽データの最大件数
FOMA端末	20件	100件
microSD メモリーカード	100件	400件

　・FOMA端末には、FOMA端末で作成したプレイリストと、microSDメモリーカードからコピーしたプレイリストを保存できます。
　・microSDメモリーカードには、パソコンで作成したプレイリストを、音楽データとともに転送して保存できます。☞P369

- FOMA端末ではmicroSDメモリーカードにプレイリストを保存できません。また、microSDメモリーカードのプレイリストはFOMA端末で編集（音楽データの登録／解除／並べ替え、プレイリスト名の変更）できません。
- 部分的にダウンロードした音楽データは登録できません。
- お買い上げ時はFOMA端末にクイックプレイリストが登録されています。クイックプレイリストには、再生中の音楽データを簡単な操作で登録できます。☞P376

プレイリストを作成する

- クイックプレイリストは作成できません。

空のプレイリストを作成する

1 トップ画面を表示▶「プレイリスト」▶ Menu 1

2 **表示名を入力(全角8文字(半角16文字)まで)▶[m]**

登録する音楽データを選んでプレイリストを作成する

1 **音楽データ一覧で音楽データを選び[Menu][3][1][1]**

・プレイリスト内の音楽データ一覧からは行えません。

■ 複数登録する：[Menu][3][1][2]▶音楽データを選択▶[m]

■ 全件登録する：[Menu][3][1][3]

2 **表示名を入力(全角8文字(半角16文字)まで)▶[m]**

おしらせ

● プレイリストが最大保存件数を超えるときは、保存されているプレイリストを削除するかどうかの確認画面が表示されます。作成する場合は、画面の指示に従って保存されているプレイリストを削除してください。

プレイリストに音楽データを登録する

・再生中は行えません。

1 **音楽データ一覧で音楽データを選び[Menu][3][2][1]**

・プレイリスト内の音楽データ一覧からは行えません。

■ 複数登録する：[Menu][3][2][2]▶音楽データを選択▶[m]

■ 全件登録する：[Menu][3][2][3]

2 **登録先プレイリストを選択**

音楽データが、プレイリストに登録済みの音楽データの最後に追加されます。

再生中の音楽データをクイックプレイリストに登録する

再生中の音楽データを、お買い上げ時に登録されているクイックプレイリストに登録できます。

・プレイリストからの再生中は登録できません。

1 **音楽データ再生中にプレイヤー画面で[☎](1秒以上)**

確認音が鳴り、クイックプレイリストに登録済みの音楽データの最後に追加されます。

・プレイヤー画面以外の画面では行えません。

プレイリストを編集する

・再生中は行えません（プレイリスト名変更を除く）。

1 **トップ画面を表示▶「プレイリスト」**

■ **プレイリスト名を変更する：プレイリストを選び[Menu][4]▶表示名を入力(全角8文字(半角16文字)まで)▶[m]**

・クイックプレイリストの表示名は変更できません。

2 **プレイリストを選択**

プレイリスト内の音楽データが一覧表示されます。

・音楽データが 1 件も登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。音楽データを登録するには「はい」を選択してフォルダを選択し、音楽データを選択して[m]を押します。

3 **プレイリストを編集**

■ **音楽データを登録する：[Menu][3][1][1]▶フォルダを選択▶音楽データを選択**

・複数登録する：[Menu][3][1][2]▶フォルダを選択▶音楽データを選択▶[m]

・フォルダ内の音楽データを全件登録する：[Menu][3][1][3]▶フォルダを選択▶登録しない音楽データがあれば解除▶[m]

■ **音楽データの登録を解除する：**

・プレイリストから音楽データの登録情報が削除されるだけで、FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存されている音楽データは残ります。

①**音楽データを選び[Menu][3][2][1]**

・複数解除する：[Menu][3][2][2]▶音楽データを選択▶[m]

・全件解除する：[Menu][3][2][3]

②**「はい」**

■ **音楽データを並べ替える：**

①[Menu][3][3]

②**移動する音楽データを選び[☎]または[✉]で移動**

③**並べ替えが終了したら[m]**

プレイリストを削除する

・クイックプレイリストは削除できません。

・再生中は行えません。

1 **プレイリストを選び[Menu][3]▶「はい」**

プレイリストをコピーする

1 プレイリストを選び[Menu][2]

- コピーしたプレイリストは FOMA 端末に保存されます。
- microSD メモリーカードのプレイリストをコピーするときは確認画面が表示されます。
- microSD メモリーカードのプレイリストをコピーする場合、音楽データの登録情報は100件までコピーされます。

ミュージックプレイヤーの設定をする

動作設定

お買い上げ時 一覧の画像表示：なし　音量：レベル13
リピート再生：全曲リピート
シャッフル：OFF　サラウンド：OFF
イコライザ：ノーマル

1 音楽データ一覧で[Menu][9]

- プレイリスト内の音楽データ一覧から操作する：[Menu][6]

2 各項目を設定▶[□]

- 再生中は「リピート再生」「シャッフル」「サラウンド」「イコライザ」の設定を変更できません。

一覧の画像表示：
「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

音量：
音楽データ再生時の音量を設定します。

リピート再生：
「OFF」「1 曲リピート」「全曲リピート」から選択します。

シャッフル：
「ON」に設定すると、音楽データがランダムな順番で再生されます。

サラウンド：
サラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。

イコライザ：
- 「バス 1」に設定すると、低音が強調されます。
- 「バス2」に設定すると、イヤホンで聴くときに不足しがちな重低音を補います。
- 「ロック」「ジャズ」「ボーカル」「クラシック」「ポップ」に設定すると、それぞれのジャンルの特性に合った設定で再生されます。
- 「トレイン」に設定すると、イヤホンなどで聴くときの音漏れを軽減します。

おしらせ

- サラウンドの設定はステレオ効果設定にも反映されます。☛P131

オーディオ機器やカーステレオで音楽を聴く

FMトランスミッター

ミュージックプレイヤーや i アプリの音をFM電波で送信し、ご家庭のFMラジオ付きのオーディオ機器やカーステレオなどで聴くことができます。

- セルフモード中は利用できません。
- 付属のステレオイヤホンなどを接続しているときや、外部機器と接続中は利用できません。

FMトランスミッターの周波数を設定する

FMトランスミッター設定

- ご利用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。

お買い上げ時 周波数：86.1MHz
ステレオ／モノラル切替：ステレオ

1 [Menu][8][1][7]▶各項目を設定▶[□]

周波数：
86.1MHz～87.3MHzの範囲で設定します。

ステレオ／モノラル切替：
ステレオで出力するかモノラルで出力するかを選択します。

おしらせ

- FMトランスミッター使用中に[□]を押し、新規起動メニューで[＊]を押しても設定できます。この場合、各項目を設定した時点で設定が変更されますが、[□]を押さずに[クリア]などで設定を終了すると、変更前の設定に戻ります。

音楽をFM電波で送信する

例 ミュージックプレイヤーの音をFM電波で送信するとき

1 ミュージックプレイヤーのプレイヤー画面で[Menu][3]

FMトランスミッター出力に切り替わり、[FM]が表示されます。FOMA端末のスピーカーからの音は止まります。

- 解除するには、同様の操作を行います。

■ ｉアプリの音をFMトランスミッターで出力する：ｉアプリ動作中に[キー]▶「はい」
- あらかじめｉアプリの動作設定でFMトランスミッターを「ON」に設定することもできます。☛P273
- 解除するには、同様の操作を行います。
- 「FMラジオMusicサーチ」ではFMトランスミッター出力はできません。

2 受信側の機器で周波数をFMトランスミッターの周波数に合わせる
- ミュージックプレイヤーを終了するとFMトランスミッター出力は解除されます。

おしらせ

- ● FMトランスミッターは、無線局の免許が必要ない微弱な電波を使用するため、受信側の機器や機器の設置状況、アンテナの位置、周囲の状況によっては、雑音が発生したり音が途切れたりする場合があります。このような場合は、FOMA端末をより良く聴こえる方向に向けてください。ただし、雑音や音の途切れがなくならない場合もあります。
- ● 受信機器との間に障害物があったり、FOMA端末の近くに金属類があると、雑音が発生したり、音が途切れたりする場合があります。
- ● FMトランスミッターは圏外でも使用できます。ただし、FOMA端末の電源を入れてから一度も圏内になっていない場合は使用できません。
- ● 海外ではFMトランスミッターは使用できません。
- ● FMトランスミッター出力の音量は、FOMA端末の設定とは連動しません。音量は受信側機器で調整してください。
- ● マナーモード中でもFMトランスミッター出力は無音になりません。
- ● FMトランスミッター出力中でも、電話やメールの着信音や目覚まし音、スケジュール音はFOMA端末のスピーカーから鳴ります。その間、FMトランスミッター出力は無音になります。通話や通信などが終了し、ミュージックプレイヤーやｉアプリが再開されると、FMトランスミッター出力も再開します。
- ● マルチタスク機能で他の機能に切り替えてもFMトランスミッター出力は継続します。ただし、動画／ｉモーションやメロディなどを再生するとFOMA端末のスピーカーで再生され、再生が終了するまでFMトランスミッター出力は無音になります。また、ｉアプリの場合、他の機能を実行してｉアプリが停止するとFMトランスミッター出力は無音になります。

FMラジオを聴く

FMラジオ

FOMA端末にプリインストールされているｉアプリ「FMラジオMusicサーチ」を使用して、FOMA端末でFMラジオ放送を受信できます。放送中の曲の情報を取得して表示するNOW PLAYING情報取得機能や、放送中の曲をダウンロードできるｉモードサイトを検索する機能もあります。

- FMラジオを聴くときは、付属のステレオイヤホンを必ず接続してください。ステレオイヤホンのコードがFMアンテナの役目をします。接続方法については☛P24
  平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などをイヤホンマイク端子に接続してFMラジオを聴くこともできます。ただし、受信感度については保証できない場合があります。
- お買い上げ時はイヤホンから音が鳴るように設定されています。FOMA端末のスピーカーから鳴らすこともできます。☛P380

例 初めて起動するとき

1 [キー][1]▶「はい」

FMラジオMusicサーチが起動され、注意事項・利用規約の画面が表示されます。
- 2回目からは[キー][1]を押すとFMラジオ画面が表示され、前回終了時に受信していた局が受信されます。操作5に進みます。

2 「利用規約を確認する（必読）」▶利用規約を確認▶[Menu]

3 「はい」

4 エリア欄▶エリアを選択▶「決定」

5 FMラジオを聴く

FMラジオ画面

※1：登録されている場合だけ表示されます。
※2：情報を取得すると表示されます。
※3：広告欄やおしらせ欄の表示情報にサイトへのリンクが設定されている場合、選択するとサイトに接続できます。

■ 放送局を切り替える：[◀ TUNE ▶]を選び

■ 音量を調整する：[◀ VOL ▶]を選び

- 出力先を「スピーカー」に設定している場合や、ステレオイヤホンなどを接続していない場合は、マナーモード中（ i アプリ音を「ON」に設定したオリジナルマナーモード中を除く）、公共モード（ドライブモード）中は音量が0に設定され、音量調整できません。

■ NOW PLAYING情報を取得する：[NOWPLAYING]を選び

i モードに接続してNOW PLAYING情報を取得します。

- 番組によっては取得できないことがあります。また、エリアにあらかじめ登録されている放送局の受信中以外は行えません。
- 取得した NOW PLAYING 情報は最大で約1分30秒間表示されます。

■ 放送中の曲をダウンロードする（曲検索）：NOW PLAYING情報表示中に ▶「はい」

i モードに接続し、着うた®／着うたフル®のダウンロードサイトなどを検索します。

- 以降は画面に従ってサイトに接続します。
- NOW PLAYING情報を取得／表示していないときは行えません。
- ダウンロードサイトのご利用には情報料が必要な場合があります。

■ FMラジオを終了する：▶「はい」

おしらせ

- 次の場合は雑音が発生することがあります。
  - 充電中　・近くに電子機器があるとき
  - キー操作などで画面を切り替えたとき
- 室内など電波の弱いところでは FM ラジオが聴こえにくくなります。そのような場合は次の方法をお試しください。
  - ステレオイヤホンのコードを伸ばして、聴こえる角度を探す。
  - 窓の近くなどに移動してみる。
- 圏外でもFMラジオは利用できます。ただし、NOW PLAYING 情報の取得や曲検索など、 i モードに接続して通信を行う機能は利用できません。
- FMラジオを聴くには通信料はかかりませんが、起動時や、NOW PLAYING情報の取得や曲検索をするときなどは、通信を行うためパケット通信料がかかります。通信したくない場合や海外で使用する場合は、 i アプリの動作設定で、通信設定を「通信しない」に設定することをおすすめします。
- 電話やプッシュトークが着信したときや、目覚ましやスケジュールアラームの設定時刻になったときは、FMラジオの音は止まります。
- マルチタスクで他の機能を実行した場合、実行した機能によっては FM ラジオの音が止まることがあります。

メニューから各種操作や設定を行う

1 FMラジオ画面で [Menu]

メニュー
- ：NOW PLAYING 履歴
- ：テーマカラー設定
- ：壁紙設定
- ：ダイレクトチューニング
- ：情報サイトリンク
- ：エリア設定表示
- ：FM局編集
- ：設定・ヘルプ

- メニューを閉じる：[Menu]

NOW PLAYING履歴を表示する

今までに取得したNOW PLAYING情報の履歴を表示し、着うた®／着うたフル®のダウンロードサイトなどを検索できます。

- 最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 メニューから で を選ぶ

2 で履歴を表示

- 検索を実行する：履歴を選択▶「はい」

FMラジオ画面のテーマカラーをダウンロードする

- テーマカラーは1件のみ保存されます。

1 メニューから で を選ぶ

2 「ダウンロード」▶「はい」

FMラジオが停止して i モードに接続され、ダウンロード用ページが表示されます。

- お買い上げ時のテーマカラーに戻す：「オリジナル」を選択▶「はい」
  - ・「オリジナル」を選択すると、ダウンロードしたテーマカラーは消去されます。

3 テーマカラーを選択▶「はい」▶ダウンロードが完了したら

- ダウンロードを実行せずに [クリア] や でダウンロード用ページを終了するとFMラジオも終了します。

FMラジオ画面の壁紙を変更する

- サイズが240×400を超える画像は設定できません。

例 マイピクチャに保存されている画像を表示するとき

1 メニューから で を選ぶ

2 「マイピクチャから選択」▶ ▶フォルダを選択▶画像を選択

■ 壁紙をダウンロードする：

①「ダウンロード」▶「はい」

FMラジオが停止してｉモードに接続され、ダウンロード用ページが表示されます。

②壁紙を選択▶「はい」

ダウンロードが実行されます。

- ダウンロードを実行せずに クリア や で ダウンロード用ページを終了するとFMラジオも終了します。

③ ▶ ▶フォルダを選択

■ オリジナルの壁紙に戻す：「オリジナル」▶「はい」

周波数を指定して受信する（ダイレクトチューニング）

1 メニューから で を選ぶ

2 ▶ で設定（76.0～90.0MHz）▶ ▶「決定」

情報サイトに接続する

FM局のサイトを表示します。

- エリアにあらかじめ登録されている放送局の受信中以外は行えません。

1 メニューから で を選び ▶「はい」

- FMラジオに戻る：クリア ▶「はい」

エリアを設定／更新する

例 エリアを設定するとき

1 メニューから で を選ぶ

2 エリア欄▶エリアを選択

- エリアの情報を最新の状態に更新する：「エリア情報の更新」▶「はい」

FM放送局を登録・編集する

放送局を登録し、FMラジオ画面の TUNE で選択できるようにします。

- 放送局登録後にエリアを選択／更新すると、放送局の登録は消去されます。

例 放送局を登録するとき

1 メニューから で を選ぶ

放送局が一覧表示されます。

- 放送局を削除する：放送局を選び
  - ・追加登録した放送局のみ削除できます。
- 「全国FM局周波数一覧へ」を選択し「はい」を選択すると、ｉモードに接続して、各地のFM放送局の周波数を確認できます。
  - ・FMラジオに戻る：クリア ▶「はい」

2 「未登録」▶FM局名欄▶入力（全角8文字（半角16文字）まで）

- 放送局を選択すると編集できます。ただし、追加登録した放送局以外ではFM局名は変更できません。

3 周波数欄▶ で設定（76.0～90.0MHz）▶ ▶「決定」

出力先とNOW PLAYING情報の取得方法を設定する／ヘルプを表示する

1 メニューから で を選ぶ

2 各項目を設定

ヘルプ：ヘルプを表示します。

イヤホン／スピーカー：

音をイヤホンから鳴らすかFOMA端末のスピーカーから鳴らすかを選択します。

NOW PLAYING自動取得：

「手動」または自動取得する時間間隔を選択します。

おしらせ

- テーマカラーや壁紙のダウンロード後に曲検索や情報サイトリンクなどを行うと、「既に起動されています。実行中の機能を終了し新規起動しますか？（データは破棄されます）」と表示されることがあります。「終了して新規起動」を選択してください。
- テーマカラーや壁紙のダウンロード後にFMラジオを終了するときは、FMラジオ終了後にダウンロード用ページの終了確認画面が表示されます。「はい」を選択してください。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - ・音声電話：1通信
  - ・ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信：いずれか1通信
  - ・SMS：1通信
- マルチアクセスの組み合わせ☛P466

おしらせ

● マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。

マルチアクセスでできる主な操作

通信中に音声電話を受ける

例　ｉモード中に音声電話を受けるとき

1　ｉモード中に音声電話がかかってくる

- 音声電話がかかってきたときの画面は、優先通信モード設定によって異なります。

2　[☎]

- 通話を終了する：通話中画面で[☎]
- サイト表示を終了する：[◩]▶サイト画面に切り替える▶[☎]▶「はい」

通話中に他の通信を行う

例　音声電話通話中にｉモードに接続するとき

1　音声電話通話中に[◩]▶[2][1]

通話中
新　規
ダイヤル発信
1 メール
2 ｉモード
3 ｉアプリ一覧
4 電話帳・履歴
5 データBOX
6 LifeKit
7 ステーショナリー
8 音量設定
9 ミュージックプレイヤー
* FMトランスミッター設定
# マナーモード解除

新規起動メニュー

- サイト表示を終了する：サイト画面で[☎]▶「はい」
- 通話を終了する：[◩]▶通話中画面に切り替える▶[☎]

例　音声電話通話中にｉモードメールを送信するとき

1　音声電話通話中に[◩]▶[1][2]

ｉモードメールの送信が終了すると通話中画面に戻ります。

- メール作成を終了する：メール作成画面で[☎]
- 通話を終了する：[◩]▶通話中画面に切り替える▶[☎]

マルチタスクについて

マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 同時に実行できる機能は2つまでです。ただし、ダイヤル発信、自局番号、マナーモード設定／解除は、他の機能が2つ実行されていても、起動できます。
- 機能によっては同時に起動できないものや制限のあるものがあります。
- マルチタスクの組み合わせ☛P468

新しい機能を実行する

例　音声電話通話中にスケジュールを表示／登録するとき

1　音声電話通話中に[◩]▶[7][1]

2　スケジュールを表示／登録

- スケジュールを終了する：スケジュールの画面で[☎]
- 通話を終了する：[◩]▶通話中画面に切り替える▶[☎]

おしらせ

● 動画やアニメーションの再生中、カメラの操作中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しなかったり、再生中の音声が途切れることがあります。

● 新規起動メニューの1階層目を表示中に[0]を押すと自局番号を表示できます。ただし、実行中の機能や状態によっては表示できないことがあります。

操作する機能を切り替える

複数の機能を実行中に[マルチ]を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えて操作できます。

例 音声電話通話中にメール作成画面へ切り替えるとき

1 音声電話通話中に[マルチ]▶「メール作成」

通話中
切 替
電話
メール作成
新規
090XXXXXXXX
08秒
画面切替メニュー

- 通話中画面に戻す：[マルチ]▶画面切替メニューから「電話」
- 画面切替メニュー表示中に[Menu]を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。再度[Menu]を押すと画面切替メニューに戻ります。

おしらせ

● 画面切替メニューの項目名は、メニューの項目名などと異なる場合があります。

実行中のすべての機能を終了する

マルチタスクで実行中の全機能を一度に終了させます。

1 マルチタスク中に[マルチ][電話帳]▶「はい」

FOMA 端末を振ったり横にして操作する モーションコントロール

D904i には、FOMA 端末の動きを検出するモーションコントロールセンサーが内蔵されています。このセンサーにより、FOMA端末を振ったり向きを変えて操作ができます（モーションコントロール）。

- FOMA 端末は地面に対して縦に持った状態から振ってください。
- 振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。モーションコントロールのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

モーションコントロールの有効／無効を設定する モーションコントロール設定

- 各機能の利用方法については「モーションコントロールの使いかた」をご覧ください。☞P384
- 利用中にモーションコントロールが正しく動作しなくなったときは、水平補正を実行してください。

お買い上げ時 ｉモーション：横再生
フルブラウザ、ドキュメントビューア、インテリア時計、マチキャラ：ON
新着メールダイレクト表示、ミュージックスキップ、顔文字・絵文字・記号入力：OFF

1 [Menu][8][6][8]▶各項目を設定▶[電話帳]

ｉモーション：
動画／ｉモーション再生中にオートターンを利用するかどうかを設定します。「ワイド再生」に設定すると、画像サイズが QVGA（320 × 240）のときはワイド再生に切り替わります。

フルブラウザ：
フルブラウザの表示中にオートターンを利用するかどうかを設定します。

ドキュメントビューア：
ドキュメントビューアの表示中にオートターンを利用するかどうかを設定します。

インテリア時計：
インテリア時計を利用するかどうかを設定します。

マチキャラ：
マチキャラのモーションコントロールを利用するかどうかを設定します。

新着メールダイレクト表示／ミュージックスキップ／顔文字・絵文字・記号入力：
各機能を利用するかどうかを設定します。

■ **水平補正を実行する：設定画面で[Menu]▶FOMA端末を、ディスプレイを上向きにして水平な場所に置く▶[●]**
- 水平補正が完了するまで、FOMA 端末を動かさずにお待ちください。水平補正中にFOMA端末を動かすと補正できません。

■ **操作方法を確認する：各項目を選び[iアプリ]**
操作方法の説明画面が表示されます。
- 新着メールダイレクト表示、ミュージックスキップ、顔文字・絵文字・記号入力の操作方法の説明画面で[iアプリ]を押すとトレーニングモードになり、実際の操作を試せます。画面に従ってFOMA端末を振ってください。動作が正しく認識されると成功メッセージが表示されます。

モーションコントロールの使いかた

- FOMA 端末を閉じていても開いていても操作できます。

オートターン

以下のときにFOMA端末を、地面に対して縦に持った状態から左に倒して横向きにすると、自動的に画面が横表示に切り替わります。FOMA 端末を縦にすると、縦表示に戻ります。

- 動画／ｉモーション再生中
- フルブラウザ表示中
- ドキュメントビューア表示中

例 動画／ｉモーション再生中のとき

新着メールダイレクト表示

以下のときにFOMA端末を左右に２回振ると、受信したメールまたはSMSの内容を表示できます。

- メール、SMSの受信結果画面表示中
- メール、SMSの受信結果のテロップ表示中

2回

- 複数のメールを受信したときは最後に受信したメールが表示されます。
- ｉモード問合せでメールを受信しなかったときは表示できません。

ミュージックスキップ

ミュージックプレイヤーの再生中にFOMA端末を前後に2回振ると次の音楽データに進みます。また、FOMA端末を上下に２回振ると音楽データの先頭または前の音楽データに戻ります。

- バックグラウンド再生中も操作できます。

2回
次の音楽データに進む
2回
音楽データの先頭に戻る／音楽データの先頭で振ると前の音楽データに戻る

顔文字・絵文字・記号入力

文字入力中（顔文字／絵文字／記号入力が可能なとき）に、FOMA端末を左右に２回振ると顔文字一覧を表示できます。また、顔文字一覧／絵文字一覧／記号一覧の表示中にFOMA端末を左右に２回振ると一覧が切り替わります。

2回
2回
2回

- 入力できない文字種の一覧には切り替わりません。
- 記号一覧表示中に FOMA 端末を左右に２回振ると顔文字一覧に戻ります。

インテリア時計

卓上ホルダ（別売）で充電中など、FOMA端末を横向きにして充電しているときに、横置き用の時計を表示します。

- インテリア時計のデザインや表示形式、曜日の表示言語は、時計表示設定に従います。時計の背景画像（Flash 画像、月替わりの１２パターン）と表示位置は固定です。

例 デジタル5を24時間で表示するとき

マチキャラのモーションコントロール

マチキャラ表示中にFOMA端末の向きを変えると、マチキャラが90度単位で回転します。また、マチキャラによっては、FOMA端末の向きを変えたり、左右に2回振ると特定の動きをします。

iアプリのモーションコントロール（直感ゲーム）

モーションコントロール対応ゲームなどのiアプリでは、FOMA端末を振ったり傾けたりして操作できます。
- お買い上げ時に登録されている「タマラン」「体感！珍さんの釣り物語」「NAVITIME for D904i」はモーションコントロールに対応しています。
☞P275、P300
- iアプリのモーションコントロールを利用するかどうかは、モーションコントロール設定で設定できません。

おしらせ

[共通]
- 以下の場合はモーションコントロールは無効です。
  - ディスプレイの表示が消えているとき
  - プロテクトキーロック中

  ただし、上記の場合でも、iアプリのモーションコントロールは可能です。また、インテリア時計はプロテクトキーロック中でも利用できます。

[オートターンについて]
- キー操作で画面の方向を切り替えているときはオートターンしません。また、各表示画面から操作を実行しているときなどは切り替わらない場合があります。
- テロップ入りの動画／iモーションの再生中や、動画／iモーションの一時停止中／編集中、プレイリスト再生中、microSDメモリーカードからの連続再生中などはオートターンしません。また、サイトからのiモーション取得時の再生では、データを取得後に再生するタイプのiモーションのみオートターンします。
- ドキュメントビューアの場合、オートターンで横表示に切り替えると全画面表示になりガイド行の表示が消えます。ただし、キー操作で標準画面表示／全画面表示を切り替えているときは変わりません。

[インテリア時計について]
- 次の条件がすべて当てはまる場合に、インテリア時計が表示されます。
  - 時計表示設定のデザインを「ON」に設定している
  - モーションコントロール設定のインテリア時計を「ON」に設定している
  - 待受画面が表示されている
  - ACアダプタ（卓上ホルダ）やDCアダプタに接続している
  - FOMA端末を横に向けている（左側面を下にした状態）
- 次の場合はインテリア時計は表示されません。
  - iアプリ待受画面が設定されている
  - オールロック中、おまかせロック中
- インテリア時計を表示していても、照明設定の点灯時間設定のACアダプタ接続時を「端末設定に従う」に設定し、通常時を「常時」以外に設定している場合、約90秒間何も操作せずにいるとディスプレイの表示が消えます。
- フォーカスモード中にインテリア時計に切り替わると、フォーカスモードは解除されます。また、カスタム待受画面表示中にインテリア時計に切り替わると、カスタム待受画面の表示が消えます。

[その他]
- iアプリ実行中は新着メールダイレクト表示、ミュージックスキップ、顔文字・絵文字・記号入力はできません（マルチタスクで他の画面を表示している場合を除く）。
- 新着メールダイレクト表示が可能なときは顔文字・絵文字・記号入力はできません。
- プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、新着メールダイレクト表示で非表示のフォルダ内のメールは表示されません。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）に新着メールダイレクト表示を行うには、端末暗証番号の入力が必要です。

FOMA端末を開いて編集画面を表示するように設定する　スライド編集設定

「ON」に設定するとFOMA端末を開くだけでメールの作成画面やスケジュールの編集画面などを表示できます。

お買い上げ時　すべてON

1 Menu 8 6 6 ▶ **各項目を設定** ▶

- 各項目を「ON」に設定すると、以下のように動作します。

受信メール：
受信メール一覧／受信メール詳細画面でFOMA端末を開いたとき、クイック返信本文選択画面を表示します。
- クイック返信本文が登録されていないときや、クイック返信設定を「OFF」に設定しているときは、返信用のメール作成画面を表示します。

送信メール：
送信メール一覧／送信メール詳細画面でFOMA端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示します。

未送信メール：
未送信メール一覧でFOMA端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示します。

チャットメール：
チャットメール画面でFOMA端末を開いたとき、送信する本文を入力する画面を表示します。

スケジュール：
カレンダー画面／デイリービュー画面でFOMA端末を開いたとき、スケジュールの新規作成画面を表示します。各詳細画面でFOMA端末を開いたときは、編集画面が表示されます。

メモ帳：
メモ一覧／メモ帳参照画面でFOMA端末を開いたとき、メモ帳編集画面を表示します。

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る　自動電源ON／OFF設定

お買い上げ時　● 自動電源ON：OFF　● 自動電源OFF：OFF

例　自動電源ON設定を設定するとき

1 Menu 8 6 1 2

■ **自動電源OFF設定を設定する：** Menu 8 6 1 3

2 **各項目を設定** ▶

自動電源ON：
自動電源ONを設定／解除します。

時刻：
自動的に電源を入れる時刻を設定します。
- 24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

繰り返し：
自動電源ONの繰り返しを設定します。

おしらせ

- 自動電源OFF設定を「ON」に設定しても、待受中以外のときは、指定した時刻になっても、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了した後、電源が切れます。ただし、待受画面からの端末暗証番号入力画面や、FOMA端末の電源を入れた際に表示されるPIN1コード、PIN2コード入力画面を表示中に、指定した時刻になった場合は、電源は切れます。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく自動電源ON設定を「OFF」に設定してください。

一定の時間が経過するとアラームで知らせる　お知らせタイマー

1 **タイマー時間を入力** ▶ **または** Menu 1

お知らせタイマーのカウントダウン画面が表示され、カウントダウンが開始されます。
- 時間は1～60分の間で入力できます。1～9のときは、前の0は入力しないでください。
- カウントダウン中に電話やプッシュトークが着信したときや、を押して他の機能を起動しても、カウントダウンは継続します。
- カウントダウン中に クリア または を押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。確認画面表示中もカウントダウンは継続します。

指定した時間が経過すると

1 **アラームが鳴る**

お知らせタイマー
時間です

目覚まし音量で設定した音量でアラーム（「アラーム・メロディ」）が鳴り、決定キーの照明（青-緑-赤）が点滅します。
バイブレータ設定の目覚まし鳴動時を設定している場合は、その設定に従って動作します。

2 **で終了させる**

待受画面に戻ります。
- 鳴動中に約1分間何も操作しないか、、以外を押すとアラームが止まります。

他機能動作中のアラーム通知について

動作	アラーム通知
通話中、プッシュトーク通信中	警告音が鳴ります。決定キーの照明の点滅や、バイブレータは動作しません。プッシュトーク通信中で発言権取得中の場合は、発言権は開放されず、そのまま発言できます。
通話保留中	保留解除後に上記動作となります。
データ送受信中※1、電話やプッシュトークの発着信中・呼出中・切断中	左記動作終了後に動作します。 • スケジュールの設定日時になった場合、データ通信でスケジュールデータを受信したとき、スケジュールは動作しません。

※ 1：パケット通信の送受信中は除きます。

指定した時刻に目覚まし音を鳴らす

目覚まし

目覚まし音を鳴らす時刻や音などを設定する

• 目覚ましを設定したときの各項目のお買い上げ時の設定は、時刻「00：00」、繰り返し「なし」、スヌーズ「あり」、目覚まし音「端末設定に従う」、音量「端末設定に従う」、バイブレータ「端末設定に従う」、イルミネーションパターン「端末設定に従う」、イルミネーションカラー「端末設定に従う」です。
• 最大9件設定できます。

お買い上げ時　未設定

1 Menu 7 3 ▶ 1 〜 9

• 設定中の目覚ましには、タイトルの左に SET が表示されます。

■ **解除する：目覚まし一覧からタイトルを選び Menu**

• 解除した目覚ましを再設定するには、同様の操作を行います。

2 各項目を設定

時刻：
目覚ましを設定する時刻を入力します。

繰り返し：
繰り返し設定を選択します。
• 「なし」に設定すると、一度だけ目覚ましが起動します。
• 「毎日」に設定すると、毎日目覚ましが起動します。
• 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して 📖 を押します。

タイトル：
全角7文字（半角14文字）まで入力できます。

スヌーズ：
スヌーズの動作を設定します。
スヌーズについては☞P388

3 ⊙で音設定画面に切り替え ▶ 各項目を設定

目覚まし音：
設定時刻になったときの目覚まし音を設定します。
• 「ｉ モーションを選択」「メロディを選択」「ミュージックを選択」のいずれかを選択したときは、目覚まし音を設定します。音楽データを設定するには☞P127
• 選択時にメロディ、動画／ｉ モーションを再生して確認するには☞P126
• 「端末設定に従う」に設定すると、音の設定の目覚まし音に従います。

音量：
目覚まし音の音量を設定します。
• 「設定する」を選択したときの調整方法については☞P130
• 「端末設定に従う」に設定すると、目覚まし音量に従います。

4 ⊙でその他設定画面に切り替え ▶ 各項目を設定

バイブレータ：
設定時刻になったときの振動を設定します。
• 「選択する」を選択したときは、バイブレータの種類を選択します。
• 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレータ設定に従います。

イルミネーションパターン：
設定時刻になったときの決定キーの照明の点灯パターンを設定します。
• 「選択する」を選択したときは、点灯パターンを選択します。
• 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

イルミネーションカラー：
設定時刻になったときの決定キーの照明の色を設定します。
• 「選択する」を選択したときは、照明の色を選択します。
• 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

5 📖

待受画面に 🔔 または 📅（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

おしらせ

● 目覚まし音に設定したデータを削除した場合は、「端末設定に従う」に設定されます。

● メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定すると、決定キーの照明が点灯／点滅しないことがあります。

設定時刻になると

設定した内容に従って動作します。動画／ｉモーションを設定した場合は、動画／ｉモーションが表示されます。

- 同じ時刻に複数の目覚ましを設定しているときは、目覚まし一覧に表示される項目番号の一番小さい目覚ましが動作します。
- 他機能動作中のアラーム通知については☛P387

■ スヌーズを「あり」に設定している場合

設定時刻になったとき

目覚まし1
10：00

- 1分間何も操作しない
- [電話]、[鍵]以外のキー押下

スヌーズ動作※1（鳴動音停止） → [電話] → 鳴動前の画面

※ 1：目覚ましを終了するまで、1分間鳴った後、4分間停止する動作を30分間繰り返します。

- 鳴動中に電話やプッシュトークの着信があると、スヌーズ動作になります。

■ スヌーズを「なし」に設定している場合

設定時刻になったとき

目覚まし1
10：00

- 1分間何も操作しない
- [電話]、[鍵]以外のキー押下

鳴動音停止 → [電話] → 鳴動前の画面

- 鳴動中に電話やプッシュトークの着信があると、目覚まし音が止まります。

設定時刻に動作しない場合について

- オールロック中、パーソナルデータロック中は動作しません。
- 設定時刻にキャラ電が表示されている場合は、数秒遅れて動作する場合があります。
- 目覚ましとスケジュールアラームを同じ時刻に設定すると、目覚ましが動作した後、スケジュールアラームが動作します。スケジュールアラームの動作を終了させた後は、目覚ましのスヌーズを「あり」に設定しているときはスヌーズ動作を継続し、スヌーズを「なし」に設定しているときは目覚まし音が停止した状態の画面が表示されます。

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する　アラーム自動電源ON設定

スケジュールや目覚ましで指定した日時に電源が入っていなかったとき、電源が自動的に入り、アラーム／目覚まし音が鳴るように設定します。

お買い上げ時　OFF

1 [Menu][8][6][1][5]▶[1]～[2]

おしらせ

- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく本設定を「OFF」に設定してください。
- 「ON」に設定しているとき、PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定している場合に目覚ましやスケジュールで指定した日時になると、電源がONになり、PIN1コード入力画面が表示される前に目覚まし音やアラームが鳴ります。[電話]を押して目覚ましやアラームを停止させると、PIN1コード入力画面が表示されます。このとき、目覚まし音やアラームにダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックを設定していても、お買い上げ時に登録されているメロディ（目覚ましは「アラーム・メロディ」、スケジュールアラームは「アラーム・女性ボイス」）で目覚まし音やアラームが鳴ります。

Menu 71

スケジュールを管理する

スケジュール帳

仕事の予定などを登録しておくと、設定日時になったとき画面表示やアラーム音でお知らせします。

カレンダーを表示する

カレンダー画面から、スケジュールを表示できます。

1 **m（1秒以上）**

カレンダー画面が表示されます。
日付は、当日はピンク、土曜日は青、休日・祝日は赤で表示されます（カラーテーマ設定により、表示される色は異なる場合があります）。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

2007/ 7
10:00 ～ 11:00
会議
14:00 ～ 16:00
プロジェクト全体会議

用件アイコン
その日のスケジュール（3件以上のときは3件目以降を「⋮」で表示）

- 複数のスケジュールを設定している日は、最も早い時刻に登録しているスケジュールの用件アイコンが表示されます。最も早い時刻に登録されているスケジュールの時間を過ぎても、次に登録されているスケジュールの用件アイコンは表示されません。
- で日付を移動します。を押すとデイリービュー画面が表示されます。
- を押して前月、を押して翌月に切り替えます。
- カレンダーは、前回終了したときの表示形式で表示されます。

■ **特定の日を指定して表示する：カレンダー画面で Menu 4 2 ▶年月日を入力**
- 当日に戻す：Menu 4 1
- デイリービュー画面では Menu 5 2 を押します。当日に戻す場合は Menu 5 1 を押します。

おしらせ

● カレンダーの祝日設定は、「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律（平成17年5月20日・法律第43号）」に基づいています（2007年6月現在）。ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、カレンダーの表示と異なる場合があります。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については改正前の日付、祝日名で表示されませんのでご注意ください。

● カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。

カレンダーの表示形式を設定する

カレンダーモード設定

お買い上げ時　動作モード：マンスリーモード
表示モード：ノーマルモード

1 **m（1秒以上）▶ Menu 6 1 ▶各項目を設定▶ m**

動作モード：
を押して日付を移動したときのカレンダーの表示方法を設定します。
- 「マンスリーモード」に設定すると、1ヶ月ごとに画面が切り替わり、「スライドモード」に設定すると、1週間ごとに画面がスクロールします。

表示モード：
1週間の始まりの曜日を設定します。
- 「ノーマルモード」に設定すると日曜日、「ビジネスモード」に設定すると月曜日になります。

休日を設定する

休日設定

会社や学校などの休日を設定できます。日付や曜日を指定して設定します。
- 最大登録件数（日付指定）☛P495

例　日付を指定して休日を設定するとき

1 **m（1秒以上）**

2 **休日にする日付を選び Menu 6 2 1**

設定した日付の色が変わります。
- 毎年繰り返して休日にする：休日にする日付を選び Menu 6 2 2

■ **解除する：休日設定を解除する日を選び Menu 6 2 3**
- 全解除する：Menu 6 2 4

■ **曜日を指定して休日を設定する：**
① Menu 6 3 ▶ 1 ～ 7
- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除するとガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは Menu を押します。

② m
- 曜日が1つも選択されていない状態で登録すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

祝日を設定する　　祝日設定

- 最大登録件数☛P495

1 [m]（1秒以上）▶[Menu][6][4]

■ 変更する：祝日を選択▶操作3に進む

■ 削除する：祝日を選び[Menu]▶「はい」

- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

2 [m]

3 各項目を設定▶[m]

祝日名：
全角11文字（半角22文字）まで入力できます。
- お買い上げ時に設定されている祝日の祝日名は変更できません。

表示：
設定した祝日を表示するかどうかを選択します。
- 「ON」に設定すると、カレンダー画面では祝日に設定した日付の色が変わり、選ばれているときは年月の横に祝日名が表示されます。デイリービュー画面では[祝]と祝日名が表示されます。

日付：
祝日に設定する日付を入力します。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択してから日付を入力してください。

スケジュールを登録する

同じ日に複数のスケジュールを登録できます。
- 最大登録件数☛P495

1 [m]（1秒以上）

2 スケジュールを登録する日付を選び[m]
- デイリービュー画面でも[m]を押します。

3 各項目を設定

リ設定 | 新規作成 | メンバーﾘ
予定
終日 OFF
開始日時
2007/07/10(火) 10:00
終了日時
2007/07/10(火) 10:00
要約・メモ

[アイコン]（用件アイコン）：
アイコンを選択します。
- 選択したアイコンがスケジュールの先頭に表示されます。

予定（内容入力欄）：
選択した用件アイコンに対応した内容が表示されます。必要に応じて変更します（全角100文字（半角200文字）まで）。
- 内容変更後にアイコンを変更しても、内容は変更されません。

終日：
時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、デイリービュー画面のスケジュールの日付・時刻表示部分には「終日」と表示されます。長期間スケジュールを終日に設定すると、日付の後に「終日」と表示されます。

開始日時：
スケジュールの開始日時を入力します。
- 2060年12月31日まで設定できます。
- 終日に設定した場合は時刻を設定できません。

終了日時：
スケジュールの終了日時を入力します。
- 開始日時よりも後の日付に設定すると（長期間スケジュール）、カレンダー画面には、設定した日付の右上に[◣]が表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンなどの下に[⇔]が表示されます。

要約・メモ：
全角300文字（半角600文字）まで入力できます。

4 [◎]でメンバーリスト選択画面に切り替え

5 「<メンバーリスト選択>」▶登録するメンバーを選択
- 5名まで登録できます。メンバーリストから、電話やプッシュトークを発信したり、メールを送信できます。
- 電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。

■ 削除する：メンバーを選び[Menu]

6 [◎]でアラーム設定画面に切り替え▶各項目を設定

アラーム（スケジュールアラーム）：
アラームを鳴らすかどうかを設定します。
- 「あり」を選択し、「ｉモーションを選択」「メロディを選択」「ミュージックを選択」のいずれかを選択したときは、アラーム音を設定します。音楽データを設定するには☛P127
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P126

・「あり」に設定し、「端末設定に従う」に設定すると、音の設定のスケジュール音に従います。

予告アラーム：
スケジュールの開始日時より前にアラームを鳴らすかどうかを設定します。
・アラーム音の選択方法はアラームと同じです。

予告アラーム時間(分前)：
スケジュールの開始日時の何分前に予告アラームを鳴らすかを設定します。

7 でその他の設定画面に切り替え▶各項目を設定

繰り返し：
スケジュールの繰り返しの動作を設定します。
・スケジュールの開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」に設定した場合、該当する日が存在しない月や年では月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。
・「なし」に設定すると、一度だけスケジュールアラームが起動します。
・「曜日指定」を選択したときは「曜日選択」を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択してを押します。
・繰り返しを設定すると（繰り返しスケジュール）、カレンダー画面には、設定した日付の右上にが表示されます。ただし、用件アイコンは設定した最初の日にのみ表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンなどの下にが表示されます。

イメージ：
スケジュールアラーム画面に表示するイメージを設定します。
・「あり」を選択したときは、「画像選択」を選択し画像を選択します。Flash画像は設定できません。
・「なし」を設定したときは、お買い上げ時のイメージが表示されます。

8

・アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面にまたは（目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

待受画面からスケジュールを登録する

1 スケジュールを登録する日時を8桁の数字で入力▶

スケジュールの新規作成画面が表示されます。
（例）7月10日午後3時の場合：「07101500」と入力する

・日付を省略して時2桁、分2桁を入力すると、当日の新規作成画面が表示されます。ただし、現在の時刻より前の時刻を入力した場合は、翌日の日付の新規作成画面が表示されます。

2 スケジュールを登録

操作方法は「スケジュールを登録する」の操作3以降と同じです。☛P390

おしらせ

● スケジュールアラームと予告アラームに設定したデータ（動画／iモーション、メロディ、音楽データ）を削除した場合は、「端末設定に従う」に設定されます。
● スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。
microSDメモリーカードを利用して、スケジュールを保存できます（☛P341）。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

設定日時になると

1 アラームが鳴る

1/1
2007/ 7/13(金)18:30
歓迎会

スケジュールアラーム画面

設定した内容に従って動作します。イメージや動画／iモーションを設定した場合は、それらが表示されます。ただし、イメージにパラパラマンガを設定しているときは、最初のコマが表示されます。

2 で終了させる

・鳴動中に1分間何も操作しないか、、以外を押してもアラームが止まります。
・同じ日時に複数のスケジュールを設定しているときは、アラームを止めてから、で他のスケジュールの内容を確認できます。
・アラームを止めてからを押すとスケジュール詳細画面が表示され、スケジュールの内容を変更できます。
スケジュールの内容の変更方法は「スケジュールを確認する」の操作3と同じです。☛P392
・他機能動作中のアラーム通知については☛P387

・プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、動作しません。また、シークレット属性を設定している場合は、シークレットモードを設定していないと動作しません。それ以外で設定日時に動作しない場合は、「設定時刻に動作しない場合について」を参照してください。☛P388

おしらせ

● 音量は、スケジュール音量で鳴ります。
● イルミネーション設定やバイブレータ設定を設定している場合は、その設定に従って動作します。
● 予告アラームを設定しているときは、開始日時前に予告アラームが鳴ります。
● 終日設定でスケジュールを設定した場合は、設定した日の00:00になると動作します。

スケジュールアラームの初期値を設定する
アラーム初期値設定

・初期値を変更しても、登録済みのスケジュールの設定は変更されません。

お買い上げ時　すべてアラームあり

1 **m（1秒以上）▶Menu 6 5▶各項目を設定▶m**

通常登録時：
カレンダー画面からスケジュールを登録するときのスケジュールアラームの初期値を設定します。

待受画面から登録時：
待受画面からスケジュールを登録するときのスケジュールアラームの初期値を設定します。

スケジュールを確認する

1 **m（1秒以上）**

■ **特定の用件のスケジュールのみ表示する（用件別表示モード）：**
①**カレンダー画面でMenu 3 2**
・全用件表示にする：Menu 3 1
・デイリービュー画面ではMenu 4 2を押します。全用件表示に戻すにはMenu 4 1を押します。
②**用件アイコンを選択**
カレンダー画面、デイリービュー画面の右上に選択した用件アイコンが表示され、その用件アイコンが設定されているスケジュールのみ表示されます。

2 **スケジュールの登録日を選択**

デイリービュー 1/1
2007/ 7/10(火)
10:00 ～ 11:00
会議
14:00 ～ 16:00
プロジェクト全体会議
18:00 ～ 20:00
食事

デイリービュー画面

・デイリービュー画面では、◎で日付が切り替わります。

3 **スケジュールを選択**

設定 詳細メイン メンバ
会議
開始日時
2007/ 7/10(火) 10:00
終了日時
2007/ 7/10(火) 11:00
要約・メモ

スケジュール詳細画面

■ **変更する：**
①**スケジュール詳細画面でm**
・デイリービュー画面では、スケジュールを選びMenu 2を押します。
②**スケジュールの内容を変更▶m▶「はい」**

おしらせ

● 表示中のスケジュールの内容に電話番号・メールアドレス・URL が含まれている場合は、Phone To (AV Phone To)・Mail To・Web To機能を利用できます。

スケジュールをコピー／貼り付けをする

・長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日数分のスケジュールが貼り付けられます。
・コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日付に何度でも貼り付けることができます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

1 **m（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択**

2 **スケジュールを選びMenu 6 1**

3 **クリア**

4 **スケジュールを貼り付ける日付を選びMenu 5**

・デイリービュー画面では、Menu 6 2を押します。

メールを作成する

スケジュールを i モードメールの本文として送信します。

- 操作する画面によって、送信できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

操作画面＼送信方法	1件送信	1日送信／全件送信※1
カレンダー画面	×	○
デイリービュー画面	○	○
スケジュール詳細画面	○	×

※ 1：登録しているすべてのスケジュール（過去のスケジュールも含む）が送信されます。

- スケジュールはメール本文に Date To 形式で入力されます。☛P404
- メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分が削除されます。
- 用件別表示モードのときは、表示されている用件だけがメール本文に入力されます。
- シークレット属性が設定されたスケジュールを送信するときは、シークレットモードを設定してください。

例 デイリービュー画面から1件のスケジュールをメール送信するとき

1 [m]（1 秒以上）▶ スケジュールの登録日を選択

2 スケジュールを選び[✉]

メール作成<新規>
To
Sub
Text
2007/07/14 13:00 ～ 2007/07/14 15:00 映画

- 選択した日に登録されているすべてのスケジュールをメール送信する：[Menu][7][1][2]
- 登録しているすべてのスケジュールをまとめてメール送信する：[Menu][7][1][3]
- カレンダー画面では[Menu][8][1]を押し[1]または[2]を押します。
- スケジュール詳細画面では[✉]を押します。

スケジュールデータをメールに添付する

スケジュール 1 件分のデータをメールに添付して送信します。

- カレンダー画面からは操作できません。

例 デイリービュー画面から添付するとき

1 [m]（1 秒以上）▶ スケジュールの登録日を選択

2 スケジュールを選び[Menu][7][1][4]

- スケジュール詳細画面では[Menu][4][2]を押します。

メールを検索する

スケジュールで選択した日付の送受信メールを検索します。

例 カレンダー画面から受信メールを検索するとき

1 [m]（1 秒以上）▶ メールを検索する日を選ぶ

2 [Menu][8][2][1]

2007/7/10
16:54 docomotaro@△△…
会議の件
14:51 docomotaro@△△…
電話番号
12:45 docomo.taro.△…
写真
10:24 docomotaro@△△…
お元気ですか？
10:14 docomotaro@△△…
会議日程

- 送信メールを表示する：[Menu][8][2][2]
- デイリービュー画面で受信メールを表示するときは[Menu][7][2][1]を押します。送信メールを表示するときは[Menu][7][2][2]を押します。
- 受信／送信メールの見かた☛P243
- メール検索を解除する：[Menu][0]

スケジュールを削除する

- 操作する画面によって削除できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

操作画面＼削除方法	1件削除	1日削除／選択日前日まで削除／全件削除
カレンダー画面	×	○
デイリービュー画面	○	○
スケジュール詳細画面	○	×

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールを削除すると、当日だけでなく長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールが含まれるすべての日から削除されます。「選択日前日まで削除」を選択した場合でも、長期間スケジュールが前日にかかっているときには、当日以降にかけてのスケジュールもすべて削除されます。
- スケジュールアラーム画面表示中はスケジュールを削除できません。

例 デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 [辞書]（1 秒以上）▶スケジュールの登録日を選択▶[Menu][3]

2 [1]〜[3]

- 選択した日を含む長期間スケジュールを登録している場合、「1 日削除」または「選択日前日まで削除」を選択すると長期間スケジュールも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する：[4]▶端末暗証番号を入力**

- シークレットモードを設定していない状態で削除しても、シークレット属性のスケジュールは削除されません。

3 「はい」

おしらせ

- カレンダー画面では[Menu]を押し、「削除」→「1 日削除」「選択日前日まで削除」「全件削除」から選択します。
- スケジュール詳細画面では[Menu]を押し、「削除」を選択します。

メンバーリストを利用する

スケジュールに登録しているメンバーリストを選択して、電話をかけたり、i モードメールを作成したりします。

1 [辞書]（1 秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

2 スケジュールを選択▶[左右]でメンバーリスト一覧画面を表示

イン [メンバーリスト一覧] アラ
ドコモ太郎
携帯春子
03XXXXXXXX
docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
http://www.△△△.△△△.△△△.ne.jp/△△△.html

登録しているメンバー

メンバーに登録している1件目の電話番号、メールアドレス、URL

- シークレット属性を設定しているメンバーは、シークレットモードを設定していないと名前と詳細情報が「＊」で表示されます。また、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、すべてのメンバーの名前と詳細情報が「＊」で表示されます。

3 電話帳データを利用

■ **音声電話／テレビ電話をかける：メンバーを選び、音声電話のときは[発信]、テレビ電話のときは[テレビ電話]**

■ **i モードメールを作成する：メンバーを選び[メール]**

選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に入力されます。

- メンバー全員に i モードメールを送信するときは[Menu][5][2]を押します。

■ **サイトを表示する：メンバーを選び[Menu][6]▶「はい」**

- [6]を押した後に[テレビ電話]を押すと、フルブラウザで表示できます。

おしらせ

- 電話帳データに登録している 2 件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して、電話帳の詳細画面を表示します。利用する電話番号またはメールアドレスを選んで電話やプッシュトークを発信したり、i モードメールを作成したりできます。ただし、電話帳の詳細画面から i モードメールを作成すると、スケジュールは本文に入力されずDate To機能は使用できません。
- メンバーリスト一覧画面で[辞書]を押すと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除できます。
- 2in1がデュアルモードのときは、電話をかけると発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。

他人に見られたくないスケジュールを守る
シークレット属性

シークレット属性を設定すると、シークレットモード中しか表示されません。

- シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定

2 待受画面で[辞書]（1 秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

3 スケジュールを選び[Menu][9]

デイリービュー 1/1
2007/ 7/14(土)
11:30 〜 11:45
待ち合わせ
12:00 〜 13:00
食事
13:00 〜 15:00
映画

選ばれているスケジュールにシークレット属性を設定しているときは[鍵]が点滅

- 解除する：シークレット属性が設定されているスケジュールを選び[Menu][9]

・スケジュール詳細画面で設定／解除する場合は Menu 6 を押します。

おしらせ

● シークレットモード中に作成されたスケジュールには、自動的にシークレット属性が設定されます。

スケジュールの登録件数を確認する
登録件数確認

1 📖（1秒以上）▶ Menu 7

おしらせ

● 登録件数は、シークレット属性が設定されている件数を含みます。

Menu 8222

よく使う機能を登録する
セレクトメニュー

お買い上げ時に Menu を押して表示されるノーマルメニューの他に、よく使う機能や電話帳データなどのメニュー項目を自由に登録して、自分だけのメニューを作れます（セレクトメニュー）。

テンプレートを読み込む

・あらかじめ4種類のテンプレートが用意されています。
・テンプレートを読み込むと、セレクトメニューの登録内容はすべて上書きされます。
・テンプレートを読み込んだ後、メニュー項目の追加や削除、入れ替えなどもできます。

お買い上げ時 スタンダード

1 Menu 📖

セレクトメニューが表示されます。

・メニュー設定の起動メニューを「セレクト」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

2 Menu 7 1 ▶ 1 ～ 4

スタンダード：
目覚まし、辞典、電卓、メモ帳、赤外線受信、動画撮影、モーションコントロール設定、現在地確認、2in1モード切替

データ／セキュリティ：
マイピクチャ、iモーション、マイドキュメント、ミュージック、microSD、プライバシーモード設定、タイマープロテクトキーロック設定、ICカードロック、ICカードロック設定

ユーザデータ：
電話帳検索、お預かりセンターに接続、microSD、Bookmark、スケジュール帳、メモ帳、単語登録、定型文、メモリ確認

カスタマイズ：
トータルコーディネイト設定、待受画面選択、マチキャラ設定、電話着信音、文字サイズ設定、電話着信音量、受話音量、スピードセレクター設定、スピードセレクター音

3 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

テンプレートが読み込まれ、セレクトメニューに設定されます。

・セレクトメニューのメニュー項目をすべて削除している場合は、端末暗証番号の入力後にテンプレートが読み込まれます。

セレクトメニューを作成する

・セレクトメニューの1つの階層には最大9個のメニュー項目が登録できます。

1 テンプレートを読み込む

・すべてのメニュー項目を新規に登録する場合は、全件削除をしてから追加登録してください。全件削除するには☛P397

2 メニュー項目を登録

・グループに上書きするときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、グループ内に登録したメニュー項目はすべて削除されます。
・メニュー項目を追加登録するときには、項目を削除してから行ってください。☛P396
・お買い上げ時のテンプレート（スタンダード）に登録されている「2in1モード切替」を選択／上書き／削除するには、2in1 をご契約いただき、2in1をONにする必要があります（☛P427）。2in1をご契約でない場合、他のメニュー項目に変更するには、別のテンプレートを読み込むか、全件削除して追加登録してください。

■ **人物を登録する：**

①**上書きするメニュー項目を選び** Menu 2 1

・追加登録する：Menu 1 1

②**登録する人物を選択**

・画像を設定していない電話帳データや、Flash画像、動画／iモーションを設定している電話帳データをセレクトメニューに登録すると、あらかじめ登録されているアイコンがメニュー画面に表示されます。

■ **機能を登録する：**

① **上書きするメニュー項目を選び[Menu][2][2]**

- 追加登録する：[Menu][1][2]
- 機能選択画面は、メニュー設定のノーマルの表示形式で表示されます。ただし、ノーマルを「アニメーション」または「シンプル」に設定しているときは、タイルアイコン表示になります。

② **登録するメニュー項目を選び[□]**

- 下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目番号に対応するキーを押すか、メニュー項目を選択すると登録できます。
- 下位の階層がある機能を選択した場合は、メニュー項目が表示されます。
- グループ内の機能を選択する：グループを選択▶グループ内の機能を選択

■ **グループを登録する：**

電話帳データや機能を目的に合わせてグループ分けするためのグループフォルダを作成します。

① **上書きするメニュー項目を選び[Menu][2][3]**

- 追加登録する：[Menu][1][3]

② **グループ名を入力（全角9文字（半角18文字）まで）▶[□]**

■ **グループ内に登録する：**

① **グループを選択**

- 既にグループ内に項目が登録されているときは、グループ内のメニュー項目が表示されます。項目を選んで上書き登録するか、追加登録します。

② **「登録（人物）」／「登録（機能）」／「登録（グループ）」▶登録操作を行う**

メニュー項目が登録され、グループ内のメニュー項目が表示されます。

- メニューの３階層目にはグループは作成できません。

③ **他のメニュー項目を登録**

■ **人物を選んで操作する：人物を選ぶ▶以下のキーを押す**

操作	キー
音声電話をかける※1、※2	[発信]／[●][1]
テレビ電話をかける※1、※2	[テレビ電話]／[●][1]
ｉモードメールを作成する※1	[メール]／[●][2]
SMSを作成する※1	[メール]（1秒以上）／[●][3]
サイトを表示する※3	[●][4]▶「はい」
電話帳の詳細画面を表示する	[●][5]

※１：電話番号やメールアドレスが複数登録されていると電話帳の詳細画面が表示されます。電話番号／メールアドレスを選び[●]を押します。

※２：[●][1]を押したときは発信オプションの設定画面が表示されます。☛P61

※３：[●][4]を押した後で[テレビ電話]を押すとフルブラウザで表示できます。

登録されている機能をすばやく実行するには

セレクトメニューの1階層目に登録した機能は、待受画面で[1]～[9]を1秒以上押して起動できます。ただし、メニュー項目が人物やグループのときや2階層目以降にメニューがある機能のときは起動できません。

セレクトメニューを利用する

セレクトメニューに登録されている機能を実行したり、人物に電話をかけたりできます。

例　機能を実行するとき

1 セレクトメニューを表示▶メニュー項目を選択

トータルコーディネイト設定　待受画面選択　マチキャラ設定
電話着信音　文字サイズ設定　電話着信音量
受話音量　会社　ドコモ太郎

機能
人物（電話発信や詳細情報の確認などができます）
グループ

おしらせ

- シークレット属性を設定した電話帳データの人物は、シークレットモードを設定していないと人物名が「＊＊＊」で表示されます。アイコンは[鍵]になります。
- パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、人物の選択はできません。アイコンが[鍵]に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- シークレット属性とパーソナルデータロックまたはプライバシーモード（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）の両方を設定している場合は、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中のアイコン表示と動作になります。
- 2in1がデュアルモードのときは、電話をかけると発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。

セレクトメニューを編集する

1 セレクトメニューを表示▶メニュー項目を選ぶ

- グループ内のメニュー項目を編集する：グループを選択

2 それぞれの操作を行う

■ メニュー項目を入れ替える：Menu 4 ▶ 入れ替え先のメニュー項目を選択 ▶「はい」

■ アイコンを変更する：Menu 5 ▶ アイコンを選択

- アイコンを元に戻す：Menu 5 ▶ 田

■ グループ名を変更する：Menu 6 ▶ グループ名を入力 ▶ 田

■ メニュー項目を削除する：Menu 3 ▶「はい」

- グループを削除するとグループ内のメニュー項目も削除されます。

セレクトメニューを全件削除する

セレクトメニューを新規に作成する際に行います。

1 セレクトメニューを表示 ▶ Menu 7 2 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

- ㊦を押すと、項目選択画面が表示されます。

スピードメニューを利用する

スピードメニュー

スピードメニューから以下の機能をすばやく呼び出せます。音声で呼び出す方法と、機能をキーで選択する方法があります。

- FMラジオ
- ミュージックプレイヤー
- GPS
- フルブラウザ
- カメラ

音声で機能を呼び出す

1 ⇆（1秒以上）

スピードメニュー	
FMラジオ	ラジオ
ミュージックプレイヤー	ミュージック
GPS	ジーピーエス
フルブラウザ	フルブラウザ
カメラ	カメラ

本体マイクから
音声を入力してください

音声入力画面

スピードメニューが表示されます。

- 機能をキーで選択する：⇆
  以降の操作は「キーで機能を呼び出す」操作2と同じです。
  ☛P398

2 5秒以内に呼び出す機能のキーワードを話す

機能を呼び出すときのキーワードとキーワードが認識された後の動作は次のとおりです。

機能	キーワード	動作
FMラジオ	エフエム、ラジオ、エフエムラジオ	FMラジオMusicサーチが起動します。☛P378
ミュージックプレイヤー	オンガク、ミュージック、オンガクサイセイ、オンガクサイセー、ミュージックプレイヤー	ミュージックプレイヤーが起動します。☛P372
GPS	ジーピーエス、ナビゲーション	スピードメニューｉアプリ登録されているGPS対応ｉアプリが起動します。※1
フルブラウザ	ブラウザ、フルブラウザ	ホーム設定で登録されたホームページが表示されます。※2☛P310
カメラ	カメラ、サツエイ、サツエー、カメラサツエイ、カメラサツエー	静止画撮影が起動します。☛P182

※1：お買い上げ時は NAVITIME for D904i が登録されています。☛P300

※2：アクセス設定が「利用しない」に設定されているときはアクセス設定画面が表示されます。また、ホームページが未登録のときは登録画面が表示されます。

- 音声入力を中止する：㊦
- バイリンガル設定を英語表示にしているときは、⇆を1秒以上押しても音声入力画面は表示されずキー入力画面が表示されます。機能をキーで呼び出してください。
- イヤホンマイク設定を「イヤホンマイク」に設定し、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、音声入力画面ではFOMA端末の送話口のみから音声が伝わります。FOMA端末の送話口から音声を入力してください。
- 周囲に騒音があるときは「もう一度静かな場所で音声を入力してください」と表示されます。㊦を押して再度キーワードを話してください。
- 正しく認識されなかった場合は、その旨のメッセージが表示されます。㊦を押して再度キーワードを話してください。
- FOMA端末を顔の正面（10cm以下を推奨）に持つか、通話と同じように顔の横に持ってお話しください。
- 周囲が騒がしい場所では正しく認識されない場合があります。周囲が騒がしい場所ではFOMA端末を口に近づけてお話しください。
- できるだけはっきりと丁寧にお話しください。ゆっくりすぎや早口にならないようご注意ください。また、小声や大声にならないようご注意ください。
- 咳払いや「えー」、舌打音などを出さないでください。また、送話口に息を吹きかけないようにしてください。
- 送話口を指でふさがないようご注意ください。
- 音声の途中に無音部分ができないようにお話しください。

キーで機能を呼び出す

1 [スピードメニューキー]

キー入力画面

スピードメニューが表示されます。

- 機能を音声で呼び出す：[スピードメニューキー]
  以降の操作は「音声で機能を呼び出す」操作2と同じです。☛P397

2 [1]～[5]

機能が起動します。

スピードメニュー登録をする

- 登録できるのは、GPS対応ｉアプリのみです。

1 [アプリキー]（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選び[Menu][8][3]

- 解除するには、同様の操作を行います。

Menu 49

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

自局番号

お買い上げ時　自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録

1 [Menu][0]

- 自局電話番号には、FOMA端末に挿入しているFOMAカードの電話番号が表示されます。

2 [電話帳キー]▶端末暗証番号を入力▶各項目を設定▶[電話帳キー]

- [マルチカーソルキー]でページを切り替えられます。
- 各項目の設定方法は、「FOMA端末電話帳に登録する」の操作3と同じです。☛P103
  ただし、メモリ番号とグループは設定できません。
- 1件目の電話番号には、ご契約の電話番号（自局電話番号）が表示されます。変更はできません。

おしらせ

- 自局番号のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、自局番号のメールアドレスは変更されません。ｉモードのメールアドレスを確認・変更する方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目は、FOMA端末に登録されます。
- 2in1がAモードまたはデュアルモードのときは、自局電話番号欄にAナンバーが表示されます。Bモードのときは、Bナンバーが表示されます。デュアルモードのときは、[メールキー]を押してAナンバーとBナンバーの表示を切り替えられます。

自局番号の詳細を表示する

1 [Menu][0]

2 [決定キー]▶端末暗証番号を入力

- [マルチカーソルキー]で登録内容の表示を切り替えられます。
- 登録した電話番号に発番号設定を設定すると「自局情報」の右側に[!]が表示されます。

- サブメニューから、電話帳の詳細画面と同様に主に次の操作ができます。
  - ・メール作成☛P109
  - ・SMS作成☛P109
  - ・URL起動（サイト表示）☛P109
  - ・発信オプション※1（自局電話番号への発信を除く）☛P61
  - ・項目コピー☛P114
  - ・発番号設定※1☛P116
  - ・メールアドレス入替え☛P114
  - ・基本情報☛P112
  - ・画像／名前表示切替☛P113
  - ・位置情報☛P109
  - ※1：自局電話番号の表示中を除く

■ **登録内容を編集する：[Menu][2]▶ 登録内容を編集して[□]**

■ **登録内容をリセットする：[Menu][3]▶「はい」**

おしらせ

● 2in1がデュアルモードのとき、Aナンバーの自局番号を表示中の場合はAナンバーで、Bナンバーの自局番号を表示中の場合はBナンバーで電話が発信されます。

● 2in1がONのときは、表示中の自局番号のみリセットされます。

声や画像を録音／録画する

音声メモ／動画メモ

待受中に自分の声をメモ代わりに録音したり（待受中音声メモ）、音声電話やテレビ電話で通話中に相手の声や画像を録音／録画したりします（通話中音声メモ／動画メモ）。

- 通話中音声メモと待受中音声メモは、1件につき最大30秒、合わせて最大4件録音できます。
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。最大保存件数については☛P495
- 電波の状態により、通話中音声メモ／動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れることがあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

通話中に相手の声や画像を録音／録画する

音声電話通話中は相手の声だけが録音されます。テレビ電話通話中は相手の声と画像が録音／録画されます。

1 通話中に[📷]（1秒以上）

録音／録画が開始されます。

録音／録画可能時間の目安

音声メモ録音中
ドコモ太郎
090XXXXXXXX

Recording
録画中
動画メモ

音声電話通話中
音声メモ

テレビ電話通話中
動画メモ

- 動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って画像が相手に送信されます。
- 動画メモ録画中に[◉]を押すと、録画可能時間の目安と通話時間表示が切り替わります。
- 残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります（開始時には鳴りません）。ただし、終了予告音や終了音は録音されません。
- 録音／録画を途中で停止する：[📷]（1秒以上）
- 動画メモはｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。
  動画／ｉモーションの再生方法☛P324
- 通話中音声メモ／動画メモを録音／録画しているときにFOMA端末を閉じた場合の動作は☛P70

待受中に自分の声を録音する

Menu 473

1 [📷][3]

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- 残り約５秒になると、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。ただし、録音終了音は録音されません。
- 録音を途中で停止する：[◉]／[☎]／[クリア]

音声メモを再生する

Menu 474

1 [📷][4]

音声メモ一覧が表示されます。音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。

2 音声メモを選択

音声メモが再生されます。
- 再生停止：●
- 音量調整：◎
- スピーカーホン機能の切り替え：[通話]

経過時間の目安

3 「はい」／「いいえ」

- 「はい」を選択すると、再生した音声メモが削除されます。

音声メモ一覧の見かたと操作

❶ 状態アイコン
[MEMO]：通話中メモ
表示なし：待受中音声メモ

❷ Bナンバーの発着信（2in1がデュアルモードのとき）

❸ 海外滞在時の音声メモ※1

❹ 国際電話の通話中音声メモ

❺ 電話番号／名前（電話帳に登録している場合）発信者番号非通知理由／音声メモ（待受中音声メモの場合）

❻ 選ばれている音声メモの録音日時（海外滞在時は滞在地の日時）

❼ 電話番号／発信者番号非通知理由

❽ マルチナンバーの名称（マルチナンバーを契約している場合）

※1：タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合や、録音日時が記録されなかった場合は、表示されない場合があります。

■ **音声メモ一覧から音声メモを削除する：音声メモを選び[Menu][2][1]▶「はい」**
- 全件削除する：[Menu][2][2]▶端末暗証番号を入力▶「はい」

■ **音声メモ一覧から電話番号を電話帳に登録する：**

① **通話中音声メモを選び[Menu][4]**
- 登録済みの電話帳データに追加する：通話中音声メモを選び[Menu][5]

② **[1]～[2]▶名前やメールアドレスなどを登録☛P103、P106**
- 登録済みの電話帳データに追加する：[1]～[2]▶相手を選択▶登録内容を修正☛P113

おしらせ

- 音声メモ／動画メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音／録画内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音／録画内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 通話中音声メモの場合、音声メモ一覧で相手を選び[通話]を押すと音声電話、[テレビ電話]を押すとテレビ電話をかけられます。
- 2in1がAモードのときはAナンバーの通話中音声メモのみ、BモードのときはBナンバーの通話中音声メモのみ表示されます。デュアルモードのときは、すべての通話中音声メモが表示されます。待受中音声メモは、2in1のモードに関わらず表示されます。
- 動画メモは、2in1のモードに関わらず表示されます。
- 音声メモの「全件削除」を行った場合は、2in1のモードに関わらず、すべての音声メモが削除されます。

通話時間・料金を確認する

通話時間／通話料金

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0 YEN」または「******YEN」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金が表示されます（2004年12月から積算開始）。
  - 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードには蓄積されていますが、表示することはできません。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／通話料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 2in1をご契約の場合、通話時間と通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

通話時間を確認する

1 Menu 8 6 9 1

- 以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話時間が表示されます。

直前通話時間：
直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信時間
積算通話時間（音声）：
音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）：
テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）：
データ通信を行った積算時間
前回リセット日時（音声）：
音声電話の積算通話時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（テレビ電話）：
テレビ電話の積算通話時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（データ）：
データ通信の積算通信時間を前回リセットした日時

■ **積算通話時間をリセットする：**
①通話時間確認画面で [m] ▶ 端末暗証番号を入力
② 1 ～ 4 ▶「はい」
- 通話時間画面に戻す：[m]

通話料金を確認する

1 Menu 8 6 9 2 1

- 以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話料金が表示されます。

直前通話料金（音声）：
直前にかけた音声電話の通話料金
直前通話料金（テレビ電話）：
直前にかけたテレビ電話の通話料金
直前通話料金（データ）：
直前に行ったデータ通信の通信料金
積算通話料金：
音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信料金の積算料金
前回リセット日時：
積算通話料金を前回リセットした日時

■ **積算通話料金をリセットする：通話料金確認画面で [m] ▶ PIN2コードを入力 ▶「はい」**

おしらせ

- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 直前通話料金の情報がない場合は、「******YEN」と表示されます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金は、通話内のそれぞれの合計金額が表示されます。ただし、切り替え中は、料金は加算されません。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- FOMA端末の電源を切ると、直前通話時間は保持されますが、直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- プッシュトーク通信、iモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

通話料金を自動でリセットする
通話料金自動リセット設定

毎月1日の0時に積算通話料金を自動リセットします。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 6 9 2 4

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 1**
- 解除する：端末暗証番号を入力 ▶ 2

3 **PIN2コードを入力**

おしらせ

- 「ON」に設定しても、設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると設定は解除されます。設定時のFOMAカードを差し込んでも設定は元の状態に戻りません。
- 「ON」に設定しているときは、日付時刻設定で、翌月以降へ日付時刻が変更されたときもリセットされます。

● 「ON」に設定し、1日の0時になったときに電源が入っていない場合や通話中の場合は、電源を入れたときや通話終了後にリセットされます。
● 「ON」に設定した場合、電源を入れたときにPIN2コードの入力、日付時刻設定を行うときは端末暗証番号の入力が必要です。

通話料金の上限を設定して知らせる
通話料金上限通知

通話料金の上限金額を設定し、積算通話料金が設定金額を超えると、アラームやアイコンで通知します。

・通話料金通知はあくまで目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 6 9 2 2

2 **端末暗証番号を入力▶各項目を設定▶** 📖

通話料金上限通知：
上限金額を超えたときに通知するかどうかを設定します。

料金上限（円）：
料金の上限値を設定します（10円単位で10～100000円）。

通知方法：
アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。

アラーム音：
通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定したときに、アラーム音をメロディから選択します。
・選択時にメロディを再生して確認するには☛P126

アラーム時間（秒）：
通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定したときに、アラームを鳴らす時間を設定します（1～60秒）。

おしらせ

● 通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイ上部に¥が表示されます。
● 通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定しているときは、通話または通信終了後、待受画面に戻るとアラームが鳴り、通話料金が上限を超えた旨のメッセージが表示されます。ただし、通常マナーモード中は、メッセージは表示されますが、アラームは鳴りません。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従って鳴ります。また、通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しているときに、1日0時に通話料金の上限を超える通話や通信を行った場合、アラームは鳴らず、メッセージも表示されません。
● アラームは、電話着信音量で設定した音量で鳴ります。
● アラームが鳴っているときにキー操作を行ったり、他の機能が起動するとアラームは止まります。また、プロテクトキーロックの一時解除中は、FOMA端末を閉じても止まります。
● 「ON」に設定後に異なるFOMAカードに差し替えた場合でも設定は保持されます。

上限通知アイコンを消去する
上限通知アイコン消去

1 Menu 8 6 9 2 3 **▶端末暗証番号を入力▶「はい」**

電卓として使う
電卓

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）ができます。

・最大8桁入力できます。
・スケジュール帳やメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けることができます。☛P415

1 Menu 7 4

2 **0～9、◎（＋、－、×、÷）を使って計算**

・入力した数字を1桁削除する：✉
・すべて削除する：クリア
・小数点を入力する：＊
・表示中の数字の＋と－を切り替える：＃

3 ◉

計算結果が表示されます。
・クリアを押すと計算結果が削除されます。

■ **計算結果をコピーする：Menu 1**
・コピーした数値を貼り付ける：Menu 2
・記録できるのは1件のみで、新たにコピーするか電源を切るまで記録されます。

- コピーした数値は、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けることができます。また、メモやメール作成画面などの入力欄から最大上位8桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。
- 電卓に貼り付けた数値に続けて数字を入力することはできません。

おしらせ

- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算するとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには[クリア]を押します。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されます。

メモを作成する

メモ帳

- 最大50件登録できます。

1 [Menu][7][2]▶[□]▶各項目を設定▶[□]

種別アイコン：
種別アイコンを選択します。
- 選択したアイコンがメモ一覧やメモ帳参照画面に表示されます。

メモ内容：
全角1000文字（半角2000文字）まで入力できます。
- メモ内容を入力しないと登録できません。

期限：
メモの期限を設定するかどうかを選択します。「あり」を選択したときは、日付欄を選択し、期限を入力します。また、メモ一覧で完了／未完了を切り替えられます。
- 2050年12月31日まで設定できます。

おしらせ

- メモ帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。microSDメモリーカードを利用して、メモを保存できます（☞P341）。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

メモを確認する

1 [Menu][7][2]

メモ一覧が表示されます。メモ一覧には、1行表示と2行表示があります。

2 メモを選択

メモ帳参照画面が表示されます。

メモ帳参照 (3/3)
作成日時 07/10 10:00
更新日時 07/10 10:00
期限 2007/07/12(木)
次の会議は本社第三会議室で行う。
重要案件あり。

- 電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。

■ **メモを編集する：**[□]▶各項目を編集▶[□]

■ **メモからメールを作成する：**[Menu][5]

メモ一覧の見かたと操作

1行表示

メモ帳 (3/50件)
メモ一覧(1/1)
歓迎会の場所を確…
プロジェクト全体…
次の会議は本社第…

2行表示

メモ帳 (3/50件)
メモ一覧(1/1)
歓迎会の場所を確…
期限なし
プロジェクト全体…
2007/07/10(火)
次の会議は本社第…
2007/07/12(木)

❶ **状態アイコン**
☑：完了
：未完了（期限2日以上前）
：未完了（期限1日前または当日）
：未完了（期限超過）
表示なし：期限なし

❷ **種別アイコン**

❸ **メモ内容**

❹ **期限**

■ **完了／未完了を切り替える：メモを選び**[✉]

■ **1行表示／2行表示を切り替える：**[□]

■ **特定の種別アイコンのメモのみ表示する（アイコン別表示モード）：**[Menu][4]▶[2]▶**種別アイコンを選択**
- 全件表示に戻す：[Menu][4]▶[1]

■ **期限を設定したメモを完了状態別に表示する：**[Menu][5]▶[1]～[3]
すべて表示、完了のみ表示、未完了のみ表示が選択できます。

■ **メモを並べかえる：**[Menu][6]▶**各項目を設定**

対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

おしらせ

- メモ帳参照画面でメモの「完了／未完了」を切り替える場合は[Menu]を押し、「完了に変更」または「未完了に変更」を選択します。

● メモ一覧からメモを編集する場合はMenuを押し、「編集」を選択します。
● メモ一覧からメールを作成する場合は、メールの本文にするメモを選びMenuを押し、「メール作成」を選択します。

メモからスケジュールを登録する

メモ帳の内容をスケジュール帳に登録するには、メモ帳のサブメニューから行う方法と、Date To 形式で記述したメモから登録する方法があります。

サブメニューからスケジュールに登録する

1 Menu 7 2 ▶ メモを選択 ▶ Menu 6

メモの内容はスケジュールの項目へ、以下のように登録されます。

メモ内容：要約・メモへ登録されます。全角300文字（半角600文字）まで登録されます。

期限：開始日時／終了日時に登録されます。期限が設定されていない場合は、当日の日付が登録されます。

• 種別アイコン、完了／未完了アイコンは登録されません。

Date To形式からスケジュールを登録する

Date To 形式とは、次の形式の文字列で構成されます。項目はすべて必須です。

例

開始年月日　開始時刻　終了年月日

2007/07/10□10:00□〜□2007/07/10□

11:00□ミーティング↵

終了時刻　内容　改行までが内容とみなされます。

• □は半角の空白を示します。画面には表示されません。
• 年月日と時刻は半角文字で入力してください。内容は全角100文字（半角200文字）まで入力できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
• 年は西暦、時刻は24時間制です。月や日が1〜9のときや、時や分が0〜9のときは前の0は省略できます。

1 Menu 7 2 ▶ Date To 形式で記述してあるメモを選択

2 Date To形式の記述を選択 ▶ スケジュールを登録

メモ帳参照　(1/3)
作成日時　07/10 10:00
更新日時　07/10 10:00
期限なし
ミーティングの予定は次の通りです。
2007/07/10 10:00 〜 2007/07/10 11:00 ミーティング

➡

設定　新規作成　メンバー
ミーティング
終日　OFF
開始日時
2007/07/10(火) 10:00
終了日時
2007/07/10(火) 11:00
要約・メモ

おしらせ

● メモ一覧からスケジュールを作成する場合はスケジュールに登録するメモを選び Menu を押し、「スケジュール作成」を選択します。

メモを削除する

1 Menu 7 2

2 メモを選び Menu 3 1 ▶「はい」

■ 複数削除する：Menu 3 2 ▶ メモを選択 ▶ 回 ▶「はい」

■ 全件削除する：Menu 3 3 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」

■ 完了メモを削除する：Menu 3 4 ▶「はい」

おしらせ

● メモ帳参照画面からメモを1件削除する場合は、削除するメモを選びMenuを押し、「削除」を選択します。

電子辞典を利用する

• 電子辞典には、次の辞典が登録されています。
・明鏡モバイル国語辞典
・Gモバイル和英辞典
・Gモバイル英和辞典
• 検索履歴からも検索できます。検索履歴は最大20件記録されます。20件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。
• 凡例についてはマイドキュメントの「プリインストール」フォルダに保存されている「辞典機能」を参照してください。☛P362

例　明鏡モバイル国語辞典で「修める」を調べるとき

1 Menu 7 5 ▶「明鏡モバイル国語辞典」

2 入力欄▶「おさめる」を入力

検索結果が表示されます。

明鏡モバイル国語辞典
おさめる
おさめる【収める・納…
おさめる【治める】
おさめる【修める】
おさらい【お浚い・お…
おさらば【おさらば】
おさん【御産】
おし【押し】
おじ【伯父・叔父】
おしあいへしあい【押…
〔動〕〔一〕〔他〕①【収・納】きちんと入れる。しまう。また、きちんと入るようにする…

入力欄

検索結果一覧

- 「読み」と「表記」が表示されます(Gモバイル英和辞典の場合、「表記」のみが表示されます)。

選ばれている単語の詳細情報の先頭部分

- 入力文字は、全角20文字(半角40文字)までです。
- 検索結果の単語を選んでいるときに、他の単語を入力するときは[辞書]を押します。
- 見出し語が長い場合は、途中までしか表示されません。
- 単語によっては正しく検索できない場合があります。

■ 検索履歴から検索する:[Menu][1]▶単語を選択

検索履歴 1/1
おさめる
せいさく
かわせみ
かく

- 1件削除する:単語を選び[Menu][1]▶「はい」
- 複数削除する:[Menu][2]▶単語を選択▶[辞書]▶「はい」
- 全件削除する:[Menu][3]▶端末暗証番号を入力▶「はい」

■ 別の辞典で検索する:[Menu][2]▶別の辞典を選択▶検索

3 「おさめる【修める】」

4 詳細情報を確認

詳細
おさめる【修める】〔他〕①心や行いを正しくする。②学問・技芸などを学んで、自分のものにする。修得する。

- 検索画面に戻る:[●]
- 前後の見出し語の詳細情報:[◀▶]

■ コピーする:

① [Menu][1]

② コピーする範囲の開始位置を選択▶終了位置を選択

- 全文を選択する場合は[Menu][●]を押します。
- 開始位置を指定し直すときは[クリア]を押します。
- 開始位置指定後に[Menu]、[辞書]を押すとカーソルが文頭、文末に移動します。

おしらせ

- 詳細画面から別の辞典で検索する場合は、[Menu]を押し、「別の辞典で検索」を選択します。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

スイッチ付イヤホンマイク

イヤホンマイク端子に別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク(平型ステレオイヤホンセット含む)を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりできます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを押してもテレビ電話の発信やプッシュトークの操作はできません。
- イヤホンジャック変換アダプタP001(別売)を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

平型スイッチ付イヤホンマイクなどをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクなどの接続プラグを差し込んでください。☛P24

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードをFOMAアンテナに近づけると、ノイズが入ることがあります。
- プラグは確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

スイッチを押して音声電話をかける

電話番号をイヤホンスイッチ設定で設定した電話帳のメモリ番号に登録しておくと、平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを押すだけで音声電話をかけられます。

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す

イヤホンスイッチ設定で設定したメモリ番号の1件目に登録されている電話番号に音声電話がかかります。

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

おしらせ

- イヤホンスイッチ設定で設定したメモリ番号にシークレット属性を設定した場合は、シークレットモードに設定してから、操作してください。
- キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合でも、通話中に第三者の電話番号を入力し、スイッチを押しても電話はかけられません。スイッチを押すと、通話が終了しますのでご注意ください。
- FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でデータを移動またはコピーしている場合は、スイッチを押しても電話をかけられません。
- 2in1がONのときは、電話帳2in1設定に従って発信されます。

スイッチを押して電話を受ける

1 **電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

2 **通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

おしらせ

- テレビ電話を受けた場合、自画像が送信されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して通話中にFOMA端末を閉じた場合の動作は☛P70
- キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合は、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチを1秒以上押して出られます。

イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する
イヤホンスイッチ設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して電話をかけるときの相手をFOMA端末電話帳のメモリ番号で設定します。

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 4 4 3

2 **イヤホンスイッチ設定欄▶1**

イヤホンスイッチ設定
イヤホンスイッチ設定
OFF
電話帳メモリ番号
999

- 解除する：2▶📖

3 **電話帳メモリ番号欄**

4 **相手を選択▶📖**

おしらせ

- 本機能で設定しているメモリ番号の電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、本機能は解除されます。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける
オート着信機能設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているとき、かかってきた電話を自動的に受けるかどうかを設定します。

音声電話やテレビ電話を自動的に受けると、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

- 通話中の着信は、本機能が設定されていても動作しません。
- 公共モード（ドライブモード）中は、本機能は動作しません。
- プッシュトークを自動着信するには☛P98

お買い上げ時 OFF

1 Menu 8 4 4 2

2 **自動着信機能欄▶1**

- 解除する：2▶📖

3 **自動着信機能時間（秒）欄▶自動着信するまでの時間を入力（0～120秒）▶📖**

おしらせ

- テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択で設定した代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
- 本機能と伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかを同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。
- 自動着信機能時間を呼出動作開始時間設定の時間以内に設定すると、電話帳に登録していない相手から電話がかかってきた場合は、オート着信機能は動作しません。

イヤホンからのみ着信音を鳴らす
イヤホン切替設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音やアラームなどをイヤホンからのみ鳴らすように設定します。

お買い上げ時 イヤホン＋スピーカー

1 Menu 8 4 4 1▶1～3

おしらせ

● 「イヤホン（20秒後通知有）」（着信音やアラームの開始から約 20 秒経過しても電話に出なかったり、プッシュトークに応答しなかったり、アラームを終了させなかった場合にスピーカーからも音を鳴らす設定)、または「イヤホン＋スピーカー」に設定した場合でも、以下の音はイヤホンからのみ鳴り、スピーカーからは鳴りません。
  - 通常マナーモード中のお知らせタイマーのアラーム、目覚まし音、スケジュールアラーム
  - メロディ、動画／ｉモーション、音楽データの再生音

イヤホンマイクから音声を伝える
イヤホンマイク設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、自分の声をイヤホンマイクから伝えるように設定します。

お買い上げ時　イヤホンマイク

1 Menu 8 4 4 4 ▶ 1 ～ 2

おしらせ

● 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、本設定に関わらず、FOMA端末の送話口から音声が伝わります。

電源を入れたときの起動時間を短縮する
クイック起動設定

お買い上げ時　ON

1 Menu 8 6 5 ▶ 1 ～ 2

おしらせ

● 「ON」に設定していても、次の場合は通常の起動時間がかかります。
  - 電池残量が2以下のとき
  - 電池パックを取り付け直したとき
  - 電源を切ってから24時間が経過したとき

  また、待受画面以外で電源を切ったときや、電源を入れた直後の [画] が表示されている間に電源を切ったときも、通常の起動時間がかかる場合があります。

各種機能の設定状況を確認する
設定状況確認

- パーソナルデータロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。

1 Menu 8 6 9 4

2 で各種設定状況を確認
- で画面が切り替わります。

各種機能の設定をリセットする
各種設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。「メニュー一覧」に記載されていない機能やデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。
  - ・基本設定を選択したとき：
    マナーモード、公共モード（ドライブモード)、メロディの動作設定の音量、上限通知アイコン、顔文字・絵文字・記号の入力履歴
  - ・フルブラウザ設定を選択したとき：
    Cookie情報
  - ・変換学習データを選択したとき：
    入力予測機能で登録されたデータ

1 Menu 8 6 9 6

2 端末暗証番号を入力 ▶ 項目を選択

各種設定リセット
☑ 基本設定
☑ メール設定
☑ iモード設定
☑ フルブラウザ設定
☑ iアプリ設定
☑ ロック機能
☑ 変換学習データ
☑ 単語登録データ

3 [皿] ▶「はい」

おしらせ

● ｉモード設定をリセットした場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で クリア を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

登録データを一括して削除する

データ一括削除

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 保護したデータも削除されます。
- データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、データ一括削除できないことがあります。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - ・FMラジオMusicサーチ、ケータイクレジット「iD（アイディ）」、「DCMX」クレジットアプリ以外のｉアプリ
  - ・キャラ電
  - ・データBOXのマイピクチャの「デコメピクチャ」、「デコメ絵文字」、「アイテム」フォルダ内の画像
  - ・マチキャラ　・きせかえツール
  - ・データBOXのｉモーションの「ｉモード」フォルダ内の「転校生」
- 保存・登録した次のデータは削除されます。
  - ・着もじメッセージ（送信メッセージ履歴含む）
  - ・メールテンプレート　・メールグループ
  - ・ブックマーク　・URL入力
  - ・URL履歴　・画面メモ
  - ・ラストURL
  - ・ｉチャネル（受信した情報）
  - ・ｉアプリ　・ｉアプリの履歴表示
  - ・電話帳データ（プッシュトーク電話帳含む）
  - ・電話帳お預かりサービスの電話帳通信履歴
  - ・着信履歴　・リダイヤル
  - ・音声メモ
  - ・バーコードリーダーで読み取ったデータ
  - ・トルカ　・メモ帳
  - ・通話時間　・単語・定型文
  - ・USSD登録　・応答メッセージ登録
  - ・自局番号（自局電話番号以外）
  - ・辞典の検索履歴
  - ・作成したフォルダ・アルバム
  - ・メッセージR/F　・ｉモードメール
  - ・チャットメール　・SMS
  - ・伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - ・データBOX内の「プリインストール」、「メール添付メロディ」フォルダ以外のデータ
  - ・ダウンロード辞書　・スケジュール
  - ・ICカードロック設定の音声データ
  - ・マチキャラ　・きせかえツール
  - ・オリジナル証明書
- 各種設定リセットの対象となる機能※1と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
  - ・メール振り分け設定　・伝言メモ設定
  - ・チャットメール画面から行う設定
  - ・静止画撮影　・動画撮影
  - ・サウンドレコーダー　・端末暗証番号
  - ・プライバシーモード設定
  - ・着信／受信時表示設定　・日付時刻設定
  - ・テレビ電話使用機器設定
  - ・通話料金自動リセット設定
  - ・通話中着信動作選択　・メニュー設定
  - ・変更したフォルダ名　・セレクトメニュー
  - ・ブックマークのツータッチサイト登録
  - ・ｉアプリのソフト一覧から行う設定
  - ・電話帳から行う設定
  - ・電話帳お預かりサービスの送信設定
  - ・スケジュール帳から行う設定
  - ・マイピクチャ・ｉモーション・メロディ・キャラ電・マイドキュメントの動作設定
  - ・赤外線通信のデータ送受信設定
  - ・ミュージックプレイヤーの動作設定
  - ・目覚まし
  - ・ソフトウェア更新（予約更新）
  - ・2in1設定

  ※１：送達通知を除くSMS設定とCA証明書１～13を除く証明書管理は戻りません。

1 **Menu 8 6 9 7 ▶端末暗証番号を入力▶「はい」**

再起動中にデータ一括削除されます。

おしらせ

- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
  - 更新お知らせアイコン（消去していた場合は再び表示されます）
  - おサイフケータイ対応ｉアプリとその関連データ
  - FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約１分程度かかるときがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- データ一括削除を行った場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面でクリアを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- 2in1がONのときは、2in1のモードに関わらずデータが削除されます。
- お買い上げ時に登録されているデータ・ｉアプリを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます（☞P453）。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

文字入力

「区点コード一覧」について、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF 版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。

文字入力について

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

- 文字の入力方式には「かな入力方式」と「スロット入力方式」があります。
  かな入力方式は、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。☛P458
  スロット入力方式は、スロット入力ボードに表示された文字から、入力文字を指定します。☛P418
- 入力方式によって、入力できる文字の種類は異なります。

〇：入力可　×：入力不可　―：入力文字なし

文字の種類＼入力方式	かな入力方式		スロット入力方式	
	全角	半角	全角	半角
ひらがな／漢字	〇	―	〇	―
カタカナ	〇	〇	×	〇
英字	〇	〇	×	〇
数字	〇	〇	×	〇
記号	〇	〇	〇	〇
絵文字	〇	―	〇	―

- 文字には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字や全角の空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力できます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字・第二水準漢字です。
- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 本書では最後に ⊙ を押す操作も含めて「入力する」（操作文では「入力」）と表記しています。

文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、「全画面入力」と「インライン入力」の2種類があります。

- 入力欄によっては、どちらか一方しか利用できない場合があります。
- 貼り付けや定型文入力などで、入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

全画面入力

入力欄を選び ⊙ を押すと、入力エリアが全画面表示されます。

インライン入力

入力欄を選び 0 ～ 9 、 * 、 # を押し、文字を直接入力します。⊙を押すと文字が確定します。

文字が確定した状態

入力モードを切り替える

例 ひらがな／漢字モードから全角英字モードに切り替えるとき

1 文字入力画面で[✉]

入力モード（現在の状態）
漢字：ひらがな／漢字
全ｶﾅ：全角カタカナ※1
全英：全角英字※1
全数：全角数字※1
半ｶﾅ：半角カタカナ
半英：半角英字
半数：半角数字※1

入力モード（選択途中の入力モードが反転表示されます）
漢　：ひらがな／漢字
ア　：全角カタカナ※1
Ａ　：全角英字※1
１　：全角数字※1
ｱｧ　：半角カタカナ
Aa：半角英字
12：半角数字※1

※1：スロット入力方式では切り替えできません。

2 [✉]または[◎]で「Aa」を選ぶ

ひらがな／漢字
カタカナ
英字
数字

→：[✉]／[◎]
→：[◎]

3 [◎]で「A」を選び[◎]

おしらせ

● 文字入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。
● ひらがなしか入力できないときの入力モードは「全かな」と表示されます。

入力方法を設定する

入力設定

お買い上げ時　入力方式：かな入力　入力予測：ON
自動カーソル：普通

1 [Menu][8][6][2][5]▶各項目を設定▶[📖]

入力方式：
「かな入力」または「スロット入力」を設定します。
- 「スロット入力」に設定すると、以下の項目は設定できません。

入力予測：
予測変換候補を表示するかどうかを設定します。

自動カーソル：
カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。
- 「遅い」は、約1.5秒後に移動します。
- 「普通」は、約1秒後に移動します。
- 「速い」は、約0.5秒後に移動します。

文字入力中に設定を変更する

- 文字が確定される前やデコメール装飾選択画面では変更できません。
- インライン入力中は自動カーソルの変更しかできません。

1 文字入力画面で[Menu]▶「入力設定」▶[1]～[3]

- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替える：[1]
- 「入力予測ON」と「入力予測OFF」を切り替える：[2]
- 自動カーソルの移動時間を設定する：[3]▶[1]～[4]

かな入力方式で文字を入力する
かな入力方式

文字を入力する　かな漢字変換

例　メール本文に「企業」と入力するとき

1 ✉ 2 ▶ Text を選び ●

文字入力画面が表示されます。

2 「きぎょう」と入力

「漢字」と表示

「き」：2 を2回
○ を押して、カーソルを1つ右に移動します（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません）。
「ぎ」：2 を2回 ▶ ＊
「ょ」：8 を3回 ▶ ⇄
「う」：1 を3回

- キーを押し間違えたときは クリア を押して取り消します。
- 文字に「゛」「゜」を付ける：文字を入力 ▶ ＊
  たとえば、「ほ」を入力して ＊ を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」と切り替わります。「゛」「゜」が付けられない文字のときは、「゛」「゜」が全角で入力されます。
- ⇄ を押すと、大文字と小文字を切り替えられます。

■ **1つ前の文字に戻す：**
文字入力直後に ✉ を押すと 1 つ前の文字に戻すことができます。押すたびに、通常の文字入力順とは逆の順に文字が切り替わります（例：…→ 1 →お→え→う→い→あ→ 1 →…）。ただし、濁点や半濁点を入力したときは、切り替わりません。

■ **ひらがなのまま確定する：**
ひらがなを入力した状態で操作4に進みます。

■ **カタカナや英数字などに変換する：**
Menu を押すと、カタカナ（全角／半角）や英字・数字（全角／半角）などの変換候補が表示されます。変換候補を選び操作4に進みます。

3 📖

- 予測変換候補が表示されていないときは、◎ でもかな漢字変換されます。予測変換☞P413
- クリア を押すと、変換前の状態に戻ります。

■ **変換候補を一覧表示する：**
📖 を押しても目的の文字が表示されないときは、◎ またはもう一度 📖 を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、✉ を押すと次ページ、⇄ を押すと前ページに切り替わります。◎ で変換候補を選び ● を押すか、各候補に割り当てられている 1 ～ 9、0、＊、# を押して選択します。

4 ●

文字が確定します。

- 入力設定の入力予測を「ON」に設定しているときは、「閉じる」を選択します。

■ **文字を挿入する：**
◎ で挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ **文字を削除する：**
- カーソルが入力文字の途中にある場合
  （例：ドコモ▌太郎）
  ・クリア を押すと、カーソル位置の 1 文字が削除されます。
  ・クリア を 1 秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合
  （例：ドコモ太郎▌）
  ・クリア を押すと、カーソルの左の 1 文字が削除されます。
  ・クリア を 1 秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

■ 改行する：
[#]を押します。
• 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 [決定]
文字入力が終了します。

おしらせ

● 次の入力モードのときは、入力途中でキーを押さずに一定時間経過すると、自動カーソル機能によってカーソルが右に移動します。移動するまでの時間を変更したり、自動カーソル機能を使わないように設定できます。☛P411
• ひらがな／漢字　• 全角／半角カタカナ
• 全角／半角英字

● 自動カーソル機能によってカーソルが右に移動した後でも次の操作ができます。
• [＊]：濁点／半濁点を付ける
• [メール]：大文字／小文字を切り替える
• [i]：1つ前の文字に戻す

複数の文節を一括変換する

• 全角で24文字まで変換できます。

例「動物園に行きましょう。」と入力するとき

1 **文字を入力▶[変換]**

どうぶつえんにいきましょう。 → 動物園に行きましょう。

■ 全確定する：[Menu]

動物園に行きましょう。

■ 変換部分を確定する：[決定]

動物園に行きましょう

■ 変換範囲を変更する：[左右]

動物園にいきましょう。

[左]を押したとき

入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される機能です。
予測変換候補には、一度入力した単語が自動的に変換学習データとして登録されるので、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。
• 次の単語や文字列が候補として表示されます。
　・標準搭載の単語
　・かな漢字変換で入力した単語
　・ダウンロード辞書で変換入力した文字列
　・単語登録した文字列
• 予測変換は、ひらがな／漢字モードのみで利用できます。ただし、インライン入力、スロット入力方式の場合は予測変換できません。

1 **文字を入力**
予測変換候補が表示されます。

あ
候補選択 66
ありがとう　あなた　あの
ある　明日　アメリカ
あるいは　あまり　朝　あれ
あと　あまりに　頭　相手　ああ

• 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。

2 **[下]▶[上下左右]で候補を選び▶[決定]**

あ
候補選択 66
ありがとう　あなた　あの
ある　明日　アメリカ
あるいは　あまり　朝　あれ
あと　あまりに　頭　相手　ああ

→

ありがとう
候補選択 0/48
閉じる　ござい　ございます
。 ？ ！ ね 、 ー ～ …
‥ 御座い　御座います ！ !!
!? ？ ！ ！ と　です　ねん

• 予測変換候補が選ばれているときは、次の操作ができます。
[メール]／[i]：前ページ／次ページ切り替え
[変換]：かな漢字変換（予測変換候補は消えます）

3 **「閉じる」**
予測変換候補が消えます。

変換学習データをリセットする

予測変換候補に登録された変換学習データをリセットします。

1 **[Menu] [8] [6] [2] [3] ▶端末暗証番号を入力▶「はい」**

顔文字・定型文を入力する

顔文字や、あらかじめ登録されている文、絵文字ことばを入力します。

例　顔文字を入力するとき

1 **文字入力画面で [Menu] ▶「絵文字・記号・顔文字」▶ [3]**

- 定型文を入力する：文字入力画面で [Menu] ▶「定型文・区点・引用」▶ [1]

2 **[1]～[9]**

- 定型文のとき：[1]～[7]

顔文字種別
1 入力履歴
2 挨拶・返事
3 笑う・うれしい
4 照れる・怒る
5 泣く・悲しい
6 驚き
7 疑問・焦り
8 その他
9 すべて

- 顔文字の入力履歴が利用できるときは [1] を選択できます。
- 定型文を作成した場合は、[7] を選択できます。

3 **[1]～[9]／[0]／[＊]／[＃]**

笑う・うれしい　1/3
1 (^-^)
2 (^-^)v
3 (^o^)
4 o(^o^)o
5 (o^_^o)
6 (*^_^*)
7 (・∀・)
8 ヾ(^▽^)ノ
9 ヽ(´ー`)ノ
0 (*⌒▽⌒*)
＊ (☆▽☆)
＃ (^^)v

- 定型文の内容を確認する：定型文を選び [📖]
- 顔文字の入力履歴は最大18件まで表示されます。18件を超えると、古いものから順に消去されます。

おしらせ

- 顔文字はひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。☛P460
- 「定型文一覧」☛P459

絵文字・記号を入力する

1 **文字入力画面で [📖]**

絵文字1の一覧が表示されます。

絵文字1　1/5
半角記号 前ページ　選択　絵文字2 次ページ

履歴表示エリア
（絵文字1、絵文字2、全角記号、半角記号の最初のページにだけ表示されます）

- [📖] を押すと、絵文字2→絵文字D→絵文字1…と切り替わります。ただし、絵文字Dはメール本文と署名編集の文字入力画面の場合のみ表示されます。
- 半角記号を入力するには [Menu] を押して切り替えます。さらに [Menu] を押すと全角記号に切り替わります。記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。
- [✉] または [✉] を押して複数のページを切り替えます。
- 一覧からの入力を終了する：[クリア]
- 履歴表示エリアには絵文字（絵文字Dを除く）または記号が最大10文字まで表示されます。10文字を超えると、古いものから順に消去されます。
- 絵文字Dは、マイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダに保存されているときに表示されます。

2 **絵文字・記号を選択**

- 絵文字Dを選択した場合は、絵文字Dの一覧が閉じます。

おしらせ

- 一部の記号は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

読み	入力できる記号
ぎりしあ	ギリシア文字
ろしあ	ロシア文字
すうじ	①～⑳、Ⅰ～Ⅹ
けいせん	罫線記号
きごう	上記を除く全角記号

- 文字入力画面で [Menu] を押し「絵文字・記号・顔文字」→「絵文字」または「記号」を選択しても入力できます。
  - 絵文字や記号の一覧画面で [Menu] を押すと、絵文字1と絵文字2、絵文字D（メール本文と署名編集の文字入力画面の場合のみ）または半角記号と全角記号を切り替えられます。

・絵文字D以外の絵文字や記号の一覧画面で [m] を押すと履歴表示エリアの上に連続入力エリアが表示され、絵文字の場合は10文字まで、記号の場合は全角10文字（半角20文字）まで連続入力できます。[m] を押して確定します。ただし、絵文字Dは連続入力できず、選択するとすべての文字が確定します。また、次のかっこの左側（例：｛）を1つだけ選択した場合は、右側のかっこ（例：｝）も自動的に入力されます。

() [] {} 「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】

● 絵文字は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。☞P463

● 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。

● プライバシーモード中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合）は、文字入力画面で [m] を押してデコメ絵文字を表示してもダウンロードしたデコメ絵文字は表示されません。お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字のみ表示されます。ダウンロードしたデコメ絵文字も表示するには、装飾選択画面で ▣ を選択してプライバシーモードを一時解除してください。

● メール本文に絵文字Dを挿入するとデコメールになります。

データを引用して文字を入力する

電話帳データや自局番号の登録内容、電卓の計算結果やバーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力します。

電話帳データの内容を引用する

・入力欄によっては、文字入力画面を全画面入力に切り替えて操作してください。

・電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 文字入力画面で [Menu] ▶「定型文・区点・引用」▶ [3] ▶ 電話帳データを選択

2 電話帳の内容を選択

電話帳選択 1/1
ドコモ太郎
ドコモタロウ
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo.taro.△△@doc…
docomotaro@△△.□□□.…
1976/ 9/ 2(木)
火曜日クラス
XXXXXXX ○○市XX-1…
○○会社
主任
http://www.△△△.△△△…

・内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容を選び [m] を押します。◉ を押すと引用できます。

自局番号の内容を引用する

・入力欄によっては、文字入力画面を全画面入力に切り替えて操作してください。

・自局番号の文字入力画面では、自局番号を引用できません。

1 文字入力画面で [Menu] ▶「定型文・区点・引用」▶ [4]

2 端末暗証番号を入力 ▶ 自局番号の内容を選択

自局番号選択 1/1
携帯花子
ケイタイハナコ
090XXXXXXXX
docomotaro@△△.□□□.…

・内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容を選び [m] を押します。◉ を押すと引用できます。

電卓の計算結果を引用する

・引用できるのは、スケジュール帳とメモ帳の文字入力画面です。

1 文字入力画面で [Menu] ▶「定型文・区点・引用」▶ [5]

2 計算を行う ▶ ◉

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

・引用できるのは、URL入力画面とｉモード中またはフルブラウザ中の文字入力画面です。

1 文字入力画面で [Menu] ▶「定型文・区点・引用」▶ [5]

2 JANコードまたはQRコードを読み取る

3 ◉

読み取りデータの文字列が入力されます。

定型文を登録する

定型文登録

・最大50件登録できます。

1 [Menu][8][6][2][4][7]

2 **「<新しい定型文>」**

定型文編集画面が表示されます。
・登録済みの定型文を編集する：定型文を選択
・登録済みの定型文を確認する：定型文を選び[□]
 [●]を押すと編集できます。

■ **定型文を削除する：削除する定型文を選び[Menu]▶「はい」**

3 **本文欄▶定型文を入力（全角64文字（半角128文字）まで）▶[□]**

定型文は「ユーザ作成」に登録されます。
・登録済みの定型文を編集したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、中止するときは「いいえ」を選択します。

おしらせ

● 空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
 ・空白のみ　　　　　　：定型文として登録不可
 ・文字列の前後に空白　：文字列の後の空白は無効
 ・文字と文字の間に空白：空白も有効

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 **文字入力画面で[Menu]▶「単語・定型文登録」▶[2]**

2 **開始位置を選び[●]**

・全文を選択する：[Menu][●]▶操作4に進む
・メール本文の入力画面で全文を選択する：[✉]▶操作4に進む

3 **終了位置を選び[●]**

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。
・開始位置から文頭までを選択する：[Menu][●]
・開始位置から文末までを選択する：[□][●]

4 [□]

おしらせ

● 文字入力中に登録する操作を、文字が入力されていない場合に行うと、すぐに定型文編集画面が表示されます。
● 定型文が既に50件登録されている場合は、定型文登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの定型文を編集してください。
● 上記操作で選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
 ・空白のみ　　　　　　：定型文として登録不可
 ・文字列の前後に空白　：文字列のみ有効
 ・文字と文字の間に空白：空白も有効

文字をコピー／切り取りして貼り付ける

文字コピー

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

・コピーまたは切り取った文字は、新たにコピーまたは切り取りを行うか電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。

文字をコピー／切り取りする

例　文字をコピーするとき

1 **文字入力画面で[Menu][1]**

・文字を切り取る：文字入力画面で[Menu][2]
・メール本文の入力画面では[Menu]を押し、「コピー」／「切り取り」を選択します。

2 **開始位置を選び[●]**

・全文を選択する：[Menu][●]
・メール本文の入力画面で全文を選択する：[✉]

3 **終了位置を選び[●]**

選択した範囲の文字がコピーされます。
・開始位置から文頭までを選択する：[Menu][●]
・開始位置から文末までを選択する：[□][●]

文字を貼り付ける

・貼り付けたとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数を超えない文字だけが貼り付けられます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置を選び Menu 3

• メール本文の入力画面では Menu を押し、「貼り付け」を選択します。

おしらせ

● コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは、貼り付けられません。たとえば、メールアドレス欄にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
● 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、改行が空白に置き換えられます。

区点コードで入力する

区点コード入力

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

• 「区点コード一覧」については、付属の CD-ROM 内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 文字入力画面で Menu ▶「定型文・区点・引用」▶ 2 ▶4 桁の区点コードを入力▶ ●

• メール本文の入力画面では、Menu 5 2 を押します。

よく使う単語をあらかじめ登録する

単語登録

文字の変換のときに、登録した読みで簡単に呼び出せます。

• 最大200件登録できます。

1 Menu 8 6 2 1

2 「<新しい単語>」

• 登録済みの単語を編集する:修正する単語を選択
• 登録済みの単語を確認する：単語を選び 📖
  ● を押すと編集できます。

■ 単語を削除する：
① 削除する単語を選び Menu
②「削除」
• 全件削除する：「すべて削除」

3 単語欄▶登録する単語を入力（全角12文字（半角24文字）まで）

4 読み欄▶読みを入力（全角8文字まで）

• ひらがなのみ入力できます。

5 📖

• 登録済みの単語を編集したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を選択します。元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 文字入力画面で Menu ▶「単語・定型文登録」▶ 1

2 開始位置を選び ●

• 全文を選択する：Menu ● ▶操作4に進む
• メール本文の入力画面で全文を選択する：✉ ▶操作４に進む

3 終了位置を選び ●

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。

• 開始位置から文頭までを選択する：Menu ●
• 開始位置から文末までを選択する：📖 ●

4 読みを入力して登録

• 操作方法は「よく使う単語をあらかじめ登録する」の操作4以降と同じです。☛P417

おしらせ

● 文字入力中に登録する操作を、文字が入力されていない場合に行うと、すぐに単語編集画面が表示されます。
● 文字入力中に登録する場合、改行を含んだ文字列を単語登録しようとすると、改行が空白に置き換えられます。
● 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。
● 次の文字が読みの先頭にある場合は、登録できません。
  を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、ー（長音）、゛（濁点）、゜（半濁点）
● 読みに空白は入力できますが、登録後に削除されます。
● 同じ読みの単語は、最大５つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
● 単語が既に200件登録されている場合は、単語登録の単語一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から単語を削除するか、登録済みの単語を編集してください。

ダウンロードした辞書を使用する
ダウンロード辞書

ｉモードのサイトなどからダウンロードした辞書を文字変換用に使用できるようにします。

- 最大5件の辞書を使用できます。
- 辞書のダウンロード方法☛P208

1 Menu 8 6 2 2 ▶**使用する辞書を選択**▶ 📖

使用できる辞書に☑が表示されます。

■ **ダウンロードした辞書の情報を表示する：**
Menu 8 6 2 2 ▶辞書を選び ✉

■ **ダウンロードした辞書を削除する：**
Menu 8 6 2 2 ▶ 辞書を選び ⇄▶「はい」

スロット入力方式で文字を入力する
スロット入力方式

スロット入力ボード（上下2段の入力バー）に表示された文字から、✥ を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。☛P411
- スロット入力方式では予測変換機能は利用できません。
- 「入力バーの文字割り当て一覧」☛P458

入力モード
入力エリア
スロット入力ボード
入力バー

- ☎を押した後は、以下の操作で入力モードが切り替わります。

ひらがな／漢字 ⇄ 半角カタカナ ⇄ 半角英字

→：☎／◎▶　→：◀◎

- 入力方式を「スロット入力」に設定していても、インライン入力時は「かな入力」になります。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアの操作（文字の削除やカーソル移動など）をするときは ✉ を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときは再度 ✉ を押します。

例 メール本文に「企業」と入力するとき

1 ✉ 2 ▶ iText **を選び**◉▶**「きぎょう」と入力**

きぎょう
うかさたな゛゜

「き」：◎▶を1回▶◎▼を1回▶◉
「ぎ」：◉▶◎▶を4回▶◉
「ょ」：⇄▶◎▶を2回▶◎▲を2回▶◉
「う」：◎▶を4回▶◎▼を2回▶◉

- 上段と下段の入力バーを入れ替える：⇄
- ひらがなのまま確定する：Menu
  続けて文字を入力できます。文字入力を終了するには、操作4に進みます。
- メール本文の入力画面では、1～9、0、＊を押すと、スロット入力ボードが表示されます。

2 📖

変換されます。

企業

- 変換方法はかな入力方式と同じです。
- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるにはクリアを押します。

3 ◉

文字が確定します。

- 続けて文字を入力できます。

4 ✉▶◉

文字入力が終了します。

- Menu▶「編集終了」を選択しても同様に操作できます。

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

利用できるネットワークサービス
ネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名	申し込み	月額使用料	参照
留守番電話サービス	必要	有料	P420
キャッチホン	必要	有料	P421
転送でんわサービス	必要	無料	P422
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P423
番号通知お願いサービス	不要	無料	P423
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P423
英語ガイダンス	不要	無料	P424
マルチナンバー	必要	有料	P425
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P74
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P75
OFFICEED	必要	有料	P426
2in1	必要	有料	P426

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/)をご確認ください。

留守番電話サービスを利用する
留守番電話

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお応えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ（☞P76）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始に設定しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には「不在着信」として記録され、［1］（数字は件数）が待受画面に表示されます。
- 2in1 の留守番電話サービスの開始、停止、伝言メッセージ再生、設定、設定確認はAナンバー／Bナンバーごとに行えます。その他の設定や操作は、AナンバーとBナンバーは共通になります。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ **1**：サービスを開始に設定する

ステップ **2**：電話をかけてきた方が伝言を録音／録画する

ステップ **3**：伝言メッセージを再生する

操作方法

1 Menu 8 7 1

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
留守番サービス開始	① 1 1 • 2in1がデュアルモードのときは「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。 ②「はい」 • 操作①の後でBナンバーを選んだときやBモードのときは操作が終了します。 ③「はい」▶呼出時間を入力（0～120秒）
留守番呼出時間設定	1 2 ▶「はい」▶呼出時間を入力（0～120秒）
留守番サービス停止	① 1 3 • 2in1がデュアルモードのときは「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。 ②「はい」

項　目	操作方法
留守番設定確認	① 1 4 • 2in1がデュアルモードまたはBモードのときは「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。 ②「はい」 • サブメニューから設定を変更できます。2in1のBナンバーの設定時は設定できません。 **サービスを開始する：Menu 1** **サービスを停止する：Menu 2** **呼出時間を変更する：Menu 3**
留守番メッセージ再生	新しい伝言メッセージがあると待受画面に（数字は件数）が表示されます。 • 2in1がデュアルモードのときは、（Bナンバーの伝言メッセージのみ）、（AナンバーとBナンバーの伝言メッセージがあるとき）も表示されます。 ① 1 5 • 2in1がデュアルモードのときは「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。 ②「はい」▶**音声ガイダンスの指示に従う**
留守番サービス設定	① 1 6 • 2in1がデュアルモードのときは「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。 ②「はい」▶**音声ガイダンスの指示に従う**
メッセージ問合せ	1 7 ▶「はい」 新しい伝言メッセージがあると待受画面に（数字は件数）が表示されます。 • 2in1がデュアルモードのときは、（Bナンバーの伝言メッセージのみ）、（AナンバーとBナンバーの伝言メッセージがあるとき）も表示されます。
件数増加鳴動設定 お買い上げ時 件数通知音：ON 通知メロディ：メール・メロディB	相手が新しい伝言メッセージを残した場合やメッセージ問合せを行ったときに伝言メッセージの件数が増えていた場合は、通知音が鳴るようにします。 ① 2 ▶**件数通知音欄** ② 1 • 鳴らさない：2 ▶操作④に進む ③ **通知メロディ欄▶フォルダを選択▶メロディを選択** ④ 📖
着信通知開始	電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせします。 3 1 ▶「はい」▶「はい」／「いいえ」 「はい」：発信者番号通知の着信のみ通知します。 「いいえ」：すべての着信を通知します。
着信通知停止	3 2 ▶「はい」
着信通知開始設定確認	3 3 ▶「はい」
表示消去	4 ▶「はい」 伝言メッセージの件数を示すアイコンが消えます。

おしらせ

- 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面からすばやく再生できます。☞P35
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- テレビ電話で留守番電話サービスを利用するには、音声電話で「1412」をダイヤルしてください。
- テレビ電話でキャラ電を送信中に留守番電話サービスセンターに接続された場合は、サブメニューからDTMF送信に切り替えて操作してください。☞P54
- テレビ電話で新しい伝言メッセージをお預かりしたときはSMSでお知らせします。

キャッチホンを利用する

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

• キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択（☞P424）を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始に設定しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。

1 Menu 8 7 2 1

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
キャッチホン開始	1 ▶「はい」
キャッチホン停止	2 ▶「はい」
キャッチホン設定確認	3 ▶「はい」

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に［通話］

最初の相手との通話を保留にし、後からかかってきた電話に出られます。

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- 通話相手を切り替える：［切替］
- ［保留］を押すと現在通話中の相手も保留にできます。再度［保留］を押すと解除されます。
- 保留中の通話を終わらせる：キャッチホン中（マルチ接続中）に［Menu］［1］

2 一方の相手との通話が終わったら［終話］

通話が終了し、着信音が鳴ります。

- 保留中の相手との通話を再開する：［通話］

通話を終わらせて、かかってきた電話に出る

1 通話中に［終話］

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 ［通話］

新しくかかってきた電話と通話できます。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 通話中に電話番号を入力

- 電話番号入力の代わりに、［着信履歴］を押すと着信履歴から、［リダイヤル］を押すとリダイヤルから、［電話帳］を押すと電話帳から相手を選ぶことができます。

2 ［通話］

新しくかけた相手と通話できます。お話し中の通話は自動的に保留になります。

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- 通話相手を切り替える：［切替］
- ［保留］を押すと現在通話中の相手も保留にできます。再度［保留］を押すと解除されます。
- 保留中の通話を終わらせる：キャッチホン中（マルチ接続中）に［Menu］［1］

3 新しくかけた相手との通話が終わったら［終話］

通話が終了し、着信音が鳴ります。

- 保留中の相手との通話を再開する：［通話］

おしらせ

● マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けられません。着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわサービスを利用する

転送でんわ

電波が届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（☞P76）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを開始に設定しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には「不在着信」として記録され、［不在着信アイコン 1］（数字は件数）が待受画面に表示されます。
- 2in1の転送でんわサービスの開始、停止、設定確認はAナンバー／Bナンバーごとに行えます。その他の設定や操作は、AナンバーとBナンバーは共通になります。Bナンバーの設定確認をした場合、転送でんわサービスの開始／停止のみ確認できます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ **1**：転送先の電話番号を登録する

ステップ **2**：転送でんわサービスを開始に設定する

ステップ **3**：お客様のFOMA端末に電話がかかる

ステップ **4**：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

操作方法

1 ［Menu］［8］［7］［2］［2］

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
転送サービス開始	①［1］ • 2in1がデュアルモードのときは「Aナンバー」または「B ナンバー」を選択します。 ②「はい」 • 操作①でBナンバーを選んだときやBモードのときは操作が終了します。 ③「はい」▶転送先電話番号を入力（26桁まで） • 電話番号の入力欄を選択する前に、［Menu］を押すと電話帳から、［リダイヤル］を押すとリダイヤルから、［着信履歴］を押すと着信履歴から電話番号を設定できます。 ④［電話帳］▶「はい」▶呼出時間を入力（0〜120秒）

項　目	操作方法
転送サービス停止	① 2 • 2in1がデュアルモードのときは「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。 ②「はい」
転送先変更	① 3 ② 転送先電話番号を入力▶ 田 ③ 1～2 • Bモードのとき：1 • 2in1 がデュアルモードで 2 を選択したときは「A ナンバー」を選択します。 ④「はい」
転送先通話中時設定	転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応するように設定します。 4▶「はい」 • 解除する：「いいえ」
転送サービス設定確認	① 5 • 2in1 がデュアルモードまたはBモードのときは「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。 ②「はい」

転送ガイダンスの有・無を設定する

1 1 4 2 9 ✆ ▶ **音声ガイダンスの指示に従う**

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話ストップ

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

1 Menu 8 7 8 3

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した電話番号を着信拒否登録します。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。 1▶「はい」
電話番号指定拒否登録	2▶「はい」▶電話番号を入力（22桁まで）▶田▶「はい」 • 電話番号の入力欄を選択する前に、Menuを押すと電話帳から、✉を押すとリダイヤルから、☏を押すと着信履歴から電話番号を設定できます。
迷惑電話全登録削除	3▶「はい」
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を 1 件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 4▶「はい」
拒否登録件数確認	5▶「はい」

番号通知お願いサービスを利用する

番号通知お願い

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に 1（数字は件数）も表示されません。

1 Menu 8 7 4 2

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
番号通知開始	1▶「はい」
番号通知停止	2▶「はい」
番号通知確認	3▶「はい」

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワーク

お使いになっている FOMA 端末の電話番号でmova 端末をご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

mova端末を使えるようにする

1 **mova端末で「1540」をダイヤル**

2 **ガイダンスに従って操作**

FOMA端末を使えるようにする

mova 端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替える操作です。

1 Menu 8 7 8 5

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
デュアルネットワーク切替	1 ▶「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力
デュアルネットワーク状態確認	2 ▶「はい」

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 Menu 8 7 8 4

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
ガイダンス設定	① 1 ▶「はい」 ② 1 ～ 2 日本語： 発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。 英語： 発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。 ③「はい」▶ 1 ～ 3 日本語： 着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。 日本語＋英語： 着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。 英語＋日本語： 着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。
ガイダンス設定確認	2 ▶「はい」

サービスダイヤルを利用する

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 Menu 8 7 8 6

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
ドコモ故障問合せ	1 ▶「はい」 故障お問い合わせ先に電話がかかります。
ドコモ総合案内・受付	2 ▶「はい」 総合お問い合わせ先に電話がかかります。

通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する

通話中機能選択

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話、および 64K データ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 本機能を「通常着信」または「留守番電話」に設定している場合、通話中に 64K データ通信の着信があったときは、本機能は動作しません。
- 本機能を「通常着信」に設定している場合、通話中にテレビ電話がかかってきたときは、本機能は動作しません。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を開始に設定してください。

1 Menu 8 7 8

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
通話中着信動作選択 お買い上げ時 通常着信	通話中に電話がかかってきたときの対応方法を設定します。 9▶1～4 **通常着信：** キャッチホンを開始に設定しているときは、キャッチホンが動作します。キャッチホンを停止に設定しているときは、次のいずれかの操作が行えます。 • 音声通話または64Kデータ通信を終了し、音声電話に応答できます。 • 音声通話中にかかってきた音声電話をサブメニューから留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。 • 留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始に設定しているときは、各サービスが動作します。 **留守番電話：** 通話中にかかってきた音声電話またはテレビ電話に留守番電話サービスで応答します。 **転送でんわ：** 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信を転送します。 • 64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信があった場合は転送されません。 **着信拒否：** 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信を着信拒否します。
通話中着信設定開始	通話中着信動作選択で設定した対応方法を有効にします。 81▶「はい」
通話中着信設定停止	82▶「はい」
通話中着信設定確認	83▶「はい」

おしらせ

● 通話中着信動作がいずれの設定の場合でも、着信履歴に記録されます。

遠隔操作を設定する

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。

1 Menu 8 7 8 2

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
遠隔操作開始	1▶「はい」
遠隔操作停止	2▶「はい」
遠隔操作設定確認	3▶「はい」

マルチナンバーを利用する

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけます。

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

1 Menu 8 7 8 7

つづく▶

2 以下の操作を行う

項目	操作方法
通常発信番号設定	通常発信番号設定を切り替えると、設定した番号で電話をかけられます。 1 ▶ 1～3 ▶「はい」
通常発信番号設定確認	2 ▶「はい」
電話番号設定 お買い上げ時 基本契約番号：基本契約番号／自局電話番号 付加番号1：付加番号1／未登録 付加番号2：付加番号2／未登録 マルチナンバー発信：無効	マルチナンバー契約済み電話番号の設定をします。 3 ▶**各項目を設定**▶ 📖 **名称：** 付加番号1／付加番号2ごとに設定できます（全角10文字（半角20文字）まで）。基本契約番号の名称は、自局番号で設定した名前が表示されます。 **電話番号：** 契約済みの付加番号1／付加番号2を設定します。 **マルチナンバー発信：** 「有効」に設定すると、電話をかけるときに、サブメニューから相手に通知する番号を選べます。
着信設定 お買い上げ時 OFF	付加番号ごとに着信音などを設定します。 4 ▶ 1～2 ▶**各項目を設定**▶ 📖 **個別設定：** 個別に着信設定するかどうかを選択します。 **着信音、イメージ表示：** 設定方法は☛P122

相手に通知する番号を選んで発信する

電話をかけるときに、相手に通知する番号を選べます。

- 電話番号設定のマルチナンバー発信を「無効」に設定すると、マルチナンバーを選択できません。

1 電話番号を入力 ▶ Menu 4

- リダイヤルから発信する：◎ ▶ リダイヤルから相手を選び Menu 3
- 着信履歴から発信する：◎ ▶ 着信履歴から相手を選び Menu 3

2 1～3 ▶ Menu

おしらせ

- リダイヤルには、発信時に通知したマルチナンバーに対応した名称が表示されます。
- 着信履歴には、着信したマルチナンバーに対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、発信・着信したときのマルチナンバーに対応した名称が表示されていないときは、通常発信番号設定に従って発信します。

OFFICEEDを利用する

OFFICEED

OFFICEEDは指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

1 Menu 8 7 6

2 以下の操作を行う

項目	操作方法
エリア表示設定 お買い上げ時 OFF	OFFICEED エリア内にいるときに、待受画面に OFFICEED を表示するかどうかを設定します。 1 ▶ 1～2
圏外転送開始	2 ▶「はい」
圏外転送停止	3 ▶「はい」
圏外転送設定確認	4 ▶「はい」

2in1を利用する

2in1

1つの携帯電話で、2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- 2in1をご契約の場合に、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行うときは、正しいBナンバーを取得するために、FOMAカードを差し替える前に2in1をOFFにし、FOMAカードを差し替えた後に再度2in1をONにしてください。☛P427

また、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1 未契約者）を行うときも、正しい所有者情報に更新するために、FOMAカードを差し替える前に2in1をOFFにしてください。

各モードについて

- Aモード
  お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
- Bモード
  2in1電話番号(Bナンバー)での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
- デュアルモード
  A・Bモードの両方の機能を備えたモードです。
- 各モードごとの動作について☛P428

注意事項

- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。☛P238
- ｉモードをご契約の場合、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1をご契約されていない場合やOFFのとき、デュアルモードのとき、Aモードのときに電話帳を登録すると、電話帳2in1設定が「A」に登録されます。Bモードのときに登録すると「B」に登録されます。
- Bモードのときはメール／SMSの作成・送信、送信メールの検索ができません。
- BモードのときはMail To機能の利用ができません。
- 海外ではBナンバーで発信できません。
- 海外で電話をかける場合、デュアルモードのときはAナンバーで発信されます。
- 各機能で全件削除やフォルダの削除をしたり、データ一括削除をすると、利用中の2in1のモードに関わらず、すべてのデータが削除されます。
- テロップ表示設定は、モードごとに設定できます。
- デュアルモードのときに電話帳を利用する場合、電話帳2in1設定の設定に関わらず、Aアドレスでｉモードメールを、AナンバーでSMSを送信します。
- ｉモードメール／SMS、留守番電話の伝言メッセージの件数表示は、AモードのときはAナンバー／Aアドレスのみ、BモードのときはBナンバー／Bアドレスのみ、デュアルモードのときや2in1がOFFのときはすべての件数が表示されます。
- 外部機器から発信を行った場合、モードに関わらず、Aナンバーで発信します。

1 Menu 8 7 7 ▶ **端末暗証番号を入力**

- 2in1がOFFの場合、ONにするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、2in1がONになり、デュアルモードに設定されます。

2 **以下の設定を行う**

項　目	操作方法
2in1モード切替 お買い上げ時 デュアルモード	2in1のモードを切り替えます。各モードに対応して、電話帳や着信履歴などの表示が切り替わります。 1 ▶ 1 〜 3
電話帳2in1設定	各モードで表示させるFOMA端末電話帳を設定します。「共通」に設定した電話帳は、Aモード／Bモード両方で表示されます。 • FOMA端末電話帳のみ設定できます。 ① 2 ▶ **「A」／「B」／「共通」** ② **電話帳を検索 ▶ 相手を選択** • 電話帳一覧に電話帳2in1設定のアイコンが表示されます。 AB：共通　A：A　B：B • [切替]を押して、設定を変更できます。 ③ [m] ▶ **「はい」**
モード別待受画面設定 お買い上げ時 ●デュアルモード待受画面：OPEN ●Bモード待受画面：Bourbon street	デュアルモードのときとBモードのときの待受画面を設定できます。 3 ▶ 1 〜 2 ▶ **画像を選択** 設定方法は☛P135 • 静止画、アニメーション、パラパラマンガが設定できます。
発着信番号設定 お買い上げ時 ●Bナンバー着信設定：メロディ／パターン1（電話着信音設定）、メロディ／電話・メロディC（テレビ電話着信音設定） ●Bナンバー識別表示：ON	■ **Bナンバー着信設定を設定する：** Bナンバーへの着信時の着信音を設定します。 4 1 ▶ 1 〜 2 ▶ **各項目を設定 ▶** [m] 設定方法は☛P126 ■ **Bナンバー識別表示を設定する：** Bナンバーを利用するとき、発着信中や通話中画面に表示される「通話中」などの表示に「《》」を付けて表示するように設定できます。例えば、通話中は「《通話中》」と表示されます。 4 2 ▶ 1 〜 2
2in1機能OFF	2in1をOFFにします。 5 ▶ **「はい」**

モードごとに動作が異なる機能

モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています（Aモードと共通の動作をするものは除いています）。

サービス	Aモード	Bモード	デュアルモード
電話／テレビ電話			
発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
着信	すべて		
電話帳			
表示※2、※3	「A」／「共通」設定の電話帳	「B」／「共通」設定の電話帳	すべての電話帳
名前の表示※4	「A」／「共通」設定	「B」／「共通」設定	すべて
新規登録時の電話帳2in1設定	「A」	「B」	「A」
赤外線／iC通信での通信			
全件受信	送信元の電話帳2in1設定に従う※5		
1件受信	「A」	「B」	「A」
microSDメモリーカードから本体への復元／コピー			
復元	バックアップ時の電話帳2in1設定に従う※5		
1件コピー	「A」	「B」	「A」
FOMAカード電話帳			
本体からFOMAカードへコピー	「共通」（FOMAカード電話帳は電話帳2in1設定の変更はできません。）		
FOMAカードから本体へコピー	「A」	「B」	「A」
リダイヤル表示	Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべての発信
着信履歴表示	Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべての着信
メール／SMS			
表示※3	[FOMA端末] Aアドレス／Aナンバーで送受信したメール／SMS	[FOMA端末] • 端末に保存したBアドレス宛の受信メール（WEBメールサイト上での［端末に保存］操作をしたメール）や新着通知メール・アラーム通知メール • Bナンバーで受信したSMS [WEBメールサイト] Bアドレスで送受信したメール	[FOMA端末] • Aアドレスで送受信したメール、端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール • Aナンバーで送受信したSMS • Bナンバーで受信したSMS [WEBメールサイト] Bアドレスで送受信したメール
送信	[FOMA端末] Aアドレス／Aナンバーからのメール／SMS	[FOMA端末] メール／SMS送信不可 [WEBメールサイト] Bアドレスからのメール	[FOMA端末] Aアドレス／Aナンバーからのメール／SMS※6 [WEBメールサイト] Bアドレスからのメール
受信			
Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS			
	鳴動あり	鳴動なし	鳴動あり
端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／Bナンバー宛のSMS			
	鳴動なし	鳴動あり	鳴動あり
赤外線／iC通信での通信			
全件受信	送信側の状態を引き継ぐ※5		
1件受信	Aアドレス／Aナンバーとしてコピー		

サービス	Aモード	Bモード	デュアルモード
メール／SMS			
microSDメモリーカードから本体への復元／コピー			
復元	バックアップ時の状態を引き継ぐ※5		
1件コピー	Aアドレス／Aナンバーとしてコピー		
FOMAカード（SMSのみ）			
本体からFOMAカードへ移動／コピー	自分のナンバーの情報を削除して移動／コピー		
FOMAカードから本体へ移動／コピー	すべてAナンバーとして移動／コピー		
プッシュトーク			
発信	Aナンバー	利用不可	Aナンバー
着信	Aナンバー		
プッシュトーク電話帳	「A」／「共通」設定の電話帳	利用不可	「A」／「共通」設定の電話帳
ｉアプリ	すべて利用可能	利用可能※7	利用可能※8
自局番号表示	Aナンバー／Aアドレス	Bナンバー／Bアドレス	A／Bナンバー A／Bアドレス

※ 1：電話帳から発信する場合、電話帳 2in1 設定が「A」／「共通」の電話帳の場合は A ナンバーで、「B」の電話帳の場合は B ナンバーで発信されます（クイックダイヤル、イヤホンスイッチ発信でも同様です）。デュアルモードのときは、発信オプションの「自局番号」から、発信するナンバーを選択できます。
※ 2：シークレット属性を設定した電話帳データは、2in1 のモードに関わらず、シークレットモードを設定していないときは表示されません。
※ 3：microSD メモリーカード内の電話帳、メール、SMS は、2in1 のモードに関わらずすべて表示されます。
※ 4：電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している場合、発信中、呼出中、通話中、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先などに、電話帳に登録している名前が表示されます。
※ 5：送信元やバックアップ時の端末が 2in1 非対応機種の場合、電話帳の電話帳 2in1 設定はすべて「A」になります。メール／ SMS のときは A アドレス／ A ナンバーとして復元されます。
※ 6：電話帳 2in1 設定が「B」の電話帳からも A アドレス／ A ナンバーからのメール／ SMS 送信となりますのでご注意ください。
※ 7：メール機能を利用する ｉ アプリ、ｉ アプリ待受画面は利用できません。
※ 8：ｉ アプリ待受画面は利用できません。

新しいネットワークサービスを登録する
追加サービス（USSD登録）

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 Menu 8 7 8 1

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
USSD登録	■ 登録する： 1 ▶ サービスを登録・変更する番号を選び 🄼 ▶ USSDコード欄 ▶ 入力 ▶ 名称欄 ▶ サービス名を入力（全角10文字（半角20文字）まで） ▶ 🄼 • 最大10件登録できます。 • USSDコード欄には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。 ■ サービスを利用する： 1 ▶ 1 ～ 9 ／ 0 登録されたコードがサービスセンターに発信されます。 ■ 登録したサービスを削除する： 1 ▶ サービスを選び Menu 1（全件削除するときは Menu 2） ▶「はい」
応答メッセージ登録	追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。 ■ 登録する： 2 ▶ 1 ～ 9 ／ 0 ▶ USSDコード欄 ▶ 入力 ▶ 応答メッセージ欄 ▶ 入力（全角10文字（半角20文字）まで） ▶ 🄼 • 最大10件登録できます。 ■ 登録したメッセージを削除する： 2 ▶ メッセージを選び Menu 1（全件削除するときは Menu 2） ▶「はい」

データ通信

データ通信について、詳しくは付属のCD-ROM内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。PDF版「データ通信マニュアル」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン 6.0 以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照願います。

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信の形態や利用時の留意点について説明します。

- FOMA端末はFAX通信やRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末をドコモのPDA「musea」「sigmarion Ⅱ」「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行えます。musea、sigmarion Ⅱを利用する場合はアップデートが必要です。アップデートなどの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本FOMA端末は海外でのパケット通信、64Kデータ通信にはご利用いただけません。
- 本FOMA端末は、IP接続に対応しておりません。

FOMA 端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。
これらの通信は、付属のCD-ROMから関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA 端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

■ パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速で送受信するのに適しています。ネットワークに接続していても、データを送受信していないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera U / moperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大 384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ 64Kデータ通信

64Kデータ通信は64kbpsの安定した通信速度でデータ送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmopera U / moperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用します。
長時間にわたる通信をした場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

電話帳やメール、ブックマークなどの各種データを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。

- 赤外線通信／iC通信でも、他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータ転送できます。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS※2	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）
必要メモリ	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量

※ 1：USB ポート（USB 仕様 1.1/2.0 に準拠）が必要です。
※ 2：OS アップグレードからの動作は保証対象外です。

おしらせ

● 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用やOSアップグレードによるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器について

FOMA 端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA USB 接続ケーブル（別売）または FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA D904i用CD-ROM」

おしらせ

● USBケーブル※1は専用の「FOMA　USB接続ケーブル」または「FOMA　充電機能付USB接続ケーブル　01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
※ 1：本書では、FOMA USB 接続ケーブルの場合で説明しています。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降、プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera U / moperaをご利用いただけます。mopera Uは、お申し込みが必要（有料）です。ブロードバンド接続などに対応し、使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、moperaは、お申し込み不要、月額使用料無料です。今すぐインターネットに接続できます。利用料などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはFOMAのパケット通信に対応した接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- PIAFS などの PHS64K ／ 32K データ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（ID とパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークで ID とパスワードを入力して接続してください。ID とパスワードはプロバイダまたは社内 LAN など接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）の認証を行う場合は付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳しくは付属のCD-ROM内の「簡易操作マニュアル（FirstPassManual.pdf）」をご覧ください。ご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同 CD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerのヘルプを参照願います。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先が FOMA のパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の用語集

● 管理者権限

Windows XP、Windows 2000、Windows Vistaを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

● APN（Access Point Name）

パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。mopera Uは「mopera.net」が、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

● cid（Context Identifier）

パケット通信の接続先（APN）を FOMA 端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。

お買い上げ時、cid 1には「mopera.ne.jp」、cid 3には「mopera.net」が登録されています。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信または 64K データ通信を利用する場合の準備は次のような流れになります。

① 通信設定ファイルのインストール
② パソコンとFOMA端末の接続
③ 通信設定ファイルの確認

↓

FOMA PC設定ソフトのインストール

↓

（かんたん設定）パケット通信設定 ／ （かんたん設定）64Kデータ通信設定

↓

通信実行

↓

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定 ▶ 接続

通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、付属のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。
FOMA端末は、ATコマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

- ATコマンドから発信した場合、2in1のモードによって以下のようになります。
  - ・発信者番号：
    2in1のモードに関わらずAナンバーで発信します。
  - ・電話帳発信：
    2in1がAモードのときは電話帳2in1設定が「B」の電話帳は利用できません。Bモードのときは「A」の電話帳は利用できません。デュアルモードのときはすべての電話帳が利用できます。
  - ・リダイヤル発信：
    2in1がAモードのときはAナンバーの最新のリダイヤル、BモードのときはBナンバーの最新のリダイヤルに発信されます。

CD-ROMについて

取扱説明書付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「データ通信マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

■ 収録ソフト／PDF

- D904i通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- mopera Uのご案内（mopera Uかんたんスタート／Uかんたん接続設定ソフト／Uオリジナルデータ取得ソフト）
- PDF版「データ通信マニュアル」／「Manual for Data Communication」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- Adobe® Reader® 8.0
- ナップスター®のご案内
- Motion Smoothy 4

警告画面が表示された場合

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
［はい］をクリックしてください。

- 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

- Windows Vistaの場合、付属のCD-ROMをパソコンにセットすると自動再生画面が表示されることがあります。「rundll32.exeの実行」をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記のページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記のページへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途FOMA USB接続ケーブルの購入が必要となります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、海外の通信事業者のネットワークを利用して、海外でも通話やｉモードなどを利用いただけるサービスです。

- 国内で使用している電話番号やメールアドレスを海外でも利用できます。
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- WORLD WING対応のFOMAカード（青色以外）をFOMA端末に取り付けておく必要があります。
- 海外のドコモのローミングエリア※1のみで利用できます。エリアやご利用料金について詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

※1：本FOMA端末は3Gローミングエリアのみ対応しています。GSM／GPRSサービスエリアではご利用になれません。

■ 主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は以下の番号を使用してください（2007年6月現在）。

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	日本	81
インドネシア	62	ニューカレドニア	687
エジプト	20	ニュージーランド	64
オーストラリア	61	ノルウェー	47
オーストリア	43	ハンガリー	36
オランダ	31	フィジー	679
カナダ	1	フィリピン	63
韓国	82	フィンランド	358
ギリシャ	30	フランス	33
シンガポール	65	ブラジル	55
スイス	41	ベトナム	84
スウェーデン	46	ペルー	51
スペイン	34	ベルギー	32
タイ	66	香港	852
台湾	886	マカオ	853
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	マレーシア	60
		モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7

- このほかの国番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

海外で利用できるサービスについて

利用できる通信サービスや機能は、国内で利用する場合と海外で利用する場合で異なります。また、海外でどの通信事業者を利用するかによっても異なります。

- 国際ローミング中に利用できる通信サービスについての詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

海外で利用できる通信サービス※1

- 海外では次の通信サービスをご利用になれます。
  - ・音声電話※2　・テレビ電話※2、※3
  - ・ｉモードメール　・SMS
  - ・ｉモード（フルブラウザを含む）
  - ・ｉチャネル※4、※5

※1：通信事業者や地域によっては利用できない場合があります。

※2：2in1のBナンバーでは発信ができません。

※3：海外の特定の3G通信事業者の利用者または日本のFOMA端末の利用者と国際テレビ電話が可能です。

※4：自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。海外でｉチャネル設定を行う必要があります。月額料金のほかにパケット通信料が課金されます。

※5：海外利用時には、ベーシックチャネルの自動更新についても通信料がかかります（日本国内では、月額サービス利用料に含まれます）。

- 海外では、パソコンと接続してのパケット通信と64Kデータ通信はご利用になれません。

おしらせ

- 国際ローミング中は、メッセージＦの受信、着もじの送受信、プッシュトークの発着信、スキャン機能のパターンデータ更新と自動更新設定、ソフトウェア更新の利用はできません。ただし、障害を引き起こす可能性のあるデータの削除やアプリケーションの起動の中止はできます。
- 滞在国のネットワークの状況などにより、通話・待受時間が通常の半分程度になることがあります。
- 海外では、現在地確認（☛P299）を除き、GPS機能をご利用になれません。

● GPS機能のサービス利用設定を設定するとき、ローミング対応している海外の国から接続すると、GPSサービス利用設定のサイトへパケット接続されますが、エラー画面が表示され、パケット料金が発生します。
● GPS機能の現在地確認を行った場合、ローミング対応している国では「地図を見る」を選択すると地図サイトへ接続されますが、エラー画面が表示され、パケット料金が発生します。

SMSの送受信について

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信する場合の宛先の指定は次の表のとおりです。また、相手側が対応していない文字が本文中に含まれている場合は、それらの文字は正しく表示されないことがあります。詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

相手	SMSの宛先の指定
ドコモ（FOMA端末）	国内と同様に、相手の電話番号をそのまま入力します。
他の海外通信事業者	送信時は、相手の電話番号の先頭に「+」、「国番号」と相手の電話番号を加えた番号を入力します。また、「010」「国番号」「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（電話番号が「0」で始まる場合は「0」を省略して入力してください）。受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください。

ネットワークサービスの設定操作

海外でネットワークサービスを利用する際には、開始／停止などの操作が可能でも、サービス内容に制限があったり、サービス自体を利用できない場合があります。
詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

- FOMAネットワークでは、下記のすべてのネットワークサービスが設定可能です。

サービス名	説明
着もじ	サービスを利用できません。
留守番電話サービス	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
キャッチホン	
転送でんわサービス	
迷惑電話ストップサービス	
発信者番号通知サービス	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。また、発信者番号が正しく通知できない場合があります。
番号通知お願いサービス	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
公共モード（ドライブモード）	設定はできますが、サービスは利用できません。海外では設定を解除してください。
デュアルネットワークサービス	設定できません。
英語ガイダンス	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
マルチナンバー	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。付加番号での発信はできません。付加番号に着信はできますが、どの番号に対する着信であるか判別できない場合があります。
ローミングガイダンス設定	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
ローミング時着信規制	
留守番電話サービス（海外）	設定、サービスを利用できます。
転送でんわサービス（海外）	
番号通知お願いサービス（海外）	
ローミングガイダンス（海外）	
遠隔操作設定（海外）	

海外でご利用になる前の確認

海外で利用する場合は、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』も合わせてご覧ください。

- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、海外事業者の都合で請求が1ヶ月程度遅れる場合がございます。
- 海外で利用する場合、通話料金で表示される料金は、かけた場合と受けた場合の両方がカウントされます。ただし、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。

海外でのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、利用累積額精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです（2007年6月現在）。

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00	トルコ	00
アメリカ合衆国	011	ニュージーランド	00
アラブ首長国連邦	00	ノルウェー	00
イギリス	00	ハンガリー	00
イタリア	00	フィリピン	00
インド	00	フィンランド	00／990
インドネシア	001		
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0041／0021／0023
カナダ	011		
韓国	001		
ギリシャ	00	ベトナム	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポーランド	00
スウェーデン	00	ポルトガル	00
スペイン	00	香港	001
タイ	001	マカオ	00
台湾	002	マレーシア	00
チェコ	00	モナコ	00
中国	00	ルクセンブルグ	00
デンマーク	00	ロシア	810
ドイツ	00		

■ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです（2007年6月現在）。

ご利用地域	国際識別番号	ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00	台湾	00
アメリカ合衆国	011	中国	00
アルゼンチン	00	デンマーク	00
イギリス	00	ドイツ	00
イスラエル	014	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
オーストラリア	0011	ハンガリー	00
オーストリア	00	フィリピン	00
オランダ	00	フィンランド	990
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ブラジル	0021
コロンビア	009	ベルギー	00
シンガポール	001	ポルトガル	00
スイス	00	香港	001
スウェーデン	00	マレーシア	00
スペイン	00	南アフリカ共和国	09
タイ	001	ルクセンブルグ	00

- 一部ご利用になれない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、表に記載のある国のみご利用可能です。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側に確認してからご利用ください。
- 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

充電について

- ACアダプタの取扱上の注意について☛P19
- ACアダプタの充電方法について☛P41、P42

出発前の準備

- 海外からｉモードでサイト表示する場合は、「ｉMenu」→「料金＆お申込・設定」→「オプション設定」→「海外利用設定」→「ｉモード利用設定」で設定してください。
- 海外でネットワークサービスを利用する前に、あらかじめ遠隔操作設定を開始に設定しておく必要があります。遠隔操作設定は滞在先から設定することもできますが、出発前に日本国内で設定しておくことをおすすめします。
- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、留守番電話サービスや転送でんわサービスのご契約が必要です。

・海外の通信事業者によっては、ネットワークサービスの設定や確認ができない場合があります。ご出発前に『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』または『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

おしらせ

● 準備や設定について、詳細は『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

滞在先での利用

お買い上げ時の設定では、海外に到着後、FOMA端末の電源を切った状態から電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に識別されます。☛P440

・本FOMA端末は3Gローミングエリアのみ対応しています。

ディスプレイの表示、日付・時刻について

海外利用中は、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。

・利用中の通信事業者の表示は、オペレータ名表示設定で設定できます。

・待受画面に滞在中の都市の時刻を表示させるには、デュアル時計設定を「ON」に設定するか時計表示設定でデザインを「世界時計」に設定します。

帰国後の設定について

日本に帰国したときは、FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。ネットワークサーチ設定で「マニュアル」に設定している場合は、「オート」に設定し直してください。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

・自分と相手がFOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は、テレビ電話が利用できます。接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

・テレビ電話の場合、接続先の端末によりFOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

日本や滞在国外に電話をかける

「+」を入力して電話をかけたり、発信オプションを利用して電話をかけます。

「+」を利用して電話をかける

1 **0（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力**

・0を1秒以上押すと「+」が入力されます。

・海外から日本に電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。

・地域番号（市外局番）が「0」で始まるときは「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになるときは「0」が必要です）。

2 **（音声電話）または（テレビ電話）▶「はい」**

発信オプションを利用して電話をかける

1 **地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶Menu 2**

■ テレビ電話で発信する：発信方法欄▶2

2 **国際電話発信欄▶2**

3 **国番号欄▶国際電話をかける国番号を選択**

4 **Menu▶「はい」**

・発信方法で「テレビ電話」を選択した場合は、を押し「はい」または「元の番号で発信」を選択すると、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

電話帳を利用して電話をかける

・電話帳に登録している電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。

・国際ダイヤルアシスト設定の国番号変換を「ON」に、国番号設定を電話をかける国に設定しておく必要があります。

1 **電話帳を検索▶相手を選ぶ**

2 **（音声電話）または（テレビ電話）▶「はい」**

滞在国内に電話をかける

日本国内と同じ操作方法で電話をかけられます。
- 滞在国内でも相手がWORLD WINGを利用している場合は、日本への国際電話としてかけてください。

1 地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[音声電話キー]（音声電話）または[テレビ電話キー]（テレビ電話）

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話番号入力の操作などの注意事項は「日本や滞在国外に電話をかける」と同じです。☛P439

「+」を利用して電話をかける

1 [0]（1秒以上）▶[8][1]▶90（または80）XXXXXXXXを入力

2 [音声電話キー]（音声電話）または[テレビ電話キー]（テレビ電話）▶「はい」

発信オプションを利用して電話をかける

1 90（または80）XXXXXXXXを入力▶[Menu][2]

■ テレビ電話で発信する：発信方法欄▶[2]

2 国際電話発信欄▶[2]

3 国番号欄▶「+81 日本」

4 [Menu]▶「はい」

おしらせ
- 電話帳を利用して電話をかけることもできます。

電話を受ける

日本国内と同じ操作方法で電話を受けられます。

1 電話がかかってくる▶[音声電話キー]
- テレビ電話の場合は[テレビ電話キー]を押しても受けられます。

■ 代替画像でテレビ電話を受ける：[メールキー]

日本から電話をかけてもらうとき

日本国内と同じように、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

1 090（または080）XXXXXXXXをダイヤルする

日本以外の国から電話をかけてもらうとき

発信国の「国際アクセス番号」と日本の国番号の「81」を先頭に付け、お客様の電話番号（0を省略）を入力して電話をかけてもらいます。

1 発信国の国際アクセス番号を入力▶81▶90（または80）XXXXXXXXをダイヤルする

おしらせ
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送になります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には国際転送料がかかります。

通信事業者の検索方法を設定する
ネットワークサーチ設定

利用中の通信事業者のネットワークが圏外になった場合に、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続し直すかどうかを設定します。
- 電波の状態やネットワークの状況によって設定できない場合があります。
- 2007年6月現在、日本国内ではNTT DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。
- 日本に帰国後、圏外表示の場合はネットワークサーチ設定が「オート」になっていることをお確かめください。

お買い上げ時　オート

1 [Menu][8][8][1][1]▶[1]～[3]

オート：
　自動的に接続可能なネットワークに設定します。

マニュアル：
　接続可能なネットワーク一覧が表示されます。接続先を選択します。
- ネットワークを再検索するときは、ネットワーク一覧で[Menu]を押します。

ネットワーク再検索：
接続可能なネットワークを再検索します。
- 「オート」に設定しているときは、自動的にネットワークに接続されます。
- 「マニュアル」に設定しているときは、接続可能なネットワークが一覧表示されます。接続先を選択してください。

優先的に接続する通信事業者を設定する　優先ネットワーク設定

ネットワークサーチ設定を「オート」に設定しているときに接続する通信事業者の登録や優先順位を設定します。
- 電波の状態やネットワークの状況などによっては、本機能で設定した優先順位どおりに通信事業者が優先されない場合があります。

通信事業者を登録する

- ドコモ指定優先ネットワークリストとして通信事業者が登録されています。既に登録されている通信事業者は登録できません。
- 最大20件登録できます。

1 Menu 8 8 1 3

2 Menu 1 ▶ **登録方法を選択**

■ 手動で登録する：
①1▶MCC欄▶国番号（3桁）を入力
②MNC欄▶オペレータコード(2〜3桁まで)を入力▶□

■ 通信事業者を選択する：
①2
②国名を選択する
- 「All Countries」を選択するとすべての通信事業者が表示されます。

③通信事業者を選び□
- 詳細情報を表示するには、通信事業者を選択します。

■ 現在利用できる通信事業者から選択する：
3▶通信事業者を選び□

3 **優先順位の位置を選択**▶□
選択した位置の前に追加されます。
- 「<最後に指定>」を選択すると、リストの最後に追加されます。

通信事業者の優先順位を変更する

1 Menu 8 8 1 3

2 **通信事業者を選び** Menu 2

3 **優先順位の位置を選択**▶□
選択した位置の前に追加されます。
- 「<最後に指定>」を選択すると、リストの最後に追加されます。

通信事業者を削除する

1 Menu 8 8 1 3

2 **通信事業者を選び** Menu 3 1

■ 複数削除する：Menu 3 2 ▶通信事業者を選択▶□

■ 全件削除する：Menu 3 3 ▶端末暗証番号を入力

3 **「はい」**▶□

ローミング中の通信事業者名の表示について　オペレータ名表示設定

現在接続している通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時　表示あり

1 Menu 8 8 1 2 ▶ 1 〜 2

おしらせ

● 「表示あり」に設定していても「DoCoMo」のネットワークを利用している場合や、圏外ではオペレータ名は表示されません。

海外在圏時に自動的に世界時計を表示する　デュアル時計設定

- 曜日以外の表示形式は時計表示設定に従います。
- 自動時刻・時差補正を「ON」に設定していると、接続している通信事業者のネットワークによる時差補正情報を受信したときに、デュアル時計が表示されます。

お買い上げ時　ON

1 Menu 8 8 3 ▶ 1 〜 2

おしらせ

- 時計表示設定のデザインを「世界時計」に設定しても、デュアル時計が表示されます。
- 次の場合は、デュアル時計は表示されません。
  - 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電が設定されている場合
  - ｉアプリ待受画面が設定されている場合

ローミングガイダンスを開始する

ローミングガイダンス設定

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すかどうかを設定します。

- 日本国内で設定してください。

1 Menu 8 7 5

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
ローミングガイダンス開始	1 ▶「はい」
ローミングガイダンス停止	2 ▶「はい」
ローミングガイダンス設定確認	3 ▶「はい」

おしらせ

- 転送電話サービスの設定により呼出音が異なります。
- 通信事業者によっては設定できない場合があります。
- ローミングガイダンス設定を行わない場合、通信事業者で設定している呼出音が流れます。

ローミング中は着信を受け付けないように設定する

ローミング時着信規制

すべての着信を受けないようにするか、テレビ電話の着信を受けないようにするかどうかを設定できます。

- 日本国内で設定してください。

1 Menu 8 8 1 9

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
ローミング時着信規制開始	① 1 ▶ 1 ～ 2 **全着信規制：** すべての着信を受けないようにします。 **テレビ電話／64Kデータ規制：** テレビ電話の着信を受けないようにします。 • 64Kデータ通信は利用できません。 ②「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力
ローミング時着信規制停止	2 ▶「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力
ローミング時着信規制確認	3 ▶「はい」

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外用サービス

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスの一部を利用します。あらかじめ遠隔操作ができるように設定しておく必要があります。

- 圏外では、海外用サービスの設定操作はできません。電波状況のよい場所で行ってください。
- 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。
- ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などをご覧ください。

1 Menu 8 8 1

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
留守番電話（海外）	① 4 ▶ 1 ～ 5 1：開始　2：停止 3：再生　4：設定 5：呼出時間設定 ②「はい」
転送でんわ（海外）	① 5 ▶ 1 ～ 3 1：開始　2：停止 3：設定 ②「はい」
遠隔操作設定（海外）	6 ▶「はい」
番号通知お願い（海外）	7 ▶「はい」
ローミングガイダンス（海外）	8 ▶「はい」

3 ガイダンスに従って操作

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

- メニューの表示は、メニューの表示形式（メニュー設定）によって異なります。
- 文字の全角／半角は、実際の表示と異なる場合があります。

□：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。

■ メール

メニュー	お買い上げ時	参照先
[1][1] 受信メール	―――――	P243
[1][2] 新規メール	―――――	P227
[1][3] チャットメール	―――――	P260
[1][4] 未送信メール	―――――	P243
[1][5] 送信メール	―――――	P243
[1][6] 問合せ・WEBメール		
[1][6][1] ｉモード問合せ	―――――	P238
[1][6][2] SMS問合せ	―――――	P264
[1][6][3] メール選択受信	―――――	P238
[1][6][4] ｉモード問合せ設定	すべて問い合わせる	P255
[1][6][5] WEBメール	―――――	P238
[1][7] SMS		
[1][7][1] SMS作成	―――――	P261
[1][7][2] FOMAカード（UIM）受信SMS	―――――	P265
[1][7][3] FOMAカード（UIM）送信SMS	―――――	P265
[1][7][4] SMS設定	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMSC：ドコモ アドレス： 81903101652 Type of Number： international	P264
[1][8] テンプレート読込み	―――――	P234
[1][9] メール設定		
[1][9][1] メール着信設定	着信音選択：メロディ／メール・メロディＡ 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P123
[1][9][2] チャットメール着信設定	着信動作設定：設定する 着信音選択：メロディ／メール・メロディＢ 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P123
[1][9][3] メール振り分け設定	すべてON	P253
[1][9][4] 署名設定	自動挿入：する 署名編集：未登録	P254
[1][9][5] メール返信設定		
[1][9][5][1] メール返信引用設定	引用：する 引用文字：>（半角）	P256
[1][9][5][2] クイック返信設定	ON	P256
[1][9][5][3] クイック返信本文登録	OKです。 NGです。 ありがとう！ ゴメンなさい！ 後ほど連絡します。	P256
[1][9][6] メールグループ	―――――	P255
[1][9][7] 受信・表示設定		
[1][9][7][1] 受信・自動送信表示	通知優先	P258
[1][9][7][2] メール選択受信設定	OFF	P255
[1][9][7][3] メール受信添付ファイル設定	すべて自動受信	P257
[1][9][7][4] 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P257
[1][9][7][5] メール一覧表示設定	2行表示	P256
[1][9][7][6] オンリービュー設定	OFF	P257

■ ｉモード

メニュー	お買い上げ時	参照先
[2][1] ｉMenu	―――――	P198
[2][2] Bookmark	―――――	P203
[2][3] Internet		
[2][3][1] URL入力	―――――	P202
[2][3][2] URL履歴	―――――	P202
[2][3][3] ラストURL	―――――	P200
[2][4] 画面メモ	―――――	P205
[2][5] ｉモード問合せ	―――――	P238
[2][6] メッセージR/F		
[2][6][1] メッセージR	―――――	P213
[2][6][2] メッセージF	―――――	P213
[2][6][3] メッセージ設定		
[2][6][3][1] メッセージ自動表示	メッセージR優先	P213
[2][6][3][2] ｉモード問合せ設定	すべて問い合わせる	P255
[2][6][3][3] 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P257

メニュー	お買い上げ時	参照先
2634 メッセージR着信設定	着信音選択：メロディ／メール・メロディC 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P124
2635 メッセージF着信設定	着信音選択：メロディ／メール・メロディC 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P124
27 iチャネル		
271 iチャネル一覧	―――――	P221
272 テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通	P222
273 iチャネル初期化	―――――	P222
28 iモード設定		
281 ツータッチサイト表示	未登録	P204
282 接続待ち時間設定	60秒間	P211
283 照明設定	端末設定に従う	P212
284 iモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	P99
285 証明書設定		
2851 証明書管理※1	すべて有効	P215
2852 ユーザ証明書操作	―――――	P216
2853 証明書発行接続先設定	ドコモ	P217
2854 暗証番号入力省略設定	省略する	P216
286 表示・効果設定	画像、アニメーション：表示する 端末情報データ利用設定：利用する 効果音設定：ON	P212
287 iモーション設定	自動再生する	P219
288 接続先設定	iモード(FOMAカード)	P211
29 フルブラウザ		
291 ホーム	―――――	P310
292 Bookmark	―――――	
293 Internet		
2931 URL入力	―――――	
2932 URL履歴	―――――	
2933 ラストURL	―――――	
294 フルブラウザ設定		
2941 ホーム設定	未登録	P315
2942 Cookie設定／削除	有効（確認なし）	P315
2943 Script設定	Script実行：有効 ウィンドウオープンガード：無効	P315
2944 表示モード設定	ケータイモード	P316
2945 画像表示設定	すべて表示する	P316
2946 アクセス設定	利用しない	P316
2947 Referer設定	送信する	P316
2948 画面表示設定	標準画面表示	P316

■ iアプリ

メニュー	お買い上げ時	参照先
31 ソフト一覧	―――――	P271
32 iアプリ設定		
321 ソフトの並べ替え	使用日時順	P283
322 自動起動設定	自動起動する	P279
323 ソフト情報表示設定	表示しない	P271
324 照明設定	端末設定に従う	P274
325 バイブレータ設定	使用する	P274
326 ツータッチiアプリ表示	未登録	P279
33 履歴表示	―――――	P273 P279 P281

■ 電話帳／履歴

メニュー	お買い上げ時	参照先
41 電話帳検索	全件表示（50音）	P108
42 電話帳登録	―――――	P103
43 FOMAカード（UIM）登録	―――――	P106
44 プッシュトーク電話帳	―――――	P94
45 着信履歴	―――――	P56
46 リダイヤル	―――――	P56
47 伝言メモ／音声メモ		
471 伝言メモ設定	停止する	P76
472 伝言メモ一覧	―――――	P79
473 音声メモ録音	―――――	P399
474 音声メモ一覧	―――――	P399
48 メール送受信履歴		
481 メール送信履歴	―――――	P251
482 メール受信履歴	―――――	P251
49 自局番号	自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録	P48 P398

■ データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照先
51 マイピクチャ	―――――	P318
52 ミュージック	―――――	P372
53 iモーション	―――――	P324
54 メロディ	―――――	P335
55 マイドキュメント	―――――	P362
56 キャラ電	―――――	P332
57 マチキャラ	―――――	P334
58 きせかえツール	未設定	P148

※1：各種設定リセットを行うと、FOMAカードに保存されている証明書もすべて有効になります。

メニュー	お買い上げ時	参照先
5 9 その他	―――――	P365

■ LifeKit

メニュー	お買い上げ時	参照先
6 1 バーコードリーダー	―――――	P194
6 2 赤外線・iC・PC連携		
6 2 1 赤外線受信	―――――	P355
6 2 2 赤外線全件送信	―――――	P354
6 2 3 iC全件送信	―――――	P359
6 2 4 受信済みデータ保存	―――――	P356
6 2 5 データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	P358
6 2 6 USBモード設定※2	通信モード	P347
6 3 トルカ	―――――	P289
6 4 ICカード		
6 4 1 ICカード一覧	―――――	P287
6 4 2 ICカードロック	OFF	P293
6 4 3 ICカードオートロック設定	OFF	P295
6 4 4 電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	P296
6 4 5 ICカードロック設定	暗証番号	P294
6 5 microSD	―――――	P343
6 6 カメラ		
6 6 1 静止画撮影	―――――	P182
6 6 2 動画撮影	―――――	P185
6 7 サウンドレコーダー	―――――	P361
6 8 電話帳お預かりサービス		
6 8 1 お預かりセンターに接続	―――――	P119
6 8 2 電話帳通信履歴表示	―――――	P119
6 8 3 送信設定	なし	P120
6 9 GPS		
6 9 1 現在地確認	―――――	P299
6 9 2 対応ｉアプリを利用	―――――	P302
6 9 3 位置履歴	―――――	P306
6 9 4 現在地確認設定		
6 9 4 1 現在地確認後動作設定	地図を見る	P300
6 9 4 2 測位モード設定	標準モード	P308
6 9 4 3 測位動作設定	鳴動音選択、バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒 イルミネーション設定：点灯／青-緑	P124
6 9 5 現在地通知		
6 9 5 1 現在地通知	―――――	P306
6 9 5 2 現在地通知設定		
6 9 5 2 1 現在地通知先一覧	―――――	P305
6 9 5 2 2 測位モード設定	標準モード	P308
6 9 5 2 3 測位動作設定	鳴動音選択：メロディ／パターン5 バイブレータ設定：パターンB 鳴動時間：10秒 イルミネーション設定：点灯／赤-青	P124
6 9 6 位置提供設定		
6 9 6 1 位置提供可否設定	位置提供OFF	P303
6 9 6 2 測位モード設定	標準モード	P308
6 9 6 3 サービス利用設定	―――――	P305
6 9 6 4 サービス利用／接続設定	ドコモ	P304
6 9 6 5 測位動作設定		
6 9 6 5 1 位置提供／許可	鳴動音選択：メロディ／パターン5 バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間：10秒 イルミネーション設定：点灯／緑-赤	P124
6 9 6 5 2 位置提供／毎回確認	鳴動音選択：メロディ／パターン5 バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間：10秒 イルミネーション設定：点灯／緑-赤	

■ ステーショナリー

メニュー	お買い上げ時	参照先
7 1 スケジュール帳	―――――	P388
7 2 メモ帳	―――――	P403
7 3 目覚まし	未設定	P387
7 4 電卓	―――――	P402
7 5 辞典	―――――	P404

■ 設定／NWサービス

メニュー	お買い上げ時	参照先
8 1 音／バイブ		
8 1 1 音の設定		
8 1 1 1 電話着信音		
8 1 1 1 1 電話着信音	メロディ／Vivaldism	P126
8 1 1 1 2 テレビ電話着信音	メロディ／電話・メロディA	
8 1 1 1 3 プッシュトーク着信音	メロディ／電話・メロディB	

※2：USBケーブル接続中は、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の状態には戻りません。

メニュー	お買い上げ時	参照先
81114 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P173
8112 メール・メッセージ着信音		
81121 メール着信音	メロディ／メール・メロディA	P126
81122 チャットメール着信音	メロディ／メール・メロディB	
81123 メッセージR着信音	メロディ／メール・メロディC	
81124 メッセージF着信音	メロディ／メール・メロディC	
8113 GPS測位鳴動音		
81131 現在地確認	OFF	P129
81132 現在地通知	メロディ／パターン5	
81133 位置提供／許可	メロディ／パターン5	
81134 位置提供／毎回確認	メロディ／パターン5	
8114 アラーム音		
81141 目覚まし音	メロディ／アラーム・メロディ	P129
81142 スケジュール音	アラーム：メロディ／アラーム・女性ボイス 予告アラーム： メロディ／パターン4	
8115 操作確認音		
81151 キー確認音	キー確認音1	P129
81152 スピードセレクター音	スピードセレクター音1	
81153 静止画撮影シャッター音	シャッター音1	P130
81154 動画撮影シャッター音	シャッター音1	
81155 スライド音	スライドオープン：メロディ／スライド・オープン音1 スライドクローズ：メロディ／スライド・クローズ音1	P130
8116 充電確認音	ON	P133
8117 通話保留・警告音		
81171 応答保留ガイダンス設定	内蔵音	P73
81172 通話保留音	保留音・ボイス	P73
81173 通話品質アラーム音	アラーム高音	P133
81174 再接続アラーム音	アラーム高音	P65
81175 電池アラーム音	ON	P44

メニュー	お買い上げ時	参照先
812 音量設定		
8121 電話着信音量	Level4	P130
8122 メール・メッセージ着信音量	Level4	
8123 GPS測位鳴動音量	Level4	
8124 受話音量	Level4	
8125 アラーム音量		
81251 目覚まし音量	Level4	P130
81252 スケジュール音量	Level4	
8126 ｉアプリ音量	Level4	
8127 トルカ取得音量	Level4	
8128 メロディ音量	Level4	
813 バイブレータ設定		
8131 電話着信時		
81311 電話着信時	OFF	P132
81312 テレビ電話着信時	OFF	
81313 プッシュトーク着信時	OFF	
8132 メール・メッセージ着信時		
81321 メール着信時	OFF	P132
81322 チャットメール着信時	OFF	
81323 メッセージR着信時	OFF	
81324 メッセージF着信時	OFF	
8133 GPS測位時		
81331 現在地確認時	OFF	P132
81332 現在地通知時	パターンB	
81333 位置提供／許可時	パターンC	
81334 位置提供／毎回確認時	パターンC	
8134 アラーム鳴動時		
81341 目覚まし鳴動時	OFF	P132
81342 スケジュール鳴動時	OFF	
8135 ｉアプリ利用時	ON	P132
814 マナーモード選択	通常マナーモード	P134
815 呼出動作開始時間設定	OFF	P174
816 ステレオ効果設定		
8161 動画（ｉモーション）	OFF	P131
8162 メロディ	ON	
8163 ミュージックプレイヤー	OFF	
817 FMトランスミッター設定	周波数：86.1MHZ ステレオ／モノラル切替：ステレオ	P377

メニュー	お買い上げ時	参照先
8 2 ディスプレイ		
8 2 1 待受画面設定		
8 2 1 1 待受画面選択	トータルコーディネイト設定に従う	P135
8 2 1 2 時計表示設定	デザインはトータルコーディネイト設定に従う 形式：24時間表示 表示位置はトータルコーディネイト設定に従う 曜日：英語	P155
8 2 1 3 電池アイコン設定	トータルコーディネイト設定に従う	P146
8 2 1 4 アンテナアイコン設定	トータルコーディネイト設定に従う	P146
8 2 1 5 カレンダー／待受カスタマイズ	パターン4 (エリア1設定、エリア2設定は未登録 エリア3設定：キーガイダンス)	P138
8 2 1 6 テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通	P222
8 2 2 メニュー設定		
8 2 2 1 メニュー設定※3	ノーマル：アニメーション セレクト： タイルアイコン アニメーションデザインはトータルコーディネイト設定に従う アイコン拡大表示：OFF 起動メニュー： ノーマル セレクトメニューショートカット：セレクト	P144
8 2 2 2 セレクトメニュー登録	スタンダード	P395
8 2 3 各種画面設定		
8 2 3 1 カラーテーマ設定	トータルコーディネイト設定に従う	P144
8 2 3 2 電話発着信画像設定		
8 2 3 2 1 電話発信設定	標準画像	P141
8 2 3 2 2 電話着信設定	標準画像	P141
8 2 3 2 3 テレビ電話発信設定	標準画像	P141
8 2 3 2 4 テレビ電話着信設定	標準画像	P141
8 2 3 2 5 人物画像表示設定	ON	P142
8 2 3 2 6 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P173
8 2 3 3 メール送受信画像設定		
8 2 3 3 1 メール送信画像設定	標準画像	P143

メニュー	お買い上げ時	参照先
8 2 3 3 2 メール受信画像設定	標準画像	P143
8 2 3 3 3 メール着信結果画像設定	標準画像	P143
8 2 3 3 4 問合せ画像設定	標準画像	P143
8 2 3 4 テレビ電話画像選択	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像	P86
8 2 4 照明設定		
8 2 4 1 点灯時間設定	通常時：10秒 ACアダプタ接続時、 iモード中：端末設定に従う 静止画撮影中、動画撮影中、iモーション：常灯 iアプリ： 端末設定に従う	P143
8 2 4 2 照明設定範囲	ディスプレイ+キー	P143
8 2 4 3 明るさ調整	標準	P143
8 2 5 イルミネーション設定		
8 2 5 1 着信	テレビ電話着信、音声着信：点滅／青 メール着信、メッセージR着信、メッセージF着信、チャットメール着信：ゆっくり点滅／緑 プッシュトーク着信： 点滅／赤 トルカ取得：ON／青	P152
8 2 5 2 通話中	OFF	P152
8 2 5 3 GPS測位	現在地確認： 点灯／青-緑 現在地通知： 点灯／赤-青 位置提供／許可、位置提供／毎回確認：点灯／緑-赤	P152
8 2 5 4 ICカードアクセス	ON／青	P152
8 2 5 5 スピードセレクター／その他	スピードセレクター： ON／青-緑-赤 ミックス 目覚まし、スケジュール：点滅／青-緑-赤 メロディ再生：メロディ連動 スライドオープン、スライドクローズ：ゆっくり点滅／青-緑	P152
8 2 6 不在着信お知らせ	ON	P153
8 2 7 文字表示設定		
8 2 7 1 文字サイズ設定	すべて中（標準）	P154
8 2 7 2 バイリンガル	Japanese	P156

※3：各種設定リセットを行うと、ノーマルとアニメーションデザインは、お買い上げ時の設定に戻ります。また、タイルアイコンデザインの「カスタム1」「カスタム2」で画像を設定していた場合、画像の設定が解除されます。

メニュー	お買い上げ時	参照先
828 トータルコーディネイト設定	ミラーワイン：リング スーパーホワイト：トロピカルフィッシュ ミラーブラック：ラインライト ブリリアントピンク：ありんこライフ	P147
829 マチキャラ設定	ON／ドコモダケ	P151
83 セキュリティ／ロック		
831 ロック		
8311 オールロック	未設定	P162
8312 パーソナルデータロック	OFF	P165
8313 ICカードロック		
83131 ICカードロック	OFF	P293
83132 ICカードオートロック設定	OFF	P295
83133 電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	P296
83134 ICカードロック設定	暗証番号	P294
8314 ダイヤル発信制限	OFF	P166
8315 プロテクトキーロック		
83151 プロテクトキー動作設定	スライドオープン時は解除	P171
83152 タイマープロテクトキーロック設定	OFF	P171
832 プライバシーモード設定	電話帳･履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリ、位置履歴（GPS）：表示する 自動起動：OFF	P166
833 着信／受信時表示設定	電話着信時表示、メール受信時表示：プライバシーモードに従う	P169
834 シークレットモード	未設定	P171
835 FOMAカード（UIM）	PIN1コード、PIN2コード：0000 PIN1コードON／OFF：OFF	P160
836 暗証番号変更	0000	P159
837 スキャン機能		
8371 パターンデータ更新	――――――	P493
8372 自動更新設定	――――――	P493
8373 スキャン機能設定	すべて有効	P492
8374 バージョン表示	――――――	P494
84 発着信・通話機能		
841 電話発着信設定		
8411 電話発信設定	標準画像	P141

メニュー	お買い上げ時	参照先
8412 電話着信設定	着信音： メロディ／Vivaldism イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション： 点滅／青	P122
842 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P173
843 エニーキーアンサー設定	ON	P69
844 イヤホン機能設定		
8441 イヤホン切替設定	イヤホン＋スピーカー	P406
8442 オート着信機能設定	OFF	P406
8443 イヤホンスイッチ設定	OFF	P406
8444 イヤホンマイク設定	イヤホンマイク	P407
845 メモリ着信拒否／許可		
8451 メモリ別着信拒否／許可	設定解除	P172
8452 メモリ登録外着信拒否	OFF	P175
846 発着信詳細設定		
8461 優先通信モード設定	設定なし	P71
8462 プレフィックス設定	009130010	P64
8463 サブアドレス設定	ON	P65
8464 着信中オープン応答	OFF	P69
847 通話詳細設定		
8471 ノイズキャンセラ設定	ON	P65
8472 通話中クローズ設定	通話継続	P70
848 セルフモード設定	OFF	P164
85 テレビ電話／トルカ／プッシュトーク		
851 テレビ電話		
8511 テレビ電話発信設定	標準画像	P141
8512 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／電話･メロディA イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション： 点滅／青	P122
8513 テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 受信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準） スピーカーホン設定：ON	P85

メニュー	お買い上げ時	参照先
8514 パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	P87
8515 テレビ電話画像選択	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像	P86
8516 テレビ電話使用機器設定	本体	P88
8517 テレビ電話切替機能通知		
85171 切替機能通知開始	――――	P87
85172 切替機能通知停止	――――	P87
85173 切替機能通知設定確認	――――	P87
852 トルカ		
8521 トルカ取得確認設定	イルミネーション設定：ON イルミネーションカラー：青 トルカ取得音量：レベル4	P124
8522 トルカ取得設定	トルカ取得設定、重複チェック設定：ON 自動振り分け設定、自動表示設定：OFF	P292
8523 自動読取機能設定	ON	P293
8524 トルカ振り分け設定	――――	P292
853 プッシュトーク		
8531 プッシュトーク着信設定	着信音： メロディ／電話・メロディB バイブレータ：OFF 着信イルミネーション：点滅／赤	P122
8532 プッシュトーク呼出時間設定	30秒	P98
8533 プッシュトーク番号通知設定	通知しない	P97
8534 プッシュトーク自動応答設定	自動応答なし	P98
8535 プッシュトーク中着信設定	通常着信	P98
8536 プッシュトーク中クローズ設定	継続	P99
8537 iモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	P99
8538 プッシュトークスピーカホン設定	ON	P100
86 時計／文字入力／その他		
861 時計		
8611 日付時刻設定※4	自動時刻･時差補正：ON オフセット時間：+、00時間00分	P46

メニュー	お買い上げ時	参照先
8612 自動電源ON設定	OFF	P386
8613 自動電源OFF設定	OFF	P386
8614 時計表示設定	デザインはトータルコーディネイト設定に従う 形式：24時間表示 表示位置はトータルコーディネイト設定に従う 曜日：英語	P155
8615 アラーム自動電源ON設定	OFF	P388
862 文字入力設定		
8621 単語登録	――――	P417
8622 ダウンロード辞書	――――	P418
8623 変換学習リセット	――――	P414
8624 定型文	――――	P416
8625 入力設定	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P411
863 文字サイズ設定	すべて中（標準）	P154
864 ソフトウェア更新	――――	P488
865 クイック起動設定	ON	P407
866 スライド編集設定	すべてON	P385
867 スピードセレクター設定	スピードセレクター：ON 移動方向：時計回り 待受起動機能：セレクトメニュー	P27
868 モーションコントロール設定	iモーション：横再生 フルブラウザ、ドキュメントビューア、インテリア時計、マチキャラ：ON 新着メールダイレクト表示、ミュージックスキップ、顔文字･絵文字･記号入力：OFF	P383
869 情報表示／リセット		
8691 通話時間	――――	P401
8692 通話料金		
86921 通話料金表示	――――	P401
86922 通話料金上限通知	OFF	P402
86923 上限通知アイコン消去	――――	P402
86924 通話料金自動リセット設定	OFF	P401
8693 メモリ確認	――――	P353
8694 設定状況確認	――――	P407
8695 電池レベル表示	――――	P43
8696 各種設定リセット	――――	P407

※4：各種設定リセットを行うと、自動時刻・時差補正（タイムゾーン、サマータイムを含む）とオフセット時間がお買い上げ時の設定に戻ります。

メニュー	お買い上げ時	参照先
8697 データ一括削除	―――	P408
8698 初期設定	日付時刻設定：ON（自動時刻・時差補正） 暗証番号設定：0000 プッシュトーク番号通知設定：通知しない 位置提供可否設定：位置提供OFF キー確認音設定：キー確認音1 スピードセレクター音設定：スピードセレクター音1 スライド音設定：メロディ／スライド･オープン音1（スライドオープン）、メロディ／スライド･クローズ音1（スライドクローズ） モーションコントロール設定：横再生（iモーション）、ON（フルブラウザ、ドキュメントビューア、インテリア時計、マチキャラ）、OFF（新着メールダイレクト表示、ミュージックスキップ、顔文字･絵文字･記号入力）	P45
87 NWサービス		
871 留守番電話		
8711 留守番サービス		
87111 留守番サービス開始	―――	P420
87112 留守番呼出時間設定	―――	
87113 留守番サービス停止	―――	
87114 留守番設定確認	―――	
87115 留守番メッセージ再生	―――	
87116 留守番サービス設定	―――	
87117 メッセージ問合せ	―――	
8712 件数増加鳴動設定	件数通知音：ON 通知メロディ：メール･メロディB	
8713 着信通知		
87131 着信通知開始	―――	
87132 着信通知停止	―――	
87133 着信通知開始設定確認	―――	
8714 表示消去	―――	
872 キャッチホン／転送でんわ		

メニュー	お買い上げ時	参照先
8721 キャッチホン		
87211 キャッチホン開始	―――	P421
87212 キャッチホン停止	―――	
87213 キャッチホン設定確認	―――	
8722 転送でんわ		
87221 転送サービス開始	―――	P422
87222 転送サービス停止	―――	
87223 転送先変更	―――	
87224 転送先通話中時設定	―――	
87225 転送サービス設定確認	―――	
873 着もじ		
8731 メッセージ作成	―――	P59
8732 メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	P60
874 番号通知		
8741 発信者番号通知		
87411 発信者番号通知設定	―――	P48
87412 発信者番号通知確認	―――	P48
8742 番号通知お願いサービス		
87421 番号通知開始	―――	P423
87422 番号通知停止	―――	
87423 番号通知設定確認	―――	
875 ローミングガイダンス設定		
8751 ローミングガイダンス開始	―――	P442
8752 ローミングガイダンス停止	―――	
8753 ローミングガイダンス設定確認	―――	
876 OFFICEED		
8761 エリア表示設定	OFF	P426
8762 圏外転送開始	―――	
8763 圏外転送停止	―――	
8764 圏外転送設定確認	―――	
877 2in1設定		
8771 2in1モード切替	デュアルモード	P427
8772 電話帳2in1設定	―――	
8773 モード別待受画面設定	デュアルモード待受画面：OPEN Bモード待受画面：Bourbon street	

メニュー	お買い上げ時	参照先
8774 発着信番号設定		
87741 Bナンバー着信設定	電話着信音設定：メロディ／パターン1 テレビ電話着信音設定：メロディ／電話・メロディC	P427
87742 Bナンバー識別表示	ON	P427
8775 2in1機能OFF	―――	P427
878 その他のNWサービス		
8781 追加サービス		
87811 USSD登録	―――	P430
87812 応答メッセージ登録	―――	P430
8782 遠隔操作設定		
87821 遠隔操作開始	―――	P425
87822 遠隔操作停止	―――	P425
87823 遠隔操作設定確認	―――	P425
8783 迷惑電話ストップ		
87831 迷惑電話着信拒否登録	―――	P423
87832 電話番号指定拒否登録	―――	P423
87833 迷惑電話全登録削除	―――	P423
87834 迷惑電話1登録削除	―――	P423
87835 拒否登録件数確認	―――	P423
8784 英語ガイダンス		
87841 ガイダンス設定	―――	P424
87842 ガイダンス設定確認	―――	P424
8785 デュアルネットワーク		
87851 デュアルネットワーク切替	―――	P424
87852 デュアルネットワーク状態確認	―――	P424
8786 サービスダイヤル		
87861 ドコモ故障問合せ	―――	P424
87862 ドコモ総合案内・受付	―――	P424

メニュー	お買い上げ時	参照先
8787 マルチナンバー		
87871 通常発信番号設定	―――	P426
87872 通常発信番号設定確認	―――	P426
87873 電話番号設定	基本契約番号：基本契約番号／自局電話番号 付加番号1： 付加番号1／未登録 付加番号2： 付加番号2／未登録 マルチナンバー発信：無効	P426
87874 着信設定	OFF	P426
8788 通話中着信設定		
87881 通話中着信設定開始	―――	P425
87882 通話中着信設定停止	―――	P425
87883 通話中着信設定確認	―――	P425
8789 通話中着信動作選択	通常着信	P425
88 国際ローミング／ダイヤルアシスト		
881 国際ローミング設定		
8811 ネットワークサーチ設定	オート	P440
8812 オペレータ名表示設定	表示あり	P441
8813 優先ネットワーク設定	―――	P441
8814 留守番電話（海外）		
88141 留守番サービス開始	―――	P442
88142 留守番サービス停止	―――	P442
88143 留守番メッセージ再生	―――	P442
88144 留守番サービス設定	―――	P442
88145 留守番呼出時間設定	―――	P442
8815 転送でんわ（海外）		
88151 転送サービス開始	―――	P442
88152 転送サービス停止	―――	P442
88153 転送サービス設定	―――	P442
8816 遠隔操作設定（海外）	―――	P442
8817 番号通知お願い（海外）	―――	P442
8818 ローミングガイダンス（海外）	―――	P442

メニュー	お買い上げ時	参照先
8819 ローミング時着信規制		
88191 ローミング時着信規制開始	――――	P442
88192 ローミング時着信規制停止	――――	P442
88193 ローミング時着信規制確認	――――	P442
882 国際ダイヤルアシスト設定		
8821 自動変換機能設定	国番号変換：ON 国際プレフィックス変換：ON	P63
8822 国番号設定	国番号：81 国名称：日本	P63
8823 国際プレフィックス設定	名称：World Call 国際アクセス番号：009130010	P64
883 デュアル時計設定	ON	P441

■ ミュージックプレイヤー

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 ミュージックプレイヤー	――――	P372

■ 自局番号

メニュー	お買い上げ時	参照先
0 自局番号	自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録	P48 P398

シンプルメニューのメニュー一覧

- 1 でんわ
  - 1 電話帳検索
  - 2 電話帳登録
  - 3 リダイヤル
  - 4 着信履歴
  - 5 伝言メモ一覧
  - 6 メール送受信履歴
  - 7 自局番号
- 2 メール
  - 1 受信メール
  - 2 送信メール
  - 3 未送信メール
  - 4 新規メール
  - 5 ｉモード問合せ
- 3 カメラ
  - 1 カメラ
  - 2 マイピクチャ
  - 3 待受画面設定
- 4 ｉモード
  - 1 ｉメニュー
  - 2 ブックマーク
  - 3 ラストURL
  - 4 画面メモ
  - 5 ｉチャネル一覧
  - 6 テロップ表示設定
- 5 ｉアプリ
  - 1 ソフト一覧
  - 2 待受画面設定
  - 3 ｉアプリ設定
- 6 データBOX
  - 1 マイピクチャ
  - 2 ｉモーション
  - 3 メロディ
  - 4 マイドキュメント
  - 5 キャラ電
- 7 設定／ステーショナリー
  - 1 音／バイブ
  - 2 ディスプレイ
  - 3 目覚まし
  - 4 電卓
  - 5 伝言メモ設定
  - 6 情報表示／リセット
  - 7 留守番電話
- 0 自局番号

お買い上げ時に登録されているデータ

- 以下のデータを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。
  ・デコメールピクチャ用画像　・デコメ絵文字　・フレーム　・キャラ電　・マチキャラ
  ・きせかえツール

ｉモードサイト「My D-style」へのアクセス方法

「My D-style」には、ｉMenu の「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」から接続してください（2007年6月現在）。

● 右のQRコードをバーコードリーダーで読み取ると、「My D-style」に接続できます。

サイト接続用QRコード

待受画面用の画像／ｉモーション

■ 画像

Metal ring　Bubble　line of light　Colorful dot　Bar code　Relief　Bourbon street　OPEN　Guidance※1

■ ｉモーション

Many monitors※2　バー・コードさん※2　転校生※3

※１：時計表示設定でデザインを「デジタル１」「デジタル２」「デジタル３」「デジタル５」のいずれかに設定し、表示位置を「上」に設定すれば、操作ガイダンスに時計は重なりません。
※２：着モーションにも設定できます。
※３：このｉモーションはデータBOXのｉモーションの「ｉモード」フォルダに登録されており、削除できます。削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P453

ノーマルメニュー

■ タイルアイコン

タイプ１　タイプ２　タイプ３　タイプ４　タイプ５

■ アニメーション

タイプ１　タイプ２　タイプ３　タイプ４　タイプ５

デコメールピクチャ用画像

次の画像が、データBOXのマイピクチャの「デコメピクチャ」フォルダに保存されています。

- 画像によっては、背景色を白以外に設定しないと絵柄がわかりにくいものがあります。
- 以下の一部の画像は絵柄がわかりやすいように背景色を変更しているため、画面の表示と異なる場合があります。また、画像の大きさは、実際に挿入される画像の大きさとは異なります。

メールテンプレート

おめでとう

Happy Birthday

ありがとう

ごめんなさい

おはよう

おやすみ

だいすき

ムカッ

今から行くよ

おつかれ〜

デコメ絵文字

©Disney

フレーム

■ 待受用（240×400）サイズ

※1

※１：実際は白色縁なしです。

■ QVGA（240×320）サイズ

■ QCIF（176×144）サイズ

スタンプ

キャラ電

Dimo

バー・コードさん

マチキャラ

ドコモダケ

シャチ

スケボーマン

きせかえツール

■ ドットドッグ

待受画面

アニメーションメニュー

音声電話発信画面

音声電話着信画面

テレビ電話発信画面

テレビ電話着信画面

メール送信画面

メール受信中画面

メール着信結果画面

センター問合せ画面

項　目	内　容
電池アイコン	→→
アンテナアイコン	→→→
音声電話着信音	口笛吹きと犬 【PRYOR ARTHUR】
テレビ電話着信音	電話・メロディ A
プッシュトーク着信音	電話・メロディ B

項　目	内　容
メール着信音	犬の鳴き声
チャットメール着信音	メール・メロディ B
メッセージR着信音	メール・メロディ C
メッセージF着信音	メール・メロディ C
目覚まし音	アラーム・メロディ
カラーテーマ	スーパーホワイト

・【　】内は作曲者名です。作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

キー	ひらがな／漢字モード（全角）※1	カナモード（全角／半角）※1	英字モード（全角／半角）※1	数字モード（全角／半角）※2
1	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. ／ @ ￣※3 － : ＿ ［ ￥ ］ ＾ ｀ ｛ | ｝ 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	ワ※4 ヲ ン ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， ； ＜ ＝ ＞ ？ □ 0	0 ＋※5
＊	゛ ゜	゛ ゜	半角の場合のみ次の文字列が入力可 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	＊ P※5
#※6	改行	改行	改行	＃ T※5

□：空白を示します。　 ：文字入力後に[大/小]を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。

※1：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。

※2：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※3：半角の英字モードは「~」で入力されます。

※4：全角文字の場合のみ大文字と小文字が切り替わります。

※5：該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

※6：入力欄によっては改行できない場合があります。

入力バーの文字割り当て一覧（スロット入力方式）

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あいうえおぁぃぅぇぉ 1
	か	かきくけこ 2
	さ	さしすせそ 3
	た	たちつてとっ 4
	な	なにぬねの 5
	゛゜	゛゜
下段	は	はひふへほ 6
	ま	まみむめも 7
	や	やゆよ ゃゅょ 8
	ら	らりるれろ 9
	わ	わをんー 、 。？！「 」□ 0
	↵	改行

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ 8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ 9
	ﾜ	ﾜｦﾝｰ､｡?!｢｣ □ 0
	↵	改行

入力バー		英数字モード（半角）
上段	.	./@~－:_[¥]^`{|}1
	A	ABCabc2
	D	DEFdef3
	G	GHIghi4
	J	JKLjkl5
	定	@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm
下段	M	MNOmno6
	P	PQRSpqrs7
	T	TUVtuv8
	W	WXYZwxyz9
	!	!"#$%&'()*+,; <=>?□0
	↵	改行

□：ひらがな／漢字モードでは全角の空白、カナモード、英数字モードでは半角の空白を示します。

- ひらがな／漢字モードでは、「゛」と「゜」は[キー]を押すたびに切り替わります。
- 数字は半角で表示されます。

定型文一覧

■ 一般（20件）

おはよう	おやすみ
おはよー！今日も一日がんばりましょう。	昨日は、とっても楽しかったです。どうもありがとう。
連絡下さい。	今から電話してもいいですか？
ごめんなさい、遅れます。	今日は○○の日です。早く帰って来てね。
○○まで迎えに来て！お願いします。	○○について知っている人は○○までに○○に教えて下さい。
もう少し待ってて！	
いってらっしゃい。	留守電にメッセージをお願いします。
○○で待ってます。	ただいま電話にでることができません。メールでご用件をお知らせ下さい。
集合時間は○○、集合場所は○○です。	
今日は外で食べて帰ります。ご飯はいりません。	メールありがとう。
○○の写真送ります。	最近の○○の写真です。

■ 遊び（20件）

今なにしてるの？電話かメールを下さい。	どこか、遊びに行こーよ！
電話ちょうだい！電話番号は○○です。	おくれちゃう、ゴメン！
どこにいるの？	集合！
時間だよーん！！	トラブル発生！！
会いたい！	大好き！
みんなで飲みませんか？○○に○○。	今日○○に、○○へ行きませんか？
○○の待ち合わせ時間と場所、決めようよ。	○○に行かない？
○○のメンバー募集！詳しくは○○まで連絡下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。○○までで、都合の良い日を教えて下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。いいところがありましたら、お知らせ下さい。	
○○しませんか？日時：○○、場所：○○。出欠をご連絡下さい。	
メッセージ下さい！！	○○の時の写真だよ。

■ ビジネス（20件）

本日の○○会議は、○○となりました。	本日の○○訪問は、○○となりました。
○○へ直行します。	○○へ直帰します。
電車遅延のため、○○遅れます。	至急TEL下さい。
予定変更！ TEL下さい。	待ち合わせ変更！場所：○○、時間：○○
○○頃まで、携帯電話の電源を切ります。	振込口座：○○銀行○○支店、口座番号○○、名義人名○○です。
○○の件、よろしくお願い致します。	
今日、一杯どうですか？連絡下さい。	FAX確認願います。
次の指示を待て。	変更します。
延期します。	中止します。
○○での写真送ります。	今わかりません。
あとで連絡します。	

■ 応答（20件）

Thank you!	Good!	OKです。	NGです。
いいよ。	行きます。	了解。	ダメ！
ごめんネ･･･	スミマセン、無理です。	本当？	おまかせっ！！
関係ないね！	うらやましー。	お疲れさま。	反対。
賛成。	待ってました！	それは残念。	写真届きました。

つづく▶

顔文字	読み
(^^)	にこっ　わらう
v(^o^)	いえい　ぶい　ぴーす　うれしい
(^_^)v	やったね　ぴーす　にこっ　ぶい　うれしい
(^・^)	にこっ　わらう
(^0^)	わーい　わらう
(^0^)/	おーい　はーい　わらう
(^0^)v	やったね　ぴーす　にこっ　ぶい　わらう
)^o^(	ほっぺがおちる　わらう
＼(^o^)／	わーい　わらう
:-)	にこっ　すまいる　わらう
ヽ(≧▽≦)/	きゃー　うれしい
d=(^o^)=b	ぐー　うれしい
ε=ヾ(*~▽~)ノ	きゃー　うれしい
(@^0^@)	うれしい
(　´艸`)	むふふ　うれしい

■ 照れる・怒る

顔文字	読み
(^^ゞ	ぽりぽり　てれる
f(^_^)	てへ　てれる
(#^.^#)	にこっ　ぽっ　てれる
(*^.^*)	えへっ　てれる
(〃▽〃)	てれ　てれる
(*'-')	てへっ　てれる
(=°　ω°　=)	てへっ　てれる
(*´　д　`*)	こまる　てれ　てれる
:p	てへっ　てれる
('∇')	うふふ　てれる
ヽ(*`Д´)ノ	こら　ごるあ　ごるぁ　おこる
o-_-)=○☆	ぱんち　おこる
(ノ-"-)ノ~┻━┻	ちゃぶだい　おこる
(-_-#)	こらっ　おこる
:-(	ふまん　おこる
Ψ(`◇´)Ψ	こら　おこる
(ノ`△´)ノ	こらっ　おこる
(●`ε´●)	ぷんぷん　むかっ　おこる

■ 泣く・悲しい

顔文字	読み
(>_<)	あいた　いたい　いてー　ひぇー　なく
(T^T)	うるうる　なく
(T_T)	しくしく　なく
(/_;)	しくしく　なく

<table>
<tr><th>顔文字</th><th>読み</th></tr>
<tr><td>(+_+)</td><td>びくっ　かなしい</td></tr>
<tr><td>(x_x;)</td><td>がっくり　かなしい</td></tr>
<tr><td>(/_・、)</td><td>くすん　なく</td></tr>
<tr><td>(つд`)</td><td>ぐすん　なく</td></tr>
<tr><td>○|￣|＿</td><td>がっくし　かなしい</td></tr>
<tr><td>(´・ω・`)</td><td>しょぼん　かなしい</td></tr>
<tr><td>(;0;)</td><td>しくしく　なく</td></tr>
<tr><td>(>_<。)</td><td>なく</td></tr>
<tr><td>(;_;)</td><td>しくしく　なく</td></tr>
<tr><td>(T-T)</td><td>なき　うるうる　なく</td></tr>
<tr><td>(TOT)</td><td>なき　うるうる　なく</td></tr>
<tr><td>(ノ_・。)</td><td>いたい　なく</td></tr>
<tr><td>:<</td><td>なく　かなしい</td></tr>
<tr><td>(;´　д⊂)</td><td>なき　ぐすん　なく</td></tr>
<tr><td>°・(ノД`)・°・</td><td>えーん　なく</td></tr>
</table>

■ 驚き

顔文字	読み
(*_*)	びくっ　おどろき
(・・?	めがてん　おどろき
(・・;)	めがてん　おどろき
(°-°)	うーん　おどろき
(@_@)	びくっ　おどろき
(--;)	ぎくっ　おどろき
(-_☆)	きらーん　おどろき
(￣□￣;)!!	がーん　おどろき
(°　o°　;)	ぽかーん　おどろき
Σ(￣□￣)!	びっくり　がーん　ぎく　おどろき
(￣◇￣;)	えっ　おどろき
ヽ(°　□°　;)ノ	えっ　おどろき
(;°　□°　)	えっ　おどろき
((((°　д°　;))))	がくがく　おどろき
(=_=;)	ぎくっ　てつや　おどろき
(・.・;)	めがてん　おどろき
(°o°)	ぎくっ　ぎょ　おどろき
(°o°;	ぎくっ　ぎょ　おどろき
(@_@。	びくっ　ぎょっ　おどろき
(°Д°)	ぽかーん　おどろき
(°_°)	うーん　おどろき
(・。・;	めがてん　おどろき
(・_・)	めがてん　おどろき
(・_・;	めがてん　おどろき
(・o・)	めがてん　おどろき
(°o°)/	おおー　びっくり　おどろき
(°o°;;	ぎくっ　おどろき
Σ(°□°;)	がーん　おどろき

つづく▶

■ 疑問・焦り

顔文字	読み
(^^;)	ぎくっ　あせ　あせり
(?_?)	なぜ　ぎもん
(-_-;)	ぎくっ　あせ　あせり
w=(゜o゜)=w	ばたばた　ぎもん
σ(^_^;)?	えっ　ぎもん
(;¬_¬)ｼﾞｰ	じー　ぎもん
0(><;)(;><)0	あたふた　あせり
(゜Д゜;≡;゜Д゜)	あたふた　あせり
^^;	ぎくっ　あせり
(^^;;	ぎくっ　あせ　あせり
(^_^;)	ぎくっ　あせ　あせり
(^-^;	ぎくっ　あせ　あせり
(~_~;)	ぎくっ　あせ　あせり
(¥_¥;	ぎくっ　あせ　ぎもん
(*_*;	びくっ　あせり
^_^;	ぎくっ　あせ　あせり
(?_?;	ぎくっ　なぜ　ぎもん
ε=┌(・_・)┘	にげる　あせり
(゜∇゜;)	ぎくっ　あせ　えっ　あせり
((○(>_<)○))	じたばた　あせり
(;゜0゜)	ぎくっ　あせ　あせり

■ その他

顔文字	読み
(~▽~@)♪♪♪	うたう
('◇')ゞ	りょうかい　おっけー　らじゃ
m(_ _)m	ぺこり
_(._.)_	ぺこり
<(_ _)>	ありがと　おねがい　ごめん　ぺこり
≡≡≡ヘ(*--)ノ	いそぐ　にげる
(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
p(^-^)q	がんばれ　ふぁいと
;)	ういんく
(^_-)	ういんく
(・∀・)イイ	いい
(^人^)	かんしゃ　ありがとう
!(^^)!	ぴんぽーん
ヽ(^^)	よしよし　おい
(*≧m≦*)	ぷっ
(σ・∀・)σ	げっつ
(￣ー￣)	にやり
(・∀・)つ	どうぞ
(^-^)_旦~	どうぞ　おちゃ
(屮゜□゜)屮	きて　かもん　おいで

顔文字	読み
♪~(￣ε￣)	くちぶえ
(￣。￣)y-~~	たばこ
(`・ω・´)	しゃきーん
⊂(・∀・)⊃	せーふ
(-.-;)y-~~~	いっぷく
(-。-)y-゜゜゜	いっぷく
(￣~￣)	うまい　たべる
(￣人￣)	おねがい
(^-^)人(^-^)	かんぱい　なかま　たっち
(i_i)＼(^_^)	よしよし
(^▽^)σ)~0~)	つんつん
~~(m´Д`)m	たすけて
~~(m`∀´)m	いひひ
φ(. _.)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも　かきかき
(゜∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし
(´□`)	あーん
┐(￣∇￣;)┌	やれやれ
(´へ`;)	はぁ　ためいき
(; -_-)=3	ためいき
(-"-;)	うーん
(´ー`)	ふふん　じまん
(´¬`)	よだれ
(￣ー+￣)ﾌｯ	ふっ
(~_~)	ほへー
(~o~)	ほへー
(p_-)	むしめがね
(-_-)	じとっ
(-.-)	じとっ
(-.-")凸	ちちち
(..)	どれどれ
[壁]_-)	ちらっ
(+。+)	いたい
(-_-)zzz	ねてる　ねる
(_ _).oO	ねむい
(´_ゝ`)	ふーん
(UoU)	ねむい
(^(I)^)	くま
U^I^U	いぬ
ﾎﾟｲｯ(-_-)ノ⌒	ぽい
ヽ(゜▽、゜)ノ	よだれ
>゜))))彡	さかな

• 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

記号一覧

半角

■ ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ

全角

■、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“
”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄
¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ
ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийк
лмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳
┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ
ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹
㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪

■：半角／全角の空白を示します。
- 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

絵文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

- 絵文字1は「えもじ」と入力しても変換できます。
- 絵文字2は「えもじに」と入力しても変換できます。
- 他の携帯電話会社（au／ソフトバンク／ツーカー）に絵文字入りのｉモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。
  - ・送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
  - ・送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「〓」に変換されます。
- 絵文字2を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。
- SMSでは は に、 、 、 以外は半角空白に、置き換わって送信されます。

絵文字1

絵文字	読み
	はーと
	はーと
	しつれん　はーと
	はーと
	うれしい　にこ　かお
	おこる　いかり　むか　かお
	がっかり　かなしい　かお
	かなしい　かお
	ふらふら　かお
	いぬ　どうぶつ
	ねこ　どうぶつ
	はれ　てんき　たいよう
	くもり　てんき　くも
	あめ　てんき　かさ
	ゆき　てんき

絵文字	読み
	かみなり　てんき
	たいふう　てんき　うずまき
	きり　てんき
	こさめ　てんき　かさ
♪	るんるん　おんぷ　おんがく
	むーど　おんぷ　おんがく
	おんせん　ふろ　おふろ
	かわいい　はな
	きすまーく　きす　くち
	ぴかぴか　きらきら
	ひらめき　でんきゅう　ぴかぴか
	むか　いかり　おこる
	ぱんち　て　ぐー
	ばくだん

絵文字	読み
zzz	ねむい　ねむり　すいみん　ねる
!	びっくり
!?	びっくり　はてな
!!	びっくり
	どん　しょうげき
	あせ
	あせ
	だっしゅ
	ちょうおん
	ちょうおん
OK	けってい　おーけー　おっけー
↗	みぎうえ　みぎななめうえ　やじるし
↘	みぎした　みぎななめした　やじるし

絵文字	読み
	ひだりうえ　ひだりなな めうえ　やじるし
	ひだりした　ひだりなな めした　やじるし
	ぐっど　やじるし
	ばっど　やじるし
	め
	みみ
	ぐー　て
	ちょき　ぶい　ぴーす　て
	ぱー　て
	あし
	はーと　とらんぷ
	すぺーど　とらんぷ
	だいや　とらんぷ
	くらぶ　くろーばー とらんぷ
	でんしゃ　のりもの てつどう
	ちかてつ　のりもの
	しんかんせん　のりもの
	くるま　のりもの じどうしゃ
	くるま　のりもの じどうしゃ
	ばす　くるま　のりもの
	ふね　のりもの
	ひこうき　のりもの くうこう
	りぞーと　よっと　のりもの
	くりすます　つりー
	いえ　じたく
	びる　かいしゃ
	ゆうびんきょく　ゆうびん
	びょういん
	ぎんこう
	えーてぃーえむ　ぎんこう
	ほてる
	こんびにえんすすとあ こんびに
	がそりんすたんど　がそり ん　がすすた　がそすた
	ちゅうしゃじょう ぱーきんぐ　ぱーく
	しんごう
	といれ
	れすとらん　しょくじ ごはん

絵文字	読み
	きっさてん　こーひー かっぷ　かふぇ
	ばー　かくてる　さけ
	びーる　さけ
	ふぁーすとふーど はんばーがー
	ぶてぃっく　くつ　ひーる
	びよういん　はさみ とこや
	からおけ　まいく
	えいが
	ゆうえんち　もくば
	おんがく　へっどほん
	あーと
	えんげき
	いべんと
	ちけっと　きっぷ
	すぽーつ　しゃつ
	やきゅう　すぽーつ ぼーる
	ごるふ　すぽーつ
	てにす　すぽーつ
	さっかー　すぽーつ ぼーる
	すきー　すぽーつ
	ばすけっとぼーる　ばすけ ばすけっと　すぽーつ
	もーたーすぽーつ　ふらっぐ はた　すぽーつ
	ぽけっとべる　ぽけべる
	きつえん　たばこ
	きんえん　たばこ
	かめら
	かばん　ばっぐ
	ほん
	りぼん
	ぷれぜんと
	ばーすでー　ろうそく たんじょうび
	でんわ
	でんわ　けいたいでんわ けいたい　けーたい
	めーる
	めも
	てれび
	げーむ
	しーでぃー　おんがく
	くつ　すにーかー

絵文字	読み
	めがね
	くるまいす
	おひつじざ　せいざ
	おうしざ　せいざ
	ふたござ　せいざ
	かにざ　せいざ
	ししざ　せいざ
	おとめざ　せいざ
	てんびんざ　せいざ
	さそりざ　せいざ
	いてざ　せいざ
	やぎざ　せいざ
	みずがめざ　せいざ
	うおざ　せいざ
	しんげつ　つき
	つき
	はんげつ　つき
	みかづき　つき
	まんげつ　つき
	でんわ　けいたいでんわ けいたい　けーたい
	めーる
	ふぁっくす
	あいもーど
	あいもーど
	どこも
	どこも
	ゆうりょう　えん　おかね かね
	むりょう　ふりー
	あいでぃー
	ぱすわーど　かぎ　ろっく
	りたーん　えんたー
	くりあ
	さーち　むしめがね
	にゅー
	いちじょうほう　はた ふらっぐ
	ふりーだいやる
	しゃーぷだいやる
	もばきゅー
	いち　すうじ
	に　すうじ
	さん　すうじ
	よん　し　すうじ
	ご　すうじ
	ろく　すうじ

絵文字	読み
7	なな　しち　すうじ
8	はち　すうじ
9	きゅー　きゅう　く すうじ
0	ぜろ　れい　すうじ

絵文字	読み
	かちんこ　えいが
	ふくろ
	ぺん
	ひとかげ　ひと
	いす

絵文字	読み
	よる　つき
SOON	すーん
ON!	おん
end	えんど　おわり
	とけい　じかん

絵文字2

絵文字	読み
	じてんしゃ　のりもの
	れんち　こうぐ　しゅうり
	ぱそこん　ぴーしー
	えんぴつ
	くりっぷ
	さゆう　やじるし
	じょうげ　やじるし
	りさいくる
NG	えぬじー
秘	まるひ　ひみつ
禁	きんし
空	くうしつ　くうせき くうしゃ　あき
合	ごうかく
満	まんしつ　まんせき まんしゃ　まん
	きけん　けいこく　びっくり
©	こぴーらいと　しー
™	とれーどまーく てぃーえむ
®	れじすたーどとれーどまーく あーる
	あいあぷり
	あいあぷり
	どるぶくろ　おかね　かね
	うでどけい　とけい　じかん
	すなどけい　とけい
	おにぎり　おむすび
	しょーとけーき　けーき

絵文字	読み
	ぱん
	どんぶり　らーめん
	ゆのみ　おちゃ
	とっくり　にほんしゅ さけ
	わいんぐらす　わいん さけ
	ばなな　くだもの
	りんご　くだもの
	さくらんぼ　くだもの
	くろーばー　よつば　は はっぱ
	ちゅーりっぷ　はな
	め　は　はっぱ
	もみじ　は　はっぱ
	さくら　はな
	かたつむり　どうぶつ
	ひよこ　とり　どうぶつ
	ぺんぎん　どうぶつ
	さかな　どうぶつ
	うま　どうぶつ
	ぶた　どうぶつ
	てぃーしゃつ　しゃつ
	じーんず　じーぱん　ずぼん
	けしょう　くちべに
	ゆびわ　りんぐ
	おうかん
	ちゃぺる　べる　あらーむ
	どあ　とびら

絵文字	読み
	がっこう
	なみ　うみ
	ふじさん　やま
	すのぼ　すのーぼーど
	はしる　ひと　だっしゅ
	うーん　かお
	ほっ　にこ　かお
	あせ　かお
	あせ　かお
	むっ　むか　かお
	ぼけ　かお
	はーと　かお
	あっかんべー　べー　かお
	うぃんく　かお
	うれしい　にこ　かお
	がまん　かお
	ねこ　どうぶつ　かお
	えーん　かなしい　なく かお
	なみだ　かなしい　なく かお
	うまい　おいしい　かお
	うっしっし　うれしい　かお
	げっそり　さけび　かお
	おーけー　ぐっど　て おっけー
	らぶれたー　てがみ　めーる
	さいふ　おかね　かね

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに、発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

発生・実行する処理／現在の状態	音声電話		テレビ電話		プッシュトーク	
	発信	着信	発信	着信	発信	着信
音声電話通話中	△※1	△※1、2、3	×	△※2、3、4	×	×※5
テレビ電話通話中	×	△※2、3、4	×	△※2、3、4	×	×
プッシュトーク通信中	×	△※6	×	×※5	△※7	×※5
ｉモード中	○	○	○※8	△※9	○※8	△※10
フルブラウザ接続中	○	○	○※11	△※9	○※11	△※10
ｉモードメール送受信中	○	○	○※8	△※9	○※8	△※10
SMS送受信中	○	○	○	○	○	○
ｉアプリ動作中	○※12	○※12	○※12	○※12	○※13	△※14
パソコンとつないだパケット通信中	○	○	×	△※5、15	×	×
64Kデータ通信中	×	△※2、3、16	×	△※2、3、4	×	×
お預かりセンターに接続中	○※17	○	○※18	△※9、18	○※18	△※10、18

発生・実行する処理／現在の状態	ｉモード	フルブラウザ	ｉモードメール		SMS	
	接続	接続	送信	受信	送信	受信
音声電話通話中	○	○	○	○※19	○	○※19
テレビ電話通話中	×	×	×	×	×	○※19
プッシュトーク通信中	×	×	×	×	×	○※19
ｉモード中	×	○※8	○	○	○	○
フルブラウザ接続中	×	×	○※11	○※20	○	○
ｉモードメール送受信中	○	○※21	△※22	△※22	△※22	△※22
SMS送受信中	○	○	△※22	△※22	△※22	△※22
ｉアプリ動作中	×	×	○	○※19	○	○※19
パソコンとつないだパケット通信中	×	×	×	×	○	○
64Kデータ通信中	×	×	×	×	×	○※19
お預かりセンターに接続中	×	×	×	×	×	×

発生・実行する処理／現在の状態	パソコンとつないだパケット通信		64Kデータ通信		データ転送	
	発信	着信	発信	着信	送信	受信
音声電話通話中	○	○	×	△※3、23	×	×
テレビ電話通話中	×	×	×	△※3、23	×	×
プッシュトーク通信中	×	×	×	△※23	×	×
ｉモード中	×	×	×	△※23	×	×
フルブラウザ接続中	×	×	×	△※23	×	×
ｉモードメール送受信中	×	×	×	△※23	×	×
SMS送受信中	○	○	△※24	○	×	×
ｉアプリ動作中	○	○	○	○	○	×
パソコンとつないだパケット通信中	×	×	×	△※23	×	×
64Kデータ通信中	×	×	×	△※23	×	×
お預かりセンターに接続中	×	×	×	△※23	×	×

○：新たに通信を実行できます。　△：条件により、新たに通信を実行できます。　×：新たに通信を実行できません。

• 外部機器と接続してテレビ電話を行う場合は、64Kデータ通信中の動作になります。
• ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネルでの通信（情報の受信を除く）を含みます。
• ｉモードメール受信は、メッセージR/F受信、ｉチャネルの情報の受信を含みます。
• データ転送は、赤外線通信とiC通信を含みます。

※１： キャッチホンをご利用の場合、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※２： 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※３： 通話中着信設定を開始に設定している場合、通話中着信動作選択の設定に従います。
※４： キャッチホンを開始に設定している場合、着信履歴に不在着信として記録されます。
※５： 着信履歴に不在着信として記録されます。
※６： プッシュトーク中着信設定の設定に従います。
※７： 自分が発信者の場合のみ、メンバー追加のための発信ができます。
※８： ｉモード中の場合は、ｉモードが切断されます。
※９： パケット通信中着信設定に従います。
※10：ｉモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
※11：フルブラウザ接続中の場合は、フルブラウザ接続が切断されます。
※12：ｉアプリのメロディは鳴らなくなります。また、ｉアプリでｉモード中は、ｉモードが切断されます。
※13：ｉアプリでｉモード中の場合は、ｉモードが切断されます。
※14：ｉアプリでｉモード中の場合は、ｉモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
※15：留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は各サービスで対応できます。
※16：キャッチホンを開始に設定している場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかなどを選択できます。
※17：平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）での発信はできません。
※18：お預かりセンターとの通信が切断されます。
※19：着信音は鳴りません。
※20：ｉモード問合せを行った場合のみフルブラウザが切断されます。
※21：ｉモードメール送受信が終わるまで接続を待ちます。
※22：送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできない場合があります。
※23：キャッチホンを開始に設定している場合、または留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用の場合は、着信履歴に不在着信として記録されます。ただし、転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※24：SMS送信中は発信できない場合があります。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中／設定中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。

○：選択可能　×：選択不可

実行中機能＼新規起動メニュー項目	☎ ダイヤル発信	1メール 1受信メール	1メール 2新規メール	1メール 3チャットメール	1メール 4未送信メール	1メール 5送信メール	1メール 6問合せ・WEBメール 1iモード問合せ	1メール 6問合せ・WEBメール 2SMS問合せ	1メール 6問合せ・WEBメール 3メール選択受信	1メール 6問合せ・WEBメール 4WEBメール	1メール 7SMS 1SMS作成	1メール 7SMS 2SMS（UIM）受信 FOMAカード	1メール 7SMS 3SMS（UIM）送信 FOMAカード	1メール 8テンプレート読込み	2iモード 1iMenu	2iモード 2Bookmark	2iモード 3Internet 1URL入力	2iモード 3Internet 2URL履歴	2iモード 3Internet 3ラストURL	2iモード 4画面メモ	2iモード 5iモード問合せ	2iモード 6メッセージR/F 1メッセージR	2iモード 6メッセージR/F 2メッセージF
電話	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル入力	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
プッシュトーク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
64K データ通信	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○
PPP データ通信	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
受信／送信／未送信メール／FOMAカード受信／送信メール／メールテンプレート読込み	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS 作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
メッセージR/F 一覧画面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
メッセージR/F 詳細画面	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
ｉ モード問合せ	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS 問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉMenu／ｉ チャネル／WEBメール	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
フルブラウザ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
URL 入力／URL 履歴／Bookmark／ラストURL	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
画面メモ一覧画面	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
画面メモ表示画面	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
ｉ アプリ／ｉ アプリ一覧／IC カード一覧	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
ｉ アプリダウンロード	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
ｉ モーション（動画／音楽再生）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マチキャラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
きせかえツール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静止画撮影	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動画撮影／サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トルカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミュージックプレイヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現在地確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現在地通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
位置履歴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳／プッシュトーク電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辞典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール送信履歴／受信履歴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉ モードメール受信	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS 受信	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
目覚まし／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
お知らせタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
microSD メモリーカード	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○
お預かりセンターに接続	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
電話帳通信履歴表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：選択可能　×：選択不可

新規起動メニュー項目 / 実行中機能	2 iモード						3	4電話帳・履歴									7	5データBOX					
	7	8フルブラウザ						1	2	3	4	5伝言メモ・音声メモ			6メール送受信履歴			1	2	3	4	5	6
	iチャネル一覧	1 ホーム	2 Bookmark	3 URL入力	4 URL履歴	5 ラストURL	iアプリ一覧	電話帳	電話帳プッシュトーク	着信履歴	リダイヤル	1 伝言メモ一覧	2 音声メモ録音	3 音声メモ一覧	1 メール送信履歴	2 メール受信履歴	自局番号	マイピクチャ	ミュージック	iモーション	メロディ	マイドキュメント	キャラ電
電話	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
プッシュトーク	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×
64K データ通信	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
PPP データ通信	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
受信／送信／未送信メール／FOMAカード受信／送信メール／メールテンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS 作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F 一覧画面	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F 詳細画面	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉ モード問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS 問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉMenu／ｉ チャネル／WEBメール	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フルブラウザ	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
URL 入力／URL 履歴／Bookmark／ラストURL	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ一覧画面	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ表示画面	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉ アプリ／ｉ アプリ一覧／IC カード一覧	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
ｉ アプリダウンロード	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
ｉ モーション（動画／音楽再生）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×
マチキャラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
きせかえツール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静止画撮影	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×
動画撮影／サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×
トルカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
ミュージックプレイヤー	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×
現在地確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現在地通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
位置履歴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳／プッシュトーク電話帳	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
辞典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール送信履歴／受信履歴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
ｉ モードメール受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS 受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
目覚まし／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
お知らせタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
microSD メモリーカード	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×
外部機器によるテレビ電話	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
お預かりセンターに接続	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
電話帳通信履歴表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：選択可能　×：選択不可

新規起動メニュー項目 ＼ 実行中機能	5データBOX			6LifeKit						6LifeKit 7GPS			7ステーショナリー				8音量設定			9	*	#
	7マチキャラ	8きせかえツール	9その他	1バーコードリーダー	2トルカ	3ICカード一覧	4静止画撮影	5動画撮影	6サウンドレコーダー	1現在地確認	2現在地通知	3位置履歴	1スケジュール帳	2メモ帳	3電卓	4辞典	1電話着信音量	2着信音量・メール／メッセージ	3iアプリ音量	ミュージックプレイヤー	FMトランスミッター設定	マナーモード設定／解除
電話	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×
ダイヤル入力	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×
プッシュトーク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×
64K データ通信	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×
PPP データ通信	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
受信／送信／未送信メール／FOMAカード受信／送信メール／メールテンプレート読込み	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS 作成	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F 一覧画面	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F 詳細画面	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉ モード問合せ	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS 問合せ	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉMenu／ｉ チャネル／WEBメール	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フルブラウザ	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
URL 入力／URL 履歴／Bookmark／ラストURL	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ一覧画面	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ表示画面	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉ アプリ／ｉ アプリ一覧／IC カード一覧	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
ｉ アプリダウンロード	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
ｉ モーション（動画／音楽再生）	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
メロディ	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
マイピクチャ	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイドキュメント	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キャラ電	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
マチキャラ	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
きせかえツール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静止画撮影	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
動画撮影／サウンドレコーダー	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
バーコードリーダー	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
トルカ	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
ミュージックプレイヤー	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
現在地確認	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現在地通知	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
位置履歴	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳／プッシュトーク電話帳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
辞典	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール送信履歴／受信履歴	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉ モードメール受信	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS 受信	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
目覚まし／スケジュールアラーム	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
お知らせタイマー	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
microSD メモリーカード	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
外部機器によるテレビ電話	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×
お預かりセンターに接続	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
電話帳通信履歴表示	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- 選択可能な機能でも、起動状況やロック設定の状況などによって、実行できない場合があります。
- 「WEBメール」は、2in1がBモードまたはデュアルモードのときのみ選択できます。
- 2in1がBモードのときは、以下の項目は選択できません。
  - ・新規メール　・チャットメール　・未送信メール　・送信メール　・メール選択受信　・SMS作成
  - ・FOMAカード（UIM）受信SMS　・FOMAカード（UIM）送信SMS　・テンプレート読み込み
  - ・プッシュトーク電話帳

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2007年6月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2007年6月現在）。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、および電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話、公衆電話からFOMA端末へおかけになる際のクレジット通話は利用できます）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA 端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック　D07
- リアカバー　D18
- 卓上ホルダ　D13
- FOMA ACアダプタ　01／02
- FOMA 海外兼用ACアダプタ　01※1
- FOMA DCアダプタ　01／02
- FOMA 乾電池アダプタ　01
- FOMA 補助充電アダプタ　01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク　P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット　P01
- イヤホンジャック変換アダプタ　P001
- スイッチ付イヤホンマイク　P001※2／P002※2
- ステレオイヤホンセット　P001※2
- イヤホンターミナル　P001※2
- FOMA USB接続ケーブル
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01
- FOMA 室内用補助アンテナ
- FOMA 室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）

- 車載ハンズフリーキット　01※3
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル　01
- 車内ホルダ　01
- キャリングケースL　01
- 骨伝導レシーバマイク　01

※１：海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

※２：イヤホンジャック変換アダプタ　P001 が必要です。

※３：FOMA　D904i を USB 接続／充電するためには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル　01が必要です。

動画データを外部機器から取り込んでFOMA端末で再生する

パソコンなど外部機器で作成した動画ファイルを、FOMA 端末で再生可能な形式に変換してmicroSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生できます。

動画(MP4ファイル)

microSDメモリーカード

パソコンなど　　D904i

Motion Smoothy 4を利用する

付属のCD-ROMに収録されているパソコン用動画変換ソフトMotion Smoothy 4を利用すると、パソコン上の動画ファイルをFOMA端末で再生可能な形式に変換できます。対応する動画ファイルの形式は次のとおりです。

項　目	対応する動画ファイル形式
変換前※1	AVI、MOV、WMV、MPEG1、MPEG2
変換後	MP4（画像サイズ320×240ドット）

※１：パソコンの環境によっては変換できないファイルがあります。

- Motion Smoothy 4 の操作方法は、『FOMA D904i Motion Smoothy 4簡易操作ガイド』およびMotion Smoothy 4のヘルプをご覧ください。
- 変換した動画ファイルを FOMA 端末で再生するには、パソコンから microSD メモリーカードに動画ファイルを転送する必要があります。FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用すると、FOMA端末に挿入した microSD メモリーカードをパソコンで使用できます。☛P347
- microSD メモリーカードに保存した動画を再生する方法については☛P343

■ Motion Smoothy 4の動作環境

項　目	動作環境
OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista各日本語版
必要なソフトウェア	Windows Media Player 7.1以降（必須） QuickTime Player 6.1以降（必須）

■ Motion Smoothy 4のインストール

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると「FOMA D904i CD-ROM」画面が表示されます。「エンターテイメントツール」をクリックし、「Motion Smoothy 4」の「インストール」をクリックします。以降、画面に従って操作します。

- CD-ROM をセットしても「FOMA D904i CD-ROM」画面が表示されない場合は次の手順で操作してください。

  ①[スタート]→「ファイル名を指定して実行」をクリック
  - Windows Vistaでは(スタート)→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

  ②「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:¥MotionSmoothy¥setup.exe」を入力し、［OK］をクリック
  以降は画面表示に従ってMotion Smoothy 4をインストールしてください。

■ Motion Smoothy 4に関するお問い合わせ先

三菱電機データリンクサポートセンター
03-5319-5720
受付時間：平日9:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日、年末年始および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

おしらせ

- microSD メモリーカードに保存した動画が再生されない場合は、microSD メモリーカードの情報更新を行ってください。☛P347
- Motion Smoothy 4 の動作環境、インストール、利用にあたっての詳細な情報を、付属の CD-ROM の「MotionSmoothy」フォルダ内の「README_MS4」ファイル（テキスト形式）に記載しています。Motion Smoothy 4を利用する前にご確認ください。

FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画（MP4ファイル）をmicroSDメモリーカードやメール添付などで転送し、パソコンで再生できます。

動画（MP4ファイル）
microSDメモリーカード、メール添付ほか
D904i
パソコンなど

・FOMA端末で撮影した動画ファイルの形式 ☛P180

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。QuickTime Playerは以下のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

・動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。
・ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。☛P487

電源・充電関連

FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

・電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P39
・電池切れになっていませんか。☛P43
・デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

ディスプレイ上部のアイコンが点滅し、ピピピというアラーム音が鳴っている

電池が少なくなっています。充電してください。☛P40、P44

充電できない

・電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P39
・充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
・ACアダプタ（別売）のコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダ（別売）の接続端子にしっかりと差し込まれていますか。☛P42
・卓上ホルダ（別売）にFOMA端末が正しく取り付けられていますか。☛P42
・FOMA端末の温度が上昇していると充電できないことがあります。使用している機能があれば終了し、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

充電中に決定キーの照明が赤く点滅する

通話／通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末から別売りのACアダプタ（卓上ホルダ）やDCアダプタを外してセットし直し、正しい方法で再度充電してください。☛P42
以上の操作をしても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

電話関連

ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない

しばらくお待ちください
07/10TUE 10:00

・音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。ダイヤルキーを押すと、文字情報を消去できます。
・110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

ダイヤルキーを押しても発信できない

・オールロックを設定していませんか。☛P162
・ダイヤル発信制限を設定していませんか。☛P166
・セルフモードを設定していませんか。☛P164
・おまかせロックが設定されていませんか。☛P163

ディスプレイに「圏外」と表示され、話中音（ツーツー）が出る

サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。☛P44

電話をかけたが話中音（ツーツー）が出てつながらない

- 市外局番を忘れていませんか。
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
- 「圏外」の表示が出ていませんか。☛P44

着信音が鳴らない

- 着信音量を「silent」（消音）に設定していませんか。☛P130
- 次の機能を設定していませんか。
  ・メモリ別着信拒否／許可☛P172
  ・発番号なし動作設定☛P173
  ・呼出動作開始時間設定☛P174
  ・メモリ登録外着信拒否☛P175
- 公共モード（ドライブモード）に設定していませんか。☛P74
- マナーモードに設定していませんか。☛P133
- セルフモードに設定していませんか。☛P164
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。☛P420、P422
- 伝言メモ応答時間設定を「0秒」に設定していませんか。☛P78
- オート着信機能設定の自動着信機能時間を「0秒」に設定していませんか。☛P406

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。☛P70、P130

電話がかかってきたときに、電話帳に登録した名前が表示されない、電話帳に登録した着信音が鳴らない

- 相手から電話番号が通知されていますか。☛P67
- 相手の電話番号と電話帳に登録した電話番号が一致していますか。
- FOMA 端末電話帳に同じ電話番号を複数登録していたり、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号を登録していませんか。☛P102
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P166
- 着信／受信時表示設定を設定していませんか。☛P169

電話がかかってきたとき、設定していない着信音が鳴る

- 複数の機能で着信音を設定している場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。☛P128
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P166

電話がかかってきたとき、設定していないイメージが表示される

- 電話着信設定の着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されている場合は、イメージは設定した動画／ｉモーションになります。
- 複数の機能で着信画像を設定している場合は、優先順位に従ってイメージが表示されます。☛P142
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P166

電話がかかってきたとき、設定していないイルミネーションパターン、イルミネーションカラーで決定キーの照明が点灯／点滅する

- 複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定している場合は、優先順位に従って決定キーの照明が点灯／点滅します。☛P153
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P166

付属のステレオイヤホンを接続しているときに、通話中に自分の声が相手に伝わらない

- イヤホンマイク設定を「イヤホンマイク」に設定し、付属のステレオイヤホンを接続していると、通話時に相手の声はステレオイヤホンから聞こえますが、自分の声は相手には伝わりません。☛P407

設定・操作関連

メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない

各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示され、選択できません。

キー確認音が鳴らない

- キー確認音を「OFF」に設定していませんか。☛P129
- マナーモードに設定していませんか。☛P133

FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMA カードが正しく取り付けられているかご確認ください。☛P36

ディスプレイに「オールロック中」と表示されている

オールロック中です。解除してください。☛P162

ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示され、操作できない

おまかせロック中です。☛P163

ディスプレイに何も表示されていない

- 照明設定で、点灯時間設定の「通常時」を「常時」以外に設定していませんか。何も操作せずに約90秒が経過すると画面の表示が消えます。☛P143
  キー操作をすると再び表示されます。
- プロテクトキーロックを設定していませんか。プロテクトキーロック中は画面の表示が消えます。☛P169

ディスプレイの表示色が薄くて見えにくい

オンリービュー設定を「ON」に設定していませんか。☛P257

キーを押しても操作できない

プロテクトキーロック中のため、キーの操作が無効になっています。解除してください。☛P169

曜日が英語で表示される

- 時計表示設定で「英語」に設定していませんか。☛P155
- バイリンガル設定で英語表示に設定していませんか。☛P156

ディスプレイが暗い

照明設定で、明るさ調整を「低輝度」に設定していませんか。☛P143

ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない

- 照明設定で、点灯時間設定の「通常時」を「0秒」に設定していませんか。☛P143
- プロテクトキーロックを設定していませんか。☛P169

日付・時刻が消去された

日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「OFF」に設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。もう一度、日付・時刻の設定を行ってください。☛P46

自動電源ON設定を「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない

電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると(電池パックが外れてしまった場合など)、自動電源ONの機能は動作しません。

目覚ましやスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない

- 電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると(電池パックが外れてしまった場合など)、これらの機能は動作しません。
- アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。☛P388

通話料金が積算されなくなった

通話料金のFOMAカードへの積算が上限(約1677万円)に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。☛P401

メール・データ関連

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

近くの被写体を撮影するときは接写撮影、離れた被写体を撮影するときは通常撮影に切り替えてください。
☛P189

メール受信時に、電話帳に登録した名前が表示されない、電話帳に登録した着信音が鳴らない

- 相手のメールアドレスまたは電話番号と電話帳に登録したメールアドレスまたは電話番号が一致していますか。☛P102
- FOMA端末電話帳に同じメールアドレスまたは電話番号を複数登録していたり、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じメールアドレスまたは電話番号を登録していませんか。☛P102
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P166
- 着信／受信時表示設定を設定していませんか。☛P169

メール受信時に、設定していないメール着信音が鳴る

- 複数の機能でメール着信音を設定している場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。☛P128
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従いメール着信音が鳴ります。
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P166

メール受信時に、設定していないメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーで決定キーの照明が点灯／点滅する

- 複数の機能でメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定されている場合は、優先順位に従って決定キーの照明が点灯／点滅します。☛P153
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに対応したメール着信イルミネーションパターンとメール着信イルミネーションカラーで点灯／点滅します。
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P166

静止画や動画が や で表示される

データが壊れている場合は正しく表示できず、 や で表示されます。

キーを押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときに、FOMA端末の画面の反応が遅くなることがあります。

海外利用時

待受画面にオペレータ名が表示されない、または圏外が表示されたままで国際ローミングサービスを利用できない

- 国際ローミングサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。
- 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』などの国際サービスガイドで確認してください。
- ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。☛P440
- 日本国内から海外へ移動した後にはじめて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。

音声電話やテレビ電話がかかってこない

- ローミング時着信規制を規制する設定にしていませんか。☛P442

相手の電話番号が通知されてこない／相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる／電話帳の登録内容や発信者番号を利用する機能が動作しない

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

その他

ICカード機能が使えない

- ICカードロックを設定していませんか。☛P293、P295
- 電池パックが正しく取り付けられていないか、電池パックが取り外されていると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が使えなくなります。電池パックが正しく取り付けられているかを確認し、電源を入れ直してください。☛P39

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。
- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(XXX)」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

ア

宛先をご確認ください

SMSの送信に失敗しました。宛先が正しいかどうか確認してください。

アドレスをご確認ください

メールグループに入力したメールアドレスにエラーがある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。

以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）Mails could not be sent to following address.（561）●●@△△△.ne.jp

※ メールアドレスは送信先により表示が異なります。

いくつかの宛先にｉモードメールを送信できませんでした。Ⓜを押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいかどうか確認の上、電波状態のよい場所で送信し直してください。

位置情報は利用できません

位置情報に誤りがあるため利用できません。

移動できませんでした

移動できないデータがありました。

今いる場所の確認に失敗しました。リトライしますか?

測位に失敗しました。再実行するには「はい」、中止するには「いいえ」を選択します。

遠隔操作可能なサービスは未契約です

留守番電話サービスおよび転送でんわサービスが未契約です。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用するには別途ご契約が必要です。

応答がありませんでした（408）

サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がないため、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

応答操作がないため送信できませんでした。送信先：（送信先情報）

GPS機能による位置提供が要求されましたが、確認画面で操作がないまま規定時間が経過したため、位置提供を行いませんでした。

同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません該当するサービスを削除しますか？

同様のおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード済みの場合、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、新しいおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできません。「はい」を選択すると削除対象となるおサイフケータイ対応ｉアプリが表示されます。登録済みのおサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません該当するサービスを削除しますか？

同様のおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード済みの場合、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、バージョンアップできません。「はい」を選択すると削除対象となるおサイフケータイ対応ｉアプリが表示されます。登録済みのおサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

音声データが壊れているので起動できません。音声データを登録してください

登録されている音声データが壊れているため、ボイス認証ができません。音声データを登録し直してください。☛P294

カ

○○○（通知先名）該当する通知先がありませんでした

登録されている現在地通知先が存在しません。登録内容が正しいか確認してください。

画像に誤りがあり正しく動作しません

画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

画像を表示できません

画像にエラーがあるため表示できません。画像を確認してください。

きせかえツールの一部が利用できません。保存しますか？

きせかえツールの一部のデータが利用できませんが、保存するときは「はい」を、保存しないときは「いいえ」を選択します。

圏外です

電波の届かない場所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

現在地通知先は表示できません。一覧に戻ります

現在地通知先のデータに誤りがあるため表示できません。

更新できませんでした

パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了後、電波状態のよい場所で更新し直してください。

更新できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？

うた・ホーダイのサービスを登録できる上限値を超えている場合に表示されます。「はい」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。

このカードは認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取り付けを確認してください。☛P36

この画像は保存できません
画像にエラーがあるため、保存できません。

この機能は利用できません
2in1がBモードのときは、メール作成はできません。

このキャラ電は表示できません
メモリなどが不足しているためキャラ電を表示できません。

この形式のデータは実行できません
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータをmicroSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動したり、検索することはできません。

このサイトとのSSL通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

このサイトとのSSL/TLS通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？
サイトの証明書が、FOMA端末が対応していない証明書です。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？
CA証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。☛P215
また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付・時刻を正しく設定してください。☛P46

この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。☛P215

このソフトは現在利用できません
IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

このデータは再生できない可能性があります
FOMA端末が対応していない形式の動画／ｉモーションです。または、動画ファイルが破損している可能性があります。

このデータは保存できません。取得しますか？
データを保存できませんが、取得するときは「はい」を、取得しないときは「いいえ」を選択します。

コピーできませんでした
- 複数コピーまたは全件コピー時に、コピーできなかったデータがあります。
- コピーできない形式のPIMデータをコピーしようとしました。
- メモリ不足のためPDFデータをコピーできませんでした。待受画面に戻してから、操作し直してください。

これ以上ウィンドウを開けません
ウィンドウ数またはフレーム数が多すぎて新しいウィンドウを開けません。既に開いているウィンドウを閉じると表示できる場合があります。

コンテンツに誤りがあるためダウンロードできません
課金対象コンテンツが不正のためダウンロードできません。

サ

サービス未契約です
- ｉモードの契約がされていません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

サービス未提供です
SMSが未提供です。

再生可能日前です。再生できません
設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。

再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？
ミュージックプレイヤーでの再生時に、うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®の中に再生期限の更新が必要なものがありました。対処方法については☛P372

再生制限データに誤りがあるため、取得できません
再生制限データが誤っているため取得できません。

再生できません
ｉモーションやメロディのデータが不正なため再生できません。

再生できません。更新が可能なデータは本体をPCに接続し転送元ソフトを起動して更新してください
データの再生期限が切れているか、再生期限の確認ができないため、再生できません。パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。

最大サイズを超えたので中断しました
- サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため取得を中断しました。⊙を押すと正常に取得した部分までを表示します。
- ダウンロード中のデータが最大サイズを超えたため受信を中断しました。

最大サイズを超えています。受信できません（452）
サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えているため、受信できません。

最大フレーム数を超えたので中断しました

フレーム数が多すぎて表示できません。マルチウィンドウ中の場合、開いているウィンドウを閉じると表示できる場合があります。

最大文字数を超えたため引用できない部分がありました

返信時に、SMSの本文が70文字（送信文字種が「英語」の場合は160文字）を超えたため、引用できない文字がありました。

最大文字数を超えました

返信時に、ｉモードメールの本文が全角5000文字（半角10000文字）を超えました。文字数を減らして送信してください。

サイトが移動しました（301）

サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

サイトに接続できませんでした（403）

指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されるなど、何らかの原因で接続できませんでした。

削除しますか？　IC カード内データも削除されます

複数削除または全件削除するｉアプリの中に、ｉアプリを削除するとICカード内のデータも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内のデータを削除するときは「はい」を選択します。

サポートしていない形式です

FOMA端末で認識できないデータのため表示できません。

時刻がリセットされたため、このデータを再生できません。日付時刻設定にて自動時刻・時差補正※1をON に設定し電源を入れ直してください

日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しないと、日付・時刻が消去される場合があります。日付・時刻を設定して、再生し直してください。

※1：機能によっては「自動時刻補正」と表示されます。

時刻がリセットされたため、このデータを取得できません。日付時刻設定にて自動時刻・時差補正※1をON に設定し電源を入れ直してください

日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しないと、日付・時刻が消去される場合があります。日付・時刻を設定して、取得し直してください。

※1：機能によっては「自動時刻補正」と表示されます。

指定サイトがみつかりません（404）

サイトなどが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

指定サイトに表示データがありません（204）

指定のサイトにデータがありませんでした。

指定先にジャンプできません

ｉモーションのテロップにサイト（Web To）などのリンクが設定されているとき、URLが規定の長さを超えている場合や取得を中断した場合は、リンク先を表示できません。

指定されたソフトがありません

メールや外部機器から指定されたｉアプリがFOMA端末に保存されていません。

指定されたソフトが起動できませんでした

ｉアプリにエラーが発生したため、ｉアプリを起動できません。
サイトやメール、外部機器からｉアプリTo機能で指定されたｉアプリを起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合はｉアプリを起動できません。

指定したサイトへは接続できませんでした（504）

何らかの原因で指定のサイトなどに接続できませんでした。操作し直してください。

しばらくお待ちください

音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

しばらくお待ちください（パケット）

パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります

受信中にエラーが発生したため、SMS をすべて受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して、SMS問合せを行ってください。
☛P264

受信メールがいっぱいです

受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ｉモードメールを受信できません。未読のｉモードメールを読むか、保護を解除するか、削除してください。

受信メールのデータが壊れています お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの受信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

詳細を取得できません

トルカ（詳細）の取得に失敗しました。操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、トルカのデータに誤りがあるなどのため取得できない可能性があります。

情報が正しくないため再生できませんでした

添付されたメロディや動画／ｉモーションのデータが不正なため再生できませんでした。

署名・テンプレート・振り分け設定データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？

署名・テンプレート・振り分け設定のデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

署名をつけることができません

- 最大文字数を超えるため署名を挿入できません。
- 署名が装飾されているためSMSに挿入できません。
- SMS設定で送信文字種が「英語」に設定されているため、署名を挿入できません。送信文字種を「日本語」に変更してください。☛P264

新規パターンデータがリリースされました。スキャン機能のパターンデータ更新を起動してください

パターンデータの自動更新に失敗しました。手動でパターンデータ更新を行ってください。☛P493

既にメッセージをお預かりしています

既にSMSは送信済みです。

正常に接続できませんでした（400）

- サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URL が間違っている可能性があります。URL が正しいかどうかを確認してください。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

赤外線　接続相手が見つかりません。続けますか？

赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま規定の時間が経過しました。20cm 以内の距離で、相手の赤外線ポートにFOMA 端末を向けてから「はい」を選択してください。☛P353

赤外線　中断されました

赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を相手の赤外線ポートに向けたまま動かさないでください。☛P353

赤外線　データ転送モードへ移行できません

FOMA 端末が通信中です。データ転送モードへ移行できないため、処理を実行できません。通信を終了するか、しばらくたってから操作し直してください。

赤外線　認証接続できませんでした

認証パスワードが正しくないため、全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。

赤外線　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした

異なるFOMAカードが挿入されているか、FOMA カードが挿入されていないため、赤外線通信で受信したデータにｉアプリToが設定されていても、指定されているｉアプリを起動できません。

セキュリティエラーのため、終了しました

許可されていない動作があったため、ｉアプリが終了しました。セキュリティエラー履歴に記録されます。

セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました

許可されていない動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

接続が中断されました

電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

接続先のサーバは現在ご利用できません（502）

お預かりセンターの設備が故障、または非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

接続できません

ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

接続できませんでした（503）

サーバのメンテナンスや回線の混雑などのため接続に失敗しました。しばらくたってから操作し直してください。

接続できませんでした（562）

ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

設定時間内に接続できませんでした

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

送信できません。宛先を確認してください（451）

ｉモードメールが送信できません。宛先が正しいかどうか確認してください。

送信できませんでした

SMSの送信に失敗しました。電波状態のよい場所で送信し直してください。

送信できませんでした（552）

ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

送信メールのデータが壊れています お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

そのソフトは最新です

既に最新のｉアプリにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

ソフトウェア更新予約が解除されました。再度予約操作を行ってください

電池切れのまま長期間充電しなかったなどのためソフトウェア更新の予約が解除されました。ソフトウェア更新を起動し、再度予約操作を行ってください。☛P489、P491

ソフトに誤りがあります

ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません

ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください

IC カード内のデータを削除しないと削除できないｉアプリです。ｉアプリを起動し、IC カード内のデータを削除してから、ｉアプリを削除してください。

タ

対応機種ではありません
ダウンロードしようとしたｉアプリが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

対応していないコンテンツです
FOMA端末で対応していないコンテンツのため、操作できません。

対応FOMAカード（UIM）ではありません。ダウンロードを中止します。
FOMAカードのバージョンに対応していないためダウンロードできません。

ダイヤル発信制限中です
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作はできません。

ダウンロードできませんでした
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい場所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。ただし、データにエラーがあるために中断された場合は、操作し直してもダウンロードできません。データの提供元にお問い合わせください。

ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください
ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモード／フルブラウザをご利用ください。

注意！電話番号や URL の記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。
スキャン機能設定のメッセージスキャンを「有効」に設定している場合、受信したSMSに電話番号やURLが記述されていると、そのSMSを最初に表示しようとしたときに表示されます。

通信エラーが発生しました
通信エラーが発生しました。「OK」を選択してGPS機能を終了してください。

データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？
データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

データが壊れているので履歴を起動できません
メールの送信履歴／受信履歴のデータに誤りがあるため履歴を表示できません。

データが不正です
ダウンロードしようとしたデータにエラーがあります。

データ転送モードへ移行できません
FOMA端末が通信中です。データ転送モードに移行できないため、処理を実行できません。通信を終了するか、しばらくたってから操作し直してください。

データ転送モードへ移行できませんでした
FOMA端末が通信中です。データ転送モードへ移行できないため、処理を実行できませんでした。通信を終了するか、しばらくたってから操作し直してください。

データまたは microSD が壊れています
microSDメモリーカードに保存しているデータまたはmicroSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。microSDメモリーカードを初期化するか、新しいmicroSDメモリーカードを取り付けてください。☛P346、P340

データまたは microSD が壊れています。保存先を本体に変更します
静止画や動画の保存先を「microSD」に設定しているときにmicroSDメモリーカードにアクセスできない場合、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

問合せできませんでした
電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

同時に通話できる人数４人を超えています
５人以上のメンバーに対してプッシュトーク発信しました。４人以内のメンバーを選んで発信してください。

同時に利用できない機能を使用中です。起動できません
実行中の機能が完了するのを待って操作し直してください。

登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）
ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？
うた・ホーダイのサービスを登録できる上限値を超えている場合に表示されます。「はい」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。

トルカがいっぱいのため取得できません　いずれかのトルカを削除してください
トルカの保存件数／保存領域がいっぱいのため、トルカを取得できません。不要なトルカを削除してください。

トルカがいっぱいのため保存できません。いずれかのトルカを削除してください
トルカの保存領域の空きが不足しているため、トルカを保存できません。不要なトルカを削除してください。

トルカを参照できませんでした
トルカの表示に失敗しました。操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、データが壊れていて表示できない可能性があります。

ナ

長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません

サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。ⓒを押すと超過分が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

入力データまたはURLが長すぎます

サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

入力データをご確認ください(205)

サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

認証タイプに未対応です（401）

認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。

認証を中止しました

認証画面で認証を中止したときに表示されます。

残りのデータを取得できません データを削除しました

部分的に保存したデータの残りのデータを取得できないため、データを削除しました。

ハ

バージョン表示できませんでした

パターンデータのバージョンを確認できません。再度パターンデータを更新してください。☛P493

パスワードをご確認ください(401)

サイトやインターネットホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。再入力してください。

発信規制中のため、接続できません

発信規制中のため接続できません。しばらくたってから操作し直してください。

発信できません

音声電話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、または64Kデータ通信中に音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信はできません。

パラメータに指定されている位置情報に誤りがあります

位置情報に誤りがあるため、表示できません。

ファイルが壊れていました(493)

ファイルが壊れているため取得できません。

不正なデータが含まれています

バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動するとき、データに不正がある場合はｉアプリを起動できません。

不正なデータのため保存できません

ダウンロードしたデータに不正があるため、保存できません。

不正なmicroSDです。著作権保護機能は利用できません

何らかの原因でmicroSDメモリーカード内の認証領域を参照できませんでした。エラーの発生したmicroSDメモリーカードにはコンテンツ移行対応のデータは保存できません。

フレーム指定のコンテンツはダウンロードできません

フルブラウザが対応していない形式でデータが指定されているため、ダウンロードできません。

プレビュー中のため、ご利用できません

選択したしおりやリンクは、添付ファイル選択時のプレビューでは利用できません。

他の機能が起動中のため起動できません

他に起動している機能をすべて終了してから実行してください。

他の機能が起動中のため表示できません

パターンデータ更新中のため実行できません。更新完了後に実行してください。

保存できないデータです

赤外線／iC通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

保存できません

データにエラーがあったため保存できません。

保存できませんでした

- データにエラーがあったため保存できません。
- PDFデータが大きすぎるなどのため、保存に失敗しました。

保存領域がいっぱいです。不要な電話帳を削除してください

FOMA端末電話帳の保存領域の空きが不足しているため、プッシュトーク電話帳の登録／削除およびプッシュトークグループへのメンバー追加／編集／削除ができません。FOMA端末電話帳の不要なデータを削除してください。

保存領域がいっぱいです。保存できませんでした

FOMA端末の保存領域の空きが不足しているため、SMSを保存できません。SMSをFOMAカードに移動するか、ｉモードメールやSMSを削除してください。

保存領域に誤りがあります。修復を行います

きせかえツールの保存領域に誤りがあるため、きせかえツールを読み込めません。ⓒを押すと保存領域の修復が行われます。

保存領域に誤りがあるためプッシュトーク電話帳が読み書きできません。終了します

FOMA端末電話帳およびプッシュトーク電話帳の保存領域に誤りがあるため、プッシュトーク電話帳の読み書きができません。FOMA端末電話帳を起動してください。FOMA端末電話帳を起動すると、保存領域の修復が行われます。

本体の保存件数がいっぱいです

FOMA端末の保存件数がいっぱいか、保存領域の空きが不足しているため実行できません。該当する不要なデータを削除してください。

マ

未送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの未送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

未保存のデータを本体に保存するか削除してください

赤外線／iC通信のINBOXの保存件数がいっぱいのため、赤外線／iC通信を終了できません。INBOXのデータをFOMA端末に保存するか、削除してください。☛P356

無効なデータを受信しました（XXX）

- 指定のサイトやインターネットホームページに対応していません。
- URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

メール受信処理中です。しばらくして、再度起動してください。

メールやメッセージR/Fの受信中はｉチャネルを起動できません。受信後に操作し直してください。

メールデータを参照できませんでした

- 他の処理でメールやフォルダを使用しているため、対象のメールデータを参照できませんでした。しばらくたってから操作し直してください。
- チャットメールでメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。

メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているためSMSを受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、削除してください。

メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため、SMSをすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、削除してからSMS問合せを行ってください。

メッセージがいっぱいです

保存領域の空きが不足しているためメッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、メッセージR/Fの保護を解除するか、削除してください。

メモリ不足が発生したためアプリケーションを終了します

メモリ不足が発生したため実行中の機能を終了します。

メモリ不足です

メモリ不足が発生したため処理を中断します。

メモリ不足です。メインメニューに戻ります

メモリ不足が発生したため処理を中断します。

メモリ不足のためウィンドウを開けません

メモリが不足したためウィンドウを開けません。既に開いているウィンドウを閉じるか、実行中の他の機能を終了すると実行できる場合があります。

ヤ

ユーザ証明書がありません。継続しますか？

ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。

ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？

ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。☛P215

読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？

自動読取機能設定が「OFF」になっています。「はい」を選択して「ON」に設定すると自動読取機能を利用できるようになります。

ラ

料金情報の読込ができませんでした

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。☛P36

料金情報のリセットができませんでした

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。☛P36

利用できないフォーマットです

microSDメモリーカードのフォーマットがFOMA端末で利用できない形式です。

連続撮影はできません

マイピクチャ内の保存領域または保存件数がいっぱいのため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

録画できません

映像と音声の通信が切れているため動画メモを録画できません。

英字・記号

FMトランスミッターは現在利用できません

海外ではFMトランスミッターは使用できません。また、日本国内でも電源を入れ直したときは、いったんサービスエリア内に入らないと使用できません。

FOMAカード情報が一致しないため起動できません

挿入しているFOMAカードとICカードに登録されているFOMAカード情報が異なる場合に表示されます。

FOMAカード情報が一致しないためダウンロードできません

挿入しているFOMAカードとICカードに登録されているFOMAカード情報が異なる場合に表示されます。

FOMAカード情報が一致しないためバージョンアップできません

挿入しているFOMAカードとICカードに登録されているFOMAカード情報が異なる場合に表示されます。

FOMAカード（UIM）がいっぱいです

FOMAカードの保存領域の空きが不足しているためSMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか（☛P266）、FOMA端末に移動してください（☛P265）。

FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません

FOMAカード動作制限機能のため操作できません。データやファイルを保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

FOMAカード動作制限機能のため、指定されたｉアプリを起動できません。ｉアプリをダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

FOMAカード（UIM）が挿入されていないためご利用できません

FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。☛P36

FOMAカード（UIM）が認識できないためご利用できません

FOMAカードが挿入されていないため実行できません。動画／ｉモーションを再生するには、保存時と同じFOMAカードを挿入してください。

FOMAカード（UIM）または機種が異なるためご利用できません

保存時と異なるFOMAカードが挿入されているか、機種が異なるため動画／ｉモーションを再生できません。

ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？

ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「いいえ」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？

「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」のメッセージが表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

ｉモーション最大サイズを超えています

ｉモーションのデータ取得時に、データが最大サイズを超えたため受信を中断しました。

ICカード内データがいっぱいのため起動できません

ICカード内のデータがいっぱいのため、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。必要な空き容量ができるまで、登録済みのおサイフケータイ対応ｉアプリのサービスを削除してください。

ICカード内データがいっぱいのため起動できません　いずれかのサービスを削除しますか？

ICカード内のデータがいっぱいのため、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。「はい」を選択すると、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリが表示されます。画面の指示に従いｉアプリを起動してICカード内のデータを削除してください。

ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？

ICカード内のデータがいっぱいのため、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、新しいおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできません。「はい」を選択すると、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリが表示されます。

- 一覧に「ICカード使用ソフトがいっぱいです　ソフトを削除してください」と表示されたときは、削除するｉアプリを選択します。ｉアプリを選んだときガイド行右上に「起動」と表示されたときは、[m]を押してｉアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してから選択してください。
- 一覧に「XXXXバイトの削除が必要です」と表示されたときは、ｉアプリごとにICカード内のデータの使用量が表示されます。ｉアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してください。

ICカード内データがいっぱいのためバージョンアップできません　いずれかのサービスを削除しますか？

ICカード内のデータがいっぱいのため、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、おサイフケータイ対応ｉアプリをバージョンアップできません。操作方法は、「ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？」のメッセージと同様です。

ICカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか?

複数削除または全件削除するｉアプリの中に、ICカード内のデータを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」を選択します。

ICカード内データにエラーがあるため削除できません

ICカード内のデータにエラーがあるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

iC 通信　接続相手が見つかりません。続けますか？

iC 通信を開始してから通信する相手が見つからないまま規定の時間が経過しました。「はい」を選択してFeliCaマークを重ね合わせてください。

iC通信　中断されました

iC通信中にエラーが発生しました。送信中は FeliCa マークを重ねたまま離さないでください。

iC 通信　データ転送モードへ移行できません

FOMA 端末が通信中です。データ転送モードへ移行できないため、処理を実行できません。通信を終了するか、しばらくたってから操作し直してください。

iC通信　認証接続できませんでした

認証パスワードが正しくないため全件送信ができませんした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。

iC通信　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした

異なる FOMA カードが挿入されているか、FOMA カードが挿入されていないため、iC通信で受信したデータにｉアプリToが設定されていても、指定されているｉアプリを起動できません。

microSDが挿入されていません

microSD メモリーカードが FOMA 端末に取り付けられていないためデータの保存や操作ができません。microSDメモリーカードを取り付けてから操作してください。☛P340

microSD の保存件数がいっぱいです。保存先を本体に変更します

カメラやキャラ電で撮影した静止画や動画の保存先を「microSD」に設定しているときにmicroSDメモリーカードの保存件数がいっぱいになると、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

microSDの保存領域がいっぱいです

microSD メモリーカードの保存領域の空きが不足しているため、データのコピー、移動、バックアップ、情報更新ができません。microSD メモリーカードのデータ表示操作を行い、不要なデータを削除してください。
☛P343

microSDへの保存はできません。保存先を本体に変更します

ダウンロードしたキャラ電の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されている場合、そのキャラ電を撮影した静止画／動画はmicroSDメモリーカードに保存できません。また、撮影後ファイル制限の設定は変更できません。

PIN ロック解除コードがロックされています

ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SMSセンター設定を確認してください

SMS設定の「SMSC」の設定が誤っています。設定を確認してください。
☛P264

SSL通信が切断されました

SSL 通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのため SSL 通信が中断されました。

SSL通信が無効です

SSL 通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

SSL通信が無効に設定されています

FOMA 端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。☛P215

SSL/TLS通信が切断されました

SSL/TLS 通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL/TLS通信が中断されました。

SSL/TLS通信が無効です

SSL/TLS 通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

SSL/TLS 通信が無効に設定されています

FOMA 端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。☛P215

URLが長すぎて登録できません

URL が登録可能な文字数を超えているためブックマークに登録できません。

“●▲■ .ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません(555)Unable to send. “●▲■ .ne.jp” is not available temporarily.（555）

※ドメイン名は送信先により表示が異なります。

表示されたドメイン名宛のメールが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。
  記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みの FOMA 端末などに移行を行っておりません。
  ※本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  ※本FOMA端末は、ｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  ※本 FOMA 端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  ※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（☛P434）とFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。☛P473
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

● 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

● 次の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有償修理となります。

● 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

● 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災、けが、故障の原因となります。
  - ・FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMAカードは使用できません。
  - ・改造（部品の交換、改造、塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - ・改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA 端末の故障、修理やその他お取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

■ メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像、着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

iモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　　テストメニュー一覧画面

■「iモード故障診断サイト」への接続方法

iモードサイト：iMenuの「お知らせ」→「サービス・機能」→「iモード」→「iモード故障診断」

サイト接続用QRコード

- iモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
  - ・海外からのアクセスの場合は有料となります。

・FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
・各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
・ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
・ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※1を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させていただきます。
また、更新お知らせ受信設定を「有効」に設定すると、ソフトウェア更新が必要な場合、更新のお知らせを受信できます。☛P488

※1：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

・ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
　・即時更新：
　　更新したいときすぐに更新を行います。
　・予約更新：
　　更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

おしらせ

● ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗します。
● ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳／プッシュトーク電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用に際して

・次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
　・オールロック中
　・他の機能を実行しているとき
　・日付・時刻を設定していないとき
　・FOMAカードが未挿入のとき
　・電池がフル充電されていないとき
　・PIN1コード入力中
　・PIN1コードロック中
　・「圏外」が表示されているとき
　・パーソナルデータロック中
　・電源が入っていないとき
　・海外で利用しているとき
　・セルフモード中
　・通話中
　・おまかせロック中
　・パソコンとつないだパケット通信中
　・64Kデータ通信中
・ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
・ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
・PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話やプッシュトークの発信、着信、各種通信操作ができません。
・ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声電話の着信は可能です）。
・ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話は受けられません。着信履歴には不在着信として記録されます。
・ソフトウェア更新中に目覚ましやアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、目覚ましやアラームなどは起動しません。
・ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書管理でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は有効に設定されています。☛P215
・ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（▥）で実行してください。

• ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態（ ）で、移動せずに実行することをおすすめします。
・ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
• ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
また、メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
• ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。
• 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。
• 更新が必要ないときは、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。
• 接続先設定をｉモード以外に設定している場合でもソフトウェア更新を行えます。

ソフトウェア更新のお知らせを受信する

更新お知らせ受信設定

あらかじめ「更新お知らせ受信設定」を有効に設定しておくことで、ソフトウェア更新が必要な場合、待受画面に更新お知らせアイコン（ ）が表示されます。

1 Menu 8 6 4

2 **端末暗証番号を入力▶「更新お知らせ受信設定」▶「設定変更」▶「有効」▶●**

暗証番号
暗証番号を入力してください

ソフトウェア更新
更新実行 / 更新お知らせ受信設定
更新実行
更新お知らせ受信設定

ソフトウェア更新
設定変更 / 設定確認
設定変更
設定確認

ソフトウェア更新
更新お知らせの受信設定を行います
有効
無効

ソフトウェア更新
携帯電話情報を送信します
ＯＫ

ソフトウェア更新
SSL通信を開始します（認証中）

ソフトウェア更新
通信中
設定しました
ＯＫ

■ 設定を確認する：設定変更／設定確認画面で「設定確認」▶●

おしらせ

● 更新お知らせアイコンは次の場合に表示されます。
• ドコモから通知があった場合
• 予約更新に失敗した場合
• 予約更新を取り消した場合
• データ一括削除を実行した場合
• ソフトウェア更新画面を表示した場合
• お買い上げ時（表示されていない場合もあります）

ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには、待受画面で更新お知らせアイコンを選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

更新お知らせアイコンを選択してソフトウェア更新を起動する

1 ◉▶更新お知らせアイコンを選択▶「はい」▶端末暗証番号を入力する

更新お知らせアイコン

- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

2 注意事項を確認して◉

3 ◉◉▶ソフトウェア更新が必要かどうかを確認

更新方法選択画面

- 携帯電話情報の送信確認画面で◉を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が送信されます。

■ **更新お知らせ受信設定が無効に設定されているとき：**

チェック中画面の後、有効に設定するかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」または「いいえ」を選択します。「はい」を選択したときは通信が行われた後、更新を継続する旨の確認画面が表示されるので、◉を押します。設定が終了するとチェック中画面に戻ります。

■ **更新が必要ないとき：**

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。◉を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

メニューからソフトウェア更新を起動する

1 Menu 8 6 4 ▶端末暗証番号を入力▶「更新実行」

- 以降の操作は「更新お知らせアイコンを選択してソフトウェア更新を起動する」の操作2以降と同じです。☛P489

すぐにソフトウェアを更新する　即時更新

- サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 更新方法選択画面（P489）で「今すぐ更新」▶

ダウンロードが開始され、決定キーの照明が点滅します。

ソフトウェア更新
ダウンロードします
音声着信以外は
ご利用になれません
ＯＫ

ソフトウェア更新
通信中

ソフトウェア更新
ダウンロード中

- を押さなくても、約5秒後にダウンロードが開始されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどの選択操作をしなくても更新処理が実行されます。
- 通信中、ダウンロード中にダウンロードを中止するときはを押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

■ サーバが混み合っているとき：

ソフトウェア更新
サーバーが
混みあっています
予　約
更新しない

- 「予約」を選択して更新日時を予約してください。

2 ダウンロード終了後に

書き換え中は決定キーの照明が点滅します。

ソフトウェア更新
ダウンロードしました
ソフトウェアを
書換えます
ＯＫ

ソフトウェア更新
書換え準備中
しばらく
お待ちください

書換え中 (1/2)
Rewriting
>>>

再起動を行ない
書換えを継続します
Ready to reload
and continue
with rewrite?

書換え中 (2/2)
Rewriting
>>>

書換え完了しました
再起動します
Rewriting is
complete.
Ready to reload?

- ダウンロード終了後、を押さなくても約5秒後に書き換えが開始されます。
- ソフトウェア書き換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新の中止もできません。

3 書き換え終了後、自動的に再起動

再起動すると再度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

ソフトウェア更新
SSL通信を
開始します
（認証中）

ソフトウェア更新
更新完了
チェック中

ソフトウェア更新
更新完了
チェック中
ソフトウェア更新
完了しました
ＯＫ

4

更新が終了し、待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する

予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておけます。

1 更新方法選択画面（☛P489）で「予約」

サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。

ソフトウェア更新
通信中

ソフトウェア更新
希望日時を
選んでください
07/11(水) 16:49
07/12(木) 19:32
07/13(金) 23:42
07/14(土) 03:18
07/15(日) 06:40
07/16(月) 10:11
その他の日時

- 予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

2 希望日時を選択

■ **表示されている予約候補から選択する：希望日時を選択▶「はい」**

ソフトウェア更新
7月11日(水)
16:49に
予約しますか？
はい
いいえ

ソフトウェア更新
通信中

ソフトウェア更新
通信中
7月11日(水)
16:49に
予約しました
OK

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、⊙でページを切り替えられます。

■ **表示されている予約候補以外から選択する：**

①「その他の日時」

②希望日を選択

ソフトウェア更新
1.希望日を
選んでください
2007/07/11 (水)
2007/07/12 (木)
2007/07/13 (金)
2007/07/14 (土)
2007/07/15 (日)
2007/07/16 (月)
2007/07/17 (火)
2007/07/18 (水)
2007/07/19 (木)
2007/07/20 (金)

ソフトウェア更新
2.時間帯を
選んでください
○ 16:00～
○ 18:00～
○ 19:00～
△ 20:00～
△ 21:00～
○ 22:00～
○ 23:00～

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか

③**希望時間帯を選択**

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。

- 希望時間帯の候補が複数ページあるときは、⊙でページを切り替えられます。
- 📖を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④**希望日時を選択▶「はい」**

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、⊙でページを切り替えられます。

3 ●

予約の設定が完了し、メニューが表示されます。

- 予約中は、待受画面に が表示されます。

予約した日時を確認・変更・取り消す

1 Menu 8 6 4

2 端末暗証番号を入力▶「更新実行」▶内容を確認

ソフトウェア更新
7月11日(水)
16:49に
予約されています
OK
変更
取消

- 確認を終了する：「OK」を選択

■ **予約を変更する：**

①「変更」

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

②●

予約候補の選択画面が表示されます。

- 以降の操作は、「表示されている予約候補以外から選択する」の操作②以降と同じです。☛P491

・携帯電話情報の送信確認画面でⓔを押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が送信されます。

■ 予約を取り消す：
①「取消」▶「はい」
携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。
②ⓔⓔ
予約が取り消され、メニューが表示されます。
・携帯電話情報の送信確認画面でⓔを押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が送信されます。

予約した日時になると

予約した日時になると下の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動されます。

ソフトウェア更新
予約時刻です
更新を開始します
OK

・ソフトウェア更新を中止する：☎▶「はい」

おしらせ

● 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
● PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1 コード入力画面が表示されます。正しいPIN1 コードを入力しないと、電話やプッシュトークの発信、着信、各種通信操作ができません。
● 同じ日時に目覚ましやアラームなどが設定されていた場合には、目覚ましやアラームなどが優先され、ソフトウェア更新が開始されない場合があります。
● 予約が完了した後にデータ一括削除（☛P408）を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る　スキャン機能

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードや i モードメール、SMSなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

・チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。自動更新設定を「有効」に設定すると、バージョンアップされた際に自動的に更新されます。
・スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんので、あらかじめご了承ください。
・パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。
・パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。

スキャン機能を設定する　スキャン機能設定

本設定を「有効」に設定すると、データの表示やプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

お買い上げ時　すべて有効

1 Menu 8 3 7 3

2 **各項目を選択**▶1▶回

スキャン機能設定
スキャン機能
有効
メッセージスキャン
有効

スキャン機能：
「有効」に設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。☛P494

メッセージスキャン：
「有効」に設定すると、SMS に電話番号やURLが記載されている場合、そのSMSを最初に表示するとき、電話番号やURLが記述されている旨の注意が表示されます。
- moperaメールの着信通知、留守番電話の着信通知機能などをSMSで受信した場合には、確認画面は表示されません。

- 解除する：2▶ ▶

3 「はい」

自動的にパターンデータを更新する

自動更新設定

パターンデータが自動的に更新されるように設定します。

1 Menu 8 3 7 2

2 「有効」▶「はい」▶「はい」

自動更新設定

パターンデータ
自動更新設定を
行います

有効
無効

- 解除する：「無効」▶「はい」

3 ●

新しいパターンデータが配信されると

パターンデータ更新

パターンデータ
自動更新中

ダウンロード中

- 新しいパターンデータが配信されると上の画面が表示され、自動的にパターンデータ更新を開始します。パターンデータの更新に成功すると、待受画面に が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、「OK」を選択してください。
- パターンデータの更新に失敗したときは、待受画面に が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認し、「OK」を選択した後、手動でパターンデータを更新してください。
- パターンデータ更新を中止する：●▶「はい」

すぐにパターンデータを更新する

パターンデータ更新

自動更新設定を「無効」に設定しているときや、自動更新に失敗したときに、手動でパターンデータを更新してください。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。

1 Menu 8 3 7 1

2 「はい」▶「はい」

パターンデータが更新されます。

パターンデータ更新

パターンデータを
更新しますか？

はい
いいえ

パターンデータ更新

携帯電話情報を
送信します

はい
いいえ

パターンデータ更新

更新中

ダウンロード中

3 ●

- パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。プッシュトークやテレビ電話の着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- パターンデータ更新中に目覚ましやスケジュールアラームの設定日時になると、設定日時を知らせる画面が表示されて目覚まし音やアラームが鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

問題要素一覧
AAAAAAAAAA.H
BBBBBBBBBB.H
CCCCCCCCCC.H
DDDDDDDDDD.H
EEEEEEEEEE.H
以下省略、総数19
OK

1 警告メッセージ表示中に「詳細」

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、６個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

スキャン結果の表示について

警告レベル／警告メッセージ	対応方法
警告レベル0 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK　詳細	「OK」： 起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル1 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい　いいえ　詳細	「はい」： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「いいえ」： 起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル2 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK　詳細	「OK」： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル3 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります　データを削除しますか？ はい　いいえ　詳細	「はい」： 障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「いいえ」： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル4 問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK　詳細	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「詳細」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

おしらせ

- スキャン機能によってｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり、ｉアプリの起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 問題要素によっては「詳細」が表示されない場合があります。

パターンデータのバージョンを確認する

バージョン表示

1 Menu 8 3 7 4

バージョン表示
パターンデータのバージョン
1.1
McAfee
Proven Security

主な仕様

品　名		FOMA D904i
サイズ		高さ110mm×幅49mm×厚さ16.8mm（閉じているとき）
質量		約114g（電池パック装着時）
連続待受時間		静止時：約600時間 移動時：約420時間
連続通話時間		音声電話時：約180分 テレビ電話時：約110分
充電時間		ACアダプタ：約140分 DCアダプタ：約140分
液晶部	方式	TFT262,144色
	サイズ	約2.8inch
	画素数	96,000画素（240×400ドット）
撮像素子	種類	インカメラ：CMOS アウトカメラ：CMOS
	サイズ	インカメラ：1/11.0inch アウトカメラ：1/3.2inch
	有効画素数	インカメラ：約10万画素 アウトカメラ：約320万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	インカメラ：約10万画素 アウトカメラ：約320万画素
	ズーム（デジタル）	インカメラ：最大約2.0倍 アウトカメラ：静止画最大約15.9倍、動画最大約16.0倍
記録部	静止画保存枚数	約563枚※1
	静止画連続撮影	2～9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	本体保存時：約20分※2 microSDメモリーカード（64Mバイト）保存時：約106分※3
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	連続再生時間	WMAファイル：約840分※4 AAC形式ファイル ｉモーション：約420分 着うたフル®：約790分※4
	ラジオ受信時間	約32時間
保存容量	着うた®	約27Mバイト※5
	着うたフル®	

※１：画像サイズ：Sub-QCIF（128 × 96 ドット）
　　　画質：スタンダード　ファイルサイズ：10K バイト
※２：下記の条件の場合で保存できる動画１件あたりの最大録画時間
　　　画像サイズ：Sub-QCIF（128 × 96 ドット）
　　　ファイルサイズ制限：制限なし
　　　画質：スタンダード　種別：画像＋音声
※３：下記の条件の場合で保存できる動画１件あたりの最大録画時間
　　　画像サイズ：Sub-QCIF（128 × 96 ドット）
　　　ファイルサイズ制限：制限なし
　　　画質：スタンダード　種別：画像＋音声
※４：バックグラウンド再生対応
※５：着うた® 専用に約 10M バイト、着うたフル® 専用に約 7M バイトの保存領域を確保しています。お買い上げ時に登録されているｉモーションの「転校生」を削除したときの保存容量です。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とはFOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合など）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーション（音楽データ含む）の再生などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。
- FOMA端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

D904iの保存・登録・保護件数

種　別		最大保存・登録件数	最大保護件数
電話帳	FOMA端末※1	1000件	－
	FOMAカード	50件	－
スケジュール	スケジュール	300件	－
	休日	30件	－
	祝日	5件	－
メール	受信メール※1、※2	1000件	500件
	送信メール※1、※2	200件	100件
	未送信メール※1、※2	200件	100件
	メールテンプレート※1	100件	－
FOMAカードのSMS※3		20件	－
メッセージR※1		100件	50件
メッセージF※1		50件	25件

種　別		最大保存・登録件数	最大保護件数
ブックマーク	ｉモード	100件	－
	フルブラウザ	100件	－
画面メモ※1		100件	50件
ｉアプリ※4		100件	－
画像※1		1000件	－
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1、※5		99件	－
メロディ※1		500件	－
キャラ電※1		50件	－
PDFデータ※1		100件	－
きせかえツール※1		36件	－
マチキャラ※1		16件	－
Word、Excel、PowerPoint※1		100件	－
トルカ※1、※6		100件	－

※１：実際に保存・登録できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。
※２：ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※３：送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知の件数は含まれません。
※４：メール連動型ｉアプリは最大５件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。実際に保存できる件数は、ｉアプリのサイズにより少なくなる場合があります。
※５：お買い上げ時に登録されているｉモーションの「転校生」を削除すると100件登録できます。
※６：利用済みトルカは含まれません。

おしらせ

- FOMA端末に保存されているデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じることがあります。
- FOMA端末に保存したメール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／ｉモーションなどはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。保存できるデータについては☛P341
- パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、メール、ブックマーク、画像、動画／ｉモーションなどのデータをパソコンに転送・保管できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA D904iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※1の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA D904iのSARの値は0.466W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

> 総務省のホームページ
> http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
> 社団法人電波産業会のホームページ
> http://www.arib-emf.org/index.html
> ドコモのホームページ
> http://www.nttdocomo.co.jp/product/
> 三菱電機のホームページ
> http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mobile/

※１：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Declaration of Conformity

The product "FOMA D904i" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.327W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

*　The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

**　The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

***　Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

FOMA端末の画面に表示される機能名などから調べるときや、あらかじめ機能名やサービス名がわかっているときに索引から探します。

例　スケジュールを登録したいとき

Scheduler
1 スケジュール帳
2 メモ帳
3 目覚まし
4 電卓
5 辞典

スケジュール帳……388
アラーム初期値設定……392
確認……392
カレンダーモード設定……389
休日設定……389
コピー／貼り付け……392
削除……393
シークレット属性……394
祝日設定……390
設定日時になると……391
登録……390
登録件数確認……395
メール検索……393

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

数字・英字

クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
クイックマニュアル（海外利用編）は、海外で国際ローミング（WORLD WING)をご利用いただく際に携帯してください。

キリトリ線

キリトリ線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
●切り取る際はけがにご注意ください。

表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折りたたんでお使いください。

❶ 表紙

❷ 表紙

❸ 表紙

NTT DoCoMo

FOMA® D904i クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
(局番なしの) **151** (無料)
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
(局番なしの) **113** (無料)
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

電話帳の登録

■ 登録

1 [Menu][4][2]
・FOMAカード電話帳の登録：[Menu][4][3]
2 名前を入力 ▶ [電話帳]
3 各項目を設定 ▶ [電話帳]

FOMA 端末電話帳

■ リダイヤルや着信履歴からの登録

1 [→] または [←]
2 登録する相手を選び [Menu][4][1]
・登録済みの電話帳データへ追加する場合：[Menu][4][2]

3 [1] (FOMA 端末電話帳) ～ [2] (FOMA カード電話帳)
・登録済みの電話帳データへ追加する場合：追加する相手を選択
4 各項目を設定 ▶ [電話帳]
・登録済みの電話帳データへ追加する場合：「上書き登録」または「新規登録」

電話帳の修正

1 [電話帳]
・電話帳の切り替え：[電話帳]
2 修正する相手を選び [Menu][3][1]
・FOMA カード電話帳の場合：修正する相手を選び [Menu][3]
3 修正 ▶ [電話帳]
4 「上書き登録」または「新規登録」

電話帳の検索

1 [Menu][4][1]
・電話帳の切り替え：[電話帳]

2 [1] ～ [7]
・FOMA カード電話帳では [1] ～ [4]

文字の入力

■ 文字の入力・変換（かな入力方式）

〈例〉「企業」と入力するとき

1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
「き」：[2] を 2 回 ▶ [→] (自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません)
「ぎ」：[2] を 2 回 ▶ [*]
「ょ」：[8] を 3 回 ▶ [大/小]
「う」：[1] を 3 回
・入力した文字の変換前にできる操作
[Menu]：カタカナ・英数字などに変換
[大/小]：大文字／小文字の切り替え
[メール]：入力直後に 1 つ前の文字に戻す
(例：…→ 1 →お→え→う→…)
[*]：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加（例：→ぼ→ぽ→ほ→…）

[クリア]：文字の取り消し
・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動 ▶ 文字を入力
2 [電話帳]
・変換候補一覧の表示：[↕] ／ [電話帳]
・変換前の状態に戻す：[クリア]
3 [決定]
4 [決定]

■ 入力モードの切り替え

文字入力中に [文字] を複数回
・カタカナ・英数字の全角／半角切り替え：[文字] を押した後で [↕]

■ 文字の削除

● カーソルが文中にあるとき
[クリア]：カーソル位置の文字の削除
[クリア] (1 秒以上)：カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字の削除

● カーソルが文末にあるとき
[クリア]：カーソルの左の 1 文字の削除
[クリア] (1 秒以上)：すべての入力文字の削除

■ 絵文字・記号・顔文字の入力

1 文字入力中に [Menu] ▶「絵文字・記号・顔文字」▶ [1] ～ [3]
2 絵文字・記号を選択
・顔文字を選択する場合：[1] ～ [9] ▶ [1] ～ [9] ／ [0] ／ [*] ／ [#]

カメラ機能

■ 静止画／動画の撮影

● 静止画を撮影する
1 [カメラ] (1 秒以上)
2 被写体にカメラを向け [決定] または [カメラ]
3 [決定] または [カメラ]

● 動画を撮影する
1 [Menu][6][6][2]

2 被写体にカメラを向け [決定] または [カメラ]
3 [電話帳] または [カメラ]
4 [決定] または [カメラ]

■ 静止画の表示／動画の再生

● 静止画を表示する
1 [i][1] ▶「カメラ」▶ 静止画を選択

● 動画を再生する
1 [i][3] ▶「カメラ」▶ 動画を選択
・再生中にできる操作

機　能	操作方法
一時停止／再生	[決定]
音量調整	[↕]
巻戻し再生	[←]
早送り再生	[→]
停止	[電話帳]

音楽再生

1 [大/小][2] ▶ フォルダ／プレイリストを選択 ▶ 音楽データを選択
・前回終了時の情報があるときは、[大/小][2] を押すと前回終了時の音楽データから再生されます。
・再生中にできる操作

機　能	操作方法
一時停止／再生	[決定]
音量調整	[↕]
音楽データの先頭に戻る／前の音楽データに戻る	[←]
次の音楽データに進む	[→]
巻戻し／早送り	[←→] (1 秒以上)
再生を終了し一覧に戻る	[クリア]
再生したまま一覧に戻る	[メール] ／ [i] (1 秒以上)
クイックプレイリスト登録	[文字] (1 秒以上)
FM トランスミッター出力	[Menu][3] ※1

※ 1：周波数の設定：[マナー] ▶ 新規起動メニューで [*]

キリトリ線

iモードメール

■ iモードメールの作成・送信

1 ✉ 2

メール作成<新規>
- 宛先欄
- 題名欄
- 添付欄
- 本文欄
- 本文中の文字と装飾情報の合計バイト数

2 宛先欄 ▶ 入力方法を選択 ▶ 入力または選択

3 題名欄 ▶ 入力

4 本文欄 ▶ 入力
・デコメールの作成：✉
▶ 装飾方法を選択 ▶ 文字を入力

5 📖
・メールの保存：Menu 3
・圏内自動送信：Menu 2

■ ファイルの添付

1 メール作成画面で添付欄 ▶ 添付するファイルの種類を選択
・静止画を撮影して添付：「イメージ」▶「カメラ撮影」
・動画を撮影して添付：「iモーション」▶「カメラ撮影」
・音声を録音して添付：「ボイス録音」

2 格納場所を選択 ▶ ファイルを選択
・添付ファイルの解除：添付欄を選び ✉ ▶「はい」

■ iモードメールの受信

1 メールを受信
メール着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅して受信結果画面が表示される

2 1 ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択

■ iモード問合せ

1 ✉（1秒以上）

メニュー一覧

Menu を押してから、各項目の番号を入力します。
〈例〉送信メールを表示するとき
Menu 1 5

■ メール

番号	項目
11	受信メール
12	新規メール
13	チャットメール
14	未送信メール
15	送信メール
16	問合せ・WEBメール
161	iモード問合せ
162	SMS問合せ
163	メール選択受信
164	iモード問合せ設定
165	WEBメール
17	SMS
171	SMS作成
172	FOMAカード（UIM）受信SMS
173	FOMAカード（UIM）送信SMS
174	SMS設定
18	テンプレート読込み
19	メール設定
191	メール着信設定
192	チャットメール着信設定
193	メール振り分け設定
194	署名設定
195	メール返信設定
1951	メール返信引用設定
1952	クイック返信設定
1953	クイック返信本文登録

番号	項目
196	メールグループ
197	受信・表示設定
1971	受信・自動送信表示
1972	メール選択受信設定
1973	メール受信添付ファイル設定
1974	添付ファイル自動再生設定
1975	メール一覧表示設定
1976	オンリービュー設定

■ iモード

番号	項目
21	iMenu
22	Bookmark
23	Internet
231	URL入力
232	URL履歴
233	ラストURL
24	画面メモ
25	iモード問合せ
26	メッセージR/F
261	メッセージR
262	メッセージF
263	メッセージ設定
2631	メッセージ自動表示
2632	iモード問合せ設定
2633	添付ファイル自動再生設定
2634	メッセージR着信設定
2635	メッセージF着信設定
27	iチャネル
271	iチャネル一覧
272	テロップ表示設定
273	iチャネル初期化
28	iモード設定
281	ツータッチサイト表示
282	接続待ち時間設定
283	照明設定
284	iモード中プッシュトーク着信
285	証明書設定

番号	項目
2851	証明書管理
2852	ユーザ証明書操作
2853	証明書発行接続先設定
2854	暗証番号入力省略設定
286	表示・効果設定
287	iモーション設定
288	接続先設定
29	フルブラウザ
291	ホーム
292	Bookmark
293	Internet
2931	URL入力
2932	URL履歴
2933	ラストURL
294	フルブラウザ設定
2941	ホーム設定
2942	Cookie設定／削除
2943	Script設定
2944	表示モード設定
2945	画像表示設定
2946	アクセス設定
2947	Referer設定
2948	画面表示設定

■ iアプリ

番号	項目
31	ソフト一覧
32	iアプリ設定
321	ソフトの並べ替え
322	自動起動設定
323	ソフト情報表示設定
324	照明設定
325	バイブレータ設定
326	ツータッチiアプリ表示
33	履歴表示

■ 電話帳／履歴

番号	項目
41	電話帳検索
42	電話帳登録
43	FOMAカード（UIM）登録
44	プッシュトーク電話帳
45	着信履歴

番号	項目
46	リダイヤル
47	伝言メモ／音声メモ
471	伝言メモ設定
472	伝言メモ一覧
473	音声メモ録音
474	音声メモ一覧
48	メール送受信履歴
481	メール送信履歴
482	メール受信履歴
49	自局番号

■ データBOX

番号	項目
51	マイピクチャ
52	ミュージック
53	iモーション
54	メロディ
55	マイドキュメント
56	キャラ電
57	マチキャラ
58	きせかえツール
59	その他

■ LifeKit

番号	項目
61	バーコードリーダー
62	赤外線・iC・PC連携
621	赤外線受信
622	赤外線全件送信
623	iC全件送信
624	受信済みデータ保存
625	データ送受信設定
626	USBモード設定
63	トルカ
64	ICカード
641	ICカード一覧
642	ICカードロック
643	ICカードオートロック設定
644	電源OFF時ICロック設定
645	ICカードロック設定
65	microSD
66	カメラ
661	静止画撮影
662	動画撮影
67	サウンドレコーダー
68	電話帳お預かりサービス

番号	項目
681	お預かりセンターに接続
682	電話帳通信履歴表示
683	送信設定
69	GPS
691	現在地確認
692	対応iアプリを利用
693	位置履歴
694	現在地確認設定
6941	現在地確認後動作設定
6942	測位モード設定
6943	測位動作設定
695	現在地通知
6951	現在地通知
6952	現在地通知設定
696	位置提供設定
6961	位置提供可否設定
6962	測位モード設定
6963	サービス利用設定
6964	サービス利用／接続設定
6965	測位動作設定

■ ステーショナリー

番号	項目
71	スケジュール帳
72	メモ帳
73	目覚まし
74	電卓
75	辞典

■ 設定／NWサービス

番号	項目
81	音／バイブ
811	音の設定
8111	電話着信音
8112	メール・メッセージ着信音
8113	GPS測位鳴動音
8114	アラーム音
8115	操作確認音
8116	充電確認音
8117	通話保留・警告音
812	音量設定
8121	電話着信音量

番号	項目
8122	メール・メッセージ着信音量
8123	GPS測位鳴動音量
8124	受話音量
8125	アラーム音量
8126	iアプリ音量
8127	トルカ取得音量
8128	メロディ音量
813	バイブレータ設定
8131	電話着信時
8132	メール・メッセージ着信時
8133	GPS測位時
8134	アラーム鳴動時
8135	iアプリ利用時
814	マナーモード選択
815	呼出動作開始時間設定
816	ステレオ効果設定
8161	動画（iモーション）
8162	メロディ
8163	ミュージックプレイヤー
817	FMトランスミッター設定
82	ディスプレイ
821	待受画面設定
8211	待受画面選択
8212	時計表示設定
8213	電池アイコン設定
8214	アンテナアイコン設定
8215	カレンダー／待受カスタマイズ
8216	テロップ表示設定
822	メニュー設定
8221	メニュー設定
8222	セレクトメニュー登録
823	各種画面設定
8231	カラーテーマ設定
8232	電話発着信画像設定

キリトリ線

8233 メール送受信画像設定
8234 テレビ電話画像選択
824 照明設定
8241 点灯時間設定
8242 照明設定範囲
8243 明るさ調整
825 イルミネーション設定
8251 着信
8252 通話中
8253 GPS測位
8254 ICカードアクセス
8255 スピードセレクター／その他
826 不在着信お知らせ
827 文字表示設定
8271 文字サイズ設定
8272 バイリンガル
828 トータルコーディネイト設定
829 マチキャラ設定
83 セキュリティ／ロック
831 ロック
8311 オールロック
8312 パーソナルデータロック
8313 ICカードロック
8314 ダイヤル発信制限
8315 プロテクトキーロック
832 プライバシーモード設定
833 着信／受信時表示設定
834 シークレットモード
835 FOMAカード（UIM）
836 暗証番号変更
837 スキャン機能
8371 パターンデータ更新
8372 自動更新設定

8373 スキャン機能設定
8374 バージョン表示
84 発着信・通話機能
841 電話発着信設定
8411 電話発信設定
8412 電話着信設定
842 発番号なし動作設定
843 エニーキーアンサー設定
844 イヤホン機能設定
8441 イヤホン切替設定
8442 オート着信機能設定
8443 イヤホンスイッチ設定
8444 イヤホンマイク設定
845 メモリ着信拒否／許可
8451 メモリ別着信拒否／許可
8452 メモリ登録外着信拒否
846 発着信詳細設定
8461 優先通信モード設定
8462 プレフィックス設定
8463 サブアドレス設定
8464 着信中オープン応答
847 通話詳細設定
8471 ノイズキャンセラ設定
8472 通話中クローズ設定
848 セルフモード設定
85 テレビ電話／トルカ／プッシュトーク
851 テレビ電話
8511 テレビ電話発信設定
8512 テレビ電話着信設定

8513 テレビ電話動作設定
8514 パケット通信中着信設定
8515 テレビ電話画像選択
8516 テレビ電話使用機器設定
8517 テレビ電話切替機能通知
852 トルカ
8521 トルカ取得確認設定
8522 トルカ取得設定
8523 自動読取機能設定
8524 トルカ振り分け設定
853 プッシュトーク
8531 プッシュトーク着信設定
8532 プッシュトーク呼出時間設定
8533 プッシュトーク番号通知設定
8534 プッシュトーク自動応答設定
8535 プッシュトーク中着信設定
8536 プッシュトーク中クローズ設定
8537 ｉモード中プッシュトーク着信
8538 プッシュトークスピーカーホン設定
86 時計／文字入力／その他
861 時計
8611 日付時刻設定
8612 自動電源ON設定
8613 自動電源OFF設定
8614 時計表示設定
8615 アラーム自動電源ON設定
862 文字入力設定
8621 単語登録

8622 ダウンロード辞書
8623 変換学習リセット
8624 定型文
8625 入力設定
863 文字サイズ設定
864 ソフトウェア更新
865 クイック起動設定
866 スライド編集設定
867 スピードセレクター設定
868 モーションコントロール設定
869 情報表示／リセット
8691 通話時間
8692 通話料金
8693 メモリ確認
8694 設定状況確認
8695 電池レベル表示
8696 各種設定リセット
8697 データ一括削除
8698 初期設定
87 NWサービス
871 留守番電話
8711 留守番サービス
8712 件数増加鳴動設定
8713 着信通知
8714 表示消去
872 キャッチホン／転送でんわ
8721 キャッチホン
8722 転送でんわ
873 着もじ
8731 メッセージ作成
8732 メッセージ表示設定
874 番号通知
8741 発信者番号通知
8742 番号通知お願いサービス
875 ローミングガイダンス設定
8751 ローミングガイダンス開始

8752 ローミングガイダンス停止
8753 ローミングガイダンス設定確認
876 OFFICEED
8761 エリア表示設定
8762 圏外転送開始
8763 圏外転送停止
8764 圏外転送設定確認
877 2in1設定
8771 2in1モード切替
8772 電話帳2in1設定
8773 モード別待受画面設定
8774 発着信番号設定
8775 2in1機能OFF
878 その他のNWサービス
8781 追加サービス
8782 遠隔操作設定
8783 迷惑電話ストップ
8784 英語ガイダンス
8785 デュアルネットワーク
8786 サービスダイヤル
8787 マルチナンバー
8788 通話中着信設定
8789 通話中着信動作選択
88 国際ローミング／ダイヤルアシスト
881 国際ローミング設定
882 国際ダイヤルアシスト設定
883 デュアル時計設定
9 ミュージックプレイヤー
0 自局番号

■ キー操作一覧

機　能	操作方法（待受画面から）
マナーモード設定／解除	[Menu]（1 秒以上）または [#]（1 秒以上）
スピードメニュー	[スピード]（1 秒以上）または [スピード]
ｉチャネル一覧の表示	[クリア]
セルフモード設定／解除	[クリア]（1 秒以上）▶「はい」
公共モード（ドライブモード）設定／解除	[*]（1 秒以上）
データ BOX メニュー	[カメラ側キー]
静止画撮影起動（アウトカメラ撮影）	[カメラ]（1 秒以上）
静止画撮影起動（インカメラ撮影）	[カメラ側キー]（1 秒以上）
ｉモードメニュー	[ｉモード]
ｉアプリフォルダ一覧	[ｉモード]（1 秒以上）
着信履歴	[着信履歴]
プライバシーモード起動／解除※1	起動：[キー]（1 秒以上） 解除：[キー]（1 秒以上）▶ 端末暗証番号入力

機　能	操作方法（待受画面から）
リダイヤル	[リダイヤル]
ICカードロック設定／解除	設定：[キー]（1 秒以上）▶「はい」 解除：[キー]（1 秒以上）▶ 端末暗証番号入力※2
電話帳	[電話帳]
スケジュール帳	[電話帳]（1 秒以上）
メールメニュー	[メール]
ｉモード問合せ	[メール]（1 秒以上）
電源 ON ／ OFF	[電源]（2 秒以上）
プロテクトキーロック設定／解除	[鍵]（1 秒以上）
新規起動メニュー	[新規]
伝言メモ／音声メモメニュー	[カメラ]
プッシュトーク電話帳	[P]（1 秒以上）

※ 1：プライバシーモード設定を行っているときのみ有効

※ 2：IC カードロック設定の解除方法を「ボイス認証＋暗証番号」に設定している場合は、端末暗証番号の入力前にボイス認証が必要

ネットワークサービス

■ 留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

1 [Menu] [8] [7] [1]

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
留守番サービス開始	[1] [1] ▶「はい」▶「はい」▶ 呼出時間を入力（0 ～ 120 秒）
留守番サービス停止	[1] [3] ▶「はい」
留守番メッセージ再生	新しい伝言メッセージがあると待受画面に [1]（数字は件数）が表示されます。 [1] [5] ▶「はい」▶ 音声ガイダンスの指示に従う

キリトリ線

■キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

● サービスを開始／停止する

1 Menu 8 7 2 1 ▶ 1 ～ 2 ▶「はい」

● 通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に

・通話相手の切り替え：

● 通話中に電話をかける

通話中に電話番号を入力 ▶

・通話相手の切り替え：

● 通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら

・保留中相手との通話再開：

■転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

1 Menu 8 7 2 2

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
転送サービス開始	1 ▶「はい」▶「はい」▶ 転送先電話番号を入力（26 桁まで）▶ 回 ▶「はい」▶ 呼出時間を入力（0～120 秒） ・電話番号の入力欄を選択する前に、Menu を押すと電話帳から、☒ を押すとリダイヤルから、☐ を押すと着信履歴から電話番号を設定できます。
転送サービス停止	2 ▶「はい」

■番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

● サービスを開始／停止する

1 Menu 8 7 4 2 ▶ 1 ～ 2 ▶「はい」

■利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

ディスプレイの見かた

■ディスプレイ上部

❶～⓭

❶ ：電池アイコン
❷ ：アンテナアイコン　圏外：圏外表示
self：セルフモード中
：データ転送モード中など
❸ ：ｉモード中（ｉモード接続中）
：ｉモード中（パケット通信中）
❹ ：赤外線通信中など
：プロテクトキーロック中（一時解除中はグレー）
：積算通話料金が上限を超過
❺ ：スピーカーホン機能 ON
：ハンズフリー対応機器接続中
❻ ：GPS の測位中
GPS：GPS の位置提供設定中
❼ ：シークレットモード中

❽ ：未読メール状態表示
R：未読メッセージ R 状態表示
F：未読メッセージ F 状態表示
❾ ：ネットワーク上の電話帳ページ取得中
：プッシュトーク通信中
：ｉモードセンター蓄積状態表示
❿ ：SSL ページ表示中など
：圏内自動送信失敗メールあり
：圏内自動送信メールあり
⓫ ／ ：ｉアプリ／ｉアプリ DX 動作中
：ｉアプリ待受画面表示中
：ｉアプリ DX 待受画面表示中
⓬ ：ｉアプリ自動起動失敗
⓭ OFFICEED：OFFICEED エリア内

■ディスプレイ下部

❶～❺

❻～⓱

❶ ：不在着信
❷ ：伝言メモ
❸ ：留守番電話サービスの伝言メッセージ
❹ ：未読メール
❺ ：未読トルカ
❻ ：通常マナーモード中
：オリジナルマナーモード中
❼ ：電話着信音量消音設定中
：音声電話着信のバイブレータ設定中
：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中
❽ ：公共モード（ドライブモード）中
❾ ：伝言メモ設定中
：伝言メモ満杯

❿ ：ダイヤル発信制限中
⓫ ：パーソナルデータロック中
⓬ ：FOMA カード読み込み中
：IC カードロック中
⓭ ：フォーカスモード時のスピードセレクターの有効キー表示
⓮ ：目覚まし設定中
：スケジュールアラーム設定中
：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中
⓯ ：USB モード設定と microSD メモリーカードの状態表示
⓰ ：FOMA USB 接続ケーブルで外部機器と接続中
⓱ ：ソフトウェア更新予約中
：更新お知らせアイコン
／（成功／失敗）：
最新パターンデータの自動更新結果

紛失時などの緊急連絡先

おまかせロック

※おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

24 時間受付

その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

連絡先：

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

キリトリ線

NTT DoCoMo

FOMA® D904i
クイックマニュアル(海外利用編)

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
(24 時間受付)

ドコモの携帯電話の場合
滞在国の国際電話アクセス番号(表1) -81-3-5366-3114 * (無料)

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ D904i から、ご利用の場合は +81-3-5366-3114 でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

一般電話などからの場合
＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) -800-0120-0151 *

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号(表1)はP13 を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)はP14 をご覧ください。

海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉(24 時間受付)

ドコモの携帯電話の場合
滞在国の国際電話アクセス番号(表1) -81-3-6718-1414 * (無料)

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ D904i から、ご利用の場合は +81-3-6718-1414 でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

一般電話などからの場合
＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) -800-5931-8600 *

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号(表1)はP13 を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)はP14 をご覧ください。

海外で利用するための準備

■ 海外で利用するための設定

● i モードの設定

1 [i] [1]

2 「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「海外利用設定」▶「i モード利用設定」▶「利用する」

3 i モードパスワードを入力 ▶「決定」

● 遠隔操作の設定

・日本国内で設定してください。

1 [Menu] [8] [7] [8] [2] ▶ [1] ▶「はい」

● デュアル時計の設定

1 [Menu] [8] [8] [3] ▶ [1] ～ [2]

海外で利用できるサービス

本FOMA 端末は3G ローミングエリアのみ対応しています。海外でご利用になれるサービスは以下のとおりです。

サービス	利用可否
音声電話	○
テレビ電話	○
i モードメール	○
SMS	○
i モード(フルブラウザを含む)	○
i チャネル	○
データ通信※1	×

※1：海外でのパソコンと接続したパケット通信と 64K データ通信

・通信事業者や地域によっては利用できない場合があります。

通信事業者の検索方法を設定する

1 [Menu] [8] [8] [1] [1]

2 検索方法を選択
・自動で切り替える：[1]
・手動で切り替える：[2] ▶ 接続先を選択
・ネットワークを再検索する：[3]
「マニュアル」に設定しているときは接続先を選択

優先的に接続する通信事業者を設定する

1 [Menu] [8] [8] [1] [3]

2 通信事業者を選び [Menu] [2]

3 優先順位の位置を選択 ▶ [m]

ローミング中の通信事業者名の表示について

1 [Menu] [8] [8] [1] [2] ▶ [1] ～ [2]

帰国後の設定について

日本に帰国したときは、FOMA 端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され、FOMA ネットワークに設定されます。ネットワークサーチ設定で「マニュアル」に設定している場合は、「オート」に設定し直してください。

● ネットワークサーチ設定を「オート」に設定する

1 [Menu] [8] [8] [1] [1] ▶ [1]

電話をかける

相手が WORLD WING を利用している場合は、日本への国際電話としてかけてください。

■ 日本や滞在国外に電話をかける

●「+」を利用して電話をかける

1 [0] (1 秒以上) ▶ 国番号 ▶ 地域番号(市外局番) ▶ 電話番号を入力
・「+」を入力する：[0] (1 秒以上)

・日本に電話をかける場合は、国番号に「81」を入力
・地域番号(市外局番)が「0」で始まるときは「0」を除いてダイヤル(ただし、イタリアの一般電話などにおかけになるときは「0」が必要)

2 [発信](音声電話)または テレビ電話 ▶「はい」

● 発信オプションを利用して電話をかける

1 地域番号(市外局番) ▶ 電話番号を入力 ▶ [Menu] [2]
・テレビ電話で発信する：発信方法欄 ▶ [2]

2 国際電話発信欄 ▶ [2]

3 国番号欄 ▶ 国際電話をかける国番号を選択

4 [Menu] ▶「はい」

● 電話帳を利用して電話をかける

1 電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ

2 [発信](音声電話)または テレビ電話 ▶「はい」

■ 滞在国内に電話をかける

滞在国内でも相手がWORLD WINGを利用している場合は、日本への国際電話としてかけてください。

1 地域番号(市外局番) ▶ 電話番号を入力 ▶ [発信](音声電話)または テレビ電話

電話を受ける

■ 音声電話を受ける

1 音声電話がかかってくる ▶ [発信]

■ テレビ電話を受ける

1 テレビ電話がかかってくる ▶ [発信] または [テレビ電話]
・代替画像でテレビ電話を受ける：[メール]

キリトリ線

■ 相手からの電話のかけかた

●日本から滞在国に電話をかけてもらうとき

1 090（または 080）XXXXXXXX をダイヤルする

●日本以外から滞在国に電話をかけてもらうとき

1 発信国の国際アクセス番号を入力▶81▶90（または 80）XXXXXXXX をダイヤルする

ローミング中の設定をする

■ ローミングガイダンスを設定する

・日本国内で設定してください。

1 Menu 8 7 5

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
ローミングガイダンス開始	1▶「はい」
ローミングガイダンス停止	2▶「はい」

項　目	操作方法
ローミングガイダンス設定確認	3▶「はい」

■ 着信について設定する

・日本国内で設定してください。

1 Menu 8 8 1 9

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
ローミング時着信規制開始	① 1▶1～2 全着信規制： すべての着信を受けないようにします。 テレビ電話／64K データ規制： テレビ電話の着信を受けないようにします。 ・64K データ通信は利用できません。 ②「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力

項　目	操作方法
ローミング時着信規制停止	2▶「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力
ローミング時着信規制確認	3▶「はい」

ネットワークサービス

1 Menu 8 8 1

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
留守番電話（海外）	① 4▶1～5 1：開始　2：停止 3：再生　4：設定 5：呼出時間設定 ②「はい」
転送でんわ（海外）	① 5▶1～3 1：開始　2：停止 3：設定 ②「はい」
遠隔操作設定（海外）	6▶「はい」

項　目	操作方法
番号通知お願い（海外）	7▶「はい」
ローミングガイダンス（海外）	8▶「はい」

3 ガイダンスに従って操作

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は以下の番号を使用してください。

（2007 年 6 月現在）

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	日本	81
インドネシア	62	ニューカレドニア	687
エジプト	20	ニュージーランド	64
オーストラリア	61	ノルウェー	47
オーストリア	43	ハンガリー	36

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
オランダ	31	フィジー	679
カナダ	1	フィリピン	63
韓国	82	フィンランド	358
ギリシャ	30	フランス	33
シンガポール	65	ブラジル	55
スイス	41	ベトナム	84
スウェーデン	46	ペルー	51
スペイン	34	ベルギー	32
タイ	66	香港	852
台湾	886	マカオ	853
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	マレーシア	60
		モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7

・このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号（表 1）

（2007 年 6 月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	トルコ	00
アメリカ合衆国	011	ニュージーランド	00
アラブ首長国連邦	00	ノルウェー	00
イギリス	00	ハンガリー	00
イタリア	00	フィリピン	00
インド	00	フィンランド	00／990
インドネシア	001		
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0041／0021／0023
カナダ	011		
韓国	001		
ギリシャ	00	ベトナム	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポーランド	00
スウェーデン	00	ポルトガル	00
スペイン	00	香港	001
タイ	001	マカオ	00
台湾	002	マレーシア	00

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
チェコ	00	モナコ	00
中国	00	ルクセンブルグ	00
デンマーク	00	ロシア	810
ドイツ	00		

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 2）

（2007 年 6 月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	台湾	00
アメリカ合衆国	011	中国	00
アルゼンチン	00	デンマーク	00
イギリス	00	ドイツ	00
イスラエル	014	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
オーストラリア	0011	ハンガリー	00
オーストリア	00	フィリピン	00
オランダ	00	フィンランド	990
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ブラジル	0021
コロンビア	009	ベルギー	00

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
シンガポール	001	ポルトガル	00
スイス	00	香港	001
スウェーデン	00	マレーシア	00
スペイン	00	南アフリカ共和国	09
タイ	001	ルクセンブルグ	00

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP1 の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

・各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「主要国の国際電話アクセス番号（表 1）」「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 2）」が必要になります。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※自動車を安全な場所に停車してからご使用になるか、公共モード（ドライブモード／電源OFF）をご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（通常マナーモード）。☛P133
マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。☛P134
マナーモード中でも、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）

電話をかけてきた相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスまたは電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。☛P74、P75

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。☛P132

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音／録画します。☛P76

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。☛P420、P422

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　iMenu ▶ 料金&お申込・設定 ▶ 各種手続き（ドコモeサイト） パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo(http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種手続き（ドコモeサイト）

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※D904iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P438をご覧ください。

海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※D904iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P438をご覧ください。

● 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
● お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　三菱電機株式会社

Li-ion
環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

860D244C
'07.7（3.2版）

FOMA® D904i

データ通信マニュアル

■ データ通信マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA D904iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「D904i通信設定ファイル（USBドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

■ Windowsの操作について

本マニュアルは、Windows XP Service Pack 2に対応した内容となっております。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信の形態や利用時の留意点について説明します。

- FOMA 端末は FAX 通信や Remote Wakeup には対応していません。
- FOMA 端末をドコモの PDA「musea」「sigmarion Ⅱ」「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行えます。musea、sigmarion Ⅱを利用する場合は、アップデートが必要です。アップデートなどの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本 FOMA 端末は海外でのパケット通信、64K データ通信にはご利用いただけません。
- 本 FOMA 端末は IP 接続に対応しておりません。

FOMA 端末から利用できるデータ通信について

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64K データ通信、データ転送の 3 つに分類されます。
これらの通信は、付属の CD-ROM から関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA 端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

■ パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速で送受信するのに適しています。ネットワークに接続していても、データを送受信していないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA のパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大 64kbps の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ 64K データ通信

64K データ通信は 64kbps の安定した通信速度でデータ送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA 64K データ通信に対応したアクセスポイント、または ISDN 同期 64K アクセスポイントを利用します。
長時間にわたる通信をした場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

電話帳やメール、ブックマークなどの各種データを転送／交換する、課金が発生しない通信形態です。

- 赤外線通信でも、他の FOMA 端末や携帯電話、パソコンなどとデータ転送できます。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT 互換機
OS ※2	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）
必要メモリ	Windows 2000：64MB 以上 Windows XP：128MB 以上 Windows Vista：512MB 以上
ハードディスク容量	5MB 以上の空き容量

※ 1：USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。
※ 2：OS アップグレードからの動作は保証対象外です。

おしらせ

● 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用やOSアップグレードによる問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

警告画面が表示された場合

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
［はい］をクリックしてください。

- 画面は Windows XP を使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器について

FOMA 端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA　USB接続ケーブル（別売）またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA D904i用CD-ROM」

おしらせ

● USBケーブル※1は専用の「FOMA　USB接続ケーブル」または「FOMA　充電機能付USB接続ケーブル　01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

※1：本書では、FOMA　USB接続ケーブルの場合で説明してます。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降、プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMA サービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera U / mopera をご利用いただけます。mopera Uは、お申し込みが必要（有料）です。ブロードバンド接続などに対応し、使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、mopera は、お申し込み不要、月額使用料無料です。今すぐインターネットに接続できます。利用料などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはFOMAのパケット通信に対応した接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）の認証を行う場合は付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳しくは付属のCD-ROM内の「簡易操作マニュアル（FirstPassManual.pdf）」をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA 端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMA　USB接続ケーブル（別売）を利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の用語集

● 管理者権限

Windows XP、Windows 2000、Windows Vistaを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。

1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

● APN（Access Point Name）

パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。mopera Uは「mopera.net」が、mopera は「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

● cid（Context Identifier）

パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。

お買い上げ時、cid 1には「mopera.ne.jp」、cid 3には「mopera.net」が登録されています。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信または64Kデータ通信を利用する場合の準備は次のような流れになります。

① 通信設定ファイルのインストール ☛P5
② パソコンとFOMA端末の接続 ☛P4
③ 通信設定ファイルの確認 ☛P5

▼

FOMA PC設定ソフトのインストール
- Windows XP、Windows 2000 ☛P7
- Windows Vista ☛P16

▼

(かんたん設定)
パケット通信設定
●mopera U / mopera
- Windows XP、Windows 2000 ☛P8
- Windows Vista ☛P17

●その他のプロバイダ
- Windows XP、Windows 2000 ☛P9
- Windows Vista ☛P18

(かんたん設定)
64Kデータ通信設定
●mopera U / mopera
- Windows XP、Windows 2000 ☛P11
- Windows Vista ☛P20

●その他のプロバイダ
- Windows XP、Windows 2000 ☛P12
- Windows Vista ☛P20

▼

通信実行
- Windows XP、Windows 2000 ☛P13
- Windows Vista ☛P21

切断
- Windows XP、Windows 2000 ☛P13
- Windows Vista ☛P22

▼

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定☛P24

▼

接続☛P32 ／切断☛P32

通信設定ファイル(USBドライバ)について

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

インストール／アンインストール前の注意点

- 通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトをインストール／アンインストールするときは、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは「許可」または「続行」をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存、終了させた後に行ってください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

- 接続前に必ず通信設定ファイル(USBドライバ)をインストールしておいてください。☛P5

通信モードに設定する

USB モード設定で「microSD モード」または「MTP モード」に設定している場合は、「通信モード」に設定してください。

① Menu 6 2 6 ▶ 1

接続のしかた

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って接続します。

❶ **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く**

❷ **FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む**

❸ **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む**

- パソコンとFOMA端末を接続すると、FOMA端末の画面に[USBアイコン]が表示されます。通信設定ファイルのインストール前には[USBアイコン]は表示されません。
- 通信設定ファイルのインストール前に接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

■ **取り外しかた**

パソコン側コネクタはそのまま引き抜きます。FOMA端末側コネクタは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引っ張ると故障の原因となります。

充電しながら接続する

卓上ホルダ（別売）を使って充電しながら接続できます。ただし充電時間が長くなります。

❶ **卓上ホルダとACアダプタを接続する**

- ACアダプタはコンセントに差し込んでおいてください。

❷ **FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する**

❸ **卓上ホルダの背面に沿って FOMA 端末を図の向きで矢印❸の方向に差し込む**

- 決定キーの照明が赤く点灯したことを確認してください。

おしらせ

- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを取り外したり、FOMA端末および卓上ホルダに衝撃を与えないでください。充電やデータ通信の切断、パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了させたい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

通信設定ファイル（USBドライバ）をインストールする

通信設定ファイルをインストールする

操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

- FOMA端末は操作1～5を行った後にパソコンに接続してください。

例 Windows XPの場合

1 付属のCD-ROMをパソコンにセット

「FOMA D904i CD-ROM」画面が表示されます。

- 「FOMA D904i CD-ROM」画面が動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。
お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしても「FOMA D904i CD-ROM」画面が表示されない場合は次の手順で操作してください。

■ Windows XP、Windows 2000の場合：
①［スタート］→「ファイル名を指定して実行」をクリック
②「名前」に「< CD-ROMドライブ名 >:¥USBDriver¥D904i_USB_Driver¥Win2k_XP¥D904iin.exe」を入力 ▶［OK］をクリック ▶ 操作5に進む

■ Windows Vistaの場合：
① (スタート)→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック
②「名前」に「< CD-ROMドライブ名 >:¥USBDriver¥D904i_USB_Driver¥WinVista32¥D904iin.exe」を入力 ▶［OK］をクリック ▶ 操作5に進む

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］をクリック

3 「D904i 通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール（Windows 2000, WindowsXP)」をクリック

■ Windows Vistaの場合：
①「インストール（WindowsVista版）」をクリック

4 「D904iin（D904iin.exe）」をダブルクリック

5 ［インストール開始］をクリック

FOMA D904iをパソコンに接続する旨の画面が表示されます。

6 FOMA端末をパソコンに接続する☛P4

通信設定ファイルがインストールされます。

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

7 ［終了］をクリックする

- 「FOMA D904i CD-ROM」画面に戻るにはMicrosoft Internet Explorerの［戻る］をクリックします。
- 「通信設定ファイルを確認する」に進み、インストールされたデバイス名を確認してください。

おしらせ

- インストールには数分かかることがあります。
- Windowsを再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンとFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされる場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってアンインストールしてから通信設定ファイルをインストールしてください。

通信設定ファイルを確認する

FOMA端末がパソコンに正しく認識されない場合、設定および通信はできません。

例 Windows XPの場合

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］をクリック

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ Windows 2000の場合：
①［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
②「システム」をダブルクリック

つづく▶

■ Windows Vistaの場合：
① (スタート) →「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」をクリック ▶ 操作3に進む

2 [ハードウェア] タブをクリック ▶ [デバイスマネージャ] をクリック

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

3 各デバイスの種類をダブルクリック ▶ インストールされたデバイス名を確認する

次表のデバイス名がすべて表示されることを確認します。

デバイスの種類	デバイス名
ユニバーサルシリアルバスコントローラまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ	FOMA D904i
ポート(COMとLPT)	• FOMA D904i Command Port（COMx）※1 • FOMA D904i OBEX Port（COMx）※1
モデム	FOMA D904i

※1：COMxのxはお使いのパソコンによって異なります。

通信設定ファイルをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3
アンインストールをする前に、必ずパソコンからFOMA端末を取り外してください。

例 Windows XPの場合

1 [スタート] →「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリック

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ Windows 2000の場合：
① [スタート] →「設定」→「コントロールパネル」をクリック
②「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック

■ Windows Vistaの場合：
① (スタート) →「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をクリック
「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

2 「FOMA D904i USB」を選択 ▶ [変更と削除] をクリック

■ Windows 2000の場合：
①「FOMA D904i USB」を選択 ▶ [変更と削除] をクリック

■ Windows Vistaの場合：
①「FOMA D904i USB」を選択 ▶「アンインストールと変更」をクリック

3 プログラム名を確認して [はい] をクリック

通信設定ファイルがアンインストールされます。

4 [OK] をクリック

Windows XP、Windows 2000でFOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

■ **かんたん設定**
ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行います。

■ **通信設定最適化**
Windows XP、Windows 2000を使用する場合「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、通信設定の最適化が必要です。

■ **接続先（APN）の設定**
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cid1には、moperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3には、mopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は接続先（APN）の設定が必要になります。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- FOMA PC設定ソフト Version 4.0.0より前の古いバージョン（以降、旧「FOMA PC設定ソフト」）がインストールされている場合には、あらかじめ旧「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールしてください。バージョンは、FOMA PC設定ソフトの「メニュー」→「バージョン情報」で表示できます。
- お使いのパソコンに、本機種より前に発売されたFOMA端末に付属の「W-TCP環境設定ソフト」や「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合は、それらのソフトをアンインストールしてください。
- FOMA PC設定ソフトを再インストールする場合は、あらかじめインストール済みのFOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

例 Windows XPの場合

1 付属のCD-ROMをパソコンにセット

「FOMA D904i CD-ROM」画面が表示されます。

- 「FOMA D904i CD-ROM」画面が動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。
  お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしても「FOMA D904i CD-ROM」画面が表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①［スタート］→「ファイル名を指定して実行」をクリック
  ②「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:¥FOMA_PCSET¥setup_4.0.0.exe」を入力 ▶［OK］をクリック ▶ 操作4に進む

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］をクリック

3 「FOMA PC設定ソフト」の「インストール」をクリック

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

- **「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」画面が表示された場合**
  ［実行］をクリックしてください。

- **「Internet Explorer ー セキュリティの警告」画面が表示された場合**
  ［実行する］をクリックしてください。

4 ［次へ］をクリック

FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

5 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

6 「タスクトレイに常駐する」を選択して［次へ］をクリック

セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」が常駐します。

- インストール後に常駐の設定は変更できます。

7 インストール先を確認して［次へ］をクリック

つづく▶

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して［次へ］をクリック

9 ［完了］をクリック

FOMA PC 設定ソフトが起動します。

- このまま各種設定を始められます。

おしらせ

- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし［完了］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

設定はFOMA端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P4

FOMA PC設定ソフトを起動する

例 Windows XPの場合

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「FOMA PC 設定ソフト」→「FOMA PC 設定ソフト」をクリック（Windows 2000 の場合は、「プログラム」→「FOMA PC 設定ソフト」→「FOMA PC 設定ソフト」をクリック）

FOMA PC 設定ソフトが起動します。

mopera U / moperaを利用する場合

- その他のプロバイダの場合 ☛P9

例 Windows XPの場合

1 FOMA PC 設定ソフトを起動 ▶［かんたん設定］をクリック

2 「パケット通信」を選択 ▶［次へ］をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択 ▶［次へ］をクリック

- mopera Uを選択したときは、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合は［はい］をクリックします。

4 「FOMA 端末設定取得」画面で［OK］をクリック

FOMA 端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

つづく▶

5 任意の接続名と各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ¥/: ∗ ?!<> | ”
- 「発信者番号通知」は、「186 を付加する（通知する）」または「設定しない（推奨）」を選択してください。mopera U または mopera に接続するためには発信者番号通知が必要です。
- 「接続方式」には最適な値が設定されます。

6 各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

- 「ユーザ ID」「パスワード」は空欄でも接続できます。
- 「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択すると Windows にログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して［完了］をクリック

9 ［OK］をクリック

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動します。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既に最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する ☛P13

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U / mopera の場合 ☛P8

例 Windows XPの場合

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 4 を行う ☛P8

- 操作 2 の接続方法は「パケット通信」を選択します。
- 操作 3 の接続先は「その他」を選択します。

2 任意の接続名を入力 ▶［接続先（APN）設定］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!<> | ”
- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

■ 高度な設定（TCP/IP の設定）：

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。

- ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報をもとにアドレスなどを登録してください。

3 接続先（APN）を設定

お買い上げ時、cid1 には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が設定されています。cid 2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

①［追加］をクリック

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

②ご利用のプロバイダなどの FOMA パケット網に対応した接続先（APN）と接続方式を設定 ▶［OK］をクリック

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角で、英数字、ハイフン（ - ）、ピリオド（ . ）のみ入力できます。
- 本端末は「PPP接続」のみ対応していますので、「接続方式」は「PPP接続」を選択してください。対応する接続方式については、ご利用になるプロバイダに確認してください。

4［OK］をクリック

操作２の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作3で設定した接続先（APN）と接続方式が表示されます。

5「接続先(APN)の選択」の接続先(APN)を確認して［次へ］をクリック

6 ユーザ ID とパスワードを入力 ▶［次へ］をクリック

- 「ユーザ ID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意して入力してください。
- 「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- 既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。

かんたん設定
通信設定最適化(W-TCP設定)
現在、FOMAパケット用に最適化されていません。
FOMAパケット通信を利用するため、パソコン内の通信設定を最適化します。
☑ 最適化を行う
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

8 設定情報を確認して［完了］をクリック

かんたん設定
設定情報
この内容でよろしければ、完了ボタンを押してください。

確認項目	内容
接続方法	パケット通信
接続先	その他
接続名	FOMA
モデム名	FOMA D904i
接続先(APN)名	xxxx.ne.jp
発信者番号の通知	186を付加する
使用可能ユーザー	すべてのユーザー
ユーザID	xxxx
パスワードの保存	する
現在の通信設定最適化状態	非最適化
通信設定最適化	FOMA 端末用に最適化する
接続方式	PPP接続

☑ デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する
< 戻る(B)　完了(F)　キャンセル

9 ［OK］をクリック

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動します。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既に最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する ☛P13

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

設定はFOMA端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P4

mopera U / moperaを利用する場合

- その他のプロバイダの場合 ☛P12

例　Windows XPの場合

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 3 を行う ☛P8

- 操作 2 の接続方法は「64K データ通信」を選択します。
- 操作 3 の接続先は「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択します。

2 任意の接続名と各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!<> ｜”
- 「モデムの選択」が「FOMA D904i」に設定されていることを確認します。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知をするかどうかを選択してください。mopera U および mopera 接続では発信者番号通知が必要です。

かんたん設定
64Kデータ通信設定
接続名:　FOMA
モデムの選択:　FOMA D904i
発信者番号通知:　◉ 186を付加する(通知する)　○ 184を付加する(通知しない)　○ 設定しない
mopera U及び、mopera接続では発信者番号通知が必要です。
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

3 各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

- 「ユーザ ID」「パスワード」については空欄でも接続できます。
- 「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。

かんたん設定
使用可能ユーザーの選択
この接続を利用できるユーザーを指定してください
◉ すべてのユーザー　○ 自分のみ
ユーザID・パスワード設定
ユーザID・パスワードをお持ちの方は入力してください。
ユーザID:
パスワード:
☑ パスワードを保存する
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

つづく▶

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

• 通信を実行する ☛P13

その他のプロバイダを利用する場合

• mopera U / mopera の場合 ☛P11

例 Windows XPの場合

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 〜 3 を行う ☛P8

• 操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。
• 操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

• 次の項目を登録します。
・接続名　　　：任意
・モデムの選択：FOMA D904i
・電話番号　　：プロバイダなどから提供された情報をもとに入力
・発信者番号通知
　：ご利用になるプロバイダの指示情報に従って選択

■ 高度な設定（TCP/IP の設定）：
［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。
• ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報をもとにアドレスなどを登録してください。

3 ユーザ ID とパスワードを入力 ▶［次へ］をクリック

•「ユーザ ID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意して入力してください。
•「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択すると Windows にログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

• 通信を実行する ☛P13

通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

例 Windows XPの場合

1 FOMA 端末とパソコンを接続する ☛P4

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

FOMA

・アイコンはOSによって異なります。

・デスクトップに接続アイコンを作成しなかった場合は、スタートメニューから起動します。

■ Windows XP のスタートメニューから起動：
① [スタート] →「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック
② 接続先をダブルクリック

■ Windows 2000 のスタートメニューから起動：
① [スタート] →「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック
② 接続先をダブルクリック

3 各項目を確認して[ダイヤル]をクリック

・mopera U / mopera を選択した場合は「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
・ご加入のプロバイダなどの指示により必要な場合は、入力指示情報をもとに「ユーザー名」「パスワード」を入力して［ダイヤル］をクリックします。
・OS によっては、接続完了画面が表示されることがあります。[OK] をクリックしてください。

FOMA へ接続
ユーザー名(U):
パスワード(P):
☐ 次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S):
◉ このユーザーのみ(N)
○ このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)
ダイヤル(I): 186*99***3#
[ダイヤル(D)] [キャンセル] [プロパティ(O)] [ヘルプ(H)]

■ 通信中の FOMA 端末画面

パケット通信を実行すると発信中画面、64K データ通信を実行すると呼出中画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

PPPﾊﾟｹｯﾄ通信中

64Kデータ通信中
186*8701
07秒

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
● データ通信を実行する場合、接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。
● D904i 以外の FOMA 端末を接続する場合は、ご利用になる FOMA 端末の通信設定ファイルをインストールする必要があります。

通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

例 Windows XPの場合

1 タスクトレイのをクリック

2 [切断] をクリック

FOMAの状態
全般 詳細
接続
状態: 接続
継続時間: 00:00:58
速度: 460.8 Kbps
動作状況
送信 受信
バイト: 2,746 1,299
圧縮: 0 % 0 %
エラー: 0 0
[プロパティ(P)] [切断(D)]
[閉じる(C)]

パケット通信の設定を最適化する

「通信設定最適化」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化します。「通信設定最適化」とはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定最適化が必要です。

Windows XPの場合

ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 FOMA PC 設定ソフトを起動（☛P8）▶[通信設定最適化] をクリック

■ タスクトレイから起動：をクリック

2 次の操作を行う

■ **システム設定が最適化されていないとき：**
次の画面が表示されます。

通信設定最適化
FOMAパケット通信を利用するため、パソコン内の通信設定を最適化します。
現在、FOMAパケット用に最適化されていません。
最適化を行う
○ FOMA HIGH-SPEED対応端末(受信最大3.6Mbps)
◉ FOMA端末(受信最大384kbps)
変更を行わず閉じる

①「FOMA端末（受信最大384Kbps）」を選択し、［最適化を行う］をクリック
②最適化するダイヤルアップを選択▶［実行］をクリック
システム設定とダイヤルアップ設定のそれぞれの最適化が実行されます。

■ **システム設定が最適化されているとき：**
次の画面が表示されます。内容を変更する場合はチェック欄を変更し［システム設定］をクリックしてください。

通信設定最適化(ダイヤルアップ作成)
FOMAパケット通信用のダイヤルアップを選択してください。

最適化	変更	速度	現在	ダイヤルアップ名	モデム名
☑する		384kbps	最適化	FOMA	FOMA D904i

実行　キャンセル
システム設定　※FOMAパケット通信用に設定したパソコン内の設定を解除します。

3 画面に従ってパソコンを再起動

• 設定した内容は再起動後に有効になります。

Windows 2000の場合

1 FOMA PC 設定ソフトを起動（☛P8）▶[通信設定最適化] をクリック

■ タスクトレイから起動：をクリック

2 ［最適化を行う］をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動する

• 設定した内容は再起動後に有効になります。

最適化を解除する

• 64Kデータ通信を行う場合や、FOMA端末以外で通信を行う場合は、最適化を解除してください。

Windows XPの場合

1 FOMA PC 設定ソフトを起動（☛P8）▶[通信設定最適化] をクリック

■ タスクトレイから起動：をクリック

2 最適化を解除する接続先のチェックを外す ▶ ［実行］をクリック

• 3.6Mbps用に最適化されている場合は、接続先を個別に選択できません。[システム設定]をクリックしてください。

通信設定最適化(ダイヤルアップ作成)
FOMAパケット通信用のダイヤルアップを選択してください。

最適化	変更	速度	現在	ダイヤルアップ名	モデム名
□する	あり	384kbps	最適化	FOMA	FOMA D904i

実行　キャンセル
システム設定　※FOMAパケット通信用に設定したパソコン内の設定を解除します。

3 ［OK］をクリック

Windows 2000の場合

1 FOMA PC 設定ソフトを起動（☛P8）▶[通信設定最適化] をクリック

■ タスクトレイから起動：をクリック

2 ［最適化を解除する］をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動する

• 設定した内容は再起動後に有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。

お買い上げ時、cid1 には「mopera.ne.jp」、cid3 には「mopera.net」が設定されています。

- 設定を行う前に FOMA 端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。☛P4
- mopera U / mopera 以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

例 Windows XPの場合

1 FOMA PC 設定ソフトを起動（☛P8）▶［接続先（APN）設定］をクリック

「FOMA 端末設定取得」画面が表示されます。

2 ［OK］をクリック

FOMA 端末に登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

接続先(APN)設定
ファイル(F)
FOMA端末設定
接続先(APN)の設定

番号(cid)	接続先(APN)	接続方式
1	mopera.ne.jp	PPP接続
3	mopera.net	PPP接続

追加.. 編集.. 削除 ダイヤルアップ作成..
FOMA端末へ設定を書き込む
閉じる

■ **接続先（APN）を追加する：［追加］をクリック**

■ **登録済みの接続先（APN）を編集または修正する：対象の接続先（APN）を一覧から選択 ▶［編集］をクリック**

■ **登録済みの接続先（APN）を削除する：対象の接続先（APN）を一覧から選択 ▶［削除］をクリック**

- cid1 と cid3 に登録されている接続先は削除できません（cid1またはcid3を選択して［削除］をクリックしても、実際には削除されず、元に戻ります）。

■ **ファイルへ保存する：「ファイル」→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック**

- FOMA 端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ **ファイルから読み込む：「ファイル」→「開く」をクリック**

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA 端末に書き込んだりするときに利用します。

■ **FOMA 端末から接続先（APN）情報を読み込む：「ファイル」→「FOMA 端末から設定を取得」をクリック**

FOMA 端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ **FOMA 端末へ接続先（APN）情報を書き込む：［FOMA 端末へ設定を書き込む］をクリック**

表示されている接続先（APN）設定が FOMA 端末に書き込まれます。

■ **ダイヤルアップを作成する：**

① **追加、編集された接続先（APN）を選択 ▶［ダイヤルアップ作成］をクリック**

「FOMA 端末設定書き込み」画面が表示されます。

② **［はい］をクリック ▶［OK］をクリック**

「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③ **任意の接続名を入力し、発信者番号の通知方法を選択 ▶［ユーザ ID・パスワードの設定］をクリック**

④ **ユーザ ID とパスワードを入力 ▶［OK］をクリック**

- mopera U / moperaの場合は空欄でも接続できます。
- 「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。
- ご利用のプロバイダなどから、IP および DNS 情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤ **［OK］をクリック ▶［OK］をクリック**

⑥ **［FOMA 端末へ設定を書き込む］をクリック**

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑦ **［はい］をクリック ▶［OK］をクリック**

おしらせ

- 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC 設定ソフトをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

アンインストールを実行する前に

タスクトレイのを右クリックし、「終了」をクリックして、「通信設定最適化」を終了してください。

アンインストールする

例 Windows XPの場合

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリック

■ Windows 2000 の場合：
①［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
②「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック

2 「NTT DoCoMo FOMA PC 設定ソフト」を選択 ▶ ［削除］をクリック

■ Windows 2000 の場合：
①「NTT DoCoMo FOMA PC 設定ソフト」を選択 ▶ ［変更と削除］をクリック

3 削除するプログラム名を確認して［はい］をクリック

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■「通信設定最適化」を解除する：
通信設定が最適化されている場合は確認画面が表示されます。
- 通常は［はい］をクリックして、最適化を解除してください。
- 再起動の確認画面が表示されたら、今すぐ再起動するかどうかを選び［完了］をクリックします。
- 「通信設定最適化」の解除は、パソコンの再起動後に行われます。

4 ［完了］をクリック

Windows Vista で FOMA PC 設定ソフトを利用して通信する

FOMA 端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

■ かんたん設定
ガイドに従い操作することで、「FOMA データ通信用ダイヤルアップの作成」を行います。

■ 接続先（APN）の設定
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMA パケット通信の接続先には、64K データ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA 端末に APN と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cid1 には、mopera の接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3 には、mopera U の接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内 LAN に接続する場合は接続先（APN）の設定が必要になります。

FOMA PC 設定ソフトをインストールする

操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

1 付属の CD-ROM をパソコンにセット

「FOMA D904i CD-ROM」画面が表示されます。

NTT DoCoMo CD-ROM
TOP →
エンターテイメントツール
データリンクソフト・各種設定ソフト
取扱説明書
インターネット接続
NTTドコモ ホームページ
Adobe Readerのインストール
このCD-ROMのご利用にあたって
FOMA® D904i CD-ROM
© 2007 NTT DoCoMo, Inc. All Rights Reserved.

- 「FOMA D904i CD-ROM」画面が動作する推奨環境は Microsoft Internet Explorer7.0 以降です。
お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROM をセットしても「FOMA D904i CD-ROM」画面が表示されない場合は次の手順で操作してください。
① (スタート) →「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

②「名前」に「＜CD-ROM ドライブ名＞：¥FOMA_PCSET¥setup_4.0.0.exe」を入力 ▶［OK］をクリック ▶ 操作 4 に進む

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］をクリック

3 「FOMA PC 設定ソフト」の「インストール」をクリック

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

- **「ファイルのダウンロード−セキュリティの警告」画面が表示された場合**
  ［実行］をクリックしてください。

4 ［次へ］をクリック

FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

5 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

6 インストール先を確認して［次へ］をクリック

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して［次へ］をクリック

8 ［完了］をクリック

FOMA PC 設定ソフトが起動します。

- このまま各種設定を始められます。

おしらせ

- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし［完了］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

設定はFOMA端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P4

FOMA PC設定ソフトを起動する

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC 設定ソフト」→「FOMA PC 設定ソフト」をクリック

FOMA PC 設定ソフトが起動します。

mopera U / moperaを利用する場合

- その他のプロバイダの場合 ☛P18

1 FOMA PC 設定ソフトを起動 ▶［かんたん設定］をクリック

2 「パケット通信」を選択 ▶［次へ］をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択 ▶［次へ］をクリック

- mopera Uを選択したときは、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合は［はい］をクリックします。

かんたん設定

接続先の選択
◉『mopera U』への接続
『mopera U』をご利用いただくと、安全で快適なインターネット接続が行えます。（mopera Uは有料サービスで、ご契約が必要です。）
○『mopera』への接続
ご契約不要で、簡単にインターネット接続が行えます。
○その他
FOMAデータ通信対応プロバイダや、社内LANに接続します。

※FOMA端末の接続を確認してください。
［次へ］ボタンを押下すると、自動的にFOMA端末から接続先(APN)情報を取得します。ダイヤルアップ作成中はFOMAの抜き差しは行わないでください。（故障の原因になる恐れがあります）
※HIGH-SPEED対応端末のパケット通信速度について
『mopera U』に接続した場合は、下り最大3.6Mbps、上り最大384kbpsです。
『mopera』に接続した場合は、上り／下りともに最大384kbpsです。
※mopera U／mopera以外の接続方法などについては、各プロバイダへご確認ください。

＜戻る(B)　次へ(N)＞　キャンセル

4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

FOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 任意の接続名と各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!<> ｜”
- 「発信者番号通知」は、「186を付加する（通知する）」または「設定しない（推奨）」を選択してください。mopera Uまたはmoperaに接続するためには発信者番号通知が必要です。
- 「接続方式」には最適な値が設定されます。

かんたん設定

パケット通信設定
接続名:　FOMA
モデム名:　FOMA D904i
発信者番号通知:　◉186を付加する(通知する)　○184を付加する(通知しない)　○設定しない(推奨)
接続方式:　◉PPP接続　○IP接続
※「発信者番号通知」
mopera Uに接続するためには、発信者番号通知が必要です。「設定しない」もしくは「186を付加する」を選択してください。
※「接続方式」
ご利用のFOMA端末に応じてmopera Uに最適な初期値が自動で設定されています。

＜戻る(B)　次へ(N)＞　キャンセル

6 ユーザIDとパスワードを入力 ▶［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でも接続できます。

かんたん設定

ユーザID・パスワード設定
ユーザID・パスワードをお持ちの方は入力してください。
ユーザID:
パスワード:
☑ パスワードを保存する

＜戻る(B)　次へ(N)＞　キャンセル

7 設定情報を確認して［完了］をクリック

かんたん設定

設定情報
この内容でよろしければ、完了ボタンを押してください。

確認項目	内容
接続方法	パケット通信
接続先	mopera U
接続名	FOMA
モデム名	FOMA D904i
発信者番号の通知	186を付加する
ユーザID	
パスワードの保存	する
接続方式	PPP接続

☑ デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する

＜戻る(B)　完了(F)　キャンセル

8 ［OK］をクリック

- 通信を実行する ☛P21

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U / moperaの場合 ☛P17

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / moperaを利用する場合」の操作1～4を行う ☛P17

- 操作2の接続方法は「パケット通信」を選択します。
- 操作3の接続先は「その他」を選択します。

つづく▶

2 任意の接続名を入力 ▶［接続先（APN）設定］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ¥/: ＊ ?!<> |"
- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

■ 高度な設定（TCP/IP の設定）：
［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。
- ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報をもとにアドレスなどを登録してください。

3 接続先（APN）を設定

お買い上げ時、cid1 には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が設定されています。cid 2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

① ［追加］をクリック
「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

② ご利用のプロバイダなどの FOMA パケット網に対応した接続先（APN）と接続方式を設定 ▶［OK］をクリック
「接続先（APN）設定」画面に戻ります。
- 「接続先（APN）」には半角で、英数字、ハイフン（ - ）、ピリオド（ . ）のみ入力できます。
- 本端末は「PPP接続」のみ対応していますので、「接続方式」は「PPP接続」を選択してください。対応する接続方式については、ご利用になるプロバイダに確認してください。

4 ［OK］をクリック

操作２の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作3で設定した接続先（APN）と接続方式が表示されます。

5 「接続先(APN)の選択」の接続先(APN)を確認して［次へ］をクリック

6 ユーザ ID とパスワードを入力 ▶［次へ］をクリック

- 「ユーザ ID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意して入力してください。

7 設定情報を確認して［完了］をクリック

8 [OK] をクリック

- 通信を実行する ☛P21

かんたん設定で 64K データ通信を設定する

設定は FOMA 端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P4

mopera U / moperaを利用する場合

- その他のプロバイダの場合 ☛P20

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 3 を行う ☛P17

- 操作 2 の接続方法は「64K データ通信」を選択します。
- 操作 3 の接続先は「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択します。

2 任意の接続名と各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ¥/: ＊ ?!<> ｜”
- 「モデムの選択」が「FOMA D904i」に設定されていることを確認します。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知をするかどうかを選択してください。mopera U および mopera 接続では発信者番号通知が必要です。

3 ユーザ ID とパスワードを入力 ▶［次へ］をクリック

- 「ユーザ ID」「パスワード」については空欄でも接続できます。

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 [OK] をクリック

- 通信を実行する ☛P21

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U / mopera の場合 ☛P20

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 3 を行う ☛P17

- 操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。
- 操作3の接続先は「その他」を選択します。

つづく▶

2 各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

- 次の項目を登録します。
  - ・接続名　　　：任意
  - ・モデムの選択：FOMA D904i
  - ・電話番号　　：プロバイダなどから提供された情報をもとに入力
  - ・発信者番号通知　：ご利用になるプロバイダの指示情報に従って選択

■ 高度な設定（TCP/IP の設定）：

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。

- ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報をもとにアドレスなどを登録してください。

3 ユーザ ID とパスワードを入力 ▶［次へ］をクリック

- 「ユーザ ID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意して入力してください。

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

1 FOMA 端末とパソコンを接続する
☛P4

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

FOMA

- デスクトップに接続アイコンを作成しなかった場合は、スタートメニューから起動します。
  ①（スタート）→「接続先」をクリック
  ②接続先をダブルクリック

3 各項目を確認して[ダイヤル]をクリック

- mopera U / mopera を選択した場合は「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
- ご加入のプロバイダなどの指示により必要な場合は、入力指示情報をもとに「ユーザー名」「パスワード」を入力して［ダイヤル］をクリックします。

つづく▶

- 接続完了画面が表示されたときは［OK］をクリックしてください。

■ 通信中のFOMA端末画面

パケット通信を実行すると発信中画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

おしらせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- データ通信を実行する場合、接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。
- D904i以外のFOMA端末を接続する場合は、ご利用になるFOMA端末の通信設定ファイルをインストールする必要があります。

通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 （スタート）→「接続先」をクリック

2 接続しているダイヤルアップを選択 ▶［切断］をクリック

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。

お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が設定されています。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。☛P4
- mopera U／mopera以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動（☛P17）▶［接続先（APN）設定］をクリック

「FOMA端末設定取得」画面が表示されます。

2 ［OK］をクリック

FOMA端末に登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

つづく▶

■ 接続先(APN)を追加する:[追加]をクリック

■ 登録済みの接続先(APN)を編集または修正する:対象の接続先(APN)を一覧から選択 ▶ [編集]をクリック

■ 登録済みの接続先(APN)を削除する:対象の接続先(APN)を一覧から選択 ▶ [削除]をクリック
- cid1とcid3に登録されている接続先は削除できません(cid1またはcid3を選択して[削除]をクリックしても、実際には削除されず、元に戻ります)。

■ ファイルへ保存する:「ファイル」→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック
- FOMA端末に登録された接続先(APN)設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先(APN)設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込む:「ファイル」→「開く」をクリック
- パソコンに保存された接続先(APN)設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先(APN)情報を読み込む:「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」をクリック
FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先(APN)設定を読み込みます。

■ FOMA端末へ接続先(APN)情報を書き込む:[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリック
表示されている接続先(APN)設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成する:
①追加、編集された接続先(APN)を選択 ▶ [ダイヤルアップ作成]をクリック
「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。
②[はい]をクリック ▶ [OK]をクリック
「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
③任意の接続名を入力し、発信者番号の通知方法を選択 ▶ [ユーザID・パスワードの設定]をクリック
④ユーザIDとパスワードを入力 ▶ [OK]をクリック
- mopera U / moperaの場合は空欄でも接続できます。
- ご利用のプロバイダなどから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で[詳細情報の設定]をクリックし、必要な情報を登録後、[OK]をクリックしてください。

⑤[OK]をクリック ▶ [OK]をクリック
⑥[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリック
上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
⑦[はい]をクリック ▶ [OK]をクリック

おしらせ

- 接続先(APN)設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末(故障修理により交換された端末など)を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先(APN)を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号(cid)をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC 設定ソフトをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール/アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

アンインストールする

1 (スタート)→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をクリック

2 「NTT DoCoMo FOMA PC 設定ソフト」を選択 ▶ [アンインストール]をクリック

3 削除するプログラム名を確認して[はい]をクリック
FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

4 [完了]をクリック

FOMA PC 設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64K データ通信のダイヤルアップネットワークの設定を行う方法について説明します。

設定操作の流れ

①通信設定ファイルのインストール ☛P5
②パソコンと FOMA 端末の接続 ☛P4
③通信設定ファイルの確認 ☛P5

▼

接続先（APN）の設定※1 ☛P24
（64K データ通信の場合、パケット通信の接続先がmopera U / moperaの場合は、設定不要）

▼

発信者番号通知／非通知の設定※1 ☛P25
（必要に応じて設定）

▼

その他の設定（AT コマンド）※1 ☛P33
（必要に応じて設定）

▼

ダイヤルアップネットワークの設定

ご使用の OS	設定	
	接続先	TCP/IP
Windows XP	P26	P27
Windows 2000	P28	P29
Windows Vista	P30	P31

- 設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

▼

接続 ☛P32 ／切断 ☛P32

※ 1：Windows Vista では、AT コマンドを入力するための通信ソフトが必要です。

おしらせ

- 操作の途中で「既定の Telnetプログラムにしますか？」が表示された場合は、［はい］または［いいえ］をクリックしてください。
- 操作の途中で「所在地情報」画面が表示された場合は、所在地のダイヤル情報を設定し［OK］をクリックします。設定したダイヤル情報が「電話とモデムのオプション」画面に表示されますので［OK］をクリックしてください。

パケット通信の接続先（APN）を設定する

設定を行うには、AT コマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows XP、Windows 2000 の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vista は「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vista の場合は、Windows Vista 対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

お買い上げ時 cid1：mopera.ne.jp
cid3：mopera.net
cid2、4 ～ 10：未登録

例 Windows XPの場合

1 パソコンと FOMA 端末を接続する ☛P4

2 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリック

- Windows 2000 の場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力 ▶ ［OK］をクリック

つづく▶

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力し、「接続方法」から「FOMA D904i」を選択 ▶ ［OK］をクリック

- 市外局番は接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 接続画面が表示されたら［キャンセル］をクリック

6 接続先（APN）を入力 ▶ ⏎ を押す

- 「AT+CGDCONT＝<cid>,“PPP”,“APN”」の形式で入力します。

<cid>：2、4～10の任意の番号を入力します。
“PPP”：そのまま“PPP”と入力します。
“APN”：接続先（APN）を“ ”で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

■ 接続先（APN）設定をリセットするとき：
AT+CGDCONT= ⏎
すべてのcidをリセットします。
- <cid>=1と3はお買い上げ時の設定に戻り、<cid>=2、4～10の設定は未登録になります。

AT+CGDCONT=<cid> ⏎
特定のcidをリセットします。

■ 接続先（APN）設定を確認するとき：
AT+CGDCONT? ⏎

■ ATコマンドを入力しても画面に表示されないとき：ATE1 ⏎
- 詳細 ☛P36

7 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」の表示後に［はい］をクリックします。
- 「“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか？」または「セッション“XXX”を保存しますか？」の表示後に［いいえ］をクリックします。

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号cid1～10に設定できます。お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録と考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA 端末電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- mopera U / moperaをご利用になる場合は、「通知」に設定します。

お買い上げ時　設定なし

例　Windows XPの場合

1 「パケット通信の接続先（APN）を設定する」の操作1～5を行う ☛P24

つづく▶

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定

「AT＊DGPIR=＜n＞」の形式で入力します。

AT＊DGPIR=1 ↵
　パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

AT＊DGPIR=2 ↵
　パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

■ ATコマンドを入力しても画面に表示されないとき：ATE1 ↵
- 詳細 ☛P36

3 「OK」と表示されていることを確認し、［ファイル］→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」の表示後に［はい］をクリックします。
- 「"XXX"と名前付けされた接続を保存しますか?」または「セッション"XXX"を保存しますか？」の表示後に［いいえ］をクリックします。

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

■ **ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について**

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けられます。

AT＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

- AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。

Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリック

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 「インターネットに接続する」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

準備画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

インターネット接続画面が表示されます。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

デバイスの選択画面が表示されます。
- インストールされているモデムが1台しかない場合、デバイスの選択画面は表示されません。操作8へ進みます。

7 「モデム－FOMA D904i（COMx）※1」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

- 「モデム－FOMA D904i（COMx）※1」のみチェックが入っていることを確認してください。

※1：COMxのxはお使いのパソコンによって異なります。

つづく▶

8 「ISP 名」に任意の接続名を入力 ▶［次へ］をクリック

新しい接続ウィザード
接続名
インターネット接続を提供するサービスの名前は何ですか?
次のボックスに ISP の名前を入力してください。
ISP 名(A)
FOMA
ここに入力された名前は作成している接続の名前になります。
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

9 「電話番号」に接続先の番号（半角）を入力 ▶［次へ］をクリック

- パケット通信の場合＊99＊＊＊<cid>#を入力します。
  - <cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P24）で登録した cid 番号を入力します。mopera U は＊99＊＊＊3#、mopera は＊99＊＊＊1#となります。
- 64K データ通信の場合、接続先の電話番号を入力します。
  - mopera U は＊8701、mopera は＊9601を入力します。

新しい接続ウィザード
ダイヤルする電話番号
ISP の電話番号を指定してください。
下に電話番号を入力してください。
電話番号(P):
*99***3#
識別番号または市外局番が必要な場合があります。よくわからないときは、電話でその電話番号にダイヤルしてください。モデムの音が聞こえる場合はダイヤルしたその番号が正解です。
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

10 各項目を設定 ▶［次へ］をクリック

- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」については空欄でも接続できます。他の項目は必要に応じて設定します。

新しい接続ウィザード
インターネット アカウント情報
インターネット アカウントにサインインするにはアカウント名とパスワードが必要です。
ISP アカウント名およびパスワードを入力し、この情報を書き留めてから安全な場所に保管してください。(既存のアカウント名またはパスワードを忘れてしまった場合は、ISP に問い合わせてください。)
ユーザー名(U):
パスワード(P):
パスワードの確認入力(C):
☑このコンピュータからインターネットに接続するときは、だれでもこのアカウント名およびパスワードを使用する(S)
☑この接続を既定のインターネット接続とする(M)
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

11 ［完了］をクリック

12 設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先を選択 ▶「ファイル」→「プロパティ」をクリック

ネットワーク接続
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　お気に入り(A)　ツール(T)　詳細設定(N)　ヘルプ(H)
接続(O)
状態(U)
修復(P)
新しい接続(N)...
ネットワーク セットアップ ウィザード(W)...
コピーの作成(E)
ショートカットの作成(S)
削除(D)
名前の変更(M)
プロパティ(R)
閉じる(C)
この接続を削除する
この接続の設定を変更する
その他
詳細
LAN または高速インターネット
ローカル エリア接続
ダイヤルアップ
FOMA

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム－ FOMA D904i（COMx）※1」を選択します。
- 「モデム－FOMA D904i （COMx）※1」のみチェックが入っていることを確認してください。

※1：COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。

- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

FOMAのプロパティ
全般　オプション　セキュリティ　ネットワーク　詳細設定
接続方法(T):
☑ モデム - FOMA D904i (COM6)
☐ モデム - FOMA D903iTV (COM3)
☐すべてのデバイスで同じ番号を呼び出す(L)　構成(O)...
FOMA D904iの電話番号
市外局番(E):　電話番号(P):
*99***3#　その他(N)
国番号/地域番号(G):
☐ダイヤル情報を使う(S)　ダイヤル情報(R)
☑接続時に通知領域にアイコンを表示する(W)
OK　キャンセル

つづく▶

3 ［ネットワーク］タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- 「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoS パケットスケジューラ」は変更できませんので、そのままにしてください。

FOMAのプロパティ
全般 オプション セキュリティ ネットワーク 詳細設定
呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E):
PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet
設定(S)
この接続は次の項目を使用します(O):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
QoS パケット スケジューラ
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(N)... アンインストール(U) プロパティ(R)
説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
OK キャンセル

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリック

接続先のプロパティ画面に戻ります。

PPP 設定
LCP 拡張を使う(E)
ソフトウェアによる圧縮を行う(N)
単一リンク接続に対してマルチリンクをネゴシエートする(M)
OK キャンセル

6 ［OK］をクリック

Windows 2000 でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 ［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 ［新しい接続の作成］をダブルクリック

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリック

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

モデムの選択画面が表示されます。

- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。操作8に進みます。

7 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA D904i」に設定されていることを確認して［次へ］をクリック

インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 「FOMA D904i」に設定されていない場合は、「FOMA D904i」に設定してください。

8 「電話番号」に接続先の番号（半角）を入力 ▶ ［詳細設定］をクリック

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。
- パケット通信の場合＊99＊＊＊<cid>#を入力します。
  - ・<cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P24）で登録した cid 番号を入力します。mopera U は＊99＊＊＊3#、mopera は＊99＊＊＊1#となります。

つづく▶

・64K データ通信の場合、接続先の電話番号を入力します。
・mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。

9 ［接続］タブの各項目を以下のように設定

10 ［アドレス］タブをクリック ▶ 各項目を以下のように設定

11 ［OK］をクリック

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

12 ［次へ］をクリック

インターネットアカウントのログオン情報画面が表示されます。

13 「ユーザー名」と「パスワード」を入力 ▶ ［次へ］をクリック

・接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

14 「接続名」に任意の接続名を入力 ▶ ［次へ］をクリック

15 「いいえ」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

16 ［完了］をクリック

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択 ▶「ファイル」→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA D904i（COMx）※1」を選択します。
  モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、再度接続先電話番号を入力してください。
- 「モデム－FOMA D904i （COMx）※1」のみチェックが入っていることを確認してください。
  ※1：COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（☐）にして［OK］をクリック

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリック

Windows Vistaでダイヤルネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンと FOMA 端末を接続する ☛P4

2 （スタート） ▶「接続先」をクリック

3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択 ▶「次へ」をクリック

■「どのモデムを使いますか？」と表示された場合：
「FOMA D904i モデム」をクリック

つづく▶

5 各項目を設定 ▶［接続］をクリック

- 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先を入力します。
  - ・パケット通信の場合、＊99＊＊＊＜cid＞#を入力します。
    ＜cid＞には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P24）で登録したcid番号を入力します。mopera Uは＊99＊＊＊3#、moperaは＊99＊＊＊1#となります。
  - ・64Kデータ通信の場合、接続先の電話番号を入力します。
    mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。
- 接続先がmopera U/moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ￥／：＊？＜＞｜

6 「FOMAに接続中...」と表示されたら［スキップ］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

7 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 （スタート）▶「接続先」をクリック

2 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

3 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA D904i（COMx）※1」を選択します。
- 「モデム－FOMA D904i（COMx）※1」のみチェックが入っていることを確認してください。
  ※1：COMxのxはお使いのパソコンによって異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

4 ［ネットワーク］タブをクリック ▶ 各項目を設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を非選択（□）にします。

つづく▶

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。
- 「QoS パケットスケジューラ」はプロバイダなどの指示に従って必要に応じて選択してください。

FOMAのプロパティ
全般 | オプション | セキュリティ | ネットワーク | 共有
この接続は次の項目を使用します(O):
☐ インターネット プロトコル バージョン 6 (TCP/IPv6)
☑ インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)
☐ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
☑ QoS パケット スケジューラ
☐ Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(N)... | アンインストール(U) | プロパティ(R)
説明
TCP/IP version 6 です。多様な内部接続のネットワークを超えて、通信を提供できる最新のインターネット プロトコルです。
OK | キャンセル

5 ［オプション］タブをクリック ▶ ［PPP設定］をクリック

6 すべての項目を非選択（☐）に設定 ▶ ［OK］をクリック

PPP 設定
☐ LCP 拡張を使う(E)
☐ ソフトウェアによる圧縮を行う(N)
☐ 単一リンク接続に対してマルチリンクをネゴシエートする(M)
OK | キャンセル

7 ［OK］をクリック

ダイヤルアップ接続する

パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

例 Windows XPの場合

1 FOMA 端末とパソコンを接続する ☞P4

2 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

■ Windows 2000 の場合：
①［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック

■ Windows Vista の場合：
①（スタート）→「接続先」をクリック

3 接続先をダブルクリック

4 各項目を確認して［ダイヤル］をクリック

- 「ダイヤル」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。

FOMA へ接続
ユーザー名(U):
パスワード(P):
☐ 次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S):
◉ このユーザーのみ(N)
○ このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)
ダイヤル(I): *99***3#
ダイヤル(D) | キャンセル | プロパティ(O) | ヘルプ(H)

通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

例 Windows XPの場合

1 タスクトレイのをクリック ▶ ［切断］をクリック

■ Windows 2000 の場合：
①タスクトレイのをクリック ▶ ［切断］をクリック

■ Windows Vista の場合：
①（スタート）→「接続先」をクリック
②接続しているダイヤルアップを選択→「切断」をクリック

AT コマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。
FOMA端末は、ATコマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自の AT コマンドをサポートしています。

AT コマンドについて

■ AT コマンドの入力形式

AT コマンドは、コマンドの先頭に「AT」を付けて入力します。半角英数字で入力してください。
次に入力例を示します。

ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#⏎
コマンド　パラメータ　Enter キーを押します

AT コマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、1 行で入力します。1 行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことで、160 文字（「AT」含む）まで入力できます。

■ AT コマンドの入力モード

AT コマンドで FOMA 端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。
ターミナルモードとは、パソコンを 1 台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で行います。
- オンラインデータモード
  FOMA 端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA 端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したまま AT コマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

おしらせ

● ATコマンドから発信した場合、2in1のモードによって以下のようになります。
- 発信者番号
  2in1のモードに関わらずAナンバーで発信されます。
- 電話帳発信
  2in1 がAモードのときは電話帳2in1 設定が「B」の電話帳は利用できません。Bモードのときは「A」の電話帳は利用できません。デュアルモードのときはすべての電話帳が利用できます。
- リダイヤル発信
  2in1 がAモードのときはAナンバーの最新のリダイヤル、Bモードのときは Bナンバーの最新のリダイヤルに発信されます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※1 のER信号をOFFにします。

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO⏎」と入力します。

※ 1：USB インタフェースにより、RS-232C の信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによる RS-232C の信号線制御が有効になります。

AT コマンド一覧

- AT コマンド入力時に、使用している PC や通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。
- ここで説明するのは FOMA D904i Modem Port で使用できる AT コマンドです。

※ 1　：AT&F コマンドで設定が初期化されます。
※ 2　：AT&W コマンドで FOMA 端末に記憶でき、ATZ コマンドで復元できます。
「なし」: 表示コマンド、テストコマンドがない AT コマンドです。
[　]　：省略できるパラメータです。

コマンド		概要・パラメータ					
AT%V		FOMA 端末のバージョンを「Verx.xx」の形式で表示します。					
	例	設定	AT%V	表示	なし	テスト	なし
AT&C[n]		DTE への回路 CD 信号の動作条件を選択します。 n=0: 回路 CD 信号を常に ON にします。(パラメータ省略時) n=1: 回路 CD 信号は相手モデムの状態に従って変化します。(お買い上げ時)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&C1	表示	なし	テスト	なし
AT&D[n]		オンラインデータモードの場合に、DTE から受け取る回路 ER 信号が ON から OFF に変わったときの動作を設定します。 n=0:ER 信号の状態を無視します（常に ON)。(パラメータ省略時) n=1:ER 信号が ON から OFF に変わるとオンラインコマンドモードになります。 n=2:ER 信号が ON から OFF に変わると回線を切断し、オフラインモードになります。(お買い上げ時)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&D1	表示	なし	テスト	なし
AT&E[n]		接続時の速度表示仕様を選択します。 ATX コマンドが n=0 以外の場合に有効です。 n=0：無線区間通信速度を表示します。 n=1：パソコンと FOMA 端末間の通信速度を表示します。(お買い上げ時)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&E1	表示	なし	テスト	なし
AT&F[0]		FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。着信中に実行すると、着信には影響を与えずに、FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。通信中は通信を切断（「NO CARRIER」を表示）してからお買い上げ時の状態に戻します。					
	例	設定	AT&F0	表示	なし	テスト	なし
AT&S[n]		FOMA 端末の出力する DR 信号の制御を設定します。 n=0: 常に ON にします。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 回線接続時に DR 信号を ON にします。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&S0	表示	なし	テスト	なし
AT&W[0]		現在の設定値を FOMA 端末に書き込みます。					
	例	設定	AT&W0	表示	なし	テスト	なし
AT ＊ DANTE		電波の強さ（受信レベル）を「＊ DANTE:m」の形式で表示します。 m=0: 圏外　m=1 ～ 3:FOMA 端末に表示されるアンテナの本数（m=1:0 本または 1 本)。					
	例	設定	AT ＊ DANTE	表示	AT ＊ DANTE?	テスト	AT ＊ DANTE=?
AT ＊ DGANSM=n		パケット着信呼に対して、着信拒否、着信許可を設定します。 n=0: 着信拒否設定と着信許可設定を OFF にします。(お買い上げ時) n=1: 着信拒否設定を ON にします。　n=2: 着信許可設定を ON にします。					
	例	設定	AT ＊ DGANSM=0	表示	AT ＊ DGANSM?	テスト	AT ＊ DGANSM=?
AT ＊ DGAPL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を許可する接続先 (APN) を設定します。APN は「+CGDCONT」で定義された cid パラメータを使用します。 n=0:cid で定義された APN を着信許可リストへ追加します。 n=1:cid で定義された APN を着信許可リストから削除します。 cid パラメータを省略すると、すべての cid を追加または削除します。					
	例	設定	AT ＊ DGAPL=0,1	表示	AT ＊ DGAPL?	テスト	AT ＊ DGAPL=?
AT ＊ DGARL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を拒否する接続先 (APN) を設定します。APN は「+CGDCONT」で定義された cid パラメータを使用します。 n=0:cid で定義された APN を着信拒否リストへ追加します。 n=1:cid で定義された APN を着信拒否リストから削除します。 cid パラメータを省略すると、すべての cid を追加または削除します。					
	例	設定	AT ＊ DGARL=0,1	表示	AT ＊ DGARL?	テスト	AT ＊ DGARL=?

つづく▶

コマンド		概要・パラメータ					
AT ∗ DGPIR=n		パケット通信時の番号通知、非通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0: パケット通信確立時に、APN をそのまま使用します。(お買い上げ時) n=1: パケット通信確立時に、APN に「184」を付けます。 n=2: パケット通信確立時に、APN に「186」を付けます。					
	例	設定	AT ∗ DGPIR=0	表示	AT ∗ DGPIR?	テスト	AT ∗ DGPIR=?
AT ∗ DRPW		受信電力指標を「∗ DRPW:m」の形式で表示します。m:0 ～ 75					
	例	設定	AT ∗ DRPW	表示	なし	テスト	AT ∗ DRPW=?
+++		FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えます。エスケープガード区間は、1 秒間の固定です。					
	例	設定	+++	表示	なし	テスト	なし
AT+CEER		直前の通信の切断理由を表示します。☛P38					
	例	設定	AT+CEER	表示	なし	テスト	AT+CEER=?
AT+CGDCONT		パケット通信時の接続先 (APN) を設定します。☛P38					
AT+CGEQMIN		パケット通信確立時に、ネットワーク側から通知される QoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準を登録します。☛P38					
AT+CGEQREQ		パケット通信の発信時にネットワークへ要求する QoS(サービス品質)を設定します。☛P39					
AT+CGMR		FOMA 端末のバージョンを 16 桁の数字で表示します。					
	例	設定	AT+CGMR	表示	なし	テスト	AT+CGMR=?
AT+CGREG=[n]		ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は、圏内または圏外です。 n=0: 通知しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 通知します。「+CGREG:n,stat」の形式で通知されます。 stat=0: 圏外　stat=1: 圏内 (home)　stat=4: 不明　stat=5: 圏内 (visitor)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CGREG=1	表示	AT+CGREG?	テスト	AT+CGREG=?
AT+CGSN		FOMA 端末の製造番号を表示します。					
	例	設定	AT+CGSN	表示	なし	テスト	AT+CGSN=?
AT+CLIP=[n]		64K データ通信の着信時に、相手の発信者番号をパソコンに表示します。 n=0: 表示しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 表示します。 AT+CLIP? を入力すると、「+CLIP:n,m」が表示されます。 m=0: 発信時に相手に発信者番号を通知しないネットワーク設定 m=1: 発信時に相手に発信者番号を通知するネットワーク設定　m=2: 不明					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CLIP=0	表示	AT+CLIP?	テスト	AT+CLIP=?
AT+CLIR=[n]		64K データ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0: サービス契約の設定に従います。(パラメータ省略時)　n=1: 通知しません。 n=2: 通知します。(お買い上げ時) AT+CLIR? を入力すると、「+CLIR:n,m」を表示します。 m=0:CLIR が起動していません。(常時通知)　m=1:CLIR が起動しています。(常時非通知) m=2: 不明　m=3:CLIR テンポラリーモード(非通知デフォルト) m=4:CLIR テンポラリーモード(通知デフォルト)					
	例	設定	AT+CLIR=0	表示	AT+CLIR?	テスト	AT+CLIR=?
AT+CMEE=[n]		FOMA 端末のエラーレポートの形式を設定します。☛P38 n=0:「ERROR」を表示します。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1:「+CME ERROR：xxxx」の形式(xxxx は数字)で表示します。 n=2:「+CME ERROR：xxxx」の形式(xxxx は文字)で表示します。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CMEE=0	表示	AT+CMEE?	テスト	AT+CMEE=?
AT+CNUM		FOMA 端末の自局番号を表示します。「+CNUM:, “number”,type」の形式で表示します。 number: 電話番号 type=129:「+81」を表示しません。　type=145:「+81」を表示します。					
	例	設定	AT+CNUM	表示	なし	テスト	AT+CNUM=?
AT+CR=[n]		回線接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別(パケット通信または 64K データ通信)を表示するかどうかを設定します。 n=0: 表示しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 表示します。「+CR:serv」の形式で表示します。 serv=SYNC:64K データ通信　serv=GPRS: パケット通信					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CR=0	表示	AT+CR?	テスト	AT+CR=?
AT+CRC=[n]		着信時に +CRING:type のリザルトコードを使用するかどうかを設定します。 n=0:+CRING:type のリザルトコードを使用しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1:+CRING:type のリザルトコードを使用します。応答例は以下のとおりです。 パケット通信　… +CRING:GPRS “PPP”,,, “mopera.net” 64K データ通信… +CRING:SYNC					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CRC=0	表示	AT+CRC?	テスト	AT+CRC=?

コマンド		概要・パラメータ					
AT+CREG=[n]		圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0: 表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）　n=1: 表示します。 AT+CREG? を入力すると、「+CREG:n,stat」の形式で表示します。 　stat=0: 圏外　stat=1: 圏内 (home)　stat=4: 不明　stat=5: 圏内 (visitor)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CREG=0	表示	AT+CREG?	テスト	AT+CREG=?
AT+GMI		FOMA 端末の製造会社名を表示します。					
	例	設定	AT+GMI	表示	なし	テスト	AT+GMI=?
AT+GMM		FOMA 端末名を表示します。					
	例	設定	AT+GMM	表示	なし	テスト	AT+GMM=?
AT+GMR		FOMA 端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	AT+GMR	表示	なし	テスト	AT+GMR=?
AT+IFC=[n,[m]]		パソコンと FOMA 端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n は DCE by DTE の制御を設定します。 　n=0: フロー制御しません。　n=1:XON/XOFF フロー制御します。 　n=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時） m は DTE by DCE の制御を設定します。省略すると DCE by DTE と同じ入力値になります。 　m=0: フロー制御しません。　m=1:XON/XOFF フロー制御します。 　m=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時） パラメータをすべて省略すると、AT+IFC=2,2 になります。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+IFC=2,2	表示	AT+IFC?	テスト	AT+IFC=?
AT+WS46=[22]		発信時に FOMA 端末が使用する無線ネットワークを設定します。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+WS46=22	表示	AT+WS46?	テスト	AT+WS46=?
ATA		パケット通信、64K データ通信の着信時に着信処理をします。パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184: 発信者番号通知なし着信　ATA186: 発信者番号通知あり着信					
	例	設定	ATA	表示	なし	テスト	なし
A/		直前に実行したコマンドを再実行します。					
	例	設定	A/	表示	なし	テスト	なし
ATD		パケット通信または 64K データ通信の発信をします。 ・パケット通信…「ATD ＊ 99 ＊＊＊ cid#」の形式で入力します。cid パラメータを省略すると、cid=1 になります。 「ATD184 ＊ 99」で始まる形式で入力した場合、指定した cid パラメータの APN に対して 184（発信者番号通知なし）が付加されます（186 でも同様です）。 ・64K データ通信…「ATD 電話番号」の形式で入力します。 ・リダイヤル発信…「ATDL」または「ATDN」の形式で入力します。					
	例	設定	ATD 電話番号	表示	なし	テスト	なし
ATE[n]		パソコンから送信された文字をエコーバックします。 n=0: エコーバックしません。（パラメータ省略時） n=1: エコーバックします。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATE0	表示	なし	テスト	なし
ATH		通信を切断します。					
	例	設定	ATH	表示	なし	テスト	なし
ATI[n]		認識コードを表示します。 n=0:「NTT DoCoMo」と表示します。（パラメータ省略時） n=1:FOMA 端末の機種名を表示します。　n=2:FOMA 端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	ATI0	表示	なし	テスト	なし
ATO		オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。					
	例	設定	ATO	表示	なし	テスト	なし
ATQ[n]		パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0: リザルトコードを表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: リザルトコードを表示しません。					
※ 1、※ 2	例	設定	ATQ0	表示	なし	テスト	なし
ATV[n]		リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0: 数字で表示します。（パラメータ省略時） n=1: 文字で表示します。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATV1	表示	なし	テスト	なし

つづく▶

コマンド		概要・パラメータ					
ATX[n]		ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。 n=0: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示なし。（パラメータ省略時） n=1: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=2: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。 n=3: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=4: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATX1	表示	なし	テスト	なし
ATZ		FOMA 端末の設定を AT&W で記憶させた不揮発メモリの内容に復元します。パケット通信または 64K データ通信の着信中に入力したときは、着信には影響を与えずに復元します。通信中に入力すると、通信を切断してから復元します。					
	例	設定	ATZ	表示	なし	テスト	なし
ATS0=[n]		FOMA 端末で自動着信するまでの呼出（RING）回数を設定します。 n=0: 自動着信しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1 ～ 255					
※ 1、※ 2	例	設定	ATS0=0	表示	ATS0?	テスト	なし
ATS2=[n]		エスケープキャラクタを設定します。 n=0 ～ 127（43: お買い上げ時、0: パラメータ省略時、127: エスケープ処理を無効にする）					
※ 1	例	設定	ATS2=43	表示	ATS2?	テスト	なし
ATS3=[13]		AT コマンドの文字列の最後を認識する復帰 (CR) キャラクタを設定します（設定値は変更できません）。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付けられます。					
※ 1	例	設定	ATS3=13	表示	ATS3?	テスト	なし
ATS4=[10]		改行 (LF) キャラクタの設定をします（設定値は変更できません）。英文字でリザルトコードを表示する場合に、復帰 (CR) キャラクタの次に付けられます。					
※ 1	例	設定	ATS4=10	表示	ATS4?	テスト	なし
ATS5=[8]		AT コマンド入力中に、入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース (BS) キャラクタを設定します（設定値は変更できません）。					
※ 1	例	設定	ATS5=8	表示	ATS5?	テスト	なし
ATS6=[n]		ダイヤルするまでのポーズ時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=2 ～ 10：単位は秒。（5: お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※ 1	例	設定	ATS6=5	表示	ATS6?	テスト	なし
ATS8=[n]		カンマダイヤル機能（ポーズ時間）を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は 3 秒で固定です。 n=0 ～ 255：単位は秒。（3: お買い上げ時、0: パラメータ省略時）					
※ 1	例	設定	ATS8=3	表示	ATS8?	テスト	なし
ATS10=[n]		自動切断までの遅延時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=1 ～ 255：単位は 1/10 秒。（1: お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATS10=1	表示	ATS10?	テスト	なし
ATS30=[n]		データ転送がなかった場合、通信を切断するまでの時間を設定します。64K データ通信の場合に有効です。 n=1 ～ 255: 単位は分。 n=0: 切断しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※ 1	例	設定	ATS30=0	表示	ATS30?	テスト	なし
ATS103=[n]		着サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信の場合に有効です。 n=0: ＊（パラメータ省略時） n=1:/（お買い上げ時） n=2:¥					
※ 1	例	設定	ATS103=0	表示	ATS103?	テスト	なし
ATS104=[n]		発サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信の場合に有効です。 n=0:#（パラメータ省略時） n=1:%（お買い上げ時） n=2:&					
※ 1	例	設定	ATS104=0	表示	ATS104?	テスト	なし
AT¥S		コマンドの設定内容と S レジスタを表示します。					
	例	設定	AT¥S	表示	なし	テスト	なし
AT¥V[n]		接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。 ATX コマンドのパラメータが n=1 ～ 4 の場合に有効です。 n=0: 拡張リザルトコードを使用しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: 拡張リザルトコードを使用します。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT¥V0	表示	なし	テスト	なし

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APN が存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64K データ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信した、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	FOMAカード以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

AT コマンドの補足説明

■ コマンド名：AT+CGDCONT= ［パラメータ］

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。

書式

AT+CGDCONT = ［< cid > ［, "PPP" ［, " < APN > "］］］

パラメータ説明

< cid >：1 ～ 10

　お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。

< APN >：任意

実行例

「abc」という APN 名を登録する場合のコマンド（< cid > =2 の場合）

AT+CGDCONT=2, "PPP", "abc"

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=

　すべての< cid >の設定をクリアします。ただし、「< cid > =1」と「< cid > =3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT= < cid >

　指定された< cid >の設定をクリアします。ただし、「< cid > =1」と「< cid > =3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT=？

　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGDCONT？

　現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQMIN=[パラメータ]

PPP パケット通信確立時にネットワーク側から通知される QoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

書式

AT+CGEQMIN=[< cid > [,, < Maximum bitrate UL > [, < Maximum bitrate DL >]]]

パラメータ説明

< cid >：1 ～ 10

　お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。

< Maximum bitrate UL >：なしまたは 64

< Maximum bitrate DL >：なしまたは 384

　「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA 端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度未満の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

実行例

(1) 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（< cid > =2 の場合）
　AT+CGEQMIN=2

(2) 上り 64kbps ／下り 384kbps の速度のみ許容する場合のコマンド（< cid > =4 の場合）
　AT+CGEQMIN=4,,64,384

(3) 上り 64kbps ／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（< cid > =5 の場合）
　AT+CGEQMIN=5,,64

(4) 上りすべての速度／下り 384kbps の速度のみ許容する場合のコマンド（< cid > =6 の場合）
　AT+CGEQMIN=6,,,384

つづく▶

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=
　すべての< cid >の設定をクリアします。

AT+CGEQMIN= < cid >
　指定された< cid >をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN=？
　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQMIN？
　現在の設定を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQREQ= ［パラメータ］

PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求する QoS（サービス品質）を設定します。

書式

AT+CGEQREQ=[< cid >]

パラメータ説明

上り 64kbps ／下り 384kbps の速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各 cid にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
< cid >：1 ～ 10
　お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。

実行例

(< cid > =2 の場合)
AT+CGEQREQ=2

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=
　すべての< cid >をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ= < cid >
　指定された< cid >をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=？
　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQREQ？
　現在の設定を表示します。

リザルトコード

• ATV［n］コマンド（☛P36）が n=1 に設定されている場合には文字表示（初期値）、n=0 に設定されている場合には数字表示でリザルトコードが表示されます。

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受付られません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	FOMA端末－パソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

おしらせ

● 従来のRS-232Cで接続するモデムとのパソコンでの処理上の互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

つづく▶

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64K データ通信で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）［64K］で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0 が設定されている場合

AT¥V コマンド（☛P37）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#
CONNECT（数字表示の場合は「1」）

ATX 1 が設定されている場合

- ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

  文字表示例：ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#
  CONNECT 460800（数字表示の場合は「1 21」）

- ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、以下のように表示します。

  文字表示例：ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#
  CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384（数字表示の場合は「1 21 5」）
  FOMA 端末－PC 間速度 460800bps で、mopera.net に、上り最大 64kbps、下り最大 384kbps で接続したことを表します。

※ 1：ATX1、AT¥V1 を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできない場合があります。
ATX1、AT¥V0 を設定した状態（初期値）でのご利用をおすすめします。

区点コード一覧

- 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

つづく▶

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

つづく▶

区点1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
						ゆ				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
						よ				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
						ら				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
						り				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
						る				
466	瑠	塁	涙	累	類					
						れ				
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
						ろ				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
						わ				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

つづく▶

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			